高梨子地区遺跡群

― 団体営基盤整備促進事業高梨子地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

２００８

群馬県安中市教育委員会

高梨子地区遺跡群

― 団体営基盤整備促進事業高梨子地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 ―

２００８

群馬県安中市教育委員会

高梨子地区遺跡群全景

高梨子森下遺跡４区全景

序

平成18年３月、旧安中市と旧松井田町が合併し、新安中市が誕生いたしました。新安中市は、妙義山・碓氷川等の豊かな自然と、中山道・明治時代の鉄道施設等の歴史遺産を有する市となりました。長野県との境をなす碓氷峠に源を持つ清流碓氷川は、いくつもの小河川を合わせ川辺を潤しながら、高崎市へと流れていきます。また、碓氷川にほぼ並行する中山道沿いでは、峠の麓の坂本宿から松井田宿・安中宿を経て板鼻宿に至るまでの街道筋が、今なお人々の行き交う舞台として賑わっています。このような豊かな自然と、古くから培われてきた歴史の中で、今私たちは生きています。これらの遺産を後世へ正しく伝えていくことは、今を生きる我々の責務であると考えます。

さて、ここに報告いたします「高梨子地区遺跡群」は、碓氷川の支流である九十九川右岸に位置しています。今回の発掘調査は、「団体営基盤整備促進事業」に伴うものです。遺跡地周辺は、これまでにも古墳をはじめとして多くの遺跡の存在が確認され、調査が行われてきた地域です。また、松井田町誌によると東山道が通過していたと推定されている地域でもあります。さらに、中世においては、小田原市を拠点とする北条氏の重要な支城の一つ「松井田城」の城下町として栄えた地域でもあります。このように、原始古代の時代から松井田地区の中心的地域であったと考えられる高梨子地区の歴史が、今回の調査によりまた一つ明らかになりました。今回の調査の成果が、郷土の歴史を解明する一助となることを信じています。本書が幅広く活用していただければ誠に幸いと存じます。

最後になりましたが、調査に参加された皆様、報告書刊行に至るまでご指導・ご協力をいただいた多くの方々に、厚く御礼申し上げ序と致します。

平成20年３月

安中市教育委員会

教育長　中澤　四郎

例　　言

1　本書は、団体営基盤整備促進事業高梨子地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書である。

2　調査地は群馬県安中市松井田町高梨子字森下409他である。調査面積は約4,990㎡である。

3　調査は松井田町（平成18年３月、合併により安中市となる。）の委託を受けて、松井田町教育委員会（平成18年３月の合併後は安中市教育委員会）が実施した。平成17年度は調査の一部を株式会社シン技術コンサルに委託した。平成18年度・19年度は安中市教育委員会直営で実施し、壁　伸明が担当した。

4　費用は原因者である松井田町（合併後安中市）が負担した。また、平成18年度・19年度は、一部を文化財保存国庫補助金・県費補助金により実施した。

5　調査期間　　○発掘調査　平成17年度調査　平成17年９月１日～平成18年１月20日
　　平成18年度調査　平成18年７月３日～平成18年10月27日
　　○整理作業　　平成19年４月２日～平成20年３月25日

6　調査区の国家座標取り付け及び測量基準杭の設置は、㈲城峰測量設計事務所に委託して行った。

7　遺構の写真撮影は常深　尚（有限会社毛野考古学研究所）・壁　伸明が行った。

8　土器洗浄・注記・接合復元・遺物実測・トレース・観察表作成の一部を、有限会社毛野考古学研究所に委託して行った。

9　出土遺物・資料類は安中市教育委員会が保管している。

10　発掘調査に従事していただいたのは、次の方々である。（敬称略）

石井　俊介　　宇佐美八江子　　佐藤　光美　　須藤はるの　　高橋　　武　　武田　文吉
多胡わぐり　　土屋　朝子　　中里　徳子　　中島　佐吉　　長井　　明　　萩原今朝治
藤巻　勝江　　町田　一男　　町田　尚子　　湯本　雪江　　吉田　初江

11　整理作業の分担は以下のとおりで、壁がこれを補った。

佐藤　光美 …… 遺構図作成・遺物復元・遺物実測・拓本・トレース
中里　徳子 …… 遺構図作成・遺物復元・遺物実測・拓本・トレース
上原　由美 …… 遺構図作成・遺物復元・遺物実測・拓本・トレース
壁　　伸明 …… 遺物観察・遺物写真・編集　他

12　発掘調査及び整理作業にあたっては、次の方々・機関よりご教示・ご協力をいただいた。（敬称略）

坂口　　一　　神谷　佳明　　高島　英之　　松本　　完　　冨沢　一明　　三浦　京子
有限会社毛野考古学研究所

13　調査組織

平成17年度

教育委員会事務局

教　育　長　小　林　一　郎
社会教育課長　伊　藤　秀　樹
文化財係長　三　浦　尚　明
指導主事　壁　　伸　明（調査担当）

平成18年度

教育委員会事務局

教　育　長　高　橋　重　治（５月退任）

　　中　澤　四　郎

教育部長　佐　藤　伸太郎

学習の森所長　大　野　孝　一

文化財係長　藤　巻　正　勝

主　　査　壁　　伸　明（調査担当）

主　　査　蜂須賀　まゆみ

主　　査　千　田　茂　雄

主　　任　深　町　　真

主　　任　井　上　慎　也

平成19年度

教育委員会事務局

教　育　長　中　澤　四　郎

教育部長　佐　藤　伸太郎

学習の森所長　小　島　成　公

文化財係長　藤　巻　正　勝

主　　査　壁　　伸　明（調査担当）

主　　査　蜂須賀　まゆみ

主　　査　千　田　茂　雄

主　　査　深　町　　真

主　　査　新　井　雅　彦

主　　任　井　上　慎　也

凡　　例

1　各遺構図方位記号は国家座標の北を表している。座標系は国家座標第IXである。

2　遺構断面図、等高線に付した数字は標高を表す。

3　遺構実測図の縮尺は基本的に次のとおりである。

住居跡１/60、カマド１/30、掘立柱建物跡・柵列・土坑・ピット１/40、溝１/100、全体図１/300

4　遺物図版中の縮尺は１/４を基本としている。

5　図中のスクリーントーンは、以下のものを示している。

遺　構　焼土　炭化物

遺　物　煤　粘土　赤変・鉄分　灰釉

内黒　内黒（薄）　墨書　油煙　赤彩

6　17年度･18年度にまたがって調査した遺構の番号は、基本的に17年度のものを踏襲している。また、その場合の遺構出土遺物番号は、17年度の番号の続きを18年度に付している。

7　遺構図中の遺物に付した番号は、出土遺物図の遺物番号に対応している。

8　18年度調査分における土層注記の記号・略称は次のとおりである。

色調＜：より明るい方向を示す（例　１＜２：１より２の方が明るい）

しまり・粘性　◎：あり　○：ややあり　△：あまりなし　×：なし

混入物　◎：大量　○：多量　△：少量　＊：若干　×：なし

WP：白色粒子　YP（As―YP）：板鼻黄色軽石層　BP（As―BP）：板鼻褐色軽石層

RP：ローム粒子　RB：ロームブロック　B（As―B）：浅間Ｂ軽石

9　18年度調査分における出土遺物重量分布図の記号・重量は次のとおりである。

土師器　◯甕　△坏　□高坏　◇甑　▽台付甕　☆その他

須恵器　●甕　▲坏　■羽釜　◆碗　＋皿　×蓋　★その他

重量　○　１～10ｇ　○　～100ｇ　◯　～1000ｇ

目　　次

口　絵
序
例　言
凡　例
目　次

Ⅰ　調査に至る経過 …… 1
Ⅱ　調査の方法と経過 …… 1
　1　発掘調査 …… 1
　2　整理調査 …… 2
Ⅲ　遺跡の地理的・歴史的環境 …… 3
　1　地理的環境 …… 3
　2　歴史的環境 …… 3
Ⅳ　層　　序 …… 5
　1　基本層序 …… 5
Ⅴ　遺跡の概要 …… 5
　1　概　　要 …… 5
Ⅵ　遺構と遺物 …… 9
（17年度調査）
1　高梨子柳下遺跡 …… 9
　(1)　概　　要 …… 9
　(2)　平安時代 …… 9
2　高梨子森下遺跡１区・２区・３区 …… 24
　(1)　概　　要 …… 24
　(2)　縄文時代 …… 24
　(3)　古墳時代 …… 40
　(4)　奈良平安時代 …… 84
　(5)　遺構外出土遺物 …… 116
　(6)　高梨子森下遺跡18号住居跡にみられる
　　貯蔵穴脇の石敷について …… 120
　(7)　高梨子森下遺跡19号住居跡出土の黒色
　　土器について …… 122
（18年度調査）
1　高梨森下遺跡４区 …… 127
　(1)　概　　要 …… 127
　(2)　古墳時代 …… 127
　(3)　平安時代 …… 180
Ⅶ　成果と問題点 …… 195
写真図版
抄　　録

挿図目次

周辺の遺跡位置図 …… 4
第１図　基本土層模式図 …… 5
第２図　高梨子地区位置図 …… 7
第３図　高梨子柳下遺跡 As－Ｂ下水田跡 …… 9
第４図　高梨子柳下遺跡 As－Ｂ下水田跡に
　　残る前代の遺構の痕跡 …… 10
第５図　高梨子柳下遺跡全体図 …… 11
第６図　As－Ｂ下水田跡実測図① …… 12
第７図　As－Ｂ下水田跡実測図② …… 13
第８図　As－Ｂ下水田跡実測図③ …… 14
第９図　As－Ｂ下水田跡実測図④ …… 15
第10図　As－Ｂ下水田跡実測図⑤ …… 16
第11図　As－Ｂ下水田跡実測図⑥ …… 17
第12図　As－Ｂ下水田跡実測図⑦ …… 18
第13図　As－Ｂ下水田跡実測図⑧ …… 19
第14図　水田跡断面実測図 …… 20
第15図　高梨子森下遺跡平成17年度１区
　　全体図 …… 21
第16図　高梨子森下遺跡平成17年度調査
　　２区全体図 …… 22
第17図　高梨子森下遺跡平成17年度調査
　　３区全体図 …… 23
第18図　１区縄文時代遺物包含層実測図 …… 25
第19図　１区縄文時代遺物包含層遺物
　　分布図 …… 26

第 20 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図①…… 27
第 21 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図②…… 28
第 22 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図③…… 29
第 23 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図④…… 30
第 24 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図⑤…… 31
第 25 図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図⑥…… 32
第 26 図　１号炉跡及び出土遺物実測図…… 33
第 27 図　１号・２号住居跡実測図…… 45
第 28 図　３号住居跡実測図…… 46
第 29 図　３号・４号住居跡実測図…… 47
第 30 図　５号住居跡実測図…… 48
第 31 図　６号・11号住居跡実測図…… 49
第 32 図　12号・19号住居跡実測図…… 50
第 33 図　13号住居跡実測図…… 51
第 34 図　15号住居跡実測図…… 52
第 35 図　18号住居跡実測図…… 53
第 36 図　18号・22号住居跡実測図…… 54
第 37 図　26号住居跡実測図…… 55
第 38 図　28号住居跡実測図…… 56
第 39 図　32号・33号住居跡実測図…… 57
第 40 図　33号・41号住居跡実測図…… 58
第 41 図　42号住居跡実測図…… 59
第 42 図　47号・48号・49号住居跡実測図…… 60
第 43 図　６号・７号・８号溝実測図…… 61
第 44 図　１～５号住居跡出土遺物実測図…… 64
第 45 図　５・６・11号住居跡出土遺物実測図… 65
第 46 図　11・12・13・15号住居跡出土遺物実測図…… 66
第 47 図　15・20号住居跡出土遺物実測図…… 67
第 48 図　18・19・22号住居跡出土遺物実測図… 68
第 49 図　22・26号住居跡出土遺物実測図…… 69
第 50 図　26号住居跡出土遺物実測図…… 70
第 51 図　26・28号住居跡出土遺物実測図…… 71
第 52 図　28・32・41・42・47号住居跡出土遺物実測図…… 72
第 53 図　47・48・49号住居跡、６号溝出土遺物実測図…… 73
第 54 図　７号住居跡実測図…… 89
第 55 図　８号・９号住居跡、１号土坑、１号集石実測図…… 90
第 56 図　10号住居跡実測図…… 91
第 57 図　14号・16号・17号住居跡、２号・３号土坑実測図…… 92
第 58 図　21号住居跡実測図…… 93
第 59 図　27号・30号住居跡実測図…… 94
第 60 図　29号・37号住居跡実測図…… 95
第 61 図　31号・43号住居跡実測図…… 96
第 62 図　34号・35号・36号・38号・40号住居跡実測図…… 97
第 63 図　45号住居跡実測図…… 98
第 64 図　46号住居跡、４号・５号土坑実測図…… 99
第 65 図　１号～５号溝、９号～11号溝実測図……100
第 66 図　７・８・10号住居跡出土遺物実測図……102
第 67 図　10・14・17・21号住居跡出土遺物実測図……103
第 68 図　21・24・27・29号住居跡出土遺物実測図……104
第 69 図　30・31・33・34・35号住居跡出土遺物実測図……105
第 70 図　36・37・38・40・43号住居跡出土遺物実測図 …… 106
第 71 図　43・45・46号住居跡、12号溝、As－Ｂ下出土遺物実測図 ……107
第 72 図　遺構外出土遺物実測図①……114
第 73 図　遺構外出土遺物実測図②……115
第 74 図　遺構外出土遺物実測図③……116

第 75 図　石敷を伴う貯蔵穴（住居１／150、貯蔵穴１／60、遺物１／８）……121
第 76 図　群馬県における古墳時代後期の北信系黒色土器……123
第 77 図　高梨子森下遺跡１区・２区・４区全体図……125
第 78 図　20号住居跡……134
第 79 図　23号住居跡……134
第 80 図　52号住居跡……135
第 81 図　53号住居跡……136
第 82 図　55号住居跡……137
第 83 図　59号住居跡……137
第 84 図　56号住居跡……138
第 85 図　58号住居跡……139
第 86 図　61号住居跡(1)……140
第 87 図　61号住居跡(2)……141
第 88 図　62号住居跡……142
第 89 図　63号住居跡……142
第 90 図　64号住居跡(1)……143
第 91 図　64号住居跡(2)……144
第 92 図　65号住居跡……145
第 93 図　66号住居跡……146
第 94 図　71号住居跡……146
第 95 図　69号住居跡……147
第 96 図　70号住居跡……148
第 97 図　出土遺物重量分布図(1)……149
第 98 図　出土遺物重量分布図(2)……150
第 99 図　出土遺物重量分布図(3)……151
第100図　出土遺物重量分布図(4)……152
第101図　出土遺物重量分布図(5)……153
第102図　ピット集中部全体図……153
第103図　１号掘立柱建物跡……154
第104図　２号掘立柱建物跡……154
第105図　１号柵列……155
第106図　２号柵列……155
第107図　６号土坑……155
第108図　７号土坑……156
第109図　８号土坑……156
第110図　９号土坑……156
第111図　10号土坑……156
第112図　13号土坑……156
第113図　７～13、16～19、22～23、28～31、37、39～41号ピット……157
第114図　７号溝……158
第115図　13号住居跡出土遺物……164
第116図　18号住居跡出土遺物……164
第117図　20号住居跡出土遺物……164
第118図　52号住居跡出土遺物……165
第119図　53号住居跡出土遺物(1)……165
第120図　53号住居跡出土遺物(2)……166
第121図　55号住居跡出土遺物……167
第122図　56号住居跡出土遺物……167
第123図　58号住居跡出土遺物(1)……167
第124図　58号住居跡出土遺物(2)……168
第125図　59号住居跡出土遺物……168
第126図　61号住居跡出土遺物(1)……168
第127図　61号住居跡出土遺物(2)……169
第128図　62号住居跡出土遺物……169
第129図　63号住居跡出土遺物……170
第130図　64号住居跡出土遺物……170
第131図　65号住居跡出土遺物(1)……170
第132図　65号住居跡出土遺物(2)……171
第133図　66号住居跡出土遺物……171
第134図　69号住居跡出土遺物……171
第135図　70号住居跡出土遺物……172
第136図　71号住居跡出土遺物……172
第137図　７号溝出土遺物……172
第138図　24号住居跡……182
第139図　51号住居跡……183
第140図　54号住居跡……183
第141図　57号住居跡……184
第142図　67号住居跡……184
第143図　68号住居跡……185
第144図　72号住居跡……185
第145図　11号土坑……185
第146図　出土遺物重量分布図(6)……186

第147図　11～13号溝……187
第148図　24号住居跡出土遺物……190
第149図　51号住居跡出土遺物……191
第150図　54号住居跡出土遺物……191
第151図　57号住居跡出土遺物(1)……191
第152図　57号住居跡出土遺物(2)……192
第153図　68号住居跡出土遺物……192
第154図　72号住居跡出土遺物……192
第155図　12号溝出土遺物……192
第156図　13号溝出土遺物……192
第157図　森下遺跡１区・２区・４区住居跡
　　変遷と主軸(1)……196
第158図　森下遺跡１区・２区・４区住居跡
　　変遷と主軸(2)……197

表 目 次

第 1 表　周辺の遺跡一覧…… 4
第 2 表　１号炉跡出土遺物観察表…… 33
第 3 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表①…… 34
第 4 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表②…… 35
第 5 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表③…… 36
第 6 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表④…… 37
第 7 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表⑤…… 38
第 8 表　縄文時代遺物包含層出土遺物
　　観察表⑥…… 39
第 9 表　古墳時代土層注記①…… 62
第 10 表　古墳時代土層注記②…… 63
第 11 表　１号住居跡出土遺物観察表…… 74
第 12 表　２号住居跡出土遺物観察表…… 74
第 13 表　３号住居跡出土遺物観察表…… 74
第 14 表　４号住居跡出土遺物観察表…… 74
第 15 表　５号住居跡出土遺物観察表…… 74
第 16 表　６号住居跡出土遺物観察表…… 75
第 17 表　11号住居跡出土遺物観察表…… 75
第 18 表　12号住居跡出土遺物観察表…… 75
第 19 表　13号住居跡出土遺物観察表…… 76
第 20 表　15号住居跡出土遺物観察表…… 76
第 21 表　18号住居跡出土遺物観察表…… 77
第 22 表　19号住居跡出土遺物観察表…… 77
第 23 表　20号住居跡出土遺物観察表…… 78
第 24 表　22号住居跡出土遺物観察表…… 78
第 25 表　26号住居跡出土遺物観察表…… 78
第 26 表　28号住居跡出土遺物観察表…… 80
第 27 表　32号住居跡出土遺物観察表…… 80
第 28 表　41号住居跡出土遺物観察表…… 81
第 29 表　42号住居跡出土遺物観察表…… 81
第 30 表　47号住居跡出土遺物観察表…… 81
第 31 表　48号住居跡出土遺物観察表…… 83
第 32 表　49号住居跡出土遺物観察表…… 83
第 33 表　６号溝出土遺物観察表…… 83
第 34 表　平安時代土層注記……101
第 35 表　７号住居跡出土遺物観察表……108
第 36 表　８号住居跡出土遺物観察表……108
第 37 表　10号住居跡出土遺物観察表……108
第 38 表　14号住居跡出土遺物観察表……109
第 39 表　17号住居跡出土遺物観察表……109
第 40 表　21号住居跡出土遺物観察表……109
第 41 表　24号住居跡出土遺物観察表……109
第 42 表　27号住居跡出土遺物観察表……109
第 43 表　29号住居跡出土遺物観察表……109
第 44 表　30号住居跡出土遺物観察表……110
第 45 表　31号住居跡出土遺物観察表……110
第 46 表　33号住居跡出土遺物観察表……110
第 47 表　34号住居跡出土遺物観察表……111
第 48 表　35号住居跡出土遺物観察表……111
第 49 表　36号住居跡出土遺物観察表……111
第 50 表　37号住居跡出土遺物観察表……111

第 51 表　38号住居跡出土遺物観察表……111
第 52 表　40号住居跡出土遺物観察表……112
第 53 表　43号住居跡出土遺物観察表……112
第 54 表　45号住居跡出土遺物観察表……112
第 55 表　46号住居跡出土遺物観察表……113
第 56 表　12号溝出土遺物観察表……113
第 57 表　As―B 下出土遺物観察表　……113
第 58 表　遺構外出土遺物観察表①……117
第 59 表　遺構外出土遺物観察表②……119
第 60 表　20号・23号・52号・53号・55号住居跡
土層注記……159
第 61 表　56号・58号・59号・61号住居跡
土層注記……160
第 62 表　61号・62号・63号・64号住居跡
土層注記……161
第 63 表　65号・66号・69号・70号・71号住居跡、
掘立柱建物跡・柵列・ピット・
土坑土層注記……162
第 64 表　7 号溝土層注記……163
第 65 表　土坑観察表……163
第 66 表　ピット観察表……163
第 67 表　13号住居跡出土遺物観察表……173
第 68 表　18号住居跡出土遺物観察表……173
第 69 表　20号住居跡出土遺物観察表……173
第 70 表　52号住居跡出土遺物観察表(1)……173
第 71 表　52号住居跡出土遺物観察表(2)……174
第 72 表　53号住居跡出土遺物観察表(1)……174
第 73 表　53号住居跡出土遺物観察表(2)……175
第 74 表　55号住居跡出土遺物観察表……175
第 75 表　56号住居跡出土遺物観察表……175
第 76 表　58号住居跡出土遺物観察表(1)……175
第 77 表　58号住居跡出土遺物観察表(2)……176
第 78 表　59号住居跡出土遺物観察表……176
第 79 表　61号住居跡出土遺物観察表(1)……176
第 80 表　61号住居跡出土遺物観察表(2)……177
第 81 表　62号住居跡出土遺物観察表……177
第 82 表　63号住居跡出土遺物観察表……177
第 83 表　64号住居跡出土遺物観察表……178
第 84 表　65号住居跡出土遺物観察表……178
第 85 表　66号住居跡出土遺物観察表……178
第 86 表　69号住居跡出土遺物観察表……179
第 87 表　70号住居跡出土遺物観察表……179
第 88 表　71号住居跡出土遺物観察表……179
第 89 表　7 号溝出土遺物観察表……179
第 90 表　24号・51号・54号・57号・67号・68号
住居跡土層注記……189
第 91 表　72号住居跡・11号土坑・12号溝
土層注記……190
第 92 表　土坑観察表……190
第 93 表　24号住居跡出土遺物観察表……193
第 94 表　51号住居跡出土遺物観察表……193
第 95 表　54号住居跡出土遺物観察表……193
第 96 表　57号住居跡出土遺物観察表(1)……193
第 97 表　57号住居跡出土遺物観察表(2)……194
第 98 表　68号住居跡出土遺物観察表……194
第 99 表　72号住居跡出土遺物観察表……194
第100表　12号溝出土遺物観察表……194
第101表　13号溝出土遺物観察表……194

図版目次

PL. 1　高梨子地区遺跡群 空撮（東から）、高梨子柳下遺跡 空撮（北から）
PL. 2　高梨子森下遺跡 3 区 空撮（北から）、高梨子森下遺跡 3 区 空撮（上が北）
PL. 3　高梨子柳下遺跡 As―B 下水田跡空撮（上が北）、As―B 下水田跡 畦畔検出状態（区画 8 付近、西から）
PL. 4　As―B 下水田跡 畦畔検出状態（区画21～23、北から）、As―B 下水田跡 畦畔検出状態（区画79、北から）
PL. 5　As―B 下水田跡 畦畔検出状態（区画73～78、北から）、As―B 下水田跡 水口検

出状態(区画13東側、北から)、As—B 下水田跡 水口検出状態(区画28北東隅、北から)、As—B 下水田跡 水口検出状態(区画20東側、北東から)、As—B 下水田跡 水口検出状態(区画27北側、北から)

PL. 6　As—B 下水田跡 畦畔断面(P－P′、西から)、As—B 下水田跡 畦畔断面(Q－Q′、西から)、As—B 下水田面にみえる前代の溝状遺構(東から)、As—B 下水田跡下 溝状遺構断面(東から)、As—B 下水田跡下 畦畔断面(南から)

PL. 7　縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(東から)、縄文時代遺物包含層 土層断面(東から)、縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(北から)

PL. 8　縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(東から)、縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(北から)、縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(北から)、縄文時代遺物包含層 遺物出土状態(北から)、1号炉跡 土器出土状態(南から)、1号炉跡内ピット及び焼土検出状態(南から)、1号炉跡断面(東から)、1号炉跡 炉壁検出状態(東から)

PL. 9　1号住居跡 全景(南西から)、1号住居跡 カマド全景(南西から)、1号住居跡 貯蔵穴全景(南西から)、2号住居跡 全景(北西から)、2号住居跡 カマド全景(北西から)

PL.10　3号住居跡 全景(北東から)、3号住居跡 礫出土状態(北から)、3号住居跡 カマド全景(北東から)、3号住居跡 貯蔵穴全景(北東から)、3号住居跡 掘り方(北東から)

PL.11　5号住居跡 カマド遺物出土状態(北西から)、5号住居跡 遺物出土状態(北西から)、5号住居跡 全景(北西から)、5号住居跡 カマド全景(北西から)、4号住居跡 全景(東から)

PL.12　6号住居跡 床面遺物出土状態(北から)、6号住居跡 全景(北から)、6号住居跡 覆土中遺物出土状態(北から)、6号住居跡 カマド周辺遺物出土状態(北から)、6号住居跡 カマド遺物出土状態(北から)

PL.13　6号住居跡 カマド全景(北から)、6号住居跡 カマド袖断面(北から)、11号住居跡 全景(南から)、11号住居跡 床面遺物出土状態(南から)、11号住居跡 覆土中遺物出土状態(南から)

PL.14　11号住居跡 遺物出土状態(東から)、11号住居跡 遺物出土状態(西から)、12号住居跡 全景(南から)、12号住居跡 断面(北から)、12号住居跡 カマド全景(南から)

PL.15　12号住居跡カマド左袖下 臼玉出土状態(南から)、13号住居跡 全景(東から)

PL.16　13号住居跡 遺物出土状態(東から)、13号住居跡 遺物出土状態(西から)、13号住居跡 遺物出土状態(南から)、13号住居跡 遺物出土状態(東から)、15号住居跡 全景(北から)

PL.17　15号住居跡 礫出土状態(西から)、15号住居跡 土器出土状態(北から)、15号住居跡 遺物出土状態(北から)、15号住居跡 遺物出土状態(北から)、15号住居跡カマド全景(西から)

PL.18　15号住居跡 カマド袖断面(西から)、15号住居跡 カマド右袖中遺物出土状態(西から)、18号住居跡 遺物出土状態(西から)、18号住居跡 遺物出土状態(東から)、18号住居跡 遺物出土状態(南から)、18号住居跡 遺物出土状態(西から)、18号住居跡 貯蔵穴脇石敷検出状態(北東から)、18号住居跡 貯蔵穴断面(西から)

PL.19　18号住居跡 全景(南から)、18号住居跡 貯蔵穴脇石敷検出状態(南から)

PL.20　19号住居跡 全景（東から）、19号住居跡 遺物出土状態（東から）、19号住居跡 遺物出土状態（北東から）、19号住居跡 カマド遺物出土状態(北から)、19号住居跡 遺物出土状態（東から）

PL.21　19号住居跡カマド左脇 遺物出土状態(北から)、19号住居跡 カマド全景(南から)、19号住居跡 旧カマド全景（南から）、22号住居跡 遺物出土状態（北から）、22号住居跡 遺物出土状態（西から）

PL.22　22号住居跡 全景（北から）、22号住居跡 遺物出土状態（北から）

PL.23　22号住居跡 カマド全景（北から）、22号住居跡 カマド断面（北から）、26号住居跡 全景(西から)、26号住居跡 土坑（Ｄ－２）検出状態（西から）、26号住居跡 土坑（Ｄ－２）断面（西から）

PL.24　26号住居跡 カマド遺物出土状態（西から）、26号住居跡 遺物出土状態(西から)、26号住居跡 遺物出土状態（西から）、26号住居跡 遺物出土状態（北から）、26号住居跡 遺物出土状態（北から）

PL.25　26号住居跡 遺物出土状態（西から）、26号住居跡 遺物出土状態（北から）、26号住居跡 カマド全景（西から）、26号住居跡 カマド袖断面（西から）、26号住居跡 カマド煙道断面（南から）

PL.26　28号住居跡 遺物出土状態（南東から）、28号住居跡 全景（南東から）、28号住居跡 カマド全景（南東から）、28号住居跡 遺物出土状態(北西から)、28号住居跡 遺物出土状態（北西から）

PL.27　32号住居跡 遺物出土状態（南東から）、32号住居跡 全景（南東から）、32号住居跡 遺物出土状態（南東から）、32号住居跡 遺物出土状態（西から）、32号住居跡 カマド全景（南東から）

PL.28　33号住居跡 カマド礫出土状態(南から)、33号住居跡 全景（南東から）、33号住居跡 遺物出土状態（東から）、33号住居跡 カマド礫出土状態(南東から)、33号住居跡 カマド全景（東から）

PL.29　41号住居跡 全景（南西から）、41号住居跡 遺物出土状態（南から）、41号住居跡 カマド右脇遺物出土状態(南東から)、42号住居跡 遺物出土状態（南東から）、42号住居跡 全景（南西から）

PL.30　42号住居跡 カマド遺物出土状態(南西から)、42号住居跡 カマド全景（南から）、47号住居跡 遺物出土状態（西から）、47号住居跡 遺物出土状態（南から）、48号住居跡 遺物出土状態（北から）

PL.31　６・７・８号溝 全景（南東から）、６・７・８号溝 断面（南東から）

PL.32　７号住居跡 全景（西から）、７号住居跡 カマド全景（西から）

PL.33　７号住居跡 炭化材出土状態（西から）、７号住居跡 カマド全景（西から）、７号住居跡カマド 天井構築材崩落状態(西から)、７号住居跡カマド 燃焼部内壁検出状態（北から）、７号住居跡カマド 支脚検出状態(西から)、７号住居跡カマド 右内壁礫検出状態(北から)、７号住居跡カマド 左内壁礫検出状態（南から）、７号住居跡カマド 左内壁土器検出状態(南から)

PL.34　８号住居跡 全景（西から）、８号住居跡 カマド遺物出土状態(西から)、８号住居跡 遺物出土状態（南から）、８号住居跡 遺物出土状態（西から）、９号住居跡 全景（西から）

PL.35　８号住居跡内 １号集石検出状態（北から）、８号住居跡内 １号集石下土坑検出状態（東から）、10号住居跡 遺物出土状態（西から）、10号住居跡 遺物出土状態（北西から）、10号住居跡 遺物出土状態

（北から）

PL.36　10号住居跡 全景（西から）、10号住居跡 カマド遺物出土状態(西から)、10号住居跡 カマド全景(西から)、14号住居跡 全景(西から)、14号住居跡 カマド全景(西から)

PL.37　17号住居跡 遺物出土状態（北から）、17号住居跡 全景(北から)、21号住居跡 全景（西から）、21号住居跡南東部 礫出土状態（西から）、21号住居跡 カマド遺物出土状態（南から）、21号住居跡 カマド全景（南から）、27号住居跡 全景（南西から）、29号住居跡 全景（南西から）

PL.38　29号住居跡 遺物出土状態（南西から）、29号住居跡 カマド全景（南西から）、30号住居跡全景(南西から)、31号住居跡 遺物出土状態（西から）、31号住居跡 カマド全景（西から）、36号住居跡 全景（南から）、37号住居跡 遺物出土状態（南西から）、43号住居跡 遺物出土状態（南から）

PL.39　45号住居跡 カマド検出状態（西から）、45号住居跡 全景（西から）、45号住居跡 カマド支脚検出状態(西から)、46号住居跡 遺物出土状態(西から)、２号溝 全景（北西から）

PL.40　高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物①

PL.41　高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物②

PL.42　高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物③

PL.43　高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物④

PL.44　１号炉跡出土遺物、高梨子森下遺跡１区 縄文時代包含層出土遺物⑤及び１号炉跡出土遺物

PL.45　１号住居跡出土遺物、２号住居跡出土遺物、３号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物①

PL.46　４号住居跡出土遺物、５号住居跡出土遺物、６号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物②

PL.47　11号住居跡出土遺物、12号住居跡出土遺物、13号住居跡出土遺物①、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物③

PL.48　13号住居跡出土遺物②、15号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物④

PL.49　18号住居跡出土遺物、19号住居跡出土遺物、20号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物⑤

PL.50　22号住居跡出土遺物、26号住居跡出土遺物①、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物⑥

PL.51　26号住居跡出土遺物②、高梨子森下遺跡 古墳時代竪穴住居出土遺物⑦

PL.52　28号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡 古墳時代竪穴住居出土遺物⑧

PL.53　32号住居跡出土遺物、41号住居跡出土遺物、42号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物⑨

PL.54　47号住居跡出土遺物、48号住居跡出土遺物、49号住居跡出土遺物、６号溝出土遺物、高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居出土遺物⑩及び６号溝出土遺物

PL.55　７号住居跡出土遺物、８号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物①

PL.56　10号住居跡出土遺物、14号住居跡出土遺物、17号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物②

PL.57　21号住居跡出土遺物、24号住居跡出土遺物、27号住居跡出土遺物、29号住居跡出土遺物、30号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物③

PL.58　31号住居跡出土遺物、33号住居跡出土遺物、34号住居跡出土遺物、35号住居跡出土遺物、36号住居跡出土遺物、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物④

PL.59　37号住居跡出土遺物、38号住居跡出土遺物、40号住居跡出土遺物、43号住居跡出土遺物①、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物⑤

PL.60　43号住居跡出土遺物②、45号住居跡出土遺物、46号住居跡出土遺物、12号溝出土遺物、As―B下出土遺物、高梨子森下遺跡　奈良時代竪穴住居出土遺物⑥及び12号溝、As―B下出土遺物

PL.61　遺構外出土遺物①

PL.62　遺構外出土遺物②

PL.63　高梨子森下遺跡4区全景(東より)、高梨子森下遺跡4区作業風景

PL.64　13号住居跡セクション(西より)、13号住居跡セクション(北より)、13号住居跡カマドセクション(東より)、13号住居跡カマドセクション(南より)、13号住居跡遺物出土状況(南より)、13号住居跡遺物出土状況、13号住居跡完堀状況（南より)、13号住居跡カマド穴掘状況（南より）

PL.65　18号住居跡セクション(東より)、18号住居跡セクション(南より)、18号住居跡カマドセクション(南より)、18号住居跡カマド完堀状況(西より)、18号住居跡完堀状況（西より）

PL.66　20号住居跡セクション(南より)、20号住居跡カマドセクション(西より)、20号住居跡カマドセクション(南より)、20号住居跡Ｄ１セクション(南より)、20号住居跡遺物出土状況(西より)、20号住居跡完掘状況(南より)、20号住居跡Ｄ１完掘状況(西より)、20号住居跡カマド完掘状況（西より）

PL.67　23号住居跡セクション(南より)、23号住居跡セクション(東より)、23号住居跡カマドセクション(西より)、23号住居跡完掘状況(南より)、23号住居跡遺物出土状況（南より）

PL.68　52号住居跡セクション(南より)、52号住居跡セクション(西より)、52号住居跡カマドセクション(東より)、52号住居跡カマドセクション(南より)、52号住居跡遺物出土状況（南より）

PL.69　52号住居跡Ｄ１セクション(南より)、52号住居跡カマド遺物出土状況（南より)、52号住居跡カマド・Ｄ１完掘状況（南より)、52号住居跡･２号掘立柱建物跡（東より)、52号住居跡完掘状況（南より）

PL.70　53号住居跡セクション(西より)、53号住居跡セクション(南より)、53号住居跡カマドセクション(東より)、53号住居跡カマドセクション(南より)、53号住居跡遺物出土状況（南より）

PL.71　53号住居跡遺物出土状況、53号住居跡Ｄ１セクション(南より)、53号住居跡完掘状況(南より)、53号住居跡カマド完掘状況(南より)､53号住居跡Ｄ１完掘状況(東より)

PL.72　55号住居跡セクション(南より)、55号住居跡セクション(西より)、55号住居跡カマドセクション(南より)、55号住居跡カマドセクション(西より)、55号住居跡Ｄ１セクション(西より)、55号住居跡遺物出土状況(南より)、55号住居跡カマド完掘状況(南より)､55号住居跡完掘状況(南より)

PL.73　56号住居跡セクション(南より)、56号住居跡セクション(東より)、56号住居跡遺物出土状況(南より)、56号住居跡炭化材出土状況、56号住居跡完掘状況(東より)

PL.74　58号住居跡セクション(東より)、58号住居跡セクション(北より)、58号住居跡２

号カマドセクション(北より)、58号住居跡２号カマドセクション(東より)、58号住居跡遺物出土状況（東より）

PL.75　58号住居跡１号カマドセクション（西より)、58号住居跡遺物出土状況、58号住居跡２号カマド・Ｄ１完掘状況（東より)、58号住居跡１号カマド・Ｐ３完掘状況(南より)、58号住居跡完掘状況（東より）

PL.76　59号住居跡セクション(東より)、59号住居跡セクション(南より)、59号住居跡遺物出土状況(南より)、59号住居跡カマドセクション(東より)、59号・67号住居跡、６号土坑完掘状況（南より）

PL.77　61号住居跡セクション(南より)、61号住居跡セクション(西より)、61号住居跡カマドセクション(南より)、61号住居跡カマドセクション(東より)、61号住居跡遺物出土状況(南より)、61号住居跡カマド遺物出土状況、61号住居跡カマド完掘状況（南より)、61号住居跡完掘状況（南より）

PL.78　62号住居跡セクション(西より)、62号住居跡セクション(南より)、62号住居跡カマドセクション(西より)、62号住居跡カマドセクション(南より)、62号住居跡遺物出土状況(北より)、62号住居跡カマド完掘状況(西より)、62号住居跡Ｄ１完掘状況（西より)、62号住居跡完掘状況（北より）

PL.79　63号住居跡セクション(西より)、63号住居跡セクション(北より)、63号住居跡遺物出土状況(北より)、63号住居跡完掘状況（北より)、64号住居跡セクション（南より)、64号住居跡セクション(東より)、64号住居跡１号カマドセクション（東より)、64号住居跡２号カマドセクション（東より）

PL.80　64号住居跡２号カマドセクション（南より)、64号住居跡遺物出土状況(南より)、64号住居跡遺物出土状況(西より)、64号住居跡１号・２号カマド（南より)、64号住居跡完掘状況（西より）

PL.81　65号住居跡セクション(東より)、65号住居跡セクション(北より)、65号住居跡遺物出土状況(南より)、65号住居跡完掘状況（南より)、66号住居跡セクション（東より)、66号住居跡セクション(南より)、66号住居跡遺物出土状況(東より)、66号住居跡完掘状況（東より）

PL.82　69号住居跡セクション(北より)、69号住居跡セクション(西より)、69号住居跡遺物出土状況(東より)、69号住居跡Ｄ１セクション(東より)、69号住居跡完掘状況（東より）

PL.83　70号住居跡セクション（北より)、24号・70号住居跡セクション(東より)、70号住居跡遺物出土状況(南より)、70号住居跡遺物出土状況、70号住居跡完掘状況（東より）

PL.84　71号住居跡セクション(南より)、71号住居跡セクション(東より)、71号住居跡遺物出土状況(東より)、71号住居跡完掘状況(東より)、１号掘立柱建物跡(東より)、２号掘立柱建物跡(東より)、１号柵列(南より)、２号柵列（南より）

PL.85　６号土坑セクション(東より)、６号土坑完掘状況(南より)、７号土坑セクション（南より)、７号土坑完掘状況(南より)、８号土坑セクション(南より)、８号土坑完掘状況（東より)、９号土坑完掘状況、10号土坑セクション（南より）

PL.86　10号土坑完掘状況、13号土坑セクション（東より)、13号土坑完掘状況、７号溝セクション（東より)、７号溝完掘状況（東より）

PL.87　24号住居跡セクション(北より)、24号住

居跡カマドセクション(南より)、24号住居跡カマドセクション(西より)、24号住居跡カマド遺物出土状況(北より)、24号住居跡遺物出土状況（西より）

PL.88　24号住居跡カマド完掘状況(西より)、24号住居跡カマド完掘状況(西より)、51号住居跡セクション(南より)、51号住居跡セクション(西より)、51号住居跡カマドセクション(西より)、51号住居跡カマドセクション(南より)、51号住居跡遺物出土状況(西より)、51号住居跡完掘状況(西より)

PL.89　54号住居跡セクション(北より)、54号住居跡セクション(西より)、54号住居跡カマドセクション(西より)、54号住居跡カマドセクション(南より)、54号住居跡Ｄ１セクション(西より)、54号住居跡遺物出土状況(西より)、54号住居跡カマド遺物出土状況(西より)、54号住居跡完掘状況（西より）

PL.90　57号住居跡セクション(北より)、57号住居跡セクション(東より)、57号住居跡カマドセクション(南より)、57号住居跡カマドセクション(西より)、57号住居跡Ｄ１セクション(西より)、57号住居跡Ｄ１完掘状況、57号住居跡遺物出土状況（西より)、57号住居跡カマド遺物出土状況（西より）

PL.91　57号住居跡カマド完掘状況(西より)、57号住居跡完掘状況(西より)、67号住居跡カマドセクション(東より)、67号住居跡カマド完掘状況(南より)、67号住居跡完掘状況（南より）

PL.92　68号住居跡セクション(北より)、68号住居跡セクション(西より)、68号住居跡カマドセクション(南より)、68号住居跡カマドセクション(西より)、68号住居跡遺物出土状況(西より)、68号住居跡カマド完掘状況(西より)、68号住居跡炭化材出土状況、68号住居跡完掘状況（西より）

PL.93　72号住居跡貼り床セクション（南より)、72号住居跡遺物出土状況(南より)、11号溝セクション(東より)、12号溝セクション（西より)、11号･12号溝完掘状況（東より)、13号溝セクション（東より)、13号溝完掘状況(東より)、13号溝完掘状況（東より）

PL.94　13号住居跡出土遺物、18号住居跡出土遺物、20号住居跡出土遺物、52号住居跡出土遺物（１）

PL.95　52号住居跡出土遺物(２)、53号住居跡出土遺物

PL.96　55号住居跡出土遺物、56号住居跡出土遺物、58号住居跡出土遺物

PL.97　59号住居跡出土遺物、61号住居跡出土遺物、62号住居跡出土遺物

PL.98　63号住居跡出土遺物、64号住居跡出土遺物、65号住居跡出土遺物、66号住居跡出土遺物

PL.99　69号住居跡出土遺物、70号住居跡出土遺物、71号住居跡出土遺物、７号溝出土遺物、24号住居跡出土遺物

PL.100　51号住居跡出土遺物、54号住居跡出土遺物、57号住居跡出土遺物、68号住居跡出土遺物、72号住居跡出土遺物、12号溝出土遺物、13号溝出土遺物

Ⅰ　調査に至る経過

安中市松井田町高梨子地区は、細野原丘陵と松井田丘陵との間を東流する九十九川沿岸に位置している。北方の細野原丘陵との間には比較的急峻な斜面が存在する。一方、南の松井田丘陵には中世の山城である松井田城が存在するなど、やはり急峻な地形が展開している。高梨子の集落及び周辺の田畑は、九十九川沿岸の比較的緩傾斜の土地に営まれているが、田畑は地形の制約を受け、不整形で小規模なものが多い。本地区東方の国衙・下増田地区、西方の関口・養地地区等ではすでに農業基盤整備事業は終了している。効率的な機械化農業に対応するため、本地区においても農業基盤整備事業が実施されることは、時代の当然の流れであると言えよう。

平成15年度、松井田町（当時の農林課、現在は産業課）より同町教育委員会へ、平成16年度より高梨子地区農業基盤整備事業を計画中との連絡があった。当該地域の大部分は九十九川の氾濫原と考えられるが(明治時代の洪水により、一部流路が変わっている場所もある)、担当者の分布調査により下位段丘上微高地及び上位段丘上の一部において、弥生～平安時代を中心とする遺物の散布が確認された。そこで、町と教育委員会で協議した結果、遺物の散布が認められた微高地を中心に試掘調査を実施することが決定された。また、試掘調査は開発工事を実施する前年の冬期に行うこととした。平成15年度に実施した16年度開発区域における試掘調査では遺跡が確認されなかったが、平成16年度に実施した17年度開発区域における試掘調査では、柳下地区においてAs―B下水田が、森下地区において古墳～平安時代の住居跡・溝等が確認された。町と教育委員会で調査について協議した結果、切り土・盛り土等工事の内容変更を行い遺跡を保護することは不可能という結論にいたり、道水路・切り土等によって破壊される可能性が高い部分については発掘調査を実施し記録保存を図ることとした。松井田町より同教育委員会に提出された本発掘調査の依頼を受け、発掘届等の法手続きを経た後、同９月１日より調査を開始した。また、当初発掘調査は17年度中に終了し、18年度は整理作業の計画であったが、工事計画の変更に伴い18年度に高梨子森下遺跡の一部（４区）を調査した。

Ⅱ　調査の方法と経過

１　発掘調査

旧松井田町は埋蔵文化財担当職員が１名であったため、大規模発掘調査は民間調査機関へ再委託をして対応していた。17年度調査においては、旧松井田町の従来の方法で民間発掘調査機関（株式会社シン技術コンサル）へ委託した。平成18年３月、旧松井田町と旧安中市が合併し新安中市となった。以後旧安中市の調査方法に則り教育委員会直営調査とし実施しているため、18年度高梨子地区遺跡群発掘調査も同様の方法で実施した。

本遺跡は、試掘調査より微高地上においては古墳時代～平安時代の集落遺跡、低地においては平安時代生産遺跡（As―B下水田跡）の存在が想定されていた。前述のように発掘調査は平成17年度より行った。民間調査機関へ再委託した17年度は、光波測量を基本としている。また、遺構の記録写真は、35㎜カラーリバーサルフィルム・白黒フィルム（ブローニー）で常深が撮影を行った。教育委員会直営で実

施した18年度は、記録は平板測量を基本とし、スケールは原則的に住居跡を１/20、カマド１/10、溝・ピット１/40とした。遺構の記録写真は、35㎜カラーリバーサルフィルム・白黒フィルムで壁が撮影を行った。作業風景等も適宜撮影した。

発掘調査経過の概略は下記のとおりである。

平成17年度

９月７日：高梨子森下遺跡１区にバックフォー・クローラー搬入。８日：１区の表土掘削を開始。プレハブ・トイレ搬入。９日：発掘器材搬入。テント設営。１区のプラン確認。10日：１区の遺構精査開始。12日：１区の表土掘削終了。13日：１区の杭打ち、遺構断面図・平面図の測量開始。20日：高梨子柳下遺跡の表土掘削を開始。26日：高梨子柳下遺跡の遺構精査開始。10月３日：高梨子柳下遺跡の杭打ち、遺構断面図・平面図の測量開始。21日：高梨子柳下遺跡の空撮を実施。25日：高梨子柳下遺跡の測量終了。11月18日：高梨子森下遺跡２区の表土掘削を開始。21日：２区のプラン確認、杭打ち。22日：２区の表土掘削終了。２区の遺構精査開始。12月２日：１区の調査終了。10日：３区の表土掘削を開始。12日：３区へ器材、テント、トイレ移動。13日：３区の表土掘削終了。14日：３区のプラン確認。15日：３区の遺構精査開始、杭打ち。16日：２区の調査終了。全景写真撮影。29日～：年末年始休暇１月５日：高梨子森下遺跡３区の遺構精査を再開。17日：３区の空撮実施。18日：３区の調査を終了、発掘器材の搬出。

平成18年度

７月14日：調査地除草作業、休憩用テント設営。20日：バックフォー(0.7)・クローラー搬入。24日：表土掘削を開始。25日：プレハブ・トイレ搬入。27日：作業員本格稼働開始。プラン確認。28日：遺構精査開始。精査が終了したものから随時遺構断面図・平面図を作成。８月２～４日：安中市立松井田東中学校２年生３名職場体験学習。８月５日：表土掘削終了。８月４日：バックフォー（0.35、残土処理用）搬入。８日：方眼杭打ち。８月25日：11～13溝実測終了。９月19日：安中市立松井田東中学校１年生18名（選択社会科）発掘現場見学。９月28日～10月４日：ピット群精査・実測。10月20日：空撮。道具・テント搬出。

２　整理調査

整理作業は、平成18～19年度の間断続的に行った。作業は発掘調査で得られた図面・写真・出土遺物を整理し、各遺構・遺物の状態が客観的に把握できるように資料化することを主目的として実施した。報告書における遺構・遺物の記載方法は、ほぼ通例に準じている。

出土遺物は全て水洗いを行い、小破片を除いて注記した。ただし、石鏃等は遺跡名・出土地点等を明記したパッケージに収納した。注記には下記のような略記号を使用した。

遺跡名→高梨子柳下遺跡：TY、高梨子森下遺跡：TM　住居跡→H　包含層→包　溝→M

接合・復元は可能な限り行った。接合にはセメダインCを、復元には必要に応じて石膏・エポキシ系樹脂修復剤（バイサム）を用いたが、基本的には補強を目的としているため、必要最小限の復元にとどめている。また、整理作業の省力化を図るため、遺物の水洗・注記・接合・復元・実測の一部を有限会社毛野考古学研究所に委託して行った。遺物は客観的に時期や特徴を示すものを優先し掲載している。

Ⅲ　遺跡の地理的・歴史的環境

1　地理的環境

安中市は関東平野の周辺部である群馬県西部に位置している。長野県との県境付近に源を発する増田川・九十九川・碓氷川の３本の河川は、北西より南東方向へ流下し、市中央部付近で増田川は九十九川に合流し、市東部でさらに碓氷川に合流している。それぞれの河川の間には河岸段丘が発達し、河川に並行し丘陵が延びている。本遺跡が位置するのは、細野原丘陵と松井田丘陵との間を東流する九十九川流域である。細野原丘陵は、剣の峰（1429.6m）から南東に延びる松井田丘陵より霧積ダム東方付近で分岐し、高戸谷山（739.3m）を経て九十九川と増田川の合流点へと続く丘陵である。本丘陵の北には増田川を隔て長者久保・上野丘陵が並走し、九十九川を隔てた南には松井田丘陵が並走している。遺跡の所在地は、九十九川右岸である安中市松井田町高梨子字森下409他である。遺跡の北には九十九川越しに細野原丘陵を望み、北西から西にかけては長野県境の山々を一望できる。

2　歴史的環境

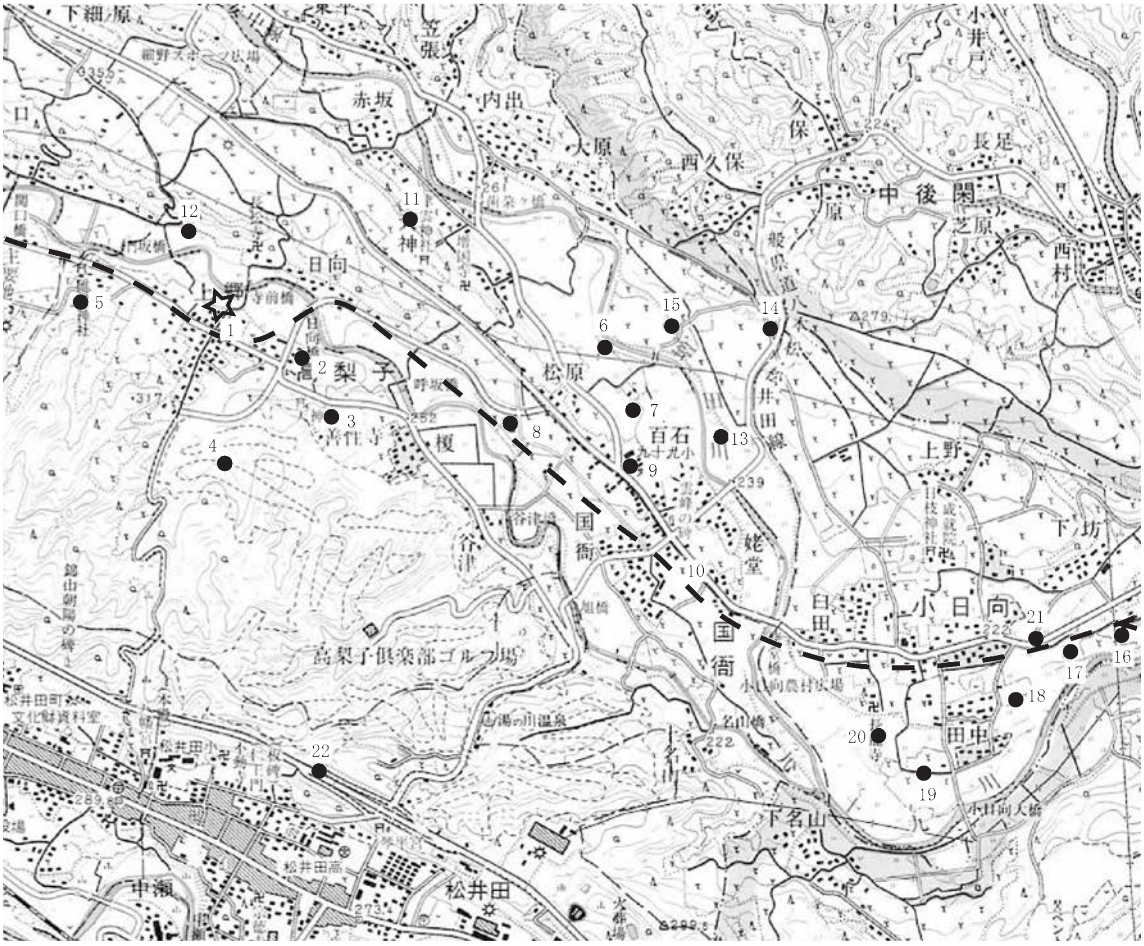
本遺跡の周辺では、縄文時代～奈良・平安時代を中心に多くの遺跡が確認されている。それらについて概観する（括弧内数字は第１表及び第１図に対応する）。

本遺跡（１）の位置する九十九川右岸においては高梨子八木田遺跡（２）・高梨子中貝戸遺跡（３）・高梨子三次郎遺跡（４）・高梨子碓貝戸遺跡（５）等の遺跡が確認されている。

東方の九十九川と増田川の合流点に近い細野原丘陵南東端付近においては、広範にわたり縄文時代～近世の遺跡が確認されており、国衙遺跡群を構成している。国衙遺跡群を構成する遺跡として、下増田上田中遺跡（６）・下増田下田中遺跡（７）・国衙森浦朝日遺跡（８）・下増田松原遺跡（９）等があげられる。また、古代律令体制期の官道である東山道（10）は本地域を通過していたとする考えもある。さらに、本遺跡の北方の細野原丘陵上及び下位の段丘上においては、下増田天神原遺跡（11）・高梨子椚坂遺跡（12）等が確認されている。

細野原丘陵の北を東流する増田川左岸においては、下増田百石遺跡（13）・下増田下原遺跡（14）・下増田十二平遺跡（15）等が調査されている。さらに増田川を合わせた九十九川左岸の小日向地区においては、土地改良事業に伴い平成16年度より発掘調査が開始され、弥生後期～平安時代の集落である小日向遠丸遺跡・小日向遠地谷戸遺跡・小日向瀧遺跡（16）・小日向壱丁田遺跡（17）・小日向田中遺跡（18）・小日向田中西遺跡（19）・小日向白山遺跡（20）の存在が確認されている。また、周辺には天皇塚・琴平山古墳（21）等多数の古墳が存在し、前述の７遺跡とともに小日向地区遺跡群を構成している。

さらに南方の碓氷川との分水嶺を成す松井田丘陵上には、奈良・平安時代の良好な資料が出土している愛宕山遺跡（22）が存在する。



周辺の遺跡位置図

No.	遺　跡　名	所　在　地	縄文	弥生	古墳	奈・平	備　考	参考文献No.
1	高梨子地区遺跡群	安中市松井田町高梨子409他	○		○	○	本書報告遺跡	
2	高梨子八木田遺跡	安中市松井田町高梨子字八木田		○	○	○	遺物散布地	
3	高梨子中貝戸遺跡	安中市松井田町高梨子字中貝戸		○		○	遺物散布地	
4	高梨子三次郎遺跡	安中市松井田町高梨子甲1,117他	○			○	縄文時代、奈良・平安時代集落	1
5	高梨子碓貝戸遺跡	安中市松井田町高梨子1,495-1他		○	○	○	弥生時代～平安時代集落	
6	下増田上田中遺跡	安中市松井田町下増田554他	○	○	○	○	１号古墳はＴ字形石室を有する	
7	下増田下田中遺跡	安中市松井田町下増田甲360他	○		○	○	平成６年松井田町教育委員会調査	
8	国衙森浦朝日遺跡	安中市松井田町国衙21-1他			○		昭和59～60年松井田町教育委員会調査	
9	下増田松原遺跡	安中市松井田町下増田447-1他	○				縄文時代集落	2
10	東山道	安中市松井田町国衙他				○	本遺跡付近を通過するとする考えもある	3
11	下増田天神原遺跡	安中市松井田町下増田996他	○			○	三角壔形土製品出土（表採）	4
12	高梨子椚坂遺跡	安中市松井田町高梨子字椚坂		○			遺物散布地	
13	下増田百石遺跡	安中市松井田町下増田2,763他			○		平成５年松井田町教育委員会調査	
14	下増田下原遺跡	安中市松井田町下増田2,674-1他	○			○	縄文時代、奈良・平安時代集落	5
15	下増田十二平遺跡	安中市松井田町下増田甲2,599				○	平成８年松井田町教育委員会調査	
16	小日向瀧遺跡	安中市松井田町小日向943-3他		○	○		弥生時代集落、古墳	
17	小日向壱丁田遺跡	安中市松井田町小日向821他	○	○	○		縄文時代列石、弥生時代集落、古墳	
18	小日向田中遺跡	安中市松井田町小日向116他		○	○	○	弥生～古墳時代集落、古墳	
19	小日向田中西遺跡	安中市松井田町小日向227他	○		○	○	縄文時代集落、古墳～平安時代集落	
20	小日向白山遺跡	安中市松井田町小日向456他			○		古墳時代集落	
21	琴平山古墳	安中市松井田町小日向857他			○		６世紀前半の前方後円墳	3
22	愛宕山遺跡	安中市松井田町松井田1,058他			○	○	古墳～平安時代集落	6

（参考文献）

1　長井正欣他　『高梨子三次郎遺跡』1998年　松井田町埋蔵文化財調査会
2　壁　伸明　『下増田松原遺跡』　2006年　松井田町教育委員会
3　関　光保他　『松井田町誌』　1985年　松井田町誌編さん委員会
4　田口　修　『下増田天神原遺跡』1993年　松井田町教育委員会
5　金子正人他　『下増田下原遺跡』　2001年　松井田町下増田下原遺跡調査会
6　徳江秀夫他　『愛宕山遺跡』　2000年　群馬県教育委員会・(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団

第１表　周辺の遺跡一覧

Ⅳ　層　　序

1　基本層序

本遺跡地の土層は大きく以下の７層に分類できる。

第Ⅰ層　褐灰色土　As―Ａ混。水田耕作土。粘質。

第Ⅱ層　褐色土　　As―Ｂ混。

第Ⅲ層　明褐色土　As―Ｂ一次堆積。

第Ⅳ層　黒褐色土　粘質。

第Ⅴ層　黒色土　　白色パミスが混入する場合あり。

第Ⅵ層　暗褐色土　しまりあり。

第Ⅶ層　黄褐色土　地山のローム。

第１図　基本土層模式図

高梨子柳下遺跡の平安時代水田は第Ⅲ層下面で、高梨子森下遺跡の古墳時代～平安時代住居跡はⅥ層上面付近で確認した。

Ⅴ　遺跡の概要

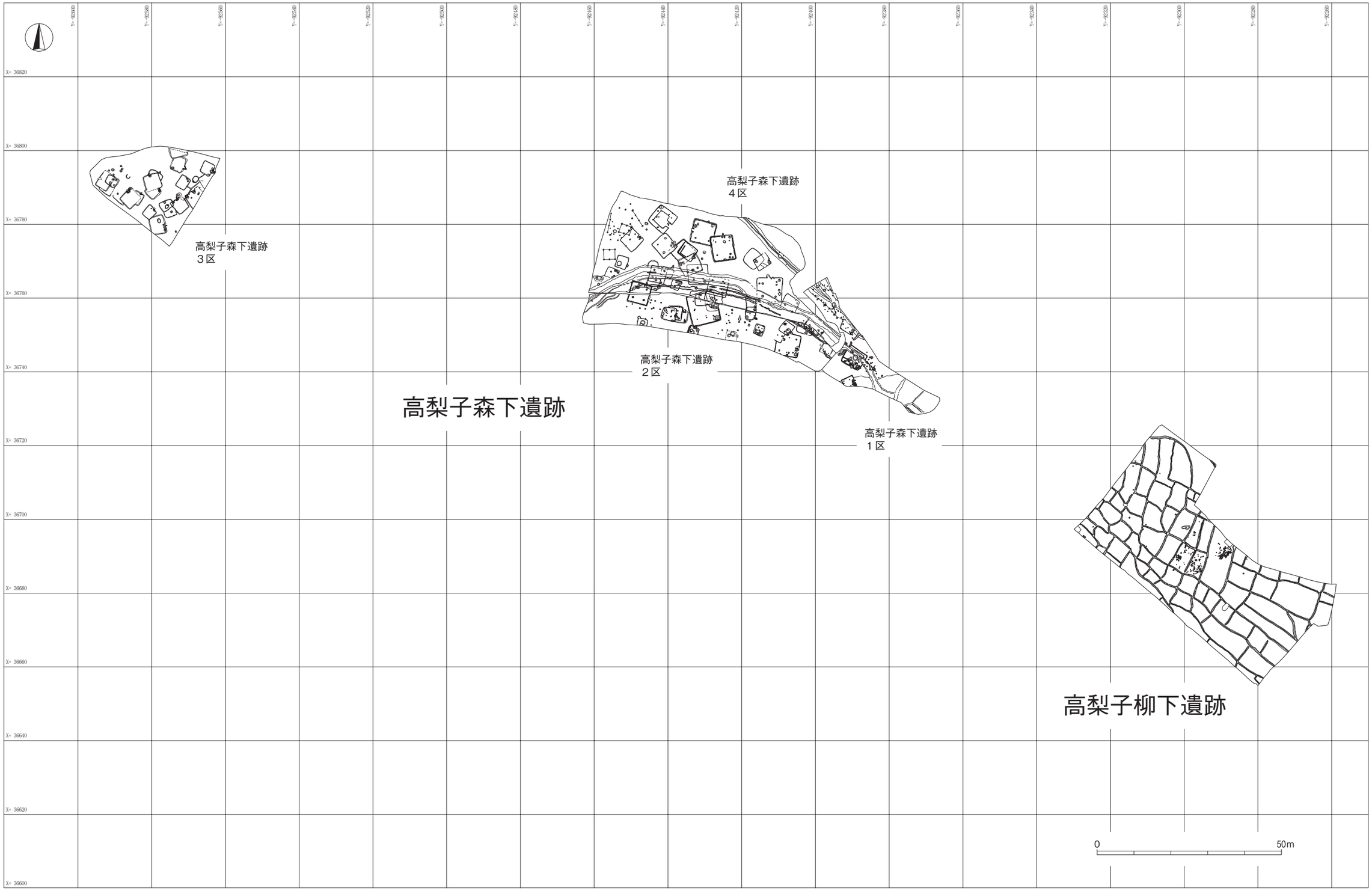
1　概　要

今回の調査では、高梨子柳下遺跡においては平安時代の水田跡（As―Ｂ下水田跡）が検出された。高梨子森下遺跡においては、縄文時代後晩期遺物包含層、古墳時代～平安時代の住居跡・溝等が検出された。

高梨子柳下遺跡において検出されたAs―Ｂ下水田跡は、九十九川右岸の緩やかな北斜面上で検出されており、地形の制約を受けた比較的小区画のものである。今回の調査地の南側では、現在でも豊富な湧水が認められる。水田区画は湧水に近いところほど小規模である傾向が認められる。また、高梨子森下遺跡で検出された比較的大規模な溝は、九十九川上流方向より上位段丘下に沿うよう確認されており、As―Ｂ下水田への導水路の可能性が考えられる。

高梨子森下遺跡の東部においては、縄文時代後晩期の遺物包含層が確認された。包含層が検出されたのは、高梨子柳下遺跡から続く水田域と、古墳～平安時代の住居群が展開する微高地との境界をなす浅い谷地付近である。狭小な区域に多数の土器片が出土しているが、当該期の遺構検出には至っていない。微高地上に展開する住居跡群は古墳時代前期から平安時代に構築されたものであり、住居軒数のピークは古墳時代後期と平安時代前期にある。また、前述の柳下遺跡As―Ｂ下水田への導水路と考えられる溝は、平安時代前期の住居跡を壊して構築されており、溝より新しい住居跡は存在しない。よって、柳下遺跡における水田の開墾または再開発に伴い、森下遺跡の居住域が移動した可能性も考えられる。

高梨子柳下遺跡
高梨子森下遺跡１区・２区・３区
（平成17年度調査）



第２図　高梨子地区遺跡群遺跡位置図

Ⅵ　遺構と遺物

1　高梨子柳下遺跡

（1）概要

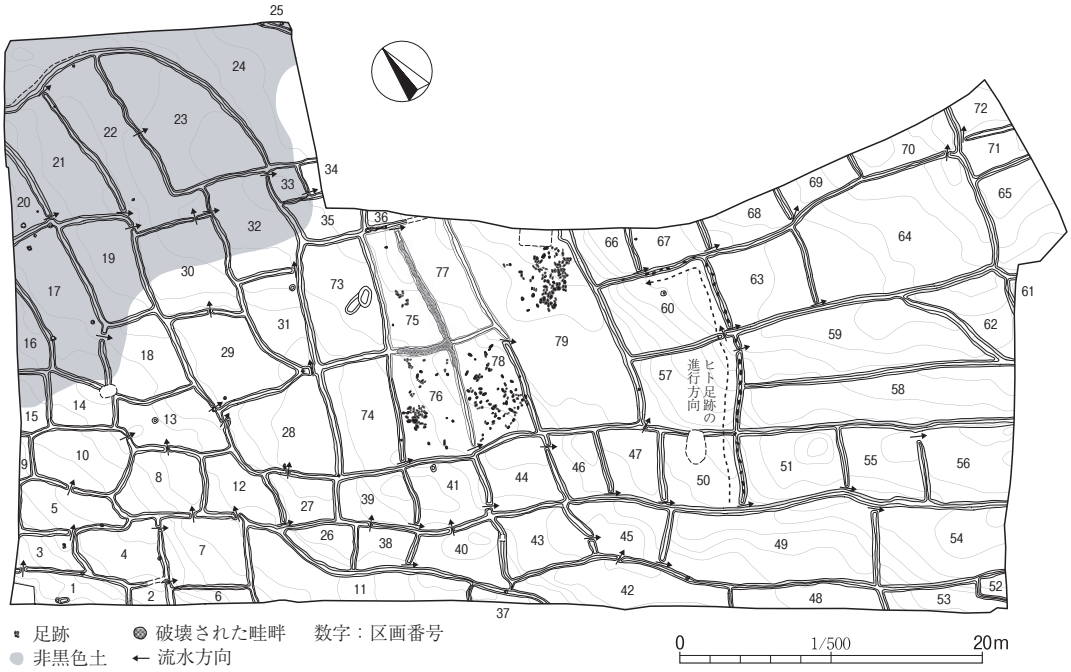
調査区は九十九川南岸沿いの狭い低地帯にあり、南側の背後には松井田丘陵が迫っている。調査区の標高は東へ緩やかに下っている（標高257.2m～255.7m）。調査区全域にわたり、表土下70㎝付近に浅間Ｂ軽石（1108年、以下As-B）が確認された。As-Bの層厚は最大で40㎝を測る。As-B直下には畦畔が検出され、イネのプラント・オパールも高い密度で検出されたことから、周辺に平安時代の水田跡（以下、As-B下水田跡）が広がることが判明した。また、部分的な試掘により、As-B下水田跡の下に洪水層及びそれに覆われた畦畔状の高まりや溝が検出されたことから、平安時代より古い水田の存在が指摘される。

（2）平安時代

As-B下水田跡（第３～14図、PL.３～６）

As-B下水田跡は79個の区画で構成されている（区画１～79、第３図）。各区画の形状は多様で、規模も４㎡（区画33）～105㎡（区画79推定値）の幅がある。畦畔は幅８㎝～70㎝、高さは最大で25㎝を測る。水田面の標高は区画１（256.40m）から区画72（254.35m）の間で2.05mの高低差がある。水口は各区画の北側ないし東側の畦畔に設けられ、総じて西から東へと配水されている。水源は高梨子森下遺跡１区東端の谷地における湧水と考えられ、同遺跡１号溝により取水したと想定される。水口付近の畦畔上ないし水田面には、水口を塞ぐのに適した大きさの礫が出土する事例が調査区西側で多く、区画13の東側畦畔では実際に水口を塞いだ状態の礫が検出されている（PL.５）。区画50・57・60の東側畦畔上には北向きのヒトの足跡が検出され、区画60の北側畦畔を通り、区画79へと向かっている。

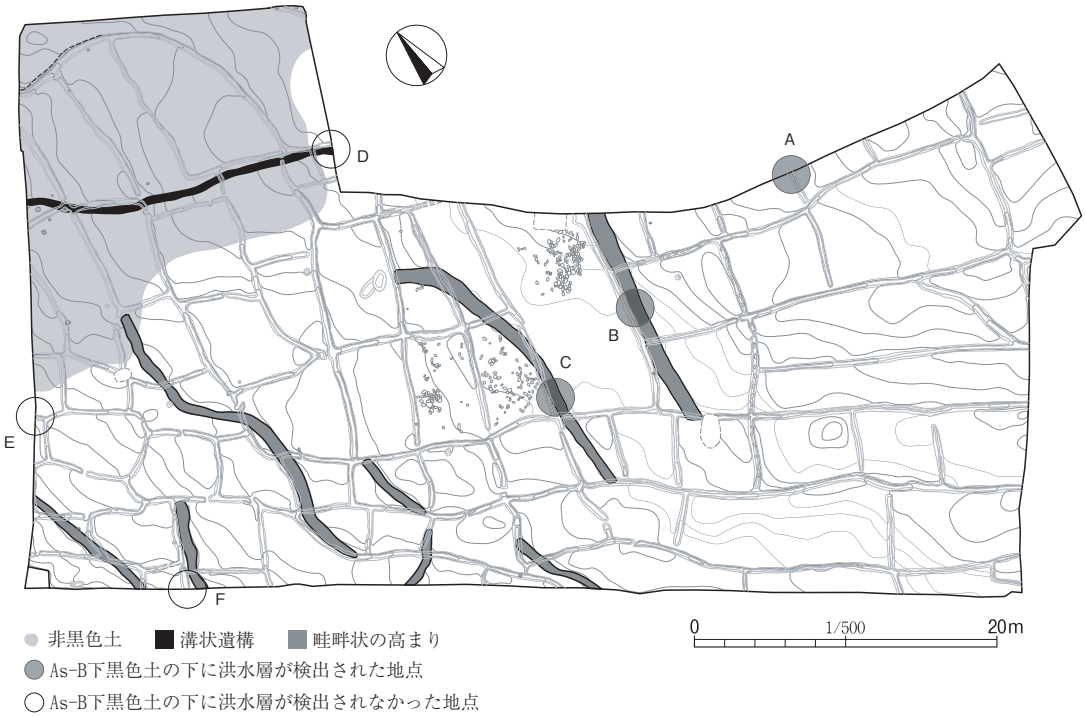
調査区の中央には導水を受けない区画が存在する（区画73～79）。これらの区画は総体としては南北15m、東西20mほどの長方形プランを呈し、その中を短冊形に分割したものである。他の区画に比べ、整った形状とフラットな水田面が特徴的である。区画75・76・78・79には動物の足跡が集中的にみられる。



第３図　高梨子柳下遺跡As-B下水田跡

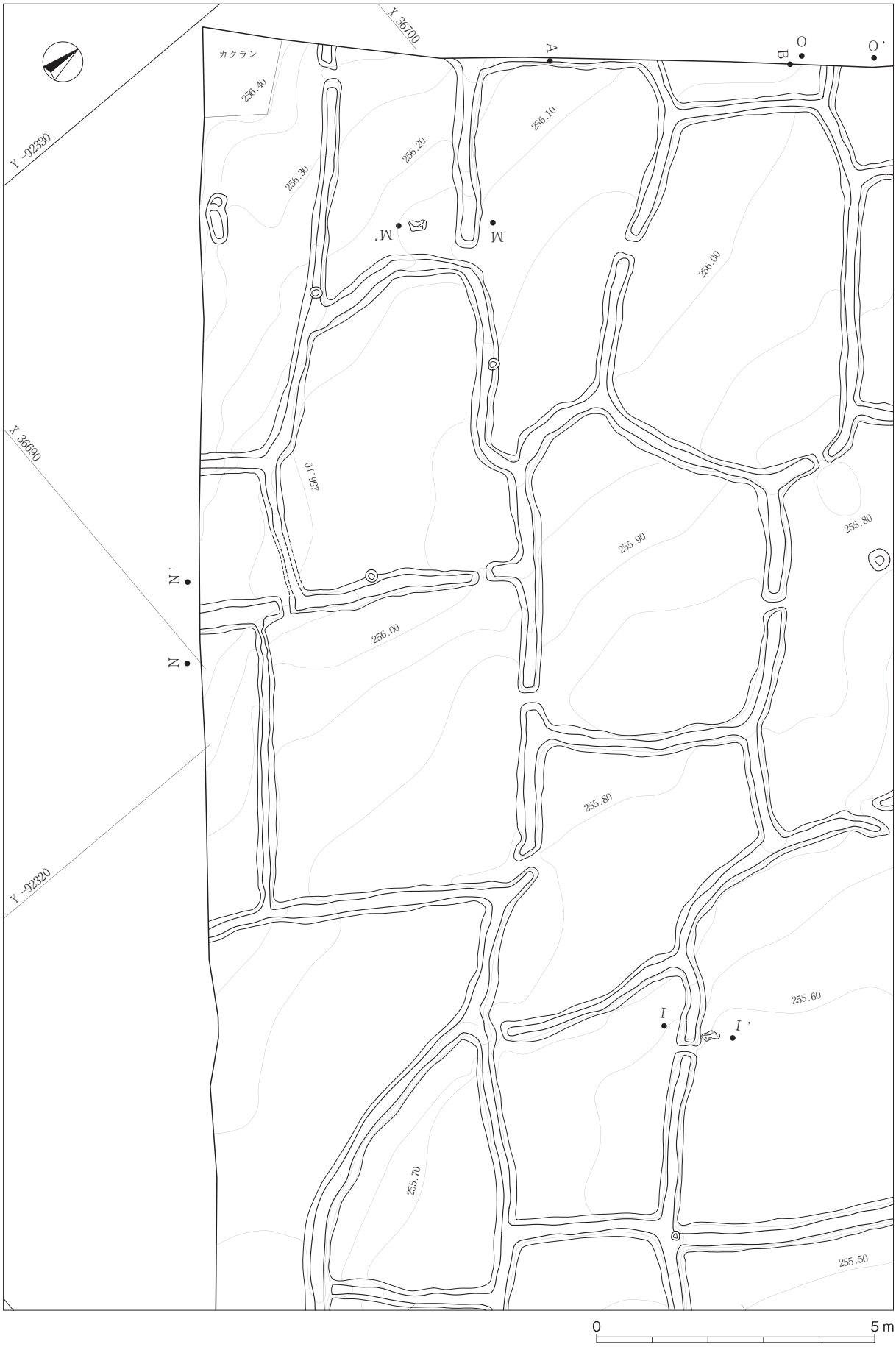
さらに、区画75・76・77間の畦畔は人為的に破壊され、わずかに残る高まりと鋤状の工具痕が検出された。区画73には深さ５～８㎝の土坑状の掘り込みが２基重なって検出された。これらのことから、As-B降下直前の段階に、調査区中央部で何らかの作業が行われていたことは明らかである。後述するが、As-B下水田跡の水田面には、前代の水田跡の畦畔の影響から帯状の高まりが存在する。これを解消し、水田面を水平にするための区画整備が、調査区中央付近から始められていた可能性が考えられる。区画75～78は畦畔を取り去ることで区画79に近い大規模な区画となる。整備作業は区画の水平化と大規模化を志向していたと考えられる。

ところで、調査の最終段階に至って、区画33・34付近から西へ延びる溝状遺構のプランがソイルマークとして浮かび上がってきた（第４図、PL.６）。試掘したところ、幅55㎝、深さ10㎝の溝状の掘り込みが確認され、As-B下水田跡より古い遺構の存在が明らかとなった。この溝の存在が、As-B下水田跡における極めて小さな区画33・34あるいは狭い張り出しを有する区画22の形状に影響を与えたものと考えられる。この溝状遺構の検出を契機として、As-B下水田跡に残る複数の帯状の高まり（第４図）が、前代の水田跡の畦畔によるものである可能性が高まった。例えば、区画60の水田面は傾斜が急であり、西半は東側畦畔頂部より20㎝ほど高く、全く水に浸からない。この西半の高まりは区画57や区画66にも延びている。試掘したところ、Ｂ地点で幅１ｍ、高さ15㎝、Ｃ地点で幅50㎝、高さ５㎝の畦畔が確認された。また、Ａ地点ではAs-B下水田跡の畦畔の真下に同規模の畦畔が確認された。これら３地点では、古い畦畔を覆う洪水層の存在も確認され、洪水層下の土壌からイネのプラント・オパールが高密度で検出された。これらのことから、時期の特定はできないものの、As-B下水田跡より古い水田跡の存在が明らかとなった。古い水田跡の土壌はAs-B下水田跡に比べ乾燥化しており、調査区北西部ではAs-B下においても乾燥していた（第３図、非黒色土）。古い水田跡は、洪水層の堆積を契機に湿潤化が始まり、As-B降下時には湿田化していたと考えられる。

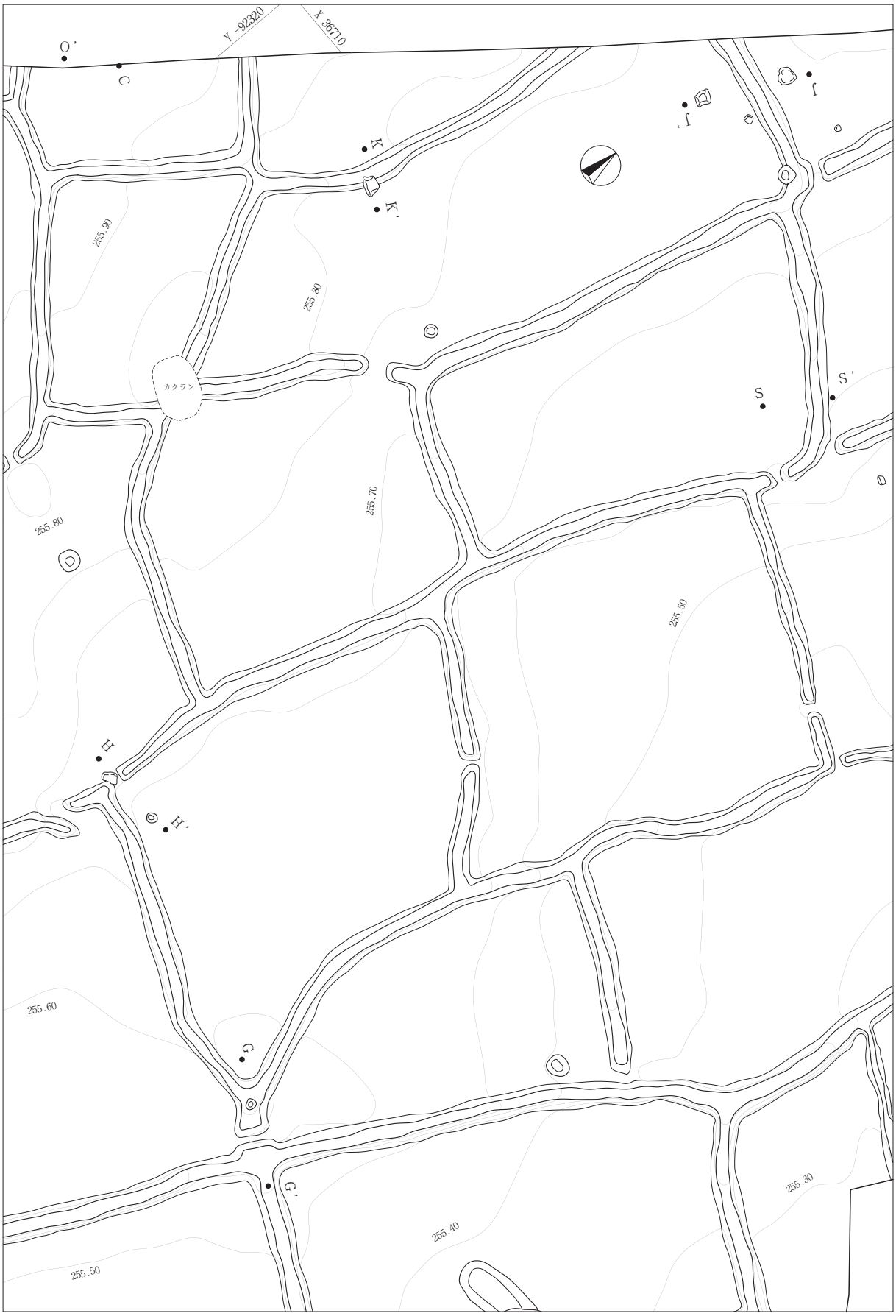


第４図　高梨子柳下遺跡As-B下水田跡に残る前代の遺構の痕跡

第５図　高梨子柳下遺跡全体図



第６図　As-B下水田跡実測図①

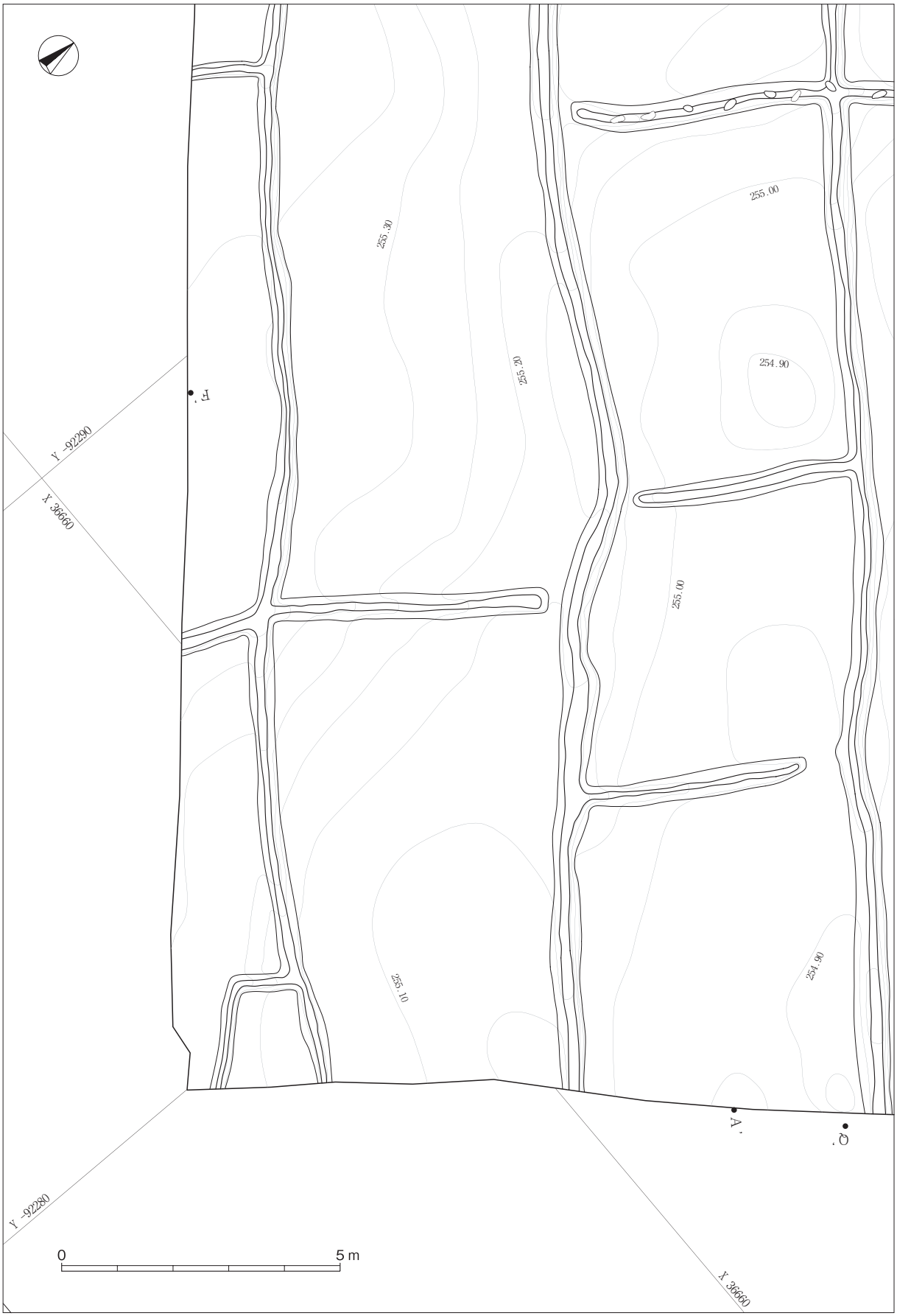


第７図　As-B下水田跡実測図②

第８図　As-B下水田跡実測図③

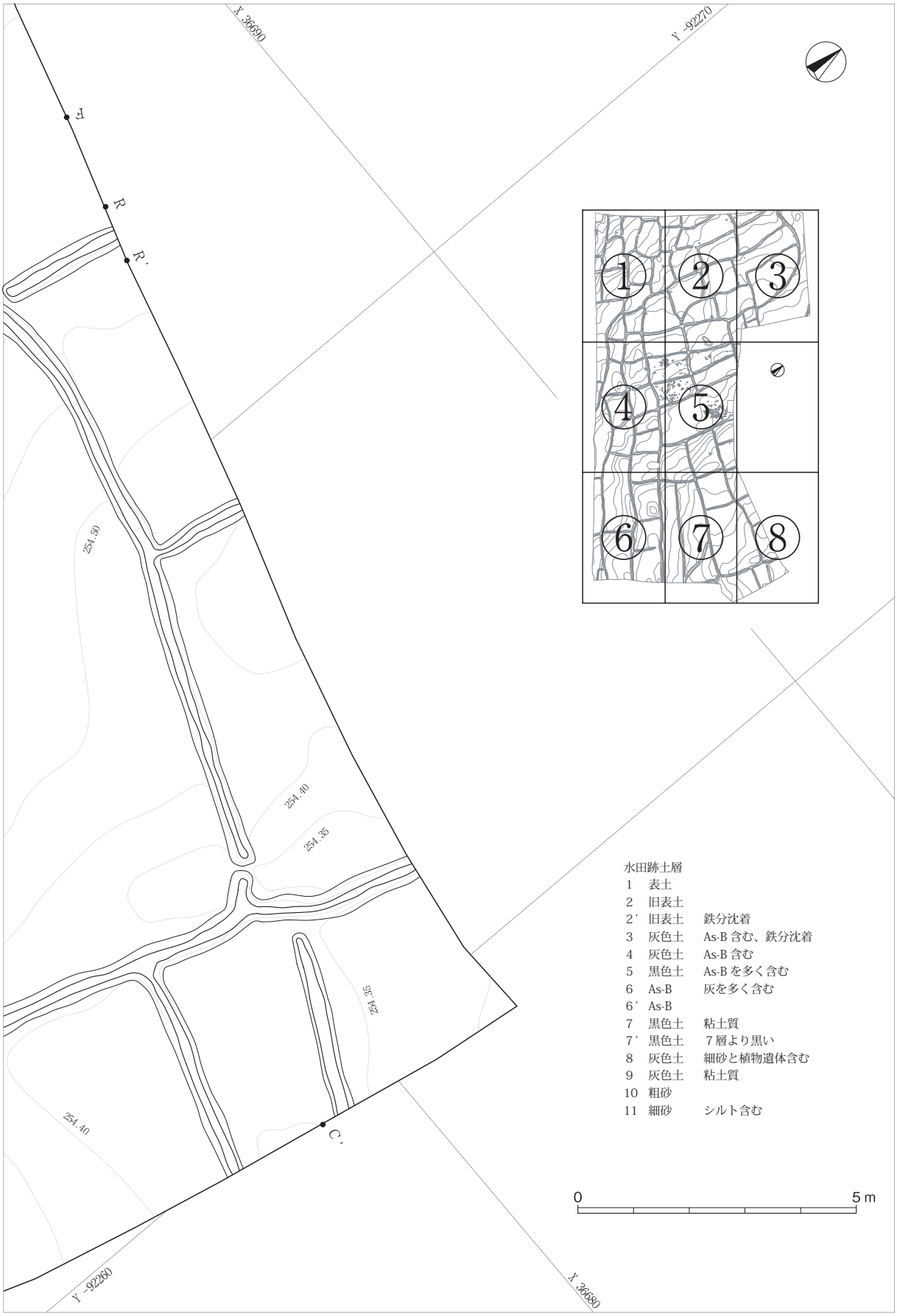
第９図　As-B下水田跡実測図④

第10図　As-B下水田跡実測図⑤

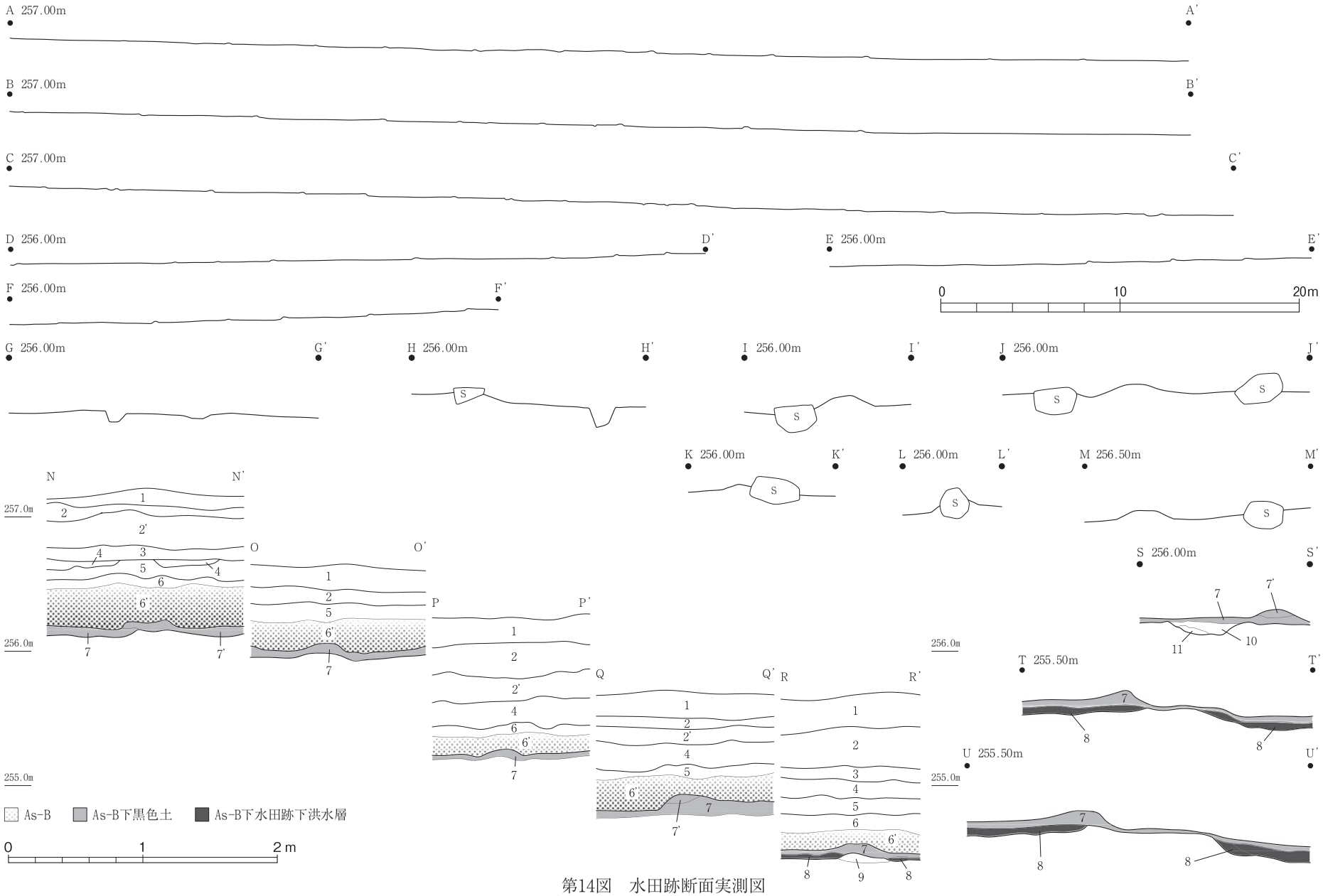


第11図　As-B下水田跡実測図⑥

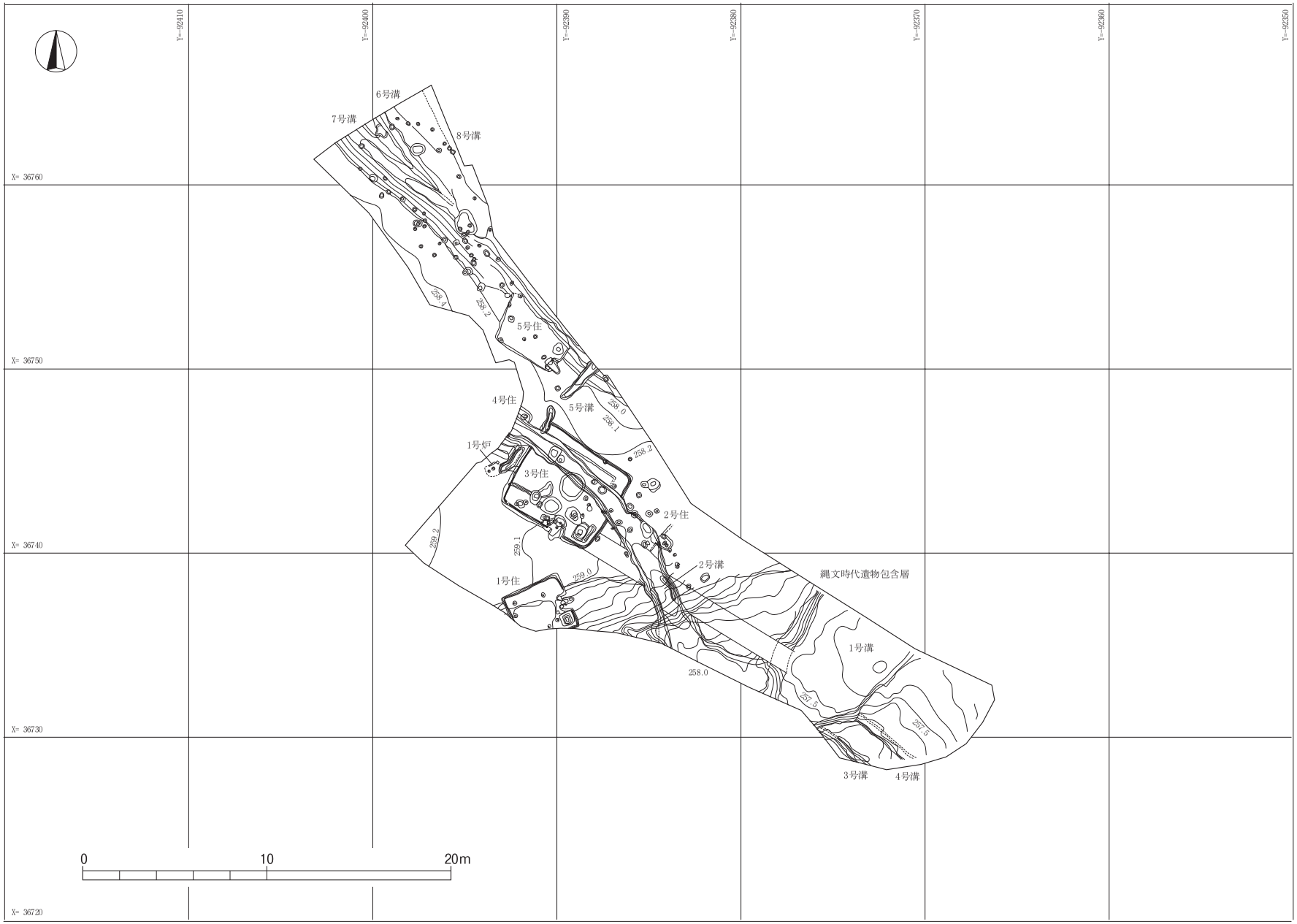
第12図　As-B下水田跡実測図⑦



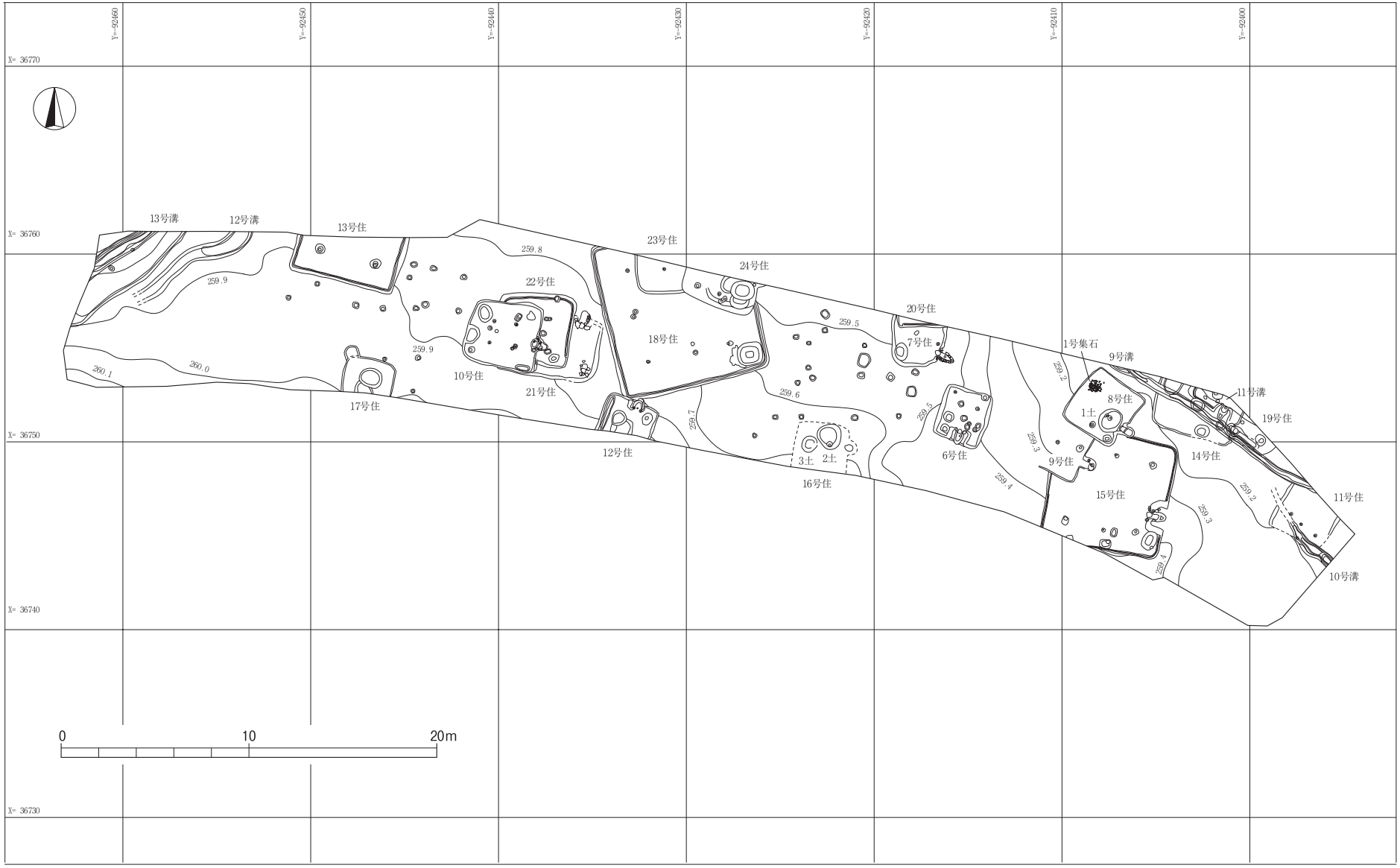
第13図　As-B下水田跡実測図⑧



第14図　水田跡断面実測図



第15図　高梨子森下遺跡平成17年度１区全体図



第16図　高梨子森下遺跡平成17年度調査２区全体図

第17図　高梨子森下遺跡平成17年度調査３区全体図

２　高梨子森下遺跡１区・２区・３区（平成17年度調査）

（１）概要

調査区は高梨子柳下遺跡の西に隣接する１区・２区と、さらに西へ110m離れた３区からなる。検出された遺構は、縄文時代の炉跡１基と遺物包含層、古墳時代～平安時代の竪穴住居跡47軒、土坑５基、溝13条、ピットである。縄文時代の遺物包含層は、１区の東端で検出された谷地に堆積したものである。竪穴住居跡は古墳時代中期から後期が23軒、奈良時代が１軒、平安時代が23軒である。なお、39号･44号住居跡は欠番である。20号・23号・24号・25号の遺構図と遺構説明、13号・18号・19号住居跡の遺構説明は平成18年度分に掲載している。

（２）縄文時代

遺物包含層（第18～25図、第３～８表、PL.７・８・40～44）

１区東端には南西から北東方向へ流下する小規模な谷地状の地形があり、As-Bの堆積が確認された。As-B以下には黒色土が堆積し、その層厚は最大で70㎝を測る。この黒色土（第18図15～18層）は縄文時代の土器破片を包含していた。

土器破片が示す時期・型式の幅は、上限が中期中葉の勝坂２式、下限が晩期中葉の佐野Ⅱ式となる。このうち多数を占めるのは、後期中葉の曾谷式と、晩期中葉の天神原式をはじめとする安行３ｂ式併行の土器、および佐野Ⅱ式である。

いずれにおいても、各種精製土器と粗製土器の双方が多く出土しており、とりわけ粗製土器の量が突出する。また、安行３ｂ式期の土器群のほか、曾谷式に対する新地式（瘤付土器）といったように、西毛地域で主体をなす型式に加え、併行関係にある他地域由来の土器が一定量含まれている。これらは、往時の当該地近辺で日常的な生業活動はもちろん、周辺地域との交流が活発に行われていたことを示唆する事象といえる。

なお、曾谷式と佐野Ⅱ式については、残存する部位や状態によっては両者を截然と区別できない場合が多く、これが時期・型式別の明確な数量比ないし重量比を計算するうえでの障害となっている。瑣末なところでは、多数見つかっている底部破片の底面について、木葉痕をもつ例が比較的多く、佐野Ⅱ式期の土器成形技法の一端を反映している可能性があることを指摘しておきたい。

１号炉跡（第26図、第２表、PL.８・44）

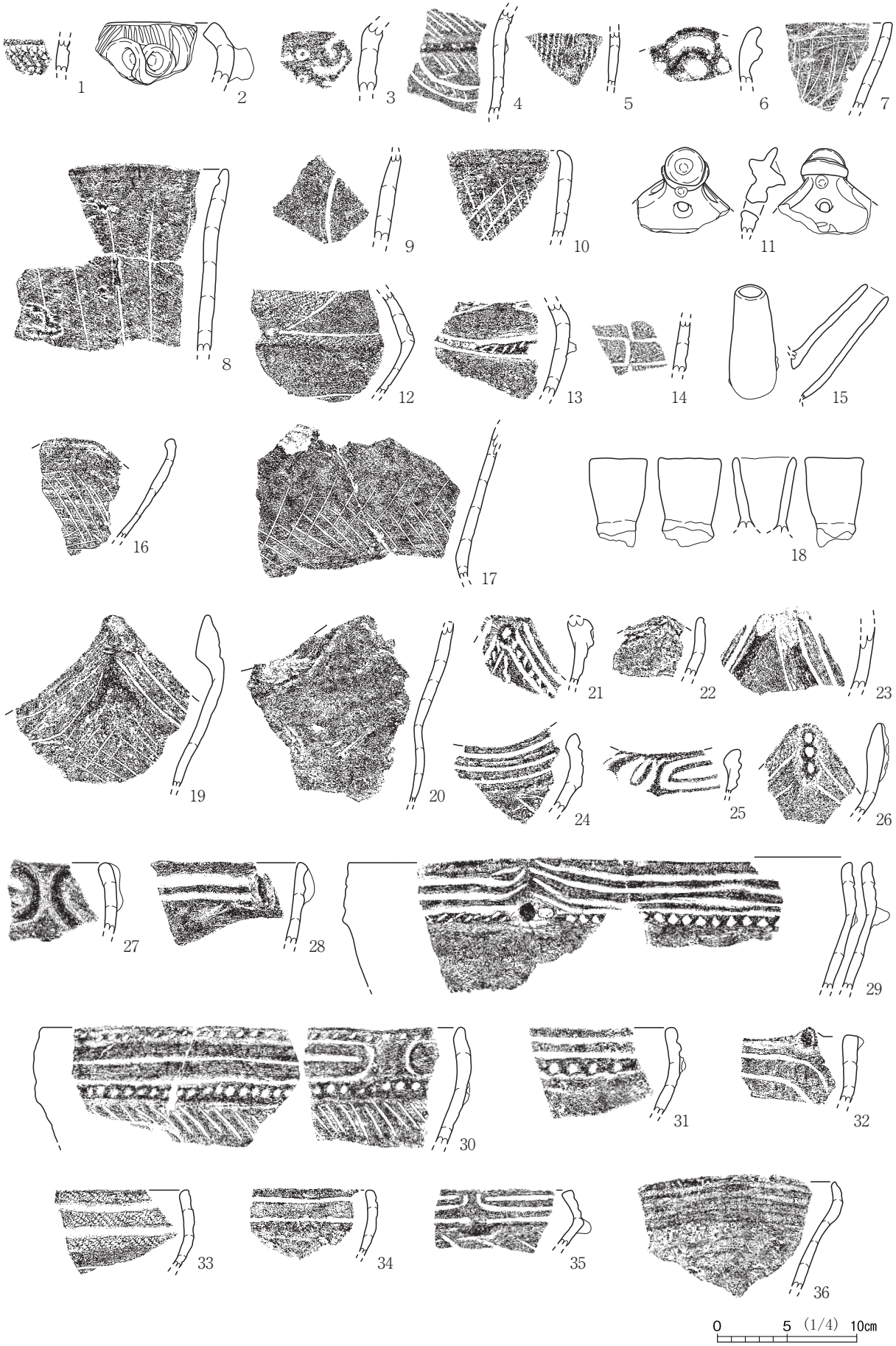
上記の遺物包含層を検出した谷地から西へ10ｍの地点で検出された炉跡である。長軸90㎝、短軸70㎝の長方形を呈する。高さ約20㎝の板状摂理をもつ泥岩を立て並べた中に、黒褐色土を充填し、使用面を構築している。ただし、北隅以外の石は遺存していなかった。石で囲まれた内側はうっすらと被熱していた。炉跡内には長軸に沿って３基のピットが並んでおり、北端のピットには深鉢の上半部と下半部が重なって検出された。この深鉢は別個体であるが、煤の付き方などから、重なった状態で使用されたと考えられる。

第18図　1区縄文時代遺物包含層実測図

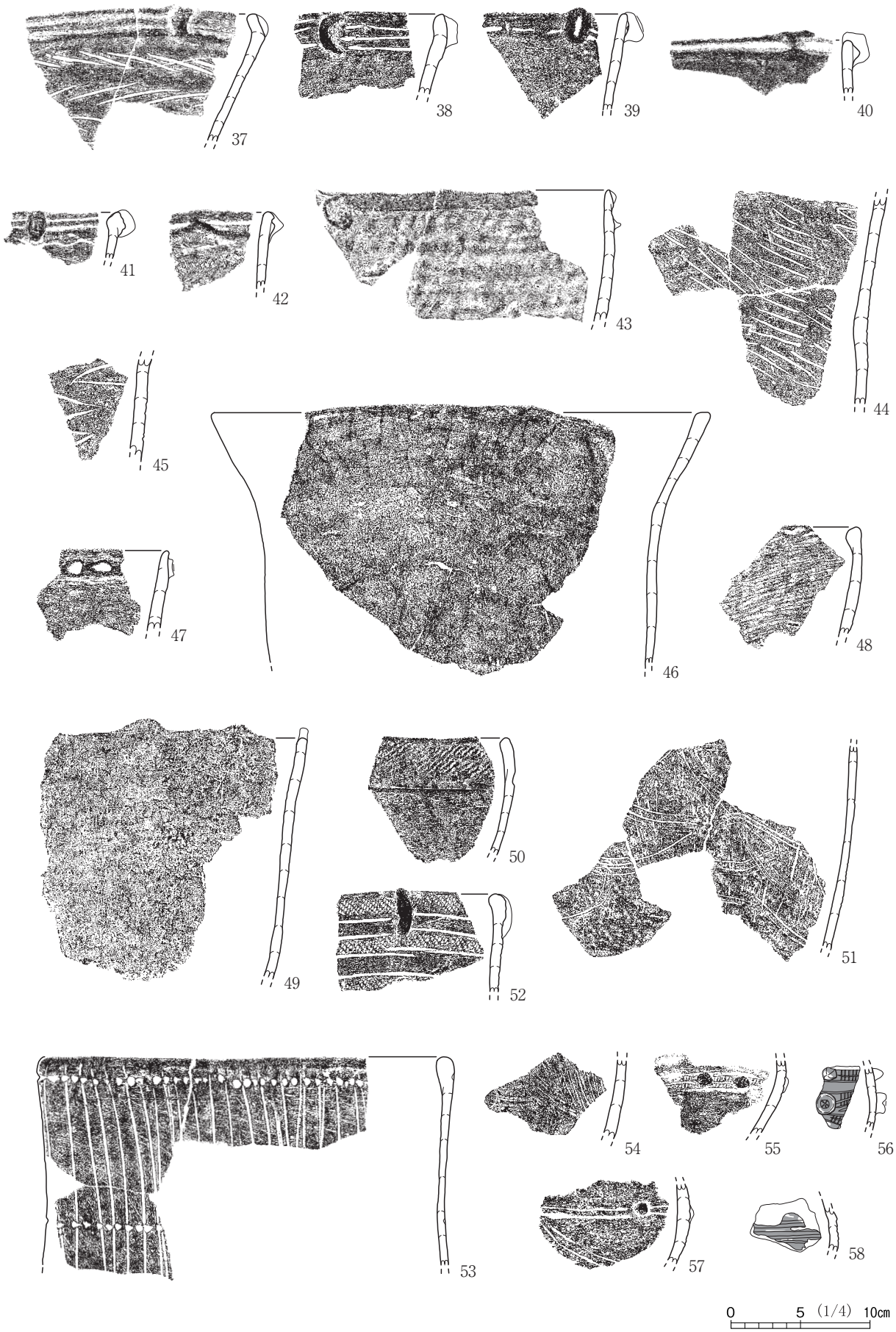
縄文時代遺物包含層土層

1	表土	
2	旧表土	
3	黒褐色土	黄褐色土ブロック多量に含む
4	黒褐色土	黄褐色土少量、As-A 少量含む
5	灰褐色土	小石少量含む
6	黒褐色土	黄褐色土・小石少量含む
7	粗砂	黄褐色土・小石多量含む
8	黒色土	粘土質、黄褐色土少量
9	灰褐色土	礫・小石・黄褐色土多量に含む
10	黒褐色土	粘土質、黄褐色土・小石少量含む
11	黒色土	粘土質、黄褐色土・小石少量含む
12	黒色土	黄褐色土少量含む
13	黒褐色土	小石少量含む
14	黄褐色土	小石少量含む
15	黒色土	粘土質、粗砂少量、縄文土器少量含む
16	黒色土	粘土質、縄文土器多量に含む
17	黒色土	粘土質、灰色粗砂・縄文土器多量に含む
18	黒色土	粘土質、粗砂・小石多量、縄文土器少量含む
19	黒色土	黄褐色土多量に含む

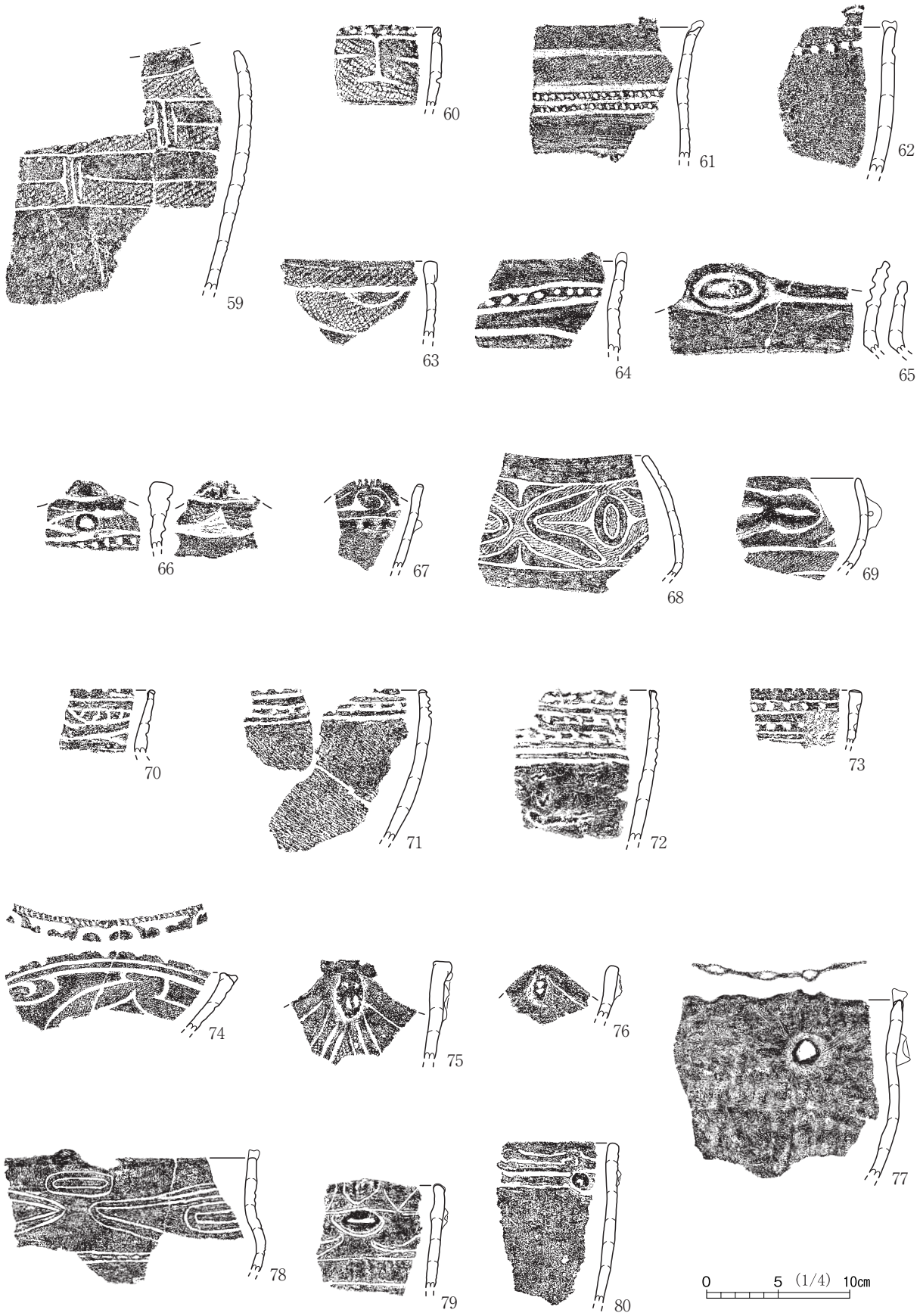
第19図　１区縄文時代遺物包含層遺物分布図



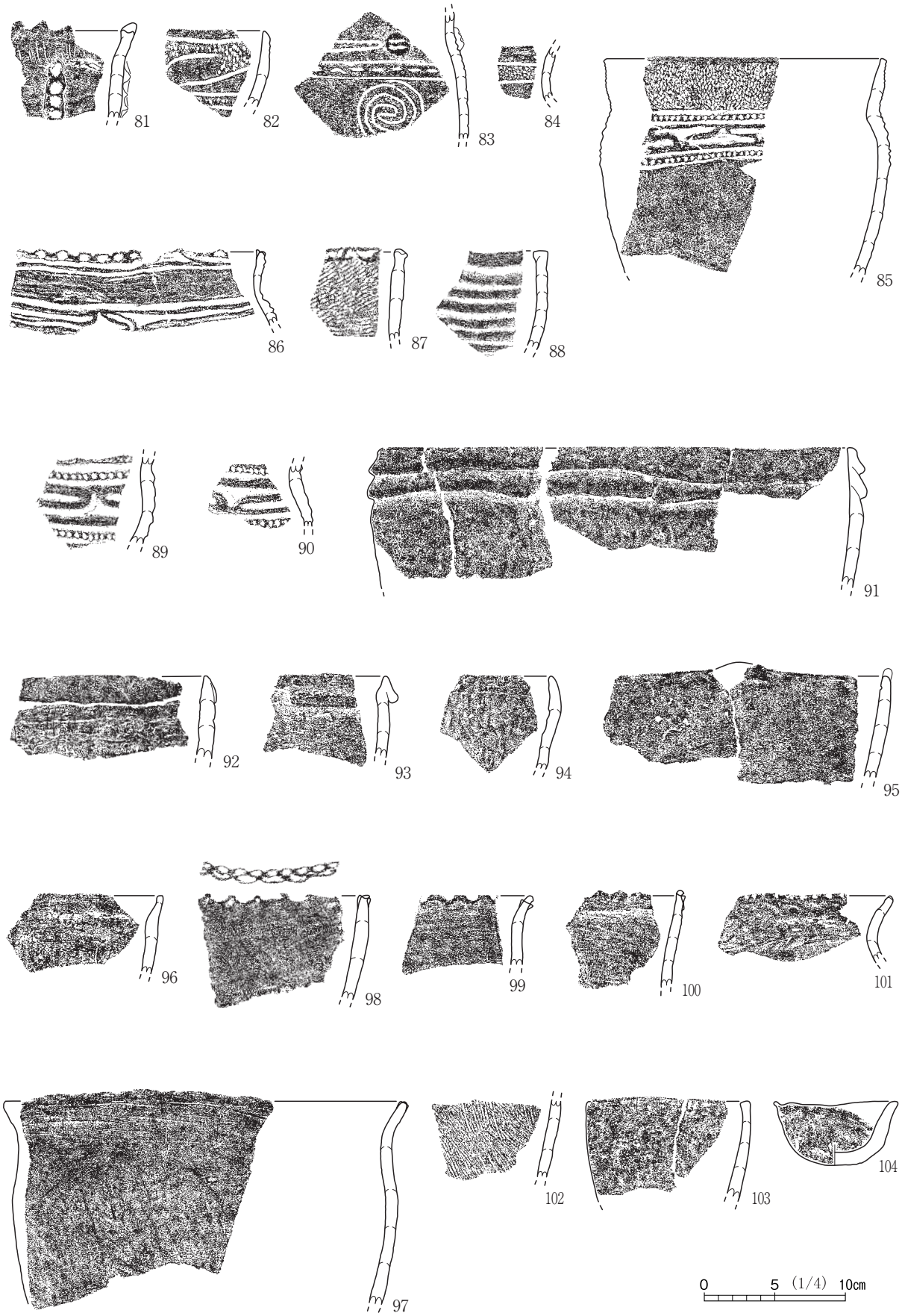
第20図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図①



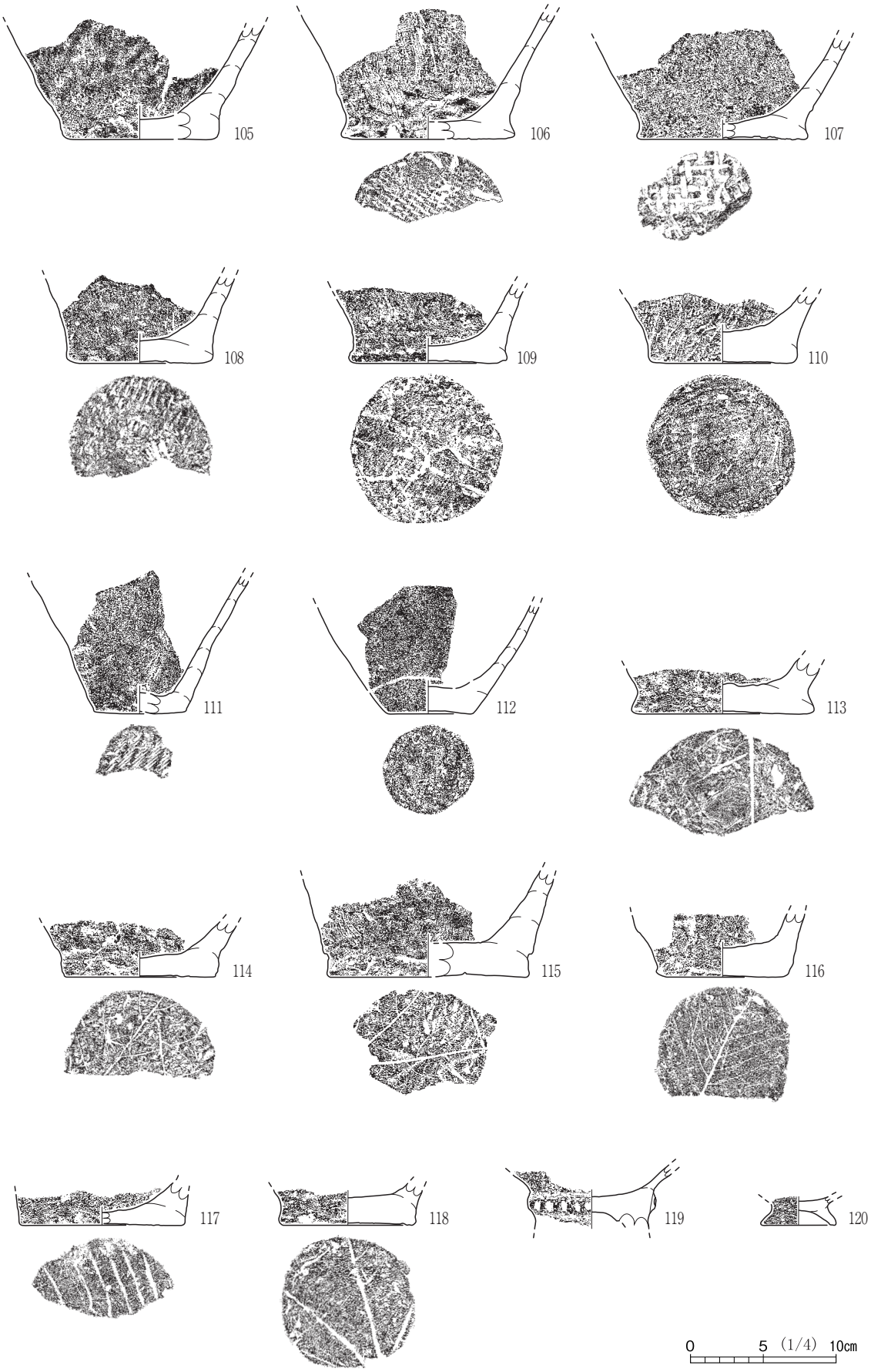
第21図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図②



第22図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図③

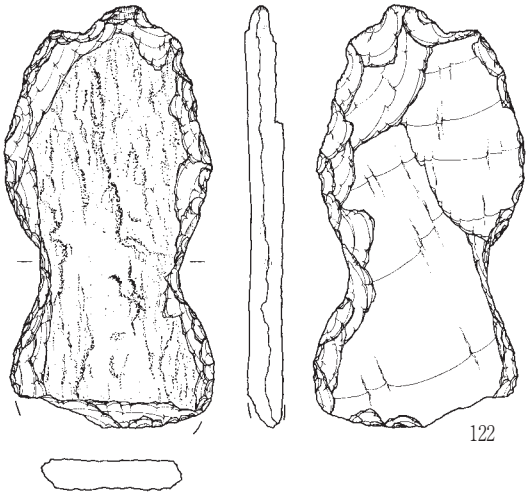


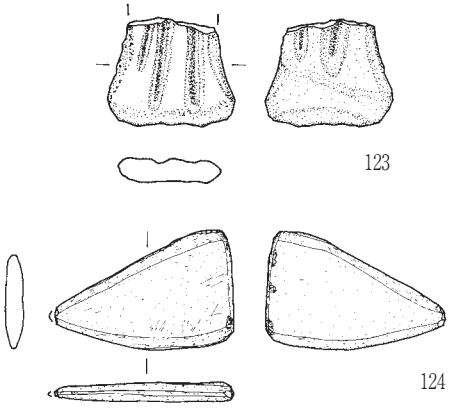
第23図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図④



第24図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図⑤

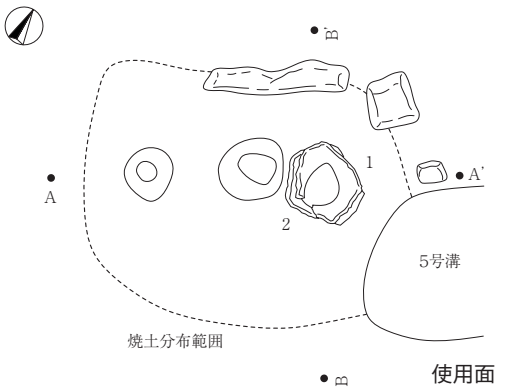
0　5 (1/4) 10cm

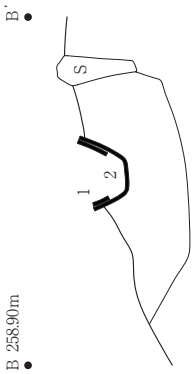




0　10 (1/6) 20cm

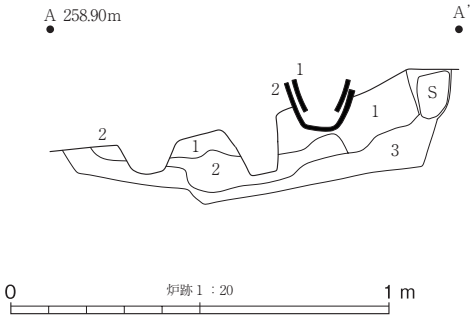
第25図　縄文時代遺物包含層出土遺物実測図⑥

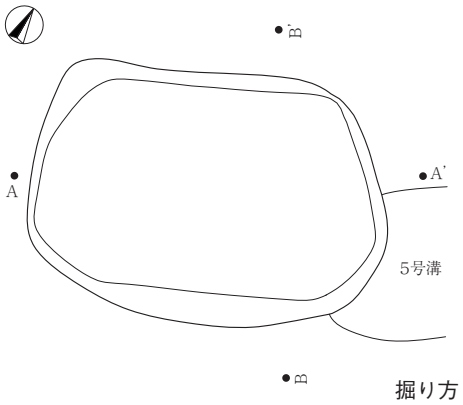


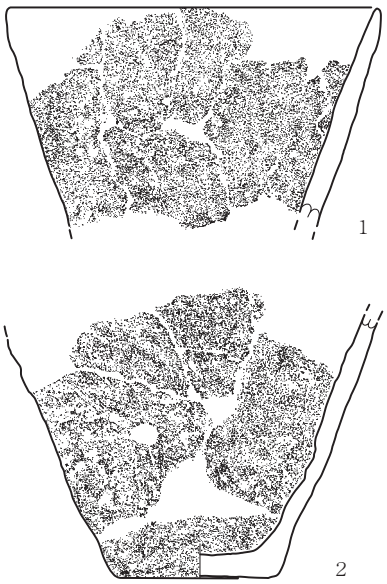


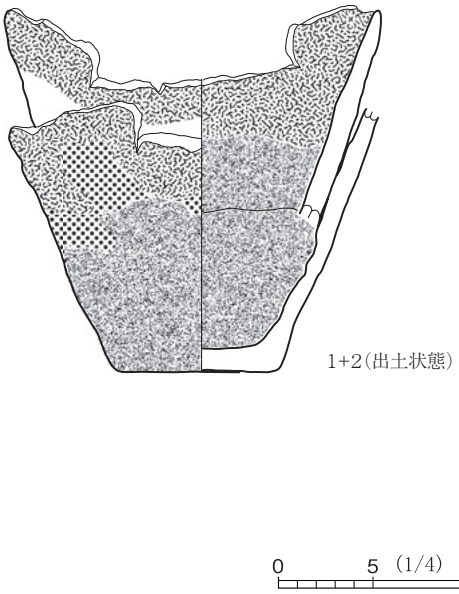
1号炉跡土層

1	黒褐色土	やや粘土質、硬く締まる 焼土粒多量、ローム粒少量含む
2	黒褐色土	硬く締まる、焼土塊・焼土粒・ロームブロック多量に含む
3	黒褐色土	黄褐色土ブロック多量に含む









第２表　１号炉跡出土遺物観察表

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
1 PL.44		後期～晩期	深鉢	胴部	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。残存範囲において無文。外面縦位、内面横位ないし斜位の撫で。整形は簡素で、削りの痕跡が顕著に認められる。	にぶい黄橙色 (10YR6/2)	白色粒・赤色粒・角閃石・石英・砂礫	口: 19.3 底: － 高: －
2 PL.44		後期～晩期	深鉢	胴部	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。残存範囲において無文。外面縦位、内面横位ないし斜位の撫で。整形は簡素で、削りの痕跡が顕著に認められる。	にぶい黄橙色 (10YR6/3)	白色粒・赤色粒・角閃石・砂礫	口: － 底: 7.9 高: －

第26図　１号炉跡及び出土遺物実測図

第３表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表①

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
1 PL.40	15層	中期前半 （中葉） 勝坂１式	深鉢	胴部	隆帯。角押文が逆くの字状をなして複数列施されている。	明褐色	白色粒･雲母	
2 PL.40	18層	中期前半 （中葉） 勝坂３式併行	深鉢	胴部	メガネ状の貼付文。縦位の条線。	にぶい黄橙色	白色粒･角閃石	
3 PL.40	17層	中期後半 （後葉） 曾利２ ～３式併行	深鉢	胴部	Ｓ字状文。丸棒状工具による凹点が２つ。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石	
4 PL.40	16層	中期後半 （後葉） 曾利３式併行	深鉢	胴部	刻みを伴う横位隆帯１条。２本１組で下に凸の弧線文。斜位の条線。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石	
5 PL.40	15層	中期後半 （後葉） 加曾利Ｅ１ ～２式併行	深鉢	胴部	縦位回転押捺による撚糸文（Ｒ）。	明黄褐色	白色粒	
6 PL.40	18層	後期初頭 称名寺１式	深鉢	口縁部	小突起部分。連繋窩文。中央部に大きめのくぼみ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石、砂礫	
7 PL.40	17層	後期初頭 ～前葉	深鉢	口～胴	口唇部直下に横位沈線１条による文様帯区画。方向が不ぞろいな直線文ないし弧線文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒	
8 PL.40	16層	後期前葉 堀之内２式期	深鉢	口～胴	口唇部内面に横位沈線１条。外面には複数の縦位沈線。外面の整形は粗略で、砂粒が移動した跡を残している。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･長石･砂礫	
9 PL.40	16層	後期前葉 堀之内２式期	深鉢	胴部	縦位の弧線文。	灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石	
10 PL.40	一括	後期中葉 加曾利Ｂ１式	深鉢	口～胴	短く内屈する口縁。格子目状文。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･石英･砂礫	
11 PL.40	17層	後期中葉 加曾利Ｂ２式	深鉢	口縁部	突起部分。横転と円孔が施された突起。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
12 PL.40	一括	後期中葉 加曾利Ｂ２式	鉢	口～胴	算盤玉状に肩部が張る器形。凹点からのびる弧線文が下に凸である点、肩部の装飾にキザミでなく縄文が用いられている点が特徴的。胴部の沈線は矢羽状をなすものとみられる。縄文は単節のＬＲ。	灰黄褐色	白色粒･角閃石	
13 PL.40	18層	後期中葉 加曾利Ｂ２式	鉢 または 注口 土器	胴部	胴部中ほどに２本１組の沈線、その間に連続した円形刺突文とキザミを伴う隆帯が施されている。	にぶい黄褐色	白色粒･角閃石･砂礫	
14 PL.40	18層	後期中葉 加曾利Ｂ２式	深鉢	胴部	まばらな平行沈線文。隣り合う上下の沈線が、単位部分でクランク状につながる。地文に単節縄文ＬＲ。	黄灰色	白色粒･角閃石	
15 PL.40	17層	後期中葉 加曾利Ｂ１ ～Ｂ２式	注口 土器	注口部	器表面は磨耗しているが、ナデとミガキが丁寧に施されていた痕跡が認められる。	黄灰色	白色粒･角閃石	
16 PL.40	18層	後期中葉 加曾利Ｂ２ ～Ｂ３式	深鉢	口～胴	５単位の波状口縁の深鉢。胴部の上・下位それぞれに矢羽状沈線文。	にぶい黄橙色	角閃石･片岩･砂礫	
17 PL.40	18層	後期中葉 加曾利Ｂ２ ～Ｂ３式	深鉢	胴部	格子目状文。	にぶい黄褐色	白色粒･角閃石	
18 PL.40	一括	後期中葉 曾谷式	深鉢	把手(口)	波頂部の把手。コップのように開口する形状。	黒褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
19 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	波頂部。口唇部付近が内側に向けて肥厚。ゆるやかに内彎する口縁部に沈線２～３条が施されている。胴部上位に格子目状文。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
20 PL.40	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	口縁が開き、胴部中ほどでくびれる器形。剥落のため、口縁部の装飾については不明。残存範囲の胴部は無文。	黄灰色	白色粒･角閃石･砂礫	
21 PL.40	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口縁部	波頂部。口唇部付近が内側に向けて肥厚。ゆるやかに内屈する口縁部に、上から沈線２条、キザミを伴う隆帯、および沈線１条が施されている。波頂部直下に円形刺突を伴うボタン状貼付文、および縦位の蛇行文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
22 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	波頂部。口唇部直下にキザミを伴う隆帯１本。	にぶい黄褐色	白色粒･砂礫	

第４表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表②

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎 土	計測値 (cm)
23 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口縁部	波頂部。ゆるやかに内屈する口縁部に、上から沈線２条、隆帯、および沈線１条が施されている。	オリーブ黒色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
24 PL.40	15層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口縁部	ゆるやかに内屈する口縁部に沈線３条が施されている。胴部上半に稲妻状沈線文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
25 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢 または 鉢	口縁部	内屈する口縁部に３～４条１組を基本とする沈線文。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
26 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口縁部	波頂部。３つの凹点を伴う縦長の貼付文。口縁部～胴部上半に、平行する沈線２条によって区画された縄文帯。縄文は単節のＬＲ。	褐灰色	白色粒･砂礫	
27 PL.40	16層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口縁部	直線的に立ち上がる口縁部。横長楕円形の隆帯が相接して配される。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
28 PL.40	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	直線的に立ち上がる口縁部。単位部分に貼付文、その他では２条の浅く幅広な沈線がめぐる。	浅黄色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
29 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部に横位沈線５条、および押捺を伴う隆帯１本がめぐる。単位部分で沈線は上に曲がって途切れ、その下の隆帯上に円形貼付文が２つ並んで施されている。	黄褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	口:(36.2) 底:　－ 高:　－
30 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部に横位沈線３条、その上下に押捺を伴う隆帯が各１本めぐる。単位部分で上・下端の沈線はつながり、横長の楕円形をなす。胴部には矢羽状沈線文が施されている。	黒色	白色粒･赤色粒･砂礫	口:(30.0) 底:　－ 高:　－
31 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部に横位沈線２条、その下に押捺を伴う隆帯が各１本めぐる。	灰黄褐色	白色粒･砂礫	
32 PL.40	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部。残存部位において横位沈線が４条めぐる。単位部分で沈線は下方に曲がり、口唇部直下に円形貼付文が１つ施されている。口唇部直下の沈線１条は他より太い。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
33 PL.40	一括	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部に、単節縄文ＲＬと太めの横位沈線２条。胴部上半に横位沈線１条。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
34 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに内彎する口縁部の外面に横位沈線３条。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
35 PL.40	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	顕著に内屈する口縁部に横位沈線３条、その下に浅い押捺を伴う隆帯が各１本めぐる。単位部分で上から２番目の沈線は上方へ屈曲し、隆帯上に円形の貼付文が施されている。胴部には矢羽状沈線文が施されている。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
36 PL.40	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	内屈する口唇部付近にごく浅い沈線が１条施されている。	灰黄褐色	白色粒･砂礫	
37 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	下からゆるやかに開き、口縁部が内屈する。口縁部に太く浅い横位沈線２条。単位部分にＣ字状の貼付文。胴部には矢羽状沈線文が施されている。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒、砂礫	
38 PL.41	15層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	下からゆるやかに開き、口縁部が内彎しつつ直立する。口縁部に横位沈線３条。単位部分にはＣ字状の貼付文が施されている。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
39 PL.41	一括	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	下からゆるやかに開き、口縁部が肥厚しつつ直立する。口縁部に短沈線が破線状に１列配される。単位部分には縦位の短沈線を伴う貼付文が施されている。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
40 PL.41	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	下からゆるやかに開き、屈曲部を境に口縁部が肥厚しつつ直立する。口唇部直下の外面が肥厚し段をなす。単位部分に突起が施されている。	にぶい黄褐色	白色粒･角閃石･砂礫	
41 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	ゆるやかに開く口縁。口唇部直下の内・外面とも肥厚する。口縁部に太く浅い横位沈線２条。単位部分に貼付文。胴部には矢羽状沈線文が施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
42 PL.41	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	下からゆるやかに開く器形。口縁部が外側に向けて肥厚する。口縁部に横位沈線１条。単位部分に右下がりに弧を描く貼付文。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
43 PL.41	17層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	口縁部に向けてゆるやかに内彎する器形。粘土の貼り足しにより段をなして肥厚する口縁。単位部分にＣ字状の貼付文。ナデなどの調整が弱いため、胴部外面では輪積み痕が残っている。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
44 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	右下がりを基調とする斜位の条線。残存範囲右上のものは、稲妻状沈線文に類似。	黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	

第５表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表③

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
45 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	胴部	稲妻状沈線文。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
46 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	胴部上半が少しくびれ、口縁に向けてゆるやかに開く器形。残存範囲において無文。外面の整形、口縁部付近は横位、胴部以下はおおむね縦位のナデ。	明褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口:（36.0） 底:　－ 高:　－
47 PL.41	18層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	口唇部付近に押捺を伴う横位の隆帯１本。	にぶい黄橙色	赤色粒･角閃石	
48 PL.41	16層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	口唇部内面が肥厚。残存範囲において無文。ミガキの痕跡が顕著に残っている。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	
49 PL.41	一括	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	胴部上半が少しくびれ、口縁に向けてゆるやかに開く器形。単位部分に２個１組の突起がつく。調整は簡素で、内・外面ともケズリの痕跡が顕著。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
50 PL.41	16層	後期中葉 曾谷式	深鉢	口～胴	口縁部がわずかに薄くなり、胴部との境に段をなす。口縁部には無節縄文Ｌが施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	
51 PL.41	18層	後期中葉	深鉢	胴部	半裁竹管を束ねた状態で用いて施された、３～４本１組の粗雑な曲線文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
52 PL.41	17層	後期後葉 安行１式	深鉢	口～胴	胴部中位から直線的に立ち上がる器形。上下２段の隆起帯縄文。単位部分に縦長の貼付文。それらの下にも沈線区画の横位縄文帯。縄文の種類は単節のＲＬ。	灰黄褐色	白色粒･砂礫	
53 PL.41	18層	後期後葉 安行１式	深鉢	口～胴	ゆるく開きながら直線的に立ち上がる器形。口縁部と胴部に１列ずつ列点がめぐる。地文に縦位の条線。器表面の整形は簡素で、ケズリの痕跡が残っている。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	口:（29.0） 底:　－ 高:　－
54 PL.41	一括	後期後葉～ 晩期前葉 安行１ ～3a式	深鉢	胴部	底部に向けてすぼまる器形。右下がりを基調とする斜位の条線。	にぶい褐色	白色粒･砂礫	
55 PL.41	17層	後期中葉～ 晩期前葉 新地式 （瘤付土器）	深鉢	胴部	３本１組の平行沈線範囲内に、縦位のキザミが連続的に充填されている。３本の沈線のうち、真ん中の１本はやや細い。同じ高さに円形の貼付文（貼瘤）。沈線などくぼんだ箇所に限り、赤彩が残っている。	灰黄褐色	白色粒･砂礫	
56 PL.41	17層	後期中葉～ 晩期前葉 新地式 （瘤付土器）	深鉢	胴部	縦位のキザミが連続的に施された範囲の上に、３本１組の平行沈線が配されている。円形の貼付文（貼瘤）。赤彩が残っている。	赤色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩､砂礫	
57 PL.41	一括	後期中葉～ 晩期前葉 新地式 （瘤付土器）	壺 または 注口 土器	胴部	２本１組の平行沈線文。胴部最大径付近に横位の１組と円形の貼付文（貼瘤）、その下は下に凸の弧線をなす１組が配される。	にぶい黄橙色	白色粒･砂礫	
58 PL.41	一括	後期中葉～ 晩期前葉 新地式 （瘤付土器）	深鉢	胴部	横位の沈線が複数認められるが、詳細は不明。赤彩が残っている。	暗赤褐色	白色粒･片岩･石英･砂礫	
59 PL.41	16層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	ゆるく開きながら直線的に立ち上がる器形。口唇部の断面形は角頭状。横位沈線の区画により縄文帯と無文帯が交互に設けられている。横位沈線の一部は三叉文の意匠を表す。縄文の種類は無節のＬ。	灰黄褐色	白色粒･砂礫	
60 PL.41	18層	晩期前葉 安行3b式併行	深鉢	口～胴	ゆるく開きながら直線的に立ち上がる器形。横位および縦位の沈線の組み合わせにより縄文帯が表現される。縦位沈線が三叉文の意匠を表す。縄文の種類は単節のＲＬ。口唇部付近の外面に１列の円形刺突がめぐり、それと対応する位置の内面に押捺が施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･砂礫	
61 PL.41	16層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	直線的かつゆるやかに開く口縁。口縁部は無節のＬを用いた縄文帯となり、下端と中央に横位沈線が配される。胴部の残存範囲内においては刺突列を伴う平行沈線文。沈線は総じて太く、浅い。単位部分の口唇部に突起。口唇部付近の内面に横位沈線２条。	橙色	白色粒･赤色粒･雲母･砂礫	
62 PL.41	18層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	直線的かつゆるやかに開く口縁。口縁部に１列の刺突文がめぐる。単位部分の口唇部に突起。口唇部直下の内面に横位沈線２条。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･片岩	
63 PL.42	17層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	粘土の貼り足しによって肥厚する口縁。胴部に２本１組の沈線により弧状の文様が表出される。口縁と弧状の文様のそれぞれ内側に単節縄文が充填される。口縁の単節縄文ＬＲのほか、弧状の文様内にＬＲとＲＬが併用されている点に注意。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･片岩･砂礫	
64 PL.42	17層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	直線的かつゆるやかに開く口縁。口縁部付近に刺突列を伴う２条１組の平行沈線文。単位部分の口唇部に突起。胴部にも沈線文が施されているが、詳細は不明。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩､石英･砂礫	

第６表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表④

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
65 PL.42	16層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口縁部	胴部上半に弱いくびれをもち、口縁がわずかに外反する器形。単位部分に同心円状の沈線文が配された突起。その他の口縁部には横位沈線１条。くびれ部分にも、横位沈線が認められる。口唇部直下の内面に横位沈線１条、単位部分に渦巻文。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･砂礫	
66 PL.42	18層	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	単位部分の小突起を中心とする部位。口縁部付近に単節縄文ＲＬ。小突起に円形貼付文１つ、その下に刺突を伴う円形の貼付文１つと三叉文、刺突列を伴う平行沈線文。口唇部直下の内面に横位沈線１条、単位部分に三角形の陰刻。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
67 PL.42	一括	晩期前葉 安行3b式 併行	深鉢	口～胴	単位部分の小突起を中心とする部位。小突起の上端にはキザミ、直下には向かい合う２個１組の三叉文、２山で横長の貼付文。三叉文の上下に横位沈線各１条が配される。	黒色	白色粒･赤色粒･砂礫	
68 PL.42	18層	晩期前葉 安行3b式 併行	鉢	口～胴	胴部中位から口縁にかけて内彎しながらややすぼまる器形。口縁部～胴部上半に、三叉文をちりばめた文様帯。沈線区画を用い、縄文施文部と無文部を交互に配し、文様帯の上・下端を横位沈線各１条にて区画。単位部分の意匠は玉抱三叉文に類似。縄文の種類は無節のＬ。	にぶい黄橙色	白色粒･砂礫	
69 PL.42	17層	晩期前葉 安行3b式 併行	鉢	口～胴	胴部上位の単位部分にある貼付文周辺が眼鏡状の意匠をなす。その左右には、三叉文を主とする文様が本来配されていたものとみられる。胴部下位には横位の縄文帯。縄文の種類は単節のＬＲ。	オリーブ黒色	白色粒･角閃石	
70 PL.42	15層	晩期前葉 大洞BC式 併行	深鉢 （甕）	口～胴	胴部中位から直線的に立ち上がる器形。口唇部にキザミ。簡素化した羊歯状文が口縁部に施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
71 PL.42	16層	晩期前葉 大洞BC式 併行	深鉢 （甕）	口縁部	胴部中位から直線的に立ち上がる器形。口唇部にキザミ。羊歯状文が極度に簡略化された結果である、４条１組の平行沈線文と１列の連続刺突文が口縁部に施されている。胴部の地文として、無節縄文Ｒ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
72 PL.42	16層	晩期前葉 大洞BC式 併行	深鉢 （甕）	口～胴	胴部中位から直線的に立ち上がる器形。口唇部にキザミ。羊歯状文が極度に簡略化された結果である、７条１組の平行沈線文と２列の連続刺突文が口縁部に施されている。胴部無文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
73 PL.42	16層	晩期前葉 大洞BC式 併行	深鉢 （甕）	口縁部	口唇部にキザミ。羊歯状文が極度に簡略化された結果である、平行沈線文と連続刺突文が口縁部に施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
74 PL.42	18層	晩期前葉 大洞C1式 併行	浅鉢 または 台付鉢	口縁部	口唇部にキザミ。キザミは、口縁部内面の文様の基点となっている。大腿骨文を主要素とする胴部文様帯。文様帯上端は、横位沈線２条によって区画される。縄文の種類は単節のＬＲ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石	
75 PL.42	一括	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	波状口縁の波頂部。上端を取り巻くように粘土紐が貼付され、その下には縦長で豚鼻状の表現を２つ並べた貼付文。口縁に沿うような形で、縄文帯が弧状に配される。ただし、口唇部直下には縄文が施されていない。	灰黄色	白色粒･赤色粒･砂礫	
76 PL.42	18層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	波状口縁の波頂部。縦長で３つの押捺を伴う貼付文。口唇部付近が、外側に向けて肥厚する。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
77 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	胴部中位から直線的に立ち上がる器形。単位部分の口唇部に突起、その下に押捺を伴う円形貼付文。胴部は無文か。成形時の力の入れ加減により、胴部外面に規則的な凹凸が残っている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石	
78 PL.42	18層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	胴部上半が張り、口縁がわずかに外反する器形。単位部分の口唇部に小突起。２本１組の沈線により、楕円形や菱形の文様を表出。胴部の最大径となる部位に列点を伴う平行沈線文。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･片岩･雲母･砂礫	
79 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	ゆるく開きながら直線的に立ち上がる器形。単位部分の口唇部に２個１組の小突起、その下にドーナツ状の貼付文。口縁部に鋸歯状文、弧線文、横位沈線。口縁部内面に、ごく弱い横位の隆起１本。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
80 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	口縁部に向けて直線的に開く器形。単位部分に刺突を伴う円形貼付文。口縁部に三叉文の変化形と思われる横位沈線文が４条配される。胴部は無文。	灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
81 PL.42	18層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	やや外反する口縁。口唇部上端に押捺。口縁部に細くて浅い縦位の短沈線、胴部上半以下に押捺を伴う縦位の隆帯が施されている。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･長石･砂礫	
82 PL.42	16層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	口～胴	わずかに内彎する口縁。入組文を表す沈線と、その間の細かい刺突により文様帯が構成されている。	黄褐色	白色粒･砂礫	

第７表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表⑤

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
83 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	胴部	口縁がわずかに外反し、胴部上半がややふくらむ器形。上部上半に細長い枠状の沈線文、単位部分に横長の刺突２か所を伴う円形貼付文。その下に１列の刺突文を伴う２条１組の平行沈線、渦巻状の沈線文。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･片岩･雲母･砂礫	
84 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 天神原式	深鉢	胴部	胴部上半の、わずかに屈曲する部位の破片。沈線の間に、細かい刺突が充填されている。	灰黄色	白色粒･赤色粒･砂礫	
85 PL.42	16層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	口～胴	口縁がわずかに外反し、胴部上半がややふくらむ器形。口縁部に単節縄文ＲＬ。胴部上位の文様帯は刺突を伴う２条１組の平行沈線によって上下を区画され、変形工字文を用いている。	灰黄褐色	白色粒･角閃石･石英	口：(19.4) 底：　－ 高：　－
86 PL.42	18層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	口～胴	口縁がわずかに外反し、胴部上半がふくらむ器形。単位部分に小突起があったものとみられる。口唇部に刺突。胴部上位に三叉文や横位沈線を用いた文様帯。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒	
87 PL.42	16層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	口縁部	わずかに外反する口縁。口唇部に加飾。無節縄文Ｌ。口唇部直下の内面に、太くて浅い横位沈線１条。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･石英･砂礫	
88 PL.42	18層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	胴部	胴部上半がややふくらむ器形。残存範囲において６条の横位沈線。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
89 PL.42	17層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	胴部	胴部上半がややふくらむ器形。胴部上位の文様帯は刺突を伴う２条１組の平行沈線によって上下を区画され、変形工字文を用いている。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
90 PL.42	16層	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 (甕)	胴部	胴部上半がややふくらむ器形。胴部上位の文様帯は刺突を伴う２条１組の平行沈線によって上下を区画され、変形工字文を用いている。	灰褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
91 PL.42	16層	晩期前葉 ～中葉 安行3a ～3c式期	深鉢	口縁部	粘土の貼り足しにより２つの段をなして肥厚する口縁。	灰黄色	白色粒･角閃石･長石･砂礫	
92 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 安行3a ～3c式期	深鉢	口～胴	粘土の貼り足しにより１つの段をなして肥厚する口縁。ナデなどの整形が弱いため、胴部外面では輪積み痕が残っている。内面、小口状工具によるナデ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
93 PL.42	17層	晩期前葉 ～中葉 安行3a ～3c式期	深鉢	口～胴	粘土の貼り足しにより１つの段をなして肥厚する口縁。肥厚が特に顕著。口唇部直下の内面がやや薄くなり段をなす。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
94 PL.42	16層	晩期前葉 ～中葉 安行3a ～3c式期	深鉢	胴部	口縁部に向けてゆるやかに内彎する器形。成形時の力の入れ加減により、外面の器壁に規則的な凹凸を残している。内面、小口状工具によるナデ。	暗灰黄色	白色粒･角閃石･砂礫	
95 PL.43	17層	晩期前葉 ～中葉	深鉢	口～胴	口縁部内面に横位沈線１条。沈線は、単位部分で突起に向けて上方に曲がる。残存範囲において外面無文。	灰黄褐色	白色粒･角閃石･片岩･砂礫	
96 PL.43	16層	晩期前葉 ～中葉	深鉢	口～胴	胴部との境でゆるく曲折し、わずかに開く口縁。口唇部にキザミが施されている。残存範囲において外面無文。口唇部直下の内面がやや薄くなり段をなす。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･片岩･砂礫	口：(28.2) 底：　－ 高：　－
97 PL.43	18層	晩期前葉 ～中葉	深鉢 (甕)	口～胴	胴部との境がくびれ、外反する口縁。口唇部は金魚鉢のように細かく波打つ。残存範囲において外面無文。	にぶい橙色	白色粒･角閃石･片岩･砂礫	
98 PL.43	17層	晩期前葉 ～中葉	深鉢 (甕)	口～胴	口縁部に向けてゆるやかに内彎する器形。口唇部は細かく波打ち、波底部には短沈線が沿う。残存範囲において外面無文。	にぶい橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	
99 PL.43	17層	晩期前葉 ～中葉	深鉢 (甕)	口～胴	胴部から上に向けてゆるやかに内彎し、口縁にて短く外反する器形。口唇部は金魚鉢のように細かく波打つ。残存範囲において外面無文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	
100 PL.43	18層	晩期前葉 ～中葉	深鉢 (甕)	口～胴	粘土の貼り足しにより１つの段をなして肥厚する口縁。口唇部は細かく波打つ。残存範囲において外面無文。	暗灰黄色	白色粒･角閃石･片岩･砂礫	
101 PL.43	17層	晩期前葉 ～中葉	深鉢	口～胴	胴部との境でゆるく曲折し、わずかに開く口縁。口唇部にキザミが施されている。残存範囲において胴部無文。口唇部付近の内面に横位沈線１条。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	
102 PL.43	16層	晩期前葉 ～中葉	深鉢 (甕)	胴部	小口状工具よるものとみられる条痕。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	口：(11.6) 底：　－ 高：　－
103 PL.43	16層	晩期前葉 ～中葉	深鉢	口～胴	外へわずかに膨らみながら立ち上がる器形。残存範囲において無文。	浅黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	口：8.8 底：　－ 高：4.5
104 PL.43	18層	後期中葉 ～晩期中葉	小型 土器	完形	口縁部がわずかに外反。口唇部の断面形は角頭状を呈する。無文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･片岩･砂礫	口：－ 底：(10.7) 高：－

第８表　縄文時代遺物包含層出土遺物観察表⑥

No. PL.	層位	時　期 型　式	器 種	残存部位	器形･文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
105 PL.43	一括	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は、１本越え１本潜り１本送り。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(11.9) 高：－
106 PL.43	一括	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	底面が外側へ張り出し、ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は、２本越え１本潜り１本送り。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(11.7) 高：－
107 PL.43	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は不明。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(10.0) 高：－
108 PL.43	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は、１本越え１本潜り１本送り。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(10.9) 高：－
109 PL.43	16層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	底面が外側へやや張り出し、ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：10.2 高：－
110 PL.43	一括	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は不明。	橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(6.3) 高：－
111 PL.43	17層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に網代痕。網代の編みの種類は、３本越え２本潜り１本送り。	にぶい黄橙色	白色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：5.9 高：－
112 PL.43	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底部内面（底上面）に網代痕。網代の編みの種類は不明。	にぶい黄褐色	白色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(12.5) 高：－
113 PL.43	一括	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	底面が外側へ張り出す。底面に木葉痕。	浅黄色	白色粒･赤色粒･砂礫	口：－ 底：(10.4) 高：－
114 PL.43	17層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	底面が外側へやや張り出し、ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に木葉痕。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(13.9) 高：－
115 PL.43	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に木葉痕。	明赤褐色	白色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(9.4) 高：－
116 PL.44	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に木葉痕。	にぶい黄橙色	白色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(11.4) 高：－
117 PL.44	18層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に木葉痕。	にぶい黄橙色	白色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：(9.4) 高：－
118 PL.44	17層	後期中葉 ～晩期中葉	深鉢 または 甕	胴～底	ゆるやかに開きながら立ち上がる器形。底面に木葉痕。	浅黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
119 PL.44	17層	後期中葉 ～晩期中葉	台付 土器	底部付近	胴部と台部の境となる底部外周に押捺を伴う隆帯が施されている。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石･砂礫	口：－ 底：5.1 高：－
120 PL.44	16層	後期中葉 ～晩期中葉	台付 土器	台部	残存範囲において無文。小型の台付土器とみられる。	褐色	白色粒･角閃石･砂礫	
121 PL.44	16層	晩期前葉 ～中葉 安行3a ～3c式期	深鉢	口～胴	胴部上半が少しくびれ、口縁に向けてゆるやかに開く器形。成形時の力の入れ加減により、外面の器壁に規則的な凹凸を残している。	にぶい黄橙色	白色粒･長石･砂礫	口：(34.0) 底：－ 高：－
122 PL.44	18層		打製 石斧 （石鍬）	下部欠損	分銅型。自然礫を薄く板状剥離し周縁に調整を施す（交互剥離＋垂直打撃）。縁辺部がやや摩耗している。重さ262.6ｇ。		片岩	長：残16.75 幅：8.35 厚：1.55
123 PL.44	17層		砥石 （有溝）	上半部 欠損	表面は幅0.3～0.7cm程の浅いＵ字状の研磨痕が縦方向に３列。裏面は幅0.5～1.2cm程の浅いＵ字状の研磨痕が縦方向に２列。重さ23.2g。		砂岩	長：4.3 幅：5.1 厚：1.0
124 PL.44	18層		砥石 （石鋸）	完形	全体に摩耗痕が認められ、特に上下の２辺に砥ぎ面が形成されている。重さ29.6g。		砂岩	長：4.7 幅：7.2 厚：0.8

（３）古墳時代

23軒の竪穴住居跡と２条の溝が検出されている。竪穴住居跡は、１区・２区では５世紀後半から６世紀後半、３区では６世紀後半から7世紀前半が主体である。６号・７号溝は５世紀後半には成立し、６世紀後半には埋没していた溝で、集落の北側を区画する配置である。

①竪穴住居跡

１号住居跡（第27･44図、第11表、PL.９･45）

位置　１区南西部で、縄文時代の遺物包含層上に構築される。　**形状・特徴**　東西3.25ｍ×南北3.15ｍの方形を呈する。主軸はＮ-68°-Ｅ、深さは15㎝を測る。住居南半は縄文時代遺物包含層による軟弱な地盤であるため、ロームによる貼床を施す。壁周溝は幅15㎝、深さ５㎝を測る。　**カマド**　東壁中央に構築される。規模は長さ90㎝、幅98㎝、焚口幅26㎝を測る。両袖先端には袖石を据え、左袖構築土上部には土師器高坏の口縁部片（２）が含まれていた。火床からの袖石の高さは16㎝である。燃焼部には24㎝×21㎝の火床があり、焚口から右袖前面にかけて炭化物が広がっていた。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１（82㎝×72㎝、深さ65㎝）。**柱穴**　５基のピットが検出されたが、柱穴は不明である。　**遺物**　土師器坏・埦・高坏・甕・甑などが少量出土した。須恵器はみられない。　**時期**　６世紀後半。

２号住居跡（第27･44図、第12表、PL.９･45）

位置　１区中央部に位置する。２号溝に切られる。　**形状・特徴**　遺存状態が悪く、プランは不明である。わずかに検出された東壁の方位はＮ-36°-Ｅである。　**カマド**　東壁にカマドの掘り方の痕跡とみられる張り出しが検出された。長さ70㎝、幅70㎝を測る。底面には石を据えたような小ピットがある。　**柱穴**　周辺に14基のピットが検出されたが、住居に伴うものか特定できなかった。　**遺物**　カマド前面に土師器坏・甕が出土した。須恵器はみられない。　**時期**　６世紀後半。

３号住居跡（第28･29･44図、第13表、PL.10･45）

位置　１区中央部に位置し、２号・５号溝に切られる。　**形状・特徴**　東西5.85ｍ×南北5.15ｍの長方形を呈する。主軸はＮ-148°-Ｗを示す。住居中央以北は大きく削平を受ける。深さは南壁で60㎝を測る。壁周溝は幅15㎝、深さ５㎝を測る。床面には炭化材が散見される。　**カマド**　南壁の東寄りに構築される。規模は長さ1.00ｍ、幅92㎝、焚口幅44㎝を測る。焚口には袖石の抜き取り痕、燃焼部奥には支脚の抜き取り痕がある。Ｐ-１の周囲で出土した棒状礫が袖石ないし懸架石とみられる。燃焼部には28㎝×20㎝の火床があり、焚口から燃焼部には炭化物の堆積がみられた。　**貯蔵穴**　カマド左脇のＤ-１。上部は105㎝×65㎝の長方形、下部は径65㎝の円形を呈する。深さは65㎝である。東脇に土手状の高まりを伴う。**柱穴**　５基のピットが検出され、主柱穴はＰ-１・２・４・６である。深さは50㎝前後である。　**掘り方**　床下に建て替え前のプランが検出された。東西4.25ｍを測り、南北幅は不明である。東壁沿いにはカマドの痕跡である火床が検出された。中央には径1.2ｍ、深さ15㎝の円形土坑があり、南西部では深さ７㎝の間仕切り溝が検出された。　**遺物**　土師器坏・高坏・壷・甕・甑が出土し、カマド周辺と北東隅にまとまりがみられる。須恵器は瓶・甕の小片が少量みられる。　**時期**　６世紀後半。

４号住居跡（第29･44図、第14表、PL.11･46）

位置　１区中央部に位置し、２号溝に切られる。　**形状・特徴**　西半のプランは不明であるが、南北3.00

ｍを測る。東壁の方位はＮ-32°-Ｅを示す。深さは60cmである。　**カマド**　東壁には検出されていない。**柱穴**　２基のピットがあるが、柱穴とは判断されない。　**遺物**　土師器坏が少量出土した。　**時期**　６世紀後半。

５号住居跡（第30･44･45図、第15表、PL.11･46）

位置　１区北西部に位置し、６号・７号溝を切っている。　**形状・特徴**　東西4.00ｍ×南北推定4.00ｍの不整方形を呈する。主軸はＮ-138°-Ｅを示し、深さは35cmを測る。　**カマド**　東壁の南隅に構築される。規模は長さ85cm、幅84cm、焚口幅38cmを測る。両袖先端には袖石が据えられる。火床からの袖石の高さは20cmである。燃焼部には径20cmの火床があり、その前面には焚口の懸架石が落下していた。　**貯蔵穴**　カマド左脇のＤ-１(64cm×56cm、深さ56cm)。　**柱穴**　７基のピットが検出されたが、主柱穴は不明である。　**遺物**　土師器坏・埦・鉢・甕・甑がカマド周辺にまとまって出土した。須恵器は壷・甕の小片が少量みられる。　**時期**　６世紀後半。

６号住居跡（第31･45図、第16表、PL.12･13･46）

位置　２区東側に位置する。　**形状・特徴**　東西2.75ｍ×南北3.00ｍの長方形を呈する。主軸はＮ-163°-Ｗを示す。深さは55cmである。　**カマド**　南壁中央に構築される。規模は長さ90cm、幅1.16ｍ、焚口幅34cmを測る。両袖先端には袖石が据えられ、火床からの袖石の高さは22cmである。燃焼部には径20cmの火床があり、その前面に焚口の懸架石が落下していた。火床奥の左寄りには支脚石が検出され、火床からの石の高さは６cmを測る。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１（45cm×40cm、深さ50cm)。　**柱穴**　10基のピットが検出されたが、主柱穴は不明である。　**遺物**　土師器坏・高坏・甑・壷・甕が出土した。須恵器は坏・瓶の小片が少量みられる。　**時期**　６世紀後半。

11号住居跡（第31･45･46図、第17表、PL.13･14･47）

位置　２区及び４区の東端に位置し、９号･10号溝に切られる。　**形状・特徴**　東西3.20ｍ×南北推定4.00ｍの不整長方形を呈する。主軸はＮ-30°-Ｅを示す。深さは25cmである。　**カマド**　北壁の東寄りに構築されるが、左袖がわずかに遺存する状態であった。全長55cmを測る。　**柱穴**　４基のピットが検出されたが、主柱穴は不明である。　**遺物**　多量の礫とともに土師器坏・甕・甑が出土した。須恵器は坏の小片が少量みられる。　**時期**　６世紀後半。

12号住居跡（第32･46図、第18表、PL.14･15･47）

位置　２区の中央部に位置する。　**形状・特徴**　北半のみ検出され、東西幅は2.90ｍを測る。主軸はＮ-21°-Ｅを示す。深さは45cmである。西壁沿いに深さ10cmの壁周溝が検出された。　**カマド**　北壁の中央に構築される。規模は長さ75cm、幅92cm、焚口幅36cmを測る。両袖先端には袖石の抜き取り痕が確認された。燃焼部には径30cmの火床がある。左袖の基底部からは滑石製臼玉（３）が出土し、カマド構築時の儀礼行為が想定される。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１(65cm×50cm、深さ60cm)。　**掘り方**　床下に土坑２基が検出された。　**遺物**　土師器坏・甕が少量出土した。須恵器は壷の小片がみられる。　**時期**　６世紀後半。

13号住居跡　平成18年度分に記載（第33･46図、第19･67表、PL.15･16･47･48･64･94）

15号住居跡（第34･46･47図、第20表、PL.16･17･18･48）

位置　２区の東側に位置し、８号・９号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西6.58ｍ×南北6.25ｍの方形を呈する。主軸はＮ-101°-Ｅを示し、深さは30㎝を測る。壁周溝は深さ10㎝で全周する。**カマド**　東壁の南寄りに構築される。規模は長さ95㎝、幅1.82ｍ、焚口幅40㎝を測る。燃焼部には径30㎝の火床がある。両袖先端の袖石は抜き取られていたが、燃焼部の内壁の一部に礫が遺存していた。礫の高さは火床から28㎝である。右袖の基底部付近には、土師器坏（２）が逆位で埋め込まれていた（PL.18）。**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１（100㎝×72㎝、深さ60㎝）。　**柱穴**　８基のピットが検出され、主柱穴はＰ－３･５･６･８（深さ75㎝～90㎝）、補助的な柱穴がＰ-４･７（深さ15㎝）と考えられる。　**遺物**　覆土中から多量の礫とともに土師器坏・高坏・鉢・壷・甕・甑が出土している。他に須恵器坏・高坏・提瓶・甕、鉄鎌がみられる。　**時期**　６世紀前半。　**備考**　南壁沿いの焼土は覆土中で検出されたもので、他の住居のカマドである可能性がある。覆土中の礫の出土状態（直線的に途切れる様子、PL.17）からも、南壁付近に住居の重複が想定される。

18号住居跡　平成18年度分に記載（第35･36･48図、第21･68表、PL.18･19･49･65･95）

19号住居跡　平成18年度分に記載（第32･48図、第22表、PL.20･21･49）

20号住居跡　平成18年度分に記載（第47･78図、第23･60･69表、PL.49･66･94）

22号住居跡（第36･48･49図、第24表、PL.21･22･23･50）

位置　２区の西側に位置し、10号・21号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西3.95ｍ×南北3.90ｍの方形を呈する。主軸はＮ-171°-Ｗを示し、深さは48㎝を測る。壁周溝は深さ５㎝で、カマド周辺を除き、ほぼ全周する。　**カマド**　南壁の中央に構築される。規模は長さ56㎝、幅55㎝、焚口幅31㎝を測る。わずかに張り出した両袖には袖石が据えられ、火床からの袖石の高さは26㎝である。　**貯蔵穴**　カマド左脇のＤ-１（53㎝×45㎝、深さ75㎝）。　**柱穴**　７基のピットが検出され、Ｐ-１･２･３･４が主柱穴である。深さは45㎝前後である。　**遺物**　土師器坏・壷・甕・甑、須恵器坏が貯蔵穴周辺にまとまって遺棄されていた。　**時期**　６世紀後半。

26号住居跡（第37･49･50･51図、第25表、PL.23･24･25･50･51）

位置　３区の南部に位置し、27号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西4.38ｍ×南北5.20ｍの隅丸長方形を呈する。主軸はＮ-79°-Ｅを示し、深さは90㎝を測る。　**カマド**　東壁の南寄りに構築され、煙道部が遺存する。規模は長さ1.10ｍ、幅1.28ｍ、高さ66㎝、焚口幅48㎝を測る。燃焼部には45㎝×30㎝の火床がある。両袖先端には袖石が据えられ、その間に懸架材に転用された土師器甕が出土した。左袖の上部はローム質土と黒褐色粘質土を版築状に積み重ねていた。煙道部は、40㎝ほど立ち上がったところに奥行き15㎝の平坦面があり、再び急角度で立ち上がる。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１（径45㎝、深さ45㎝、北側に深さ15㎝のテラス）。　**柱穴**　Ｐ-１（深さ65㎝）とＰ-２（深さ35㎝）が主柱穴と考えられる。

遺物　覆土中に多量の土師器坏と少量の須恵器坏・瓶・甕、臼玉、勾玉が一括投棄されていた。床面からは土師器坏・高坏・甕、須恵器鉢、鉄鎌、砥石が出土した。　**時期**　7世紀中頃。　**備考**　Ｄ-２は炭化物が充填された土坑である。120㎝×85㎝の隅丸長方形を呈し、深さは10㎝である。上面が硬化していなかったことや、カマドから炭化物が検出されなかったことから、カマド廃棄の際に炭化物を掻き出

して埋めた土坑と考えられる。土坑内出土の被熱礫は支脚石であったとみられる。

28号住居跡（第38･51･52図、第26表、PL.26･52）

位置　３区の東部に位置する。49号住居跡を切り、31号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西5.00ｍを測り、南北幅は不明である。主軸はＮ-32°-Ｗを示し、深さは60㎝を測る。　**カマド**　北壁の東寄りに構築される。規模は長さ65㎝、幅1.00ｍを測る。焚口部は62㎝×50㎝、深さ28㎝のＰ-３によって壊される。燃焼部には径12㎝の火床と支脚石が検出された。右袖先端には袖石が遺存しており、火床からの高さは36㎝を測る。　**柱穴**　Ｐ-１、Ｐ-２が主柱穴である。深さは50㎝～55㎝である。　**遺物**　カマド構築材とみられる礫が住居中央にまとまって出土したほか、カマド右側に土師器甕や甑が出土した。他に土師器手づくね・坏・埦・鉢、須恵器坏・高坏・瓶・甕がある。南側の調査区境界付近からは格子状の線刻がある礫(13)が出土した。　**時期**　７世紀前半。

32号住居跡（第39･52図、第27表、PL.27･53）

位置　３区の東部に位置し、29号・31号・37号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西3.90ｍ×南北4.05ｍの不整方形を呈する。主軸はＮ-31°-Ｗを示し、深さは55㎝を測る。　**カマド**　北壁の中央に構築される。規模は長さ94㎝、幅1.06ｍを測る。両袖の先端には袖石が据えられ、その上に懸架石が置かれていた。焚口部の幅55㎝、高さ24㎝である。　**遺物**　カマド左手前と南壁沿いに、カマド構築材とみられる礫が出土している。このほか土師器坏・埦・高坏・鉢・甕が出土した。須恵器は坏・高坏・瓶・甕が少量出土した。　**時期**　７世紀後半。

33号住居跡（第39･40･69図、第46表、PL.28･58）

位置　３区の西部に位置し、34号・40号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　南北4.55ｍ×東西4.20ｍの長方形を呈する。主軸はＮ-45°-Ｗを示し、深さは30㎝を測る。　**カマド**　西壁の北寄りに構築される。規模は長さ1.04ｍ、幅1.10ｍ、焚口幅58㎝を測る。両袖先端には袖石を立て、燃焼部内壁には扁平な礫を横向きに据えている。焚口には懸架石が落下していた。火床は径35㎝を測り、中央やや左寄りに高さ13㎝の支脚石が据えられていた。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１(53㎝×45㎝、深さ10㎝)。　**遺物**　カマド周辺に遺物はほとんど出土していない。須恵器甕(７)を除く遺物は、本来は重複する40号住居跡の遺物と考えられるため、遺物図は奈良平安時代に掲載した。　**時期**　古墳時代後期。

41号住居跡（第40･52図、第28表、PL.29･53）

位置　３区の中央部に位置し、42号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西3.45ｍ×南北3.73ｍの隅丸方形を呈する。主軸はＮ-45°-Ｅを示し、深さは45㎝を測る。　**カマド**　北壁に構築されるが、42号住居跡に大半を壊される。わずかに残存する右袖の先端には袖石が据えられていた。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１(58㎝×50㎝、深さ1.00ｍ、西側に奥行き25㎝のテラス)。　**遺物**　カマド右袖脇に土師器小型甕(３)と甑(２)が重なって出土した。須恵器は高坏の小片が少量出土した。　**時期**　６世紀後半。

42号住居跡（第41･52図、第29表、PL.29･30･53）

位置　３区の中央部に位置する。41号住居跡を切り、43号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西4.55ｍ

×4.22mの隅丸方形を呈する。主軸はN-17°-Wを示し、深さは50cmを測る。　**カマド**　北壁中央に構築される。規模は長さ1.03m、幅1.00m、焚口幅40cmを測る。袖はローム質土で構築される。先端には袖石が据えられ、その手前には懸架石が落下していた。火床からの袖石の高さは26cmである。火床は径28cmを測り、その左奥には火床からの高さ22cmの支脚石が据えられていた。支脚石の手前には土師器坏(２)が伏せられた状態で出土している。　**遺物**　土師器坏・埦・鉢・甕・甑が出土している。須恵器は高坏の小片がみられる。住居南東部にはカマド構築材とみられる礫がまとめて遺棄されていた。　**時期**　７世紀前半。

47号住居跡（第42･52･53図、第30表、PL.30･54）

位置　３区の北部に位置し、北半は削平される。　**形状･特徴**　東西幅は4.75mを測り、西壁の方位はN-12°-Wを示す。深さは50cmである。　**カマド**　南壁や西壁では検出されていない。　**遺物**　土師器坏が多く、他に土師器埦・鉢・甑・甕、須恵器坏・高坏・甕、刀子が出土している。　**時期**　７世紀中頃。

48号住居跡（第42･53図、第31表、PL.30･54）

位置　３区東部に位置し、45号住居跡に切られる。49号住居跡との切りあいは不明であった。　**形状･特徴**　規模は不明である。西壁の方位はN-58°-Eを示す。深さは25cmである。　**遺物**　多くの礫とともに土師器坏・甕・甑が出土している。　**時期**　古墳時代後期。

49号住居跡（第42･53図、第32表、PL.54）

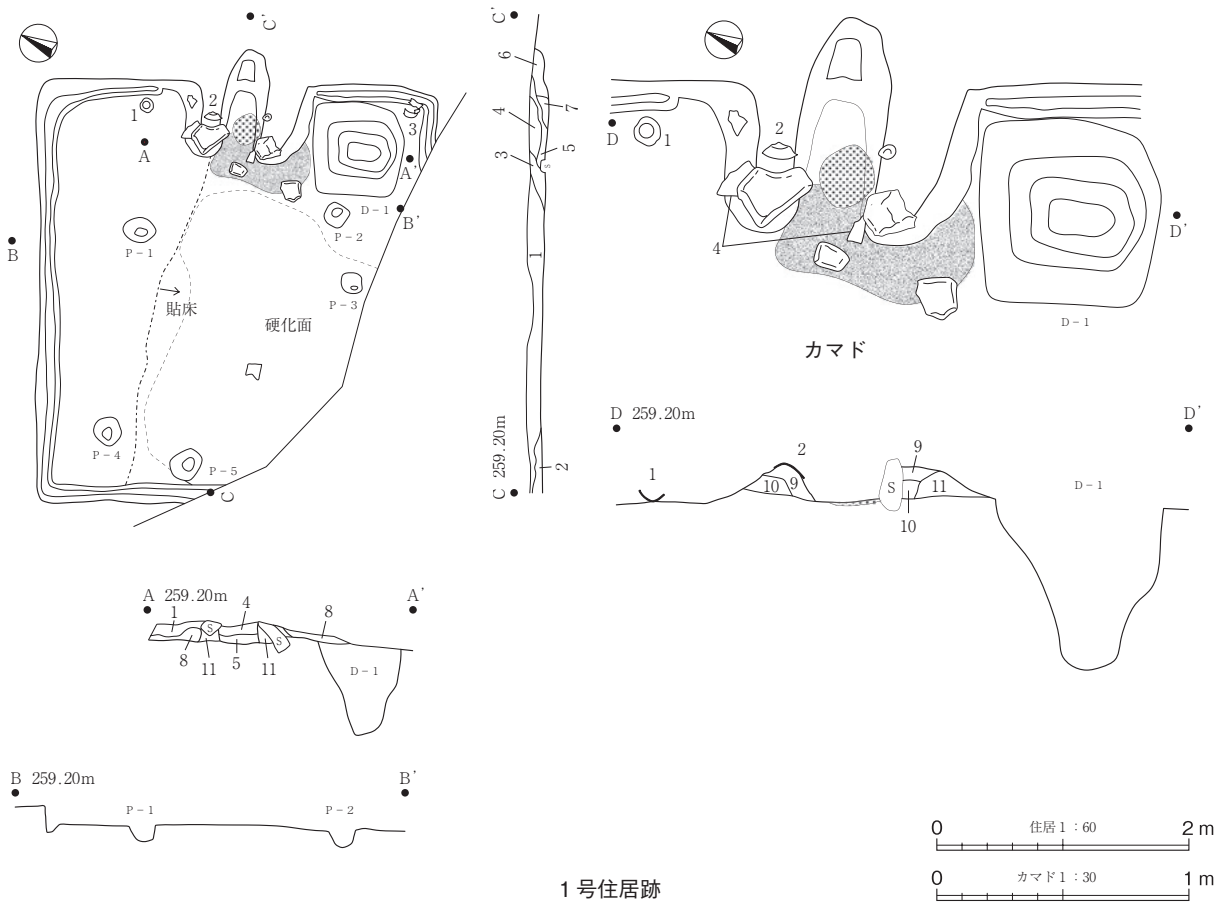
位置　３区東部に位置する。28号住居跡に切られる。48号住居跡との切りあいは不明であった。　**形状･特徴**　西壁のみ検出し、その方位はN-51°-Eである。深さは55cmである。　**遺物**　土師器坏･高坏･甕、須恵器坏が少量出土した。　**時期**　古墳時代後期。

②溝

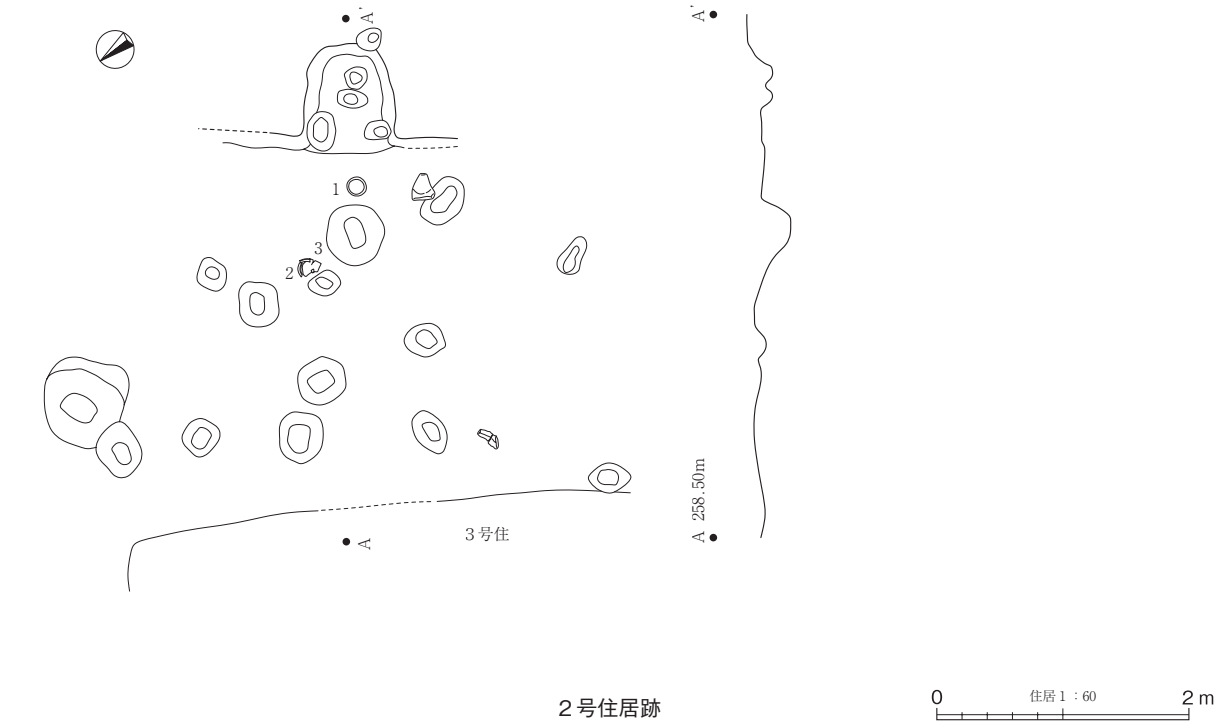
６号・７号・８号溝（第43･53図、第33表、PL.31･54）

位置　１区の北部に位置する。７号溝、６号溝、８号溝の順に新しい。　**形状･特徴**　北西・南東方向へ直線的に走向する。深さは６号溝が1.00m、７号溝が80cmを測り、底面標高は６号溝が低くなる。

覆土　６号・７号溝ともに覆土の一部にAs-Cが含まれる。８号溝は幅、深さは不明であるが、覆土上部にAs-Bの一次堆積がみられる。　**遺物**　６号溝では、古墳時代前期から後期の土師器坏・高坏・台付甕・甑、須恵器坏・甕などが少量出土した。７号溝では土師器坏・甕が微量に出土した。　**時期**　７号溝は５世紀後半以前、６号溝が５世紀後半から６世紀前半、８号溝は６世紀後半以降と考えられる。



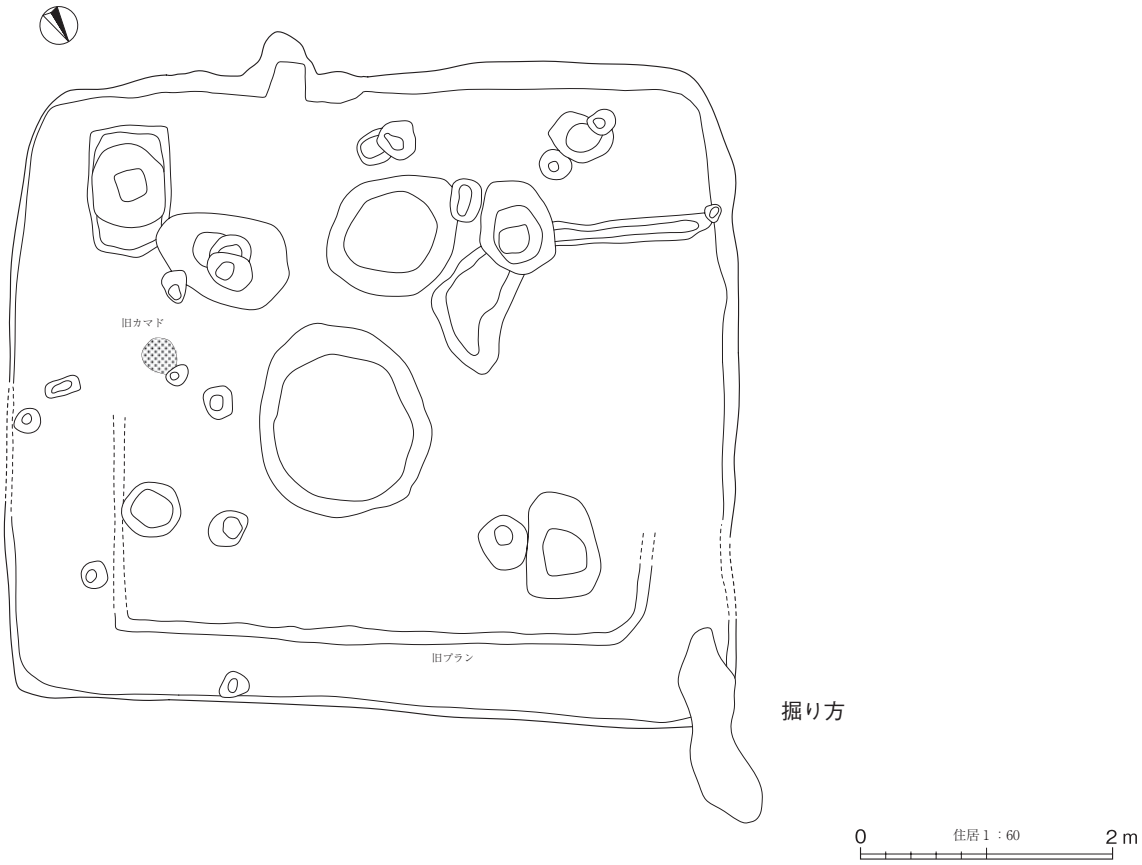
１号住居跡



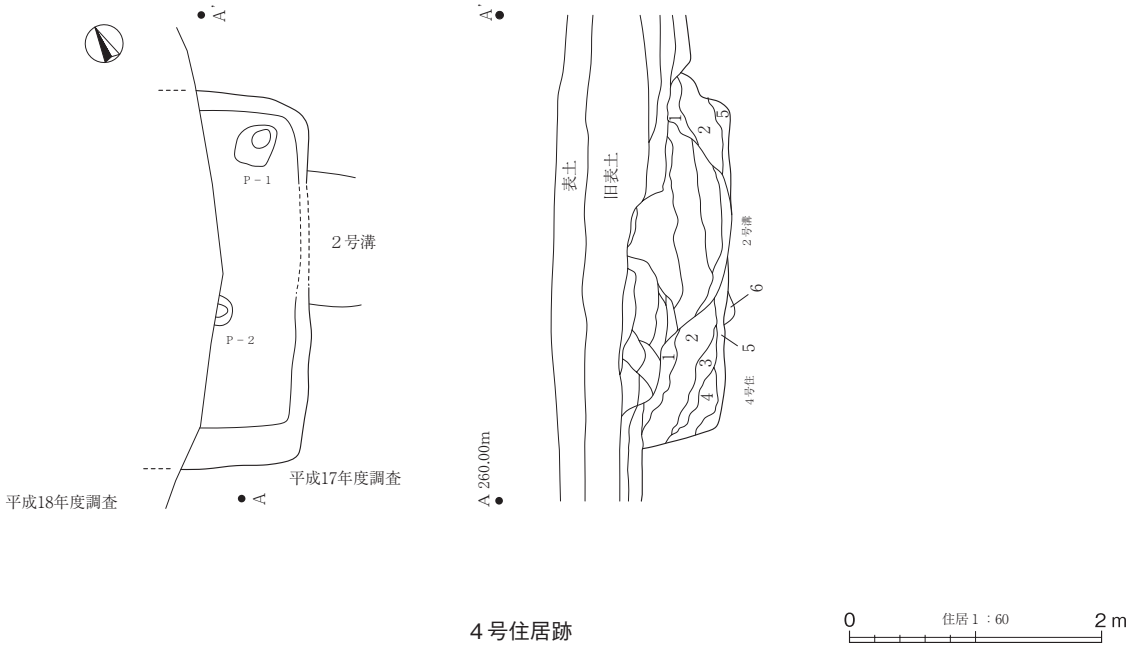
２号住居跡

第27図　１号・２号住居跡実測図

第28図　３号住居跡実測図

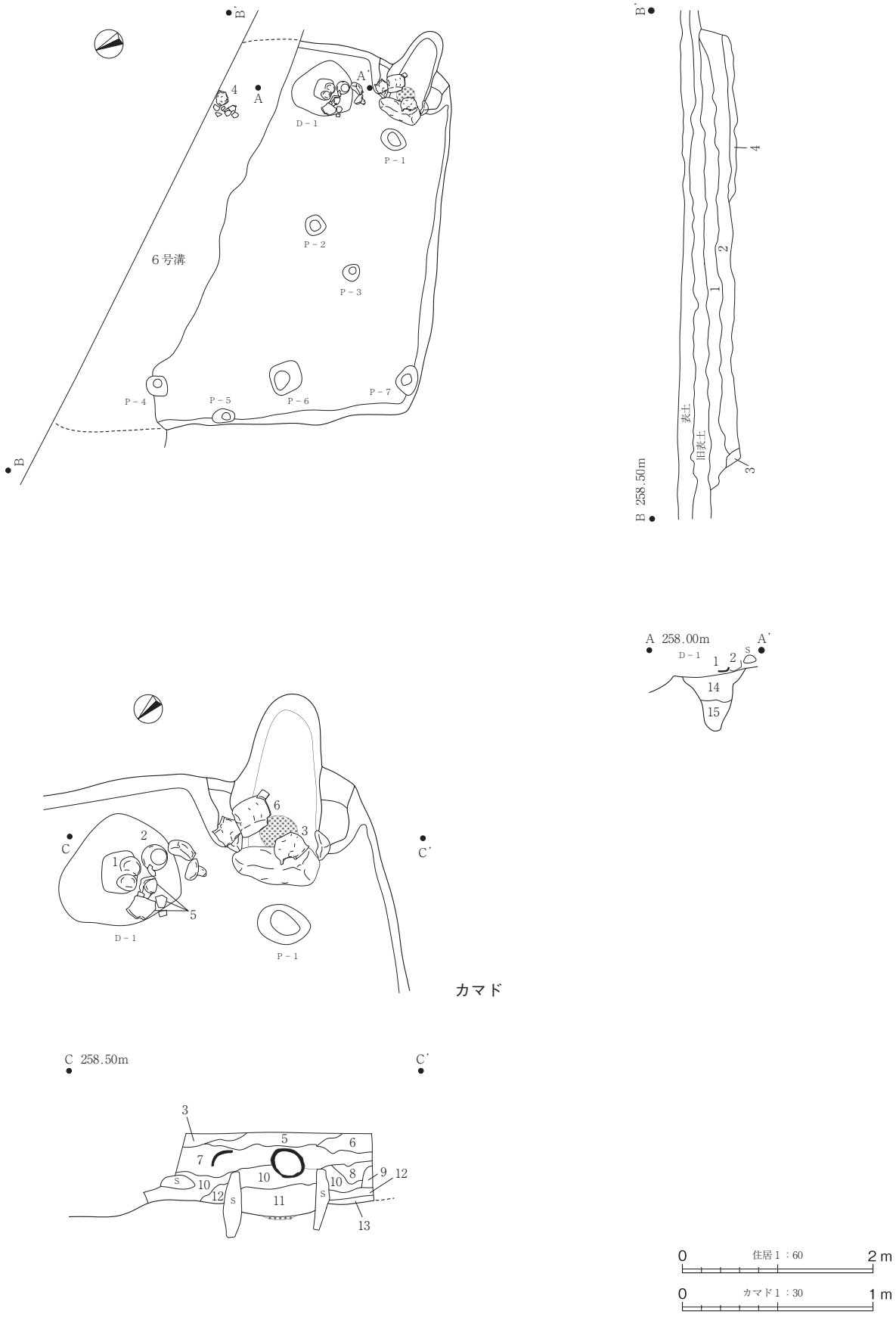


３号住居跡

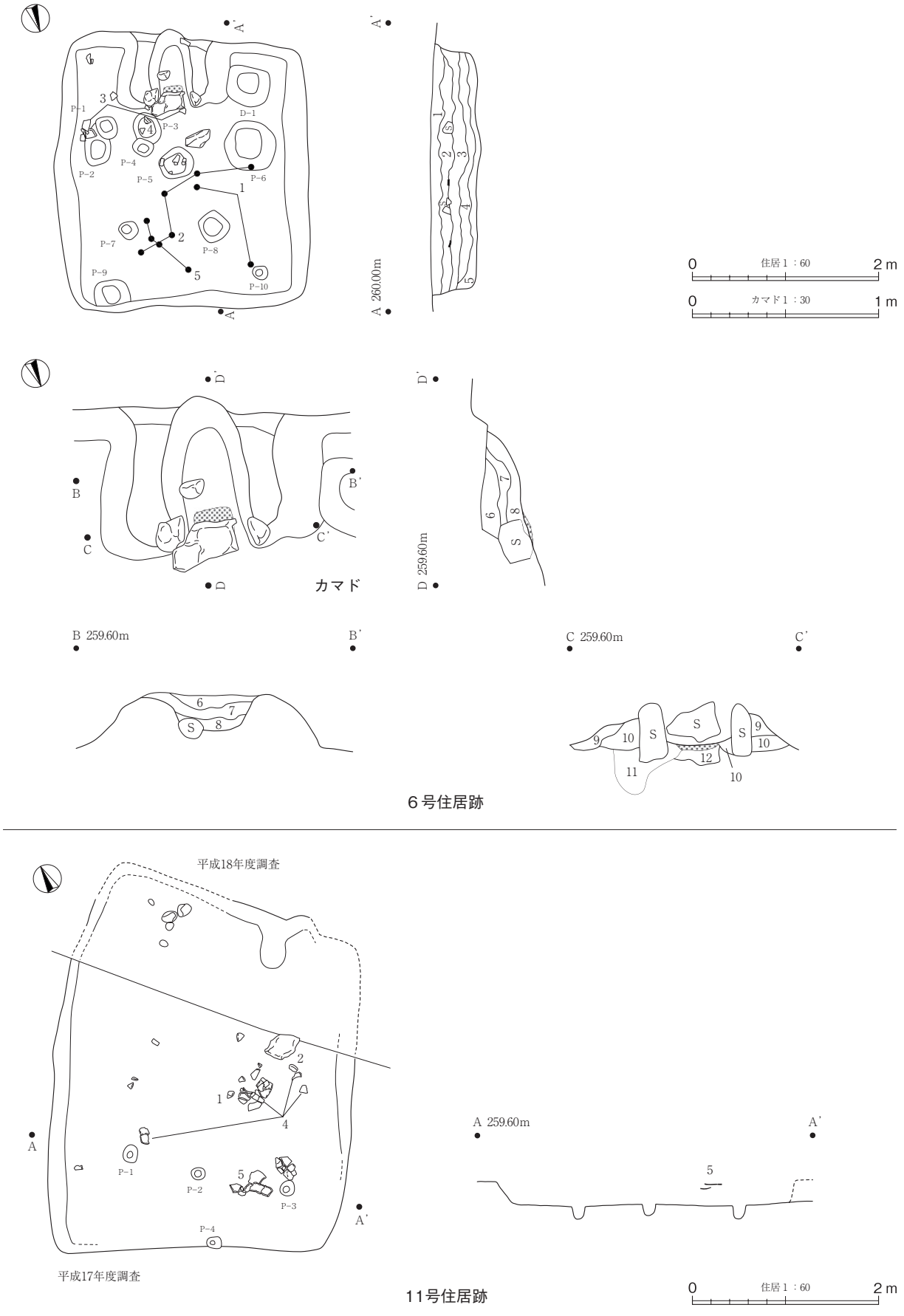


４号住居跡

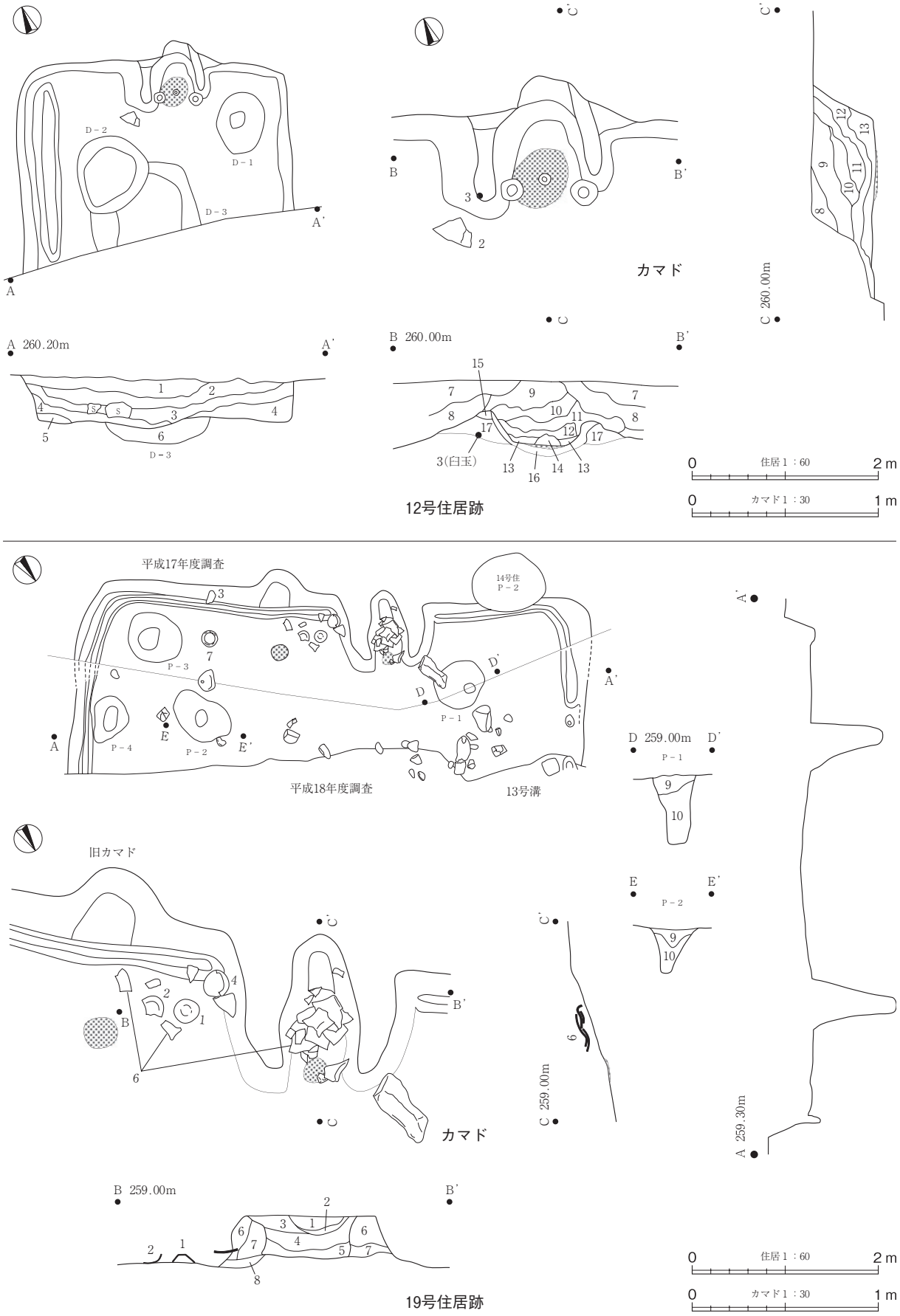
第29図　３号・４号住居跡実測図



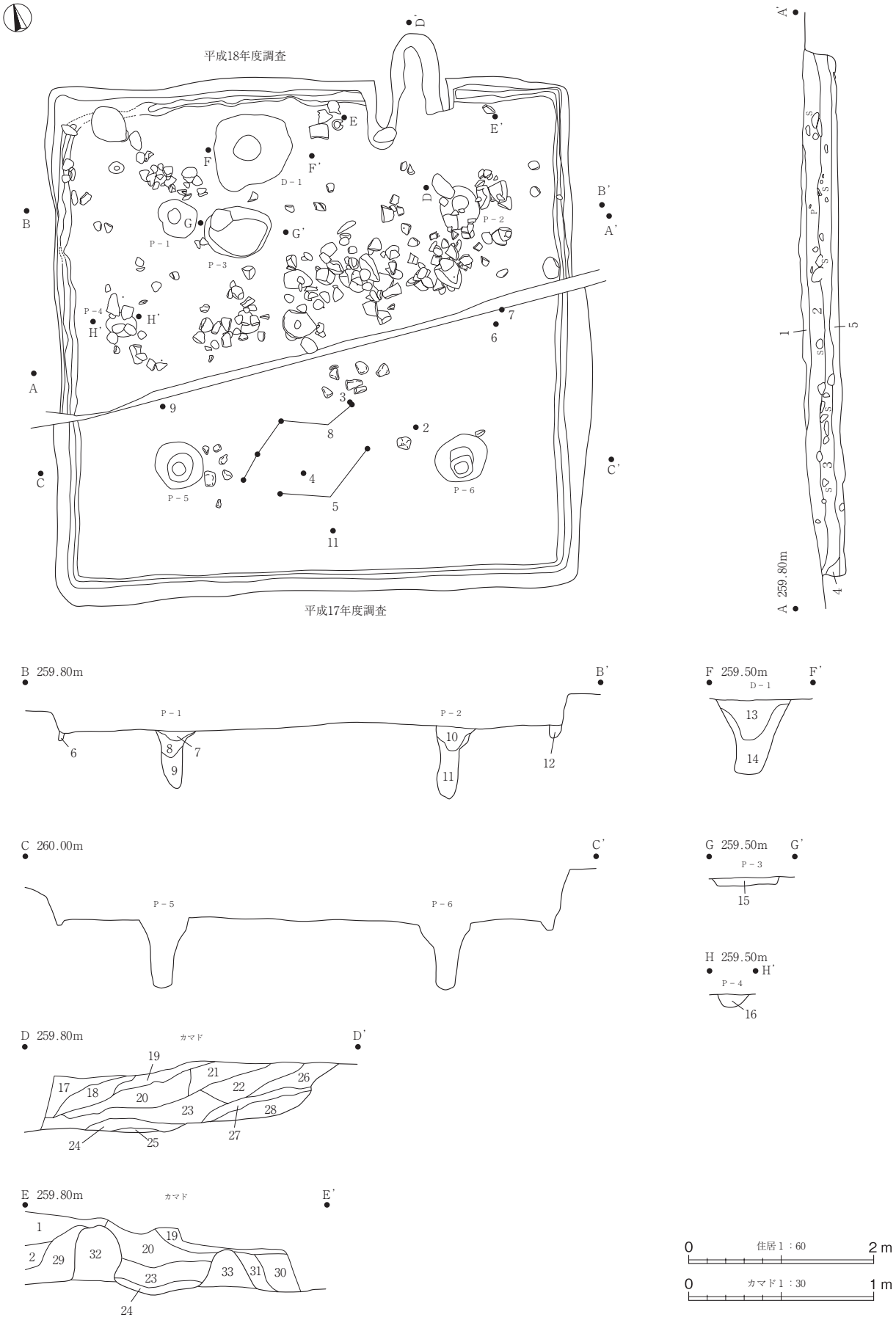
第30図　5号住居跡実測図



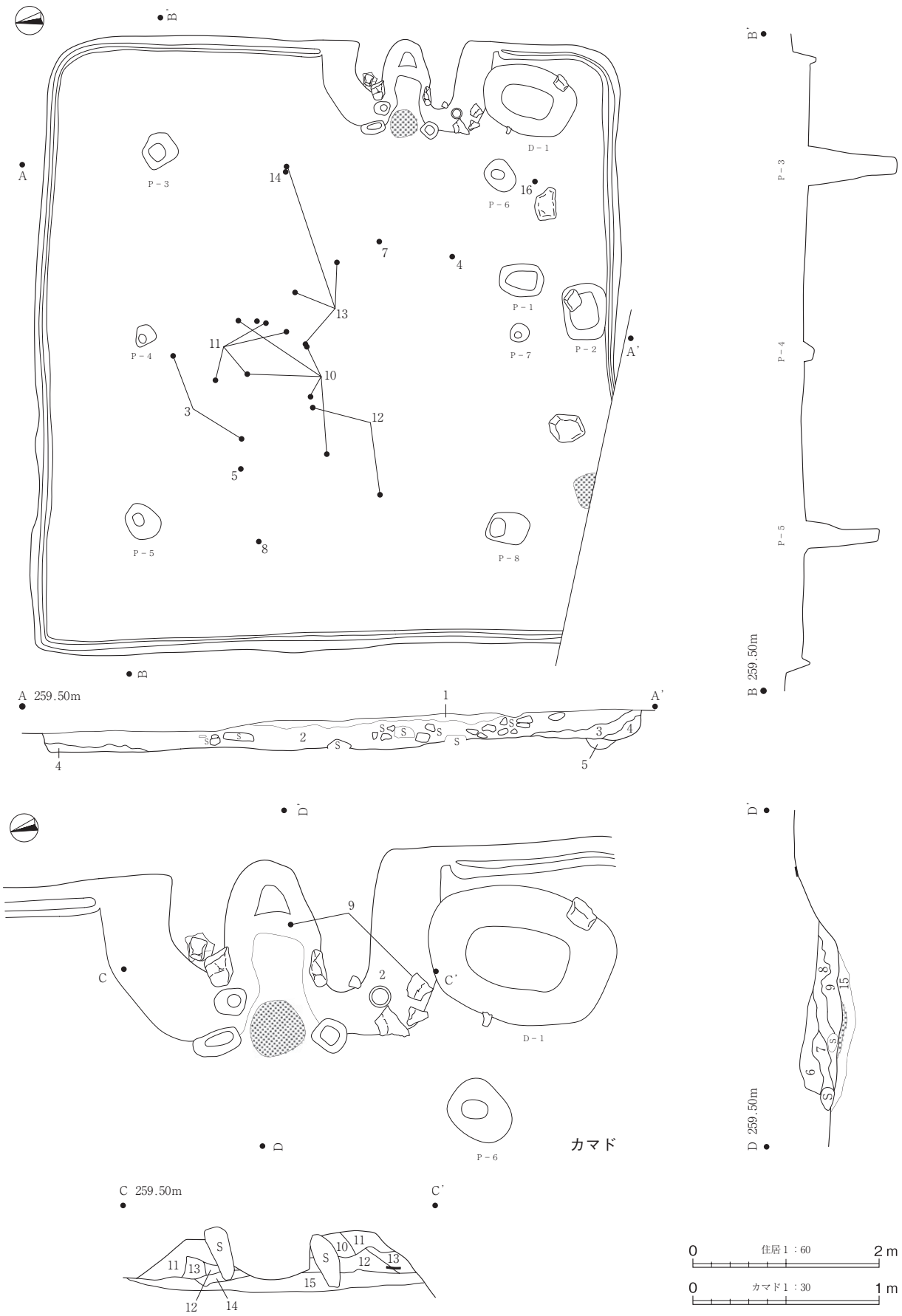
第31図　６号・11号住居跡実測図



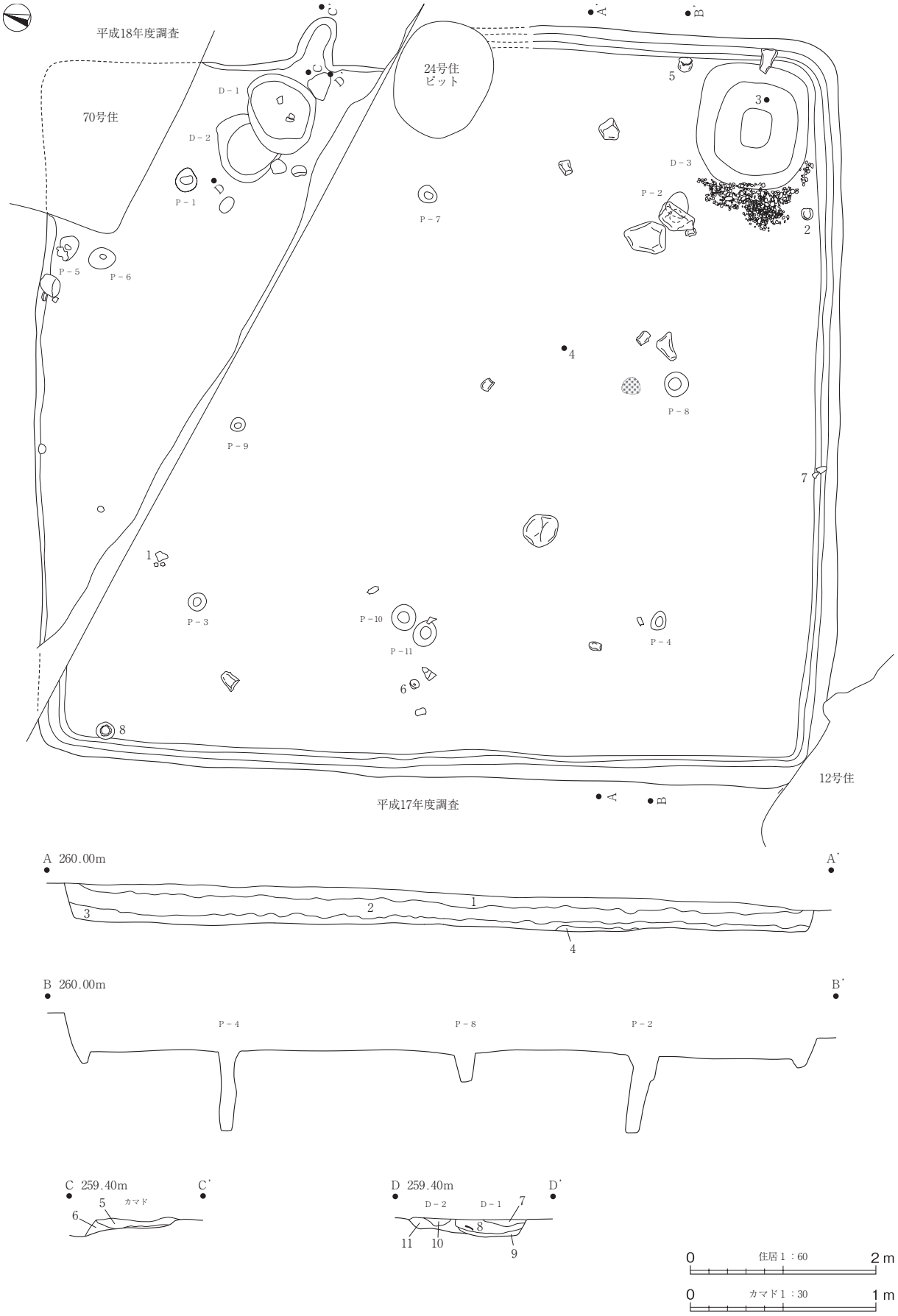
第32図　12号・19号住居跡実測図



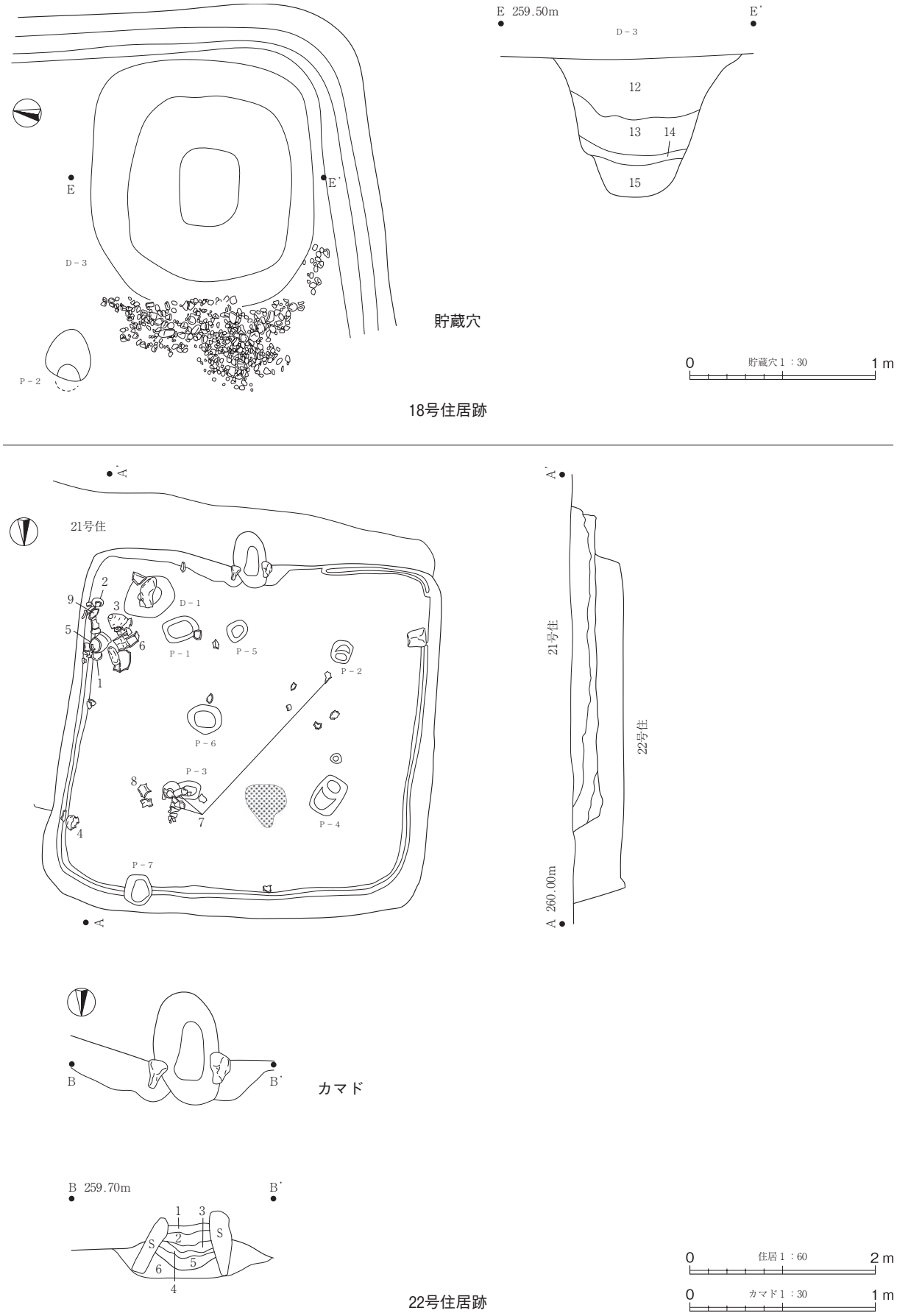
第33図　13号住居跡実測図



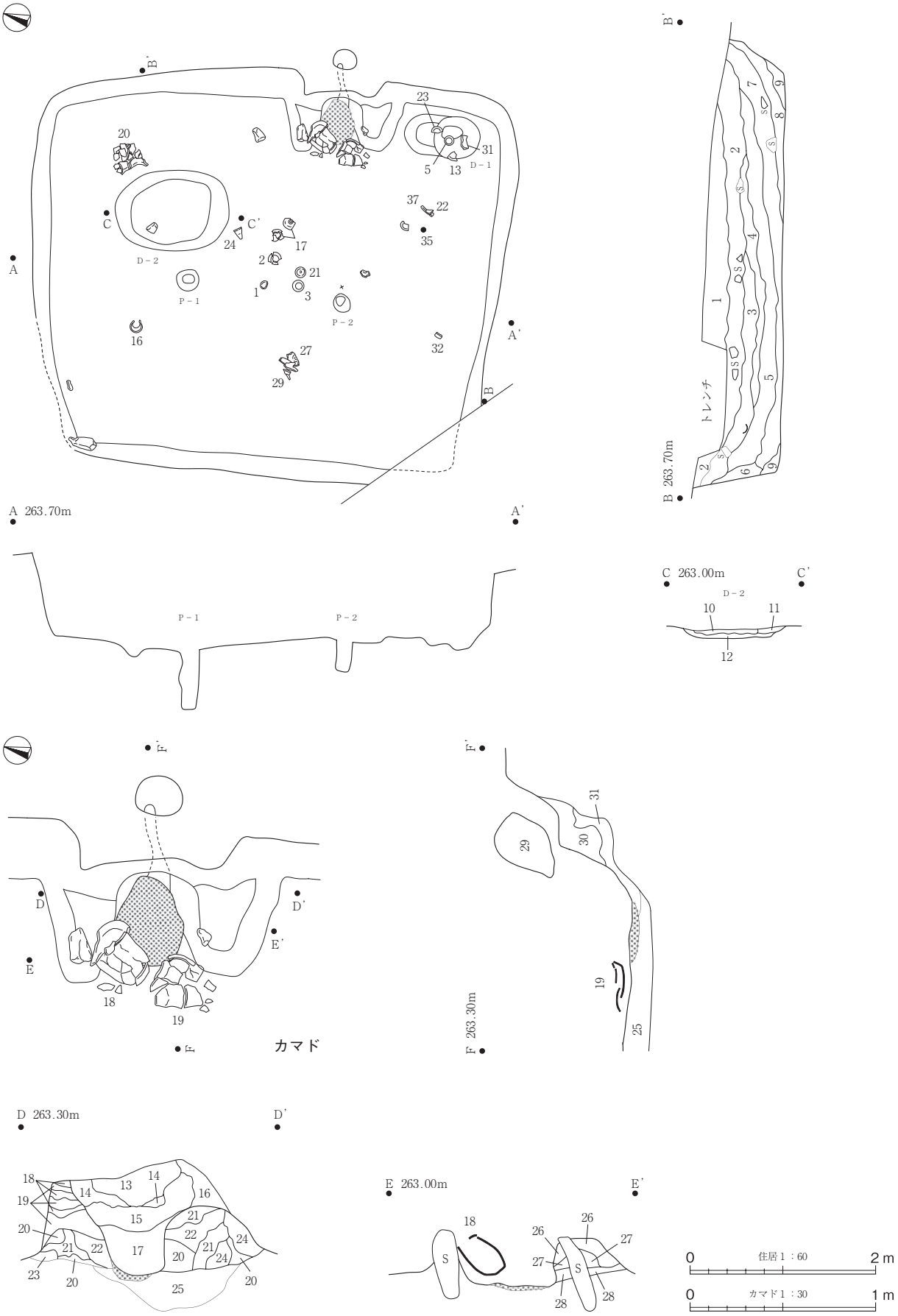
第34図　15号住居跡実測図



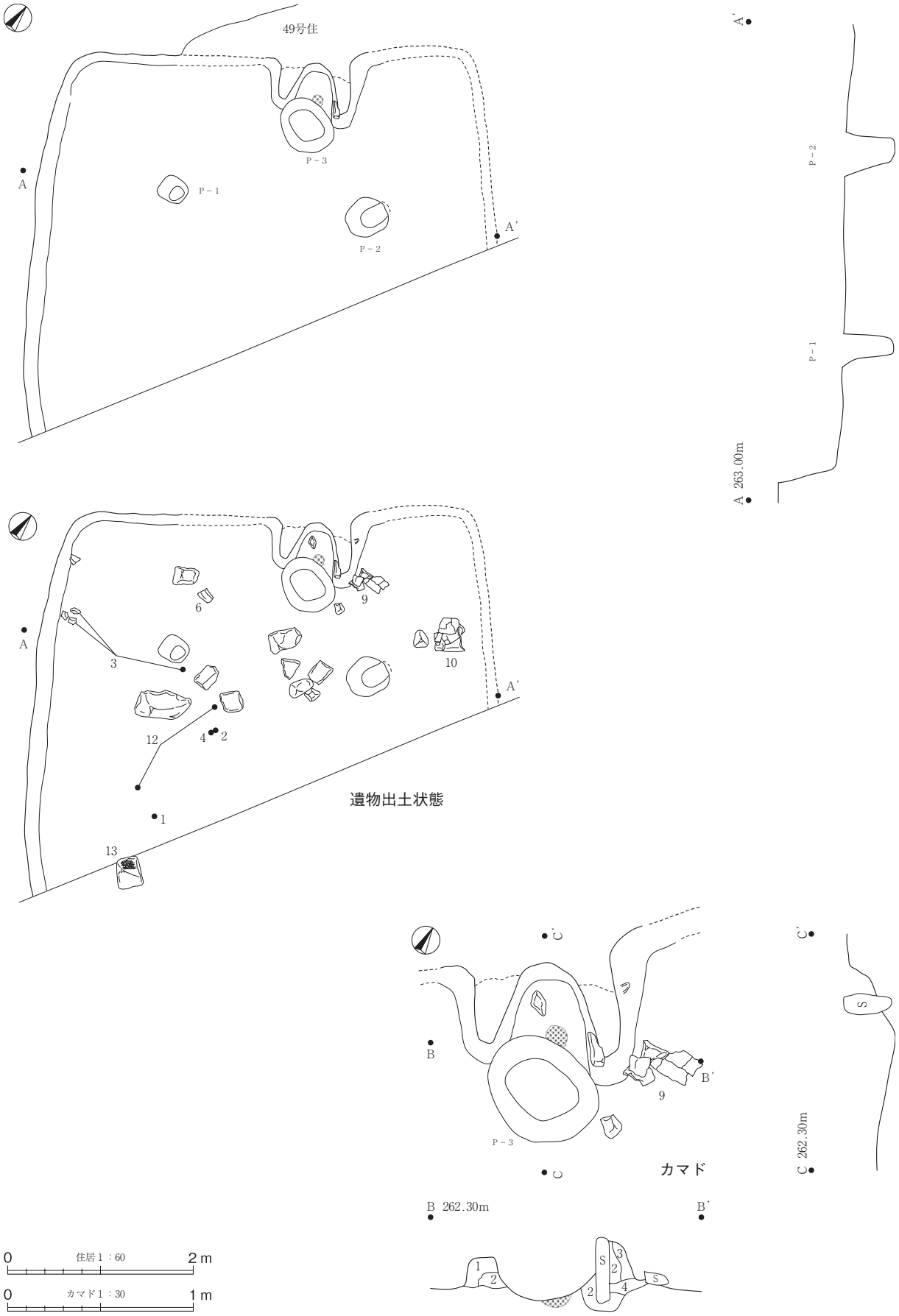
第35図　18号住居跡実測図



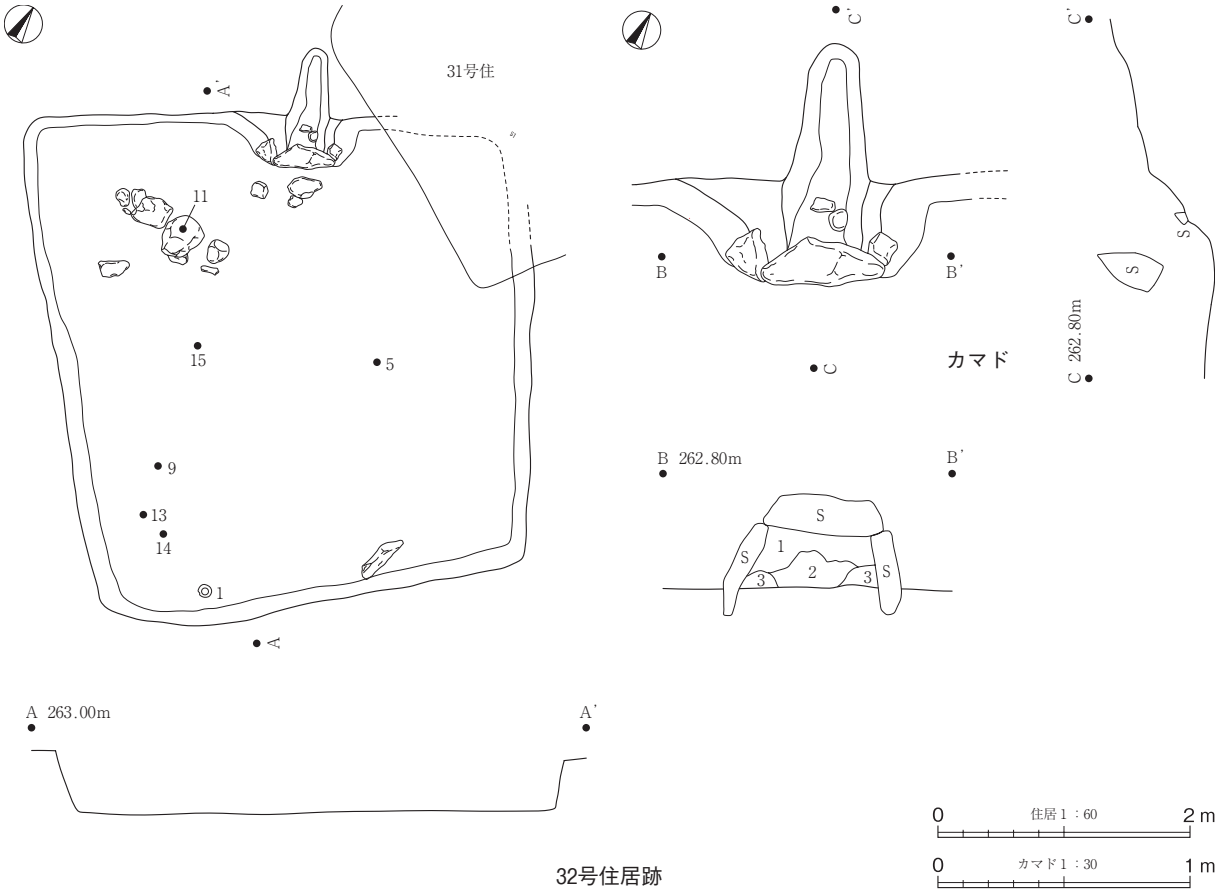
第36図　18号・22号住居跡実測図



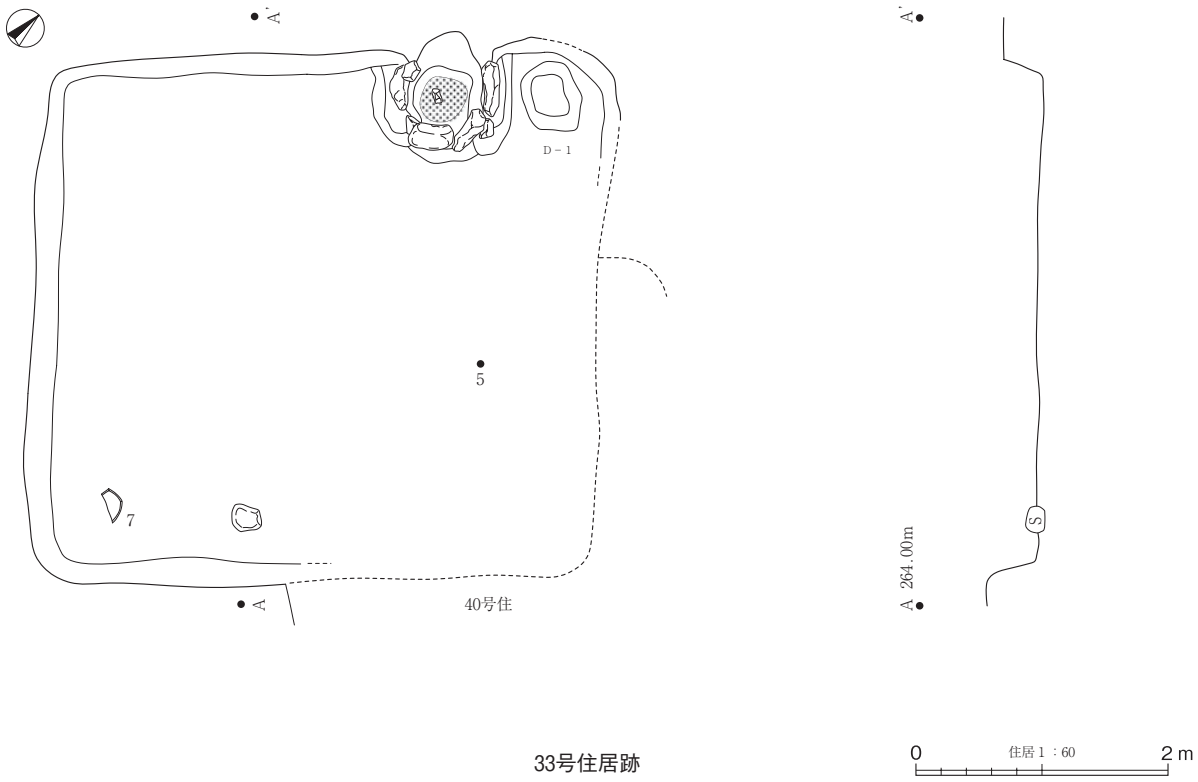
第37図　26号住居跡実測図



第38図　28号住居跡実測図

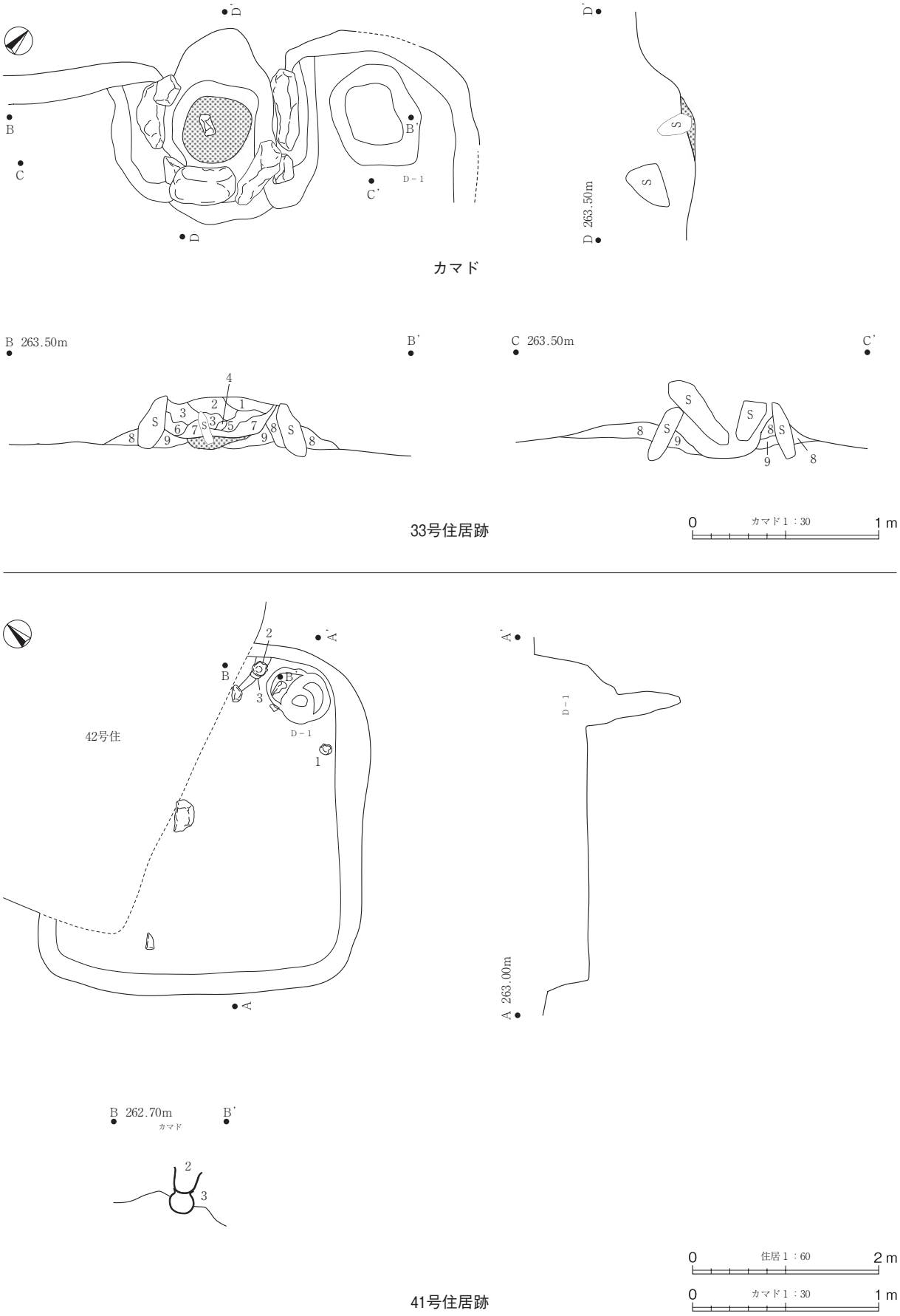


32号住居跡

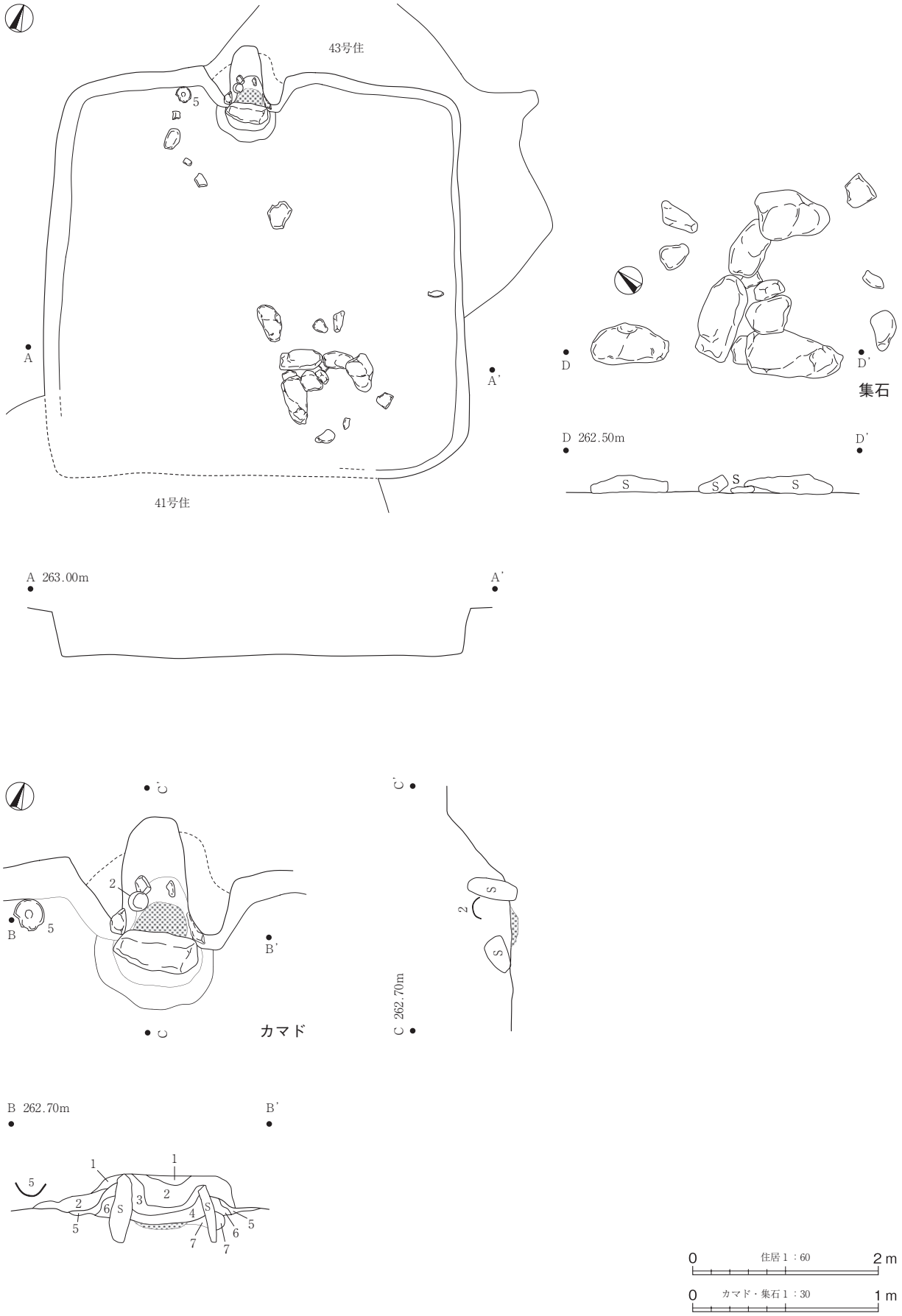


33号住居跡

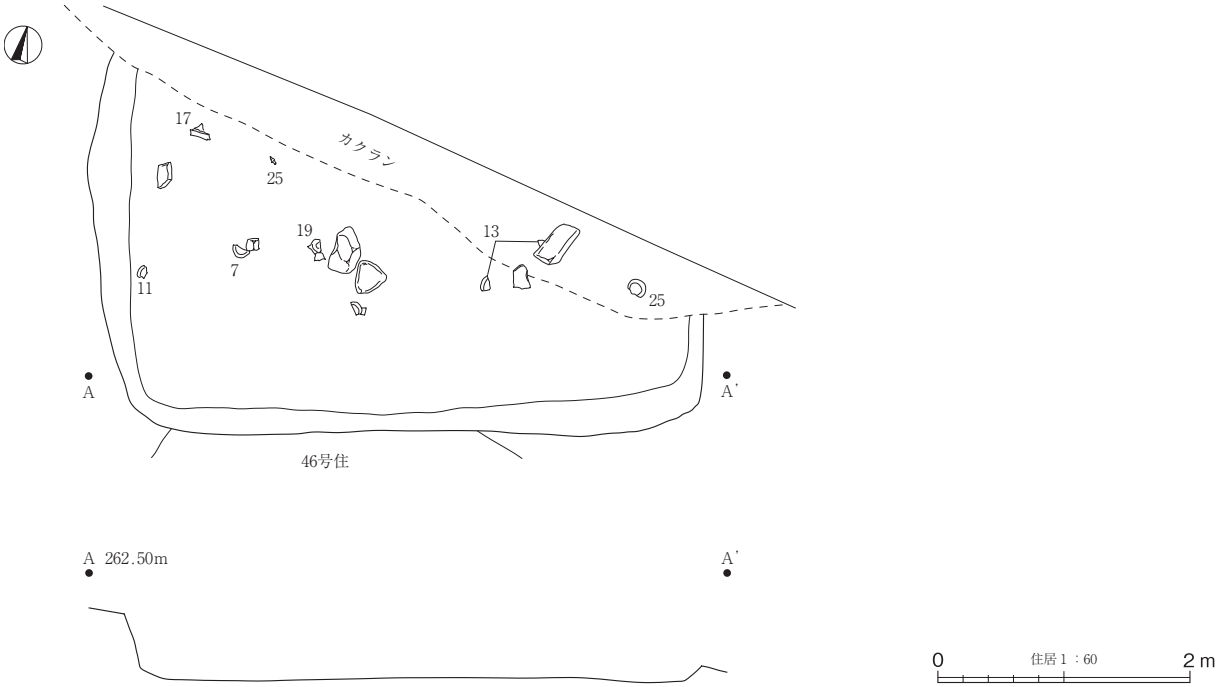
第39図　32号・33号住居跡実測図



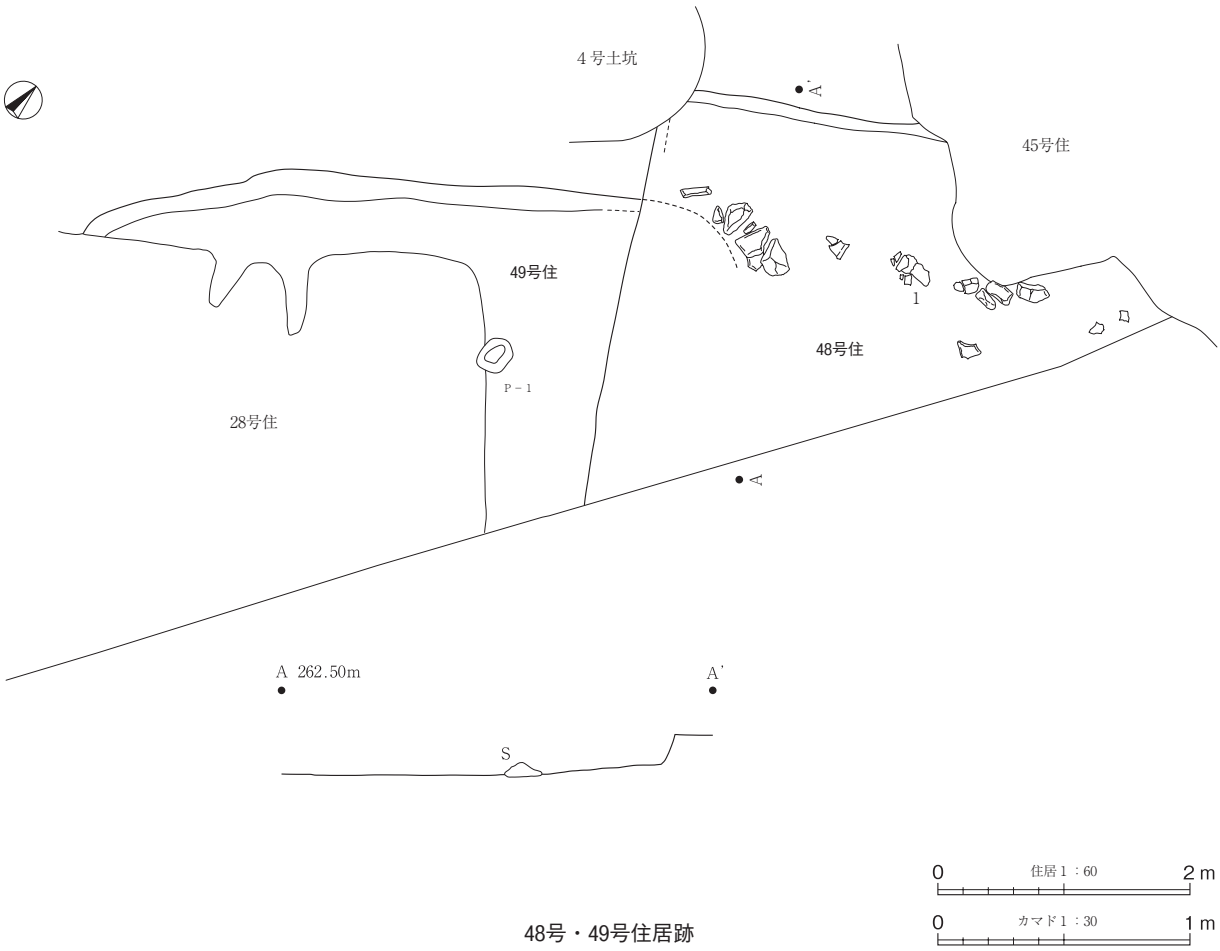
第40図　33号・41号住居跡実測図



第41図　42号住居跡実測図



47号住居跡



48号・49号住居跡

第42図　47号・48号・49号住居跡実測図

第43図　６号・７号・８号溝実測図

1号住居跡土層

1	黒褐色土	粘土質、焼土粒少量、ローム粒・ローム小ブロック多量
2	黒色土	粘土質、ローム粒少量
3	黒褐色土	ローム粒・焼土粒少量
4	黒色土	粘土質、締まりなし、ローム粒・焼土粒・炭化粒少量
5	黒褐色土	粘土質、締まりなし、焼土粒・灰少量
6	焼土ブロック	ローム粒少量
7	ロームブロック	焼土粒少量
8	黒褐色土	粘土質、やや締まる、焼土粒・炭化粒少量
9	黒色土	粘土質、ロームブロック少量
10	黒色土	粘土質、ロームブロック多量
11	黒色土	粘土質、ローム粒少量

3号住居跡土層

1	褐灰色土	硬く締まる、焼土粒少量
2	褐灰色土	硬く締まる、焼土粒多量
3	灰褐色土	締まりなし、焼土粒少量
4	灰褐色土	締まりなし、焼土粒・焼土小ブロック多量、炭化粒少量
5	焼土ブロック	
6	黒褐色土	締まりなし、焼土粒・炭化粒少量
7	灰褐色土	焼土粒・焼土小ブロック多量、炭化粒少量
8	黒褐色土	粘土質、やや締まる、焼土粒少量
9	黒褐色土	締まりなし、ローム粒多量
10	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒少量
11	黒褐色土	ローム小ブロック多量
12	黒色土	粘土質、ローム粒少量
13	黒褐色土	締まりなし、焼土粒・炭化粒多量
14	黒褐色土	締まりなし、ローム粒少量
15	黒褐色土	締まりなし、ローム粒・炭化粒多量

4号住居跡土層

1	黒褐色土	締まりなし、粘性なし、ローム小ブロック多量
2	黒褐色土	締まりなし、粘性なし、礫少量、ロームブロック多量
3	黒褐色土	締まりなし、粘性なし、ローム粒少量
4	黒色土	締まりなし、粘性なし、ローム粒少量
5	黒色土	締まりなし、粘性なし、
6	黒褐色土	締まりなし、粘性なし、ローム粒多量

5号住居跡土層

1	黒色土	粘土質、締まりなし、焼土粒・炭化粒・小石少量
2	黒褐色土	粘土質、締まりなし、ローム粒多量
3	黒褐色土	粘土質、締まりなし、ローム粒少量
4	黒褐色土	ローム小ブロック少量
5	黒褐色土	粘土質、ローム粒少量
6	黒褐色土	粘土質、締まりなし、ローム粒多量
7	黒褐色土	粘土質、焼土粒・ローム粒少量
8	黒褐色土	粘土質、締まりなし、ローム粒多量
9	ロームブロック	
10	黒褐色土	粘土質、焼土粒・炭化粒少量
11	黒褐色土	ローム小ブロック多量
12	黒褐色土	粘土質、ローム粒多量
13	黒褐色土	ローム粒少量
14	黒褐色土	粘土質、締まりなし、ローム粒多量
15	黒褐色土	ロームブロック多量

6号住居跡土層

1	黒色土	炭化粒少量、白色軽石多量
2	黒色土	粘土質、ロームブロック・礫・土器片多量、白色軽石少量
3	黒褐色土	粘土質、ローム粒・白色軽石多量
4	黒色土	ローム粒・白色軽石少量
5	黒色土	ローム粒・ロームブロック・焼土粒・炭化粒少量
6	黒褐色土	ローム粒・白色軽石多量、焼土粒少量
7	黒色土	粘土質、ローム粒少量
8	ロームブロック	焼土粒・炭化粒少量（天井部の崩落土）
9	黒褐色土	ローム粒・小石少量
10	黒褐色土	ロームブロック多量
11	黒色土	粘土質、ローム小ブロック少量
12	黒色土	粘土質、ローム粒少量

12号住居跡土層①

1	黒褐色土	白色軽石・小石多量
2	黒褐色土	白色軽石・小石・ローム小ブロック多量
3	黒褐色土	礫多量
4	黒色土	ローム粒多量、白色軽石少量
5	暗褐色土	砂質、ローム粒多量
6	黒褐色土	粘土質、ローム粒多量（床下土坑）
7	黒褐色土	硬く締まる、白色軽石多量、焼土粒少量
8	黒褐色土	粘土質、締まる、白色軽石多量、ローム小ブロック少量
9	ロームブロック	白色軽石・焼土粒多量（天井部の崩落土）
10	黒褐色土	締まりなし、白色軽石・焼土粒・ローム粒少量

12号住居跡土層②

11	焼土小ブロック	ロームブロック多量、黒褐色土少量
12	黒褐色土	粘土質、締まりなし、焼土粒・灰多量
13	黒色土	粘土質、締まりなし、炭化粒・灰多量
14	焼土粒・灰・炭化粒の混土	
15	ロームブロック	白色軽石・黒褐色土少量
16	黒褐色土	粘土質、ローム粒・焼土粒少量
17	黒褐色土	粘土質、白色軽石・小石少量

13号住居跡土層

1	黒色土	粘土質、硬く締まる、白色軽石多量
2	黒褐色土	粘土質、硬く締まる、白色軽石少量
3	黒褐色土	粘土質、硬く締まる
4	黒色土	締まる
5	褐色土	粘土質、締まる
6	黒褐色土	粘土質、締まる
7	黒褐色土	締まる
8	暗褐色土	粘土質、締まる
9	黄褐色土	極めて粘土質、締まる
10	黒褐色土	締まる、焼土粒多量、炭化粒少量
11	褐色土	粘土質、締まる
12	暗褐色土	粘土質
13	黒色土	粘土質、炭化粒少量
14	黄褐色土	粘土質、焼土粒少量
15	黒色土	硬く締まる
16	灰黄褐色土	粘土質
17	黒褐色土	炭化粒少量
18	暗褐色土	粘土質、焼土粒・炭化粒少量
19	暗褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
20	褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
21	褐灰色土	硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
22	黄褐色土	焼土粒多量、炭化粒少量
23	赤褐色土	焼土粒多量、炭化粒少量
24	暗赤褐色土	粘土質、焼土粒・炭化粒多量
25	明赤褐色土	粘土質、焼土粒多量、炭化粒少量
26	明褐色土	硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
27	赤褐色土	焼土粒多量、炭化粒少量
28	明赤褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒多量
29	暗褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
30	暗褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
31	赤褐色土	硬く締まる、焼土粒多量、炭化粒少量
32	黄褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒・炭化粒少量
33	赤褐色土	粘土質、硬く締まる、焼土粒多量、炭化粒少量

15号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石多量、焼土粒少量
2	黒褐色土	礫・土器片・白色軽石・ローム小ブロック多量
3	灰黄褐色土	ローム小ブロック多量
4	黒褐色土	焼土粒・ローム粒多量
5	黒褐色土	締まりなし
6	黒褐色土	白色軽石・焼土粒少量
7	黒褐色土	白色軽石多量
8	黒褐色土	白色軽石・焼土小ブロック多量
9	焼土ブロック・ローム小ブロック・灰の混土、締まりなし	
10	黒褐色土	粘土質、ローム小ブロック多量、白色軽石・焼土粒少量
11	黒褐色土	粘土質、ローム小ブロック・白色軽石・焼土粒少量
12	黒褐色土	焼土粒多量、ローム小ブロック・白色軽石少量
13	黒褐色土	ローム小ブロック・白色軽石・焼土粒少量
14	黒褐色土	焼土粒多量、ローム粒少量
15	黒色土	粘土質、白色軽石・ローム小ブロック少量

18号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石多量、焼土粒少量
2	黒褐色土	白色軽石・ローム粒少量
3	灰黄褐色土	粘土質、炭化粒多量、焼土小ブロック少量
4	黒褐色土	締まりなし、ローム小ブロック少量
5	明赤褐色土	焼土粒多量、炭化粒少量
6	暗赤褐色土	硬く締まる、焼土粒少量
7	黒色土	炭化粒少量
8	黒褐色土	やや粘土質
9	灰黄褐色土	粘土質、硬く締まる、小石多量
10	黒色土	炭化粒少量
11	暗褐色土	粘土質
12	黒褐色土	粘土質、ローム粒少量
13	黒褐色土	粘土質、礫多量
14	黒褐色土	粘土質、灰白色粘土ブロック多量
15	黒褐色土	粘土質、ローム粒多量

第９表　古墳時代土層注記①

19号住居跡土層

1	黒褐色土	砂質、白色軽石少量
2	黒褐色土	白色軽石多量、ローム粒少量
3	黒褐色土	焼土粒多量
4	黒褐色土	土器片多量
5	黒褐色土	締まりなし、炭化粒少量
6	黒褐色土	粘土質、焼土粒・白色軽石少量
7	黒褐色土	粘土質、白色軽石・ローム粒少量
8	黒褐色土	ローム粒少量
9	黒褐色土	白色軽石少量
10	黄褐色土	粘土質

22号住居跡土層

1	黒色粘質土・灰白色粘質土・ロームブロックの混土	
2	灰白色粘土	黒色粘質土・焼土ブロック少量
3	灰白色粘土	締まりなし、黒色粘質土・焼土ブロック多量
4	炭化粒及び灰	締まりなし、焼土小ブロック多量
5	灰と焼土ブロックの混土、ローム小ブロック少量	
6	灰白色粘土	黒色粘質土少量

26号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石多量、炭化粒少量
2	黒褐色土	白色軽石・礫・土器片・炭化粒多量（№35勾玉出土）
3	暗褐色土	粘土質、炭化粒多量、白色軽石少量
4	暗褐色土	粘土質、焼土粒・炭化粒多量、白色軽石少量
5	暗褐色土	粘土質、小石・白色軽石・焼土粒・炭化粒多量
6	暗褐色土	粘土質、炭化粒・白色軽石少量
7	暗褐色土	粘土質、小石・ローム粒・白色軽石多量
8	灰黄褐色土	粘土質、ローム粒・白色軽石少量
9	黒色土	ローム粒多量、白色軽石少量
10	焼土ブロック・ロームブロック・灰白色粘土ブロックの混土、炭化粒少量	
11	黒褐色土	締まりなし、炭化粒少量
12	炭化物	
13	ロームブロック	硬く締まる、白色軽石・焼土粒少量
14	黒褐色土	締まりなし、ローム小ブロック多量
15	黒褐色土	締まりなし、ローム小ブロック多量、炭化粒少量
16	黒褐色土・ローム小ブロックの混土、焼土粒少量	
17	灰白色粘土	黒褐色土・ローム小ブロック・焼土粒少量
18	黒褐色土	硬く締まる、ロームブロック少量
19	ロームブロック	硬く締まる、黒褐色土少量
20	ロームブロック・黒褐色土の混土	
21	ロームブロック	黒褐色土少量
22	ロームブロック	焼土粒少量
23	ロームブロック	
24	ロームブロック	硬く締まる
25	黒褐色土	砂質、ロームブロック少量
26	ロームブロック	焼土粒少量
27	黒褐色土	硬く締まる、ロームブロック多量
28	黒褐色土・ロームブロックの混土、少量焼土粒	
29	ロームブロック	（天井部）
30	ロームブロック	
31	黒褐色土	粘土質、ロームブロック・焼土粒少量

28号住居跡土層

1	ロームブロック	
2	ロームブロック	黒褐色土・焼土粒・炭化粒少量
3	黒褐色土	ロームブロック・焼土粒・炭化粒少量
4	ロームブロック	硬く締まる、黒褐色土少量

30号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石・ローム粒多量
2	黒色土	白色軽石・ローム粒多量
3	灰黄褐色土	ローム小ブロック・白色軽石多量
4	灰黄褐色土	白色軽石多量、ロームブロック少量
5	黒褐色土	白色軽石多量、ローム粒少量
6	黒褐色土	ロームブロック多量
7	黒褐色土	ローム粒多量
8	黒褐色土	ローム粒多量、焼土粒少量
9	黒褐色土	締まりなし、焼土粒多量
10	ロームブロック	焼土粒多量
11	ロームブロック	
12	黒褐色土	粘土質、ローム小ブロック少量

32号住居跡土層

1	黒褐色土	締まりなし、ローム粒多量、焼土粒少量
2	黒褐色土	締まりなし、焼土粒多量
3	黒褐色土	焼土粒少量

33号住居跡土層

1	焼土ブロック	黒褐色土少量
2	黒褐色土	白色軽石・焼土粒少量
3	ロームブロック・焼土ブロック・灰白色粘土ブロックの混土	
4	焼土ブロック	
5	黒色土	粘土質、焼土粒少量
6	焼土粒・ローム粒・黒褐色土の混土、締まりなし	
7	ロームブロック・焼土粒の混土、締まりなし	
8	黒褐色土	ロームブロック多量
9	ロームブロック	黒褐色土・焼土粒・炭化粒少量

42号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石・灰白色粘土粒少量
2	灰白色粘土	黒褐色土・焼土粒少量
3	灰白色粘土	締まりなし、黒褐色土多量
4	黒褐色土	灰白色粘土少量
5	灰白色粘土	小石・黒褐色土少量
6	灰白色粘土	黒褐色土多量
7	黒褐色土	ローム粒少量

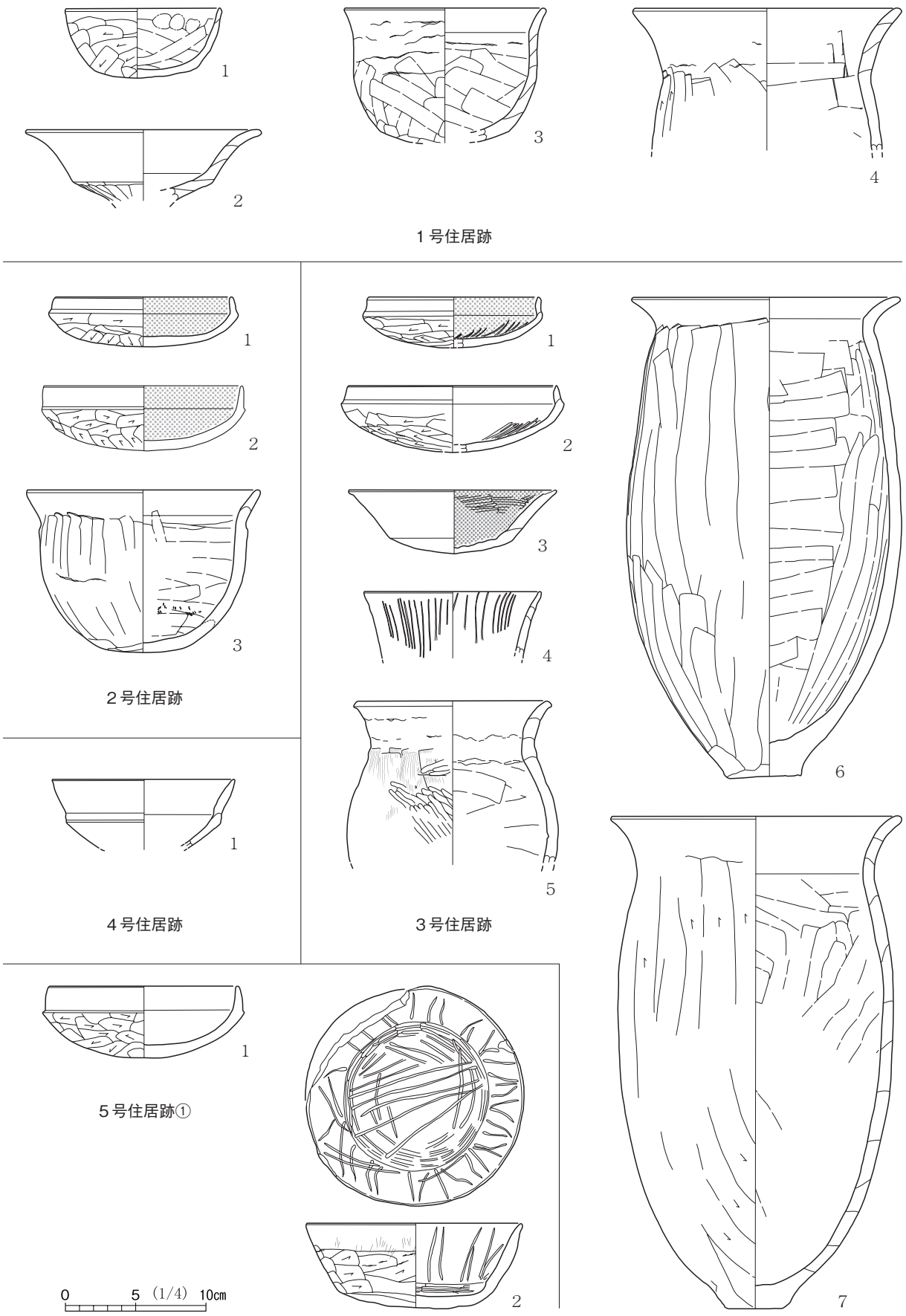
6号溝土層

1	黒色土	ローム粒・As-C 少量
2	黒色土	ローム粒多量
3	黒色土	ローム小ブロック多量
4	黒褐色土	ローム粒多量
5	黒褐色土	ロームブロック多量

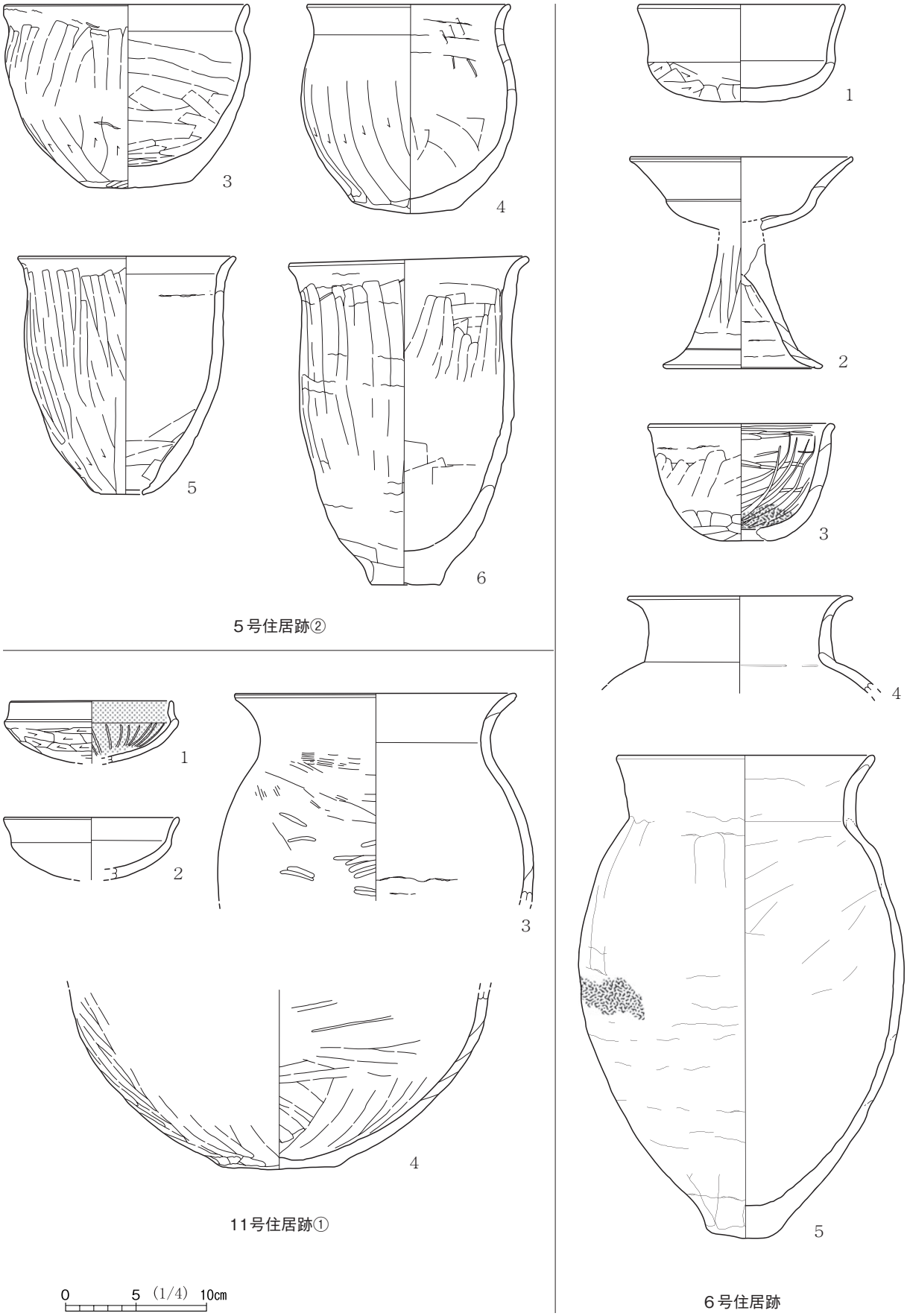
7号溝土層

1	黒色土	粘土質、As-C 少量
2	黒色土	ローム小ブロック多量
3	褐色土	ローム粒多量
4	黒褐色土	ローム粒多量
5	礫	小石多量

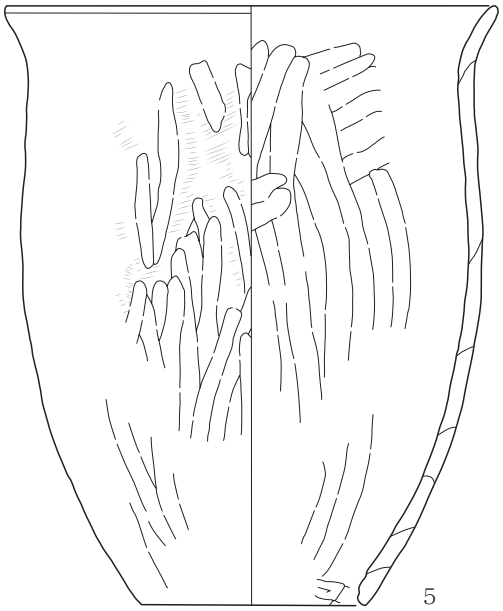
第10表　古墳時代土層注記②



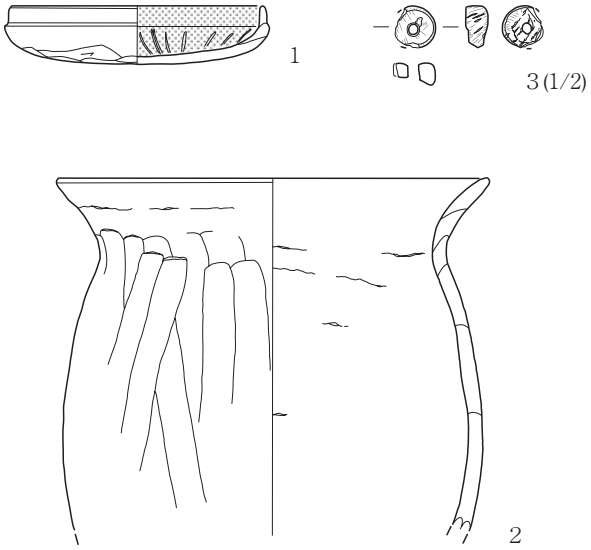
第44図　1～5号住居跡出土遺物実測図



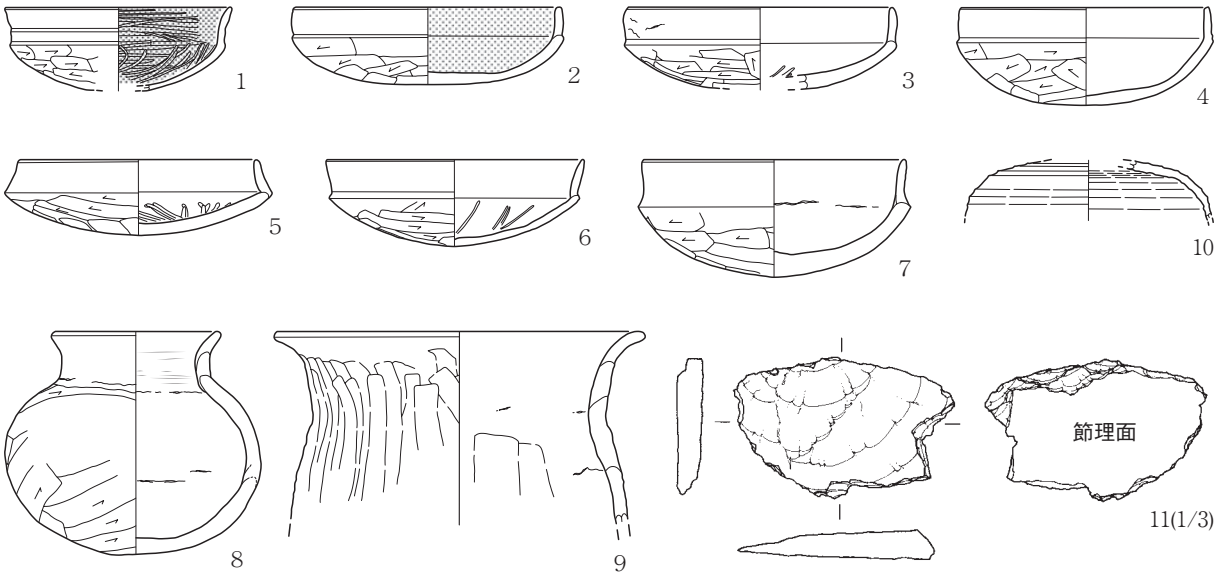
第45図　5・6・11号住居跡出土遺物実測図



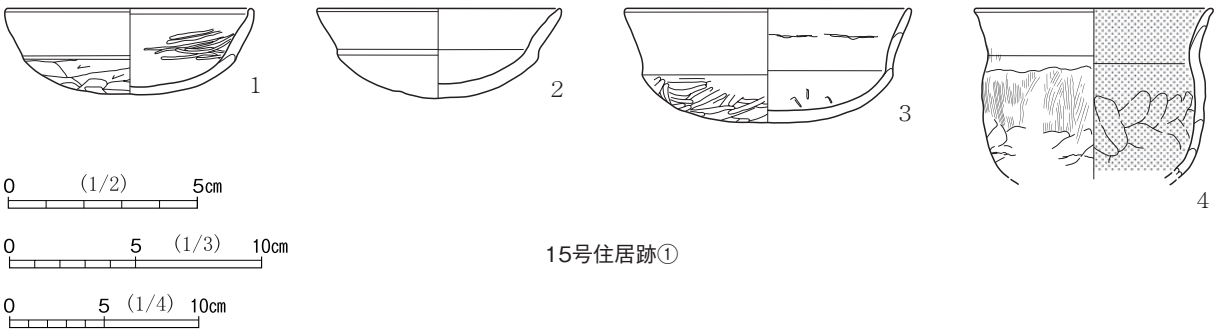
11号住居跡②



12号住居跡

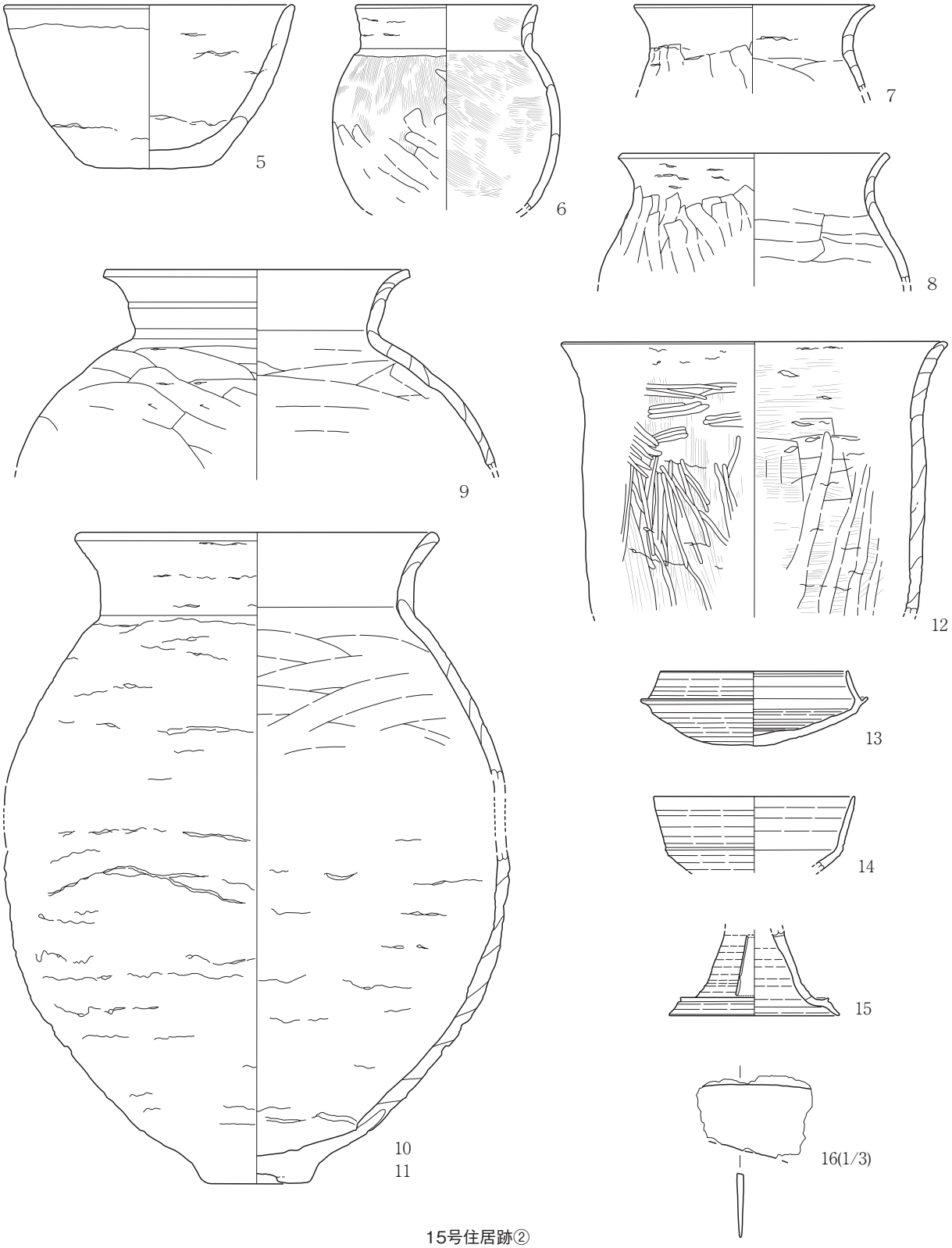


13号住居跡



15号住居跡①

第46図　11･12･13･15号住居跡出土遺物実測図

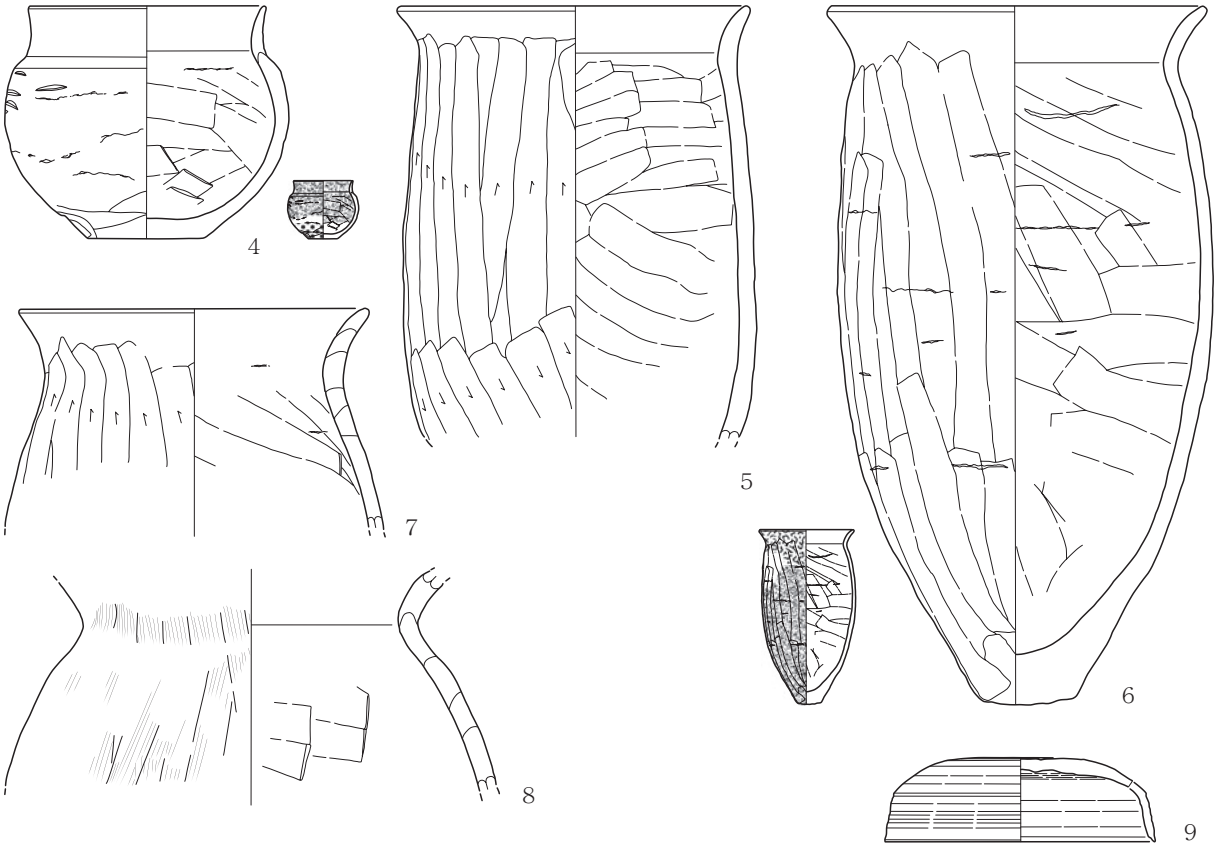


15号住居跡②

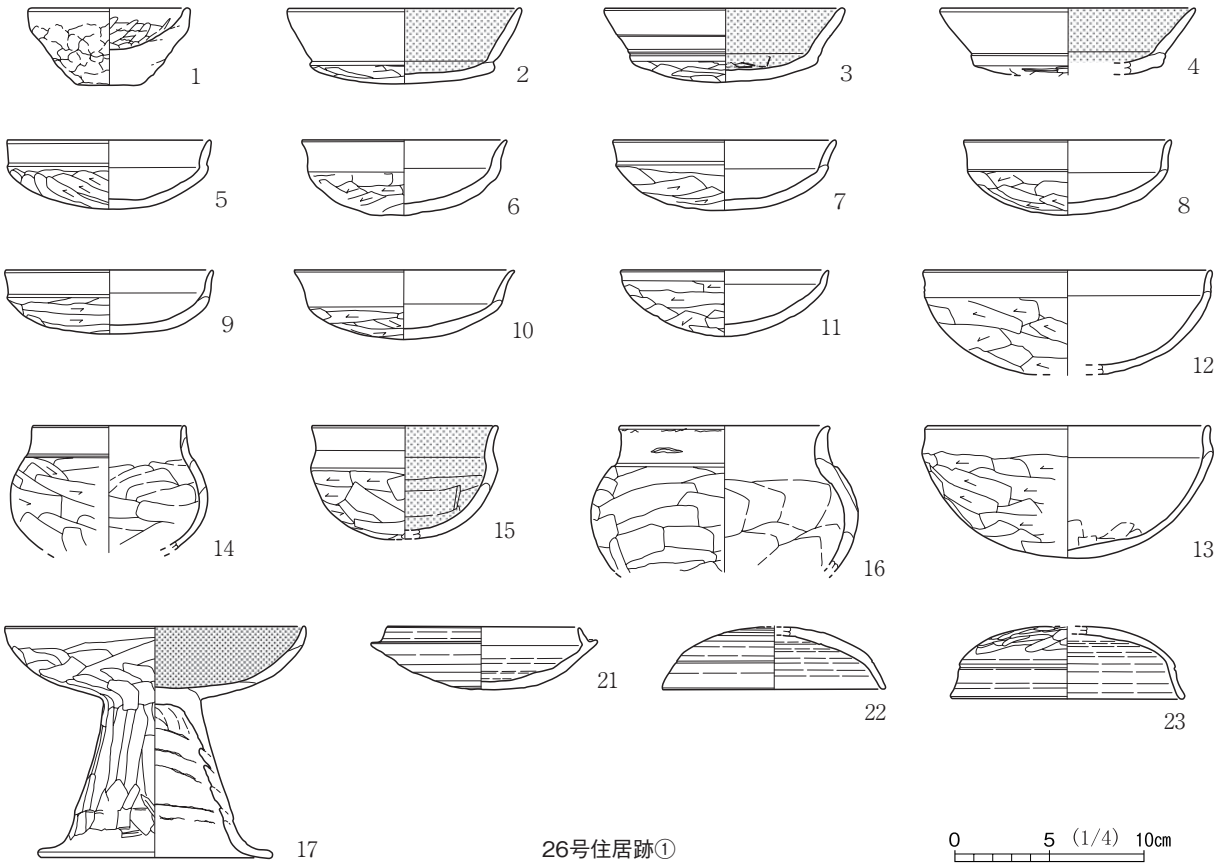
20号住居跡

第47図　15･20号住居跡出土遺物実測図

第48図　18･19･22号住居跡出土遺物実測図

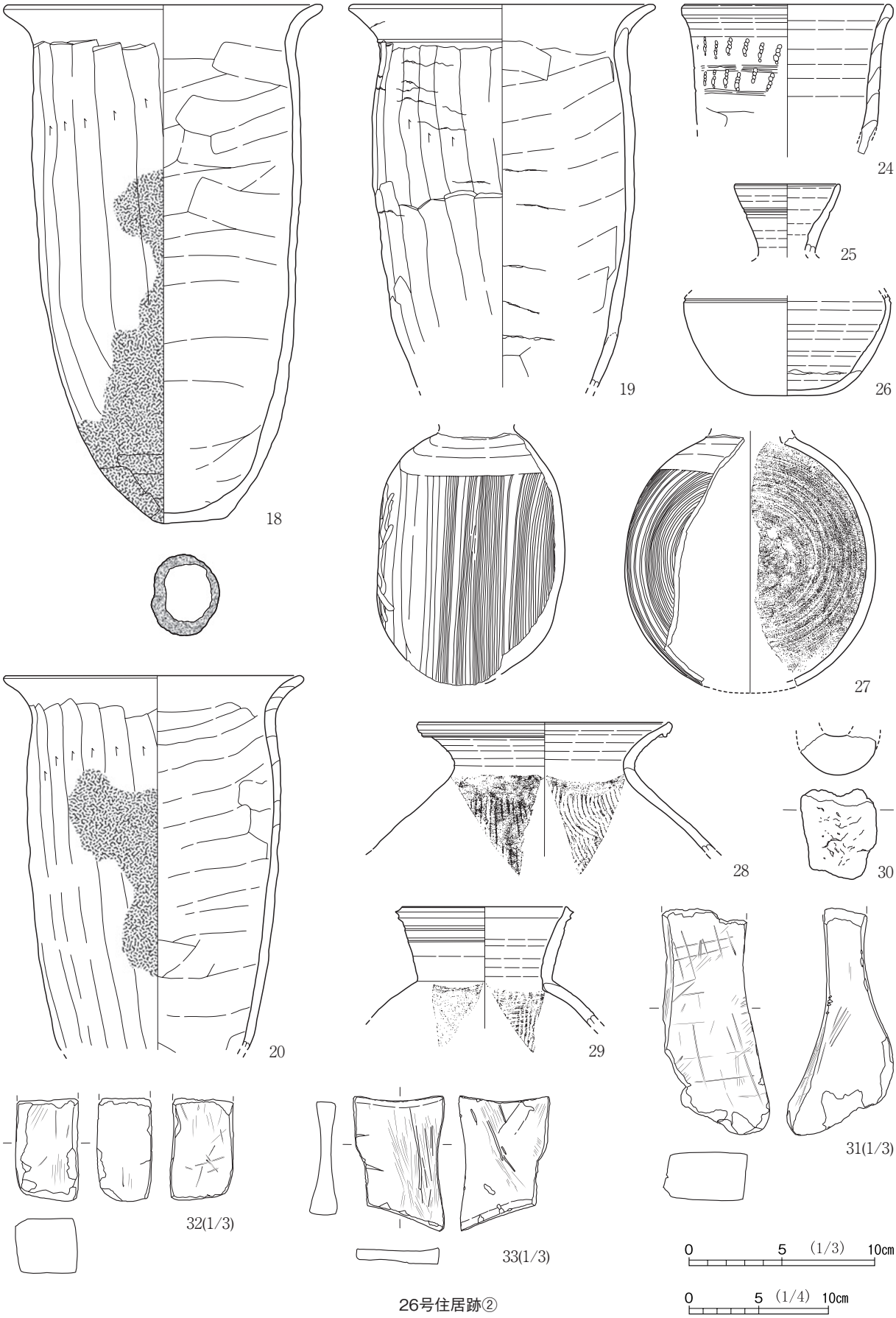


22号住居跡②

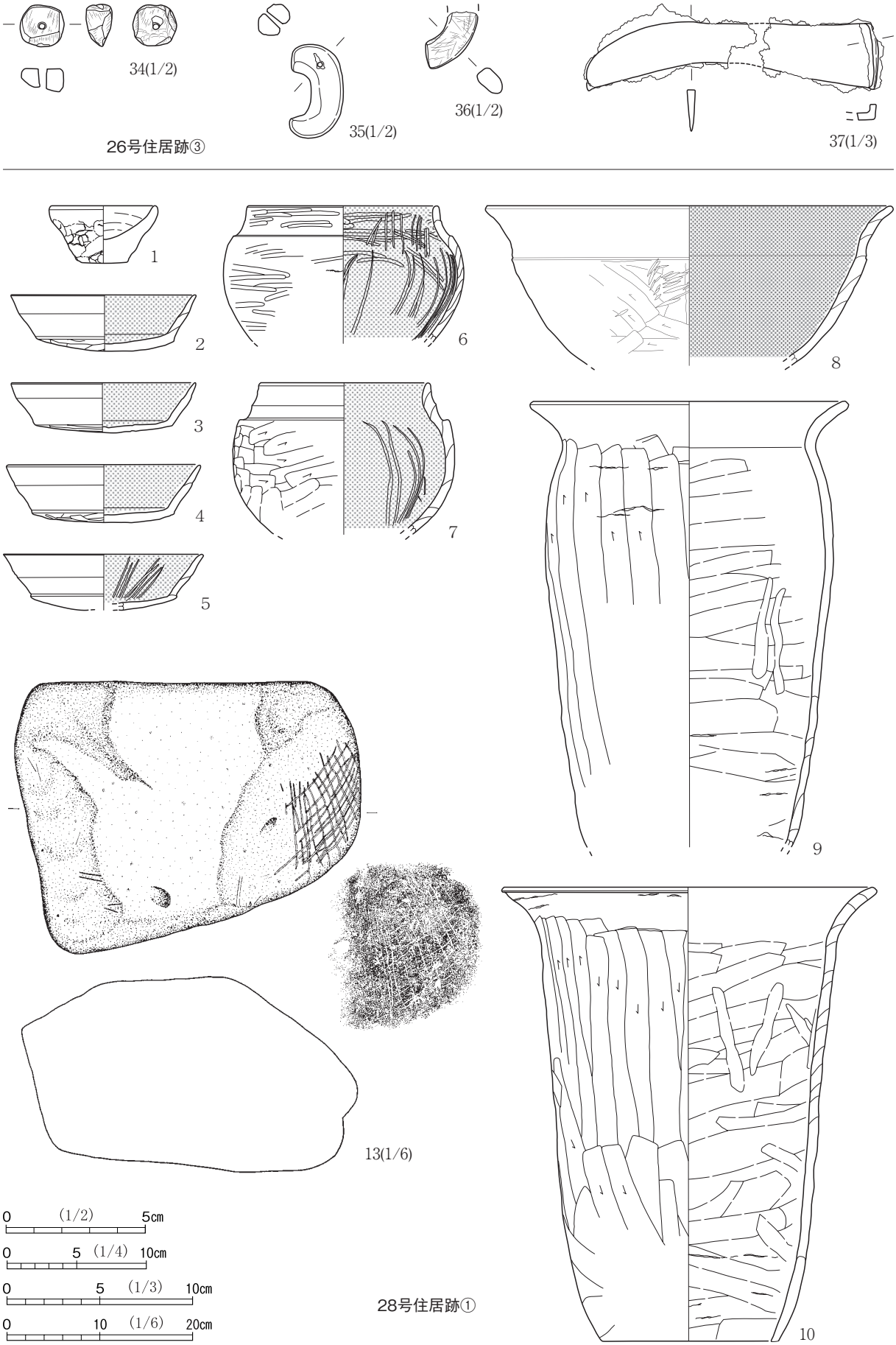


26号住居跡①

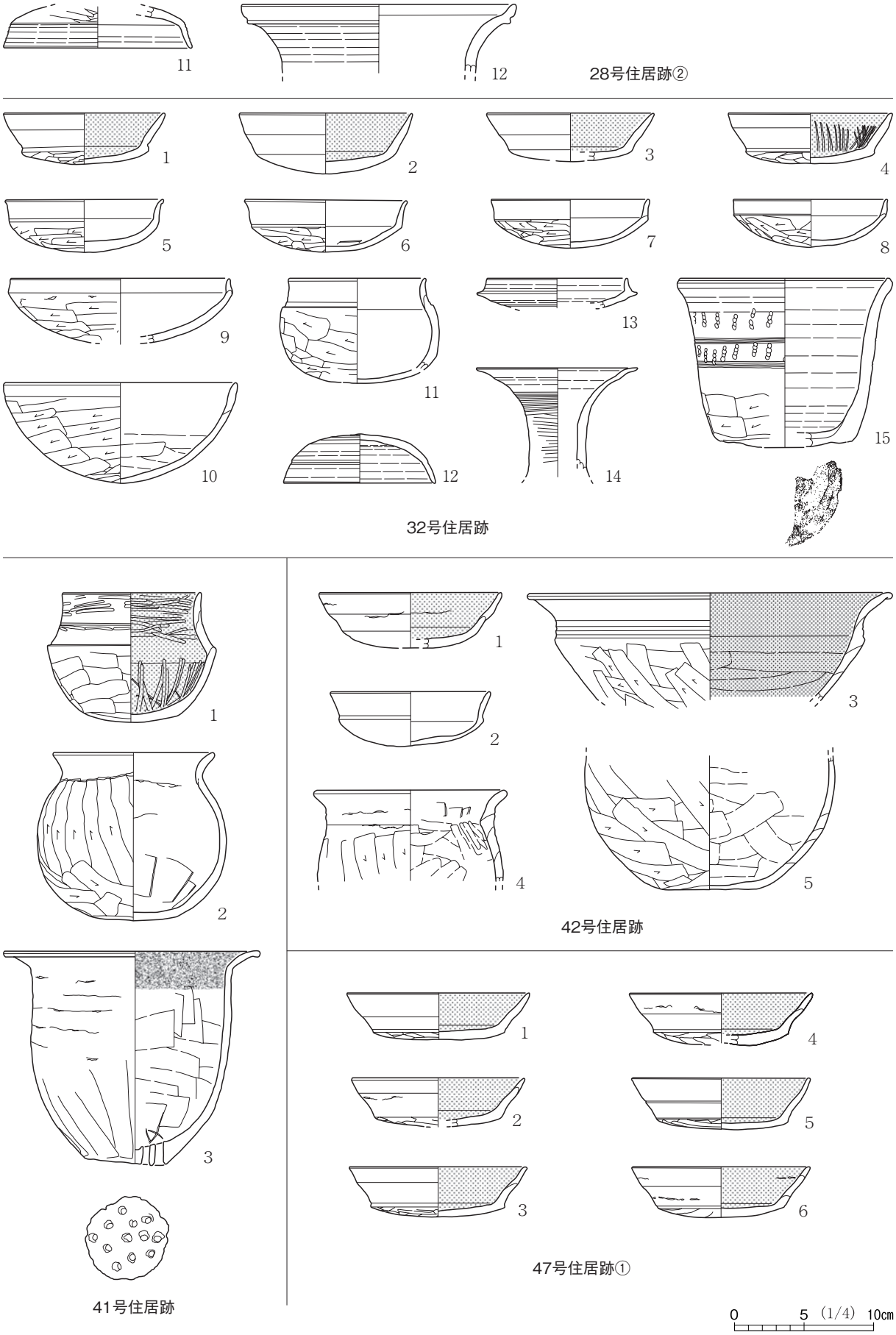
第49図　22･26号住居跡出土遺物実測図



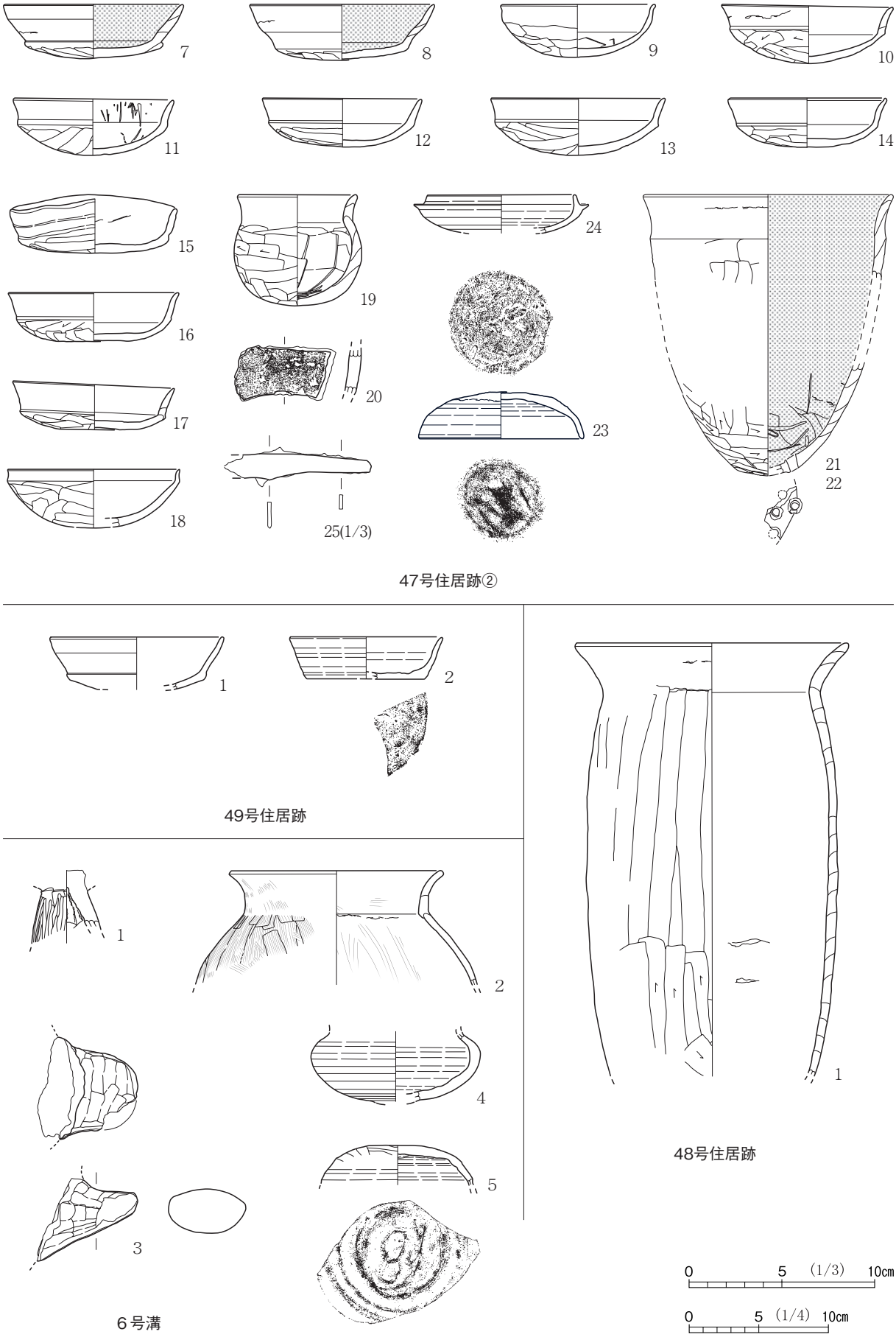
第50図　26号住居跡出土遺物実測図



第51図　26･28号住居跡出土遺物実測図



第52図　28・32・41・42・47号住居跡出土遺物実測図



第53図　47･48･49号住居跡、6号溝出土遺物実測図

第11表　１号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.45	土師器 埦	口縁部 1/2 欠損 竈左脇	口:(10.3) 底:　－ 高:　5.0	①雲母・白色パミス ②酸化 / 不良　外面に薄い黒斑 ③にぶい黄橙色 / 橙色	外面:体部～底部篦削り後口縁部弱い横撫で。 内面:指頭痕後に弱い横撫で。体部～底部篦撫で。 口縁部の歪み顕著。
2 PL.45	土師器 高坏	坏部 1/3 欠損 竈袖中	口:(16.4) 底:　－ 高:　－	①チャート・石英・角閃石 ②酸化 / 良好 ③赤色 / 赤色	外面:口縁部横撫で後に篦磨きだが剥落。杯底部篦削り後に篦磨きだが剥落。 内面:篦磨きが剥落。　内外面赤彩。
3 PL.45	土師器 小型甕	口縁部～底部 1/2 残存 南西隅	口:(14.2) 底:　－ 高:　－	①雲母・片岩 ②酸化 / 良好　胴部外面に煤 ③橙色 / 灰褐色	外面:口縁部横撫で弱く、粘土積み上げ痕顕著。胴部～底部篦削り後篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
4 PL.45	土師器 甕	口縁部～胴部上 半 1/3 残存 竈左袖中＋竈右 袖中	口:(18.8) 底:　－ 高:　－	①雲母・片岩・石英 ②酸化 / 良好 ③にぶい褐色 / 黒褐色	外面:口縁部弱い横撫で。胴部縦方向の篦削り。 内面:口縁部横撫で。頸部～胴部横方向の篦撫で。

第12表　２号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.45	土師器 坏	完形 竈前	口: 13.0 底:　－ 高:　3.6	①白色粒・褐色粒 ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③灰黄褐色 / 黒色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
2 PL.45	土師器 坏	口縁部 1/2 欠損 竈前	口:(14.2) 底:　－ 高:　4.6	①白色粒・石英 ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③灰黄褐色 / 黒褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部～体部横撫で。底部篦撫で。
3 PL.45	土師器 小型甕	口縁部～底部 1/2 残存 竈前	口:　－ 底:　3.0 高: 12.0	①チャート・白色パミス ②酸化 / 普通　内面に黒斑 ③黒褐色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。頸部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。胴部下位に篦先状工具痕。

第13表　３号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.45	土師器 坏	1/4 残存 竈前	口:(12.0) 底:　－ 高:(3.6)	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好 ③灰黄褐色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後放射状磨き。
2 PL.45	土師器 坏	1/2 残存 北壁付近	口:(14.8) 底:　－ 高:　－	①チャート・白色パミス ②酸化 / 良好　内外面黒斑 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後放射状磨き。口縁部直下に弱い沈線。
3 PL.45	土師器 坏	1/2 残存 竈前	口:(14.6) 底:　－ 高:　4.6	①白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③浅黄色 / 黒色	外面:口縁部磨き。体部～底部は剥落。 内面:口縁部～底部磨きだが剥落進む。
4 PL.45	土師器 壺	口縁部 1/5 残存 一括	口:(12.6) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部篦撫で後磨き。 内面:口縁部篦撫で後磨き。
5 PL.45	土師器 小型甕	口縁部～胴部 1/4 残存 北東隅	口:(13.5) 底:　－ 高:　－	①石英・角閃石 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫でだが粘土紐積み上げ痕顕著。胴部刷毛目後磨き。 内面:口縁部横撫でだが粘土紐積み上げ痕顕著。胴部篦撫で。
6 PL.45	土師器 甕	口縁部～胴部 1/3 欠損 北東隅	口:(18.7) 底:(5.0) 高: 34.1	①チャート・片岩・白色パミス ②酸化 / 良好　胴部外面黒斑 ③にぶい黄橙色 / 褐灰色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で後指撫で。
7 PL.45	土師器 甕	口縁部～底部 1/2 残存 竈前	口:(20.4) 底:(4.0) 高: 35.1	①チャート・白色パミス・褐色粒 ②酸化 / 良好　外面胴部上半煤付着・下半赤変、内面口縁部煤付着 ③明赤褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。底部横撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で後指撫で。

第14表　４号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.46	土師器 坏	口縁部～体部 1/4 残存 一括	口:(12.8) 底:　－ 高:　－	①石英・角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部篦削り。 内面:口縁部～体部篦磨きだが摩滅。

第15表　５号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.46	土師器 坏	口縁部～体部 1/2 欠損 竈左前	口:(13.6) 底:　－ 高:(5.1)	①チャート・角閃石 ②酸化 / 良好 ③橙色 / にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
2 PL.46	土師器 埦	口縁部 1/4 欠損 竈左前	口: 15.4 底:　－ 高:　6.0	①チャート・雲母 ②酸化 / 良好　内外面黒斑 ③明赤褐色 / 明褐色	外面:口縁部横撫で。体部篦削り後刷毛目。底部篦削り。 内面:口縁部～体部横撫で後磨き。底部篦撫で後磨き。

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
3 PL.46	土師器 鉢	口縁部 1/4 欠損 竈前	口：17.4 底：7.5 高：12.0	①角閃石・白色パミス ②酸化／良好　内外面黒斑 ③にぶい黄橙色／黒色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後篦撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
4 PL.46	土師器 小型甕	口縁部～胴部 1/2 欠損 北東部＋竈	口:(14.4) 底：7.4 高：14.8	①チャート・石英 ②酸化／普通　外面に黒斑 ③橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
5 PL.46	土師器 甑	口縁部 1/4 欠損 竈左前	口：15.5 底：3.0 高：16.8	①チャート多量・白色パミス少量 ②酸化／良好　外面に黒斑、内面胴部中位に汚れ ③にぶい黄橙色／褐灰色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。胴部下端篦削り。
6 PL.46	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 欠損 竈前＋竈内	口：17.1 底：(4.8) 高：23.2	①チャート・角閃石 ②酸化／良好　外面黒斑 ③明赤褐色／灰赤色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。粘土紐積み上げ痕顕著。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で後指撫で。

第16表　6号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.46	土師器 坏	1/3 残存 中央＋中央北寄り	口:(14.7) 底:(4.0) 高：6.9	①赤褐色粒・白色パミス・雲母 ②酸化／良好 ③明赤褐色／明褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部撫で。胴部篦撫で後磨きだが剥落。
2 PL.46	土師器 高坏	坏部 1/4・脚部 2/3 残存 中央から北東寄り	口:(15.8) 底:(11.3) 高：－	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。坏体部篦撫で。坏底部篦削り。脚部篦削り後篦撫で。脚裾部横撫で。 内面:口縁部横撫で。坏体部～底部篦撫で。脚部指撫で。脚裾部横撫で。
3 PL.46	土師器 甑	口縁部 1/2 欠損 竈前＋東壁付近	口：13.3 底：3.2 高：8.3	①白色パミス ②酸化／良好 ③橙色／にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後指撫で。底部焼成前穿孔。 内面:口縁部横撫で。口縁部～底部磨き。
4 PL.46	土師器 壺	口縁部～胴部上位 3/4 残存 竈前	口:(16.0) 底：－ 高：－	①角閃石・白色パミス ②酸化／良好　頸部内面に擦痕 ③明赤褐色／赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後磨き。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
5 PL.46	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 欠損 北部覆土中	口:(18.3) 底:(4.8) 高：34.3	①片岩多量・チャート少量 ②酸化／良好 ③にぶい褐色／褐色	外面:口縁部横撫で。胴部雑な篦削りのため粘土紐積み上げ痕残る。底部無調整。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。

第17表　11号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.47	土師器 坏	1/2 残存 中央東寄り	口：(9.6) 底：－ 高：－	①角閃石 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒褐色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後放射状磨き。
2 PL.47	土師器 坏	1/4 残存 中央東寄り	口:(12.5) 底：－ 高：－	①チャート・角閃石・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部撫で。
3 PL.47	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 残存 一括	口:(20.0) 底：－ 高：－	①石英・白色パミス多量。 ②酸化／普通　口縁部内面から胴部外面まで被熱 ③にぶい橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。胴部刷毛目後に磨き。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 口縁部外面に弱い沈線。
4 PL.47	土師器 壺	胴部 1/3 と底部残存 中央部	口：－ 底：8.6 高：－	①雲母・チャート ②酸化／良好　内外面破片化後に煤付着 ③明赤褐色／暗褐色	外面:胴部篦削り後篦撫で。底部撫で。 内面:胴部～底部篦撫で。
5 PL.47	土師器 甑	1/3 残存 南東部	口:(26.0) 底:(11.8) 高：31.7	①チャート・白色パミス・小礫 ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／明黄褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後に刷毛目と篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫でと下端篦削り。

第18表　12号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.47	土師器 坏	1/4 残存 一括	口:(13.6) 底：－ 高:(3.1)	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後放射状磨き。
2 PL.47	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈左前	口:(23.0) 底：－ 高：－	①石英・チャート・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③橙色／にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
3 PL.47	石製品 臼玉	完形 竈左袖下部	長：1.1 幅：－ 厚：0.6	滑石製。孔径 0.25。重さ0.87 g。	

第19表　13号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.47	土師器 坏	1/2 残存 覆土上層・下層	口:(12.0) 底:　－ 高:　－	①白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい橙色 / 黒色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部～底部磨き。 有段口縁。
2 PL.47	土師器 坏	1/2 残存 南東部	口:(14.2) 底:　－ 高:　4.1	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③灰黄褐色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
3 PL.47	土師器 坏	1/2 残存 中央部	口:(14.0) 底:　－ 高:　－	①雲母・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　底部外面に黒斑 ③にぶい橙色 / にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
4 PL.47	土師器 坏	口縁部一部欠損 中央南寄り	口: 13.0 底:　－ 高:　5.1	①角閃石多量、白色パミス少量 ②酸化 / 良好 ③浅黄橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
5 PL.47	土師器 坏	1/2 残存 中央南寄り	口:(12.6) 底:　－ 高:(4.0)	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　体部～底部外面に黒斑 ③にぶい褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横名で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後放射状磨き。
6 PL.47	土師器 坏	2/3 残存 北東部	口:(13.6) 底:　－ 高:(4.6)	①雲母多量・赤褐色粒少量 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄褐色 / 褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後磨き。
7 PL.47	土師器 坏	口縁部～体部 1/3 欠損 北東部	口:(14.0) 底:　－ 高:(6.2)	①角閃石・白色パミス・チャート ②酸化 / 良好　体部外面に黒斑 ③浅黄色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
8 PL.47	土師器 小型壺	口縁部 1/2 欠損 中央南寄り	口:(9.0) 底:　－ 高: 11.8	①角閃石・白色パミス・チャート ②酸化 / 良好 ③浅黄色 / 浅黄色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。頸部刷毛状工具。胴部撫で。底部篦撫で。
9 PL.48	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 欠損 中央南寄り	口:(19.6) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　外面に黒斑 ③にぶい橙色 / にぶい褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
10 PL.48	須恵器 坏蓋	1/4 残存 覆土上層	口:　－ 底:　－ 高:　－	①チャート ②還元 / 不良 ③灰色 / にぶい褐色	右回転ロクロ。天井部外面回転篦削り。
11 PL.48	滑石	剥片 南壁中央付近	長:　5.6 幅:　8.8 厚:　1.2	節理面をもつ板状の剥片。工具痕は認められない。 重さ 74.5g。	

第20表　15号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.48	土師器 坏	1/4 残存 竈	口:(13.0) 底:　－ 高:(4.5)	①石英・角閃石 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③赤褐色 / 赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で後磨き。
2 PL.48	土師器 坏	底部 1/4 欠損 竈右脇	口: 12.8 底:　－ 高:　4.7	①石英・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部磨きだが剥落。
3 PL.48	土師器 坏	1/2 残存 中央北西寄り	口:(15.0) 底:　－ 高:　6.0	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り後体部磨き。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
4 PL.48	土師器 鉢	口縁部～胴部 1/3 残存 中央南東寄り	口:(12.6) 底:　－ 高:　－	①雲母・小礫 ②酸化 / 普通　内面黒色処理 ③にぶい黄褐色 / 黒褐色	外面:口縁部横撫で。胴部刷毛目後撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部撫で。
5 PL.48	土師器 鉢	口縁部一部欠損 中央西寄り	口: 19.5 底:　8.0 高: 11.0	①角閃石・白色パミス多量 ②酸化 / 良好　胴部外面に黒斑 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
6 PL.48	土師器 小型壺	口縁部～胴部 1/3 残存 西部	口:(12.0) 底:　－ 高:　－	①石英・雲母 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄色 / 浅黄色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後刷毛目と撫で。 内面:口縁部横撫で。頸部～胴部刷毛目。
7 PL.48	土師器 甕	口縁部～胴部 3/4 残存 竈前	口: 16.2 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好 ③浅黄色 / 黒褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 胴部打ち欠き調整し置き台に転用。
8 PL.48	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 西壁付近	口:(17.8) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好　胴部外面に黒斑 ③明赤褐色 / 明褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
9 PL.48	土師器 壺	口縁部～胴部 1/2 残存 竈内＋竈前＋貯蔵穴	口:(20.4) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙 / 褐灰色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。
10･11 PL.48	土師器 甕	口縁部～脚部 1/2 欠損 中央部	口:(24.0) 底:　6.9 高:(45.0)	①片岩多量、石英・雲母少量 ②酸化 / 良好　胴部外面に煤付着 ③黒褐色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。胴部雑な撫で。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部雑な篦撫で。
12 PL.48	土師器 甑	口縁部～胴部 1/8 残存 中央部	口:(15.6) 底:　－ 高:　－	①角閃石・雲母 ②酸化 / 良好　胴部外面に黒斑 ③にぶい褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部刷毛目後磨き。 内面:口縁部横撫で後刷毛目。胴部刷毛目後指撫で。

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
13 PL.48	須恵器 坏身	3/4 残存 中央と中央東寄り	口: 12.7 底:　－ 高:　5.0	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	口縁部に重ね焼き痕(粘土付着)。右回転ロクロ成形。底部内外面回転篦削り。
14 PL.48	須恵器 高坏	口縁部～体部 1/8 残存 中央東寄り	口:(13.6) 底:　－ 高:　－	①石英 ②還元 / 良好 ③褐灰色 / 灰色	ロクロ成･整形。
15 PL.48	須恵器 高坏	脚部 1/3 残存 一括	口:　－ 底:(11.4) 高:残5.7	①石英・黒色粒 ②還元 / 普通 ③灰白色 / 灰白色	三方に長方形の透孔。
16 PL.48	鉄製品 鎌	刃部破片 南東部	長:残5.9 幅:残3.8 厚:　0.4	重さ24.31 g	

第21表　18号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.49	土師器 手捏ね	1/3 残存 北西部	口: (9.1) 底: (5.0) 高: (3.8)	①角閃石・石英・白色パミス ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	埦形のミニチュア。内外面指撫でだが外面は摩滅。
2 PL.49	土師器 埦	口縁部～体部 1/3 欠損 貯蔵穴脇	口: 12.6 底:　4.9 高:　6.0	①角閃石・チャート・白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色 / 黒色	外面:口縁部横撫で。体部篦削り後篦撫で。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫でと指撫で。
3 PL.49	土師器 高坏	坏部 1/4 残存 貯蔵穴内	口:(16.0) 底:　－ 高:　－	①角閃石多量、石英・チャート少量 ②酸化 / 普通　内外面に黒斑 ③にぶい橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部刷毛目。 内面:口縁部横撫で。
4 PL.49	土師器 高坏	坏部 1/3 残存 中央南東寄り	口:(19.8) 底:　－ 高:　－	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で後磨き。体部篦削り後磨き。 内面:口縁部横撫で後坏部磨き。
5 PL.49	土師器 台付鉢	口縁部 1/2 と脚台部裾欠損 貯蔵穴内と脇	口:(14.4) 底:　－ 高:　－	①石英・角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。頸部刷毛目。胴部上半篦削り。胴部下半～脚台部篦削り後磨き。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で後磨き。脚台部刷毛目。
6 PL.49	土師器 台付鉢？	脚台部残存 西壁中央付近	口:　－ 底: 10.7 高:　－	①角閃石・石英・白色パミス ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / 明黄褐色	外面:脚台部篦削り。裾部横撫で。 内面:脚台部篦撫で。裾部横撫で。
7 PL.49	土師器 甕	口縁部～胴部 1/3 残存 南壁中央付近	口:(17.6) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好　外面に煤付着 ③灰黄褐色 / 浅黄橙色	外面:口縁部横撫で。頸部指頭痕。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部指撫で。
8 PL.49	土師器 壺	口頸部残存 北西隅	口: 18.25 底:　－ 高:　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で後篦撫で。 内面:口縁部横撫で。頸部篦撫で後に磨き。

第22表　19号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.49	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 竈左脇	口:(12.2) 底:　－ 高:　4.5	①石英・白色粒・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　内面黒色処理、底部外面に黒斑 ③にぶい黄橙色 / 暗灰色	外面:口縁部横撫で後磨き。底部摩滅。 内面:口縁部～底部磨き。
2 PL.49	土師器 坏	口縁部～体部 1/2 欠損 竈左脇	口:(12.2) 底:　－ 高:　4.4	①石英・白色粒・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　内面黒色処理、底部外面に黒斑 ③橙色 / 暗灰色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り後磨き。 内面:口縁部～底部磨き。
3 PL.49	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 南東部と竈内	口: 14.2 底:　－ 高:　4.7	①石英・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい黄褐色 / 黒色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
4 PL.49	土師器 小型甕	口縁部 1/4 欠損 竈左脇	口: 14.2 底:　－ 高:　4.7	①石英・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄褐色 / 黒色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
5 PL.49	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 残存 竈内	口：18.4 底：－ 高：－	①チャート・角閃石 ②酸化 / 良好　外面胴部下半煤付着 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部上半篦撫で。下半指撫で。
6 PL.49	土師器 甕	胴部 1/3 と底部欠損 竈左脇と竈内	口：17.5 底：－ 高：－	①チャート・白色パミス ②酸化 / 良好　外面胴部下半に焼土化した粘土と煤付着 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。
7 PL.49	須恵器 坏身	口縁部一部欠損 南東部	口：13.5 底：－ 高：4.3	①チャート・白色粒・石英 ②還元 / 普通 ③灰色 / 黄灰色	右回転ロクロ成形。底部外面回転篦削り。

第23表　20号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.49	須恵器 坏蓋	1/8 残存 一括	口:(14.8) 底:　－ 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 褐灰色	

第24表　22号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.50	土師器 坏	口縁部 1/4 南東隅	口: 11.1 底:　－ 高:　3.8	①雲母・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
2 PL.50	土師器 小型壺	口縁部 1/4 欠損 南東隅	口:　8.6 底:　5.2 高: 13.4	①チャート・雲母 ②酸化 / 良好　外面胴部～底部黒斑 ③浅黄色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部摩滅。胴部篦削り後磨きだが剥落。底部撫で。 内面:口縁部摩滅。胴部下半篦撫で。
3 PL.50	土師器 甑	口縁部と底部の一部欠損 南東隅	口: 12.7 底:　－ 高: 10.0	①チャート多量。雲母 ②酸化 / 良好　底部外面に黒斑 ③にぶい黄橙色 / 明黄褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
4 PL.50	土師器 小型甕	口縁部～胴部 1/3 欠損 北東隅	口:(12.6) 底:　6.1 高: 12.3	①チャート・石英 ②酸化 / 良好　外面胴部下半被熱、胴部上半内外面煤付着 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部上半篦先状工具痕。下半篦削り。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
5 PL.50	土師器 甕	胴部下半以下欠損 南東隅	口:(18.7) 底:　－ 高:　－	①片岩・雲母 ②酸化 / 良好　外面胴部薄い煤付着 ③明黄褐色 / にぶい褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
6 PL.50	土師器 甕	口縁部と胴部の一部欠損 南東隅	口: 20.5 底:　4.9 高: 37.0	①チャート・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　外面口縁部～胴部上位に粘土、胴部中位以下に煤付着 ③にぶい橙色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後篦撫で。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
7 PL.50	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 残存 北東部と南西部	口: 18.4 底:　－ 高:　－	①チャート・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
8 PL.50	土師器 甕	頸部～胴部 1/4 残存 北東部	口:　－ 底:　－ 高:　－	①角閃石多量・チャート・石英・白色パミス少量 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面:頸部～胴部刷毛目。 内面:胴部篦撫で。
9 PL.50	須恵器 坏蓋	口縁部 1/2 欠損 南東隅	口: 14.2 底:　－ 高:　4.6	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	天井部回転篦削り。

第25表　26号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.50	土師器 手捏ね	口縁部～体部 1/2 欠損 中央部	口:(8.6) 底:　3.4 高:　4.1	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好 ③灰黄褐色 / 灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。体部指頭痕。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。体部～底部撫で。
2 PL.50	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 中央部	口: 12.4 底:　9.8 高:　4.0	①石英 ②酸化 / 良好 ③にぶい橙色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦削り。
3 PL.50	土師器 坏	完形 中央部	口: 12.7 底:　9.9 高:　3.9	①石英・白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい黄褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦削り。
4 PL.50	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(13.6) 底:　－ 高:　－	①石英・白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色 / にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
5 PL.50	土師器 坏	完形 南東隅	口: 10.8 底:　－ 高:　3.7	①雲母・チャート・白色パミス ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
6 PL.50	土師器 坏	完形 一括	口: 10.8 底:　－ 高:　4.0	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
7 PL.50	土師器 坏	口縁部～体部 1/4 欠損 一括	口: 11.8 底:　－ 高:　3.7	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
8 PL.50	土師器 坏	口縁部～体部 1/2 欠損 一括	口:(11.0) 底:　－ 高:　4.0	①角閃石・雲母 ②酸化 / 良好　底部外面に黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。
9 PL.50	土師器 坏	口縁部～体部 1/3 欠損 一括	口: 11.0 底:　－ 高:　3.4	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
10 PL.50	土師器 坏	口縁部 1/2 欠損 一括	口: 11.5 底:　－ 高:　3.7	①石英・角閃石・雲母 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部摩滅。

No. PL	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
11 PL.50	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(11.0) 底:　－ 高:　3.5	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
12 PL.50	土師器 坏	1/4 残存 一括	口:(17.0) 底:　－ 高:　－	①角閃石・雲母 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
13 PL.50	土師器 坏	1/4 残存 南東隅	口:(15.1) 底:　－ 高:　7.0	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
14 PL.50	土師器 埦	口縁部～胴部 1/3 残存 一括	口:(8.0) 底:　－ 高:　－	①雲母・石英・角閃石 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴篦撫で。
15 PL.50	土師器 埦	口縁部～胴部 1/3 残存 一括	口:(9.8) 底:　－ 高:　－	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色 / にぶい橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。内面篦撫で。
16 PL.50	土師器 鉢	口縁部～胴部 3/4 残存　北西部	口:11.1 底:　－ 高:　－	①雲母 ②酸化 / 良好　無黒斑 ③橙色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
17 PL.51	土師器 高坏	坏部 1/2 欠損 中央部	口:(15.9) 底:12.4 高:12.6	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好　坏部内面黒色処理 ③黒色 / 橙色	外面:口縁部と脚部裾横撫で。坏体部～脚部篦削り。 内面:口縁部と脚部裾横撫で。坏体部～底部磨きだが摩滅。裾部指撫で。
18 PL.51	土師器 甕	完形 竈前	口:22.9 底:　4.6 高:37.3	①片岩・雲母・チャート ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。底部撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。 竈構築材
19 PL.51	土師器 甕	口縁部 1/4 と底 部欠損 竈前	口:22.0 底:　－ 高:　－	①チャート・石英・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 底部を打ち欠いた状態で竈構築材に転用されている(当初は甑としての一時転用の可能性もある)。
20 PL.51	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 欠損 北東部	口:21.5 底:　－ 高:　－	①片岩・雲母・チャート ②酸化 / 良好 ③灰黄褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
21 PL.51	須恵器 坏身	口縁部一部欠損 中央部	口:10.2 底:　－ 高:　3.3	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	口縁部の歪み大きい。底部回転篦削り。
22 PL.51	須恵器 坏蓋	1/4 残存 南東部	口:(11.7) 底:　－ 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	坏部回転篦削り。
23 PL.51	須恵器 坏蓋	1/2 残存 南東隅	口:(12.2) 底:　－ 高:　－	①白色粒・黒色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	天井部手持ち篦削り。
24 PL.51	須恵器 鉢	口縁部～胴部 1/4 残存 中央部	口:(14.8) 底:　－ 高:　－	①白色粒・黒色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	胴部外面に２条の沈線と指突文。
25 PL.51	須恵器 瓶	口縁部残存 一括	口:(7.5) 底:　－ 高:　－	①チャート・白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	外面口縁部下に沈線。
26 PL.51	須恵器 平瓶	胴部～底部 1/2 残存 一括	口:　－ 底:(4.8) 高:　－	①石英 ②還元 / 良好　底部内面に自然釉 ③灰色 / 灰色	ロクロ成形。外面胴部～底部篦撫で。
27 PL.51	須恵器 提瓶	胴部 1/2 残存 中央西寄り	口:　－ 底:　－ 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③黄灰色 / 黄灰色	外面:胴部回転篦削り描き後掻き目後に手持ち篦削り。 頸部撫で。
28 PL.51	須恵器 甕	口頸部 1/8 残存 一括	口:(17.8) 底:　－ 高:　－	①石英 ②還元 / 良好　口縁部内面と肩部外面に自然釉。 ③灰オリーブ色 / 灰オリーブ色	
29 PL.51	須恵器 甕	口頸部 1/4 残存 中央西寄り	口:(11.8) 底:　－ 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰色	胴部外面叩き。頸部内面撫で。
30 PL.51	土製品 羽口	破片 一括	長:　－ 幅:　－ 厚:　2.7	①雲母・角閃石・チャート ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面指撫で。
31 PL.51	石製品 砥石	完形 南東隅	長:16.2 幅:　7.6 厚:　7.6	４面使用。流紋岩。重さ 712.90g。	
32 PL.51	石製品 砥石	完形 南部	長:　7.3 幅:　4.5 厚:　3.9	５面使用。流紋岩。重さ 236.76g。	
33 PL.51	石製品 砥石	完形 一括	長:　9.6 幅:　3.6 厚:　2.0	６面使用。砂岩。重さ136.85g。	
34 PL.51	石製品 臼玉	完形 一括	長:　1.5 幅:　1.9 厚:　0.9	孔径0.25cm。重さ3.27g。	

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
35 PL.51	石製品 勾玉	完形 南東部	長：　3.4 幅：　1.9 厚：　0.9	瑪瑙製。孔径0.2cm。重さ7.9g。	
36 PL.51	石製品 勾玉	頭部欠損 一括	長：　－ 幅：　1.0 厚：　0.6	滑石製。重さ2.64g。	
37 PL.51	鉄製品 鎌	一部欠損 南東部	長：残15.5 幅：　3.5 厚：　0.4	重さ82.00g。	

第26表　28号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.52	土師器 手捏ね	口縁部 1/4 欠損 南部	口：　7.5 底：　3.3 高：　4.1	①雲母・白色粒 ②酸化／良好　内外面に炭素薄く付着 ③褐灰色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。体部指頭痕。底部撫で。 内面：口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
2 PL.52	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 中央部	口：13.2 底：　－ 高：　4.0	①雲母・角閃石・白色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③明黄褐色／褐灰色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
3 PL.52	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 西部	口：13.0 底：　－ 高：　3.6	①雲母・石英・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黄灰色／黒色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
4 PL.52	土師器 坏	口縁部 1/2 欠損 中央部	口：13.7 底：　－ 高：　4.1	①石英・雲母・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③橙色／橙色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
5 PL.52	土師器 坏	1/2 残存 一括	口：(14.2) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③橙色／橙色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。口縁部～底部磨き。
6 PL.52	土師器 鉢	口縁部～胴部 1/2 残存 西部	口：(13.6) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／浅黄色	外面：口縁部横撫で後磨き。胴部篦削り後磨き。 内面：口縁部横撫で後磨き。胴部篦撫で後磨き。
7 PL.52	土師器 鉢	口縁部～胴部 1/4 残存 一括	口：(14.2) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒褐色／橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で後磨き。
8 PL.52	土師器 鉢	口縁部～胴部 1/8 残存 一括	口：(28.9) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③暗灰色／灰黄褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り後篦先状工具痕。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。
9 PL.52	土師器 甕	口縁部～胴部 2/3 残存 竈右脇	口：(22.8) 底：　－ 高：　－	①片岩・チャート・赤褐色粒 ②酸化／良好　胴部外面に黒斑 ③にぶい褐色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で後一部指撫で。
10 PL.52	土師器 甕	3/4 残存 北部	口：26.8 底：12.7 高：32.6	①片岩・雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　胴部外面に黒斑 ③橙色／橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で後一部指撫で。胴部下端篦削り。
11 PL.52	須恵器 蓋	1/4 残存 一括	口：(13.6) 底：　－ 高：　－	①チャート・白色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	天井部外面手持ち篦削り。
12 PL.52	須恵器 甕	口縁部 1/2 残存 中央部と東部	口：(19.8) 底：　－ 高：　－	①褐色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	
13 PL.52	礫	完形 東部	長：29.5 幅：37.0 厚：21.2	上面に格子状の線刻。	

第27表　32号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.53	土師器 坏	完形 南部	口：11.3 底：　－ 高：　3.7	①雲母・角閃石 ②酸化／良好 ③浅黄色／灰黄色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
2 PL.53	土師器 坏	口縁部 3/4 欠損 一括	口：(13.4) 底：　－ 高：　4.3	①角閃石・雲母・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
3 PL.53	土師器 坏	1/3 残存 一括	口：(12.0) 底：　－ 高：(3.5)	①角閃石・雲母・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。底部篦撫で。
4 PL.53	土師器 坏	1/2 残存 一括	口：(11.8) 底：　－ 高：　－	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。底部篦削り。 内面：口縁部横撫で後口縁部～底部磨き。
5 PL.53	土師器 坏	1/2 残存 中央東寄り	口：(13.0) 底：　－ 高：　3.8	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面：口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
6 PL.53	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 一括	口：11.5 底：　－ 高：　3.8	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
7 PL.53	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(11.2) 底：　－ 高：　3.5	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
8 PL.53	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(10.9) 底：　－ 高：　3.4	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　体部外面に黒斑 ③灰黄色／明赤褐色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
9 PL.53	土師器 坏	1/2 残存 南部	口:(15.5) 底：　－ 高：　－	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:摩滅。
10 PL.53	土師器 坏	1/4 残存 一括	口:(16.5) 底：　－ 高：　7.2	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
11 PL.53	土師器 埦	底部欠損 西部	口：　9.6 底：　－ 高：(7.5)	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
12 PL.53	須恵器 坏蓋	1/2 残存 一括	口:(10.9) 底：　－ 高：(3.5)	①白色粒・黒色粒 ②還元／良好 ③黄灰色／黄灰色	天井部外面回転篦削り。天井部内面指撫で。
13 PL.53	須恵器 坏身	口縁部～体部 1/4 残存 南部	口:(10.2) 底：　－ 高：　－	①チャート ②弱還元／良好 ③灰白色／灰白色	底部外面回転篦削り。
14 PL.53	須恵器 長頸瓶	口縁部 1/2 と胴 部以下欠損 南部	口:(11.6) 底：　－ 高：　－	①白色粒 ②還元／良好 ③オリーブ黒色／灰色	頸部外面掻き目。内面自然釉。
15 PL.53	須恵器 鉢	口縁部～底部 1/3 残存 中央西寄り	口:(15.0) 底:(9.4) 高:(12.1)	①白色粒 ②還元／良好　外面に自然釉 ③灰色／灰色	胴部外面に２段の沈線後に櫛歯状工具による刺突文。外面胴部～底部篦削り。

第28表　41号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.53	土師器 埦	口縁部～体部 1/3 欠損 貯蔵穴南脇	口：　9.8 底：　－ 高：　9.3	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③橙色／にぶい橙色	外面:口縁部横撫で後磨き。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で後磨き。体部～底部篦撫で後磨き。
2 PL.53	土師器 小型甕	完形 竈右脇	口：11.6 底：　－ 高：12.1	①角閃石・チャート ②酸化／良好　胴部外面に黒斑 ③にぶい黄橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
3 PL.53	土師器 甑	口縁部 1/2 残存 竈右脇	口:(18.5) 底：　5.9 高：15.2	①チャート・角閃石・小礫・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　口縁部内面に煤、胴部外面に黒斑 ③橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。 外面胴部中位以下器壁剥落。底部に小孔12。

第29表　42号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.53	土師器 坏	1/3 残存 一括	口:(13.2) 底:(4.0) 高：　－	①白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削りだが剥落。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
2 PL.53	土師器 坏	完形 竈内	口：11.6 底：　3.9 高：　－	①白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削りだが摩滅。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫でだが摩滅。
3 PL.53	土師器 鉢	口縁部～胴部 1/4 残存 一括	口:(26.3) 底：　－ 高：　－	①片岩・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
4 PL.53	土師器 小型甕	口縁部～胴部 1/4 残存 一括	口:(14.0) 底：　－ 高：　－	①片岩・雲母 ②酸化／良好 ③褐色／明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
5 PL.53	土師器 小型甕	胴部下半～底部 残存 竈左脇	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・片岩・チャート ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／灰黄褐色	外面:胴部～底部篦削り。 内面:胴部～底部篦撫で。

第30表　47号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.54	土師器 坏	口縁部 2/3 残存 一括	口:(13.1) 底：　－ 高：　3.3	①雲母 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫底部篦撫で。

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
2 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(12.3) 底:　－ 高:　－	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫でと底部篦撫で後に口縁部～底部磨きだが剥落。
3 PL.54	土師器 坏	口縁部 1/2 欠損 一括	口:(12.6) 底:　－ 高:　3.6	①雲母・白色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒褐色／黒褐色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
4 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(13.0) 底:　－ 高:　－	①雲母 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒褐色／黒褐色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
5 PL.54	土師器 坏	口縁部 1/8 欠損 一括	口: 12.6 底:　－ 高:　3.6	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③褐灰色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
6 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 一括	口: 12.6 底:　－ 高:　3.6	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
7 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 南西部	口: 12.7 底:　3.9 高:　－	①雲母・角閃石・赤褐色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
8 PL.54	土師器 坏	口縁部 1/2 欠損 一括	口: 13.0 底:　3.9 高:　－	①雲母・角閃石 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。底部篦撫で。
9 PL.54	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 一括	口: 10.8 底:　3.8 高:　－	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③にぶい黄橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
10 PL.54	土師器 坏	3/4 残存 一括	口: 12.2 底:　－ 高:　4.1	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
11 PL.54	土師器 坏	底部 1/4 欠損 西壁沿い	口: 11.3 底:　－ 高:　4.1	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。口縁部～底部に篦先状工具痕。
12 PL.54	土師器 坏	1/4 残存 一括	口: 11.3 底:　－ 高:　3.5	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部摩滅。
13 PL.54	土師器 坏	口縁部一部欠損 南東部	口: 12.3 底:　4.1 高:　－	①角閃石・雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
14 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(11.1) 底:　－ 高:　3.5	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
15 PL.54	土師器 坏	口縁部～体部の 一部欠損 一括	口: 11.7 底:　－ 高:　3.9	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
16 PL.54	土師器 坏	口縁部～体部 3/4 残存 一括	口:(12.1) 底:　－ 高:　3.4	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
17 PL.54	土師器 坏	口縁部～体部 1/2 欠損 北西部	口: 11.5 底:　－ 高:　3.1	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
18 PL.54	土師器 坏	1/2 残存 一括	口:(12.3) 底:　－ 高:　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒・角閃石 ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／灰黄色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。
19 PL.54	土師器 埦	1/2 残存 中央西寄り	口:　8.3 底:　－ 高:　8.0	①雲母・チャート ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。底部に篦先状工具痕。
20 PL.54	土師器 甕	胴部小片 一括	口:　－ 底:　－ 高:　－	①チャート・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／褐灰色	内面に煤付着と布目痕。
21･22 PL.54	土師器 甑	口縁部と胴部下 半～底部の破片 一括	口:(17.8) 底:　－ 高:　－	①雲母・チャート ②酸化／良好　内面黒色処理 ③にぶい黄橙色／黒色	外面:口縁部横撫で。体部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部篦撫で。 底部に小孔４以上。
23 PL.54	須恵器 坏蓋	口縁部 1/2 欠損 南東部	口: 11.6 底:　－ 高:　3.3	①チャート・白色パミス ②還元／良好 ③灰色／灰色	天井部外面回転篦削り後に粘土撫でつける。 天井部内面横撫で。
24 PL.54	須恵器 坏身	口縁部～体部 1/4 残存 一括	口:(10.6) 底:　－ 高:　－	①雲母 ②還元／良好 ③灰色／灰色	外面体部下半篦削り。
25 PL.54	鉄製品 刀子	刃部欠損 中央西寄り	長:残8.0 幅:　1.4 厚:　0.2	重さ9.90g。	

第31表　48号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.54	土師器 甕	口縁部～胴部 1/3 残存 中央西寄り	口：　－ 底：　－ 高：　－	①片岩・雲母・白色粒 ②酸化 / 良好　胴部外面に黒斑 ③にぶい褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。

第32表　49号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.54	土師器 坏	口縁部～体部 1/4 残存 一括	口:(12.5) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。体部篦削り。 内面:口縁部横撫で。体部篦撫で。
2 PL.54	須恵器 坏	1/4 残存 一括	口:(11.0) 底:(8.5) 高:(3.0)	①雲母 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	底部回転篦削り。

第33表　6 号溝出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.54	土師器 高坏	脚部上半残存 覆土中	口：　－ 底：　－ 高：　－	①角閃石・石英・白色パミス ②酸化 / 良好 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:脚部篦削り後磨き。 内面:脚部絞り痕と篦撫で。
2 PL.54	土師器 甕	口縁部～胴部 1/3 残存 覆土中	口:(15.0) 底：　－ 高：　－	①雲母・チャート ②酸化 / 良好 ③にぶい褐色 / 灰褐色	外面:口縁部横撫で。頸部～胴部刷毛目。 内面:口縁部横撫で。頸部～胴部刷毛目。
3 PL.54	土師器 甑	把手部残存 覆土中	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい橙色 / にぶい黄橙色	外面:篦削り後指撫で。
4 PL.54	須恵器 短頸壺	胴部 1/4 残存 覆土中	口：　－ 底：　－ 高：　－	①白色粒 ②還元 / 良好　外面肩に自然釉 ③暗灰色 / 灰色	外面胴部下半回転篦削り。
5 PL.54	須恵器 坏蓋	口縁部欠損 覆土中	口：　－ 底：　－ 高：　－	①白色粒・黒色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰白色	天井部外面手持ち篦削り。 天井部内面指撫で。

（４）奈良平安時代

竪穴住居跡23軒、溝９条、土坑５基が検出されている。奈良時代の住居は30号住居跡（３区）１軒のみで、他は平安時代である。平安時代の住居は２区で10軒、３区で12軒である。１号・３号・４号溝は、１区東端のAs-B下で検出された溝である。１区の２号溝は２区の13号溝と同一の溝と考えられる。１号～３号土坑は、住居に伴う可能性があり、各住居に含めて記述した。

①竪穴住居跡

７号住居跡（第54･66図、第35表、PL.32･33･55）

位置　２区及び４区の中央部に位置し、20号住居跡を切る。　**形状・特徴**　東西2.95ｍ×南北3.40ｍの隅丸長方形を呈する。主軸はＮ-118°-Ｅを示し、深さ28㎝を測る。床面に炭化材が多量に出土しており、焼失住居と考えられる。　**カマド**　東壁の南隅に構築された石組みのカマドである。規模は長さ1.00ｍ、幅57㎝を測る。燃焼部から煙道部の内壁には礫が据えられているが、燃焼部左側の一部だけは土師器甕の口縁部片が使われていた。一部の礫には砥石としての使用痕がみられた。焚口部は、左右両側に礫を二重に据えた上に懸架石を置く構造である。懸架石は半分に割れた状態であった。火床は30㎝×26㎝を測る。火床の前面には高さ16㎝の礫が焚口部を塞ぐように置かれており、カマド廃棄に関わる行為と理解される。燃焼部中央奥には、火床からの高さ12㎝を測る支脚石が据えられていた。煙道部にも懸架石が残っており、焚口部の懸架石との間隔は35㎝である。燃焼部からは、カマド構築材とみられる土師器甕や羽釜の破片が出土した。
貯蔵穴　南西隅のＤ-１（90㎝×68㎝、深さ45㎝）か。　**柱穴**　ピットは１基検出されたが、柱穴とは判断されない。　**遺物**　土師器埦･甕、羽釜、須恵器埦が少量出土している。砥石（４）は炭化材の直上で出土した。
時期　10世紀前半。

８号住居跡（第55･66図、第36表、PL.34･35･55）

位置　２区の東部に位置する。９号・15号住居跡を切る。　**形状・特徴**　東西3.45ｍ×南北3.45ｍの隅丸方形を呈する。主軸はＮ-125°-Ｅを示す。深さは12㎝を測る。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。規模は長さ1.00ｍ、幅1.00ｍ、焚口幅26㎝を測る。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＰ-１（43㎝×35㎝、深さ11㎝）。　**遺物**　カマド内から土師器甕（１）、他に須恵器坏が少量出土している。　**時期**　９世紀前半。　**備考**　カマド前には１号土坑（1.40ｍ×1.23ｍ、深さ40㎝）がある。北西隅には１号集石（73㎝×64㎝の方形）があり、下部には集石とは軸を違えた方形の土坑（92㎝×88㎝、深さ８㎝）が検出された。

９号住居跡（第55図、PL.34）

位置　２区の東部に位置する。15号住居跡を切り、８号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　規模は不明である。主軸はＮ-116°-Ｅを示す。深さは５㎝を測る。　**遺物**　土師器埦・甕の破片が少量出土した。　**時期**　平安時代。

10号住居跡（第56･66図、第37表、PL.35･36･56）

位置　１区中央部に位置する。21号・22号住居跡を切っている。　**形状・特徴**　東西3.90ｍ×南北3.75ｍの隅丸方形を呈する。主軸はＮ-103°-Ｅを示す。深さは20㎝を測る。　**カマド**　東壁の中央に構築される。規模は長さ80㎝、幅94㎝を測る。袖石を伴う右袖がわずかに遺存していたが、左袖は壊され、袖石は抜き

取られていた。径45cmの火床の中央左には支脚石の抜き取り痕がある。燃焼部の覆土上部には土師器甕や羽釜の破片が多量に出土した。　**貯蔵穴**　住居北西隅のＤ－１（90cm×70cm、深さ13cm）か。　**柱穴**　６基のピットが検出され、主柱穴はＰ－１～４（深さ20cm前後）の４基である。　**遺物**　カマド前に多量の礫が遺棄され、カマド左脇と前面では土師器坏・埦が出土した。このほか、土師器皿・甕、羽釜、須恵器坏・瓶・甕・蓋、灰釉陶器埦、鉄鎌などが出土した。　**時期**　10世紀後半。　**備考**　住居中央西寄りには径15cmの焼土があり、炉跡の可能性がある。

14号住居跡（第57・67図、第38表、PL.36・56）

位置　２区の東部に位置する。19号住居跡を切り、９号・11号溝に切られる。　**形状・特徴**　形状は不明だが、規模は東西4.75ｍ×南北2.50ｍ以上を測る。主軸はＮ-108°-Ｅを示し、深さは15cmを測る。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。規模は長さ1.98ｍ、幅1.00ｍを測り、左袖先端には袖石が据えられていた。火床は40cm×32cmを測るが、火床の手前80cm付近には別の火床（35cm×30cm）がある。住居の建て替えがあり、建て替え前のカマドの痕跡と想定される。　**貯蔵穴**　Ｐ－２（75cm×62cm、深さ43cm）は建て替え前の貯蔵穴か。　**遺物**　土師器坏、羽釜、須恵器埦・甕、灰釉陶器皿・埦・瓶が少量出土した。　**時期**　10世紀後半。　**備考**　住居中央部に径15cm前後の小規模な火床が２基検出されている。

16号住居跡（第57図）

位置　２区の中央部に位置する。　**形状・特徴**　2.85ｍ四方の隅丸方形と推定されるが、遺存状態は不良である。主軸はＮ-98°-Ｅを示す。　**カマド**　東壁に構築されるが、焼土粒や炭化粒のわずかな広がりが確認されただけである。　**時期**　出土遺物はなかったが、住居やカマドの形状から平安時代と考えられる。　**備考**　住居北半に２号土坑（135cm×127cm、深さ24cm）、３号土坑（87cm×80cm、深さ41cm）が検出されている。

17号住居跡（第57・67図、第39表、PL.37・56）

位置　２区の西部に位置する。　**形状・特徴**　2.70ｍ四方の隅丸方形と推定される。方位は東壁でＮ-12°-Ｅを示す。深さは10cmを測り、掘り方の深さがさらに10cmある。　**カマド**　調査区内にはカマドが検出されなかった。　**遺物**　住居中央に土師器甕の破片がまとまって出土した。他に須恵器埦、鉄鎌が出土した。　**時期**　９世紀前半。　**備考**　床下に土坑２基が検出された。Ｄ－１（121cm×101cm、深さ20cm）、Ｄ－２（98cm×64cm以上、深さ22cm）である。

21号住居跡（第58・67・68図、第40表、PL.37・57）

位置　２区の中央部に位置する。22号住居跡を切り、10号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西5.30ｍ×南北3.45ｍの隅丸長方形を呈する。主軸はＮ-11°-Ｅを示し、深さは30cmを測る。　**カマド**　北壁の東寄りに構築される。両袖には袖石が据えられ、火床からの袖石の高さは24cmである。焚口部は幅35cmを測り、懸架石が割れた状態で検出された。火床は26cm×22cmを測り、中央から須恵器坏（１）、土師器甕（３）が出土した。　**遺物**　土師器甕、羽釜、須恵器坏・埦・甕が少量出土した。　**時期**　９世紀前半。　**備考**　住居南東隅には45cm×40cmの火床があり、周辺から被熱した礫が出土した。カマド出土土器と接合する破片を伴う。住居壁への掘り込みはなく、カマドとは判断されない。

24号住居跡　平成18年度分に記載（第68･138･148図、第41･93表、PL.57･87･88･99）

25号住居跡　平成18年度分に記載（第144･154図、第91･99表、PL.93･100）

27号住居跡（第59･68図、第42表、PL.37･57）

位置　３区の南部に位置し、26号住居跡を切る。　**形状・特徴**　南北3.43ｍ×東西3.03ｍの不整長方形を呈する。主軸はＮ-45°-Ｅを示し、深さは50㎝を測る。　**カマド**　北壁の中央に構築される。規模は長さ75㎝、幅90㎝を測る。右袖の基部と径20㎝の火床が遺存し、カマド左前には白色粘土塊が検出された。　**遺物**　土師器坏・甕、須恵器坏・蓋・甕が出土した。カマド左脇からは鉄鎌が出土した。　**時期**　９世紀前半。

29号住居跡（第60図、第43表、PL.37･38･57）

位置　３区の南部に位置し、32号・37号住居跡を切る。　**形状・特徴**　東西3.80ｍ×南北2.75ｍの長方形を呈するが、カマドのある東壁が短い。主軸はＮ-73°-Ｅを示し、深さは48㎝を測る。　**カマド**　東壁の中央に構築される。規模は長さ80㎝、幅80㎝を測る。焚口部は壊されており、袖石の抜き取り痕が検出された。火床は30㎝×26㎝を測る。煙道部には懸架石が遺存していた。カマド前からは、土師器皿（１）･（２）がともに正位で出土した。（１）は灯明皿として使用されており、カマド廃棄の際の儀礼行為に関わるものと理解される。　**貯蔵穴**　Ｄ-１（1.25ｍ×0.9ｍ、深さ12㎝）、Ｄ-２（60㎝×58㎝、深さ21㎝）があるが、貯蔵穴とは判断されない。　**遺物**　土師器皿・埦・甕、羽釜、須恵器埦・甕、灰釉陶器埦が出土した。　**時期**　11世紀。

30号住居跡（第59･69図、第44表、PL.38･57）

位置　３区の東部に位置する。31号住居跡との新旧は不明であった。　**形状・特徴**　南北3.68ｍ×東西2.92ｍの隅丸長方形を呈する。主軸はＮ-35°-Ｅを示し、深さは36㎝を測る。　**カマド**　北壁の中央に構築される。規模は長さ54㎝、幅98㎝を測る。左袖はほとんど遺存しない。右袖は袖石の抜き取り痕とみられるピット（Ｐ-１）があり、ピット内から土師器甕の破片が出土した。火床は径20㎝を測る。　**貯蔵穴**　カマド右脇のＤ-１（54㎝×44㎝、深さ17㎝）。　**遺物**　貯蔵穴周辺に土師器坏（３・４）、ほかに土師器埦・甕、須恵器坏・蓋・甕が少量出土した。　**時期**　８世紀後半。

31号住居跡（第61･69図、第45表、PL.38･58）

位置　３区の東部に位置する。32号住居跡を切るが、30号住居跡との新旧は不明であった。　**形状・特徴**　東西2.60ｍ×南北3.86ｍの隅丸長方形を呈する。主軸はＮ-122°-Ｅを示し、深さは40㎝を測る。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。規模は長さ1.18ｍ、幅80㎝を測る。火床は径24㎝を測り、床面より10㎝低くなっている。燃焼部の内壁の一部には礫が遺存していた。　**貯蔵穴**　住居南西隅のＤ-１（1.14ｍ×0.9ｍ、深さ15㎝）。　**遺物**　須恵器坏・埦・瓶、ロクロ甕（４）が少量出土した。　**時期**　10世紀後半。

34号住居跡（第62･69図、第47表、PL.58）

位置　３区の西部に位置する。33号住居跡を切る。　**形状・特徴**　東西幅は3.76ｍを測るが、全容は不明である。南壁の方位はＮ-50°-Ｗを示す。深さは５㎝を測る。遺存状態が悪く、カマド等は不明である。　**柱穴**　Ｐ-１（深さ21㎝）があるが、柱穴か明らかではない。　**遺物**　須恵器坏、羽釜、灰釉陶器皿、鉄滓が少量出土している。　**時期**　10世紀前半。

35号住居跡（第62･69図、第48表、PL.58）

位置　３区の西部に位置する。38号住居跡を切り、36号住居跡との新旧は不明であった。　**形状・特徴**　東西3.63m×南北3.0m以上を測るが、全容は不明である。南壁の方位はN-54°-Wを示し、深さは40cmを測る。　**カマド**　東壁の北寄りと推定され、径41cm×30cmの火床がわずかに遺存していた。　**遺物**　土師器甕、須恵器埦、灰釉陶器皿が少量出土した。　**時期**　９世紀後半。

36号住居跡（第62･70図、第49表、PL.38･58）

位置　３区の西部に位置する。38号住居跡を切り、35号住居跡との新旧は不明であった。　**形状・特徴**　東西3.65m×南北4.80mの隅丸長方形と推定される。主軸はN-123°-Eを示し、深さは25cmを測る。　**カマド**　東壁の北寄りに構築されるが、遺存状態は不良である。左袖の一部及び径20cmの火床が検出された。　**遺物**　カマド前に羽釜と須恵器坏が出土し、北壁沿いには灰釉陶器埦がまとまって出土した。他に須恵器瓶や刀子が出土している。　**時期**　10世紀前半。

37号住居跡（第60･70図、第50表、PL.38･59）

位置　３区の東部に位置する。29号・32号住居跡との新旧は不明であった。　**形状・特徴**　遺存状態が悪く、プランは不明であるが、南北幅1.8m以上、東西幅3.22mを測る。主軸はN-73°-Eを示し、深さは20cmを測る。　**カマド**　東壁の南寄りに構築される。規模は不明で、38cm×25cmの火床が検出されている。　**貯蔵穴**　住居中央にD-１(58cm×55cm、深さ29cm)があるが、貯蔵穴とは判断されない。　**遺物**　土師器甕、羽釜、須恵器坏･埦・甕、鉄製品が出土している。　**時期**　10世紀前半。

38号住居跡（第62･70図、第51表、PL.38･59）

位置　３区の西部に位置する。35号・36号住居跡に切られる。　**形状・特徴**　東西3.38m×南北2.86mの隅丸長方形を呈する。北壁の方位はN-61°-Wを示し、深さ46cmを測る。　**カマド**　検出されていない。　**貯蔵穴**　深さ40cm～60cmの土坑３基が検出されたが、貯蔵穴は特定できない。　**遺物**　土師器甕、須恵器埦が少量出土した。　**時期**　10世紀後半。

40号住居跡（第62･70図、第52表、PL.59）

位置　３区の南部に位置する。33号住居跡を切る。　**形状・特徴**　南北3.40m×東西推定2.9mの隅丸長方形を呈する。主軸はN-30°-Eを示し、深さは40cmを測る。　**カマド**　北壁の中央に構築される。規模は長さ72cm、幅60cmを測る。右袖には袖石が残存するほか、カマド前面には構築材とみられる被熱した礫が散乱していた。　遺物　カマド内から土師器甕や墨書のある須恵器坏(２)が出土したほか、須恵器埦・蓋・甕が少量出土した。　**時期**　10世紀前半。

43号住居跡（第61･70･71図、第53表、PL.38･59･60）

位置　３区の中央部に位置する。42号住居跡を切る。　**形状・特徴**　プランは不明であるが、東西4.05m、南北2.0m以上を測る。主軸はN-33°-Eを示し、深さは35cmを測る。　**カマド**　北壁の東寄りに構築される。規模は長さ78cm、幅90cmを測る。焚口部は破壊されていたが、煙道部には懸架石が遺存していた。煙道部の幅は18cm、高さ22cmを測る。火床は径18cmを測り、火床の上には土師器甕(１・２)の破片が折り重なって

出土した。　**遺物**　カマド周辺に須恵器坏・埦がまとまって出土した。ほかに灰釉陶器埦・瓶、鉄製紡錘車が出土した。　**時期**　９世紀後半。

45号住居跡（第63･71図、第54表、PL.39･60）

位置　３区の東部に位置する。48号住居跡を切っている。　**形状・特徴**　平面は東西3.35ｍ×南北3.50ｍの隅丸方形を呈する。主軸はＮ-115°-Ｅを示し、深さは30㎝を測る。　**カマド**　東壁の中央に構築された石組みのカマドである。規模は長さ1.53ｍ、幅1.15ｍを測る。燃焼部から煙道部の内壁には礫が据えられるが、、煙道部奥は北寄りに軸を変えている。焚口部は左右両側に礫を二重に据えており、火床からの高さは35㎝を測る。焚口前面には懸架石が落下していた。火床は32㎝×27㎝を測り、燃焼部左側に偏っている。火床の奥には高さ22㎝の支脚石が遺存していた。煙道部には階段状に積まれた懸架石が残る。煙道部の幅は10㎝、高さ15㎝である。　**貯蔵穴**　カマド左脇のＤ-１（60㎝×50㎝、深さ20㎝）ないし住居南東隅のＤ-２（85㎝×65㎝、深さ56㎝）。　**遺物**　土師器甕、須恵器埦・甕、灰釉陶器埦が少量出土した。住居中央にはカマド構築材とみられる礫がまとまって遺棄されていた。　**時期**　10世紀中頃。

46号住居跡（第64･71図、第55表、PL.39･60）

位置　３区の北東部に位置する。47号住居跡を切っている。　**形状・特徴**　平面は東西3.74ｍ×南北4.26ｍの長方形を基調とするが、カマドから南東隅にかけて幅2.5ｍ、奥行き30㎝ほどの張り出しがみられる。主軸はＮ-117°-Ｅを示し、深さは22㎝を測る。　**カマド**　東壁の中央に構築される。規模は長さ95㎝、幅88㎝を測る。右袖には袖石が据えられており、火床からの高さは27㎝を測る。燃焼部の内壁にも礫が据えられ、幅は36㎝を測る。　**貯蔵穴**　住居南東隅のＤ-１（80㎝×55㎝、深さ19㎝）。　**遺物**　土師器甕、須恵器坏･埦･瓶、灰釉陶器瓶が出土した。　**時期**　10世紀前半。

②土坑

４号土坑（第64図）

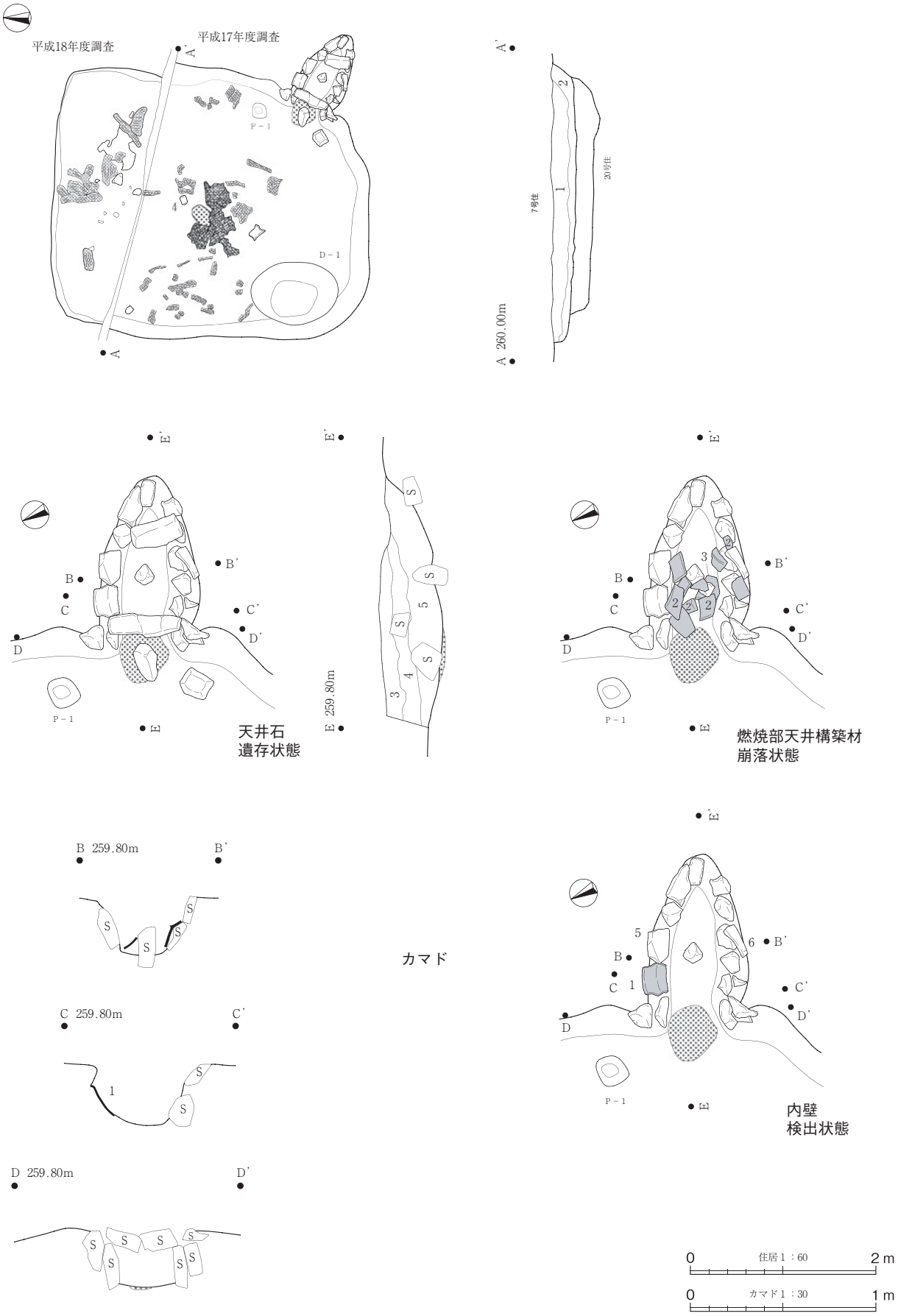
３区の東部に位置する。1.7ｍ×1.5ｍの隅丸方形を呈し、深さは95㎝を測る。土師器甕、須恵器埦、灰釉陶器埦の細片が少量出土した。

５号土坑（第64図）

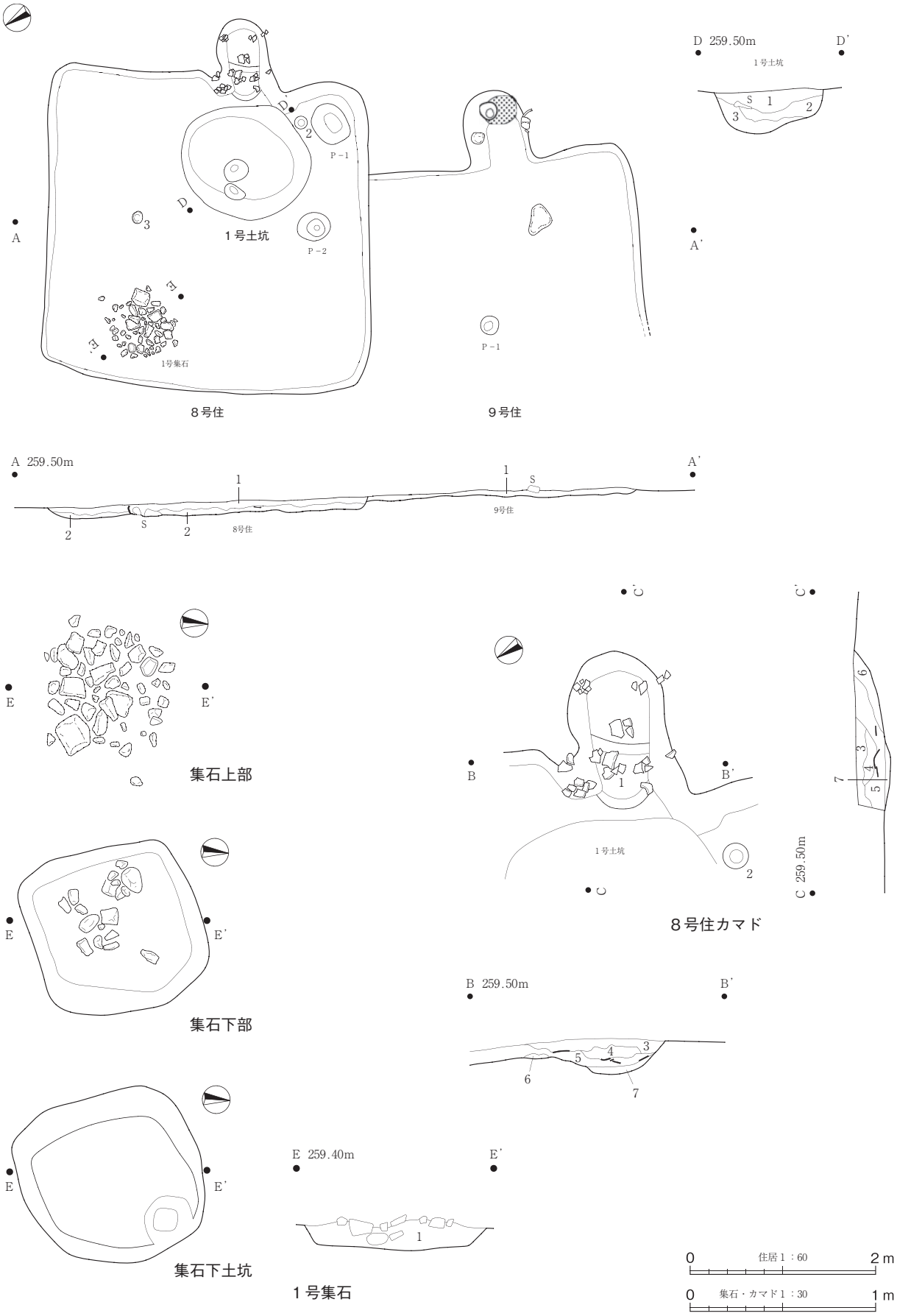
３区の西部に位置する。径1.1ｍの円形と推定され、深さは15㎝を測る。土師器坏・甕、須恵器埦の細片が少量出土した。

③溝

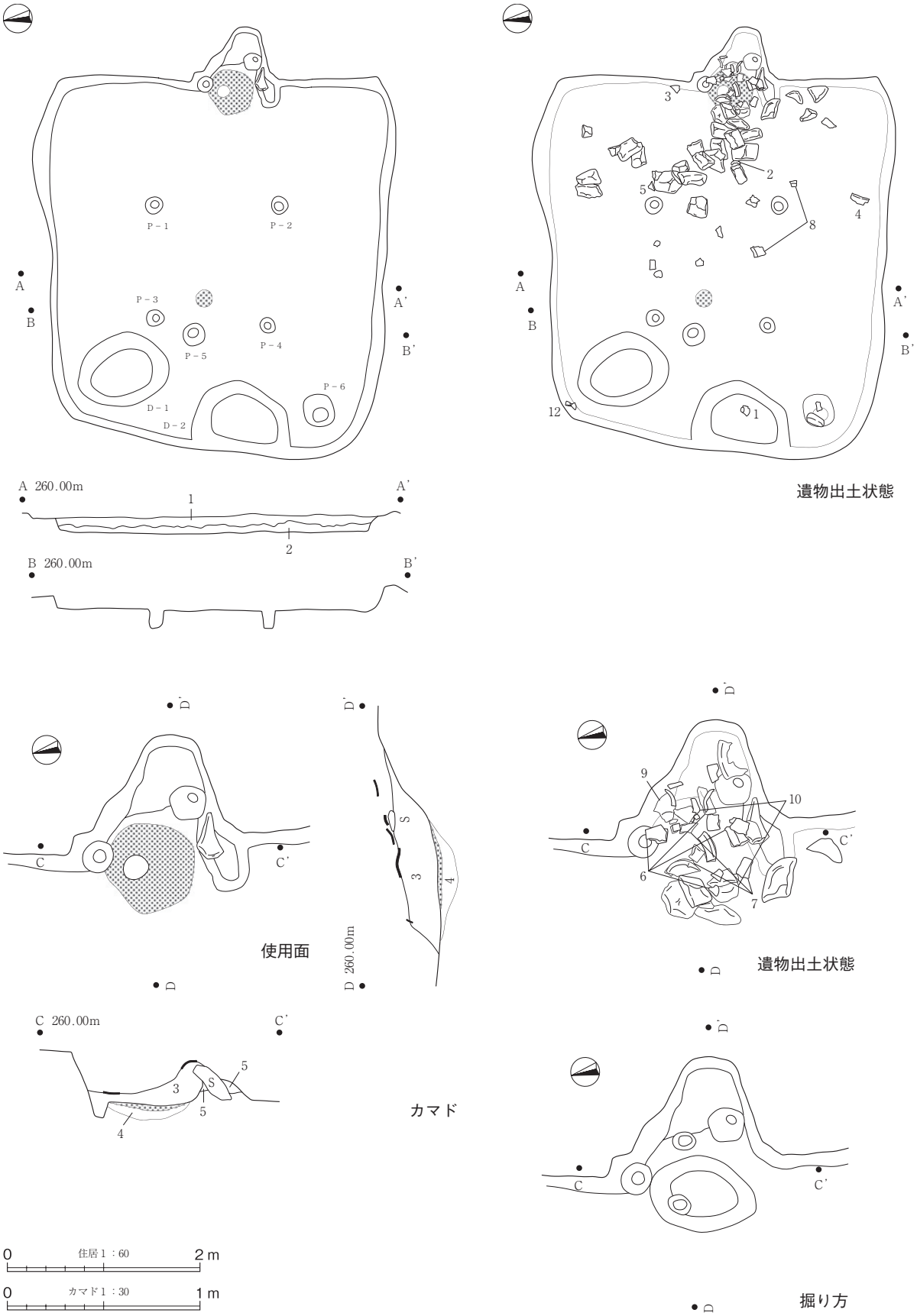
１号～５号溝、９号～13号溝は平安時代以降の溝である。**１号・３号・４号溝**（第65図）は１区東端の谷地において、As-B下で検出された溝であり、高梨子柳下遺跡の水田跡との関連が考えられる。３号溝、４号溝の間からは灰釉陶器瓶が出土した（第71図、第57表、PL.60）。**２号溝**（第65図、PL.39）と**13号溝**は同一の溝とみられる。詳細は平成18年度分に記載した。**９号～11号溝**（第65図）は10世紀後半の14号住居跡を切っている。須恵器埦、灰釉陶器埦の細片が出土した。**12号溝**は13号溝に並走する溝で、近世の焙烙が出土している（第71図、第56表、PL.60）。



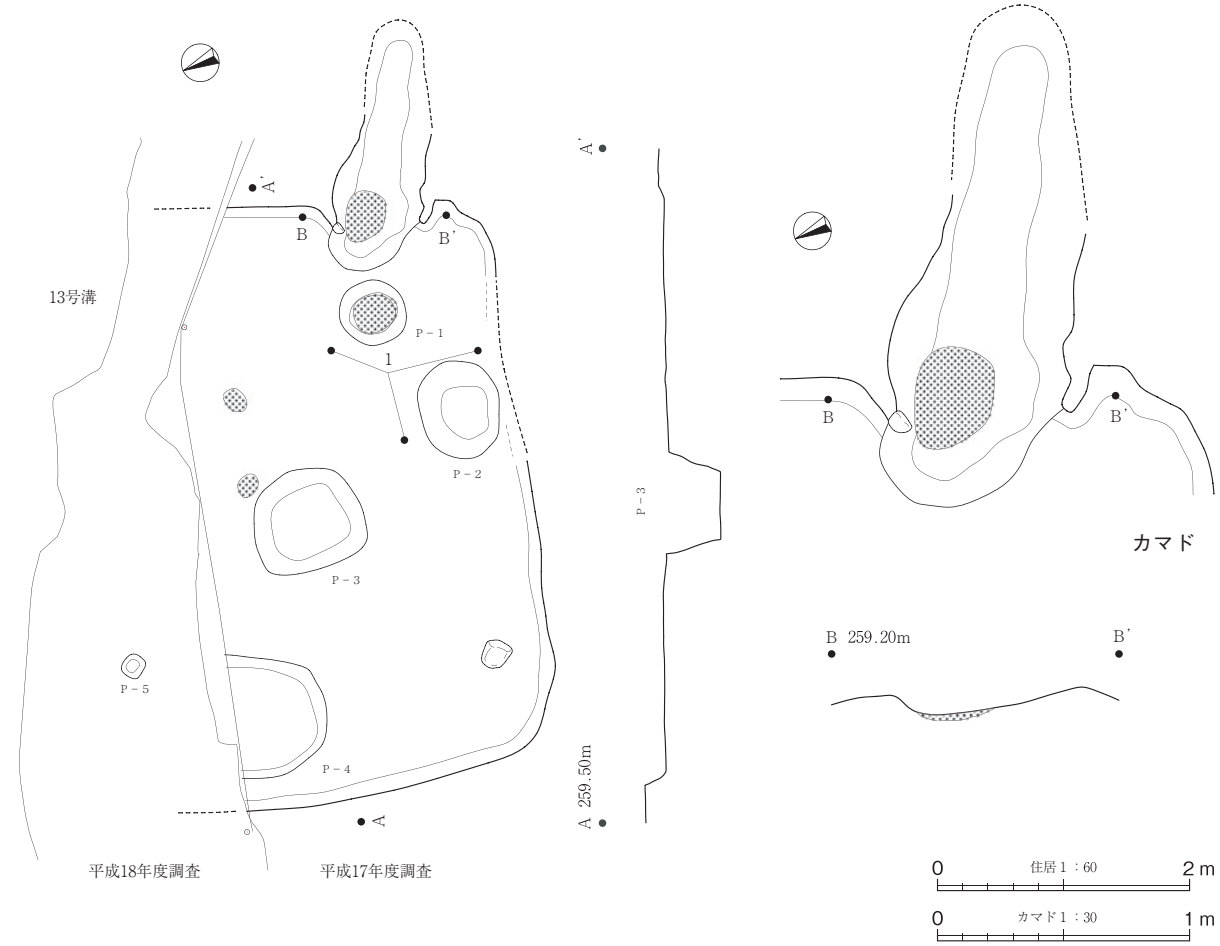
第54図　7号住居跡実測図



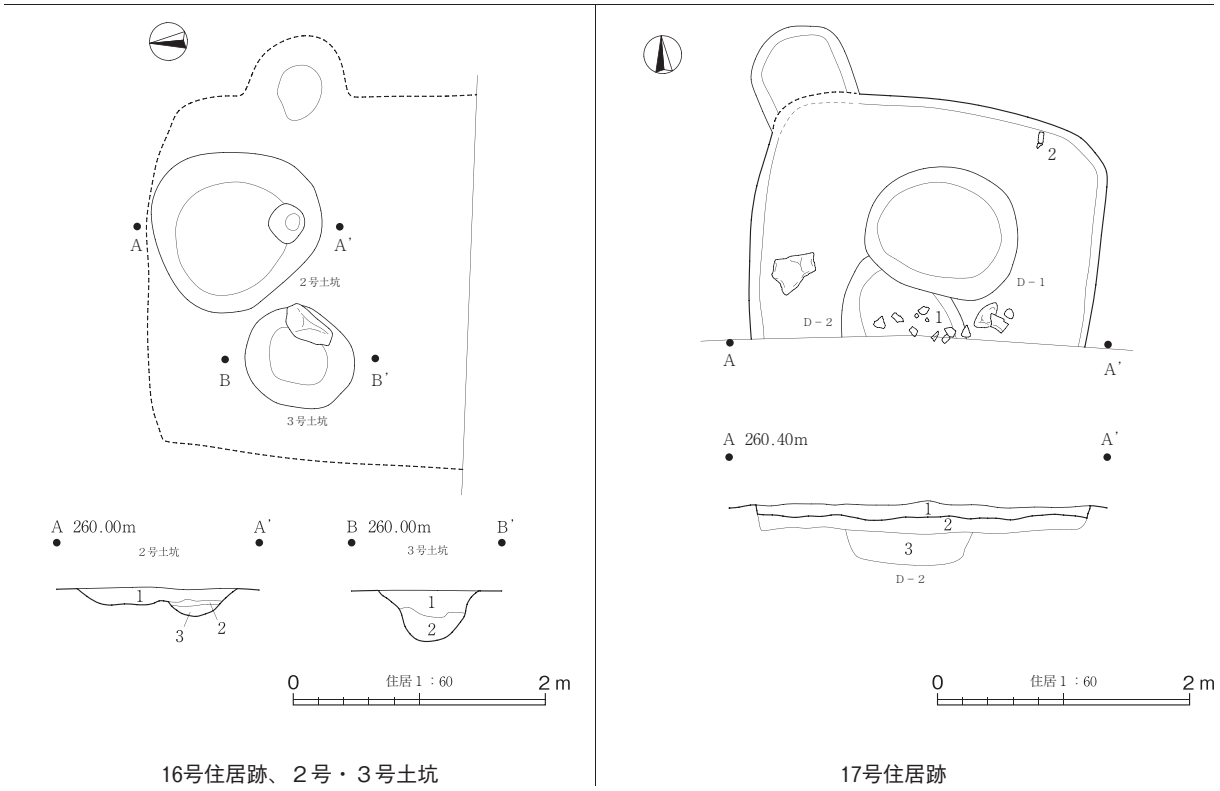
第55図　８号・９号住居跡、１号土坑、１号集石実測図



第56図　10号住居跡実測図



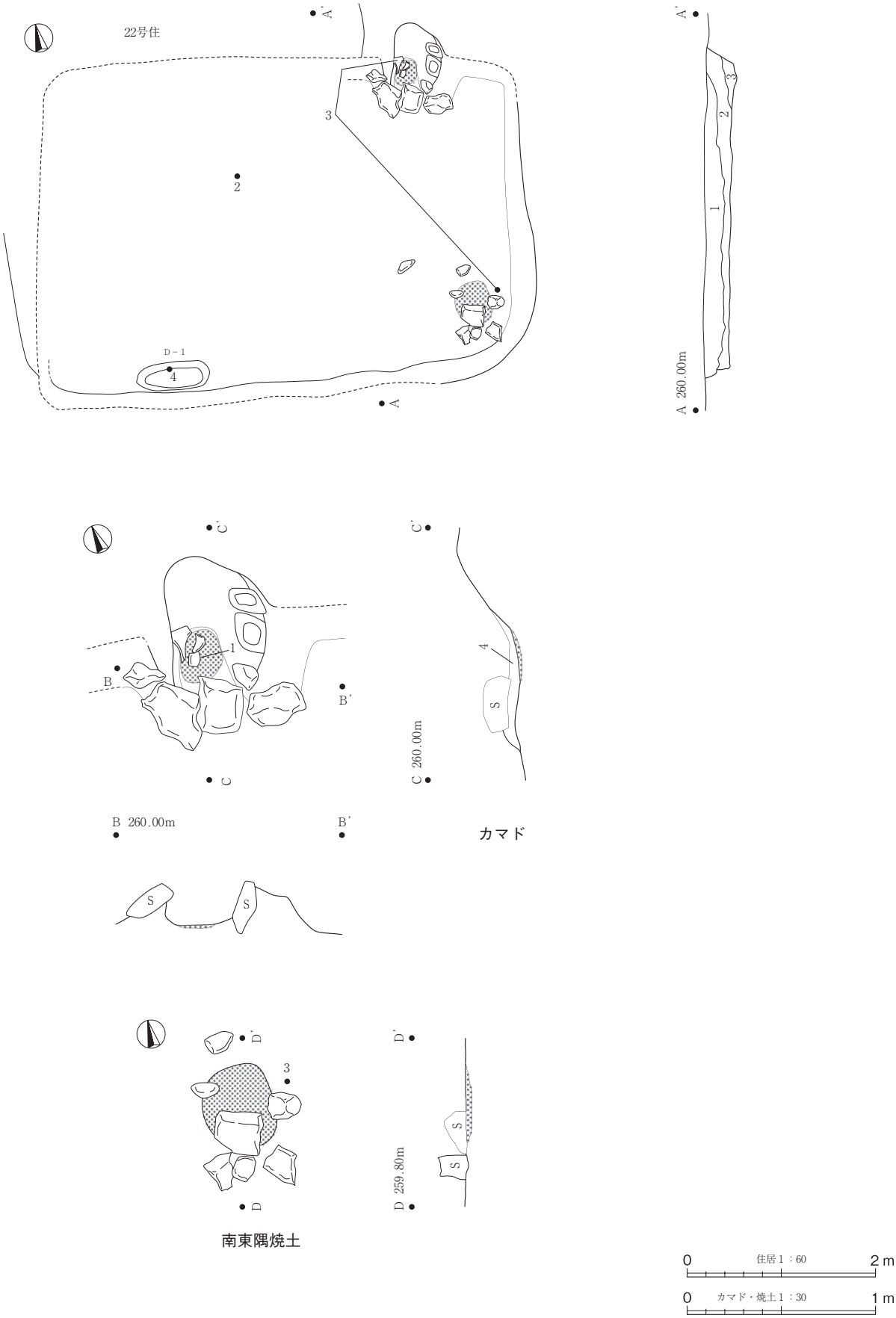
14号住居跡



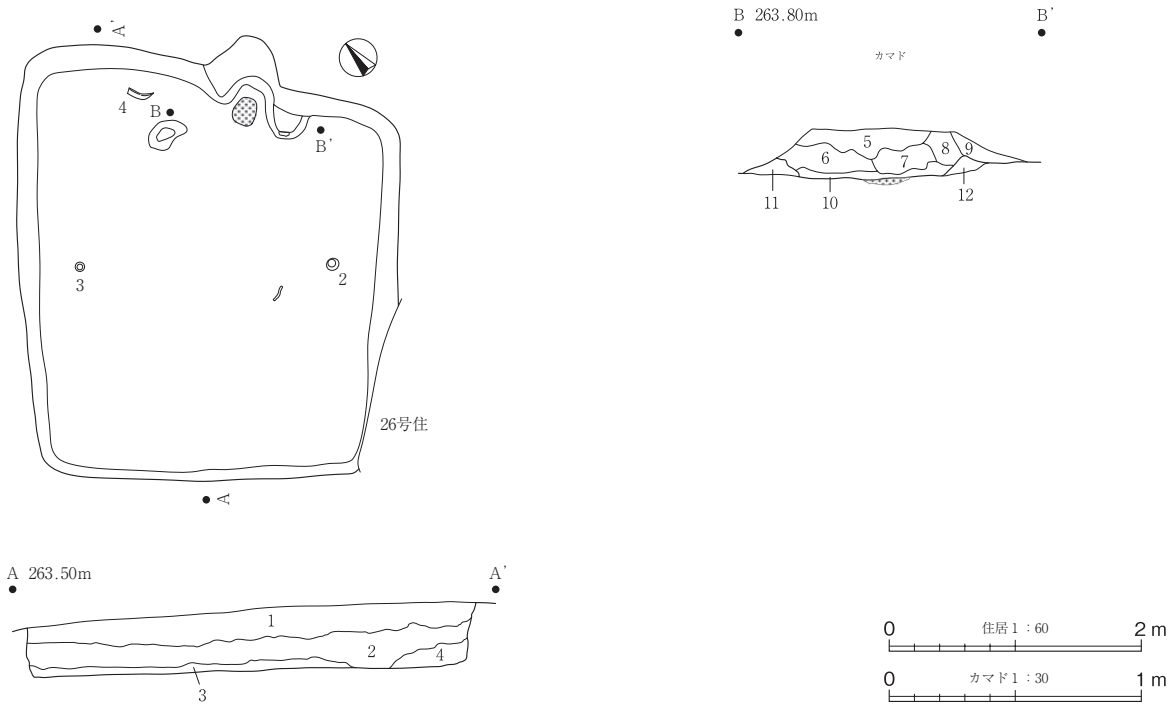
16号住居跡、２号・３号土坑

17号住居跡

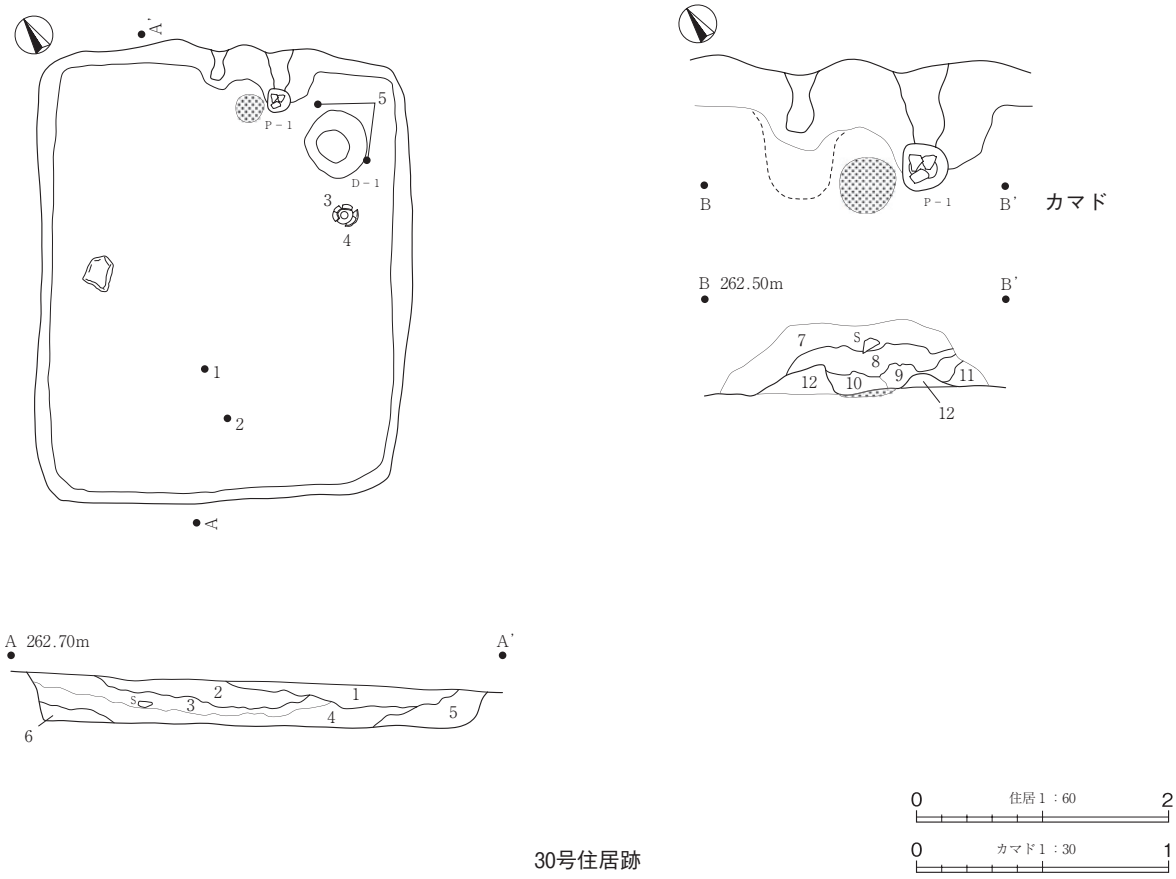
第57図　14号・16号・17号住居跡、２号・３号土坑実測図



第58図　21号住居跡実測図

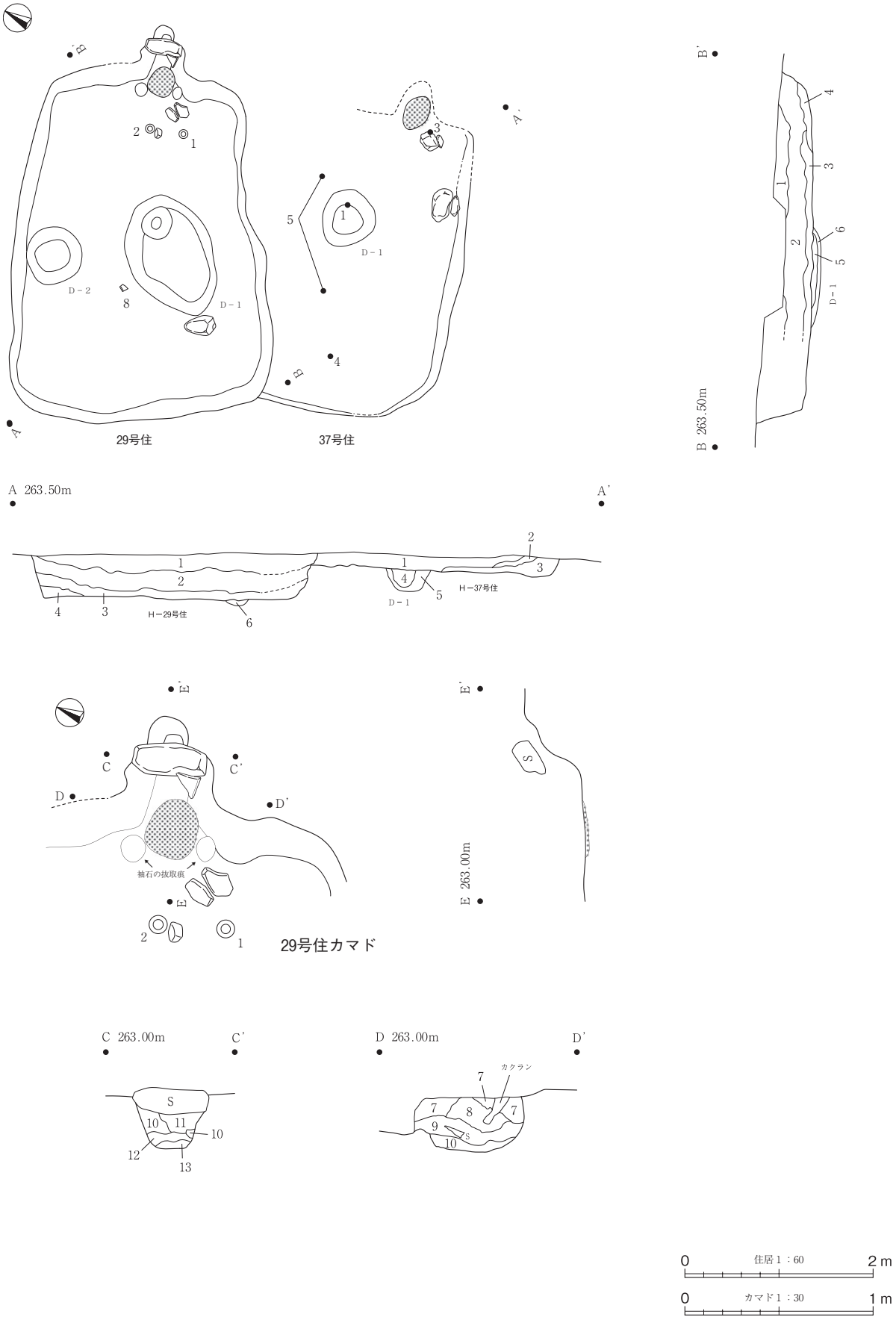


27号住居跡

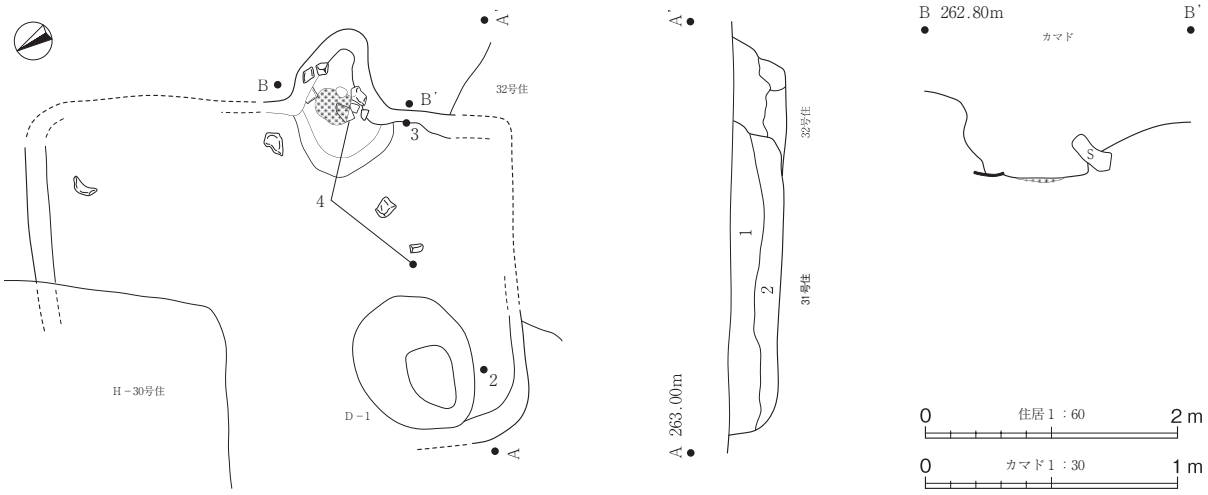


30号住居跡

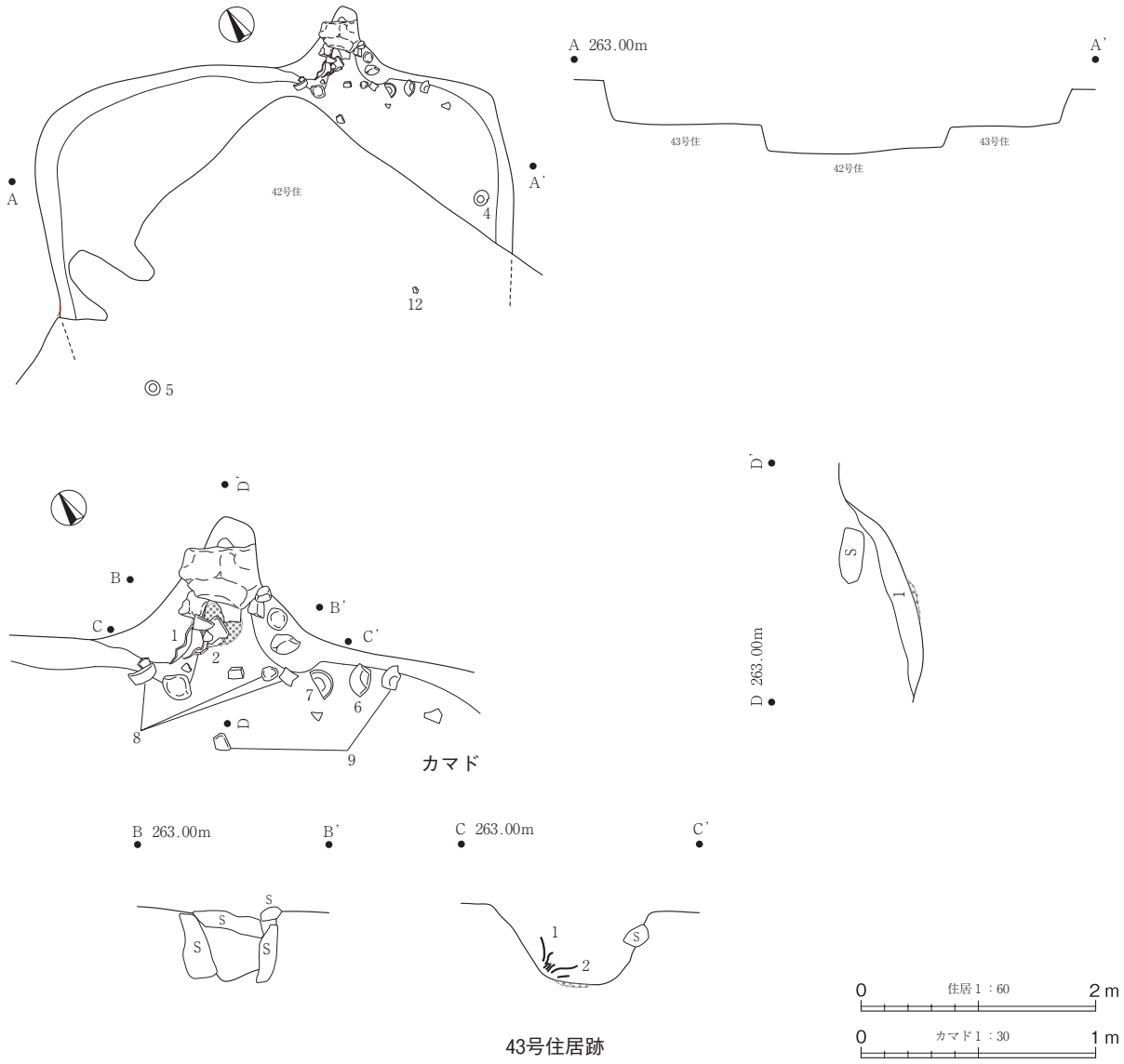
第59図　27号・30号住居跡実測図



第60図　29号・37号住居跡実測図

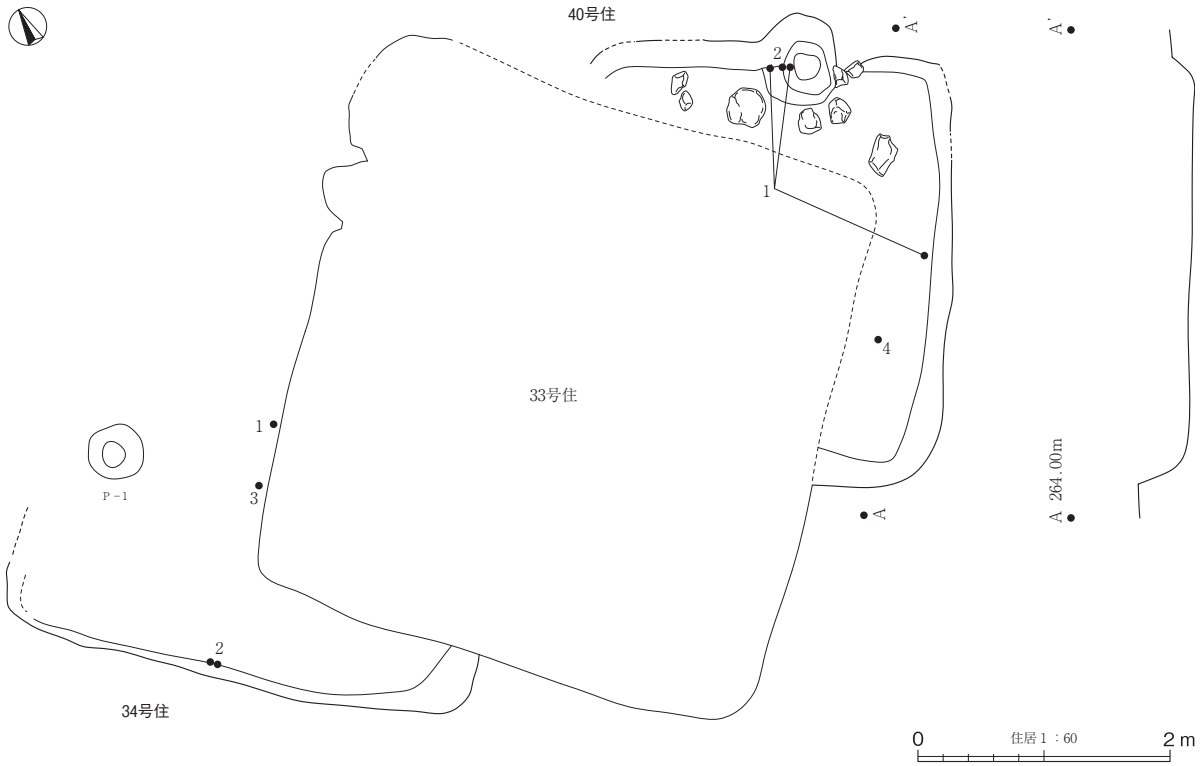


31号住居跡

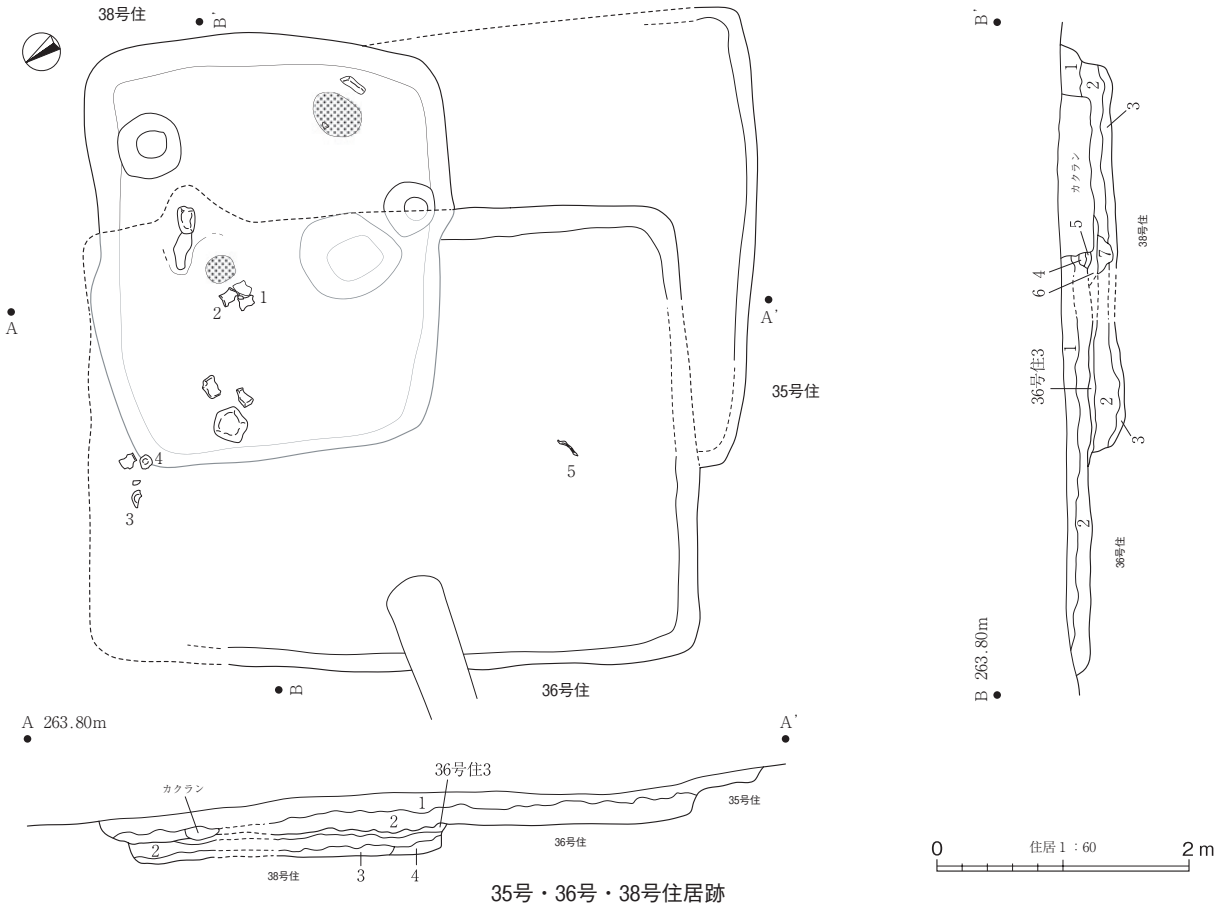


43号住居跡

第61図　31号・43号住居跡実測図

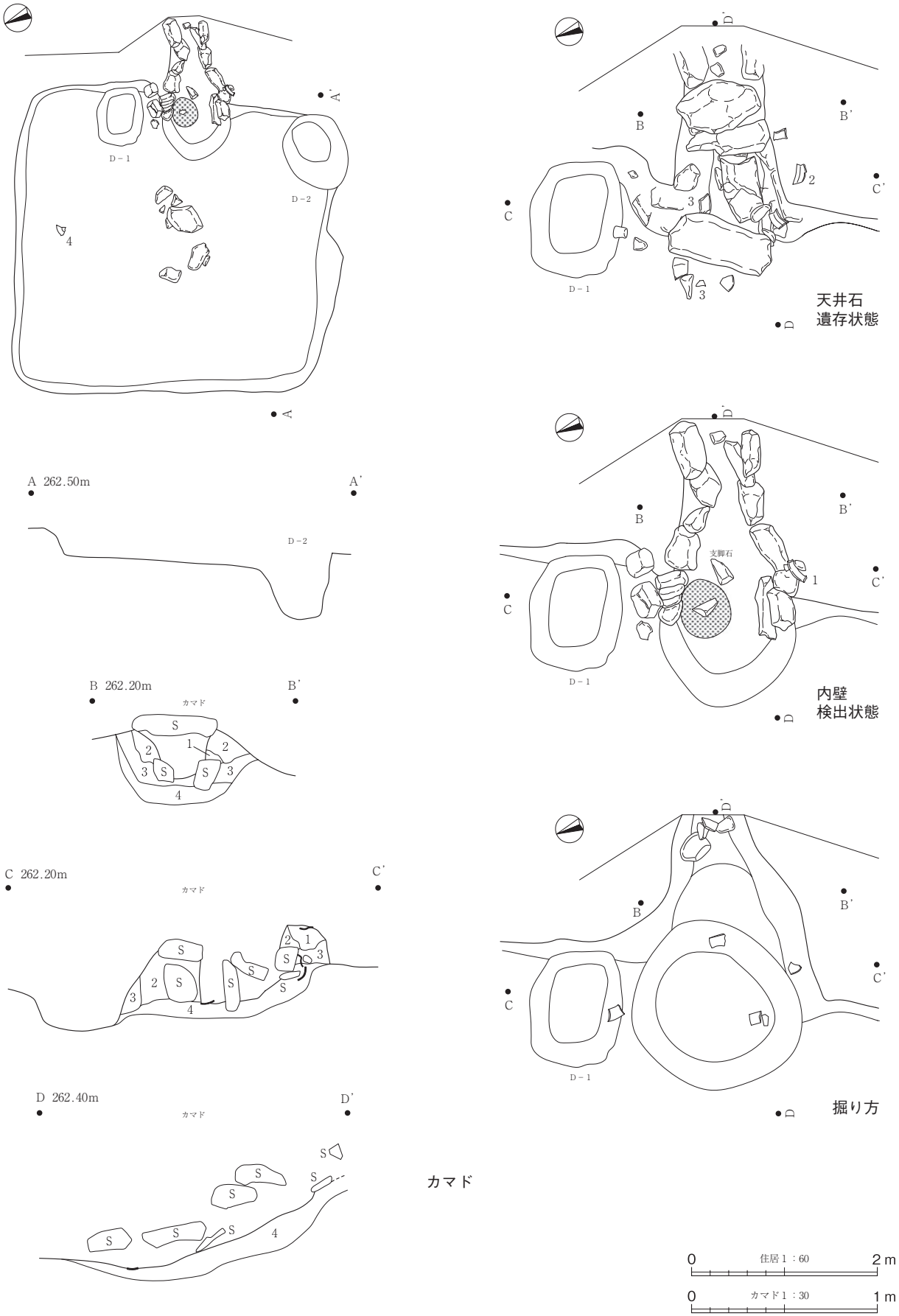


34号・40号住居跡

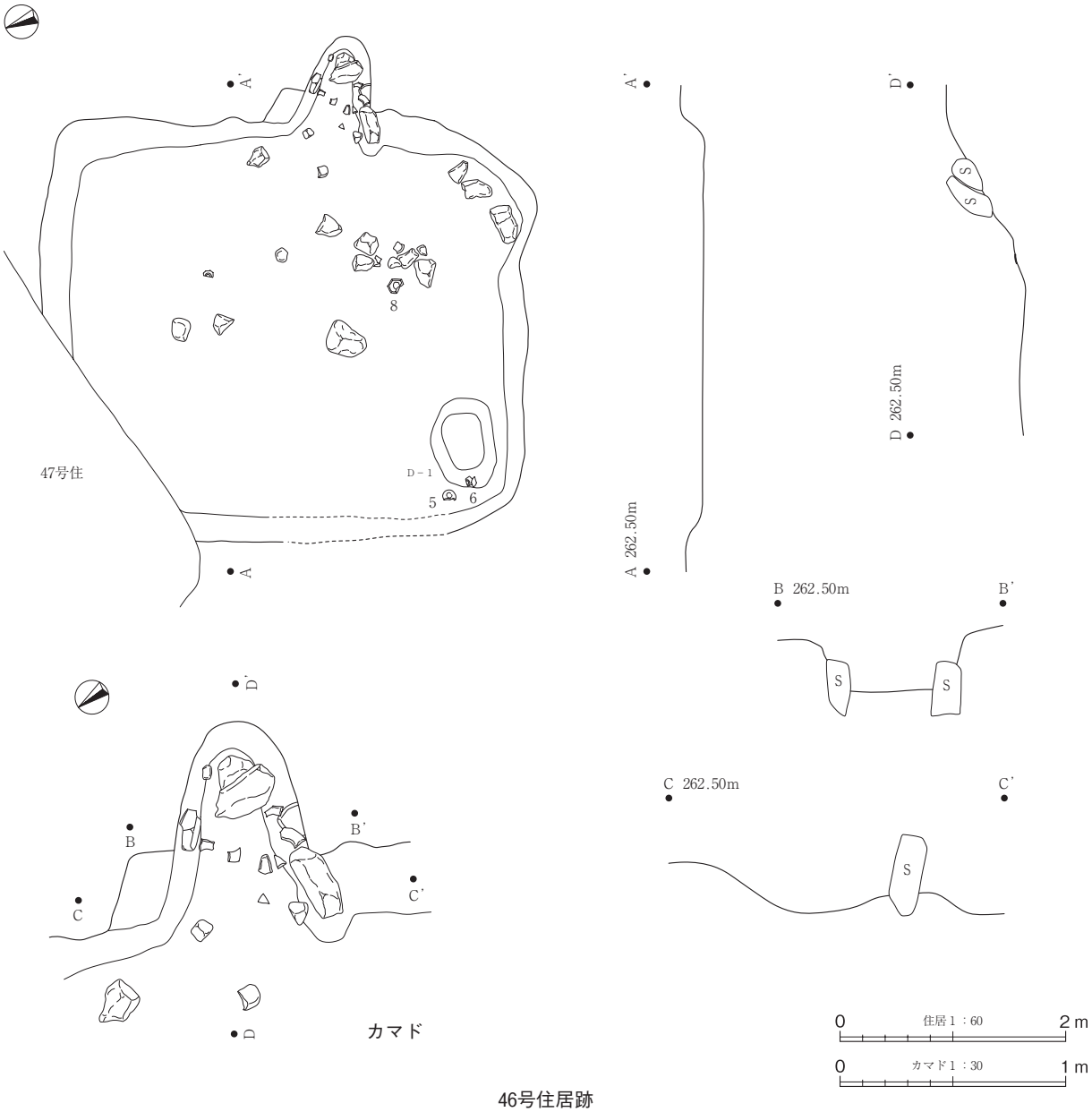


35号・36号・38号住居跡

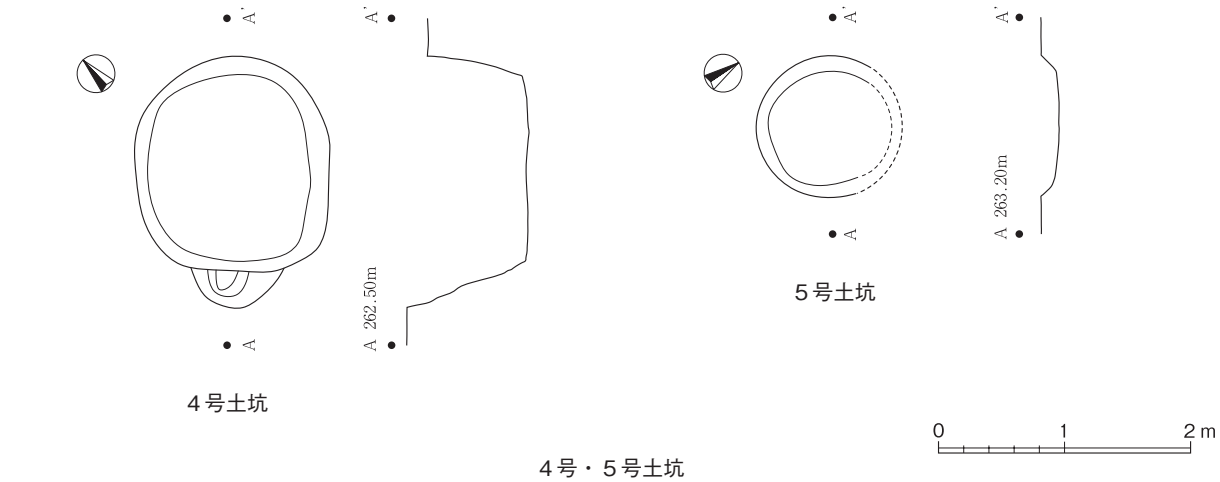
第62図　34号・35号・36号・38号・40号住居跡実測図



第63図　45号住居跡実測図

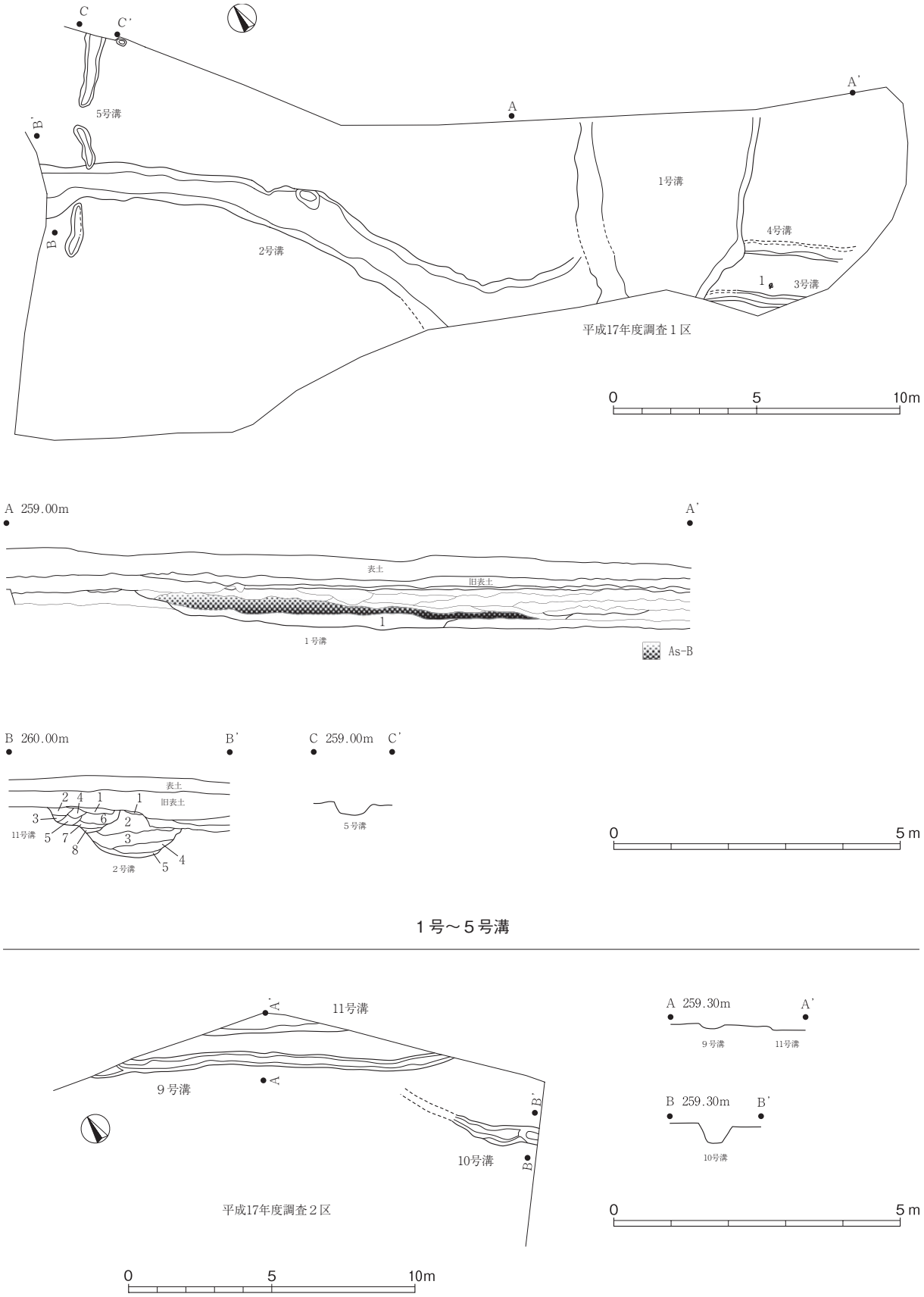


46号住居跡



4号・5号土坑

第64図　46号住居跡、4号・5号土坑実測図



第65図　１号～５号溝、９号～11号溝実測図

7号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石・焼土粒多量
2	黒褐色土	焼土粒・炭化材・灰多量
3	黒色土	硬く締まる、白色軽石多量、焼土粒少量
4	黒色土	締まりなし、白色軽石・焼土粒・炭化粒少量
5	焼土ブロック・炭化粒・灰・黒色土の混土、締まりなし	

8号住居跡土層

1	黒色土	白色軽石・焼土粒多量
2	黒褐色土	粘土質、炭化粒少量
3	黒褐色土	砂質、ローム粒少量
4	黒色土	粘土質、焼土粒少量
5	黒色土	粘土質、ローム小ブロック多量、焼土粒・炭化粒少量
6	黒色土	ローム粒少量
7	焼土ブロック	炭化粒・灰少量

9号住居跡土層

1	黒褐色土	炭化粒少量

10号住居跡土層

1	黒色土	白色軽石多量、焼土粒少量
2	黒褐色土	粘土質、白色軽石・炭化粒・焼土粒少量
3	黒褐色土	粘土質、ローム粒・焼土粒少量
4	灰白色粘土	白色軽石・ローム小ブロック少量
5	黒褐色土	粘土質、ローム粒

17号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石・土器片多量、焼土粒少量
2	黒褐色土	白色軽石・小石少量
3	暗褐色土	粘土質、硬く締まる、小石・ローム小ブロック少量

21号住居跡土層

1	黒色土	白色軽石・焼土粒少量
2	黒色土	白色軽石少量
3	黒色土	白色軽石・ローム粒少量
4	黒褐色土	粘土質、焼土粒・ローム粒多量、炭化粒少量

27号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石多量
2	黒色土	白色軽石少量
3	黒色土	締まりなし、焼土粒・ローム粒多量、白色軽石少量
4	黒色土	ローム粒多量、白色軽石少量
5	黒色土	締まりなし、焼土粒多量
6	黒色土	締まりなし、焼土粒・白色軽石少量
7	黒色土	やや締まる、ローム粒少量
8	黒色土	やや締まる、ローム粒少量
9	黒色土	焼土粒・ローム粒多量
10	黒褐色土	締まりなし、焼土粒多量
11	黒褐色土	硬く締まる
12	ロームブロック	

29号住居跡土層

1	黒色土	白色軽石多量、小石少量
2	黒色土	礫多量、ローム粒少量
3	黒色土	締まりなし、ローム粒多量
4	黒褐色土	砂質、ローム粒多量
5	黒色土	硬く締まる、ロームブロック少量
6	ロームブロック	硬く締まる、小石少量
7	黒色土	砂質、焼土粒少量
8	ロームブロック	焼土粒少量
9	ロームブロック・焼土ブロックの混土、締まりなし	
10	焼土ブロック	ロームブロック・灰少量
11	ロームブロック	焼土粒多量
12	灰	焼土小ブロック少量
13	黒色粘質土・灰の混土、焼土粒少量	

31号住居跡土層

1	黒褐色土	砂質、白色軽石・ローム粒少量
2	黒褐色土	砂質、ロームブロック多量

36号住居跡土層

1	黒褐色土	白色軽石多量
2	灰黄褐色土	炭化粒多量、白色軽石少量
3	黒色土	硬く締まる、ローム粒多量（貼り床）
4	ロームブロック	
5	黒色粘質土	
6	焼土ブロック	ロームブロック少量
7	黒色土	粘土質、白色軽石多量

37号住居跡土層

1	黒褐色土	砂質、白色軽石・焼土粒・炭化粒多量
2	黒褐色土	焼土粒多量
3	黒褐色土	焼土粒・炭化粒少量
4	黒色土	締まりなし、白色軽石多量
5	黒色土	焼土粒・ローム粒多量、土器片少量

38号住居跡土層

1	黒褐色土	砂質、白色軽石多量
2	黒褐色土	砂質、ローム小ブロック・白色軽石多量
3	黒褐色土	ローム粒多量、白色軽石少量
4	黒色土	白色軽石・ローム粒多量

43号住居跡土層

1	黒褐色土	粘土質、ローム小ブロック・焼土粒多量

45号住居跡土層

1	ロームブロック	白色軽石多量、黒褐色土・焼土粒少量
2	ロームブロック・黒褐色土の混土、白色軽石・焼土粒少量	
3	黒褐色土	ロームブロック・白色軽石少量
4	黒褐色土	ロームブロック多量

1号土坑土層

1	黒褐色土	砂質、白色軽石多量
2	黒褐色土	粘土質
3	黒褐色土	粘土質、ローム小ブロック多量

2号土坑土層

1	黒褐色土	白色軽石多量、ローム小ブロック少量
2	ロームブロック	硬く締まる（貼床状）
3	黒色土	ローム粒少量

3号土坑土層

1	黒褐色土	白色軽石多量、ローム粒少量
2	黒色土	ローム粒少量

1号集石土層

1	黒褐色土	ロームブロック多量

1号溝土層

1	黒色粘質土	小石・植物遺体少量

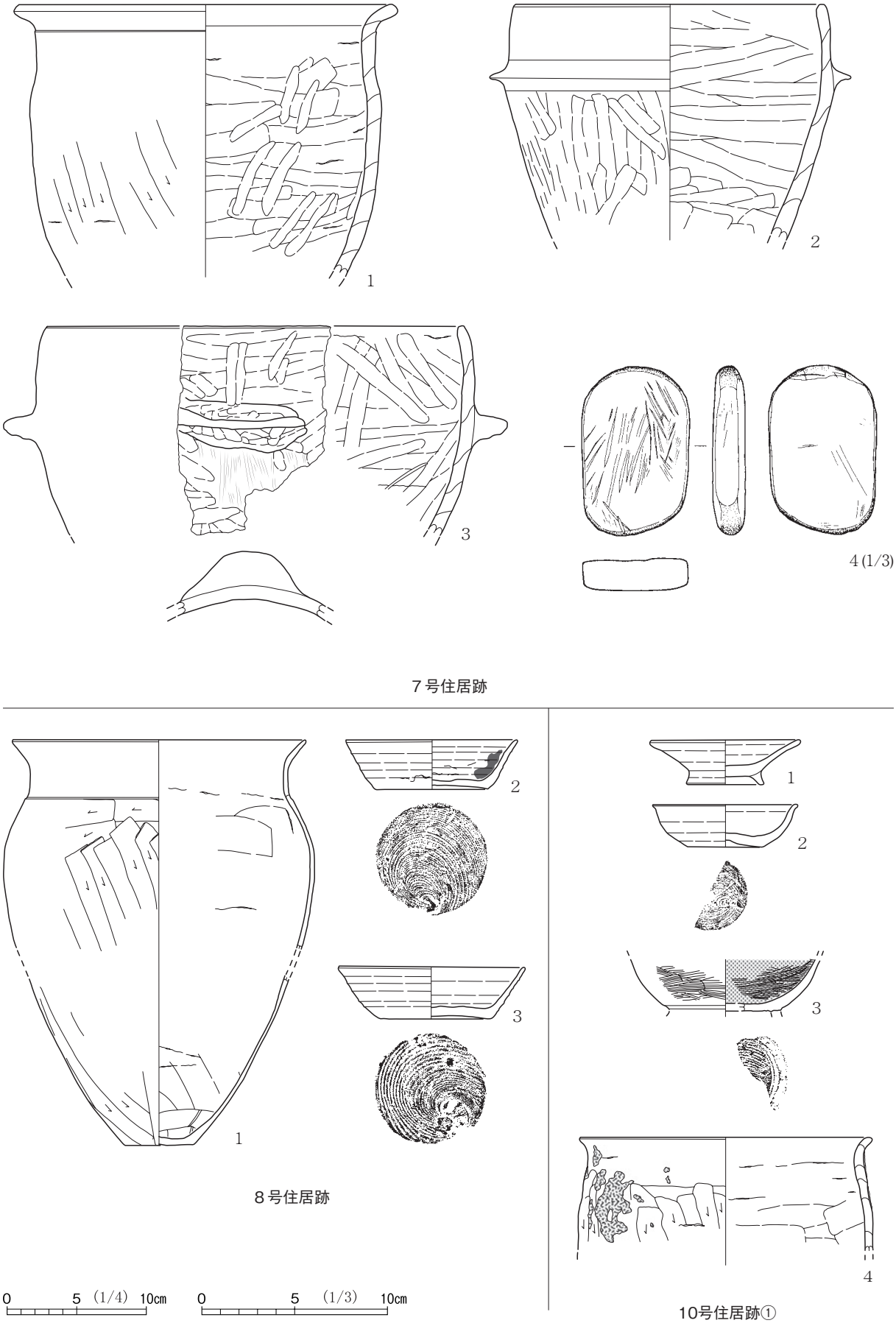
2号溝土層

1	黒色土	As-B 少量
2	黒色土	粗砂・小石少量
3	黄褐色土	粗砂・小石少量
4	黄褐色土	粗砂・小石多量
5	黒褐色土	シルト質、粗砂・小石少量

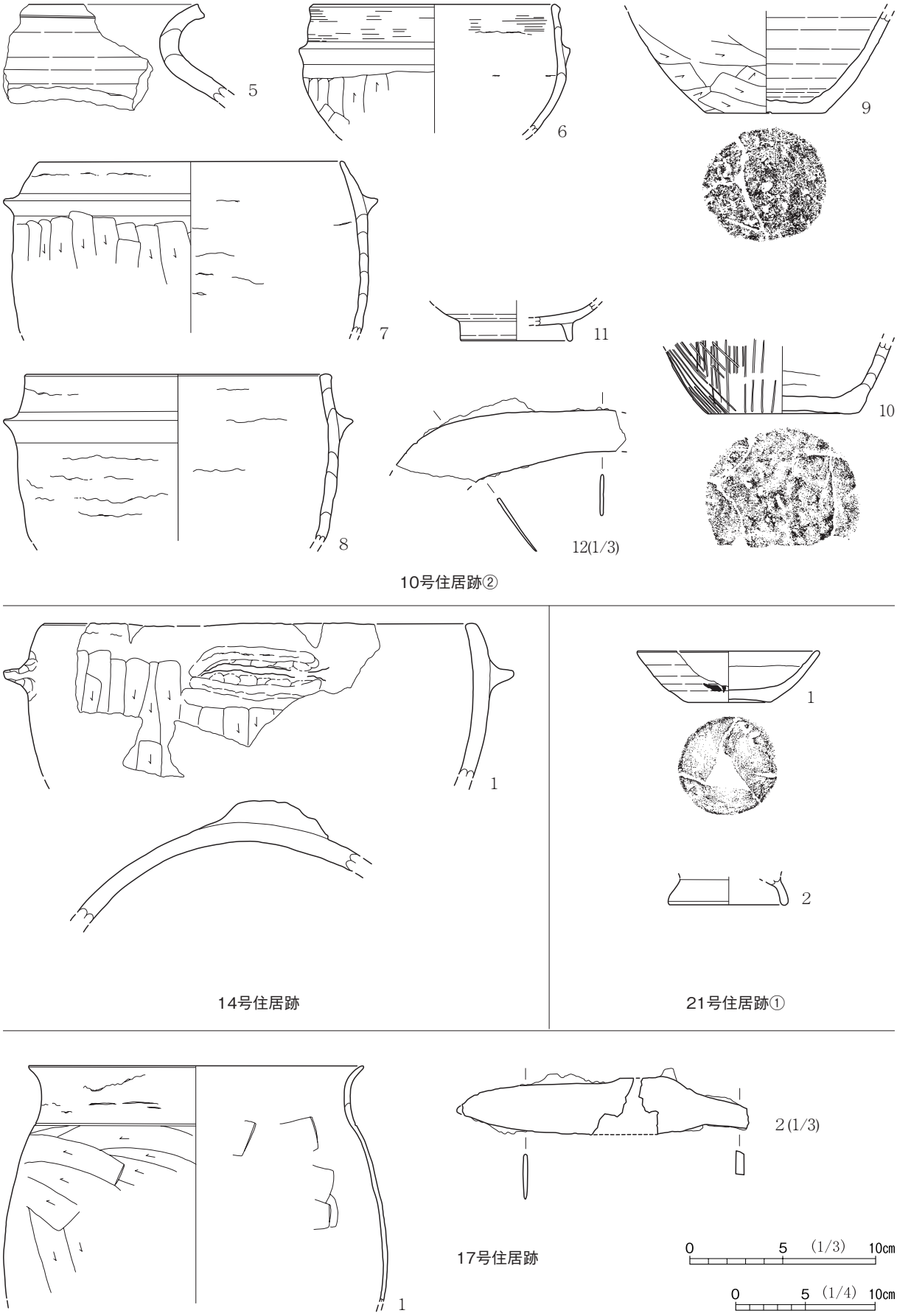
11号溝土層

1	黒色土	As-B 少量
2	黄褐色土	ローム小ブロック多量
3	黄褐色土	粗砂・小石多量
4	黒褐色土	粗砂・小石多量
5	黒褐色土	シルト質
6	黄褐色土	粗砂・小石多量
7	黄褐色土	小石多量
8	黄褐色土	シルト質、細砂少量

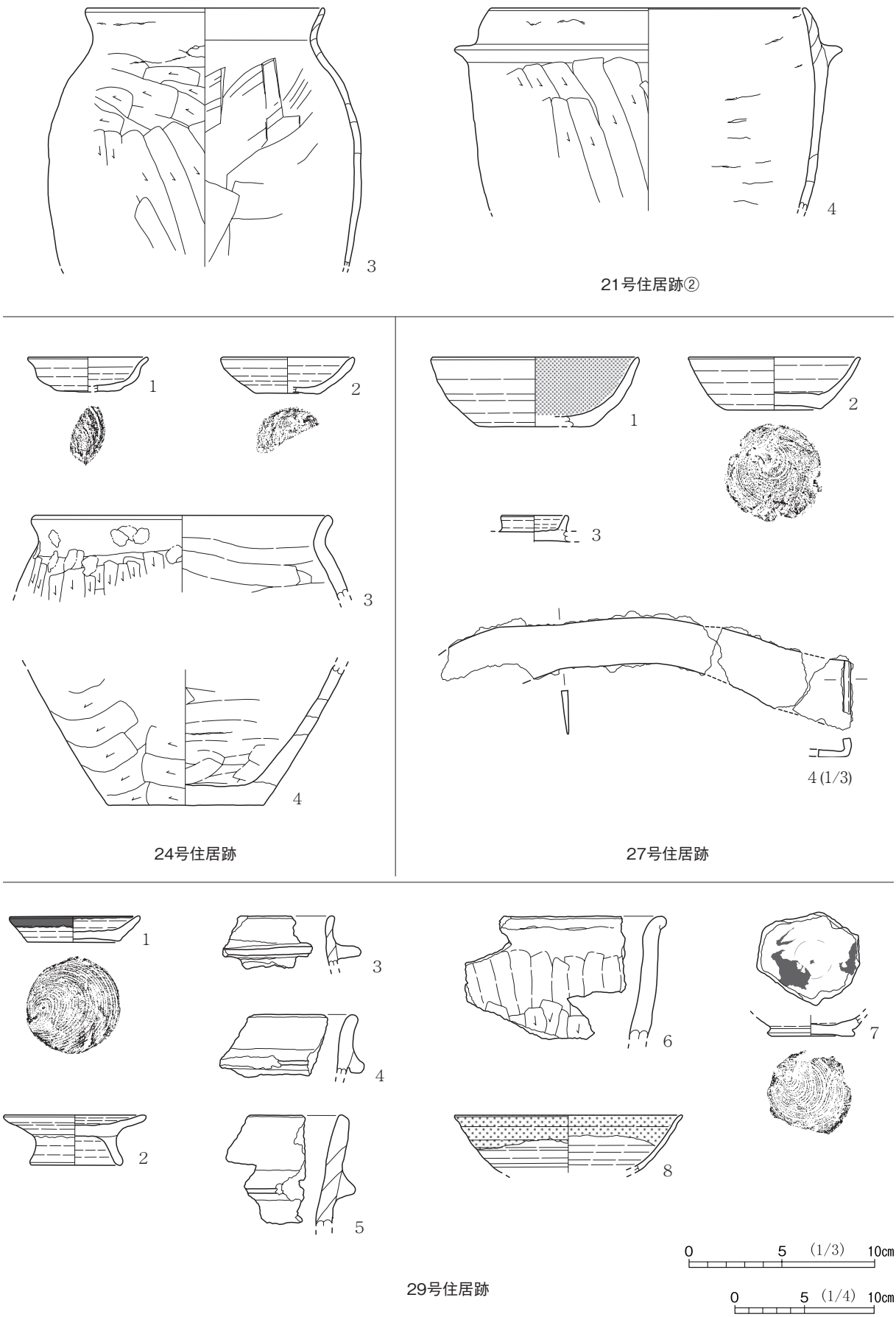
第34表　平安時代土層注記



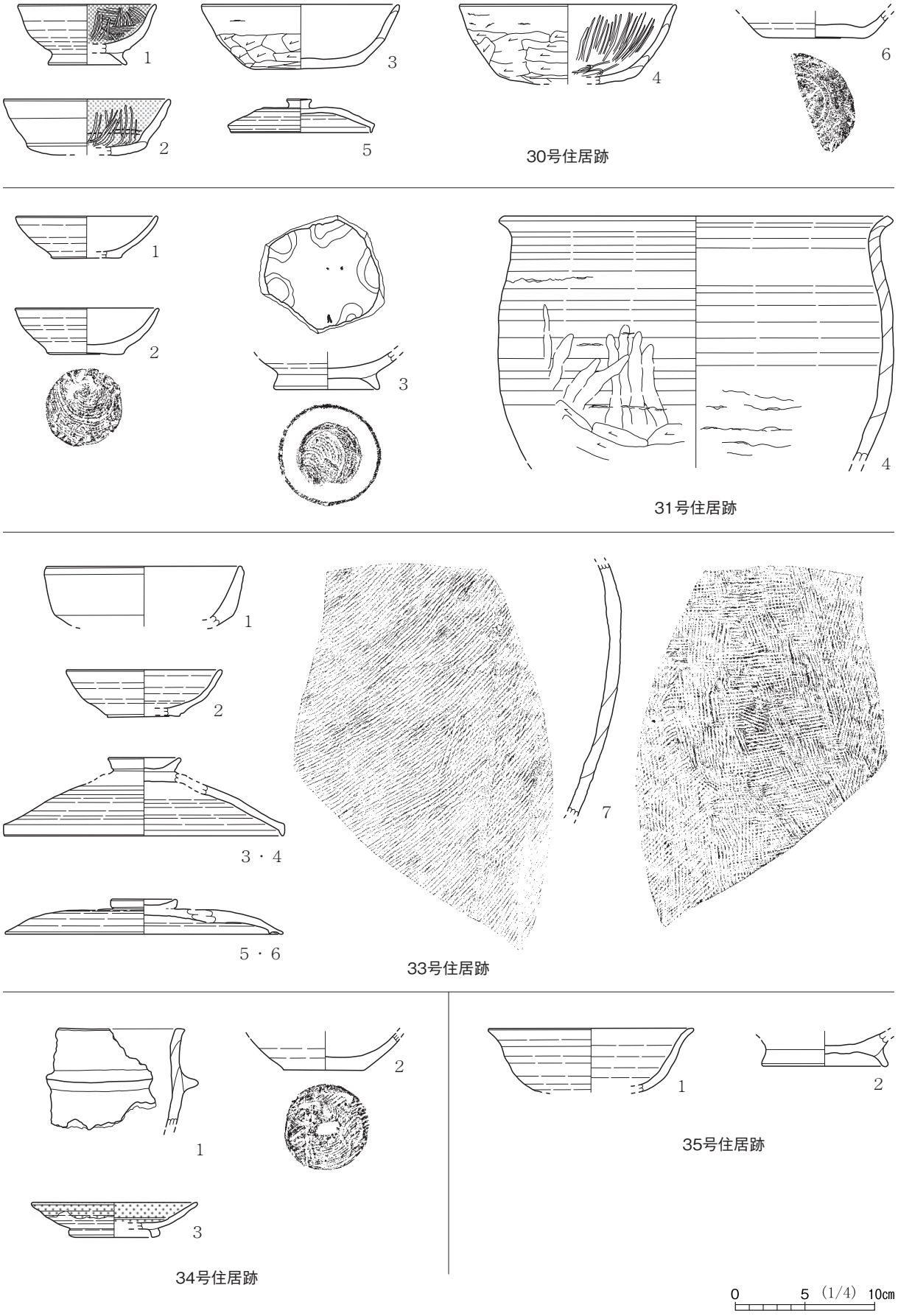
第66図　7・8・10号住居跡出土遺物実測図



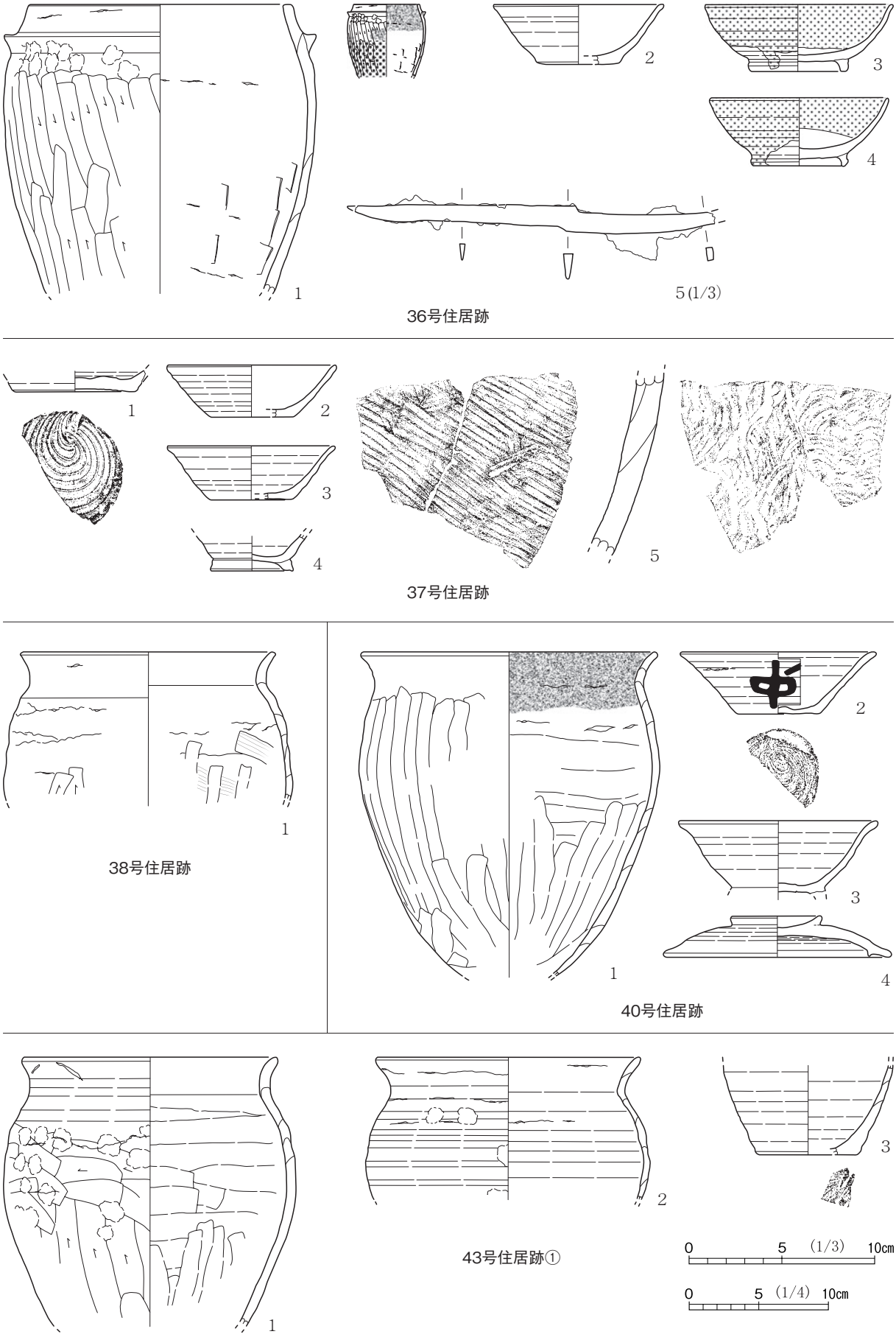
第67図　10･14･17･21号住居跡出土遺物実測図



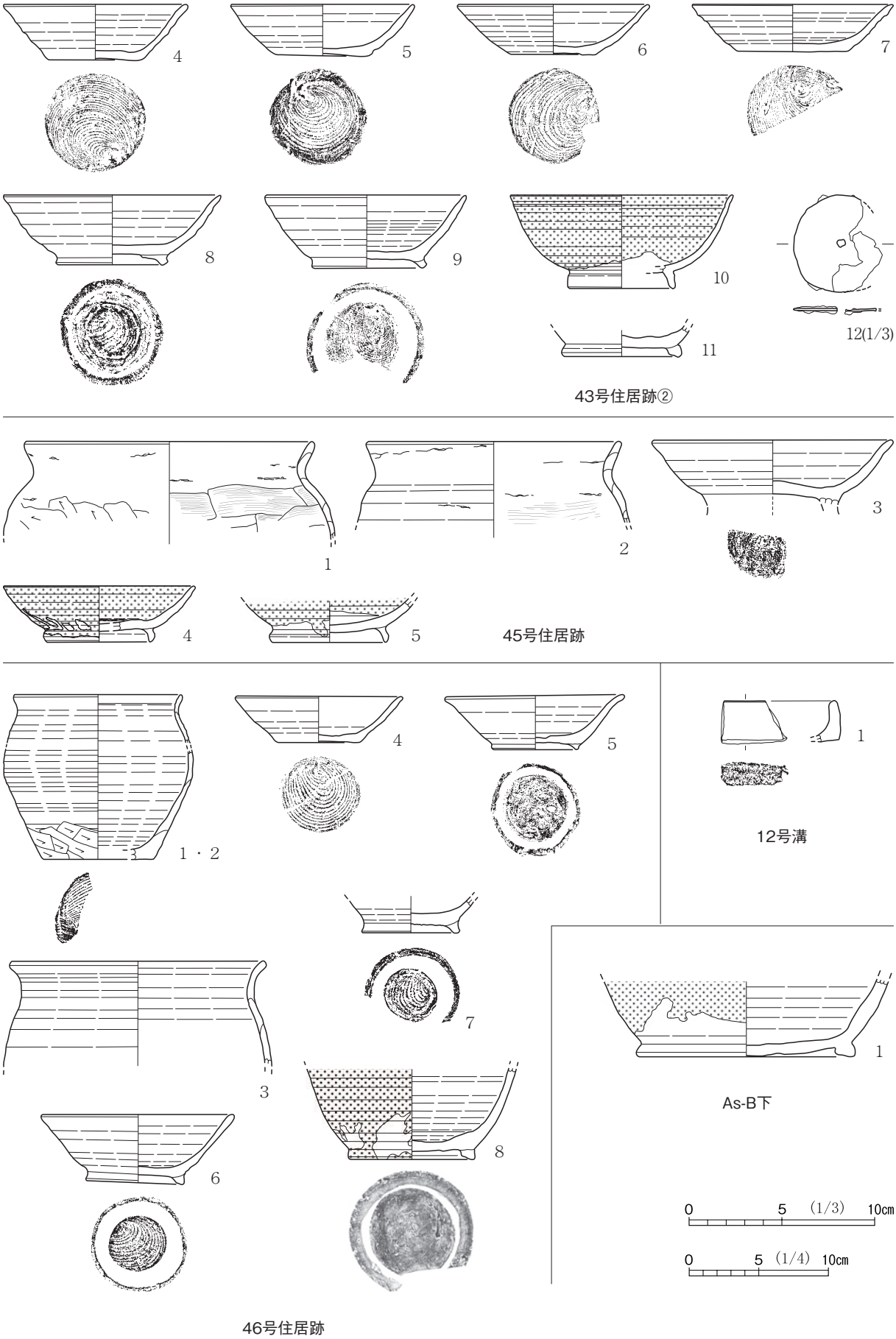
第68図　21・24・27・29号住居跡出土遺物実測図



第69図　30･31･33･34･35号住居跡出土遺物実測図



第70図　36･37･38･40･43号住居跡出土遺物実測図



第71図　43･45･46号住居跡、12号溝、As-B下出土遺物実測図

第35表　７号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.55	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈構築材	口:(27.5) 底:　－ 高:　－	①黒色粒多量・白色パミス少量 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り後撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で後指撫で。 竈燃焼部左壁補強材。
2 PL.55	羽釜	口縁部～胴部 1/2 残存 竈構築材	口:(22.2) 底:　－ 高:　－	①石英・雲母・白色パミス ②酸化 / 良好 ③橙色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫でと弱い指頭痕。胴部篦撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 竈燃焼部天井構築材。
3 PL.55	甑	口縁部～胴部 1/8 残存 竈内	口:(30.0) 底:　－ 高:　－	①チャート・雲母 ②酸化 / 良好 ③明赤褐色 / 明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部刷毛状の撫で後に指撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で後指撫で。
4 PL.55	石製品 砥石	完形 住居中央炭化材 直上	長:　9.1 幅:　5.8 厚:　1.8	流紋岩。表・裏・両側面に研磨痕がみられ、平滑である。重さ 149.8g。	

第36表　８号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.55	土師器 甕	1/3 残存 竈内	口:(21.0) 底:(4.8) 高:(29.2)	①角閃石・雲母・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③灰褐色 / にぶい赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部～底部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部～底部篦撫で。
2 PL.55	須恵器 坏	完形 竈右前	口:12.3 底:　8.0 高:　3.6	①黒色粒・白色パミス微量 ②還元 / 良好　内面に油煙付着 ③灰色 / 灰色	体部に粘土積み上げ痕。底部右回転糸切り。
3 PL.55	須恵器 坏	口縁部 1/4 欠損 中央北寄り	口:13.5 底:　8.0 高:　3.8	①チャート微量 ②弱還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	底部右回転糸切り。

第37表　10号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.56	土師器 皿	口縁部 3/4 欠損 西壁付近	口:(10.8) 底:　3.2 高:　5.4	①チャート・雲母・白色パミス ②酸化 / 普通 ③橙色 / にぶい橙色	底部切り離し不明。見込み回転撫で調整。
2 PL.56	土師器 坏	1/3 残存 竈前	口:(10.4) 底:(5.4) 高:　3.0	①角閃石・石英・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③明赤褐色 / にぶい赤褐色	底部右回転糸切り。
3 PL.56	土師器 埦	体部～底部 1/4 残存 竈左脇	口:　－ 底:　－ 高:残3.6	①石英・白色パミス ②酸化 / 良好 ③にぶい褐色 / 黒色	底部右回転糸切り。内外面磨き。
4 PL.56	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 南壁中央付近	口:(21.0) 底:　－ 高:　－	①石英・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　胴部外面に焼土化した粘土付着 ③明赤褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。頸部弱い指頭痕。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
5 PL.56	須恵器 甕	口頸部 1/8 残存 北東壁	口:　－ 底:　－ 高:　－	①石英・白色パミス ②弱還元 / 普通 ③オリーブ黒色 / オリーブ黒色	内外面撫で調整。
6 PL.56	羽釜	口縁部～胴部 1/2 残存 竈内＋竈前	口:(18.0) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部～鍔部刷毛状工具調整。胴部篦削り。 内面:口縁部刷毛状工具調整。胴部篦撫で。
7 PL.56	羽釜	口縁部～胴部 1/2 残存 竈内～竈前	口:(21.8) 底:　－ 高:　－	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③明黄褐色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
8 PL.56	羽釜	口縁部～胴部 1/4 残存 住居中央	口:(22.0) 底:　－ 高:　－	①チャート・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / にぶい褐色	外面:口縁部横撫で。胴部雑な篦撫で調整。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
9 PL.56	羽釜	胴部～底部 2/3 残存 竈内	口:　－ 底:残7.3 高:　－	①チャート・角閃石・白色パミス ②酸化 / 良好 ③橙色 / 明赤褐色	外面:胴部篦削り。底部撫で。 内面:ロクロ痕顕著。
10 PL.56	羽釜	胴部～底部 2/3 残存 竈内	口:　－ 底:残5.1 高:　－	①チャート・白色パミス・褐色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面:胴部篦削り後粗い刷毛目。底部撫で。 内面:胴部～底部撫で。
11 PL.56	灰釉陶器 埦	底部 1/2 残存 覆土上層	口:　－ 底:(7.8) 高:残2.7	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	
12 PL.56	鉄製品 鎌	刃部破片 北西隅	長:　－ 幅:(3.7) 厚:　0.2	重さ 47.80g。	

第38表　14号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.56	甑	口縁部～胴部1/4 残存 竈周辺とＰ１	口:(31.0) 底:　－ 高:　－	①チャート・角閃石 ②酸化／良好 ③明赤褐色／明褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。 口縁部下に把手。

第39表　17号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.56	土師器 甕	口縁部～胴部1/4 残存 中央部	口:(24.0) 底:　－ 高:　－	①角閃石・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
2 PL.56	鉄製品 鎌	刃部一部欠損 北東隅	長:　－ 幅:　2.6 厚:　0.2	重さ38.89g。	

第40表　21号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.57	須恵器 坏	口縁部と底部の 一部欠損 竈内	口: 13.1 底:　5.9 高:　3.5	①雲母・角閃石・白色パミス ②弱還元／普通 ③にぶい黄橙色／灰黄褐色	体部外面墨書。内面体部～底部ロクロ痕撫で消す。 底部右回転糸切り。
2 PL.57	須恵器 埦	高台のみ残存 中央部	口:　－ 底:　8.6 高:　－	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②弱還元／普通 ③橙色／橙色	
3 PL.57	須恵器 甕	口縁部～胴部1/4 残存 南東隅と竈内	口:(17.2) 底:　－ 高:　－	①角閃石・雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③橙色／明赤褐色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
4 PL.57	羽釜	口縁部～胴部1/3 残存 北壁沿いと南壁 沿い	口:(23.0) 底:　－ 高:　－	①雲母・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③にぶい橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。

第41表　24号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.57	土師器 皿	1/4残存 西部	口:(8.6) 底:　－ 高:(2.5)	①赤褐色粒多量・雲母・白色パミス ②酸化／良好 ③橙色／橙色	底部右回転糸切り。
2 PL.57	土師器 皿	1/2残存 西部	口:(2.5) 底:(4.5) 高:(9.6)	①角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③橙色／橙色	底部右回転糸切り。
3 PL.57	土師器 甕	口頸部1/4残存 西部	口:(21.6) 底:　－ 高:　－	①雲母・チャート ②酸化／良好 ③橙色／にぶい黄橙色	外面:口頸部撫で後指頭痕。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部篦撫で。
4 PL.57	土師器 甕	胴部1/4と底部 2/3残存 土坑内	口:　－ 底:　9.2 高:　－	①角閃石・チャート・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい褐色	外面:胴部～底部篦削り。 内面:胴部～底部篦撫で。

第42表　27号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.57	土師器 坏	1/4残存 一括	口:(15.0) 底:　－ 高:　－	①雲母 ②酸化／良好 ③橙色／黒色	ロクロ成形。内面と外面磨き。
2 PL.57	須恵器 坏	口縁部一部欠損 南東壁中央	口: 12.3 底:　7.0 高:　3.8	①白色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	口縁部の歪み大きい。体部内面に重ね焼き痕(粘土付着)。底部右回転糸切り。
3 PL.57	須恵器 蓋	摘部残存 北西壁中央	口:　－ 摘:　4.9 高:　－	①黒色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	

第43表　29号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.57	土師器 皿	完形 竈前	口:　1.9 底:　6.7 高:　1.9	①雲母・白色パミス ②酸化／良好　口縁部内外面に油煙付着 ③橙色／橙色	底部右回転糸切り。
2 PL.57	土師器 皿	完形 竈左前	口: 10.2 底:　6.7 高:　3.6	①角閃石・石英・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　無黒斑 ③橙色／橙色	高台付。

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
3 PL.57	羽釜	口縁部小片 一括	口：　－ 底：　－ 高：　－	①角閃石・チャート ②酸化／良好 ③灰黄褐色／にぶい黄褐色	口縁部内外面横撫で。
4 PL.57	羽釜	口縁部小片 一括	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・チャート・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	口縁部内外面横撫で。
5 PL.57	羽釜	口縁部小片 一括	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・角閃石・白色パミス ②酸化／良好 ③にぶい赤褐色／明赤褐色	口縁部内外面横撫で。
6 PL.57	土師器 甕	口縁部～胴部小片 一括	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・角閃石・白色粒 ②酸化／良好　内外面に薄い煤付着 ③黒褐色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。胴部箆削りと箆撫で。 内面:口縁部横撫で。胴部箆撫で。
7 PL.57	須恵器 坏	口縁部欠損 一括	口：　－ 底：　5.6 高：　－	①雲母・白色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	底部左回転糸切り。見込みに油煙付着。
8 PL.57	灰釉陶器 埦	口縁部～体部 1/8 残存 中央西寄り	口:(16.4) 底：　－ 高：　－	①白色粒 ②還元／良好 ③黄灰色／黄灰色	体部外面回転箆削り。

第44表　30号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.57	土師器 埦	1/2 残存 中央南寄り	口:(10.0) 底:(5.5) 高：4.4	①角閃石・白色パミス ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒色／にぶい黄橙色	ロクロ成形。体部外面に指頭痕。内面磨き。
2 PL.57	土師器 坏	1/4 残存 南部	口：12.0 底：　－ 高：　－	①雲母・石英・白色粒 ②酸化／良好　内面黒色処理 ③黒色／灰黄褐色	外面:口縁部横撫で。底部箆削り。 内面:口縁部横撫で後、口縁部～底部磨き。
3 PL.57	土師器 坏	口縁部 1/4 欠損 東部	口：14.2 底：7.4 高：4.6	①片岩・チャート・白色パミス ②酸化／良好　口縁部外面に煤付着 ③橙色／橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部箆削り。 内面:口縁部横撫で。体部～底部箆撫でだが摩滅。
4 PL.57	土師器 坏	1/2 残存 東部	口：15.6 底：　－ 高：　－	①片岩・雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好　外面に黒斑 ③にぶい橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部箆削り。 内面:口縁部横撫で。体部放射状磨き。底部螺旋状磨き。
5 PL.57	須恵器 蓋	口縁部 1/3 欠損 貯蔵穴周辺	口：10.0 底：　－ 高：2.4	①白色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	天井部回転箆削り。
6 PL.57	須恵器 坏	底部 1/2 残存 一括	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母 ②還元／良好 ③灰色／灰色	見込み摩滅。

第45表　31号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.58	須恵器 坏	1/4 残存 一括	口:(10.2) 底:(4.8) 高：3.0	①雲母・角閃石 ②弱還元／普通 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	底部回転糸切り。
2 PL.58	須恵器 坏	口縁部 3/4 欠損 南西隅	口:(10.3) 底:(5.4) 高：3.3	①角閃石・白色パミス ②弱還元／普通 ③明黄褐色／明黄褐色	底部右回転糸切り。
3 PL.58	須恵器 埦	口縁部欠損 竈右脇	口：　－ 底：7.4 高：　－	①石英・白色パミス ②弱還元／普通 ③橙色／橙色	見込みに螺旋状？暗文と微量の油煙付着。
4 PL.58	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈及び竈前	口:(27.6) 底：　－ 高：　－	①角閃石・石英・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／橙色	粘土紐積み上げ成形。ロクロ整形。外面胴部下半箆削りと指撫で。

第46表　33号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整形の特徴等
1 PL.58	土師器 坏	口縁部～体部 1/6 残存 一括	口:(13.2) 底：　－ 高：　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化／良好 ③にぶい黄橙色／にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。体部～底部箆削り。 内面:口縁部横撫で。体部箆撫で。
2 PL.58	須恵器 坏	1/3 残存 竈内	口:(11.2) 底:(5.2) 高：　－	①雲母・角閃石・チャート ②弱還元／良好 ③明赤褐色／にぶい黄褐色	底部右回転糸切り。
3・4 PL.58	須恵器 蓋	摘みと口縁部 1/2 残存 一括	口：20.0 摘：5.2 高:(5.6)	①雲母 ②還元／良好 ③灰白色／灰色	天井部回転箆削り。
5・6 PL.58	須恵器 蓋	天井部及び口縁部 1/3 残存 一括	口:(20.0) 摘：4.8 高:(2.5)	①白色粒 ②還元／良好　外面に自然釉 ③灰白色／灰色	口縁部内面に重ね焼き痕(粘土付着)。

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
7 PL.58	須恵器 甕	胴部下半の破片 南部	口：　－ 底：　－ 高：　－	①石英・白色粒 ②還元／良好 ③灰色／灰色	砥石転用。外面叩き後に横方向の撫で。

第47表　34号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.58	羽釜	口縁部小片 住居中央	口：　－ 底：　－ 高：　－	①雲母・石英・チャート ②酸化／良好 ③橙色／明赤褐色	ロクロ整形。
2 PL.58	須恵器 坏	口縁部欠損 南壁沿い中央	口：　－ 底：　5.8 高：　－	①雲母・角閃石 ②弱還元／普通 ③にぶい黄色／暗灰黄色	底部右回転糸切り後一部撫で。
3 PL.58	灰釉陶器 皿	1/2 残存 住居中央	口：(11.8) 底：(5.4) 高：　2.5	①白色粒 ②還元／良好 ③灰白色／灰白色	見込みに重ね焼き痕(粘土付着)。

第48表　35号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.58	須恵器 埦	口縁部～体部 1/4 残存 竈	口：(14.8) 底：　－ 高：　－	①石英・チャート ②弱還元／普通 ③浅黄色／にぶい黄橙色	
2 PL.58	須恵器 埦	底部 1/2 残存 一括	口：　－ 底：(9.0) 高：　－	①石英・チャート・白色粒 ②弱還元／普通 ③灰白色／黄灰色	底部右回転糸切り。

第49表　36号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.58	羽釜	口縁部～胴部 1/4 残存 竈前	口：(19.0) 底：　－ 高：　－	①チャート・角閃石・白色パミス ②酸化／良好　外面胴部上位に煤、下半被熱、内面口縁部から胴部上位に煤 ③橙色／にぶい黄橙色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削りと指頭痕。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で。
2 PL.58	須恵器 坏	1/4 残存 竈前	口：(12.2) 底：(6.0) 高：　－	①雲母・白色パミス・赤褐色粒 ②弱還元／普通 ③にぶい橙色／にぶい黄橙色	底部回転糸切り。
3 PL.58	灰釉陶器 埦	口縁部 1/2 欠損 北壁沿い中央	口：(13.4) 底：(6.9) 高：(4.8)	①白色粒 ②還元／良好 ③灰白色／灰白色	見込みに重ね焼き痕(粘土付着)。
4 PL.58	灰釉陶器 埦	口縁部 3/4 欠損 北壁沿い中央	口：(13.0) 底：　6.6 高：　4.9	①白色粒 ②還元／良好 ③浅黄色／灰オリーブ色	見込み摩滅。
5 PL.58	鉄製品 刀子	一部欠損 中央南寄り	長：残19.3 幅：　1.4 厚：　0.5	重さ41.63g。	

第50表　37号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.59	土師器 甕	底部 1/2 残存 D－１内	口：　－ 底：(8.6) 高：　－	①チャート・白色粒 ②酸化／良好 ③橙色／橙色	底部右回転糸切り。
2 PL.59	須恵器 坏	1/4 残存 一括	口：(12.0) 底：(5.8) 高：(3.7)	①雲母・白色粒 ②還元／良好　口縁部内外面に煤付着 ③灰白色／黄灰色	底部右回転糸切り。
3 PL.59	須恵器 坏	1/4 残存 竈前	口：(12.0) 底：(6.0) 高：(3.9)	①雲母 ②弱還元／普通　内外面に煤付着 ③暗灰黄色／黄褐色	底部左回転糸切り。
4 PL.59	須恵器 埦	口縁部欠損 西部	口：　－ 底：　5.9 高：　－	①雲母・白色粒 ②弱還元／普通 ③灰白色／灰色	
5 PL.59	須恵器 甕	胴部破片 中央北寄り	口：　－ 底：　－ 高：　－	①白色パミス ②還元／良好 ③黄灰色／灰色	砥石転用か。

第51表　38号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.59	土師器 甕	口縁部～胴部 1/5 残存 一括	口：(18.0) 底：　－ 高：　－	①角閃石・白色パミス ②酸化／良好 ③明赤褐色／明赤褐色	外面：口縁部丁寧な横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部丁寧な横撫で。胴部篦撫で。

第52表　40号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.59	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈内と南壁沿い	口:(21.0) 底:　－ 高:　－	①雲母・チャート ②弱還元 / 良好　口縁部内面に煤付着 ③淡黄色 / 淡黄色	外面:口縁部丁寧な横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部丁寧な横撫で。胴部篦撫で。
2 PL.59	須恵器 坏	1/2 残存 竈内	口:(14.0) 底:(6･0) 高:　4.5	①角閃石・チャート ②弱還元 / 普通 ③灰白色 / 灰白色	底部右回転糸切り。体部外面に墨書。
3 PL.59	須恵器 埦	1/4 残存、高台剥落 竈内	口:(14.2) 底:　－ 高:　－	①雲母・片岩・チャート ②弱還元 / 普通 ③褐色 / 明褐色	底部右回転糸切り。
4 PL.59	須恵器 蓋	口縁部 1/2 欠損 南部	口:(16.4) 底:　6.4 高:　2.9	①白色粒 ②還元 / 良好　内面に重ね焼き痕 ③黄灰色 / 黄灰色	天井部内面摩滅(転用硯の可能性)。

第53表　43号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.59	土師器 甕	口縁部～胴部 1/2 残存 竈内	口:(18.4) 底:　－ 高:　－	①雲母・角閃石・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / にぶい褐色	外面:口縁部丁寧な横撫で(ロクロ整形)。胴部篦削りと指頭痕。 内面:口縁部丁寧な横撫で。胴部篦撫で。
2 PL.59	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈内	口:(19.0) 底:　－ 高:　－	①雲母・白色粒 ②酸化 / 良好 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	ロクロ整形。胴部に指頭痕。
3 PL.59	羽釜	胴部～底部 1/5 残存 竈内	口:　－ 底:(7.0) 高:　－	①雲母・チャート・赤褐色粒 ②酸化 / 良好　胴部外面に煤付着 ③浅黄橙色 / 黒褐色	ロクロ整形。底部回転糸切り。
4 PL.60	須恵器 坏	口縁部一部欠損 東壁中央	口: 13.2 底:　6.5 高:　3.9	①チャート・白色パミス ②弱還元 / 良好　外面口縁部～体部の一部に煤付着 ③黄灰色 / 灰黄色	底部右回転糸切り。
5 PL.60	須恵器 坏	完形 南西部	口: 13.2 底:　7.0 高:　3.5	①チャート ②弱還元 / 良好 ③浅黄色 / 灰白色	底部右回転糸切り。
6 PL.60	須恵器 坏	口縁部～体部 1/2 欠損 竈右脇	口: 13.8 底:　6.0 高:　3.6	①チャート・白色パミス ②弱還元 / 普通 ③灰白色 / 灰黄色	底部右回転糸切り。
7 PL.60	須恵器 坏	1/2 残存 竈右脇	口:(14.4) 底:(8.0) 高:　3.4	①雲母 ②弱還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	底部右回転糸切り。
8 PL.60	須恵器 埦	口縁部～体部 2/3 欠損 竈前	口:(15.6) 底:　7.6 高:(5.0)	①雲母・赤褐色粒 ②弱還元 / 普通 ③灰白色 / 浅黄橙色	底部回転糸切り。見込みに線刻。
9 PL.60	須恵器 埦	2/3 残存 竈右脇と竈前	口:(14.5) 底:　7.6 高:　5.3	①雲母・チャート ②弱還元 / 普通 ③灰黄色 / 灰黄色	底部右回転糸切り。
10 PL.60	灰釉陶器 埦	1/4 残存 一括	口:(16.0) 底:(7.4) 高:　6.8	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	体部外面回転篦削り。
11 PL.60	灰釉陶器 瓶	底部 1/2 残存 一括	口:　－ 底:　8.2 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰白色	
12 PL.60	鉄製品 紡錘車	紡輪 2/3 残存 南部	径:　5.2 孔:　0.4 厚:　0.1	重さ20.95g。	

第54表　45号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.60	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈右袖中	口:(20.8) 底:　－ 高:　－	①チャート・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面:口縁部横撫で。胴部刷毛状工具痕。
2 PL.60	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 竈右袖上	口:(18.4) 底:　－ 高:　－	①チャート・角閃石・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / にぶい黄橙色	ロクロ整形。胴部内面に刷毛状工具痕。
3 PL.60	須恵器 埦	3/4 残存　高台剥落 竈内	口:(17.3) 底:　－ 高:　－	①チャート・角閃石 ②弱還元 / 普通　底部内面に黒斑 ③にぶい橙色 / にぶい黄橙色	底部回転糸切り。
4 PL.60	灰釉陶器 埦	1/2 残存 北部	口:(13.5) 底:(7.4) 高:　4.0	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰色 / 灰色	
5 PL.60	灰釉陶器 埦	体部～底部 1/3 残存 D-２内	口:　－ 底:(8.2) 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	体部外面回転篦削り。

第55表　46号住居跡出土遺物観察表

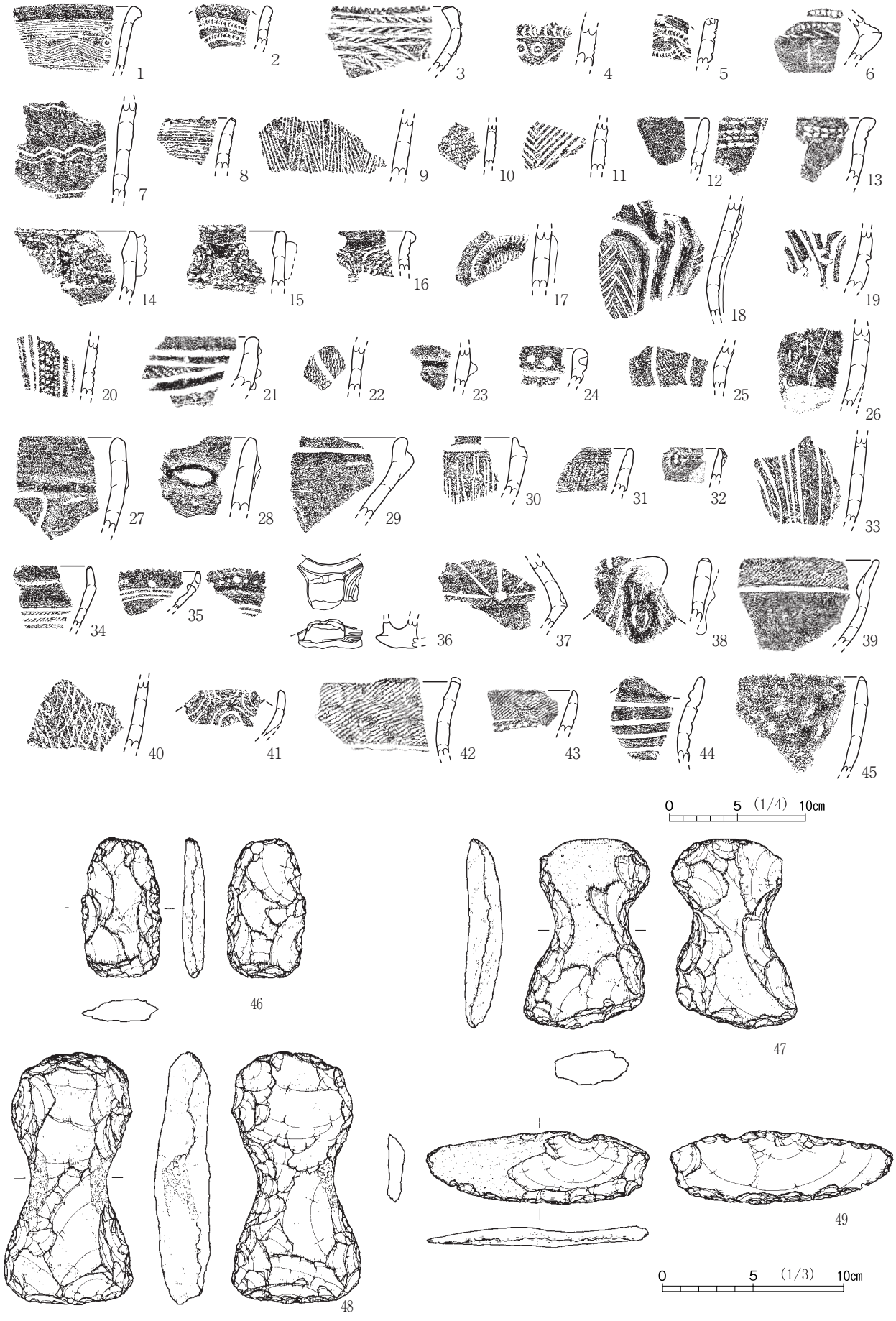
No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1・2 PL.60	土師器 小型甕	口縁部 1/4 と胴部下半～底部 1/4 残存 一括	口:(12.0) 底:（8.4） 高:(11.8)	①雲母・石英 ②酸化 / 良好　内面黒色処理 ③灰黄色 / 黒色	ロクロ成形。底部回転糸切り。外面胴部下端篦削り。
3 PL.60	土師器 甕	口縁部～胴部 1/4 残存 一括	口:(18.5) 底:　－ 高:　－	①雲母・石英 ②酸化 / 良好　胴部内面に煤付着 ③にぶい橙色 / にぶい黄橙色	ロクロ整形。
4 PL.60	須恵器 坏	口縁部 3/4 欠損 D - 1 内	口:(12.0) 底:　5.8 高:（3.3）	①チャート・雲母・赤褐色粒 ②弱還元 / 良好 ③にぶい橙色 / にぶい橙色	底部右回転糸切り。
5 PL.60	須恵器 坏	口縁部 1/4 残存 D - 1 脇	口:(12.9) 底:　6.0 高:（4.0）	①チャート・白色粒 ②弱還元 / 普通 ③灰白色 / 灰白色	底部回転糸切り。口縁部の歪み大きい。
6 PL.60	須恵器 埦	体部の一部欠損 D - 1 内	口: 13.9 底:　6.9 高:　5.0	①チャート・雲母・白色パミス ②弱還元 / 普通 ③灰白色 / 灰白色	底部右回転糸切り。
7 PL.60	須恵器 埦	口縁部欠損 一括	口:　－ 底:　6.9 高:　－	①石英・雲母 ②弱還元 / 普通 ③にぶい橙色 / にぶい橙色	底部回転糸切り。
8 PL.60	灰釉陶器 埦	胴部下半～底部 3/4 残存 中央南寄り	口:　－ 底:　8.8 高:　－	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰黄色 / 灰黄色	

第56表　12号溝出土遺物観察表

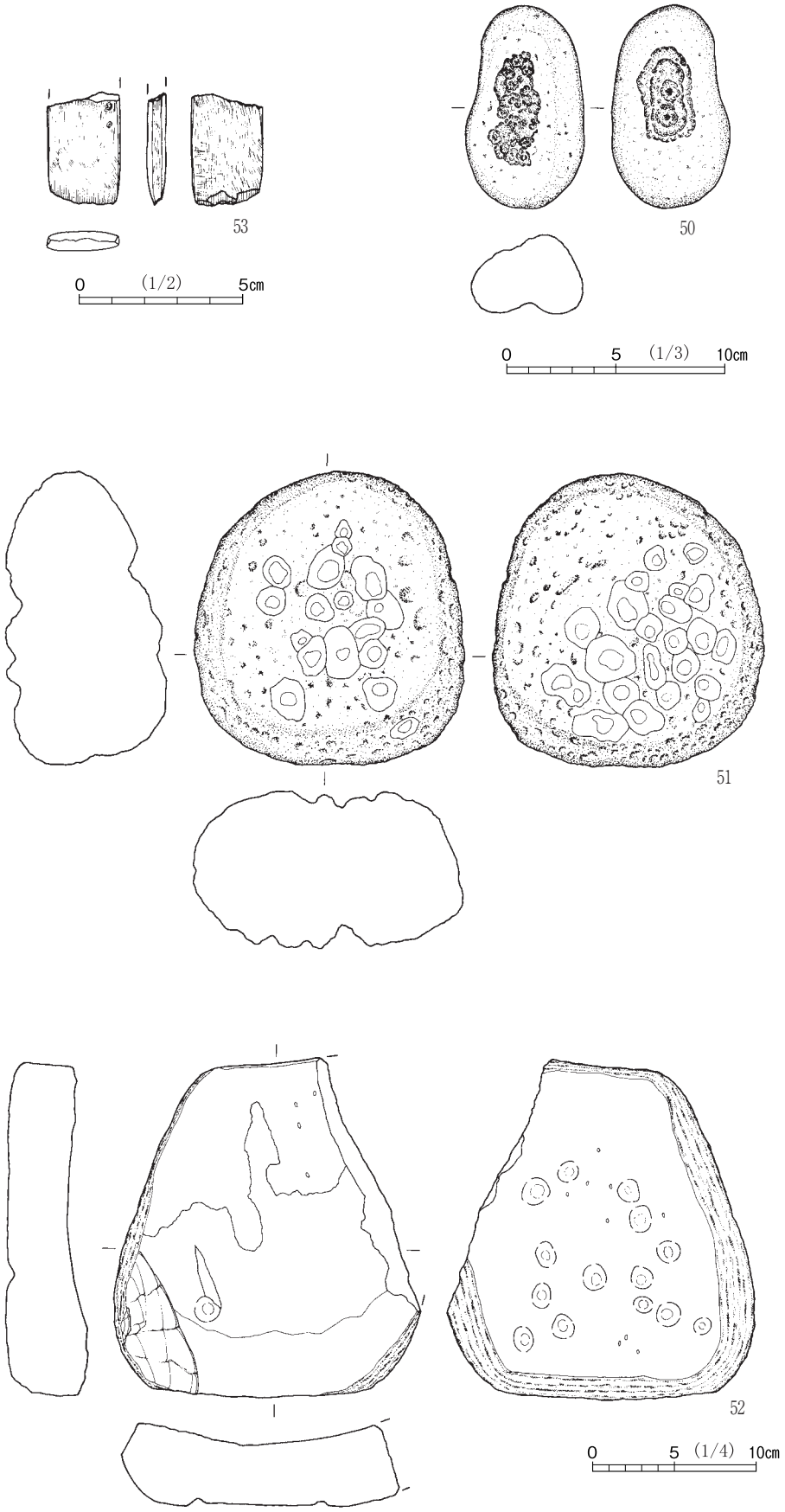
No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.60	焙烙	口縁部～底部の小片 一括	口:　－ 底:　－ 高:　－	①雲母・チャート ②弱還元 / 良好　外面に薄い煤付着 ③灰黄褐色 / にぶい黄橙色	底部型作り成形。口縁部内外面撫で。

第57表　As－B下出土遺物観察表

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
1 PL.60	灰釉陶器 瓶	胴部下端～底部残存 １区東部	口:　－ 底: 15.6 高:　－	①黒色粒 ②還元 / 良好 ③灰黄色 / 灰黄色	底部内外面にも釉。



第72図　遺構外出土遺物実測図①



第73図　遺構外出土遺物実測図②

（５）遺構外出土遺物（第72～74図、第58・59表、PL.61・62）

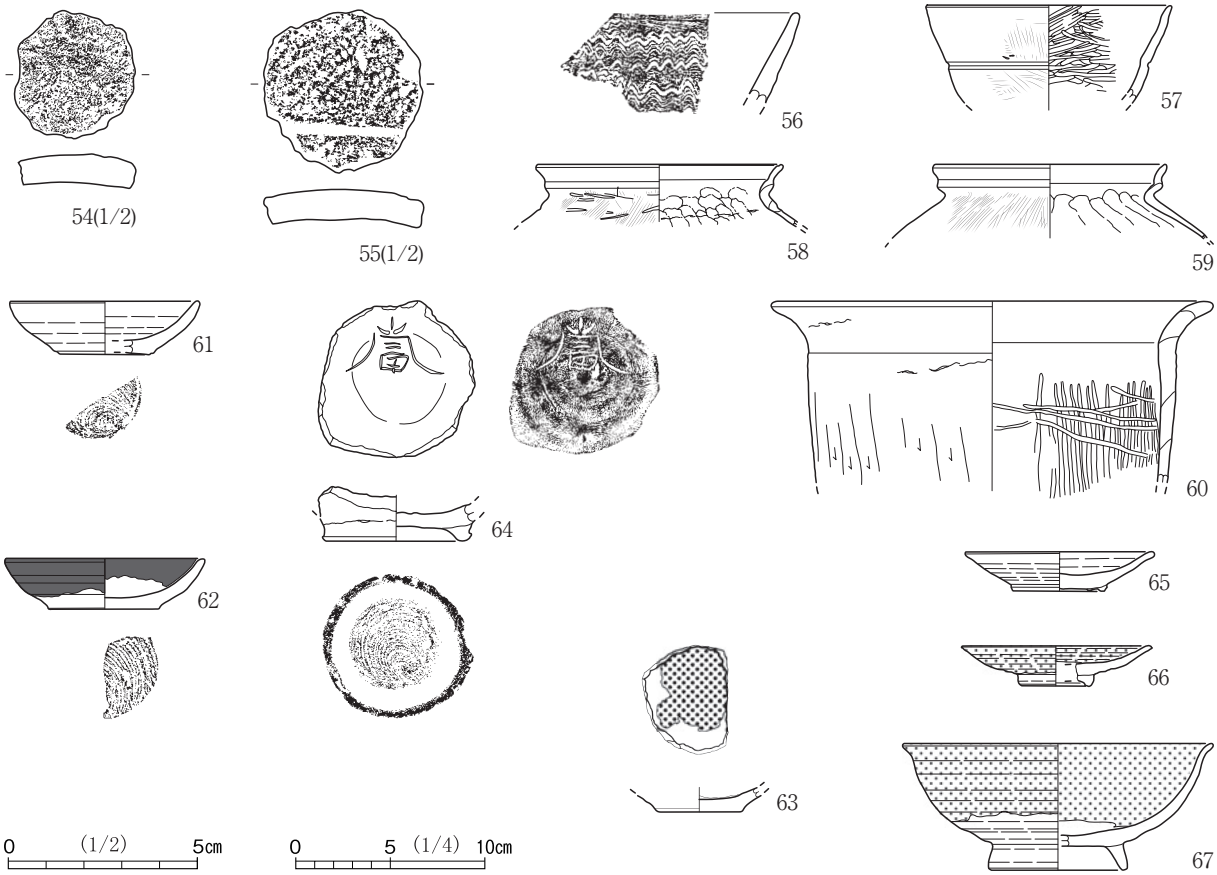
縄文時代　１～45は縄文土器である。土器破片が示す時期・型式の幅は、上限が前期後葉の諸磯a式、下限が晩期中葉の佐野Ⅱ式にまで及ぶ。比較的多数を占めるのは、晩期中葉の佐野Ⅱ式である。内容の大半は包含層出土遺物のそれと重複するが、少量ながら前期後葉などの土器を含み、時期幅が古い方へ広がる。縄文時代の当該地近辺については、後期中葉と晩期中葉の２盛期をもって土地利用が行われていたほか、それ以前にも断続的ながら生活の場とされた可能性がある。なお、挿図での遺物掲載にあたり、包含層出土遺物にない時期の土器破片が優先されていることを付記しておく。46～53は縄文時代の石器である。54・55は縄文土器片を加工した土製円盤である。

弥生時代　56は弥生土器の甕口縁部である。

古墳時代　57～59は古式土師器である。57は小型丸底土器、58・59は台付甕の口頸部である。58は刷毛目を施す前の箆削りが明瞭に残る。古式土師器の破片は台付甕を主体として比較的多く出土している。60は３区で出土した古墳時代の土師器甑であり、28号住居跡に帰属する可能性がある。

平安時代　61～64は古代の須恵器である。61・62は３区で出土した須恵器皿で、ともに未還元焼成である。62は灯明皿として使用されている。63は２区で出土した須恵器坏である。内面に鉄滓状の付着物があり、製鉄に関連した取瓶として利用されたと考えられる。３区34号住居跡で出土した鉄滓との関連が窺われる。64は３区で出土した須恵器埦で、口縁部から体部は打ち欠かれている。底部の内面に焼成前の刻書があり、「当」の篆書体である「當」と判読される※。65～67は３区で出土した灰釉陶器である。65は無釉の皿である。

※財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 高島英之氏の御教示による。



第74図　遺構外出土遺物実測図③

第58表　遺構外出土遺物観察表①

No. PL.	出土 位置	時　期 型　式	器　種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
1 PL.61	16住	前期後葉 諸磯ａ式	深鉢	口～胴	顕著に外反する口縁。櫛歯状工具による直線文と波状文。単位部分では、竹管状工具による円形刺突文が縦に並ぶ。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
2 PL.61	12住	前期後葉 諸磯ａ式	深鉢	口～胴	Ｃ字状の連続爪形文。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･片岩・砂礫	
3 PL.61	18住	前期後葉 諸磯ｂ式	深鉢	口～胴	キャリパー形の深鉢。顕著に張り出し、上にいくにつれ内彎する口縁。斜め方向の鋭いキザミを伴う浮線文。地文に単節縄文ＲＬ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
4 PL.61	13住	前期後葉 諸磯ｂ式	深鉢	胴部	Ｃ字状の連続爪形文。竹管状工具による円形刺突文。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
5 PL.61	18住	前期後葉 諸磯ａ式	深鉢	胴部	Ｃ字状の連続爪形文。意匠は木の葉状文か。	褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
6 PL.61	６溝	前期後葉 諸磯ｂ式	深鉢	底部付近	斜め方向のキザミもしくは短沈線を伴う平行沈線。	明黄褐色	白色粒・赤色粒	
7 PL.61	18住	前期後葉 諸磯ｂ式	深鉢	胴部	半裁竹管状工具によるまばらな波状文。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・雲母・砂礫	
8 PL.61	９溝	前期後葉 諸磯ｃ式	深鉢	口～胴	口唇部に押捺。櫛歯状工具による横位の集合沈線。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
9 PL.61	９溝	前期後葉 諸磯ｃ式	深鉢	胴部	櫛歯状工具による縦位または斜位の集合沈線。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
10 PL.61	18住	前期後葉 ～中期前葉 諸磯ｃ式 ～五領ヶ台式	深鉢	胴部	単節縄文ＬＲ。自縄結節縄文の手法による横位の結節文（Ｚ型）。	にぶい黄褐色	白色粒・長石・砂礫	
11 PL.61	６溝	中期前葉 五領ヶ台式	深鉢	胴部	半裁竹管状工具による矢羽状の集合沈線。	明褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
12 PL.61	15住	中期前葉 五領ヶ台Ⅱ式	浅鉢	口縁部	直線的に大きく開く器形。口縁部内面がわずかに肥厚し、その部位に押引文が施されている。	にぶい黄橙色	白色粒・片岩・砂礫	
13 PL.61	27住	中期中葉 阿玉台Ｉｂ ～Ⅱ式	深鉢	口縁部	断面角頭状に近く、外面が若干肥厚する口唇部。口唇部直下に２列１組の押引文。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･片岩・雲母・砂礫	
14 PL.61	６溝	中期中葉 阿玉台Ｉｂ ～Ⅱ式	深鉢	口縁部	隆帯を用いた楕円形区画により、口縁部文様帯が構成される。楕円形区画に沿って押引文。単位部分にキザミを伴う縦長の貼付文。	にぶい黄褐色	角閃石・片岩・雲母・石英・砂礫	
15 PL.61	14住	中期中葉 阿玉台Ｉｂ ～Ⅱ式	深鉢	口縁部	隆帯を用いた楕円形区画により、口縁部文様帯が構成される。楕円形区画に沿って押引文。	にぶい黄褐色	角閃石・片岩・雲母・砂礫	
16 PL.61	18住	中期中葉 阿玉台Ⅱ ～Ⅲ式	深鉢	口縁部	複数列の押引文が充填された口縁部文様帯。	橙色	白色粒･角閃石･片岩・雲母・砂礫	
17 PL.61	15住	中期中葉 勝坂２式	深鉢	胴部	隆帯の両脇に幅広の連続爪形文が施されている。	にぶい赤褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
18 PL.61	15住	中期後葉 曾利Ⅲ～Ⅳ式	深鉢	胴部	２～３本の隆帯によって文様が縦横に区画される。区画内には縦位の矢羽状沈線文（綾杉文）が施されている。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
19 PL.61	15住	中期中葉 新巻類型	深鉢	胴部	隆帯に沿って複数の沈線が施されている。沈線の随所に、三叉文を想起させるような刺突が伴う。	明赤褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・石英・砂礫	
20 PL.61	１区	中期中葉 焼町類型	深鉢	胴部	半裁竹管状工具による半肉彫状の平行沈線。平行沈線の間に、４列ほどの細かな刺突が充填されている。	橙色	白色粒･角閃石･砂礫	
21 PL.61	18住	中期後葉 加曾利Ｅ1 ～Ｅ2式併行	深鉢	口縁部	キャリパー形の深鉢。顕著に張り出し、上にいくにつれ内彎する口縁。口唇部直下に横位沈線１条。口縁部文様帯を構成する左下がりの隆帯。	黒褐色	白色粒･角閃石･砂礫	
22 PL.61	２区	中期後葉 連弧文系	深鉢	胴部	太く浅い弧線文。地文は撚糸文（Ｒ）。	にぶい褐色	白色粒・砂礫	
23 PL.61	13溝	中期後葉 加曾利Ｅ3 ～Ｅ4式併行	有孔鍔付土器	口縁部付近	隆帯が外に張り出す。	橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
24 PL.61	６溝	後期初頭 称名寺１式	深鉢	口縁部	口唇部直下に円形の刺突が１列めぐる。その下は縄文帯。縄文の種類は、単節のＬＲ。	橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	

No. PL.	出土 位置	時　期 型　式	器　種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
25 PL.61	19住	後期初頭 称名寺１式	深鉢	胴部	おおむね等間隔に施される曲線状の沈線文により、縄文帯と無文帯が表現されている。縄文の種類は、単節のＲＬ。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
26 PL.61	15住	後期初頭 称名寺２式	深鉢	胴部	２本１組の沈線の間に施されたものとみられる列点文。列点文は退嬰化して長くなり、むしろ短沈線と呼ぶべき様相を呈する。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・長石・砂礫	
27 PL.61	22住	後期初頭 称名寺式期	深鉢	口縁部	おおむね垂直に立ち上がる口縁。横位隆帯１本。胴部の曲線文の詳細は不明。縄文の有無も磨耗により不明。	明黄褐色	白色粒・長石・砂礫	
28 PL.61	29住	後期初頭 称名寺式期	深鉢	口縁部	おおむね垂直に立ち上がる口縁。押捺を伴う横位の隆帯。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
29 PL.61	３住	後期前葉 堀之内１式	深鉢	口縁部	ゆるやかに外反する口縁。口唇部直下に横位沈線１条。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
30 PL.61	19住	後期前葉 堀之内１式	深鉢	口縁部	口唇部直下に横位沈線１条。その下は櫛歯状工具による縦位の条線。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
31 PL.61	３区	後期前葉 堀之内２式	深鉢	口縁部	口縁に向けてわずかに外反しながら開く器形。単節縄文ＬＲ、横位沈線。口唇部直下の内面に横位沈線１条。	黒褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
32 PL.61	15住	後期前葉 堀之内２式	深鉢	口縁部	口縁に向けてわずかに外反しながら開く器形。口唇部直下に横位の鎖状隆線１本、単位部分に８の字状貼付文。口唇部直下の内面に横位沈線１条。	黄灰色	白色粒･角閃石･砂礫	
33 PL.61	15住	後期前葉 堀之内２式	深鉢	胴部	多条化した縦位の弧線文。	にぶい橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
34 PL.61	15住	後期中葉 加曾利 B1 式	深鉢	口～胴	わずかに内彎する口縁に左下がりの鋭いキザミを伴う隆帯。胴部上位に間隔の狭い平行沈線文、その範囲内に単節縄文ＬＲ。	暗灰黄色	白色粒･赤色粒･角閃石	
35 PL.61	15住	後期中葉 加曾利 B1 式	浅鉢	口～胴	全体として大きく開き、口縁のみ内彎する器形。口唇部は細かく波打つ。胴部上位に間隔の狭い平行沈線文、その範囲内に単節縄文ＬＲ。平行沈線文の直上に円孔。口縁部内面には、凹点と横位沈線複数による加飾あり。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石	
36 PL.61	３住	後期中葉 加曾利 B1 式	注口土器	口～胴	把手周辺の部位。把手は環状を呈する。胴部に平行沈線を用いた曲線文。	暗灰黄色	白色粒・赤色粒	
37 PL.61	２溝	後期中葉 加曾利 B2 式	鉢	胴部	そろばん玉状に肩が張る器形。肩に横位沈線で上端を区切られた縄文、単位部分に凹点。凹点を起点とし、直上に縦位沈線と弧線文。縄文の種類は、単節のＬＲ。	灰黄褐色	白色粒･角閃石･砂礫	
38 PL.61	３住	晩期前葉 安行 3b 式	深鉢	口縁部	波状口縁の波頂部。口縁がわずかに開く器形。縦長で上下２つに分かれる豚鼻状貼付文。口縁に沿うように沈線２条。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･砂礫	
39 PL.61	３住	晩期前葉 安行 3b 式	深鉢	口～胴	口縁に向けてわずかに開く器形。口縁部においてわずかに屈曲する。口縁部に横位沈線１条によって区切られた縄文帯。縄文の種類は無節のＬ。胴部無文。口縁部内面がやや肥厚し、前記の屈曲と合わせ、２つの段をなす。	灰黄褐色	白色粒･赤色粒･砂礫	
40 PL.61	１溝	晩期前葉 大洞 BC 式 併行	深鉢または甕	胴部	網目状撚糸文（Ｒ）。	にぶい黄橙色	白色粒･赤色粒･角閃石・片岩・砂礫	
41 PL.61	３住	晩期前葉 安行 3b 式 併行	深鉢	口縁部	波状口縁の波頂部。弧線を最小単位とする文様が認められるが、残存状態が悪く詳細は不明。	にぶい黄橙色	白色粒･角閃石･砂礫	
42 PL.61	２溝	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 （甕）	口縁部	わずかに外反する口縁。口唇部に加飾。単位部分に小突起。無節縄文Ｌ。口唇部直下の内面に太くて浅い横位沈線２条。	にぶい褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
43 PL.61	６住	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 （甕）	口縁部	わずかに外反する口縁。単節縄文ＬＲ。口唇部直下の内面に横位沈線１条。	にぶい赤褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
44 PL.61	６溝	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 （甕）	口縁部	わずかに外反する口縁。単位部分に突起。口唇部直下の内面に横位沈線１条。	にぶい赤褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
45 PL.61	１住	晩期中葉 佐野Ⅱ式	深鉢 （甕）	口縁部	口唇部にキザミあり。外面は粗い整形が施されるのみで、畝状の細かな隆起が認められる。	にぶい黄褐色	白色粒･赤色粒･角閃石・砂礫	
46 PL.61	２溝		打製 石斧	完形	短冊形。全体に磨耗痕が顕著。重さ 52.9g。		頁岩	長:　7.7 幅:　4.4 厚:　1.3
47 PL.61	32住		打製 石斧	完形	分銅形。全体に磨耗痕が顕著。刃部周辺は刃部を再生したと考えられる偏刃が見られる。自然面残存。重さ 173.9g。		黒色安山岩	長: 10.4 幅:　6.9 厚:　2.1

No. PL.	出土 位置	時　期 型　式	器　種	残存部位	器形・文様などの特徴	色　調	胎　土	計測値 (cm)
48 PL.62	12住		打製 石斧	完形	分銅形。基部周辺には調整痕と考えられる敲打痕が顕著。全体に磨耗痕が見られる。刃部周辺にはリダクションと考えられる剥離が一部見られる。重さ 344.8g。		頁岩	長: 13.9 幅: 7.1 厚: 3.1
49 PL.62	５住		スクレイパー		礫皮を持つ薄型の横長剥片を素材とし、周縁部に両面調整を施し刃部とする。刃部周辺には光沢を帯びる磨耗痕が顕著。 重さ 53.7g。		安山岩	長: 4.0 幅: 12.2 厚: 1.2
50 PL.62	38住		凹石		長楕円形。表・裏面に凹穴。凹穴は小さな敲打が集中して形成されている。磨耗痕はみられない。 重さ 225.7g。		安山岩	長: 9.4 幅: 5.5 厚: 3.6
51 PL.62	32住		多孔石		表・裏面に多数の孔（凹穴）がみられる。表 17、裏 22 穴。磨耗痕はほとんどみられない。 重さ 3200g。		安山岩	長: 18.0 幅: 16.7 厚: 9.9
52 PL.62	２住		石皿・ 多孔石		表面中央には浅い擂鉢上の磨耗面がみられるが、その上下は磨面が剥がれている。裏面は概ね平滑な磨耗面がみられ、その中央付近に円形状の凹み穴が多数ある。裏面の大半が煤によりやや黒く変色している。重さ 3350g。		緑色岩類	長: 21.1 幅: 18.8 厚: 5.1
53 PL.62	32住		石製品 （磨製 石斧）	上半部 欠損	敲打による調整後、研磨による調整。研磨は縦・横・斜位に行われる。刃部周辺には刃こぼれ（裏面）や、磨耗痕（両面）がみられる。重さ 8.8g。		蛇紋岩	長: 3.5 幅: 2.2 厚: 8.8
54 PL.62	18住	後・晩期	土製 円盤	完形	深鉢の胴部破片を用いたもの。安行3b式前後。横位沈線によって区画された縄文帯。縄文種類は単節の LR。	明赤褐色	雲母・角閃石	長: 3.3 短: 3.0
55 PL.62	18住	後・晩期	土製 円盤	完形	深鉢の胴部破片を用いたもの。残存範囲において無文。	橙色	石英・白色パミス	長: 4.1 短: 4.1

第59表　遺構外出土遺物観察表②

No. PL.	種 別 器 種	残存状況 出土位置	計測値 (cm)	①胎土　②焼成 ③色調（外面／内面）	成・整 形 の 特 徴 等
56 PL.62	弥生土器 甕	口縁部小片 41 住	口: － 底: － 高: －	①石英・角閃石 ②酸化 / 良好 ③浅黄橙色 / にぶい黄橙色	口縁部横撫で後に外面波状文。
57 PL.62	土師器 小型丸底 壺	口縁部～胴部 1/8 残存 29 住	口:(13.0) 底: － 高: －	①雲母・チャート ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部刷毛目後に凹線。 内面:口縁部横撫で後に口縁部～胴部磨き。
58 PL.62	土師器 台付甕	口縁部～胴部 1/4 残存 37 住	口:(13.0) 底: － 高: －	①雲母 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	外面:口縁部横撫で。胴部箆削り後刷毛目。 内面:口縁部横撫で。頸部指頭痕。口唇部直下に弱い凹線。
59 PL.62	土師器 台付甕	口縁部～胴部 1/4 残存 29 住	口:(12.4) 底: － 高: －	①雲母・チャート ②酸化 / 良好　口縁部外面に煤付着 ③にぶい黄橙色 / にぶい黄橙色	外面:口縁部横撫で。胴部箆削り後刷毛目。 内面:口縁部横撫で。胴部指撫で。
60 PL.62	土師器 甑	口縁部～胴部 1/4 残存 ３区	口:(23.2) 底: － 高: －	①雲母・チャート・石英 ②酸化 / 良好 ③明黄褐色 / 明黄褐色	外面:口縁部横撫でだが摩滅。胴部箆削り。 内面:口縁部横撫でだが摩滅。内面磨き。
61 PL.62	須恵器 皿	1/4 残存 ３区	口: (9.8) 底: (4.8) 高: (2.8)	①角閃石・チャート・白色粒 ②弱還元 / 良好 ③黄灰色 / にぶい黄色	底部右回転糸切り。
62 PL.62	須恵器 皿	1/3 残存 ３区	口:(10.6) 底: (5.8) 高: (2.7)	①雲母・チャート・白色パミス・赤褐色粒 ②酸化 / 良好 ③橙色 / 橙色	底部右回転糸切り。
63 PL.62	須恵器 坏	底部 2/3 残存 15 住	口: － 底: (4.6) 高: －	①石英・チャート ②弱還元 / 普通 ③灰色 / 浅黄色	底部左回転糸切り。内面に鉄滓付着(取瓶に転用か)。
64 PL.62	須恵器 埦	口縁部欠損 ３区	口: － 底: (7.8) 高: －	①石英・チャート・白色粒 ②弱還元 / 良好 ③灰白色 / 灰色	底部右回転糸切り。見込みに焼成前刻書「當」。
65 PL.62	灰釉陶器 皿	1/2 残存 ３区	口: (9.8) 底: (4.8) 高: 2.1	①チャート ②還元 / 良好　無釉 ③灰白色 / 灰白色	
66 PL.62	灰釉陶器 皿	1/4 残存 ３区	口: (9.8) 底: (3.6) 高: (2.1)	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	
67 PL.62	灰釉陶器 埦	1/2 残存 ３区	口:(16.4) 底: (7.4) 高: 6.7	①白色粒 ②還元 / 良好 ③灰白色 / 灰白色	

（６）高梨子森下遺跡18号住居跡にみられる貯蔵穴脇の石敷について

18号住居跡は古墳時代中期の竪穴住居跡である。規模は8.65ｍ×8.10ｍを測り、本遺跡で最大である。東壁の北寄りに構築されたカマドは、本遺跡で最も古いカマドである。住居壁は東西南北方向に沿っている。南東隅には1.3ｍ×1.2ｍの隅丸方形を呈する土坑があり、貯蔵穴と考えられる。深さ74㎝である。貯蔵穴の西脇には、床面直上の120㎝×75㎝の範囲内に小石が敷き詰められていた。さらにカマドの左手前には、88㎝×75㎝の楕円形を呈する小土坑があり、深さ18㎝の底面には、貯蔵穴脇と同種の小石が敷き詰められていた。ここでは貯蔵穴脇の石敷について、類例の集成が不十分であるが、簡単な比較･検討を行う（第75図）。

①東京都日野市平山遺跡第４号住居址　5.4ｍ×5.2ｍ規模の住居南西隅に、短辺90㎝、深さ40㎝の貯蔵穴があり、貯蔵穴の東脇に40×80㎝の範囲に小砂利が分布する。主柱穴を結ぶ線上の床下にＬ字状の集石がある。時期は古墳時代前期である。

②埼玉県本庄市九反田遺跡１号住居跡　溝を挟んで存在する二つの住居群の一方に属し、住居群における最大の住居である。時期は古墳時代中期である。住居は7.09ｍ×7.49ｍの隅丸方形を呈し、軸は東西南北に沿っている。カマドはなく、地床炉が２基ないし３基検出されている。住居の南西隅に、住居壁とは軸方位を違えた貯蔵穴が存在する。貯蔵穴は一辺約1.05ｍの方形を呈し、下部は径72㎝の円筒状を呈する。住居は焼失しており、貯蔵穴上には蓋板とみられる炭化材が検出された。貯蔵穴の東脇に石敷があり、半円形のプランとされている。住居南東部の主柱穴周辺には土製勾玉・土製管玉が２か所にまとまって出土している。

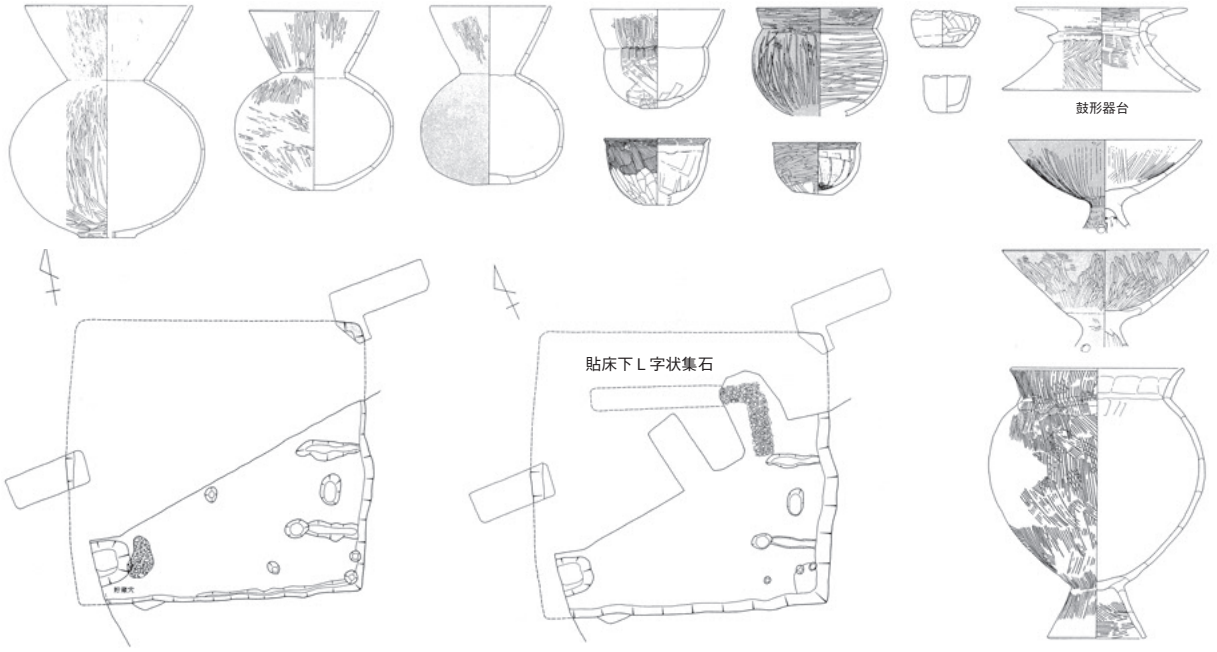
②の事例は、大型住居であることや貯蔵穴の形状･規模、石敷の形状などに18号住居跡との共通点が多い。貯蔵穴の位置に南西・南東の違いがあるが、住居の出入り口を南壁中央に想定すれば、出入り口側に石敷を設ける点ではその違いも解消される。主要な差異は、②はカマドがなく、炉をもつことである。②は高坏や坩の特徴から５世紀前半と考えられる。本遺跡18号住居跡は坩が欠落し、埦が１点だけ出土しており、②に後出する、５世紀後半でも古い段階に位置づけられる。カマドの有無は時期的な差と捉えられる。安中市域で最古段階のカマドと位置づけられる18号住居跡が、他地域の遺跡と酷似する特殊な貯蔵穴を有することは、当地域へのカマド導入期における地域間関係を検討する好資料となろう。

貯蔵穴が貯水施設であるとする考えに立てば、貯蔵穴脇の石敷は、貯蔵穴内の水に対して清浄な空間を醸成するための施設であった可能性が考えられる。古墳時代の井泉や導水施設に石敷がみられる事例は多く、水に関わる祭祀と石敷との関係性は深い。貯蔵穴脇の石敷と水に関わる祭祀との関連も十分に考えらる。18号住居跡や②の事例は、大型住居跡であることや土製勾玉・管玉の出土を加味すれば、その祭祀的性格がより鮮明になろう。②の石敷を仔細にみれば、多角形のプランとも考えられ、これは三ッ寺Ⅰ遺跡における豪族居館内の石敷遺構との類似が指摘される。石敷のプランは、水に関わる祭祀のあり方を探る重要な要素になると考えられる。石敷の精緻なプラン検出が求められるところである。

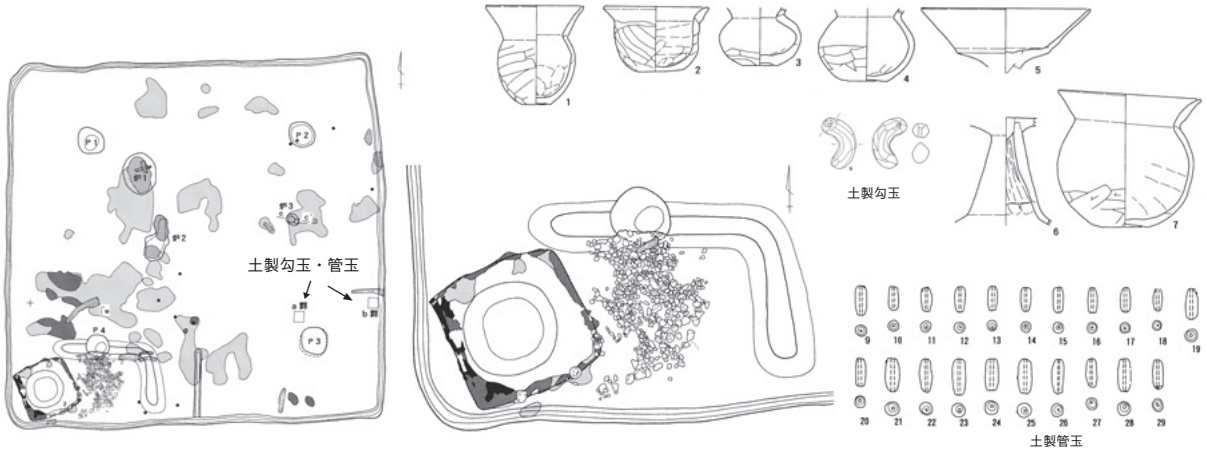
①のような古墳時代前期の事例は東京、埼玉地域に比較的多いとされるが、壇状になるなどの違いから、古墳時代中期の事例と同列に扱ってよいか判断できなかった。貯蔵穴脇の石敷について、現状では、古墳時代中期の大型住居にみられる、水の祭祀に関わる施設と位置づけておきたい。なお、18号住居跡でみられたカマド前の小土坑の石敷とカマドの関係については、今回は検討できておらず、今後の課題としたい。

参考文献

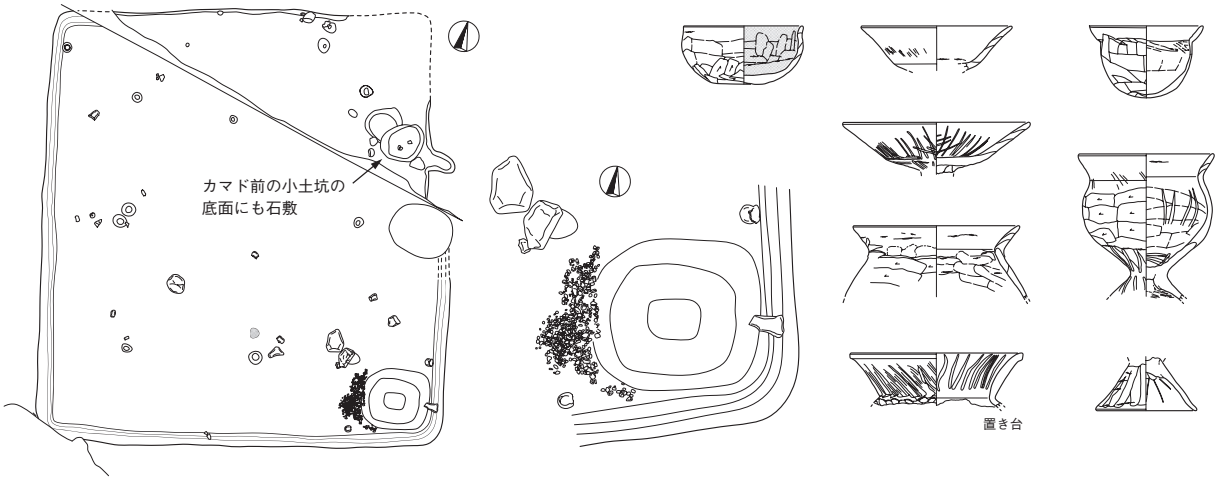
清野　利明他 1986『平山遺跡－第13次調査』日野市遺跡調査会
下条　　正他 1988『三ッ寺Ⅰ遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
小倉　　均　1990「弥生時代から古墳時代にかけてみられる祭壇状遺構の研究」『埼玉考古 第27号』埼玉考古学会
松本　　完　2004『九反田（Ⅲ次調査）・観音塚（Ⅲ次調査）』本庄市教育委員会



日野市平山遺跡第４号住居址



本庄市九反田遺跡１号住居跡



安中市高梨子森下遺跡18号住居跡

第75図　石敷を伴う貯蔵穴（住居1／150、貯蔵穴1／60、遺物1／8）

（７）高梨子森下遺跡19号住居跡出土の黒色土器について

19号住居跡の土師器坏（１）は、南壁に構築されたカマドの左脇から出土した古墳時代後期の坏である。口径12.2㎝、器高4.5㎝で丸底を呈する。内面の口縁部と体部を画す明瞭な段差と黒色処理を最大の特徴とし、黄橙色を呈する精良な胎土や内面横方向の磨きなど、県内の同時期の土師器坏とは大きく異なっている。類似する坏は、安中市吹上遺跡でも出土しており、従来より「善光寺平形坏」ないし「北信系黒色土器」と称されてきた土器である。この土器については、先学により以下の３点が指摘されている。①長野県北部の善光寺平を故地とする。②群馬県内の出土例は鏑川流域が多い。③時期は６世紀後半である。ここでは類例の集成と簡単な整理を行いたい。なお名称は「北信系黒色土器」を用いる。

上記の特徴を手掛かりとして、県内では13遺跡23点の事例が認められた（第76図）。これらを長野市榎田遺跡における坏形土器の分類（Ａ～Ｇ類）にあてはめると、Ｃ類ないしＥ類に相当する。Ｃ類はさらにＣ₁類～Ｃ₃類に細分される。Ｃ₁類は器高に対する口径比が2.6～3.1を示し、Ｃ₂類より深身である。底部は丸底を呈し、口縁部は外傾する。法量に大小の二種がある。Ｃ₂類は器高４㎝前後、口径14～16㎝と規格的である。器高に対する口径比が3.4～4.0を示し、Ｃ₁類より偏平である。底部は平底に近く、口縁端部は内湾気味である。Ｃ₃類は埦に近い形状で、器高に対する口径比は2.0～2.1を示すが、類例は少ない。Ｅ類は須恵器高坏の坏部を模倣したものである。底部は緩やかな丸底を呈し、口縁部は外反する。

県内の北信系黒色土器には、ＴＫ43型式併行とみられる須恵器坏身を伴う事例が３例あり（５・６①・７③）、口径比などから５、６①、７③の順に新相を示している。また共伴する土師器模倣坏の形状とあわせると、Ｃ₁類からＣ₂類への時間的推移が想定される。Ｃ₁類からＣ₂類への器形な変化は、口縁部の内湾指向、底部の平底化に伴う内面段差位置の低下が指標となる。一ノ宮本宿・郷土例（６）はその中間的な形態と位置づけられる。Ｅ類は須恵器の共伴例がないが、土師器模倣坏の形態からＣ₂類と同時期の所産と考えられる。

ところでＣ₂類とＥ類の分布には大きな差異がみられる。Ｃ₂類は井野川上流域、Ｅ類は鏑川流域に分布している。Ｅ類の綿貫堀米前Ⅱ例（10）は例外的に井野川下流域であるが、鏑川ルートの影響の可能性も考えられる。

本遺跡例は北信地域からの土器の移動を物語る資料である。安中市吹上遺跡例（４）とともに、６世紀後半の比較的早い段階に碓井川・九十九川流域でみられることは、西毛地域のなかで最も長野県に近い立地から当然ともいえる。本遺跡例と吹上遺跡例とは、同一工人の手によると思われるほどに似ており、搬入品と考えられる。北信地域からの土器の搬入の背景に何があったのか、またＣ₂類とＥ類の段階において、西毛地域を二分するような分布の違いが、当時の政治的・経済的な情勢とどのように結びついているのか、今後検討を要する課題である。

参考文献

前原　　豊他 1978『Ｆ１竹沼遺跡』藤岡市教育委員会
田辺　昭三　1981『須恵器大成』角川書店
今井　幹夫他 1981『本宿・郷土遺跡』富岡市文化財保護協会
五十嵐　至　1983『中林遺跡調査概報』群馬町教育委員会
茂木　由行　1986『入野遺跡Ⅲ』吉井町教育委員会
田口　一郎　1988『海行Ａ・Ｂ遺跡』箕郷町教育委員会
田中　広明　1989「上毛野・北武蔵の古墳時代後期の土器生産－土器生産の転換と在地首長制－」『東国土器研究 第２号』東国土器研究会
外山　政子他 1990『三ッ寺Ⅱ遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
大工原　豊他 1991『新寺地区遺跡群』安中市教育委員会
古郡　正志他 1994『Ｆ12藤岡平地区遺跡群』藤岡市教育委員会
伊藤　　肇他 1994『南蛇井増光寺遺跡Ⅲ』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
千田　茂雄　1995『荒神平・吹上遺跡』安中市教育委員会
徳江　秀夫他 1999『馬場東矢次Ⅱ遺跡・新川鏑木遺跡・井出二子山古墳・保渡田八幡塚古墳』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団他
土屋　　積他 1999『上信越自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書12－長野市内その10－　榎田遺跡』長野県埋蔵文化財センター他
神戸　聖語他 2000『綿貫堀米前Ⅱ遺跡』高崎市遺跡調査会

遺跡番号	遺跡名 遺構名	北信系黒色土器					須恵器
		坏C類			坏E類	高坏ほか	
		C１類	C２類	C３類			
参考資料	長野市 榎田遺跡						
1	安中市 西裏・西新井 ＡＨ－１号住居址						
2	吉井町 入野Ⅲ 36号住居址						
3	高崎市群馬町 中林 36号住居跡						
4	安中市 吹上 Ｈ－25号住居址						
5	安中市松井田町 高梨子森下 19号住居跡						
6 ①	富岡市 一ノ宮本宿・郷土 ＧＤ９号南北溝						
6 ②	富岡市 一ノ宮本宿・郷土 ＧＤ44号住居跡						
7 ①	高崎市箕郷町 海行Ａ ＳＢ15						
7 ②	高崎市箕郷町 海行Ａ ＳＢ19						
7 ③	高崎市箕郷町 海行Ａ ＳＢ29						
8	高崎市群馬町 三ツ寺Ⅱ ２区４号住居跡						
9	高崎市群馬町 井出二子山古墳						
10	高崎市 綿貫堀米前Ⅱ ９号住居跡						
11	富岡市 南蛇井増光寺 163号住居跡						
12	藤岡市 竹沼 ＥＨ－１号住居址						
13	藤岡市 藤岡平地区 Ｈ－17号住居址					0 1/8 20cm	

第76図　群馬県における古墳時代後期の北信系黒色土器

高梨子森下遺跡４区
（平成18年度調査）

第77図　高梨子森下遺跡１区・２区・４区　全体図

1　高梨子森下遺跡４区（平成18年度調査）

⑴　概　　要

①　古墳時代

18年度調査において確認された遺構は、住居跡23軒・掘立柱建物跡２基・柵列２基・土坑６基・溝１条等である。これらの遺構のうち４号住居跡・11号住居跡・13号住居跡・14号住居跡・18号住居跡・19号住居跡については、その大部分を17年度に調査している。よって前記の６軒の平面図・断面図、４号住居跡・11号住居跡・14号住居跡の記述については17年度調査分に記載している。また、土坑・ピットの大部分は出土遺物がないため、古墳時代の所産と断定することはできない。しかし、覆土から古墳時代の可能性が高いと判断したため、ここで扱うこととする。

②　平安時代

18年度調査において確認された遺構は、住居跡７軒・土坑１基・溝３条等である。これらの遺構のうち７号住居跡については、その大部分を17年度に調査しているため、図面・遺構の記述等は17年度調査分に記載している。また、遺構番号については基本的に17年度調査時のものを踏襲したが、同一遺構で番号が異なる場合は、その都度文中に記した。

⑵　古墳時代

①　住居跡

13号住居跡（第33・46・115図、第19・67表、PL.15・16・47・48・64・94）

位置　調査区西寄り、集落範囲の西端部に位置し、後出する54号住居跡・12号溝と重複する。南半を17年度に、北半を18年度に調査を行った。　**形状・特徴**　主軸はＮ―18°―Ｅ、東西5.21×南北5.18×深さ0.41ｍのほぼ正方形を呈する。カマド左手に平面円形の土坑が確認されており、貯蔵穴の可能性が高い。壁周溝が全周する。　**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。また、覆土中に自然礫が多数混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　北壁の東寄りに付設されている。長さ124×幅50×深さ52㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、急角度に煙道を築いている。　**遺物**　住居全体から、多くの遺物が出土している。　**時期**　６世紀後半と考えられる。

18号住居跡（第35・36・48・116図、第21・68表、PL.18・19・49・65）

位置　調査区中央南端に位置し、23号住居跡・24号住居跡・70号住居跡・72号住居跡と重複する。いずれの住居跡より本遺構が旧い。ただし、70号住居跡を除く３軒の住居跡より、本遺構の掘り込みが深いため、およその形状は確認できた。　**形状・特徴**　主軸はＮ―71°―Ｅ、東西8.10×南北8.65×深さ0.32ｍのほぼ正方形を呈する。南東コーナーの土坑西床面と、カマド前で確認された土坑底部では、指頭大の礫を敷きつめている様子が看取できた。　**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。　**カマド**　東壁の北寄りに付設されている。後出する住居に壊されており詳細は不明。　**遺物**　一定量の遺物が出土している。　**時期**　５世紀後半と考えられる。

19号住居跡（第32・48図、第22表、PL.20・21・49）

位置　調査区東寄りに位置し、14号住居跡・９号溝・13号溝と重複する。本住居跡がいずれの遺構より

旧い。17年度・18年度で南西部分の半分程度を調査したと推定される。北東部分は後出する13号溝により大きく壊されている。　**形状・特徴**　前述の理由により全体規模・形状は不明。主軸はN―133°―W、東西5.15×深さ0.26mを測る。確認部分においては壁周溝が巡る。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。**カマド**　南西壁の西寄りに付設されている。　**遺物**　一定量の遺物が出土している。　**時期**　6世紀後半と考えられる。

20号住居跡（第47・78・117図、第23・60・69表、PL.49・66・94）

位置　調査区中央南寄りに位置し、7号住居跡・11～13号溝と重複する。いずれの遺構より本遺構が旧い。　**形状・特徴**　主軸はN―80°―E、東西2.50×南北4.40×深さ0.23mの長方形を呈する。カマド左手に平面楕円形の土坑が確認されており、貯蔵穴の可能性が考えられる。　**覆土**　白色パミスが混入する黒色土・暗褐色土を主体とする。　**カマド**　東壁の南寄りに付設されている。長さ85×幅48×深さ34㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。　**遺物**　住居全体から一定量の遺物が出土している。　**時期**　7世紀前半と考えられる。

23号住居跡（第79図、第60表、PL.67）

位置　調査区中央南端に位置する。18号住居跡・24号住居跡・72号住居跡と重複し、本遺構が24号住居跡・72号住居跡より旧く、18号住居跡より新しい。17年度に南半を、18年度に北半を調査した。　**形状・特徴**　主軸はN―4°―W、東西2.70×南北3.20×深さ0.25mを測る。主柱穴・貯蔵穴は不明。壁周溝は確認されていない。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　北壁の西寄りに付設されている。長さ70×幅32×深さ30㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、急角度に煙道を築いている。東側袖には袖石が残存する。　**遺物**　出土遺物は少量である。　**時期**　出土遺物からの断定は難しいが、重複関係・形状等より古墳時代後期の所産と考えられる。

52号住居跡（第80・118図、第60・70・71表、PL.68・69・94・95）

位置　調査区西端、集落範囲の西端部に位置し、2号掘立柱建物と重複する。同遺構との新旧関係は不明である。　**形状・特徴**　主軸はN―50°―E、東西4.61×南北4.70×深さ0.32mのほぼ正方形を呈する。カマド右手に平面楕円形の貯蔵穴が確認されている。壁周溝は巡らない。　**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。床面付近の覆土には炭化物・焼土が認められ、焼失家屋の可能性が考えられる。また、覆土中に自然礫が多数混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　北東壁の東寄りに付設されている。長さ97×幅42×深さ32㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。焚き口部には鳥居状の石組が構築されていたと考えられる。　**遺物**　住居中央部からカマド・貯蔵穴の位置する東側を中心に、多くの遺物が出土している。　**時期**　5世紀後半と考えられる。

53号住居跡（第81・119・120図、第60・72・73表、PL.70・71・95）

位置　調査区西寄りに位置し、東コーナー付近が66号住居跡と、北コーナー付近が56号住居跡と重複する。いずれの住居跡より本遺構の方が新しい。　**形状・特徴**　主軸はN―47°―E、東西4.82×南北5.18×深さ0.58mを測る。カマド右手に平面楕円形の貯蔵穴が確認されている。壁周溝は巡らない。　**覆土**　白色パミスが混入する黒色土・暗褐色土を主体とする。また、覆土中に自然礫が多数混入しており、住居

廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　北東壁の東寄りに付設されている。長さ110×幅35×深さ28㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。焚き口部の構築材として使用されたと考えられる被熱痕のある安山岩が出土している。　**遺物**　住居全体に多くの遺物が出土している。　**時期**　6世紀後半と考えられる。

55号住居跡（第82・121図、第60・74表、PL.72・96）

位置　調査区西端、集落範囲の西端部に位置している。南東コーナー付近が13号溝と重複する。同溝より本遺構が旧い。南壁付近は試掘時に掘りすぎている。　**形状・特徴**　全体に残存状況は不良である。また、前述のように後出する13号溝、試掘トレンチにより一部が壊されているため、全体の形状・規模については不明である。主軸はN―25°―E（推定）、東西3.34×南北2.70（残存部）×深さ0.12mを測る。カマド右手に平面円形の土坑が確認されている。主柱穴については不明である。　**覆土**　黒褐色土・暗褐色土を主体とする。　**カマド**　北壁の東寄りに焼土が集中する部分が認められ、カマドと判断したが、残存状況が悪く詳細については不明。　**遺物**　住居全体に一定量の遺物が出土している。　**時期**　6世紀後半と考えられる。

56号住居跡（第84・122図、第61・75表、PL.73・96）

位置　調査区西寄りの北端に位置し、南コーナー付近が後出する53号住居跡と重複する。　**形状・特徴**　東西5.77×南北6.00×深さ0.53mを測る。平面形状は西壁より東壁が長い台形状を呈する。また、住居中央付近が不整形に窪んでおり、その底部は平坦であり、著しく硬化している。当初、別遺構の可能性も考えたが、土層断面より住居と同時期の遺構と判断した。壁周溝がほぼ全周する。　**覆土**　白色パミス（As―C）が混入する黒褐色土を主体とする。また、床面付近の覆土には炭化物・焼土が認められ、焼失家屋の可能性が考えられる。　**遺物**　S字状口縁台付甕・小型器台等、一定量の遺物が出土している。　**時期**　4世紀後半と考えられる。

58号住居跡（第85・123・124図、第61・76・77表、PL.74・75・96）

位置　調査区中央北寄りに位置し、南東コーナー付近が後出する61号住居跡と重複する。　**形状・特徴**　主軸はN―76°―W、東西5.96×南北5.85×深さ0.54mを測る。北壁と西壁でカマドが検出されている。北壁のカマドは壁外に煙道部が残存するのみであり、床面に壁周溝が巡ることからも、住居廃絶時には機能していなかったと考えられる。それぞれのカマドの右手に貯蔵穴が確認されている。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。また、覆土中に自然礫が混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。**カマド**　前述のように2基確認されているが、住居廃絶時に機能していたのは西壁のカマドと考えられる。同カマドは西壁のほぼ中央に付設されており、長さ120×幅56×深さ58㎝を測る。燃焼部は壁内に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。　**遺物**　住居全体に多くの遺物が出土している。　**時期**　6世紀後半と考えられる。

59号住居跡（第83・125図、第61・78表、PL.76・97）

位置　調査区中央西寄りに位置する。住居北半が後出する13号溝と、南半がやはり後出する54号住居跡と重複する。ただし、54号住居跡より本住居跡の床面が低いため、南半のプランについては確定できた。

また、北西コーナー付近とカマドの煙道部分が13号溝の北側部分で検出されている。さらに北東コーナー付近は67号住居跡とも重複しているが、いずれの住居跡よりも新しい13号溝に重複部分が壊されている。**形状・特徴**　主軸はN―18°―E、東西4.22×南北4.28×深さ0.38mを測る（推定）。前述のように13号溝北側にカマド煙道部が残存する。また、重複する13号溝の底部で２基のピットが検出されているが、位置より本遺構に伴うものと考えられる。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　前述のように、煙道部分の一部が残存するのみであり詳細は不明。残存部は長さ25×幅20×深さ10cmを測る。　**遺物**　比較的残存状況が良い南半の東寄りに少量の遺物が出土している。　**時期**　６世紀前半と考えられる。

61号住居跡（第86・87・126・127図、第61・62・79・80表、PL.77・97）

位置　調査区中央北寄りに位置し、北西コーナー付近が58号住居跡と重複する。同住居跡より本遺構の方が新しい。　**形状・特徴**　主軸はN―５°―W、東西5.69×南北6.44×深さ0.62mを測る。カマド右手の北東コーナー付近で貯蔵穴が検出されている。壁周溝がほぼ全周する。　**覆土**　白色パミスが混入する黒色土を主体とする。　**カマド**　北壁のほぼ中央に付設されており、長さ130×幅55×深さ60cmを測る。燃焼部は壁際に位置し、比較的緩やかな角度に煙道を築いている。両袖に袖石、燃焼部に支脚石と支脚痕が確認されている。　**遺物**　カマド付近を中心に多くの遺物が出土している。　**時期**　７世紀後半と考えられる。

62号住居跡（第88・128図、第62・81表、PL.78・97）

位置　調査区中央東寄りに位置し、西側が63号住居跡と重複する。同住居跡より本遺構の方が新しい。**形状・特徴**　主軸はN―61°―E、東西3.95×南北3.32×深さ0.20mを測る。カマド右手の南東コーナー付近で貯蔵穴が検出されている。確認面付近まで攪乱が入っており、全体的に残存状況は不良である。北東コーナー付近・南壁付近の一部においては床面まで攪乱が達している。北西コーナー付近で土坑が検出されているが、重複する63号住居跡に帰属する遺構である可能性も考えられる。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　東壁中央南寄りに付設されている。前述のように、攪乱のため残存状況は不良である。袖・煙道の一部が残存するのみであり詳細は不明。残存部は長さ30×幅42×深さ14cmを測る。**遺物**　北寄りに少量の遺物が出土している。　**時期**　出土遺物が少なく断定は難しいが、５世紀後半～６世紀前半と考えられる。

63号住居跡（第89・129図、第62・82表、PL.79・98）

位置　調査区中央東寄りに位置し、東側が後出する62号住居跡と重複する。　**形状・特徴**　平面形態は隅丸方形を呈し、東西4.58×南北4.72×深さ0.15mを測る。62号住居跡の床面が、本遺構のそれより若干低いため、重複する部分のプランは推定である。確認面付近まで攪乱が入っており、全体的に残存状況は不良である。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**遺物**　出土遺物は少量である。　**時期**　４世紀と考えられる。

64号住居跡（第90・91・130図、第62・83表、PL.79・80・98）

位置　調査区中央東寄りに位置し、南西コーナー付近が後出する13号溝と重複する。　**形状・特徴**　主軸はN―１°―E、東西6.43×南北6.90×深さ0.30mを測る。北壁中央付近で２基の煙道状突出部が確認

されている。現地調査時はカマドの作り替え（西→東）と判断したが、西の突出部には焼土・炭化物が殆ど認められず、別遺構が重複している可能性も否定できない。住居廃絶時に機能していたのは、東側のカマドであることは確実である。主柱穴の他に壁際に土坑・ピットが数基検出されているが、北東コーナー付近の土坑が貯蔵穴である考えられる。　**覆土**　白色パミスが混入する黒褐色土を主体とする。また、覆土中に自然礫が混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　住居廃絶時に機能していた北壁東側のカマドは、長さ60×幅68×深さ22cmを測る。燃焼部は壁内に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。　**遺物**　住居全体に多くの遺物が出土している。　**時期**　7世紀前半と考えられる。

65号住居跡（第92・131・132図、第63・84表、PL.81・98）

位置　調査区ほぼ中央に位置する。北壁から北東コーナーにかけて66号住居跡・57号住居跡と重複し、南東コーナーから南壁にかけて69号住居跡・13号溝と重複する。新旧関係は、新しい方から13溝・57号住居跡・本遺構・69号住居跡・66号住居跡の順になると考えられる。　**形状・特徴**　東西5.45×南北5.00×深さ0.62mを測る。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。また、東壁及び床面付近の覆土には炭化物・焼土が認められ、焼失家屋の可能性が考えられる。また、覆土中に自然礫が混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　北壁中央付近に焼土を伴う小突出部が確認されているが、カマドと断定するのは難しい。　**遺物**　住居全体に比較的多くの遺物が出土している。　**時期**　7世紀後半と考えられる。

66号住居跡（第93・133図、第63・85表、PL.81・98）

位置　調査区ほぼ中央に位置する。西コーナー付近で53号住居跡と、東コーナーから南コーナー付近で57号住居跡・65号住居跡と重複する。いずれの住居跡より本遺構が旧い。　**形状・特徴**　後出する3軒の住居跡のため、床面及び壁がL字型に残存するのみであり、詳細については不明。平面形状は一辺5m前後の方形と推定される。残存する壁高は0.33m。残存部においては壁周溝が確認されている。　**覆土**　白色パミスが混入する黒色土を主体とする。　**遺物**　出土遺物は少量である。　**時期**　4世紀と考えられる。

69号住居跡（第95・134図、第63・86表、PL.82・99）

位置　調査区中央南寄りに位置する。北西コーナー付近で後出する65号住居跡と、中央付近でやはり後出する13号溝と重複するため、残存状況は不良である。　**形状・特徴**　残存部分においては東西5.46×南北5.26×深さ0.41mを測る。重複する65号住居跡・13号溝プラン内で、本遺構の主柱穴と考えられる4基のピットが検出されている。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　南東コーナー付近に貯蔵穴と思われる土坑が検出されている。この土坑の位置から推定すると、東壁に付設されていたカマドが、13号溝により壊されている可能性が考えられる。　**遺物**　残存状況が不良であり、出土遺物は比較的少量である。　**時期**　7世紀前半と考えられる。

70号住居跡（第87・135図、第63・87表、PL.83・99）

位置　調査区中央南寄りに位置する。北側1/3程が13号溝と重複し、南壁付近は18号住居跡・24号住居

跡と重複する。新旧関係は、新しい方から13号溝・24号住居跡・本遺構・18号住居跡の順になると考えられる。18号住居跡及び24号住居跡より本遺構の掘り込みが深いため、南壁付近のプランは確定できた。**形状・特徴**　残存部分においては東西5.30×深さ0.43mを測る。南北の規模については不明であるが、13溝の底部で検出された本遺構の主柱穴と考えられる２基のピット位置より、５m前後と推定される。**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。また、覆土中に自然礫が混入しており、住居廃絶後に投棄された状況が看取できる。　**カマド**　検出されていないが、北壁に付設されていたカマドが13号溝により壊されている可能性が考えられる。　**遺物**　残存状況が不良であり、出土遺物は比較的少量である。　**時期**　７世紀前半と考えられる。

71号住居跡（第94・136図、第63・88表、PL.84・99）

位置　調査区東寄りに位置する。南側１/３程が後出する13号溝と重複する。また、北壁から北東コーナー付近にかけて大規模な攪乱がある。　**形状・特徴**　残存状況が不良であり、詳細については不明である。残存部分においては東西4.25×深さ0.20mを測る。南北の規模については不明である。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。また、残存する床面付近の覆土には炭化物・焼土が認められ、焼失家屋の可能性が考えられる。　**遺物**　残存状況が不良であり、出土遺物は少量である。　**時期**　出土遺物が少なく断定は難しいが、古墳時代の所産であることは確実である。

②　掘立柱建物跡

１号掘立柱建物（第103図、第63表、PL.84）

位置　調査区西端に位置する。他遺構との重複関係はない。　**形状・特徴**　東西２間・南北１間であり、東西柱間約1.50m・南北柱間約2.15mを測る。　**柱穴覆土**　黒褐色を主体とし、上部または全体に白色パミスが混入する。　**遺物**　本遺構に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物がなく不明である。

２号掘立柱建物（第104図、第63表、PL.84）

位置　調査区西端に位置する。東側２基の柱穴が52号住居跡と重複する。同住居跡との新旧関係は不明。北東隅の柱穴は、２基のピットの重複と考えられる。位置より42号ピットが本遺構に伴うものと推定される。　**形状・特徴**　東西２間・南北１間であり、東西柱間約1.40m・南北柱間約2.35mを測る。　**柱穴覆土**　黒褐色土を主体とし、上部には白色パミスが混入する。　**遺物**　本遺構に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物がなく不明である。

③　柵　列

１号柵列（第105図、第63表、PL.84）

位置　調査区西端北寄りに位置する。他遺構との重複関係はない。　**形状・特徴**　N―13°―Eの方向に４基のピットが並ぶ。各ピット間は約1.70mを測る。柵列としたが、西側に展開する掘立柱建物跡の一部を検出した可能性も考えられる。　**柱穴覆土**　黒褐色土を主体とし、上部には白色パミスが混入する。**遺物**　本遺構に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物がなく不明である。

２号柵列（第106図、第63表、PL.84）

位置　調査区西端北寄りに位置する。他遺構との重複関係はない。北端の柱穴は、２基のピットの重複と考えられる。位置より36号ピットが本遺構に伴うものと推定される。　**形状・特徴**　N―23°―Wの方向に４基のピットが並ぶ。各ピット間は約1.60mを測る。　**柱穴覆土**　黒褐色土を主体とし、上部には白色パミスが混入する。　**遺物**　本遺構に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物がなく不明である。

④　土　坑

土坑は６基確認されている。径・深さ等を一覧で示し、遺構の記述に代える。

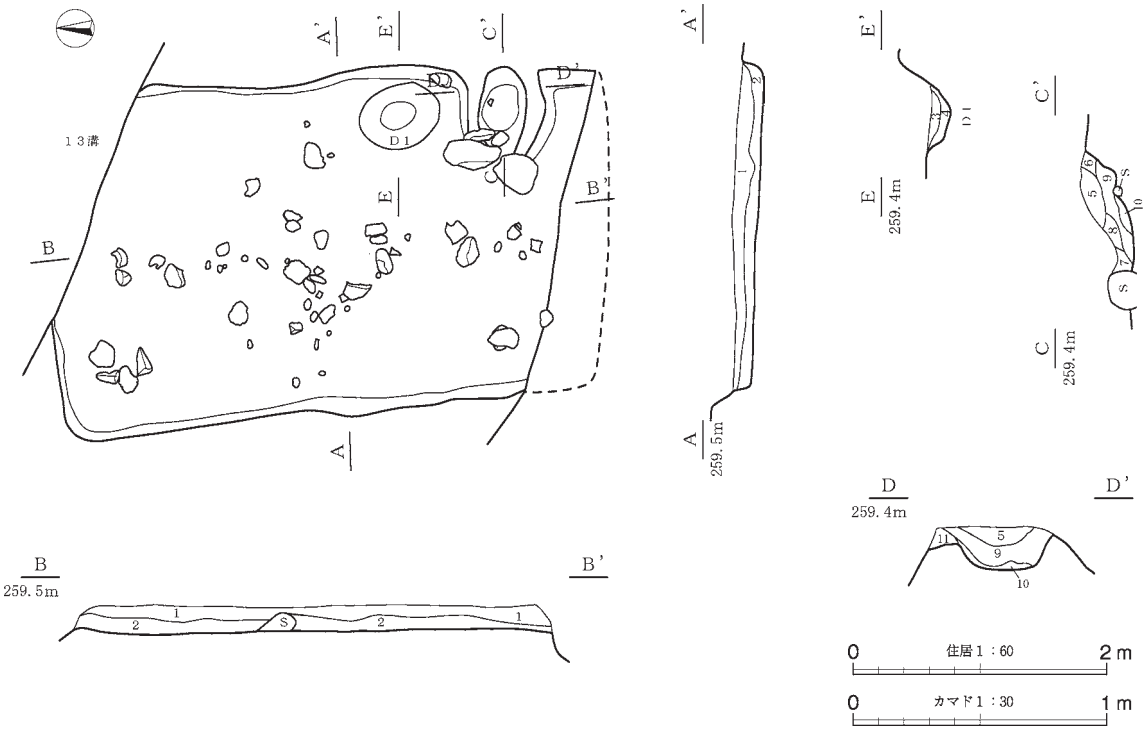
⑤　ピット

径・深さ等を一覧で示し、遺構の記述に代える。

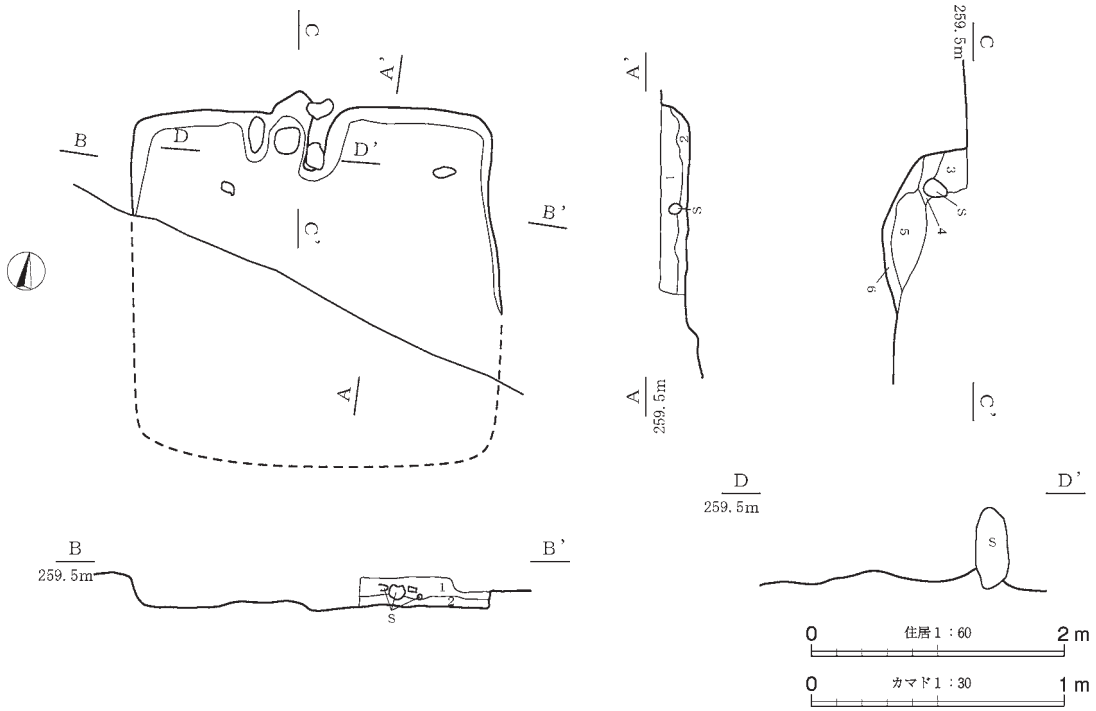
⑥　溝

７号溝（第43・114・137図、第64・89表、PL.86・99）

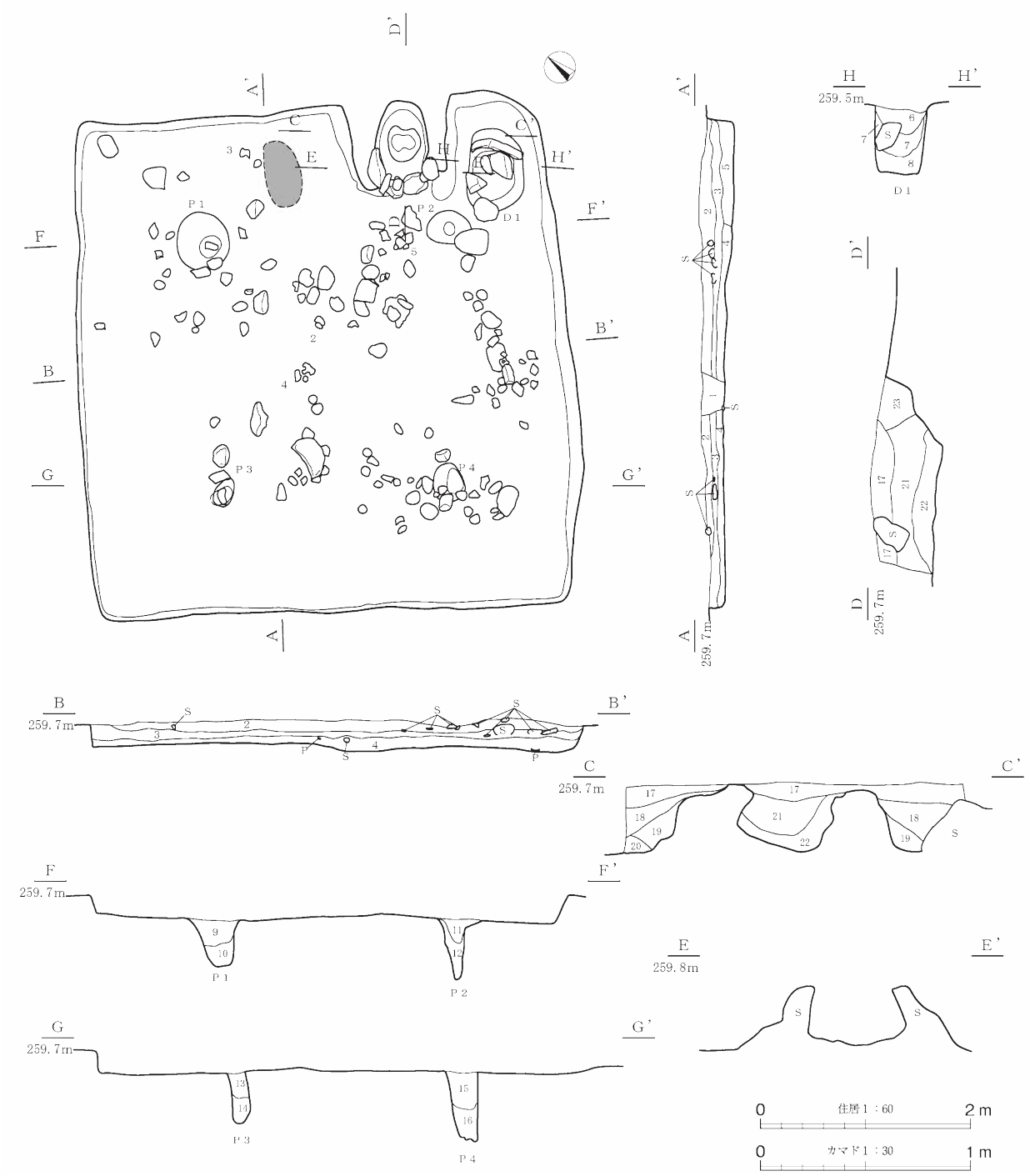
位置　調査区中央北から東にかけて確認されている。　**形状・特徴**　北西から南東へほぼ直線状に走向し、幅1.7～2.0m、深さ1.0～1.4mを測る。断面はU字状またはV字状を呈する。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**遺物**　本遺構に確実に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物より断定するのは難しいが、17年度調査より５号住居跡（６世紀後半）より旧いことが分かっている。



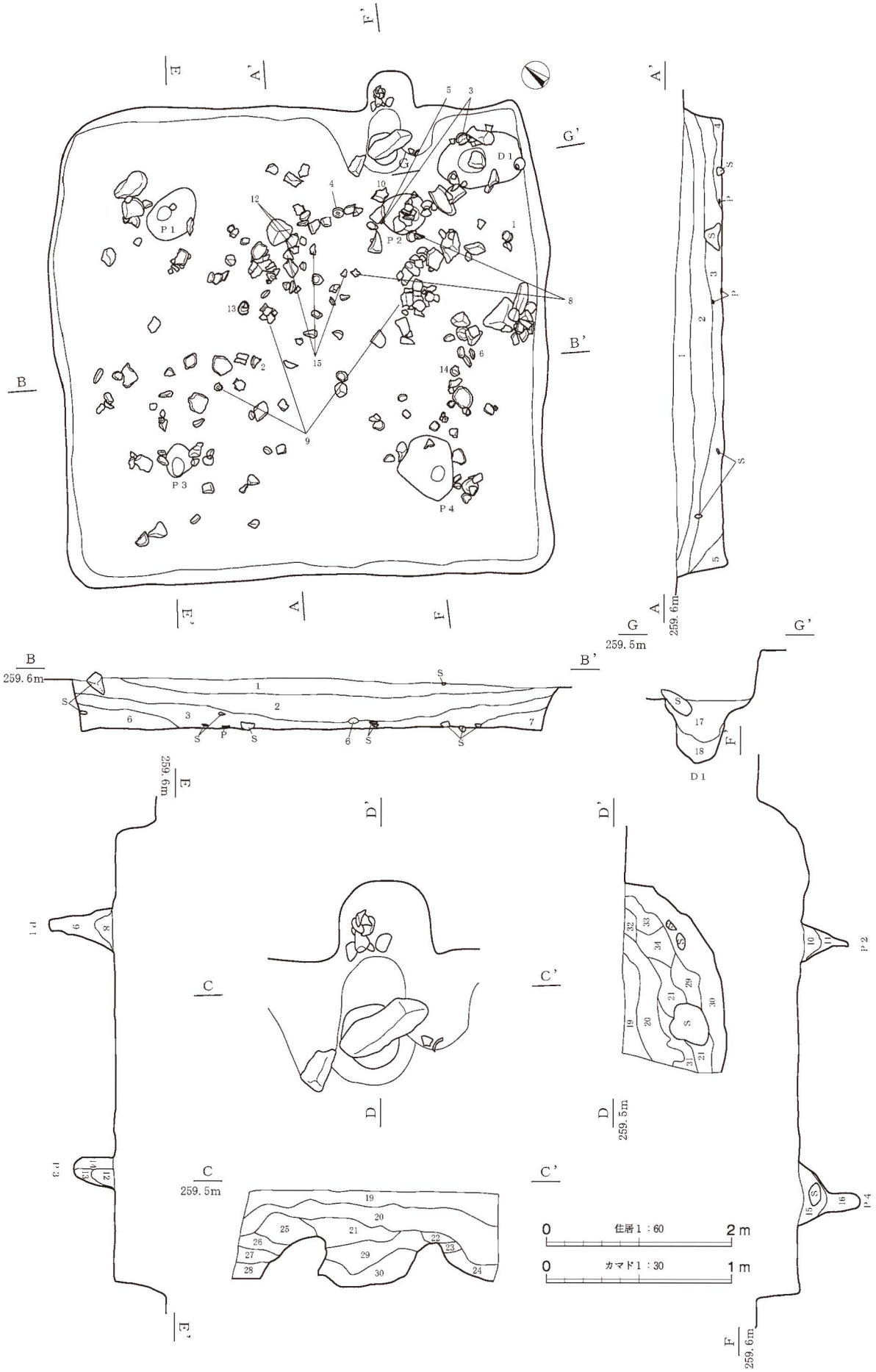
第78図　20号住居跡



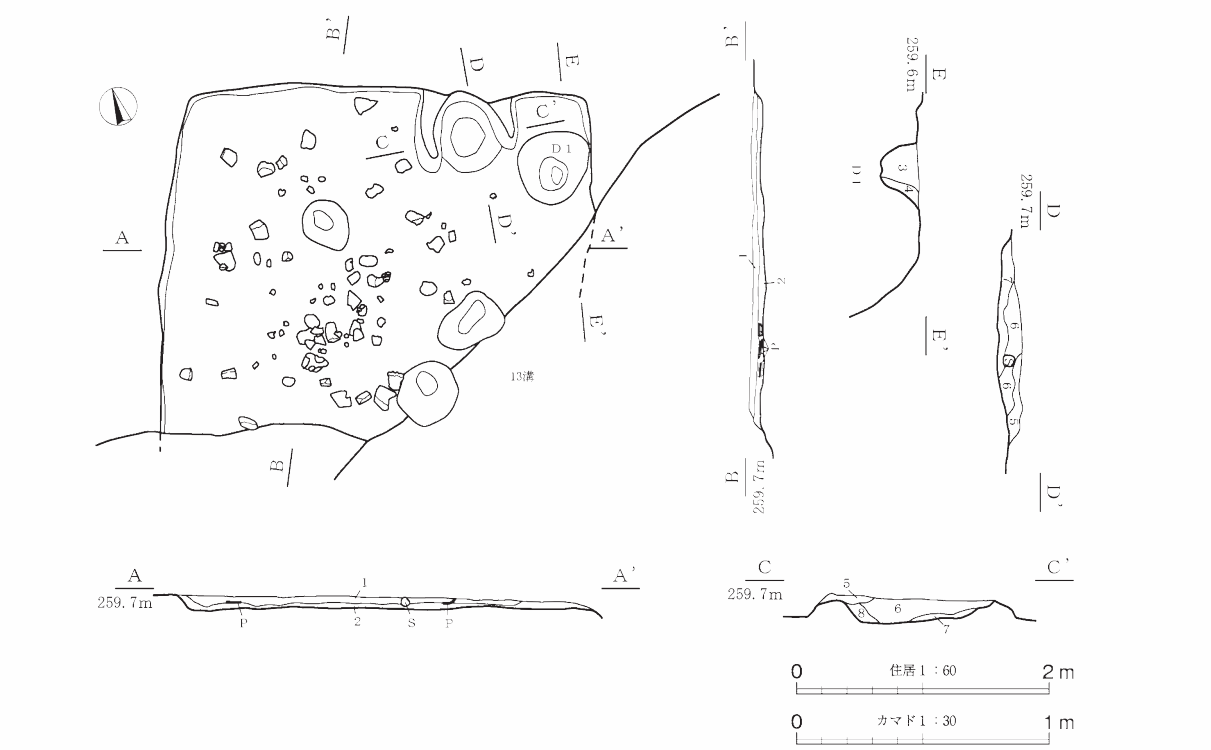
第79図　23号住居跡


A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
E
E'
F
F'
G
G'
H
H'
P 1
P 2
P 3
P 4
D 1
259.7m
259.5m
259.8m
住居 1：60
カマド 1：30
0
2 m
1 m

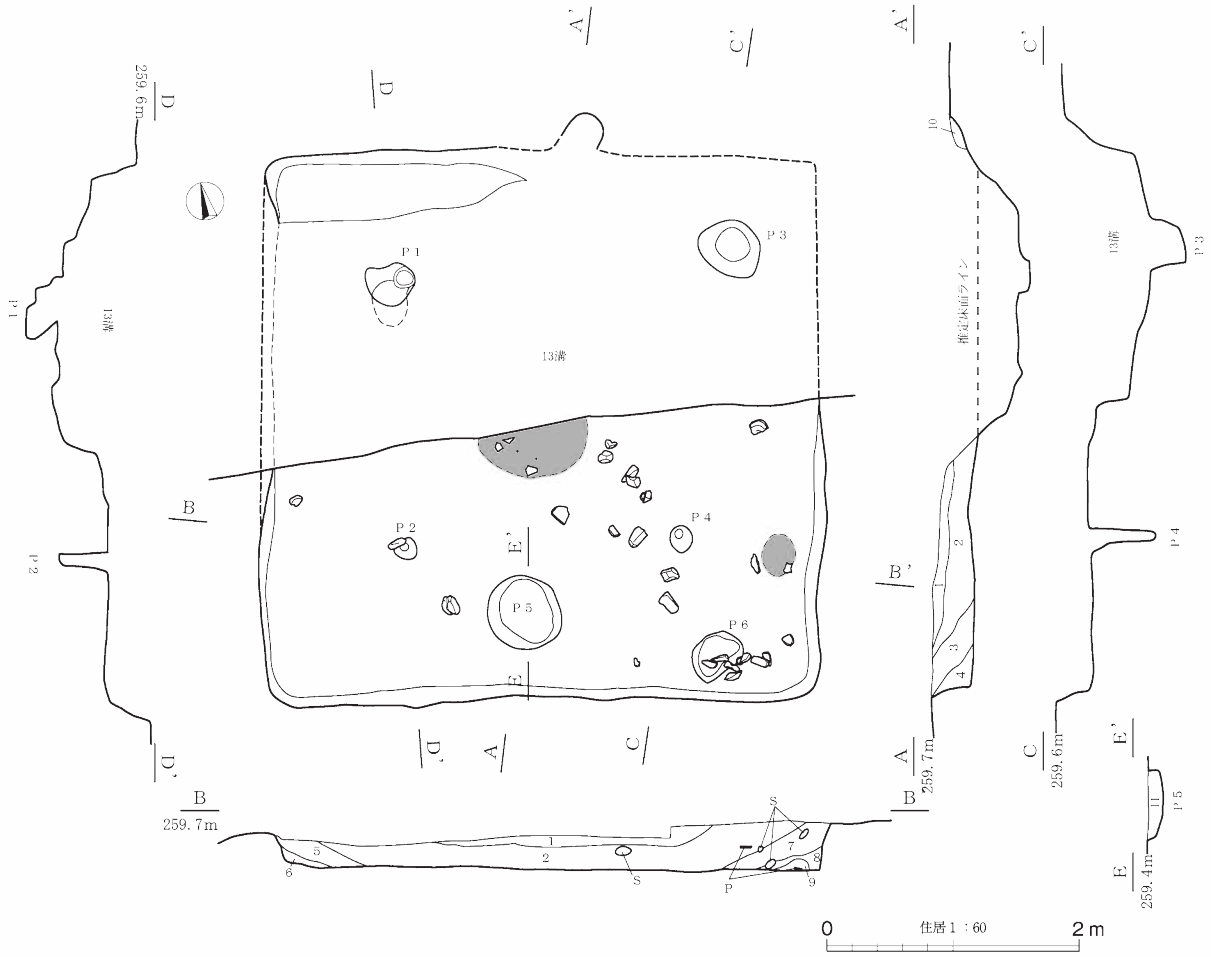
第80図　52号住居跡



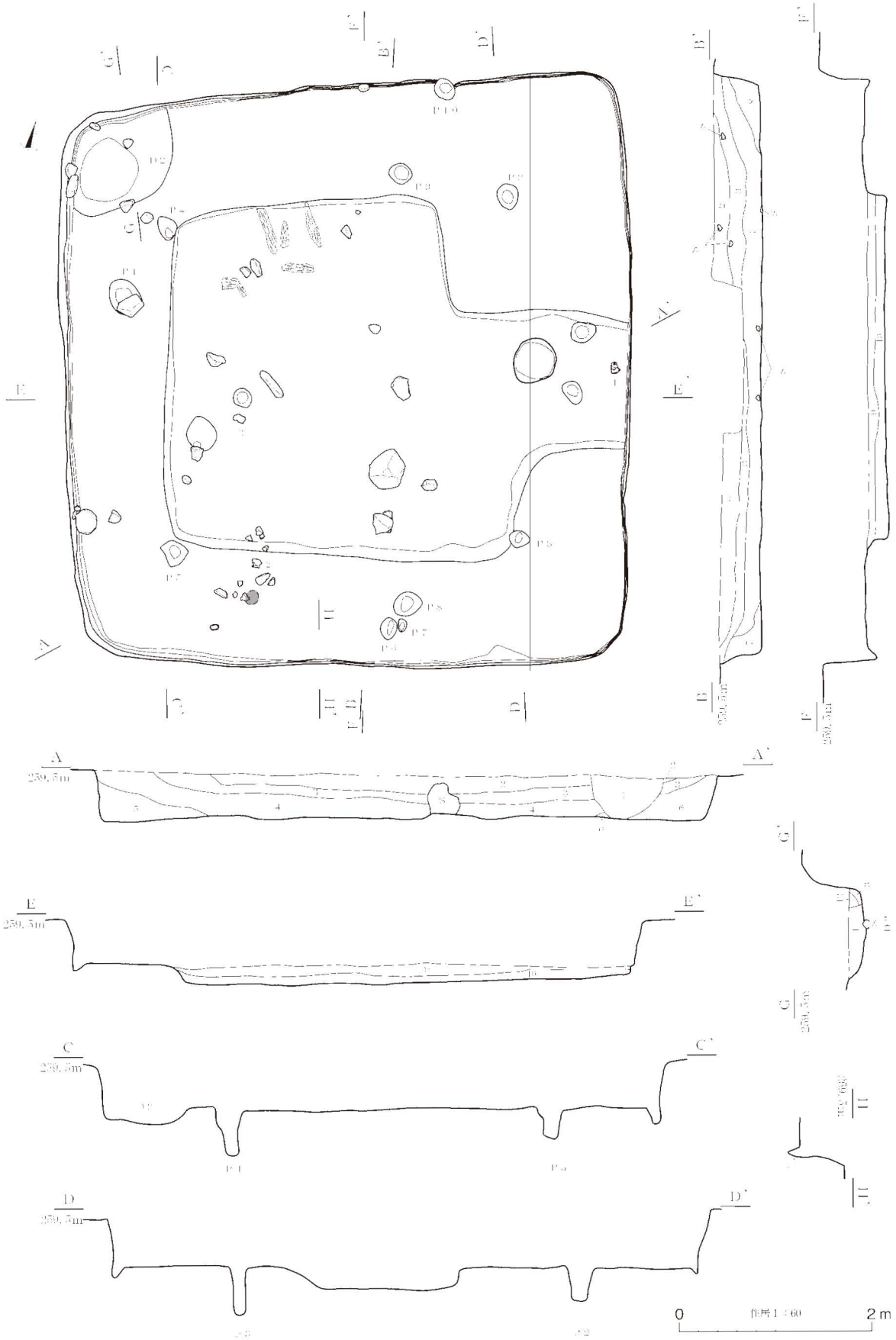
第81図　53号住居跡



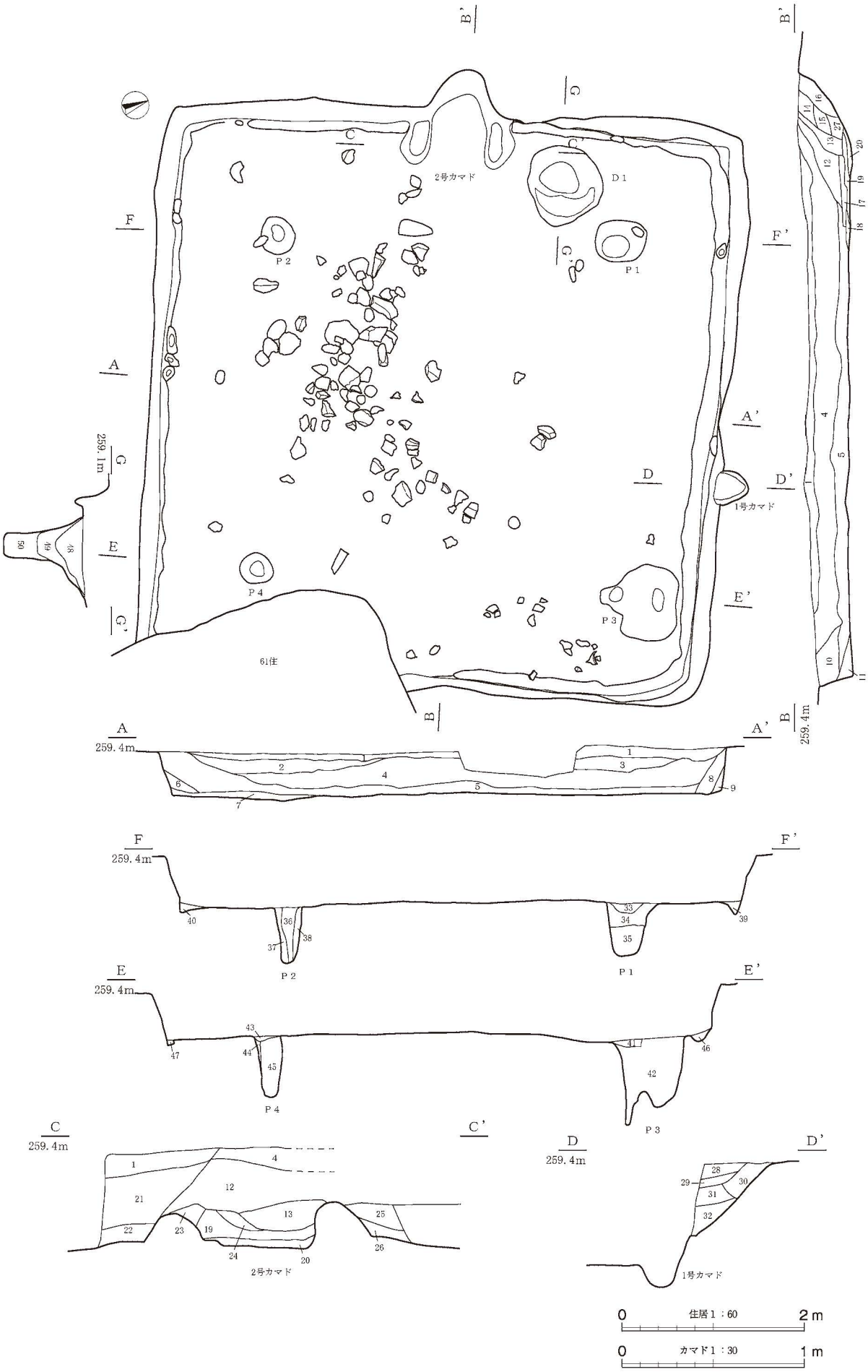
第82図　55号住居跡



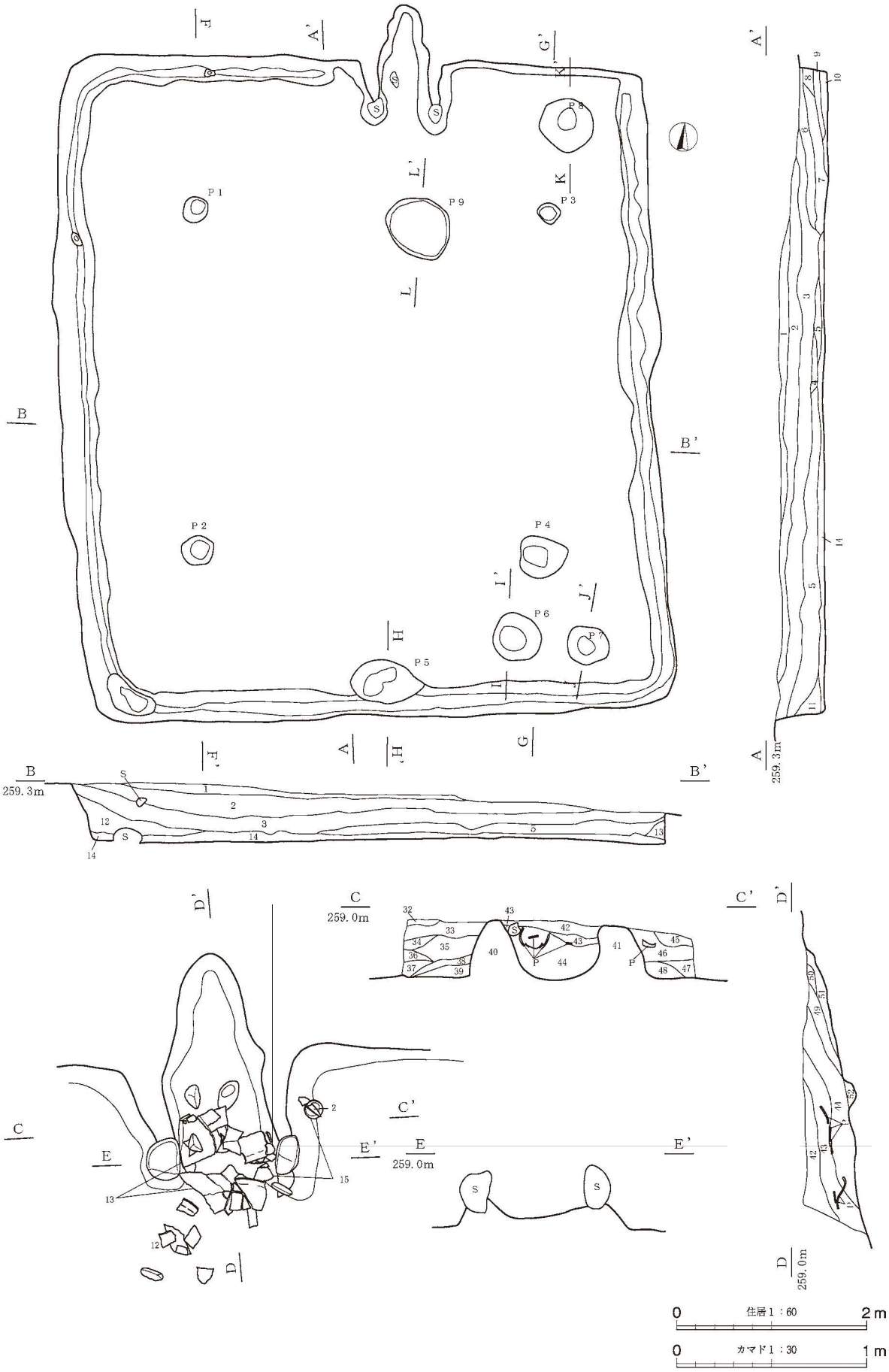
第83図　59号住居跡



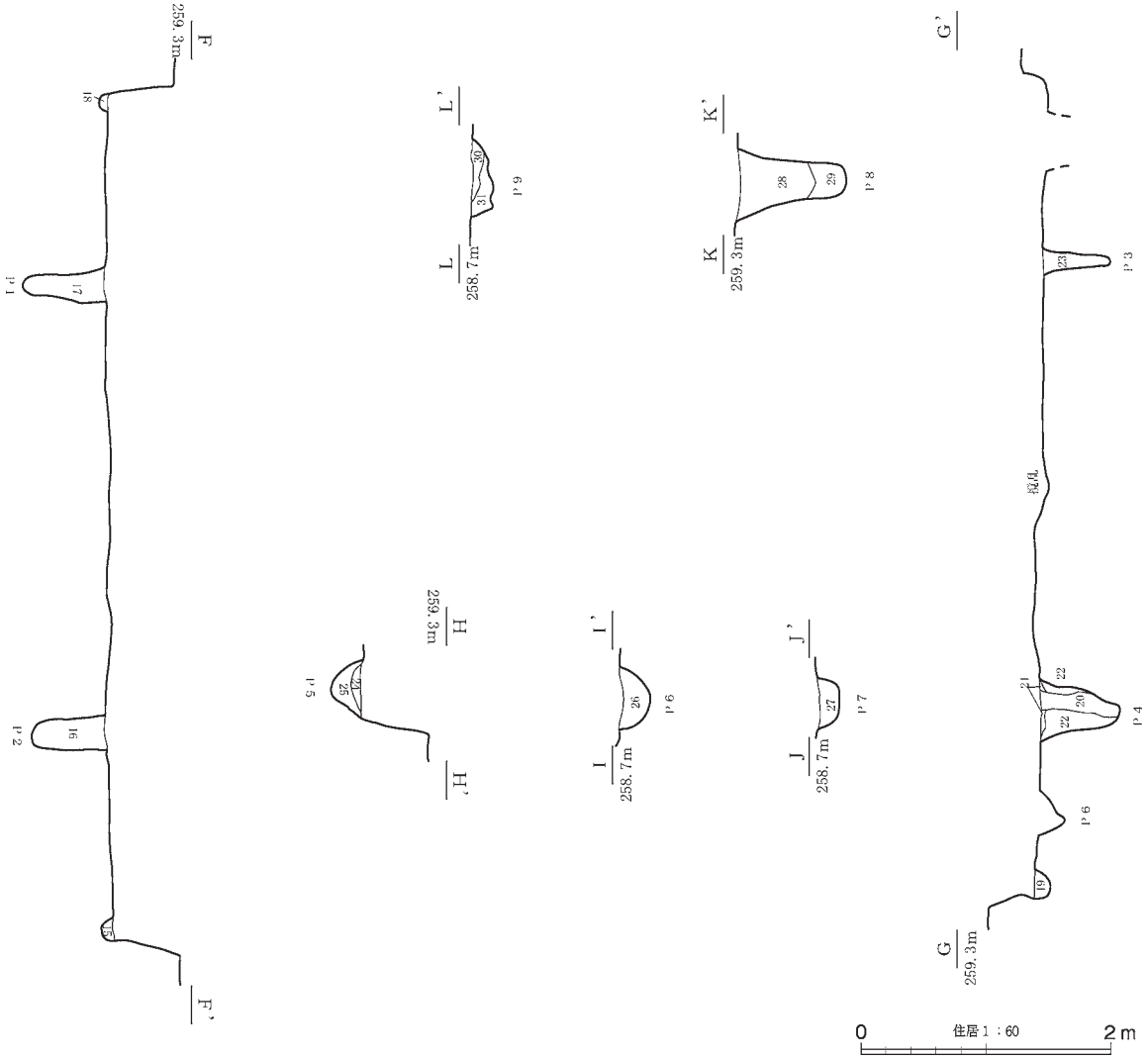
第84図　56号住居跡



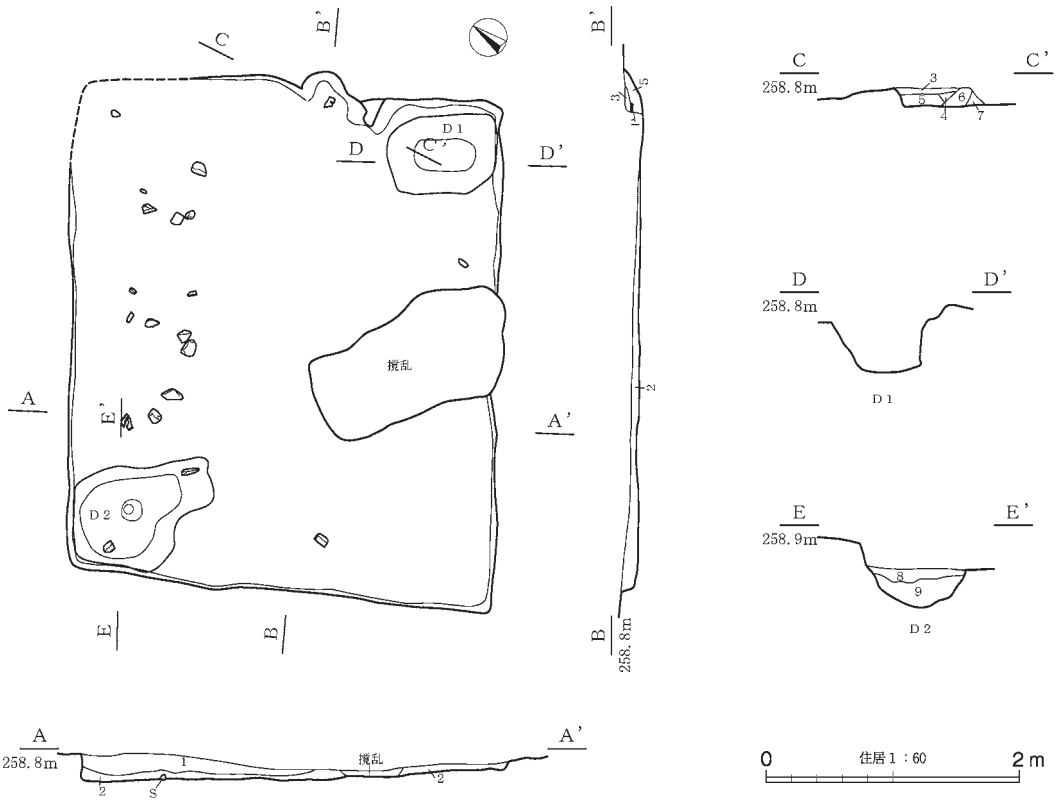
第85図　58号住居跡



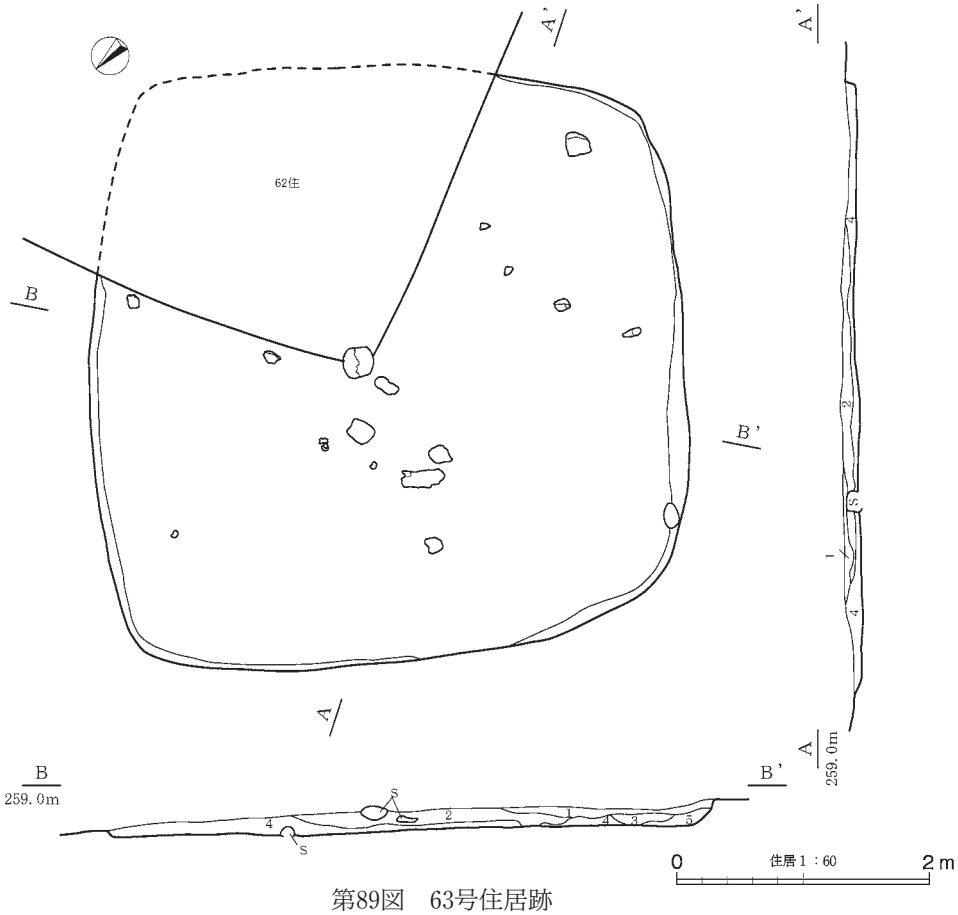
第86図　61号住居跡(1)



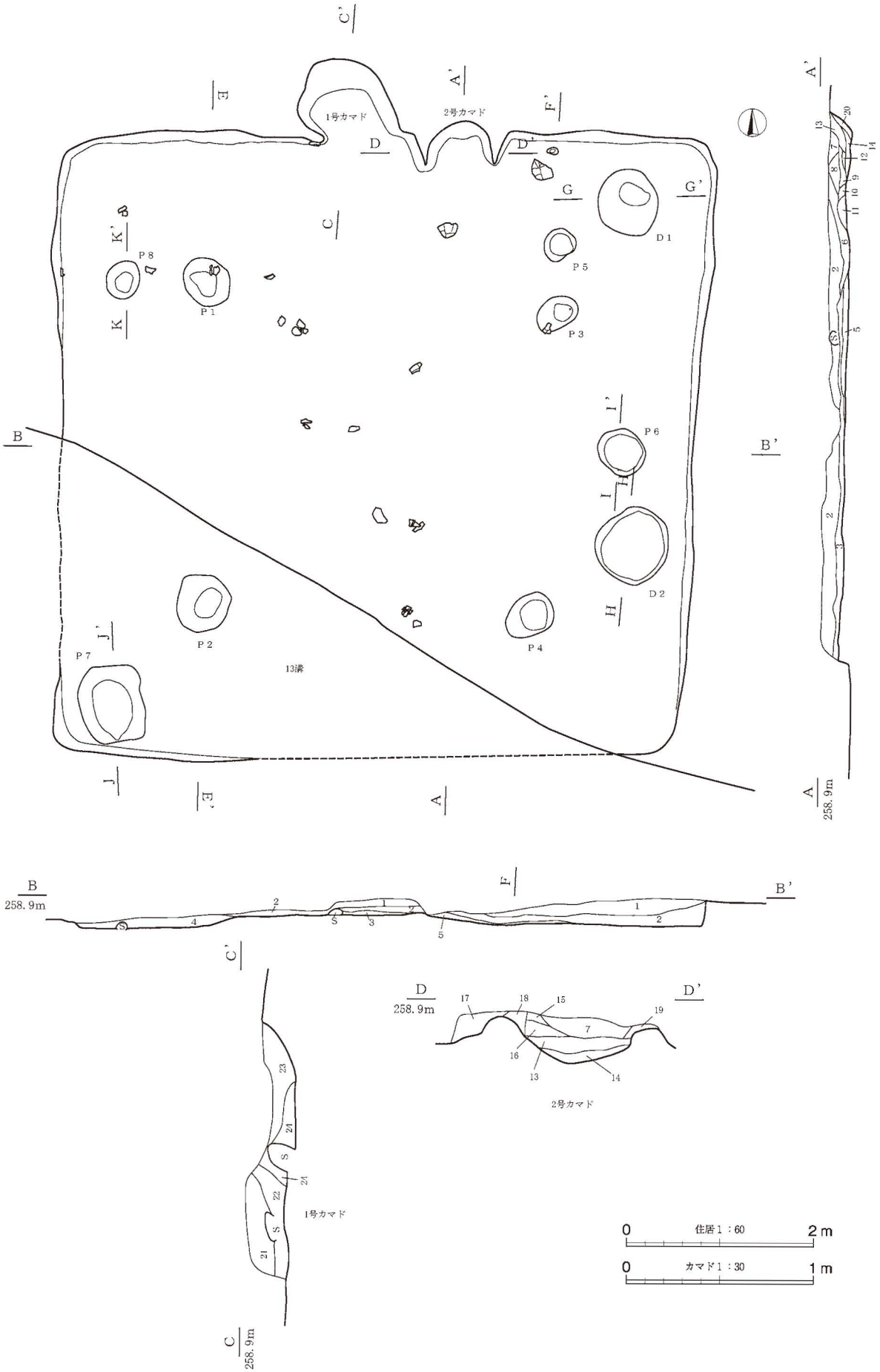
第87図　61号住居跡(2)



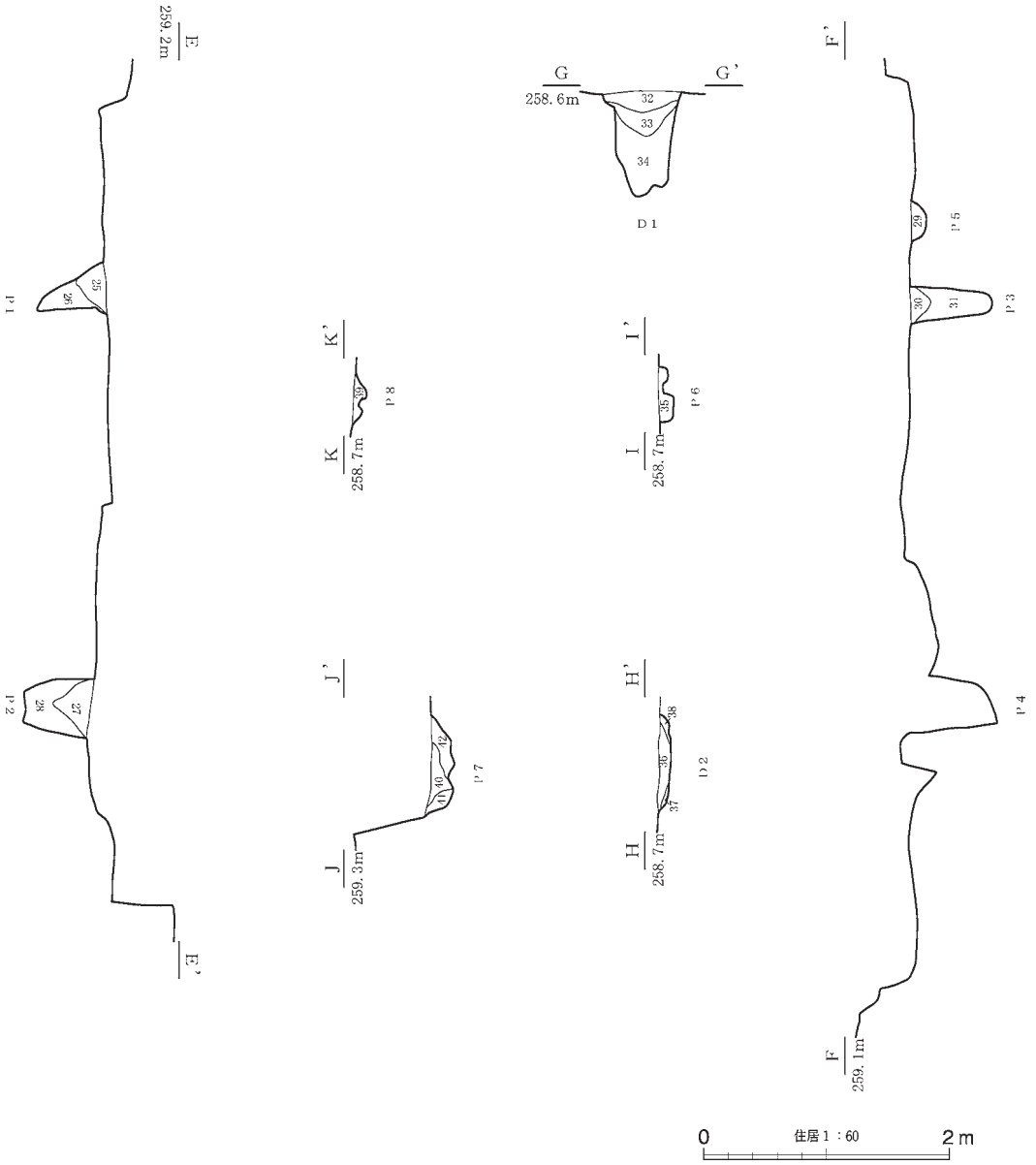
第88図　62号住居跡



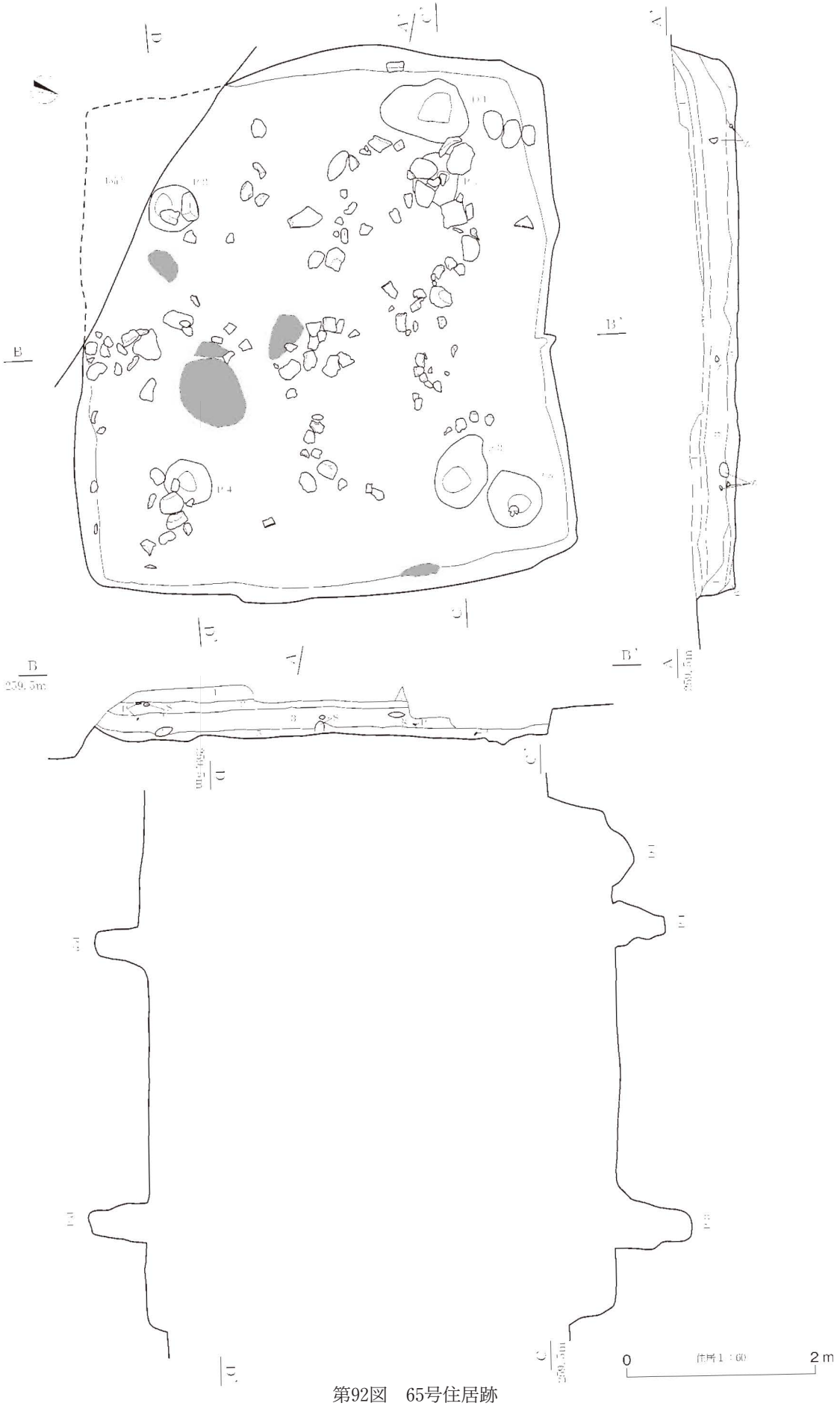
第89図　63号住居跡



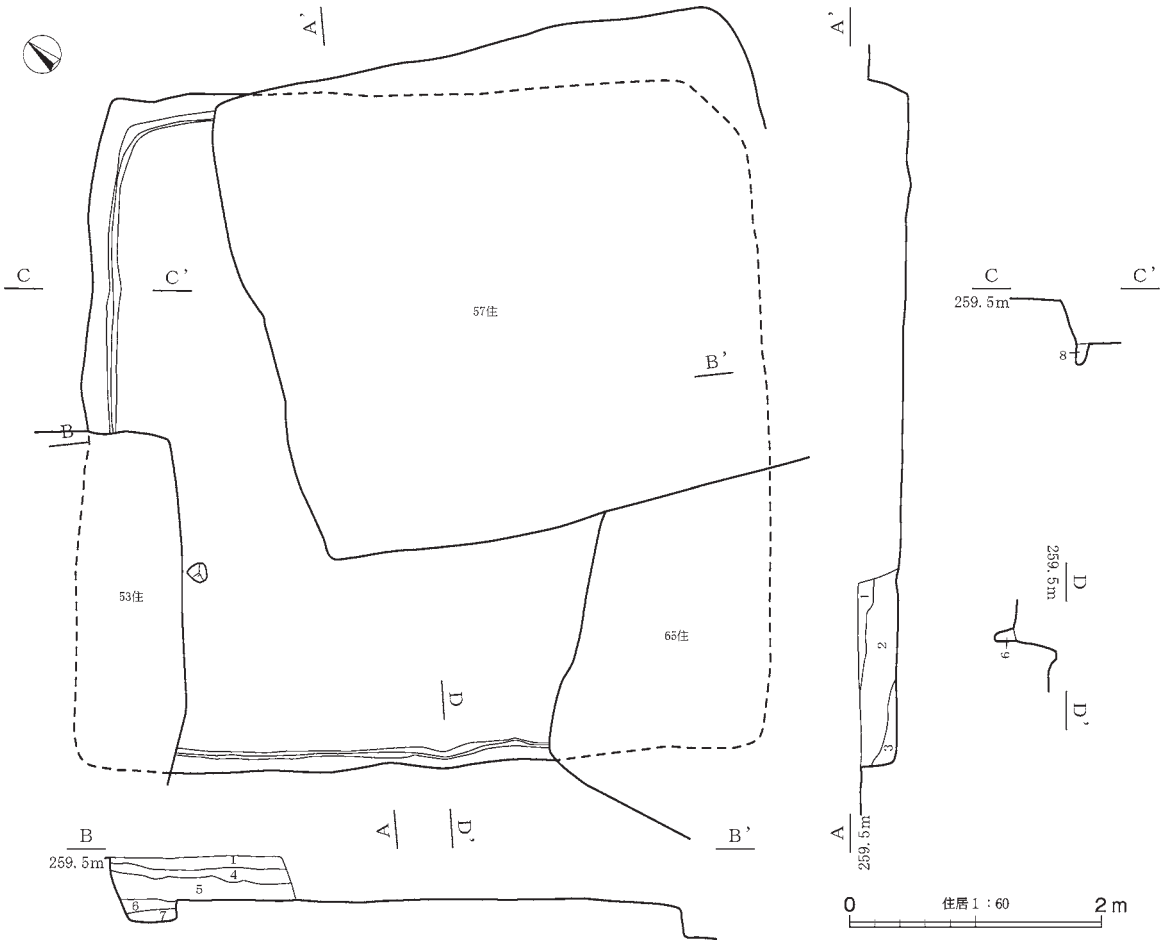
第90図　64号住居跡(1)



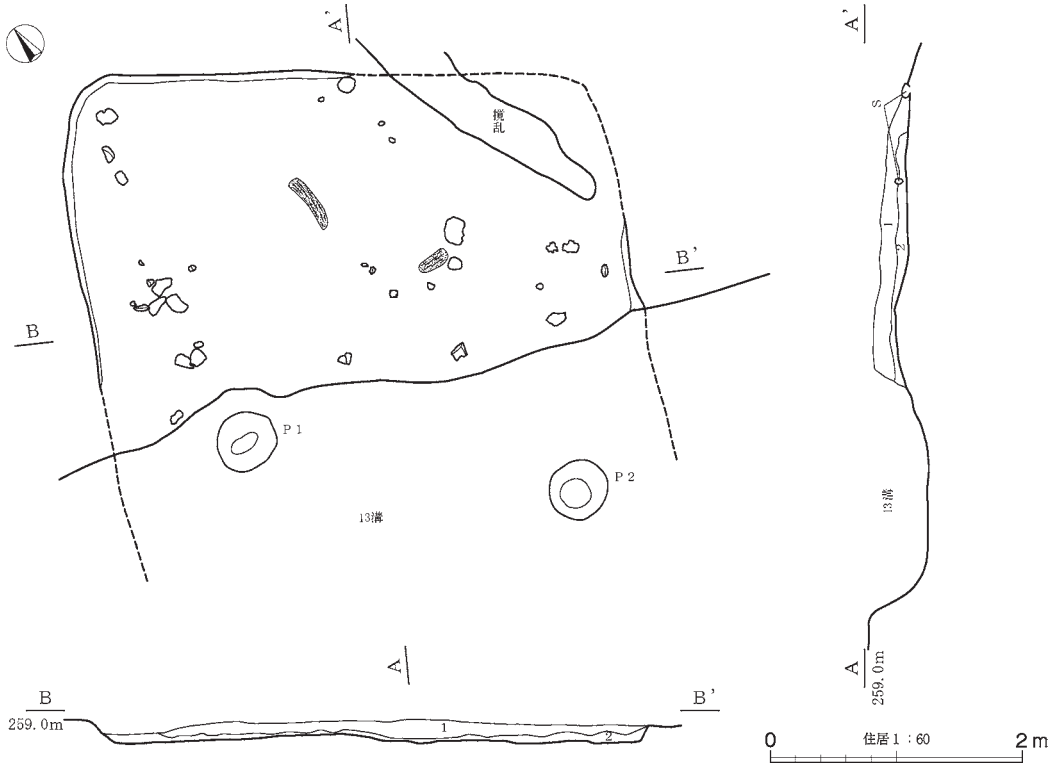
第91図　64号住居跡(2)



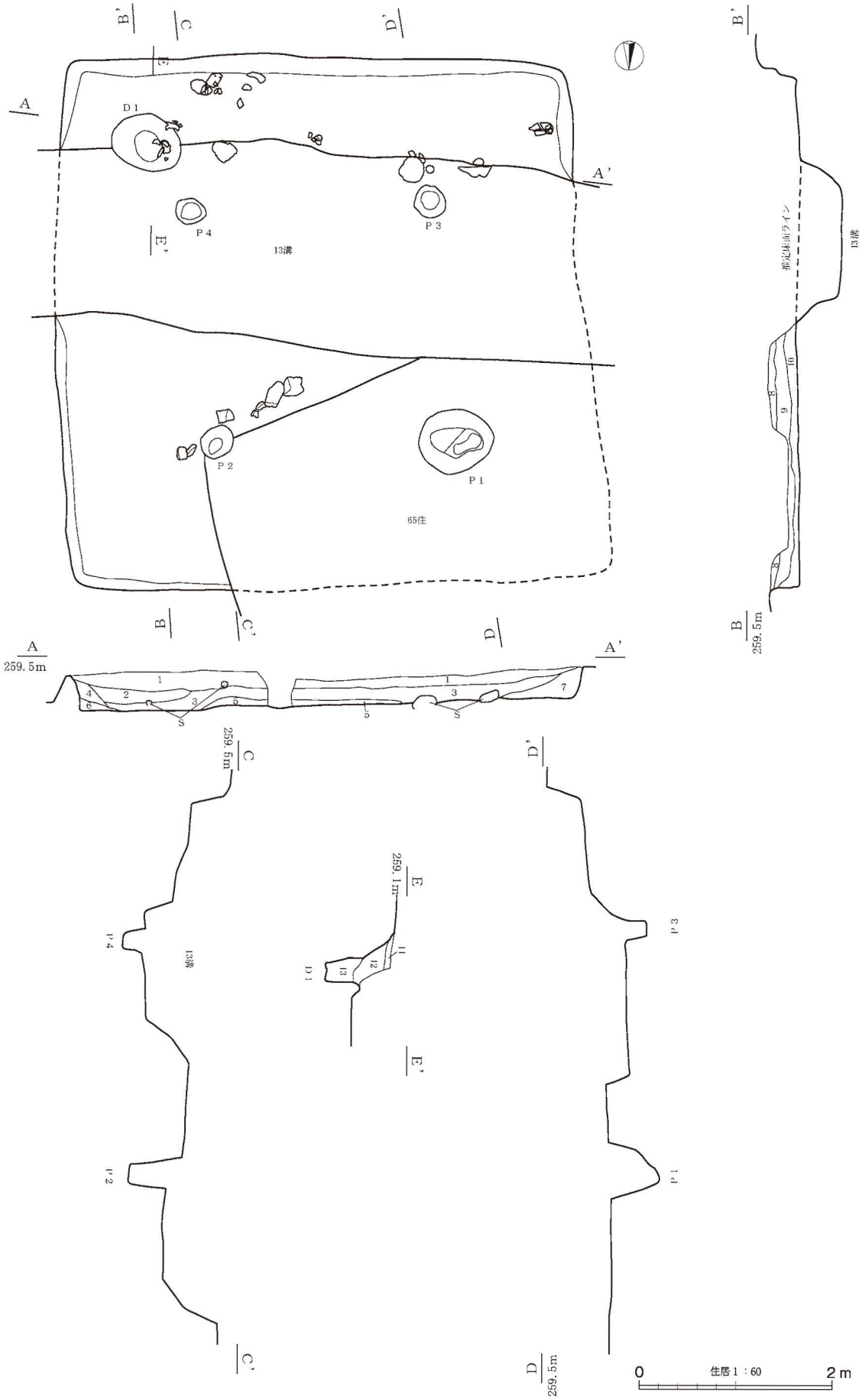
第92図　65号住居跡



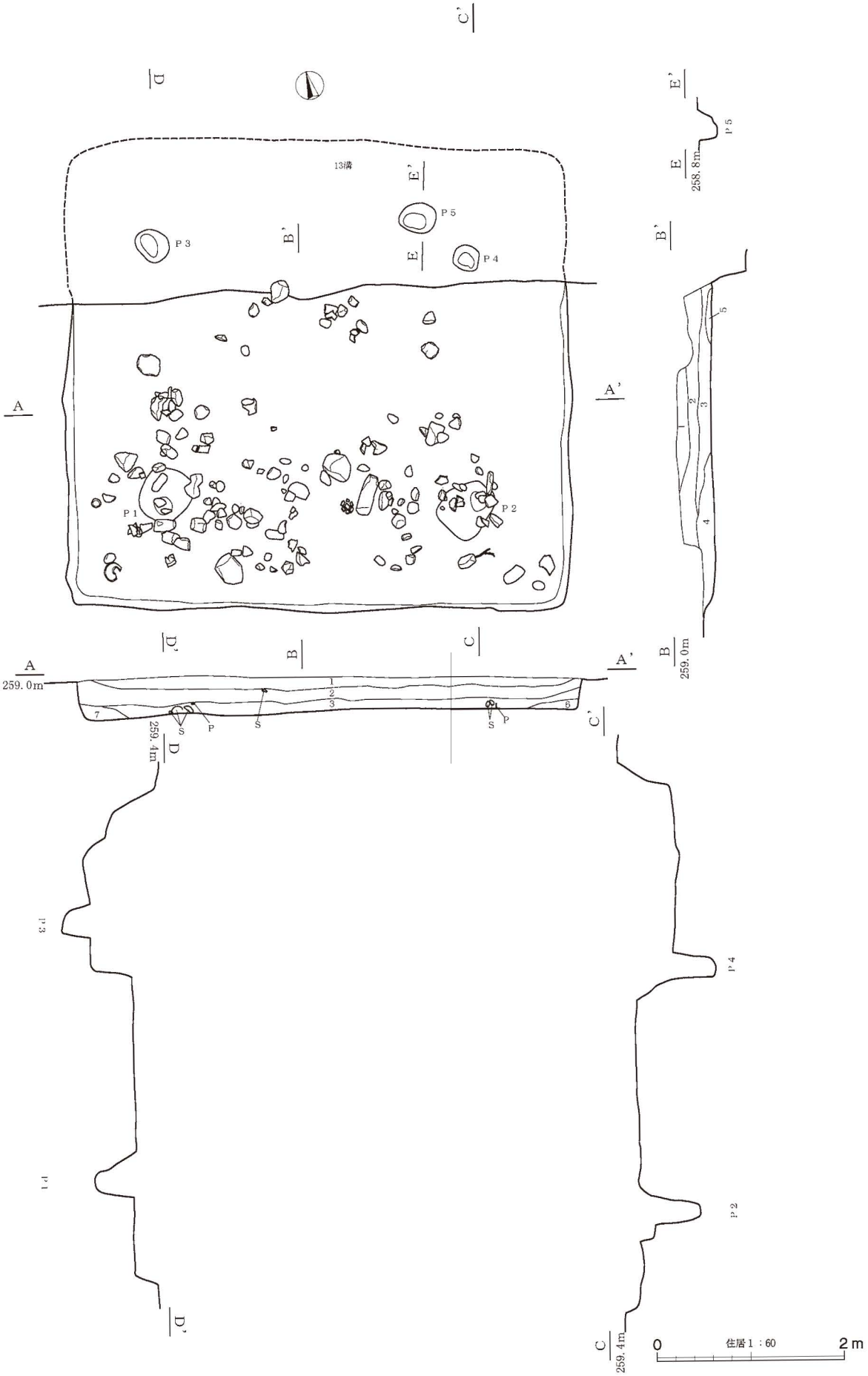
第93図　66号住居跡



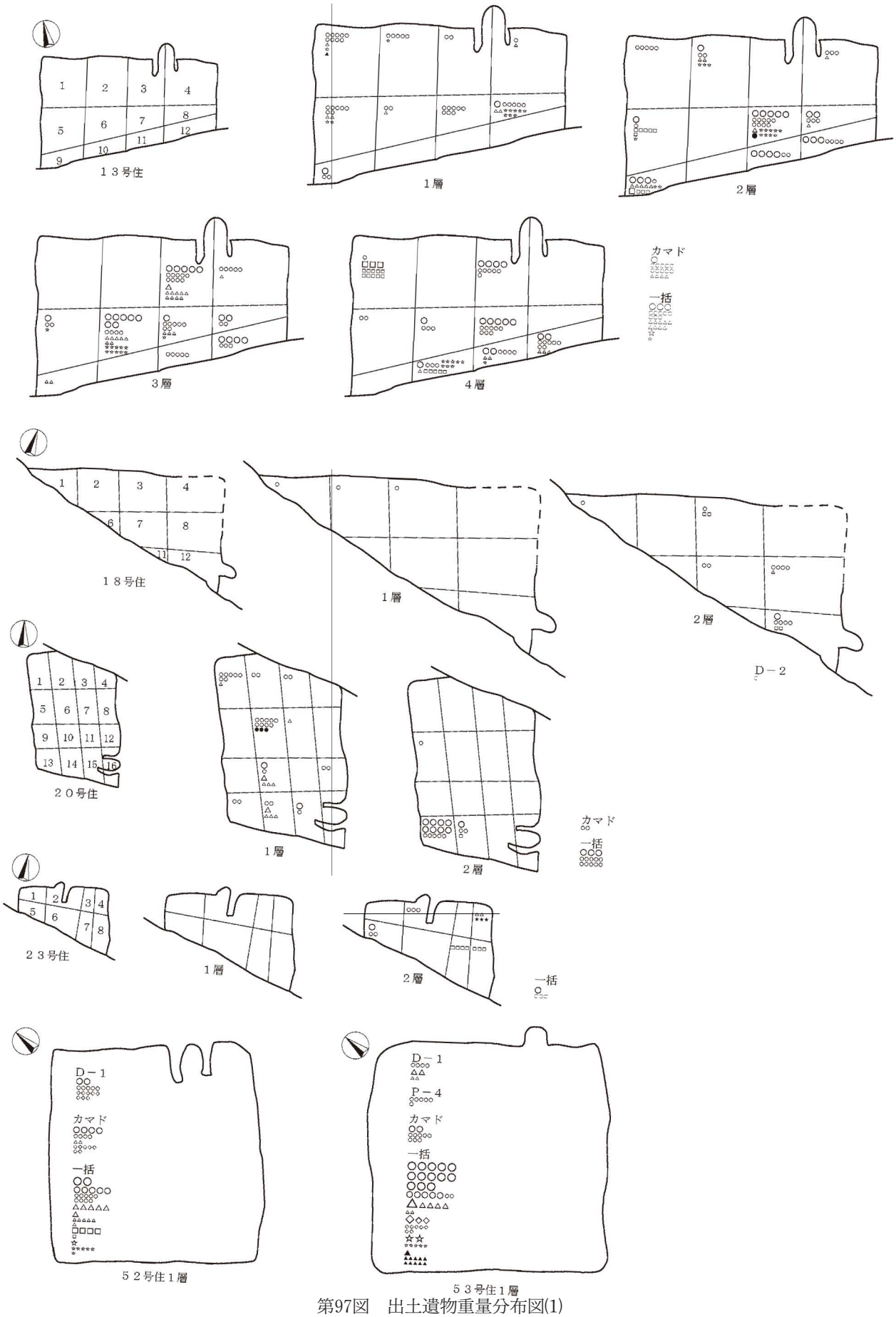
第94図　71号住居跡


A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
E
E'
D1
P1
P2
P3
P4
13溝
65住
推定床面ライン
259.5m
259.1m
住居1：60
0
2m

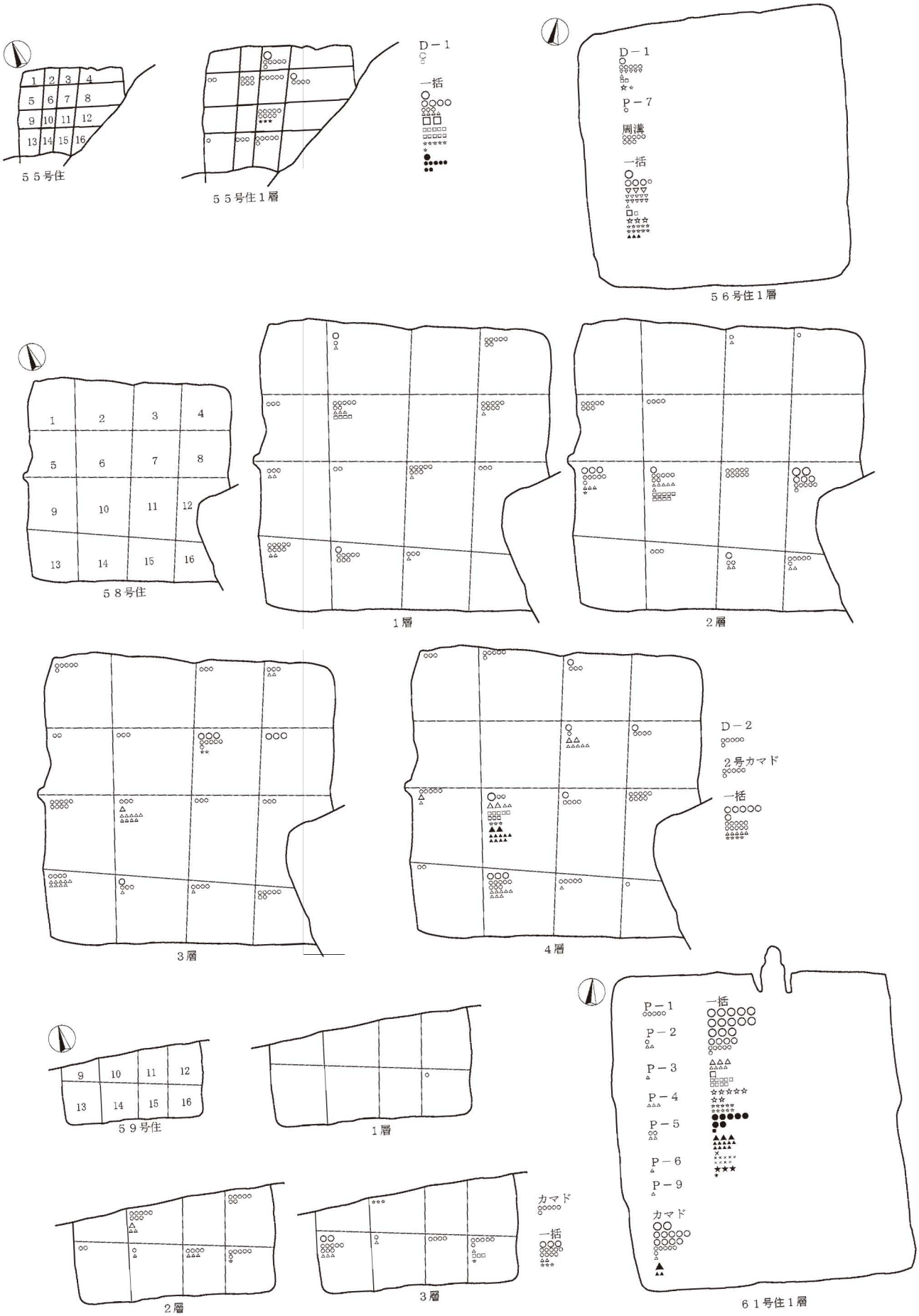
第95図　69号住居跡



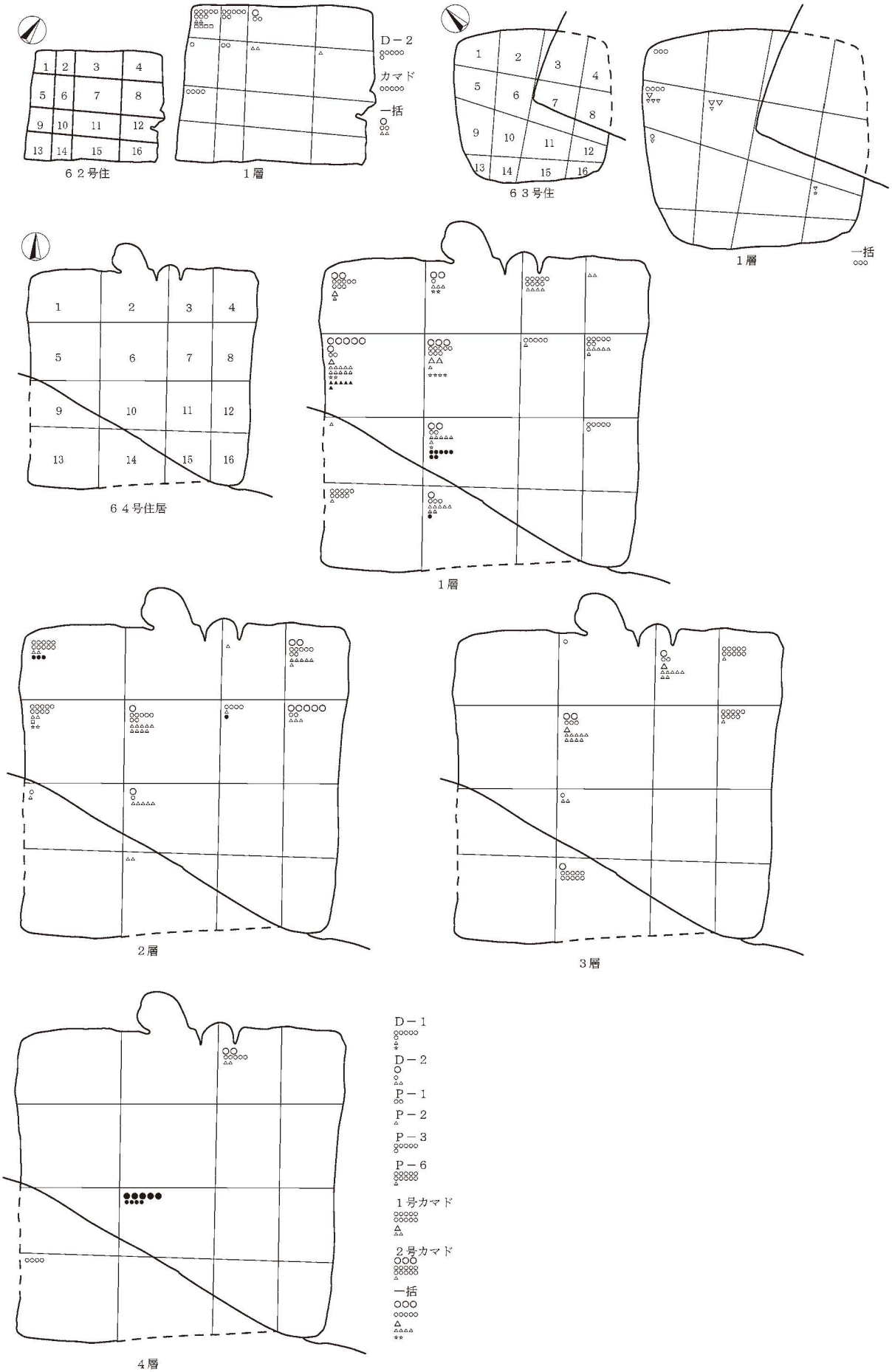
第96図　70号住居跡



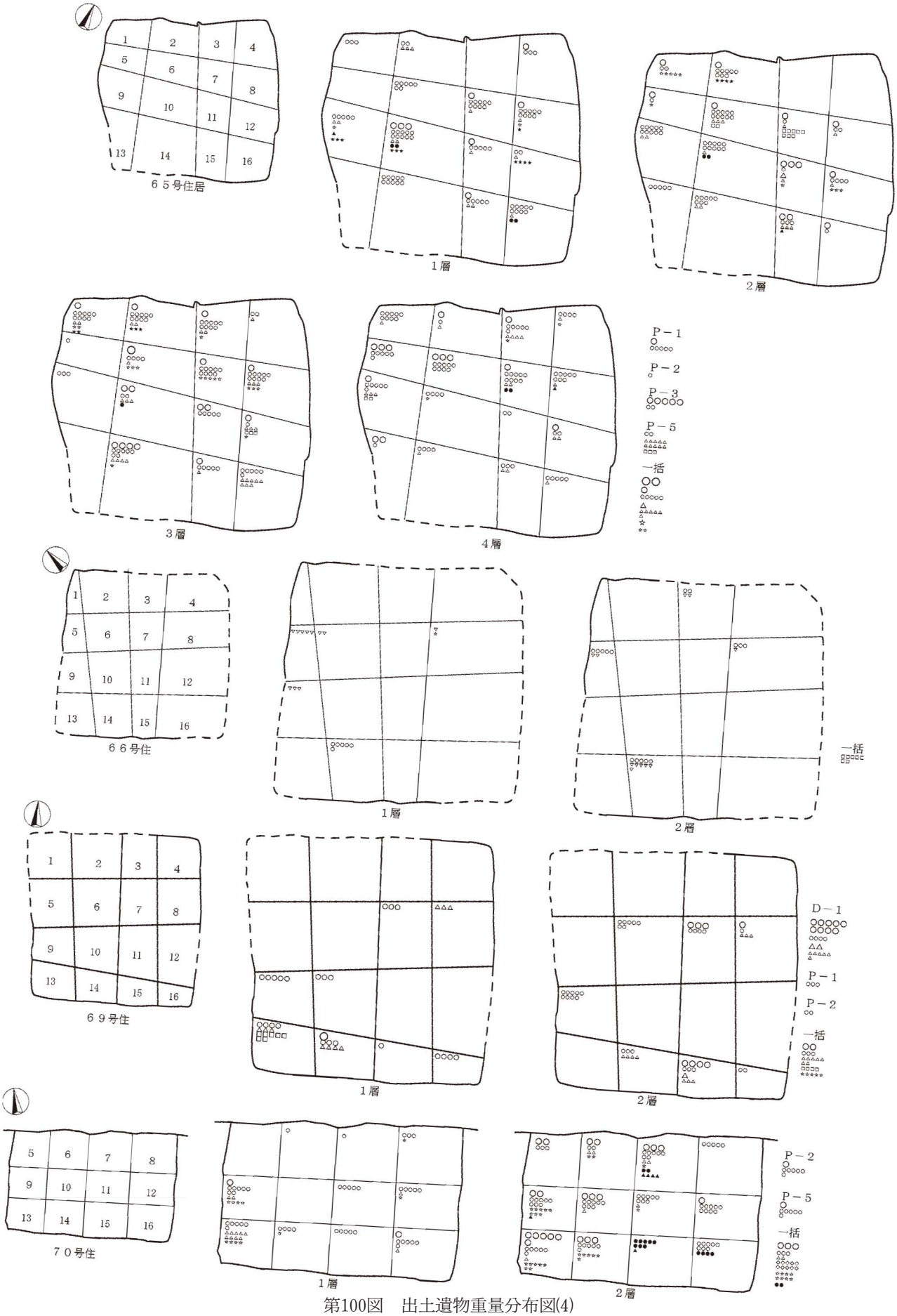
第97図　出土遺物重量分布図(1)



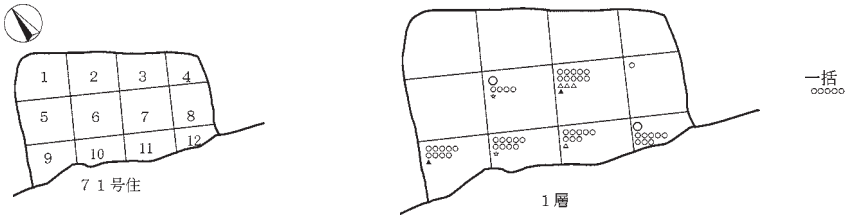
第98図　出土遺物重量分布図(2)



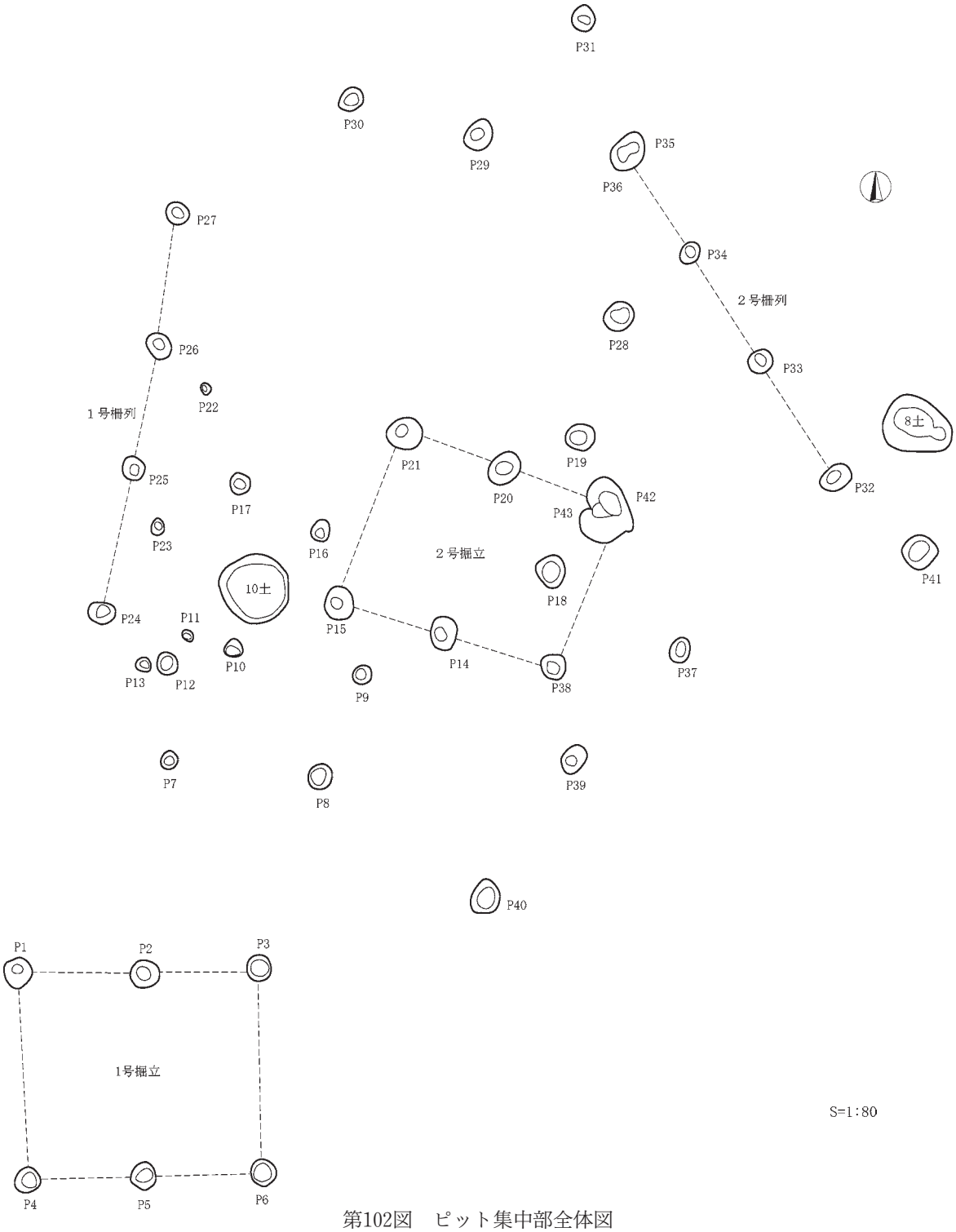
第99図　出土遺物重量分布図(3)



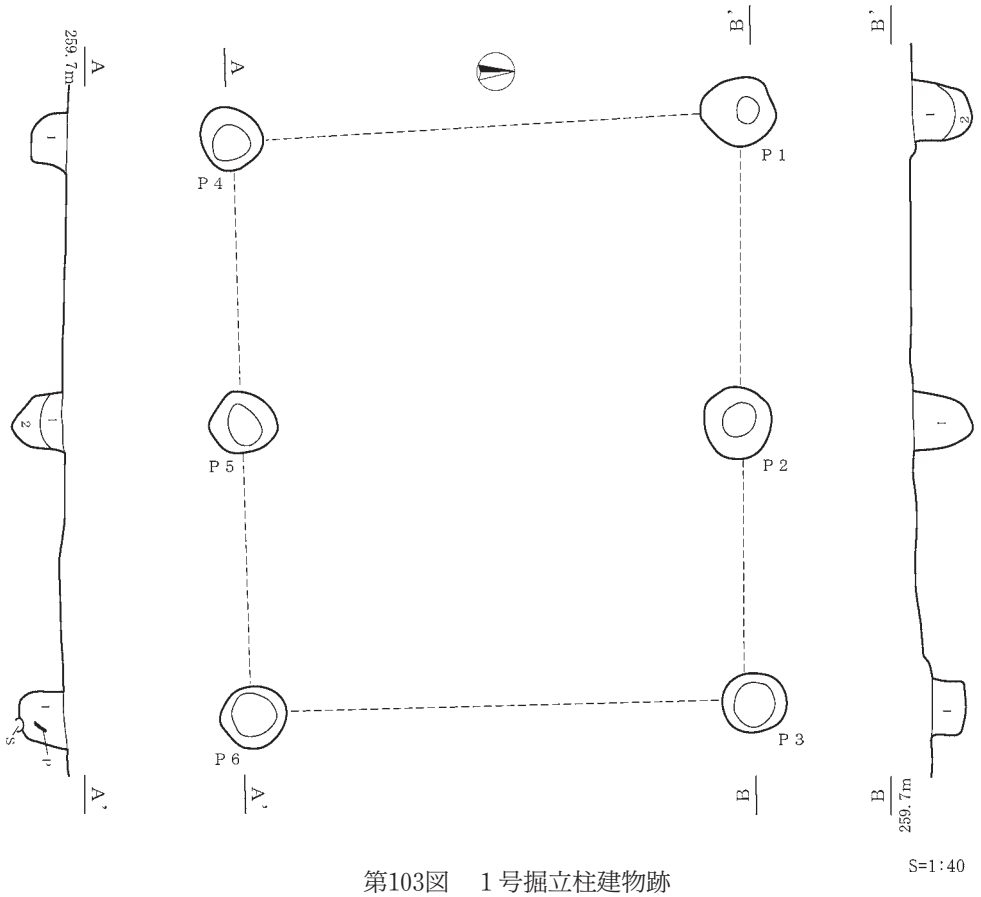
第100図　出土遺物重量分布図(4)



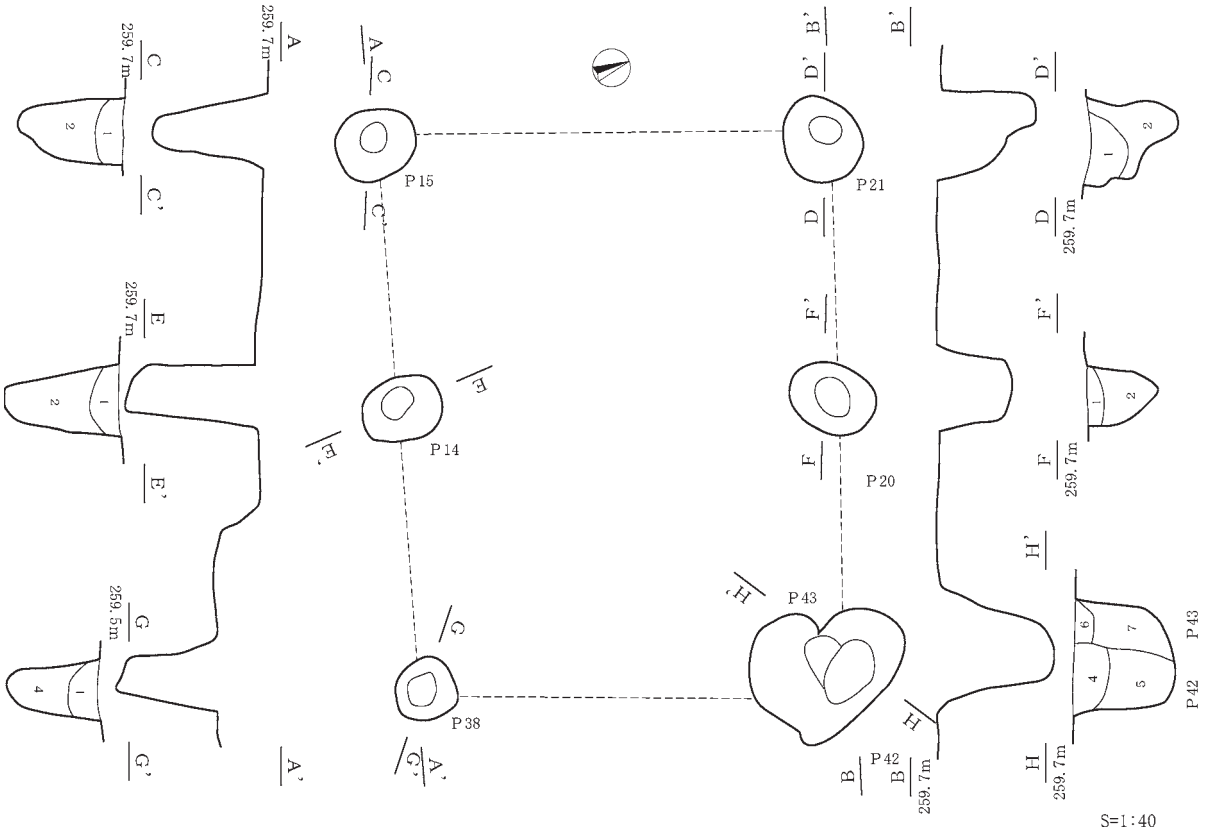
第101図　出土遺物重量分布図(5)



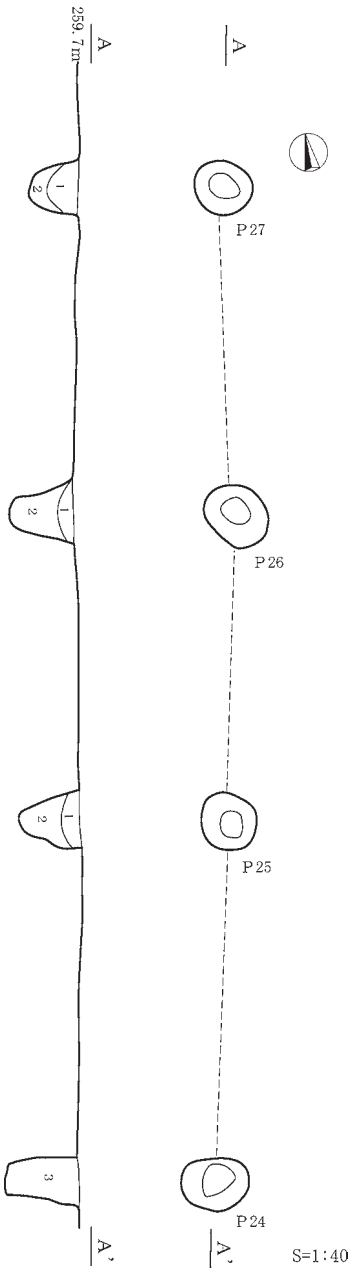
第102図　ピット集中部全体図



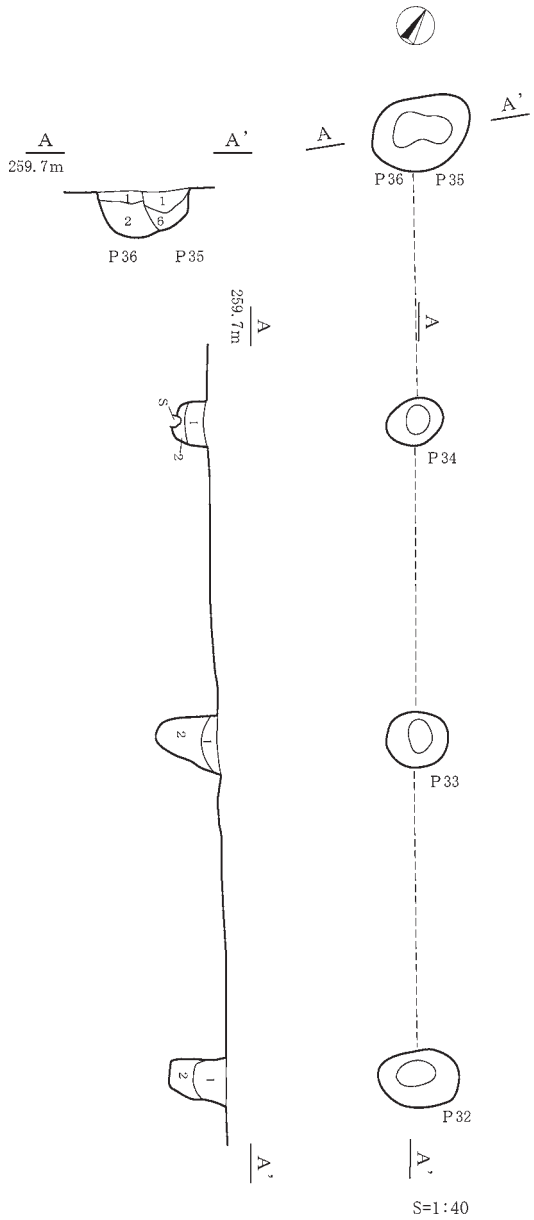
第103図　1号掘立柱建物跡



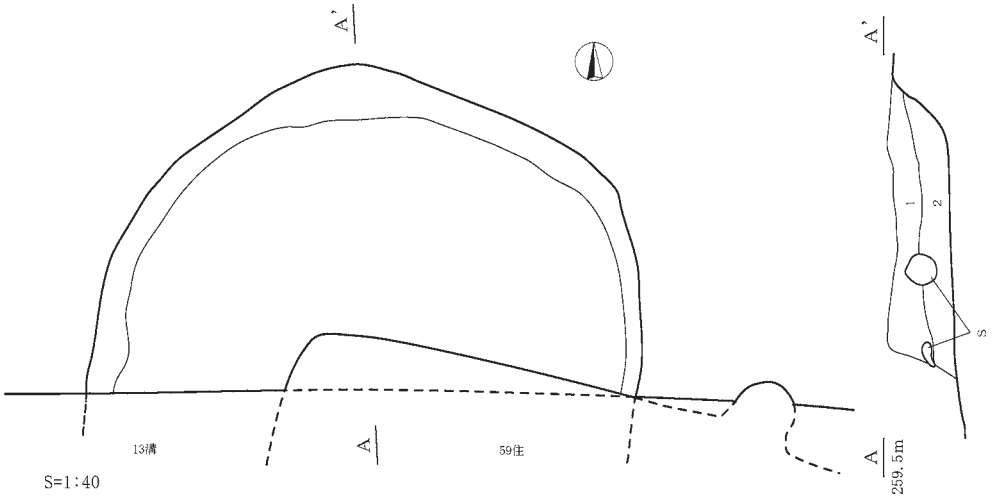
第104図　2号掘立柱建物跡



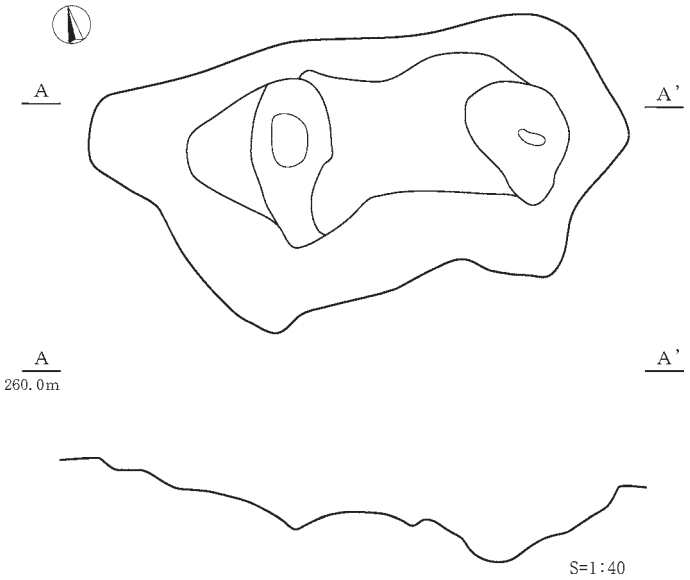
第105図　1号柵列



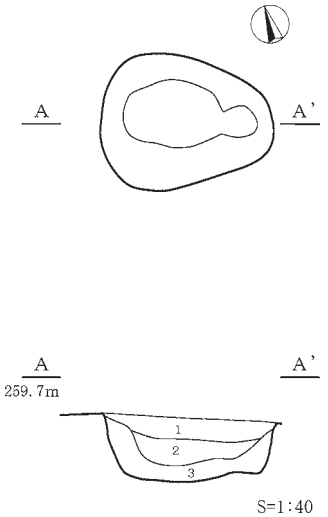
第106図　2号柵列



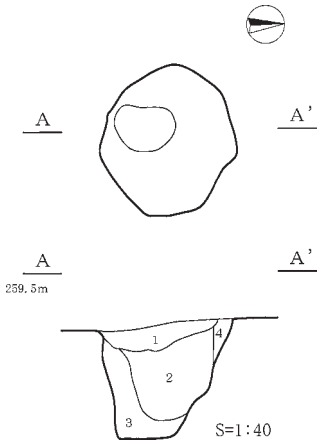
第107図　6号土坑



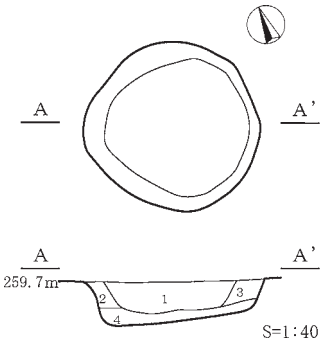
第108図　7号土坑



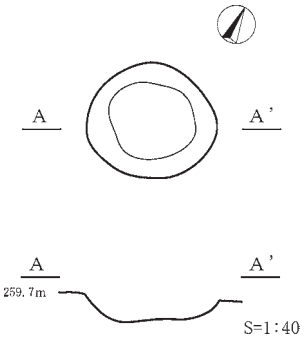
第109図　8号土坑



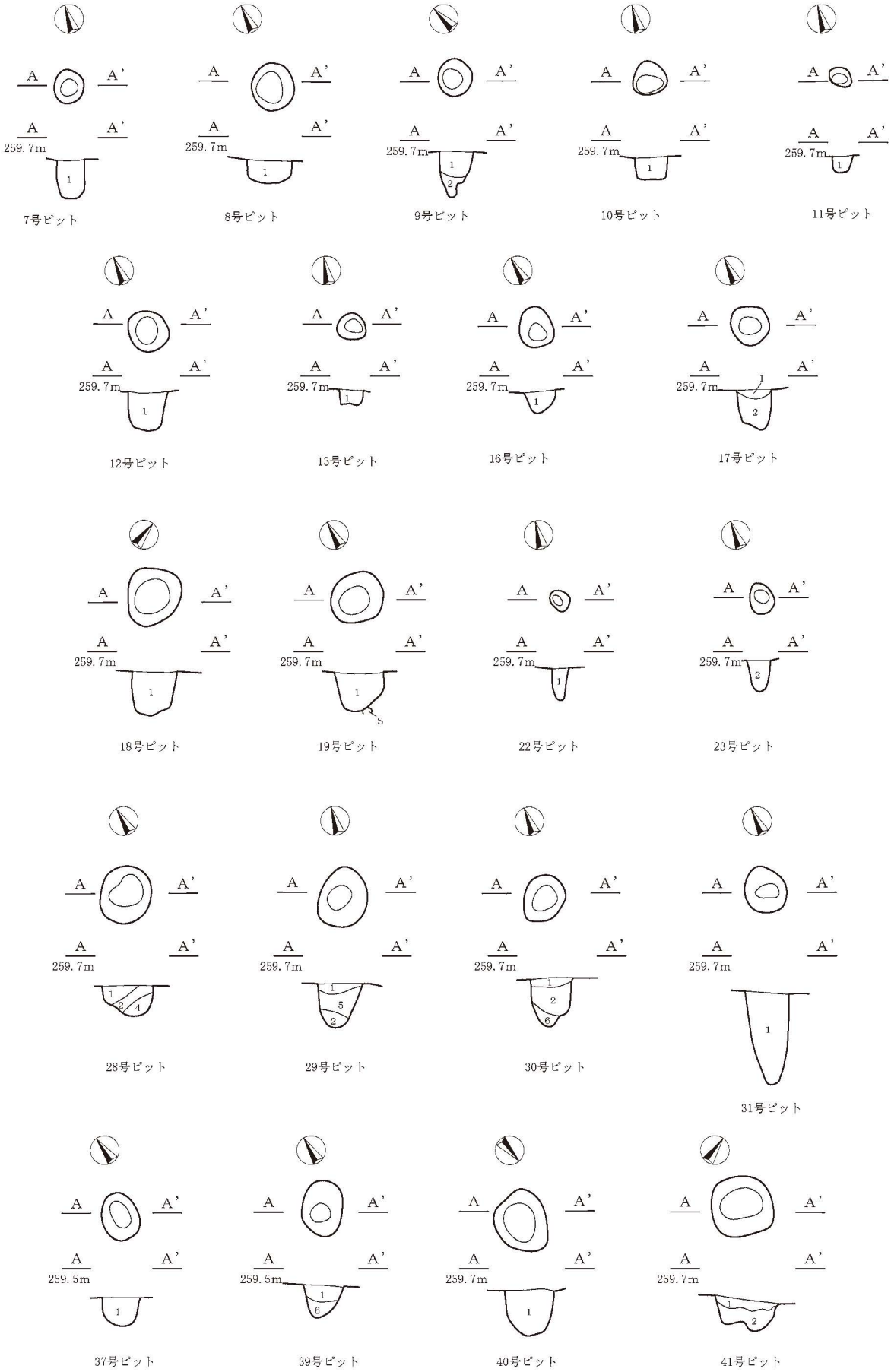
第110図　9号土坑



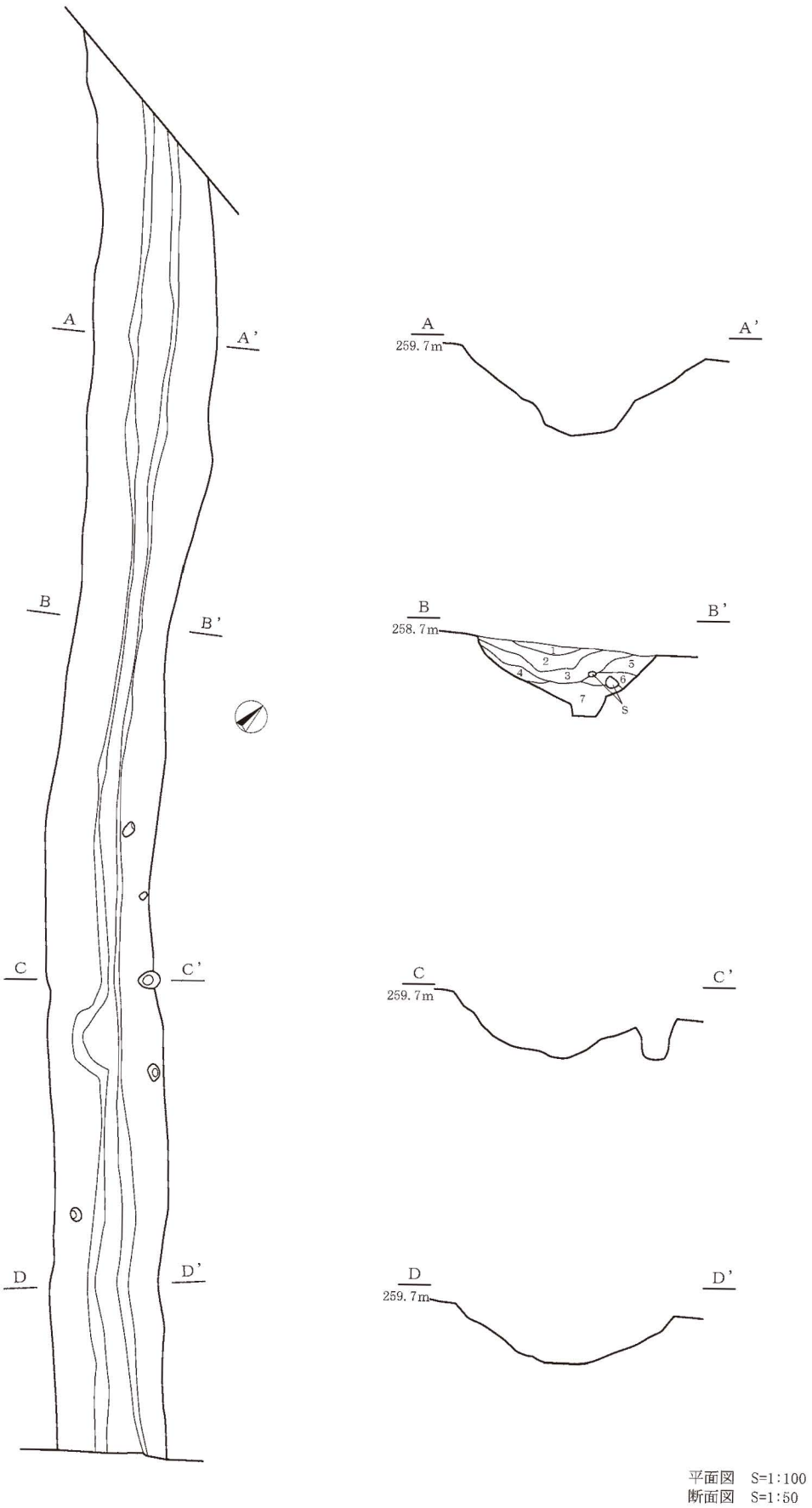
第111図　10号土坑



第112図　13号土坑



第113図　7～13、16～19、22～23、28～31、37、39～41号ピット


A
A'
B
B'
C
C'
D
D'
A
259.7m
A'
B
258.7m
B'
1
2
3
4
5
6
7
S
C
259.7m
C'
D
259.7m
D'
平面図　S=1:100
断面図　S=1:50

第114図　7号溝

20号住居跡

層番	色相　明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		○	△	△	△	△	○	※	白色パミス混入
2	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	○	○	△	△	
3	10YR2/1	黒色土層		△	△	※	※	※	△	※	Ｄ１覆土
4	10YR4/4	褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｄ１覆土
5	7.5YR3/2	黒褐色土層		△	△	△	△	△	△	△	カマド覆土
6	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	△	カマド覆土
7	5YR3/2	暗赤褐色土層		△	△	△	※	※	△	○	カマド覆土
8	7.5YR3/3	暗褐色土層		△	○	○	△	△	※	△	カマド覆土
9	5YR3/6	暗赤褐色土層		※	△	※	※	※	○	○	カマド覆土
10	5YR2/4	極暗赤褐色土層		※	△	※	※	※	△	△	カマド覆土
11	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		○	△	○	○	○	※	※	カマド覆土

23号住居跡

層番	色相　明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR1/2	黒色土層		○	△	△	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	○	○	△	△	
3	7.5YR3/1	黒褐色土層		○	△	△	△	△	※	△	カマド覆土
4	7.5YR3/3	暗褐色土層		△	△	○	△	※	△	△	カマド覆土
5	2.5YR4/3	にぶい赤褐色土層		△	○	△	※	※	○	○	カマド覆土
6	5YR3/2	暗赤褐色土		△	△	△	※	※	△	△	カマド覆土

52号住居跡

層番	色相　明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層	１＜２	○	△	※	※	※	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/1	黒色土層	２＞１	○	△	※	※	※	※	※	白色パミス混入
3	10YR3/3	黒褐色土層		○	○	△	※	※	※	※	
4	10YR4/6	褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	白色パミス混入
5	5YR4/4	にぶい赤褐色土層		○	○	△	△	※	△	○	
6	7.5YR2/1	黒色土層		△	△	△	※	※	△	△	Ｄ１覆土
7	10YR3/1	黒褐色土層	７＞８	△	△	○	○	△	○	○	Ｄ１覆土
8	10YR3/1	黒褐色土層	８＜７	△	△	○	○	△	※	※	Ｄ１覆土
9	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ１覆土
10	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	◎	○	※	※	Ｐ１覆土
11	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	○	○	※	○	△	Ｐ２覆土
12	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	◎	○	※	※	Ｐ２覆土
13	10YR3/3	暗褐色土層		△	△	△	○	△	※	※	Ｐ３覆土
14	10YR5/6	黄褐色土層		△	◎	◎	◎	○	※	※	Ｐ３覆土
15	10YR3/2	黒褐色土層		△	△	○	○	△	※	※	Ｐ４覆土
16	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	◎	△	※	※	Ｐ４覆土
17	10YR2/2	黒褐色土層	17＜18	○	△	△	※	※	※	※	カマド覆土　φ５㎜前後の白色パミス（As－Ｃ？）を全体に含む。
18	10YR2/2	黒褐色土層	18＞17	△	○	○	※	※	※	※	カマド覆土
19	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	○	△	※	△	△	カマド覆土
20	5YR3/4	暗赤褐色土層		△	○	○	○	※	△	◎	カマド覆土
21	7.5YR3/1	黒褐色土層		△	○	○	△	※	△	○	カマド覆土
22	5YR3/4	暗赤褐色土層	22＜23	△	○	※	※	※	○	◎	カマド覆土
23	5YR3/4	暗赤褐色土層	23＞22	△	○	△	※	※	△	◎	カマド覆土

53号住居跡

層番	色相　明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		○	○	※	※	※	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/2	黒褐色土層		○	○	△	※	※	※	※	白色パミス混入
3	10YR2/3	黒褐色土層		○	○	○	△	※	※	※	
4	10YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	※	△	△	
5	10YR3/3	暗褐色土層	５＜６	△	○	○	◎	※	※	※	
6	10YR3/3	暗褐色土層	６＞５	△	○	○	◎	※	※	※	
7	10YR3/3	暗褐色土層	７＞６	△	○	○	◎	※	※	△	
8	10YR3/2	黒褐色土層		△	○	△	△	△	△	※	Ｐ１覆土
9	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	◎	○	○	○	※	※	Ｐ１覆土
10	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	○	△	○	△	△	Ｐ２覆土
11	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	○	△	※	※	Ｐ２覆土
12	10YR3/3	暗褐色土層		△	◎	○	◎	△	※	※	Ｐ３覆土
13	10YR4/4	褐色土層	13＜14	△	◎	◎	◎	※	※	※	Ｐ３覆土
14	10YR4/4	褐色土層	14＞13	○	◎	◎	◎	△	※	※	Ｐ３覆土
15	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	△	※	※	※	Ｐ４覆土
16	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	◎	△	※	※	Ｐ４覆土
17	10YR3/2	黒褐色土層		△	△	△	△	○	△	※	Ｄ１覆土
18	10YR4/1	褐灰色土層		△	○	○	◎	△	※	※	Ｄ１覆土
19	10YR2/1	黒色土層		○	△	※	※	※	※	※	カマド覆土　白色パミス混入
20	10YR3/2	黒褐色土層		○	△	△	△	※	※	△	カマド覆土　白色パミス混入
21	10YR3/4	暗褐色土層	21＞24	△	○	○	△	△	△	○	カマド覆土
22	10YR2/1	黒色土層		△	○	※	※	※	※	※	カマド覆土
23	10YR4/4	褐色土層		△	○	○	○	※	※	△	カマド覆土
24	10YR3/4	暗褐色土層	24＜21	△	○	○	○	○	△	△	カマド覆土
25	10YR5/6	黄褐色土層		○	○	◎	○	○	※	△	カマド覆土
26	10YR3/4	暗褐色土層	26＞21	△	△	○	△	△	△	○	カマド覆土
27	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	△	△	△	※	※	カマド覆土
28	10YR4/6	赤褐色土層		△	○	※	※	※	○	○	カマド覆土
29	5YR4/8	赤褐色土層		×	△	※	※	※	△	◎	カマド覆土
30	2.5YR4/8	赤褐色土層		×	△	※	※	※	○	◎	カマド覆土
31	10YR5/6	黄褐色土層		○	○	○	◎	※	※	※	カマド覆土
32	7.5YR3/3	暗褐色土層		○	△	△	※	※	※	※	カマド覆土
33	5YR4/3	にぶい赤褐色土層		△	△	○	△	△	△	○	カマド覆土
34	5YR5/6	明赤褐色土層		△	△	○	○	△	△	◎	カマド覆土

55号住居跡

層番	色相　明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	△	※	△	△	※	白色パミス混入
2	10YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	△	△	※	※	
3	10YR3/2	黒褐色土層		○	△	△	△	○	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
4	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
5	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	※	※	※	カマド覆土
6	5YR4/4	にぶい赤褐色土層		△	△	※	※	※	△	◎	カマド覆土
7	7.5YR3/3	暗褐色土層		△	△	※	※	△	※	△	カマド覆土
8	5YR3/3	暗赤褐色土層		○	△	※	※	△	※	○	カマド覆土

第60表　20号・23号・52号・53号・55号住居跡土層注記

56号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	7.5YR2/2		黒褐色土層		△	△	○	○	○	※	※	56住より新しい遺構（土坑？）覆土
2	7.5YR1.7/1		黒色土層		○	△	※	※	※	※	※	白色パミス混入
3	7.5YR3/2		黒褐色土層		○	○	△	△	△	※	※	白色パミス混入
4	10YR3/3		暗褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
5	10YR3/4		暗褐色土層		○	○	○	△	△	※	※	
6	10YR4/3		にぶい黄褐色土層		○	○	◎	○	△	※	※	
7	10YR2/3		黒褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
8	10YR3/2		黒褐色土層	8 ＞ 9	○	○	○	△	△	※	※	
9	10YR3/2		黒褐色土層	9 ＜ 8	○	△	△	△	△	○	△	
10	10YR3/3		暗褐色土層		△	○	○	○	○	※	※	
11	10YR3/3		暗褐色土層		△	○	△	△	△	※	※	壁周溝覆土
12	10YR3/3		暗褐色土層		△	○	△	○	△	△	※	Ｄ２覆土
13	10YR5/6		黄褐色土層		△	○	○	○	○	※	※	Ｄ２覆土
14	7.5YR5/6		明褐色土層		△	△	○	△	○	△	△	Ｄ２覆土

58号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/1		黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/1		黒色土層	2 ＞ 6	△	△	△	△	△	※	※	
3	10YR3/2		黒褐色土層	3 ＞ 5	△	△	△	△	△	※	※	
4	10YR4/2		灰黄褐色土層	4 ＜25	△	△	○	○	○	※	※	
5	10YR3/2		黒褐色土層	5 ＜ 3	△	○	△	△	△	△	△	
6	10YR2/1		黒色土層	6 ＜ 2	△	○	※	※	※	※	※	
7	10YR4/3		にぶい黄褐色土層	7 ＜12	○	○	○	○	△	△	△	
8	10YR3/2		黒褐色土層	8 ＜ 5	△	△	△	△	△	※	※	
9	10YR3/4		暗褐色土層		△	○	○	○	○	△	△	
10	10YR4/1		褐灰色土層	10＞11	△	○	△	△	○	※	※	
11	10YR4/1		褐灰色土層	11＜10	△	○	△	△	△	※	※	
12	10YR4/3		にぶい黄褐色土層	12＞ 7	○	△	○	○	○	△	△	２号カマド覆土
13	10YR6/6		明黄褐色土層		○	○	◎	◎	○	△	△	２号カマド覆土
14	5YR4/4		にぶい赤褐色土層		○	○	○	○	△	※	○	２号カマド覆土
15	5YR4/3		にぶい赤褐色土層		○	○	○	○	△	※	○	２号カマド覆土
16	5YR3/2		暗赤褐色土層		○	○	○	△	△	△	○	２号カマド覆土
17	7.5YR5/8		明褐色土層		△	○	○	○	△	△	△	２号カマド覆土
18	7.5YR2/1		黒色土層		△	○	△	△	△	○	○	２号カマド覆土
19	5YR5/6		明赤褐色土層		△	○	○	△	△	○	◎	２号カマド覆土
20	2.5YR5/8		明赤褐色土層		△	○	△	※	※	○	◎	２号カマド覆土
21	2.5YR4/2		灰褐色土層		△	△	△	△	△	※	※	
22	7.5YR4/6		褐色土層		△	○	○	○	※	△	△	
23	7.5YR4/3		褐色土層		△	△	○	○	※	△	○	２号カマド覆土
24	5YR5/4		にぶい赤褐色土層		△	△	△	△	△	△	○	２号カマド覆土
25	10YR4/2		灰黄褐色土層	25＞ 4	○	△	△	○	△	△	△	
26	10YR5/6		黄褐色土層		○	○	○	◎	△	※	△	
27	2.5YR4/8		赤褐色土層		△	○	△	△	※	△	◎	２号カマド覆土
28	10YR2/2		黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	※	１号カマド覆土
29	7.5YR4/4		褐色土層		△	○	△	△	△	※	△	１号カマド覆土
30	5YR3/2		暗赤褐色土層		△	△	△	※	△	△	△	１号カマド覆土
31	5YR4/3		にぶい赤褐色土層		△	○	○	△	△	△	○	１号カマド覆土
32	5YR4/6		赤褐色土層		△	△	△	△	△	△	◎	１号カマド覆土
33	7.5YR3/1		黒褐色土層		○	△	※	※	△	△	△	Ｐ１覆土
34	10YR4/3		にぶい黄褐色土層		△	○	△	○	△	※	※	Ｐ１覆土
35	10YR3/4		暗褐色土層	35＞44	△	○	△	△	△	※	※	Ｐ１覆土
36	10YR3/2		黒褐色土層	36＞50	△	○	○	△	△	※	※	Ｐ２覆土
37	10YR5/3		にぶい黄褐色土層	37＜38	○	○	○	○	△	※	※	Ｐ２覆土
38	10YR5/3		にぶい黄褐色土層	38＞37	○	○	○	○	△	※	※	Ｐ２覆土
39	10YR3/3		暗褐色土層	39＞40	△	△	○	△	△	※	※	壁周溝覆土
40	10YR3/3		暗褐色土層	40＜39	△	△	○	△	△	※	※	壁周溝覆土
41	7.5YR2/2		黒褐色土層		○	△	△	△	△	△	△	Ｐ３覆土
42	10YR6/6		明黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	△	Ｐ３覆土
43	10YR2/2		黒褐色土層		○	△	△	△	△	※	※	Ｐ４覆土
44	10YR3/4		暗褐色土層	44＜35	○	○	※	※	※	※	※	Ｐ４覆土
45	10YR8/6		黄橙色土層		△	△	○	△	△	※	※	Ｐ４覆土
46	10YR5/3		にぶい黄褐色土層		△	△	○	△	△	※	※	壁周溝覆土
47	10YR4/2		灰黄褐色土層		△	△	○	○	△	※	※	壁周溝覆土
48	10YR2/1		黒色土層		△	△	※	※	△	△	△	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
49	10YR4/6		褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
50	10YR3/2		黒褐色土層	50＜36	△	○	△	※	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土

59号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/1		黒褐色土層		△	△	△	△	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR3/4		暗褐色土層		△	△	○	○	△	△	△	
3	10YR3/3		暗褐色土層	3 ＜ 5	△	△	○	△	△	△	△	
4	10YR2/1		黒色土層	4 ＞ 8	△	△	△	※	△	※	※	
5	10YR3/3		暗褐色土層	5 ＞ 3	△	△	○	△	※	※	※	
6	10YR4/3		にぶい黄褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
7	10YR3/2		黒褐色土層		△	△	△	△	△	※	※	
8	10YR2/1		黒色土層	8 ＜ 4	△	△	※	※	△	△	△	
9	5YR3/4		暗赤褐色土層		△	△	△	※	※	○	○	
10	2.5YR4/6		赤褐色土層		△	△	△	※	※	△	◎	カマド覆土
11	10YR3/1		黒褐色土層		△	○	△	△	△	※	※	Ｐ５覆土

61号住居跡(1)

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1		黒色土層	1 ＜ 6	○	△	※	—	※	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/2		黒褐色土層	2 ＞ 5	○	△	△	※	△	※	※	〃
3	10YR3/4		暗褐色土層	3 ＞ 7	△	○	○	○	△	※	※	白色パミス若干混入
4	10YR2/3		黒褐色土層		△	○	△	△	※	※	※	黒色土がブロック状に混入
5	10YR2/2		黒褐色土層	5 ＜ 2	△	△	△	※	※	※	※	
6	10YR2/1		黒色土層	6 ＞ 1	○	○	※	※	※	○	△	
7	10YR3/4		暗褐色土層	7 ＜ 3	○	○	○	○	○	△	△	
8	7.5YR3/4		暗褐色土層		○	○	○	○	△	△	○	
9	7.5YR2/1		黒色土層		△	○	△	△	※	△	△	
10	10YR4/6		褐色土層		○	○	○	◎	※	※	※	
11	10YR2/1		黒色土層	11＜ 1	○	○	△	※	※	※	※	
12	10YR3/4		暗褐色土層	12＞ 3	○	○	○	△	△	※	※	
13	10YR3/1		黒褐色土層		△	○	△	△	※	※	※	
14	10YR3/3		暗褐色土層		○	○	○	○	※	△	○	
15	10YR3/1		黒褐色土層		△	△	△	△	△	※	※	壁周溝覆土
16	10YR3/3		暗褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ２覆土

第61表　56号・58号・59号・61号住居跡土層注記

61号住居跡(2)

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
17	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	△	△	△	※	※	Ｐ１覆土
18	10YR3/4	暗褐色土層		△	△	○	○	△	※	※	壁周溝覆土
19	10YR3/2	黒褐色土層		△	○	△	△	△	△	△	壁周溝覆土
20	10YR2/2	黒褐色土層		△	○	※	※	※	※	※	Ｐ４覆土
21	10YR2/3	黒褐色土層		○	○	△	※	※	※	※	Ｐ４覆土
22	10YR5/6	黄褐色土層		△	○	◎	○	△	※	※	Ｐ４覆土
23	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	※	△	※	※	Ｐ３覆土
24	7.5YR2/1	黒色土層		△	○	△	※	△	△	※	Ｐ５覆土
25	10YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ５覆土
26	10YR4/4	褐色土層		△	△	○	○	△	※	※	Ｐ６覆土
27	10YR3/2	黒褐色土層		△	○	△	○	△	※	※	Ｐ７覆土
28	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	※	※	△	※	Ｐ８覆土
29	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ８覆土
30	10YR4/2	灰黄褐色土層		△	○	○	○	○	△	△	Ｐ９覆土
31	10YR6/6	明黄褐色土層		△	◎	◎	◎	△	※	※	Ｐ９覆土
32	10YR3/1	黒色土層		○	○	※	※	※	○	△	カマド覆土
33	10YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	○	○	△	△	カマド覆土
34	7.5YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	○	△	△	○	カマド覆土
35	10YR2/2	黒褐色土層	35＞42	○	○	○	○	○	△	△	カマド覆土
36	7.5YR2/1	黒色土層		△	○	△	△	※	△	△	カマド覆土
37	10YR4/6	褐色土層		○	○	○	◎	※	※	※	カマド覆土
38	10YR5/4	にぶい黄褐色土層		△	○	○	◎	△	※	※	カマド覆土
39	10YR5/6	黄褐色土層		△	○	◎	◎	△	※	※	カマド覆土
40	10YR3/3	暗褐色土層	40＜41	◎	△	○	○	※	※	※	カマド覆土
41	10YR3/3	暗褐色土層	41＞40	◎	△	○	○	※	※	※	カマド覆土
42	10YR2/2	黒褐色土層	42＜35	○	△	△	△	△	△	△	カマド覆土
43	5YR4/4	にぶい赤褐色土層		△	△	※	※	※	○	○	カマド覆土
44	2.5YR4/6	赤褐色土層		△	△	※	※	※	○	◎	カマド覆土
45	7.5YR3/1	黒褐色土層		○	○	○	○	△	△	△	カマド覆土
46	5YR3/4	暗赤褐色土層		△	△	△	△	○	○	○	カマド覆土
47	10YR4/3	にぶい黄褐色土層	47＞49	○	○	○	○	△	△	△	カマド覆土
48	10YR2/1	黒色土層		△	△	△	○	※	○	※	カマド覆土
49	10YR4/3	にぶい黄褐色土層	49＜47	○	○	○	○	△	※	※	カマド覆土
50	2.5YR4/8	赤褐色土層		△	△	※	※	※	○	◎	カマド覆土
51	5YR2/2	黒褐色土層		△	△	※	※	※	○	△	カマド覆土
52	7.5YR2/2	黒褐色土層		△	○	※	※	※	○	○	カマド覆土　支脚痕か？

62号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層		○	△	△	※	△	※	※	
2	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	○	○	△	△	※	
3	2.5YR4/3	にぶい赤褐色土層		△	△	△	※	※	△	○	カマド覆土
4	2.5YR3/2	暗赤褐色土層		△	△	△	※	※	△	△	カマド覆土
5	2.5YR4/6	赤褐色土層		△	△	△	※	※	○	◎	カマド覆土
6	7.5YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	△	△	△	△	カマド覆土
7	10YR3/4	褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	カマド覆土
8	10YR3/2	黒褐色土層		○	△	△	△	△	△	△	Ｄ２覆土
9	10YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｄ２覆土

63号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR4/1	褐灰色土層		—	—	—	—	—	—	—	礫を含む攪乱
2	10YR3/1	黒褐色土層		○	○	△	※	△	○	※	
3	10YR2/2	黒褐色土層		△	△	※	※	△	※	※	
4	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
5	10YR4/4	褐色土層		△	○	◎	○	△	※	※	

64号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	△	△	※	白色パミス混入
2	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	○	△	△	△	※	
3	10YR2/1	黒色土層		△	○	△	△	※	○	△	
4	10YR4/6	褐色土層		○	○	○	○	△	△	△	床面より下の層
5	10YR5/4	にぶい黄褐色土層		○	○	◎	◎	○	○	△	
6	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	△	△	○	△	
7	7.5YR4/4	褐色土層		○	△	△	○	△	△	△	２号カマド覆土
8	10YR2/2	黒褐色土層		○	△	△	△	△	○	△	２号カマド覆土
9	5YR4/3	にぶい赤褐色土層		△	△	○	△	△	○	○	２号カマド覆土
10	7.5YR4/2	灰褐色土層		△	△	○	○	△	△	△	２号カマド覆土
11	10YR5/6	黄褐色土層		○	○	○	○	△	△	△	２号カマド覆土
12	5YR4/6	赤褐色土層		※	△	△	△	※	△	◎	２号カマド覆土
13	7.5YR5/4	にぶい褐色土層		○	○	△	△	△	△	○	２号カマド覆土
14	2.5YR5/8	明赤褐色土層		△	△	※	※	※	△	◎	２号カマド覆土
15	7.5YR4/3	褐色土層		○	△	△	△	△	△	△	２号カマド覆土
16	7.5YR2/3	極暗褐色土層		○	△	△	△	△	○	○	２号カマド覆土
17	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	△	○	○	△	△	２号カマド覆土
18	10YR4/2	灰黄褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	２号カマド覆土
19	7.5YR3/2	黒褐色土層		△	△	△	△	△	○	△	２号カマド覆土
20	5YR2/2	黒褐色土層		△	△	△	△	※	○	○	２号カマド覆土
21	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	△	△	※	１号カマド覆土　白色パミス混入
22	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	○	△	△	△	※	１号カマド覆土
23	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	△	△	○	△	△	１号カマド覆土
24	10YR4/4	褐色土層		○	○	○	○	○	○	△	１号カマド覆土
25	10YR3/1	黒褐色土層		△	○	△	※	△	※	※	Ｐ１覆土
26	10YR5/6	黄褐色土層		△	◎	◎	○	○	※	※	Ｐ１覆土
27	10YR4/2	灰黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ２覆土
28	10YR4/4	褐色土層		△	◎	◎	◎	△	※	※	Ｐ２覆土
29	10YR3/1	黒褐色土層		○	○	○	△	△	△	△	Ｐ５覆土
30	10YR2/1	黒色土層		△	△	△	△	※	○	△	Ｐ３覆土
31	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	○	△	※	Ｐ３覆土
32	10YR2/2	黒褐色土層		△	○	△	△	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
33	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
34	10YR4/6	黒褐色土層		△	◎	◎	◎	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
35	7.5YR3/1	黒褐色土層	35＞36	○	△	△	△	△	△	○	Ｐ６覆土
36	7.5YR3/1	黒褐色土層	36＜35	○	△	△	△	※	△	△	Ｄ２覆土
37	10YR7/6	明黄褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	Ｄ２覆土
38	10YR5/8	黄褐色土層		○	○	○	△	※	△	△	Ｄ２覆土
39	10YR2/1	黒色土層		△	○	△	△	△	※	※	Ｐ８覆土
40		黒褐色土層									40～42層は注記前に掘削してしまった為、分かる範囲での記録である
41		暗褐色土層									ローム粒　ロームブロック混入
42		褐色土層									やや砂質　しまりなし

第62表　61号・62号・63号・64号住居跡土層注記

65号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層			○	△	※	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/2	黒褐色土層		2 ＜ 4	○	△	△	※	△	※	※	白色パミス若干混入
3	10YR3/2	黒褐色土層			△	△	△	△	○	△	※	
4	10YR2/2	黒褐色土層		4 ＞ 2	△	△	△	※	※	※	※	
5	10YR3/3	暗褐色土層			○	○	○	○	△	△	△	
6	10YR4/2	灰黄褐色土層			○	○	○	△	※	※	※	
7	10YR4/3	にぶい黄褐色土層			○	○	△	○	△	※	※	

66号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		1 ＜ 7	△	△	△	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR3/3	暗褐色土層			△	○	○	○	△	※	※	
3	10YR3/1	黒褐色土層			△	△	△	※	△	※	※	
4	10YR2/2	黒褐色土層			△	△	△	※	△	※	※	
5	10YR3/4	暗褐色土層			△	○	○	○	△	※	※	
6	10YR4/2	灰黄褐色土層			○	△	○	○	△	△	△	貼り床　本層上面が床面
7	10YR2/1	黒色土層		7 ＞ 1	△	○	△	△	△	△	△	床面より下の層
8	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		8 ＞ 9	△	○	○	○	△	※	※	壁周溝覆土
9	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		9 ＜ 8	△	○	○	△	△	※	※	壁周溝覆土

69号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/1	黒褐色土層			○	△	※	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR3/2	黒褐色土層			○	○	△	※	△	※	※	
3	10YR4/6	暗褐色土層			○	○	○	△	△	△	△	
4	10YR2/1	黒色土層			△	△	※	※	△	※	※	
5	10YR2/2	黒褐色土層			○	○	△	△	△	△	△	
6	10YR4/2	灰黄褐色土層			○	○	○	○	△	※	※	
7	10YR2/3	黒褐色土層			△	△	△	△	△	※	※	
8	10YR3/1	黒褐色土層			○	△	※	※	○	△	※	白色パミス混入
9	10YR3/2	黒褐色土層			△	△	△	※	△	△	※	
10	10YR3/4	暗褐色土層			△	○	○	○	△	※	※	
11	10YR3/1	黒褐色土層			○	△	※	※	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
12	10YR3/3	暗褐色土層			△	○	△	△	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
13	10YR4/2	灰黄褐色土層			※	◎	○	○	△	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土

70号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層			○	△	※	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/2	黒褐色土層			○	△	※	※	△	※	※	白色パミス少量混入
3	10YR3/4	暗褐色土層			○	△	△	△	△	△	△	
4	10YR4/3	褐色土層			○	○	○	△	△	△	△	
5	10YR4/2	灰黄褐色土層			○	○	○	○	△	△	△	
6	10YR3/1	黒褐色土層		6 ＜ 7	△	○	△	△	△	△	△	
7	10YR3/1	黒褐色土層		7 ＞ 6	△	○	△	※	△	※	※	

71号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/2	黒褐色土層			○	△	△	※	△	○	△	
2	10YR3/4	暗褐色土層			○	○	○	○	△	△	△	

掘立柱建物跡・柵列・ピット

※調査区西部で検出された掘立柱建物跡・柵列・ピット群には、覆土上層に共通する（近似している）黒褐色土層が存在する。近似する注記が多くなるため、いくつかの層に類型し記録した。

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層			△	△	△	※	△	※	※	白色パミス（As－Ｃ？）が全体に混入する
2	10YR3/4	暗褐色土層			△	○	○	△	△	※	※	１層の白色パミスは混入しない
3	10YR4/4	褐色土層			○	△	○	○	△	※	※	
4	10YR2/1	黒色土層			△	△	△	※	△	※	※	１層よりやや色調暗く、白色パミスは混入しない
5	10YR3/2	黒褐色土層			△	△	△	△	△	※	※	白色パミス混入
6	10YR4/3	にぶい黄褐色土層			△	○	○	○	△	※	※	
7	10YR2/1	黒色土層		7 ＜ 9	△	△	△	△	△	※	※	白色パミス混入
8	10YR3/3	暗褐色土層			△	○	○	△	△	※	※	
9	10YR2/1	黒色土層		9 ＞ 7	△	△	△	※	△	※	※	白色パミス混入
10	10YR4/6	褐色土層			○	○	◎	○	△	※	※	

６号土坑

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層			◎	△	△	△	○	△	※	
2	10YR3/4	暗褐色土層			○	○	○	○	○	※	※	

８号土坑

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層			△	△	△	※	△	※	※	白色パミス若干混入
2	10YR3/2	黒褐色土層			△	△	△	△	△	※	※	
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土層			△	○	○	○	△	※	※	

９号土坑

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR3/3	暗褐色土層			△	○	△	※	△	×	×	
2	10YR3/1	黒褐色土層			△	○	△	△	△	×	×	
3	10YR4/3	にぶい黄褐色土層			△	◎	○	○	△	×	×	
4	10YR4/6	褐色土層			—	—	—	—	—	—	—	地山　掘りすぎ

10号土坑

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層			△	△	△	※	△	△	※	白色パミス混入
2	10YR3/4	暗褐色土層			△	○	△	△	△	※	※	
3	10YR3/3	暗褐色土層			△	○	△	※	△	※	※	
4	10YR4/4	褐色土層			△	○	○	◎	△	※	※	

第63表　65号・66号・69号・70号・71号住居跡、掘立柱建物跡・柵列・ピット・土坑土層注記

7号溝

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒色土層		△	△	※	※	※	※	※	白色パミス混入（As－C？）
2	10YR3/1	黒褐色土層		△	△	※	※	※	※	※	
3	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	△	※	※	※	※	
4	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	△	※	※	※	※	
5	10YR4/2	灰黄褐色土層		△	○	△	△	※	※	※	
6	10YR4/4	褐色土層		△	○	○	○	※	※	※	
7	10YR5/6	黄褐色土層		×	×	△	△	※	※	※	砂質でしまりなし　指頭大～こぶし大の礫混入

第64表　7号溝土層注記

（単位はcm）

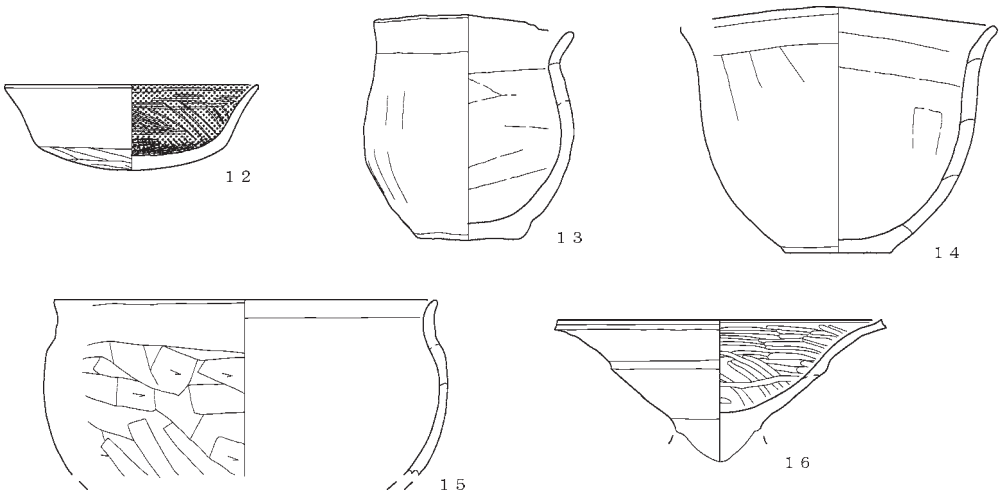
遺構名	規模（上）		規模（下）		深さ	平面形態	断面	備　考
	長軸	短軸	長軸	短軸				
6号土坑	290	不明	277	不明	37	円形？	箱状？	数値は残存部におけるもの
7号土坑	283	149	201	90	43	不整形	不整形	風倒木痕の可能性あり
8号土坑	91	72	70	34	61	楕円形	箱状	
9号土坑	81	70	32	23	61	楕円形	箱状	
10号土坑	93	90	75	72	22	円形	箱状	
13号土坑	69	61	48	40	13	円形	皿状	

第65表　土坑観察表

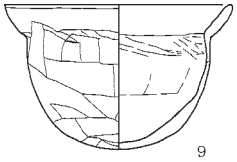
（単位はcm）

遺構名	規模（上）		規模（下）		深さ	平面形態	断面	備　考
	長軸	短軸	長軸	短軸				
1号ピット	41	38	14	12	31	円形	箱状	1号掘立柱建物跡
2号ピット	38	35	20	16	31	円形	椀状	1号掘立柱建物跡
3号ピット	34	31	23	20	20	円形	椀状	1号掘立柱建物跡
4号ピット	35	31	19	17	19	円形	箱状	1号掘立柱建物跡
5号ピット	37	33	22	17	29	円形	椀状	1号掘立柱建物跡
6号ピット	36	33	23	22	24	円形	箱状	1号掘立柱建物跡
7号ピット	24	21	12	10	27	円形	箱状	
8号ピット	33	28	22	17	16	楕円形	箱状	
9号ピット	26	23	13	12	32	円形	不整形	
10号ピット	24	23	18	12	15	隅丸三角形	箱状	
11号ピット	18	13	10	7	10	楕円形	椀状	
12号ピット	32	27	18	13	27	円形	椀状	
13号ピット	20	18	12	9	10	円形	箱状	
14号ピット	43	34	18	12	59	楕円形	椀状	2号掘立柱建物跡
15号ピット	42	37	17	13	55	円形	椀状	2号掘立柱建物跡
16号ピット	28	23	12	11	15	楕円形	椀状	
17号ピット	29	28	16	12	28	円形	椀状	
18号ピット	41	37	28	21	30	円形	椀状	
19号ピット	38	34	21	17	26	円形	椀状	
20号ピット	45	35	23	17	39	楕円形	椀状	2号掘立柱建物跡
21号ピット	46	41	18	13	48	楕円形	不整形	2号掘立柱建物跡
22号ピット	16	13	8	6	21	円形	椀状	
23号ピット	24	18	12	9	22	楕円形	椀状	
24号ピット	36	28	19	15	39	円形	箱状	1号柵列
25号ピット	32	29	13	9	32	円形	椀状	1号柵列
26号ピット	36	28	16	12	35	楕円形	椀状	1号柵列
27号ピット	30	28	18	11	26	円形	椀状	1号柵列
28号ピット	40	34	24	19	22	円形	椀状	
29号ピット	41	32	18	13	32	楕円形	椀状	
30号ピット	36	29	20	14	35	楕円形	不整形	
31号ピット	33	30	18	10	63	円形	椀状	
32号ピット	43	29	22	13	32	楕円形	箱状	2号柵列
33号ピット	33	29	18	12	33	円形	椀状	2号柵列
34号ピット	31	24	16	11	18	楕円形	椀状	2号柵列
35号ピット	不明	不明	不明	不明	21	不明	椀状	36号ピットと重複　本ピットが新しい
36号ピット	不明	不明	不明	不明	25	不明	不明	2号柵列　35号ピットと重複
37号ピット	34	23	20	11	19	楕円形	椀状	
38号ピット	36	33	19	16	48	円形	椀状	2号掘立柱建物跡
39号ピット	38	27	13	12	23	楕円形	椀状	
40号ピット	43	37	28	21	33	円形	椀状	
41号ピット	42	41	30	19	21	隅丸方形	不整形	
42号ピット	不明	不明	38	23	53	楕円形？	椀状	2号掘立柱建物跡　43号ピットと重複
43号ピット	不明	不明	不明	不明	53	不明	不明	42号ピットと重複　本ピットが旧い

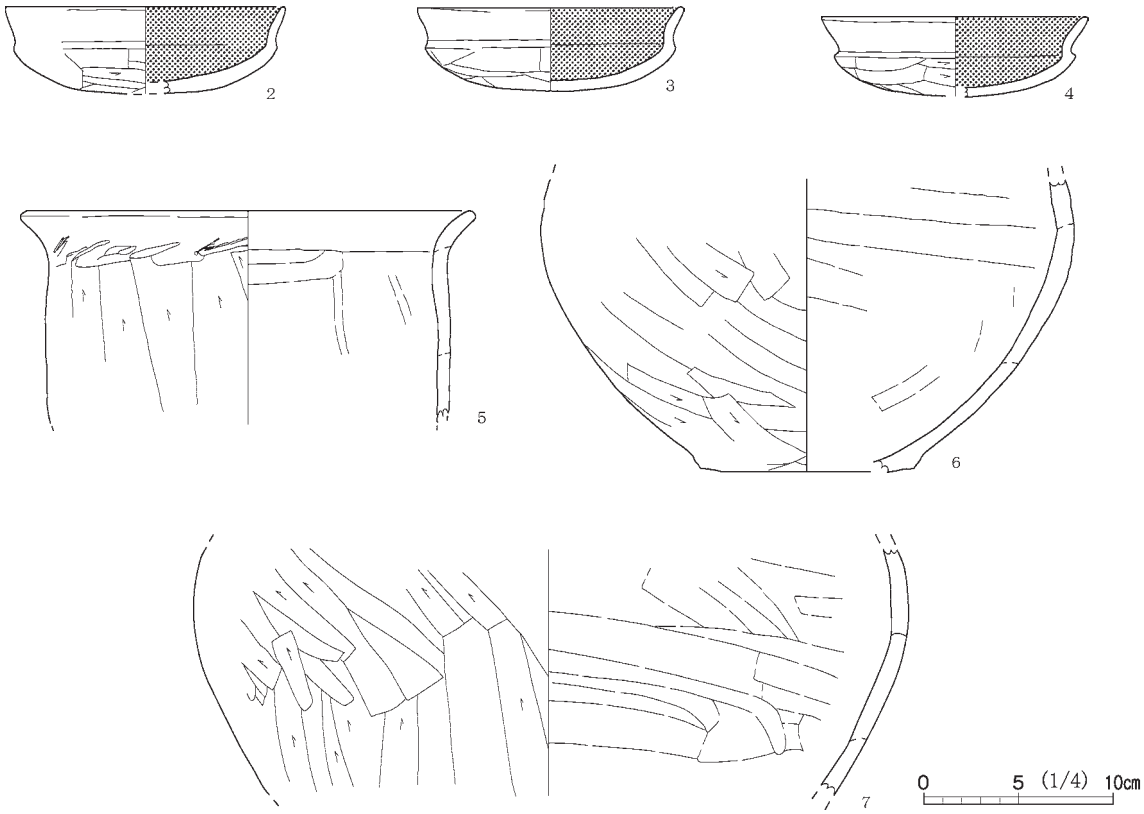
第66表　ピット観察表



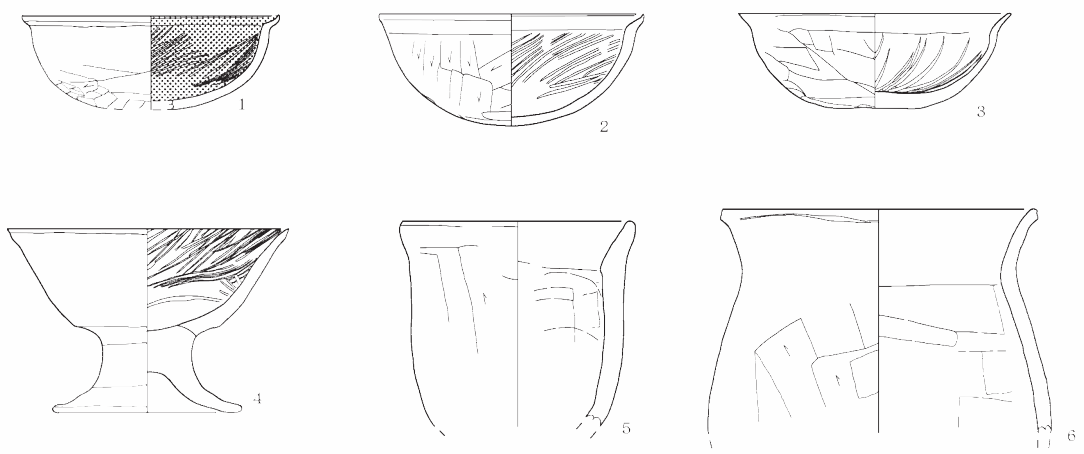
第115図　13号住居跡出土遺物



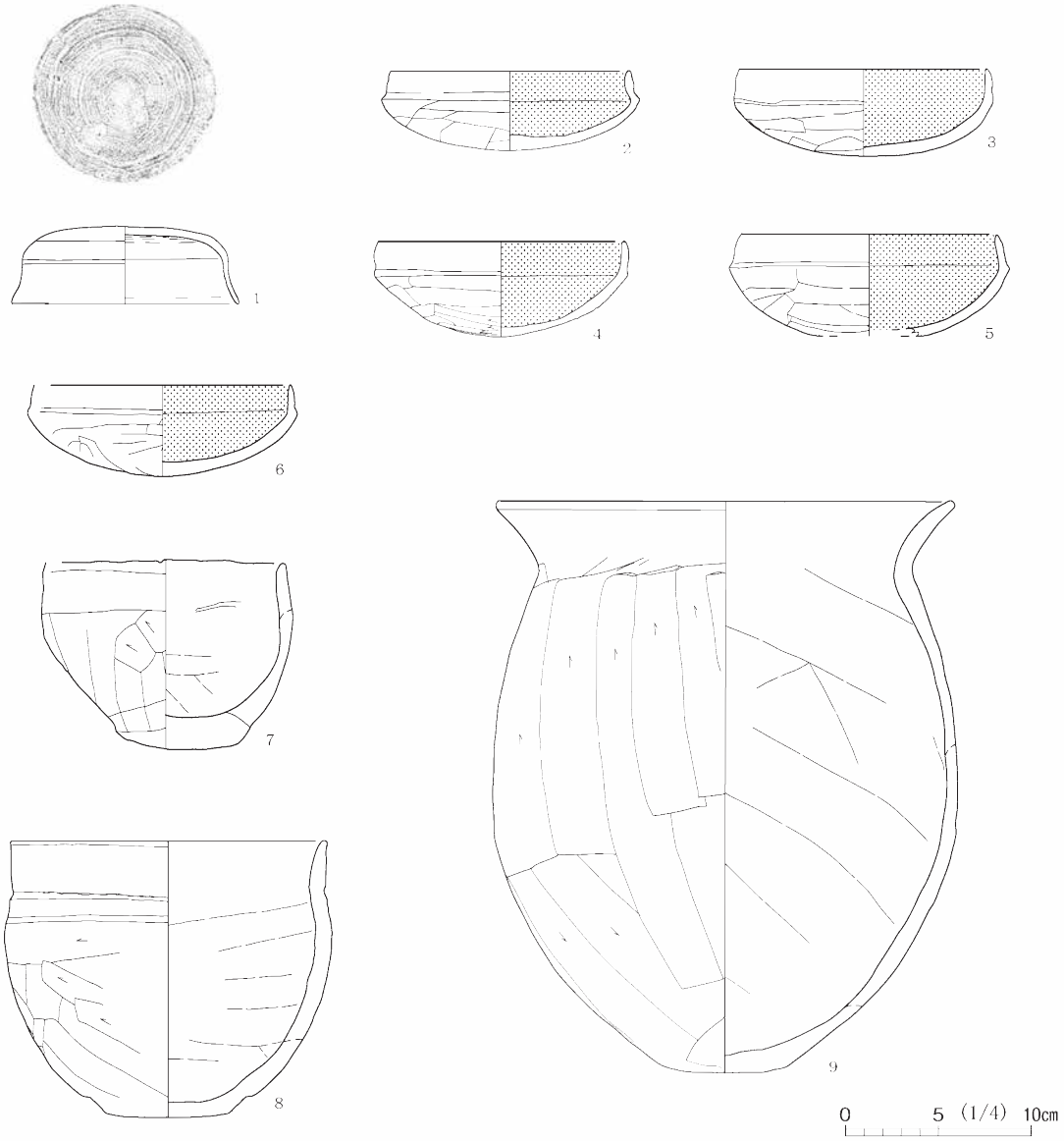
第116図　18号住居跡出土遺物



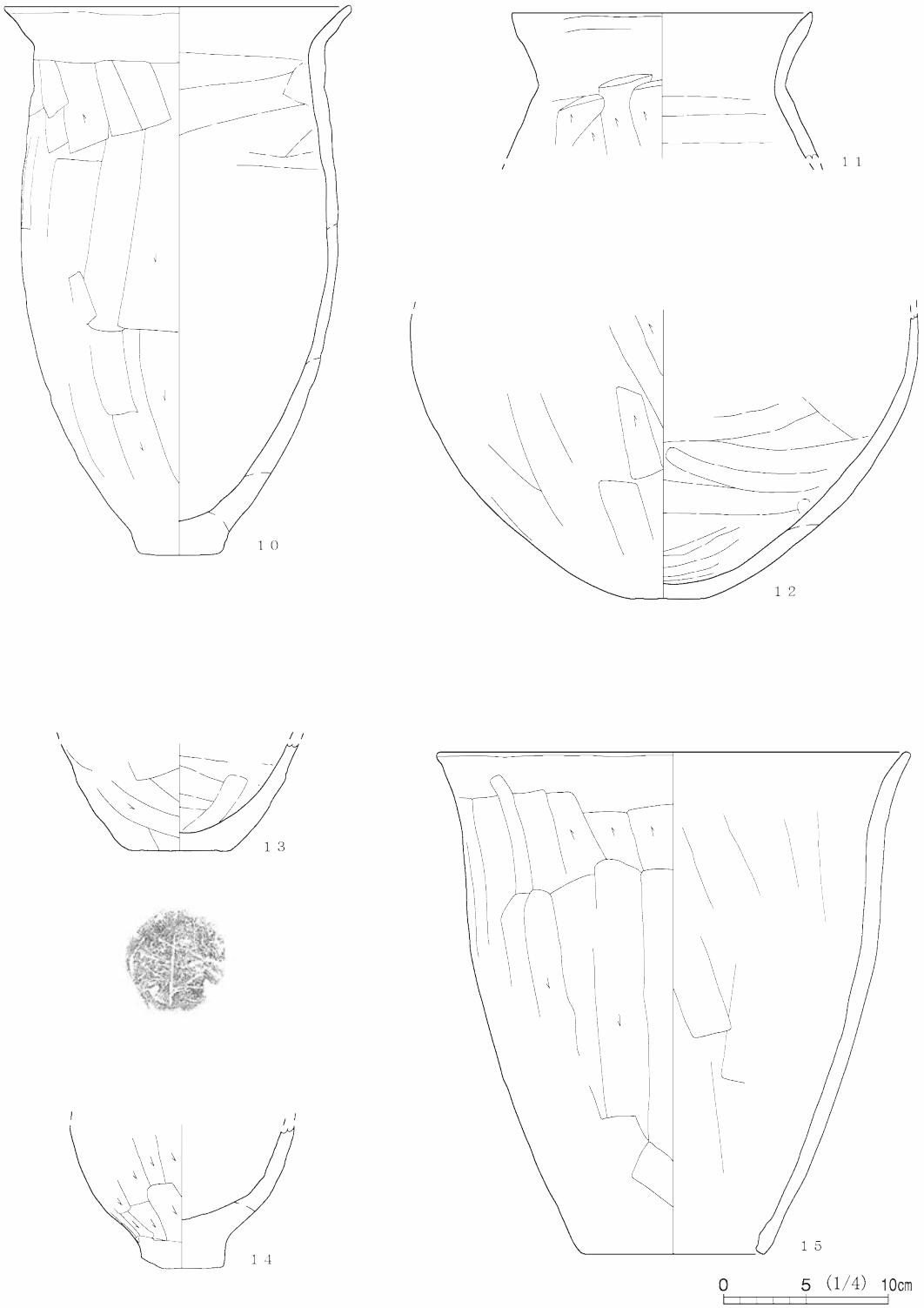
第117図　20号住居跡出土遺物



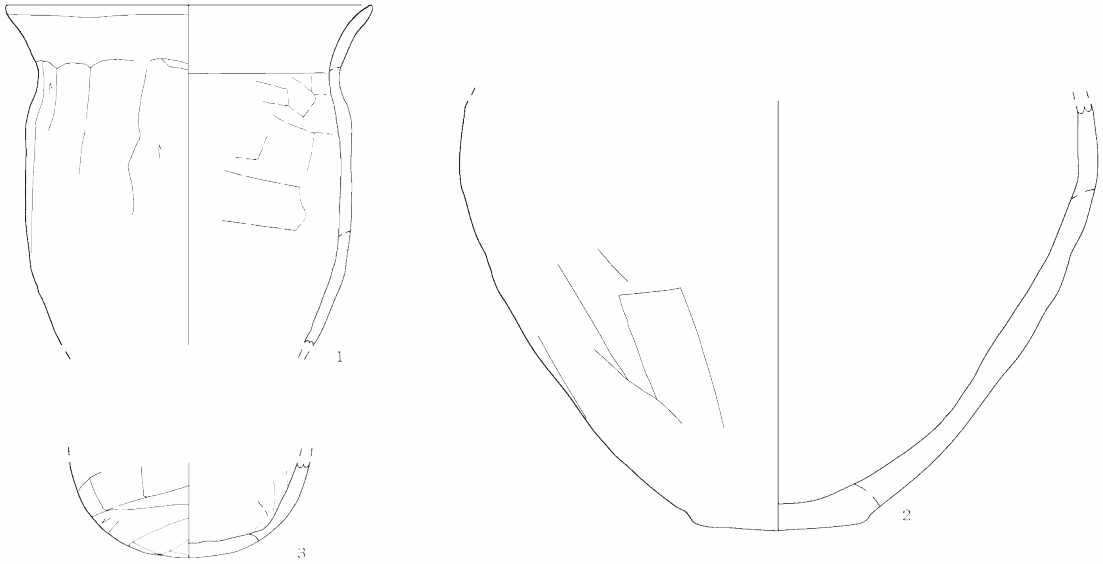
第118図　52号住居跡出土遺物



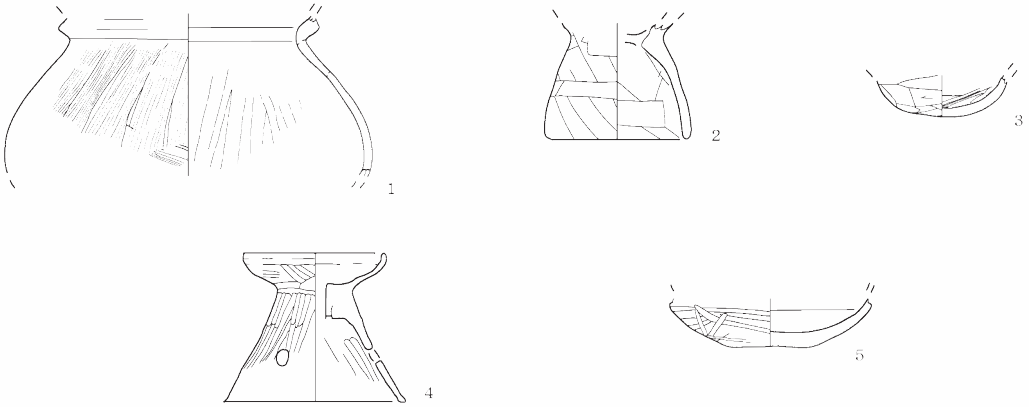
第119図　53号住居跡出土遺物(1)



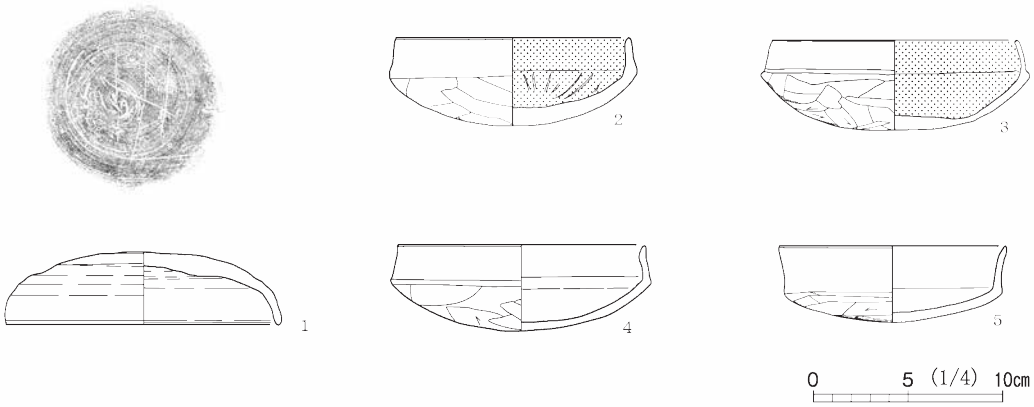
第120図　53号住居跡出土遺物(2)



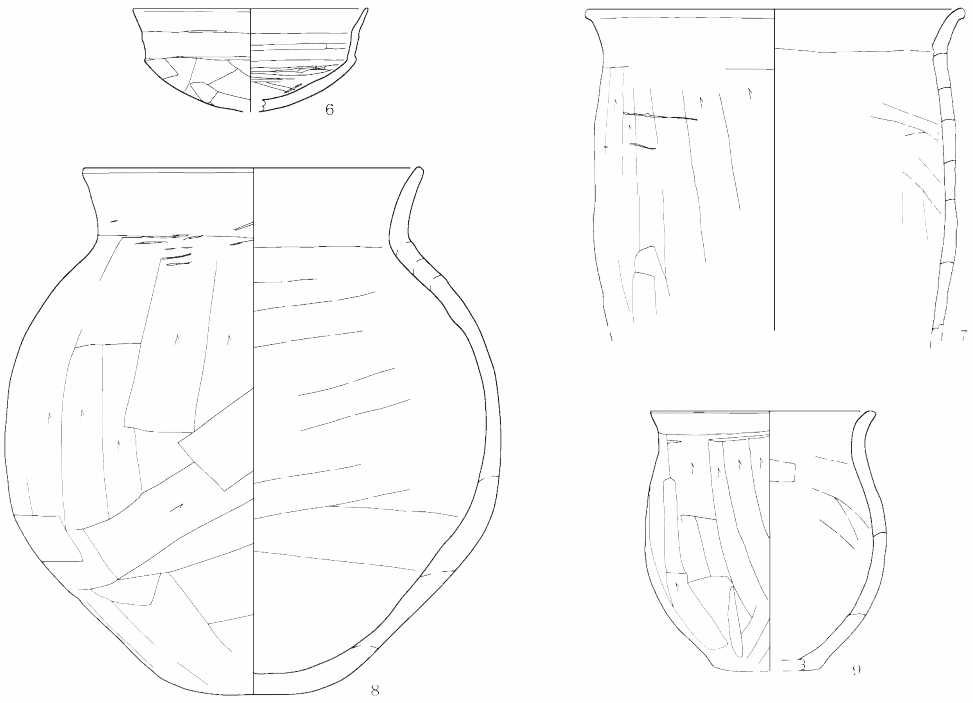
第121図　55号住居跡出土遺物



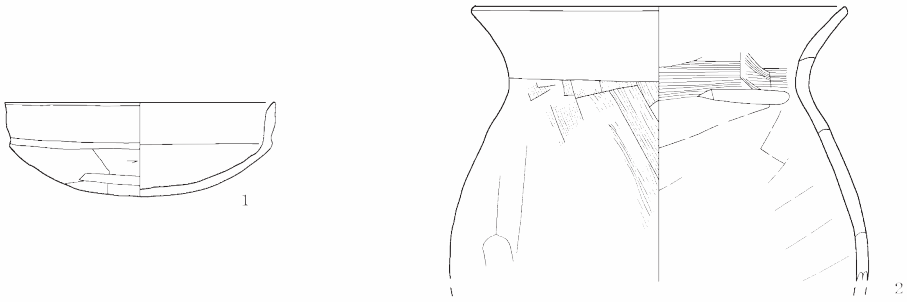
第122図　56号住居跡出土遺物



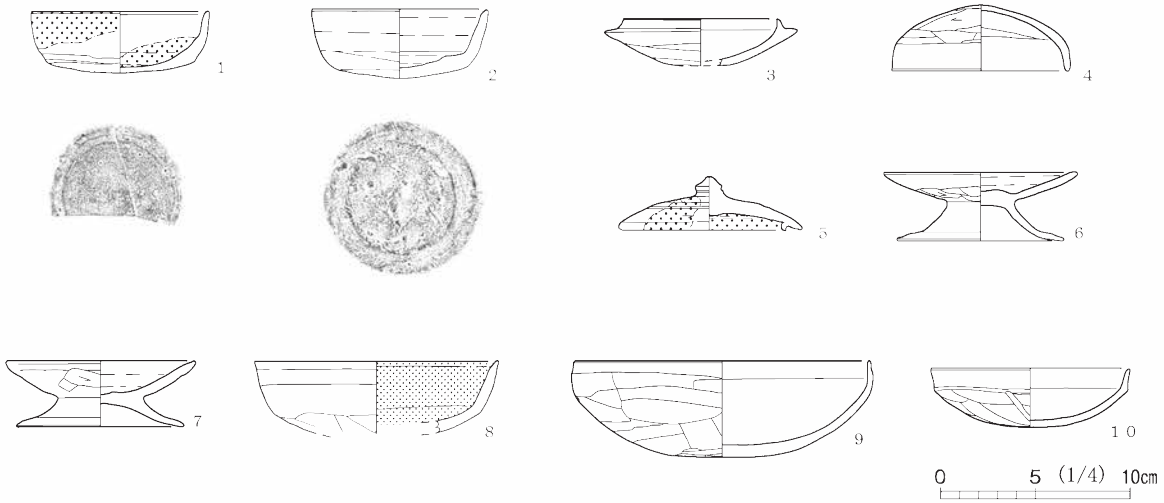
第123図　58号住居跡出土遺物(1)



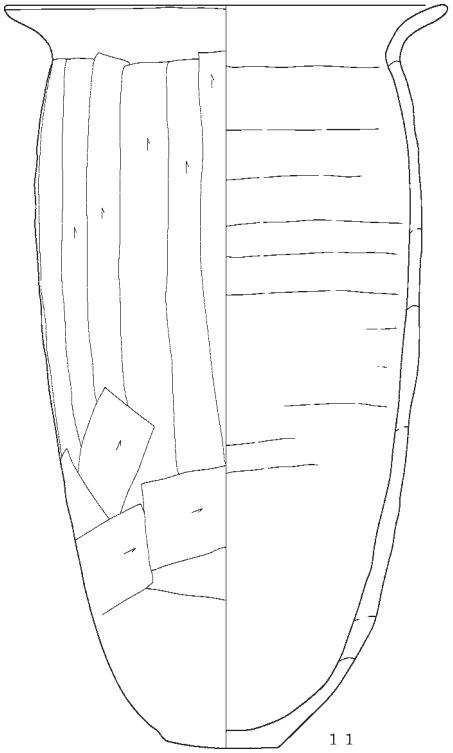
第124図　58号住居跡出土遺物(2)

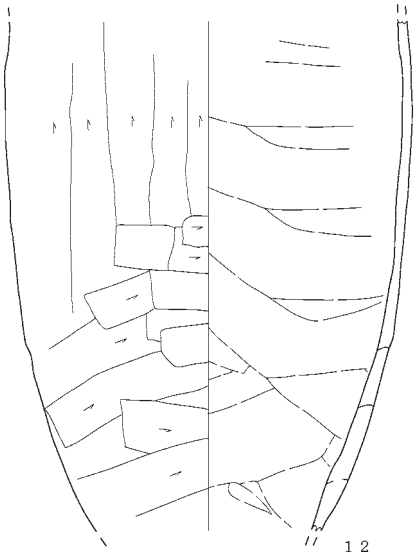


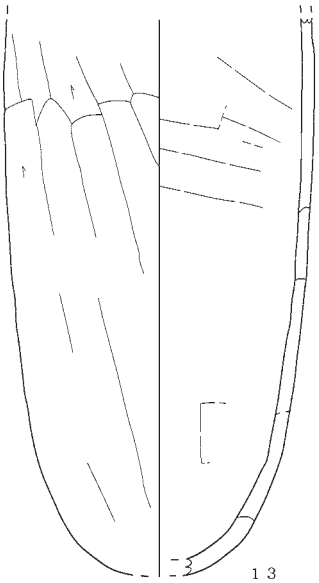
第125図　59号住居跡出土遺物

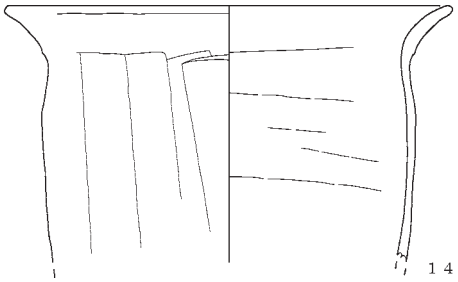


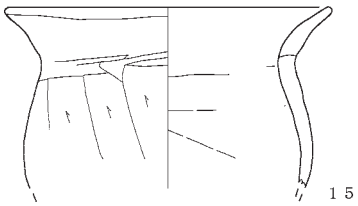
第126図　61号住居跡出土遺物(1)

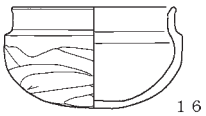




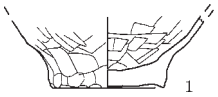






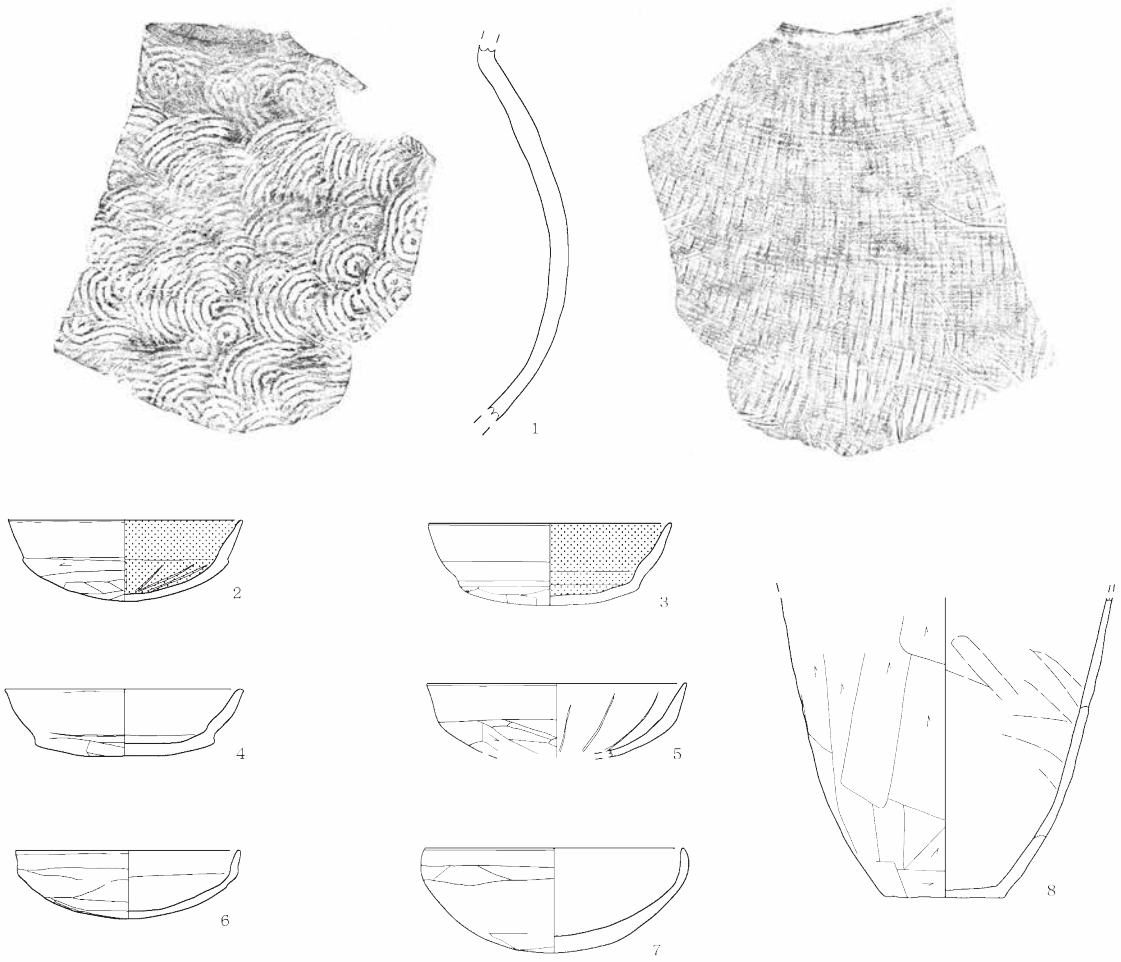


第127図　61号住居跡出土遺物(2)

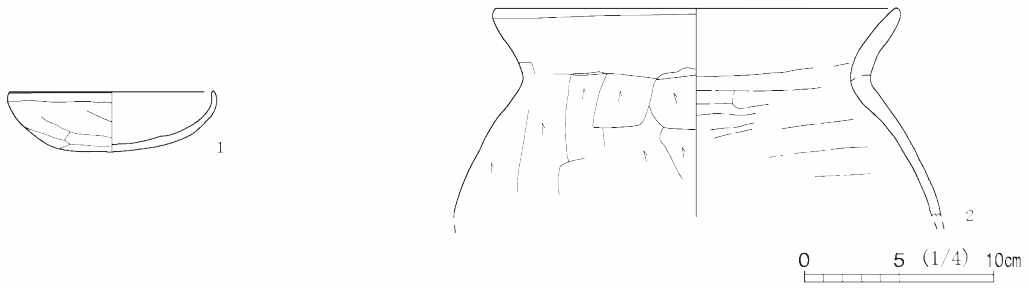


第128図　62号住居跡出土遺物

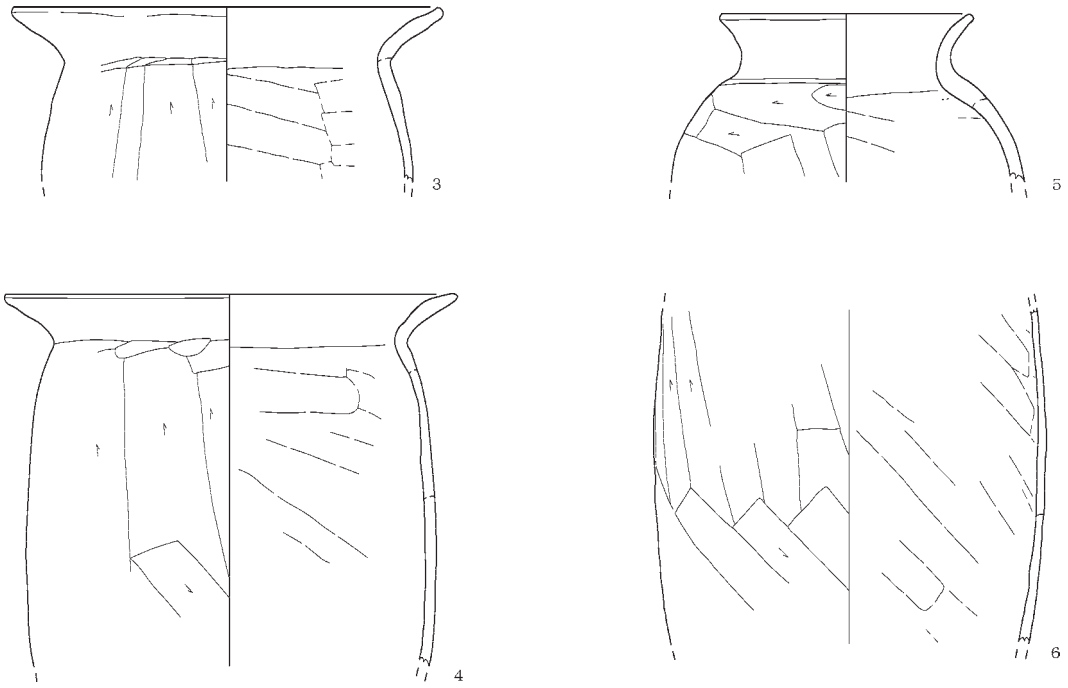
第129図　63号住居跡出土遺物



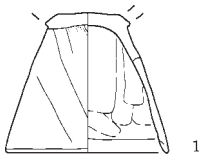
第130図　64号住居跡出土遺物



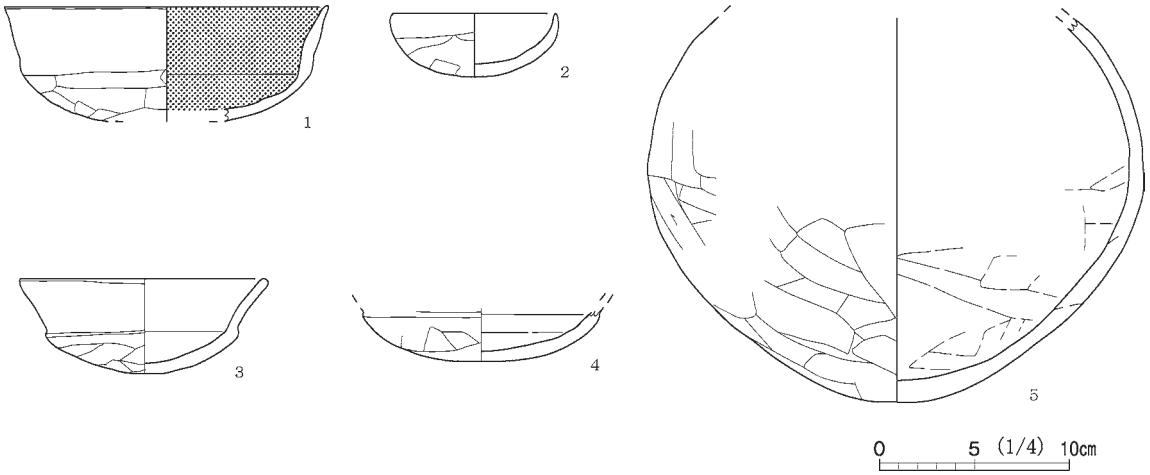
第131図　65号住居跡出土遺物(1)



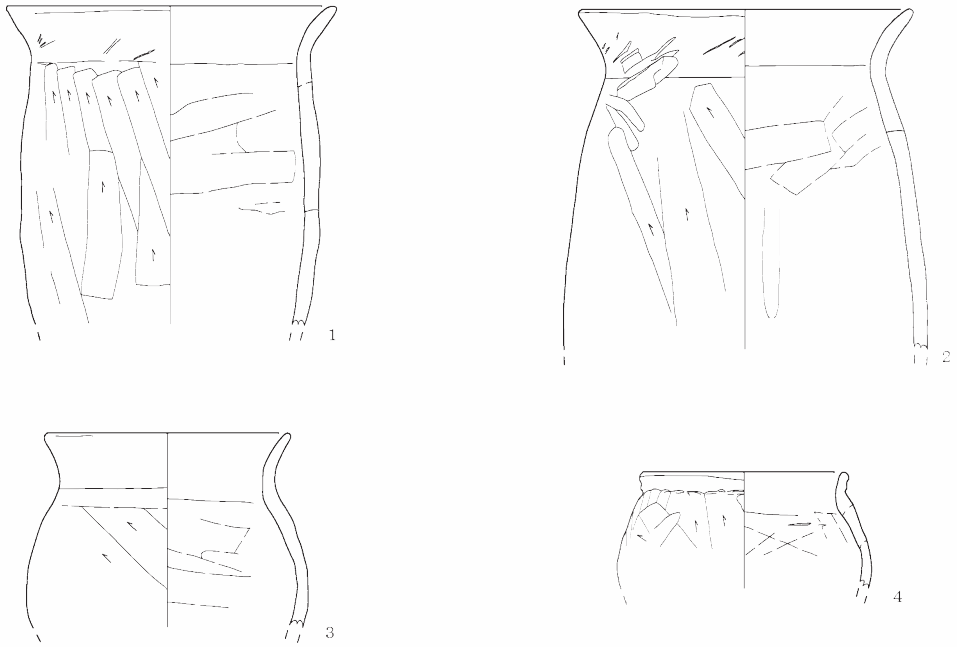
第132図　65号住居跡出土遺物(2)



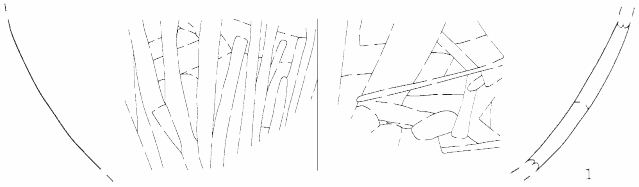
第133図　66号住居跡出土遺物



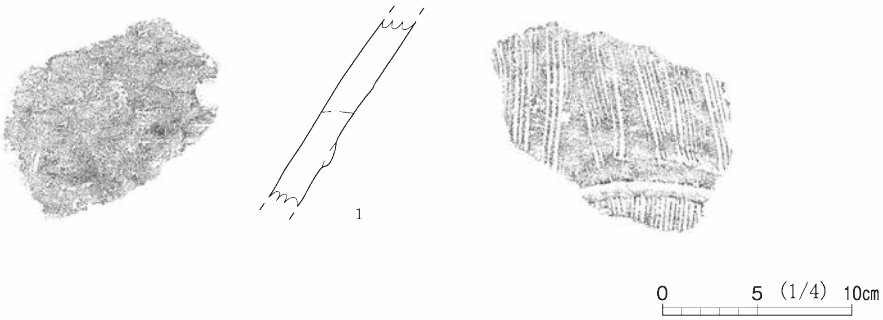
第134図　69号住居跡出土遺物



第135図　70号住居跡出土遺物



第136図　71号住居跡出土遺物



第137図　7号溝出土遺物

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
12 PL.94	土師器 坏	口縁～底部9/10	口： 13.2 底： — 高： 4.5	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/黒色	外面：口縁部横撫で。 内面：口唇部より底部へ横方向・斜方向・格子目状磨き。 内面黒色処理。
13 PL.94	土師器 小型甕	口縁～底部9/10	口： 10.5 底： 5.5 高： 11.8	①雲母少量、白色粒混入 ②良 ③暗橙色/暗橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
14 PL.94	土師器 小型甕	口縁～底部1/2	口：〈16.2〉 底： 5.4 高： 12.9	①粗砂粒混入 ②良 ③暗橙色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り？(摩滅激しい) 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
15 PL.94	土師器 鉢？	口縁～胴部破片	口：〈20.2〉 底： — 高： —	①砂粒混入 ②良好 ③明褐色/明褐色	外面：口縁部横撫で。胴部篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部篦撫で？
16 PL.94	土師器 高坏	坏部のみ	口： 17.0 底： — 高： —	①雲母・細砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。 内面：口唇部横撫で。以下磨き。

第67表　13号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
9 PL.94	土師器 鉢	口縁～底部1/2 ３区１層・２層	口：〈11.9〉 底： — 高： 7.6	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下篦撫で。

第68表　18号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
2 PL.94	土師器 坏	口縁～底部1/4 14区１層・２層	口：〈14.5〉 底： — 高： —	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下篦撫で。 内面黒色処理。
3 PL.94	土師器 坏	口縁～底部1/2 ７区２層	口：〈14.0〉 底： — 高： 4.4	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下篦撫で。 内面黒色処理。
4 PL.94	土師器 坏	口縁～底部1/2 10区１層	口：〈14.0〉 底： — 高： 4.2	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③褐色/黒色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下篦撫で。 内面黒色処理。
5 PL.94	土師器 甕	口縁～胴部破片 ７区１層、14区２層	口：〈23.3〉 底： — 高： —	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
6 PL.94	土師器 甕	胴部～底部破片 11区１層、13区２層	口： — 底：〈11.2〉 高： —	①雲母少量、砂粒混入 ②良 ③暗橙色/褐色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。
7 PL.94	土師器 甕	胴部破片 13区２層	口： — 底： — 高： —	①雲母少量、砂粒混入 ②良 ③暗橙色/褐色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。

第69表　20号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.94	土師器 坏	口縁～底部4/5 Ｄ１	口： 13.5 底： — 高：〈 3.1〉	①砂粒・白色粒混入 ②良好 ③褐色/黒色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下斜方向磨き。 内面黒色処理(漆？)。

第70表　52号住居跡出土遺物観察表(1)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
2 PL.94	土師器 坏	口縁～底部3/4	口： 13.8 底： — 高： 5.9	①砂粒・白色粒混入 ②良好 ③褐色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下斜方向磨き。
3 PL.94	土師器 坏	口縁～底部1/3	口：〈14.3〉 底： — 高： 5.0	①砂粒混入 ②良 ③黒褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。体部以下横撫で後放射状磨き。
4 PL.95	土師器 高坏	口縁～底部9/10	口： 14.8 底： 9.9 高： 9.7	①白色粒・黒色粒少量混入 ②良 ③橙色/暗褐色	外面：横撫で。 内面：坏部、斜方向磨き。脚部、横撫で。
5 PL.95	土師器 小型甕	口縁～胴部1/4	口：〈12.0〉 底： — 高： —	①白色粒混入 ②良 ③橙色/褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部横方向篦撫で。
6 PL.95	土師器 甕	口縁～胴部1/8 D 1	口：〈16.4〉 底： — 高： —	①砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。胴部縦～斜方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。胴部横方向篦撫で。

第71表　52号住居跡出土遺物観察表(2)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.95	須恵器 坏蓋	天井～口縁3/4	天： 9.0 口：〈12.2〉 高： 4.2	①白色粒・黒色粒少量混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：天井回転篦削り。天井以外回転横撫で。 内面：回転横撫で。
2 PL.95	土師器 坏	口縁～底部2/3	口：〈12.8〉 底： — 高： 4.2	①雲母・砂粒混入 ②良 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
3 PL.95	土師器 坏	口縁～底部9/10 カマド	口： 13.2 底： — 高： 4.7	①雲母・砂粒混入 ②良 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
4 PL.95	土師器 坏	完形	口： 13.2 底： — 高： 5.1	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：上半部横撫で。下半部横方向基調篦撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
5 PL.95	土師器 坏	口縁～底部2/3	口：〈13.6〉 底： — 高： —	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
6 PL.95	土師器 坏	口縁～底部1/4	口：〈13.7〉 底： — 高： 4.9	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③黒褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
7 PL.95	土師器 小型甕	完形	口： 12.7 底： 6.0 高： 10.2	①雲母・白色粒混入 ②良 ③赤褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦～斜方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下横～斜方向篦撫で。 全体にゆがみあり。
8 PL.95	土師器 小型甕	口縁～底部1/3	口：〈16.8〉 底： 7.0 高： 14.7	①白色粒少量・砂粒混入 ②良好 ③橙色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下横～斜方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下横～斜方向篦撫で。
9 PL.95	土師器 甕	口縁～底部9/10	口： 24.4 底： 6.8 高： 30.6	①砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下斜方向篦撫で。
10 PL.95	土師器 甕	口縁～底部4/5 カマド	口： 21.1 底： 5.2 高： 33.4	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下横方向篦撫で。
11 PL.95	土師器 甕	口縁～胴部1/10	口：〈18.0〉 底： — 高： —	①白色粒少量・砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下横方向篦撫で。

第72表　53号住居跡出土遺物観察表(1)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
12 PL.95	土師器 甕	胴～底部1/3	口：　— 底：　4.2 高：　—	①砂粒混入 ②良好 ③褐色/橙色	外面：縦方向箆削り。 内面：横方向箆撫で。
13 PL.95	土師器 甕	胴～底部1/10	口：　— 底：　6.0 高：　—	①片岩小礫・砂粒混入 ②良好 ③黒褐色/暗褐色	外面：斜方向箆削り。底部木葉痕。 内面：斜～横方向箆撫で。
14 PL.95	土師器 甕	胴～底部1/10	口：　— 底：　5.0 高：　—	①白色粒・砂粒混入 ②良 ③橙色/暗褐色	外面：縦～斜方向箆削り。 内面：摩滅の為詳細不明。
15 PL.95	土師器 甑	口縁～胴部下位1/3	口：28.4 底：〈10.8〉 高：30.5	①白色粒少量・黄色粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦方向箆削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下縦～斜方向箆撫で。

第73表　53号住居跡出土遺物観察表(2)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.96	土師器 甕	口縁～胴部1/5 ５区１層、９区１層 11区１層、15区１層	口：〈19.1〉 底：　— 高：　—	①白色粒少量、砂粒混入 ②良 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下縦方向箆削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下横方向基調箆撫で。
2 PL.96	土師器 甕	胴～底部1/8 ３区１層、８区１層 14区１層、15区１層	口：　— 底：　8.6 高：　—	①白色粒少量、黒色粒混入 ②良 ③にぶい褐色/明橙色	外面：縦方向箆削り。 内面：摩滅の為不明瞭。横方向基調箆撫で？
3 PL.96	土師器 小型壺？	胴～底部1/8 ８区１層	口：　— 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良 ③黒褐色/にぶい橙色	外面：横方向基調箆削り。 内面：斜方向箆撫で。

第74表　55号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.96	土師器 Ｓ字口縁 台付甕	頸～胴部破片 壁周溝	口：　— 底：　— 高：　—	①雲母・白色粒・砂粒混入 ②良 ③暗褐色/暗褐色	外面：木口状工具による撫で。 内面：縦方向撫で。
2 PL.96	土師器 台付甕	台部破片	口：　— 底：〈 7.2〉 高：　—	①雲母・白色粒・砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/褐色	外面：斜方向磨き後、一部横撫で。 内面：斜方向基調箆撫で。
3 PL.96	土師器 小型丸底鉢	胴～底部	口：　— 底：　— 高：　—	①雲母少量、砂粒混入 ②良好 ③明褐色/明褐色	外面：横方向基調箆削り。 内面：斜方向磨き。
4 PL.96	土師器 器台	器受部～脚部3/5	口：〈 7.3〉 底：〈 9.4〉 高：　7.8	①雲母少量、砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：器受部、横～斜方向磨き。脚部、縦方向磨き。 内面：器受部、横撫で。脚部、縦方向磨き。
5 PL.96	土師器 丸底鉢？	胴～底部 Ｄ１	口：　— 底：　3.8 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良 ③褐色/橙色	外面：横～斜方向磨き。 内面：横撫で。 丸底鉢再利用？疑似口縁？

第75表　56号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.96	須恵器 坏蓋	ほぼ完形 10区４層	天：14.4 口：　— 高：　3.9	①石英、黒色粒少量混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：口縁～体部横撫で。天井回転箆削り。 天井に刻書？ 内面：横撫で。

第76表　58号住居跡出土遺物観察表(1)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
2 PL.96	土師器 坏	ほぼ完形 7区4層	口： 12.2 底： — 高： 4.6	①雲母・白色粒混入 ②良 ③明褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で後放射状磨き。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
3 PL.96	土師器 坏	口縁～底部3/5 10区4層	口： 12.7 底： — 高： 4.7	①雲母少量、砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
4 PL.96	土師器 坏	口縁～底部9/10 7区4層、10区3層	口： 12.9 底： — 高： 4.6	①黒色粒・砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
5 PL.96	土師器 坏	口縁～底部1/2 9区4層	口： 11.8 底： — 高： 4.0	①細砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
6 PL.96	土師器 坏	口縁～体部2/5 14区4層	口：〈12.3〉 底： — 高： —	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③暗赤褐色/暗赤褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横方向基調磨き。
7 PL.96	土師器 甕	口縁～胴部1/10 2区1層、10区1層 10区3層、14区4層	口：〈19.7〉 底： — 高： —	①白色粒少量、細砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部～胴部縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部～胴部は斜～縦方向篦撫で。
8 PL.96	土師器 甕	口縁～底部3/4 4区4層、8区4層 12区4層	口： 17.4 底： 6.0 高： 27.8	①白色粒・砂粒混入 ②良 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
9 PL.96	土師器 小型甕	口縁～底部9/10	口：〈11.0〉 底： 5.6 高： 13.7	①砂粒混入 ②良好 ③褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。

第77表　58号住居跡出土遺物観察表(2)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.97	土師器 坏	口縁～底部1/2 10区4層	口：〈14.2〉 底： — 高： 5.0	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
2 PL.97	土師器 甕	口縁～胴部1/10 13区3層	口：〈29.6〉 底： — 高： —	①白色粒少量、砂粒混入 ②良好 ③明橙色/明橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下木口状工具による撫で。 内面：口縁部横撫で。頸部以下篦撫で。

第78表　59号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.97	須恵器 坏	口縁～底部1/2	口： 9.4 底： 6.3 高： 3.2	①白色粒少量、黒色粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：口縁～体部横撫で。底部回転篦削り？ 内面：横撫で。 内外面に自然釉付着。
2 PL.97	須恵器 坏	ほぼ完形	口： 9.2 底： 6.4 高： 3.7	①砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：口縁～体部横撫で。底部篦撫で？ 内面：横撫で。
3 PL.97	須恵器 坏	口縁～底部1/2	口： 8.0 底： — 高： —	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：口縁部横撫で。底部回転篦削り。 内面：横撫で。
4 PL.97	須恵器 坏蓋	天井～口縁3/4 カマド	天： — 口： 9.4 高： 3.5	①白色粒・砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：天井部篦削り。口縁部横撫で。 内面：横撫で。
5 PL.97	須恵器 蓋	完形	天： — 口： 9.6 高： 2.8	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：天井部回転篦削り。 内外面の一部に自然釉付着。

第79表　61号住居跡出土遺物観察表(1)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
6 PL.97	須恵器 高坏	坏部～脚部2/3	口： 10.1 底： 8.8 高： 3.6	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③白灰色/白灰色	外面：坏部下半篦削り。
7 PL.97	須恵器 高坏	坏部～脚部2/5	口：〈 9.9〉 底：〈 8.8〉 高： 3.5	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③白灰色/白灰色	外面：坏部下半篦削り。
8 PL.97	土師器 坏	口縁～底部1/4	口：〈12.8〉 底： — 高： —	①細砂粒混入 ②良好 ③にぶい褐色/にぶい褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
9 PL.97	土師器 坏	口縁～底部2/5	口：〈15.4〉 底： — 高： 5.1	①白色粒少量、細砂粒混入 ②良 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
10 PL.97	土師器 坏	口縁～底部3/4	口： 10.4 底： — 高： 3.1	①雲母微量、細砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
11 PL.97	土師器 甕	ほぼ完形 カマド	口： 22.9 底： 5.8 高： 38.8	①白色粒、粗砂粒混入。 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
12 PL.97	土師器 甕	胴部1/5	口： — 底： — 高： —	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/暗褐色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。
13 PL.97	土師器 甕	胴部～底部1/4 カマド	口： — 底： — 高： —	①雲母微量、砂粒混入。 ②良 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。
14 PL.97	土師器 甕	口縁～胴部破片	口：〈23.0〉 底： — 高： —	①粗砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
15 PL.97	土師器 甕	口縁～胴部破片 カマド	口：〈16.7〉 底： — 高： —	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
16 PL.97	土師器 小型壺	完形	口： 8.4 底： — 高： 5.3	①細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：横撫で。

第80表　61号住居跡出土遺物観察表(2)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.97	土師器 甕	胴部～底部破片 ３区１層	口： — 底： 5.9 高： —	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：胴部下位篦撫で又は磨き。底部篦撫で。 内面：篦撫で。

第81表　62号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.98	土師器 台付甕	台部破片 ５区１層	口： — 底：〈 9.7〉 高： —	①雲母少量、砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：斜方向磨き。 内面：斜方向基調篦撫で。
2 PL.98	土師器 台付甕	台部破片 ６区１層	口： — 底： — 高： —	①細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/褐色	外面：木口状工具による斜方向撫で後、縦方向撫で。 内面：縦方向篦撫で。

第82表　63号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.98	須恵器 甕	頸部～胴部破片 10区１層・２層	口：　— 底：　— 高：　—	①黒色粒・細砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	外面：平行叩き。自然釉付着。 内面：青海波文。
2 PL.98	土師器 坏	ほぼ完形 Ｐ３	口：12.3 底：　— 高：　4.3	①雲母微量、細砂粒混入 ②良好 ③黒褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。体部以下横撫で後放射状磨き。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
3 PL.98	土師器 坏	口縁～底部7/8 ３区２層	口：〈12.7〉 底：　— 高：　4.3	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③黒褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。 外面口縁部及び内面黒色処理(漆？)
4 PL.98	土師器 坏	口縁～底部1/4 １区２層、７区２層	口：〈12.4〉 底：　— 高：　3.5	①細砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
5 PL.98	土師器 坏	口縁～底部3/5 １区２層、５区１層	口：〈13.7〉 底：　— 高：　—	①雲母微量、細砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。体部以下横撫で後放射状磨き。
6 PL.98	土師器 坏	口縁～底部9/10 ２区２層、３区２層	口：11.6 底：　— 高：　3.6	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
7 PL.98	土師器 坏	口縁～底部3/4 ６区２層	口：13.5 底：　— 高：　5.5	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 (摩滅の為不明瞭) 内面：横撫で。
8 PL.98	土師器 甕	胴部～底部1/4？ ２区２層、２号カマド	口：　— 底：　6.3 高：　—	①白色粒・砂粒混入 ②良 ③暗橙色/にぶい橙色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。

第83表　64号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.98	土師器 坏	口縁～底部4/5 Ｐ５	口：10.8 底：　— 高：　3.2	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
2 PL.98	土師器 甕	口縁～肩部破片 Ｐ１、Ｐ３	口：〈21.0〉 底：　— 高：　—	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部横方向篦撫で。
3 PL.98	土師器 甕	口縁～肩部破片 13区４層	口：〈22.6〉 底：　— 高：　—	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。肩部縦方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部横方向篦撫で。
4 PL.98	土師器 甕	口縁～胴部破片 ２区２層	口：〈23.6〉 底：　— 高：　—	①雲母微量、砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部篦撫で。
5 PL.98	土師器 小型甕	口縁～胴部1/4	口：〈13.0〉 底：　— 高：　—	①雲母・白色粒混入 ②良 ③にぶい橙色/暗橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
6 PL.98	土師器 甕	胴部破片 ６区４層、16区４層	口：　— 底：　— 高：　—	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。

第84表　65号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.98	土師器 台付甕	台部破片 ４区２層	口：　— 底：　— 高：〈 8.4〉	①白色粒少量、細砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：木口状工具による斜方向撫で？ (摩滅著しい) 内面：篦撫で。

第85表　66号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.99	土師器 坏	口縁～底部2/5 14区２層、15区２層	口：〈17.0〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/黒色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。黒色処理。
2 PL.99	土師器 坏	完形 ９区２層	口：　8.5 底：　— 高：　3.3	①白色粒・細砂粒混入 ②良好 ③橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
3 PL.99	土師器 坏	口縁～底部3/4 14区２層	口：12.6 底：　— 高：　5.0	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。体部以下篦削り。 内面：横撫で。
4 PL.99	土師器 坏	体部～底部破片 13区２層、14区２層	口：　— 底：　— 高：　—	細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/にぶい橙色	外面：篦削り。 内面：横撫で。
5 PL.99	土師器 甕	胴部～底部1/4 １区２層、14区２層 15区２層	口：　— 底：〈 5.6〉 高：　—	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/黒褐色	外面：篦削り。 内面：篦撫で。

第86表　69号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.99	土師器 甕	口縁～胴部破片 10区２層	口：〈17.1〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
2 PL.99	土師器 甕	口縁～胴部破片 16区１層・２層	口：〈17.2〉 底：　— 高：　—	①雲母微量、砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
3 PL.99	土師器 小型甕	口縁～胴部破片 12区２層	口：〈12.6〉 底：　— 高：　—	①雲母微量、細砂粒混入 ②良好 ③褐色/褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
4 PL.99	土師器 小型甕	口縁～胴部1/4 Ｐ５	口：10.6 底：　— 高：　—	①細砂粒混入 ②良好 ③赤褐色/黒褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。

第87表　70号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.99	土師器 甕	胴部破片 12区１層	口：　— 底：　— 高：　—	①砂粒混入 ②良好 ③暗褐色/暗褐色	外面：篦撫で。 内面：篦撫で。

第88表　71号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.99	円筒埴輪？	破片	口：　— 底：　— 高：　—	①雲母・白色粒混入 ②不良 ③暗橙色/黒褐色	外面：縦方向刷毛目。突帯断面は低い台形。 内面：撫で。

第89表　７号溝出土遺物観察表

(3)　平安時代

①　住居跡

24号住居跡（第68・138・148図、第41・93表、PL.57・87・88・99）

位置　調査区中央南端に位置する。南側１/２程を平成17年度に、残りの部分を18年度に調査した。18号住居跡・23号住居跡・70号住居跡と重複し、いずれの住居跡より本遺構が新しい。　**形状・特徴**　主軸はＮ―102°―Ｅ、東西4.63×南北4.30×深さ0.20ｍを測る。東壁にカマドが付設されている。主柱穴は不明である。また、壁周溝は巡らない。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　長さ122×幅78×深さ28㎝を測る。燃焼部は壁際に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。燃焼部周囲を扁平な礫で囲っている。　**遺物**　カマド及びその周辺で一定量の土器が出土している。　**時期**　10世紀後半と考えられる。

51号住居跡（第139・149図、第90・94表、PL.88・100）

位置　調査区西端、集落範囲の西端部に位置する。　**形状・特徴**　主軸はＮ―111°―Ｅ、東西2.86×南北3.22×深さ0.18ｍを測る。東壁南寄りにカマドが付設されている。主柱穴・貯蔵穴については不明である。また、壁周溝は巡らない。南西コーナー付近に浅い楕円形の土坑を伴う。　**覆土**　固くしまった黒褐色土を主体とする。　**カマド**　長さ60×幅70×深さ19㎝を測る。燃焼部は壁際に位置し、比較的緩やかな角度に煙道を築いている。　**遺物**　出土遺物は比較的少量である。　**時期**　９世紀後半と考えられる。

54号住居跡（第140・150図、第90・95表、PL.89・100）

位置　調査区西寄りの南端部に位置する。南西コーナー付近において13号住居跡と、北壁付近において59号住居跡・13号溝と重複する。新旧関係は13号住居跡・59号住居跡より本遺構が新しく、13号溝より旧い。　**形状・特徴**　主軸はＮ―108°―Ｅ、東西3.24×南北3.30×深さ0.14ｍを測る。東壁南寄りにカマドが付設されており、その右手に貯蔵穴と考えられる土坑を伴う。主柱穴については不明である。また、壁周溝は残存部分においては巡らない。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　長さ96×幅75×深さ28㎝を測る。燃焼部は壁外に位置する。燃焼部周囲を扁平な礫で囲っている。　**遺物**　出土遺物は比較的少量である。　**時期**　９世紀後半と考えられる。

57号住居跡（第141・151・152図、第90・96・97表、PL.90・91・100）

位置　調査区のほぼ中央に位置する。65号住居跡・66号住居跡と重複し、いずれの住居跡より本遺構が新しい。　**形状・特徴**　主軸はＮ―128°―Ｅ、東西4.43×南北3.86×深さ0.34ｍを測る。東壁南寄りにカマドが付設されており、その右手に貯蔵穴と考えられる土坑を伴う。主柱穴については不明である。南壁から西壁にかけて壁周溝が二重に巡り、拡張住居である可能性が考えられる。　**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。　**カマド**　長さ88×幅65×深さ40㎝を測る。燃焼部は壁際に位置し、比較的急角度に煙道を築いている。　**遺物**　カマド及びその周辺から多くの遺物が出土している。　**時期**　９世紀後半と考えられる。

67号住居跡（第142図、第90表、PL.91）

位置　調査区中央西寄りに位置する。後出する13号溝に中央付近を大きく壊されており、北西及び南東

コーナー付近と、カマド煙道部が残存するのみである。　**形状・特徴**　前述の理由により詳細は不明である。残存部からの推定では、主軸はN―25°―E、東西3.30×南北2.40m程度の長方形を呈すると思われる。残存する深さは約0.2mを測る。北壁の東寄りにカマドが付設されている。　**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　煙道部が残存するだけであり、全体の規模・形状についての詳細は不明。住居規模に比べて煙道部が長い。　**遺物**　出土遺物は小破片の土器が少量であり、古墳時代後期と平安時代のものが混在している。　**時期**　出土遺物からの断定は難しいが、住居規模・形状より平安時代の所産と考えられる。

68号住居跡（第143・153図、第90・98表、PL.92・100）

位置　調査区中央南端に位置する。後出する12号溝と重複するが、同溝の掘り込みが浅いためプランは確定できた。　**形状・特徴**　主軸はN―107°―E、東西2.36×南北2.57×深さ0.12mを測り、平面形状は台形を呈する。北東コーナー付近にカマドが付設されている。２基のピットが検出されているが、本遺構に伴うものと断定はできない。　**覆土**　黒色土・黒褐色土を主体とする。　**カマド**　残存状況が不良であり、規模・形状についての詳細は不明。一定量の焼土が集中しているのでカマドであることは確実である。　**遺物**　出土遺物は少量である。　**時期**　出土遺物が少なく断定は難しいが、平安時代の所産と考えられる。

72号住居跡（第144・154図、第91・99表、PL.93・100）

位置　調査区中央南端に位置する。18号住居跡・23号住居跡・12号溝と重複する。新旧関係は18号住居跡・23号住居跡より本遺構が新しく、12号溝より旧い。18年度調査において住居跡の北半を検出したと推定される。前年度調査において、土層断面より確認されている25号住居跡が本遺構と同一であると考えられる。　**形状・特徴**　前述の理由により全体形状は不明。西壁付近はプランが確認できたが、北壁から東壁にかけては不明瞭である。検出部南東部の焼土・炭化物集中部がカマドと考えられる。中央付近はローム土主体の貼り床であり、顕著な硬化面を有する。硬化面・出土遺物・カマドよりプランを推定している。主軸はN―90°―E前後、東西2.40m前後と推定される。深さは西壁付近で0.18mを測る。**覆土**　黒褐色土を主体とする。　**カマド**　焼土が集中する南東部分をカマドと考えたいが、残存状況が不良であり、規模・形状についての詳細は不明。　**遺物**　出土遺物は少量である。　**時期**　出土遺物が少なく断定は難しいが、平安時代の所産と考えられる。

② 土　坑

平安時代の所産と考えられるものは、11号土坑の１基のみである。径・深さ等を示し遺構の記述に代える。

③ 溝

11号溝（第147図、PL.93）

位置　調査区中央付近から東にかけて断続的に検出された。後述する12号溝・13号溝とほぼ並行している。17年度調査において確認されている11号溝と同一遺構と判断し、遺構ナンバーを付した。　**形状・特徴**　17年度調査分を含めると、北に緩い弧を描くように約35m確認された。幅は最大で約１m、深さ

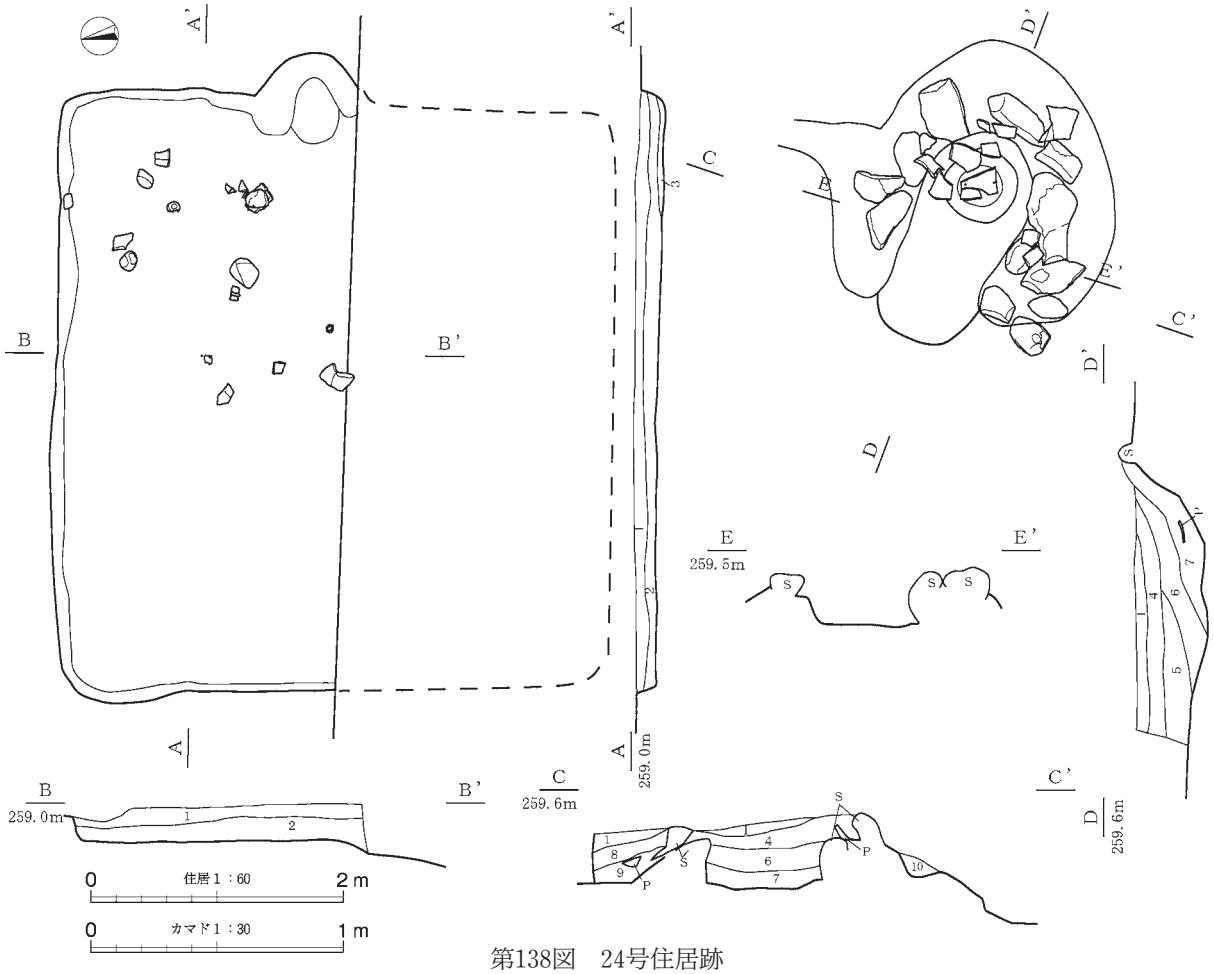
は最大で約0.2mを測る。　**覆土**　しまり・粘性に乏しい明褐色砂質土を主体とする。　**遺物**　本遺構に確実に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物より断定するのは難しいが、他遺構との重複関係・覆土より平安時代の所産と考えられる。

12号溝（第147・155図、第91・100表、PL.93・100）

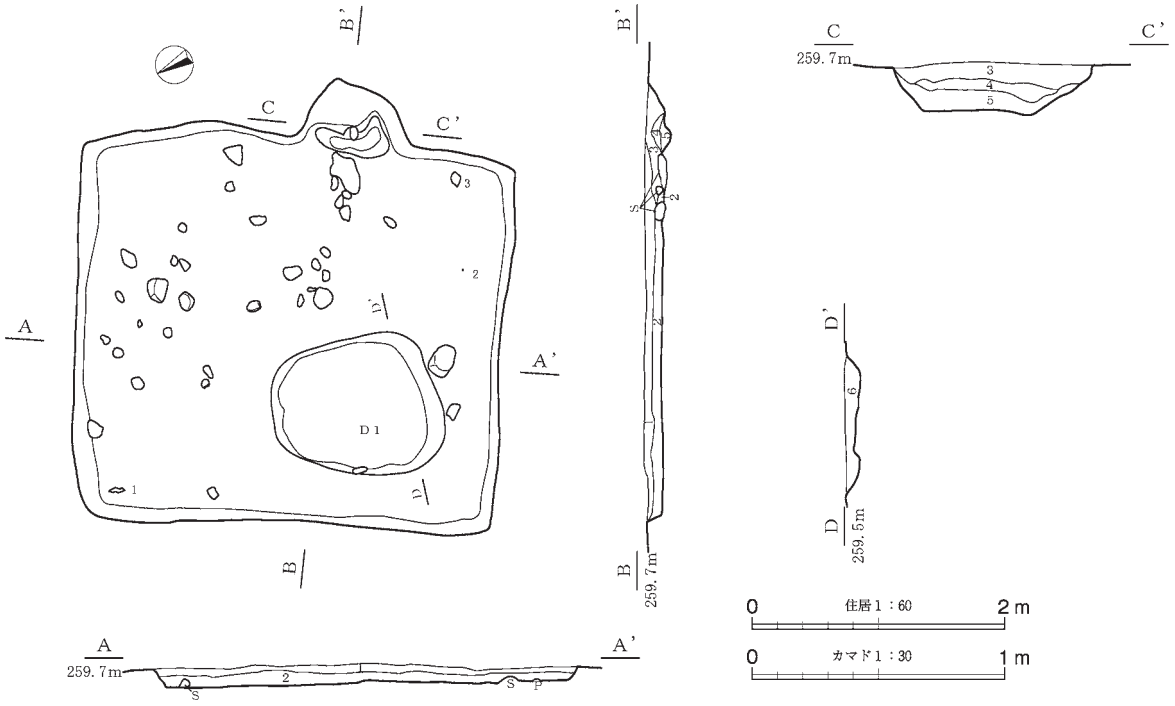
位置　調査区西端から東にかけて断続的に検出された。17年度調査において確認された12号溝・９号溝と同一遺構と考えられる。　**形状・特徴**　17年度調査分を含めると、北に緩い弧を描くように約70m確認された。幅は最大で約1.3m、深さは最大で約0.3mを測る。　**覆土**　しまり・粘性に乏しい明褐色砂質土を主体とする。　**遺物**　本遺構に確実に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物より断定するのは難しいが、他遺構との重複関係・覆土より平安時代の所産と考えられる。

13号溝（第147・156図、第101表、PL.93・100）

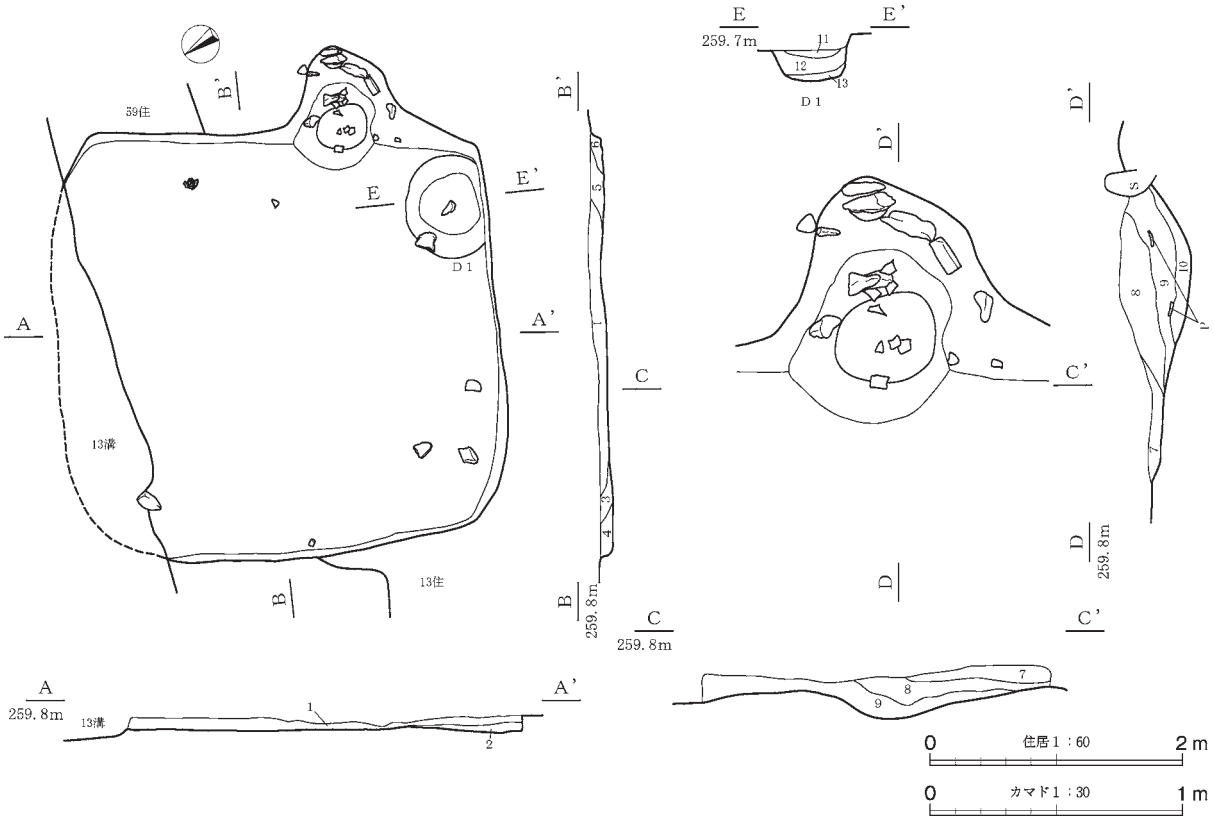
位置　調査区西端から東にかけて検出された。17年度調査において確認された13号溝・２号溝と同一遺構と考えられる。　**形状・特徴**　17年度調査分を含めると、北に緩い弧を描くように約95m確認された。幅は最大で約3.5m、深さは最大で約1.3mを測る。　**覆土**　しまり・粘性に乏しい明褐色砂質土を主体とする。　**遺物**　本遺構に確実に伴うと断定できる遺物はない。　**時期**　出土遺物より断定するのは難しいが、他遺構との重複関係・覆土より平安時代の所産と考えられる。



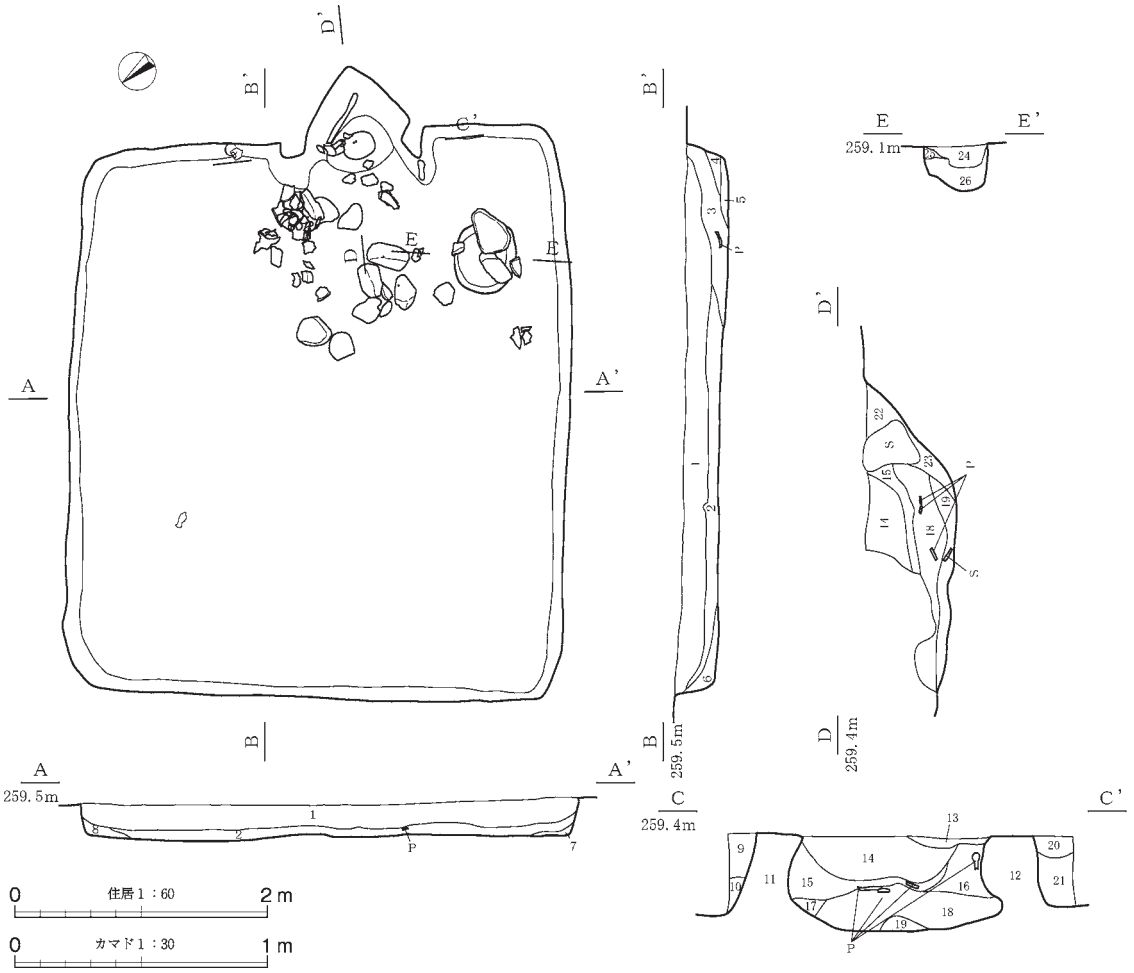
第138図　24号住居跡



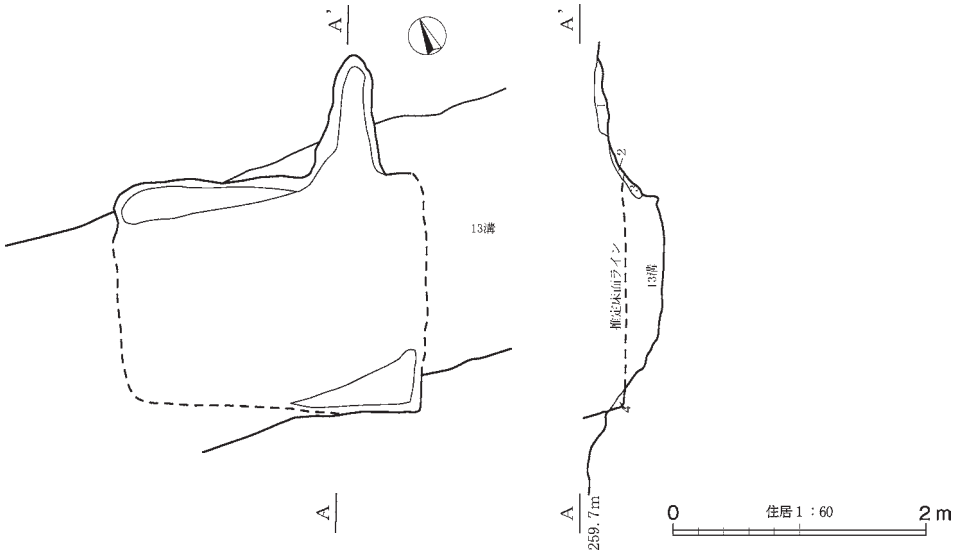
第139図　51号住居跡



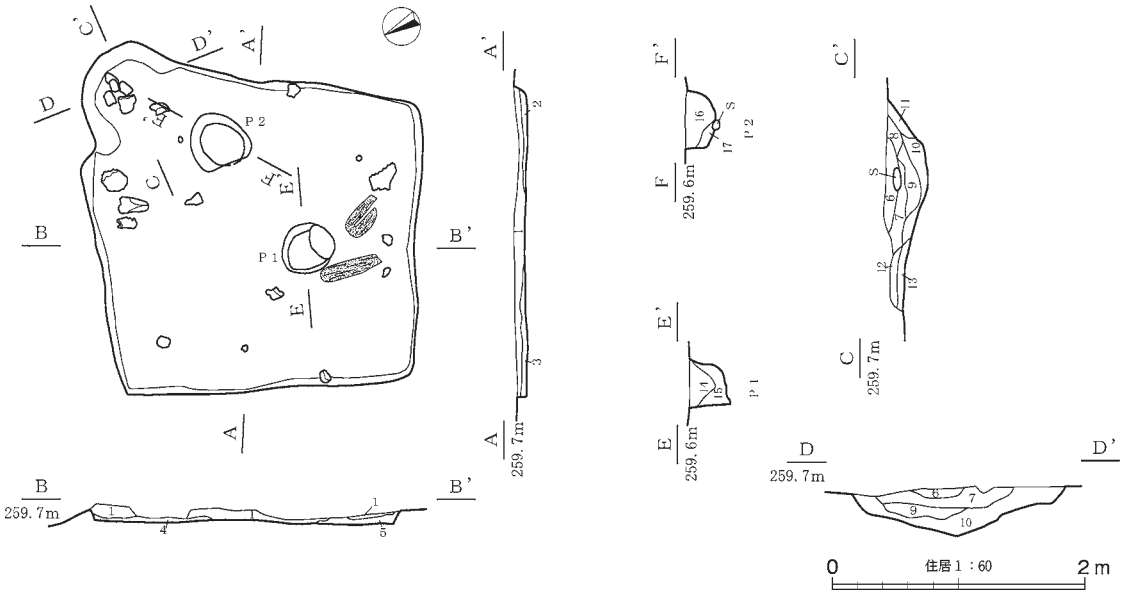
第140図　54号住居跡



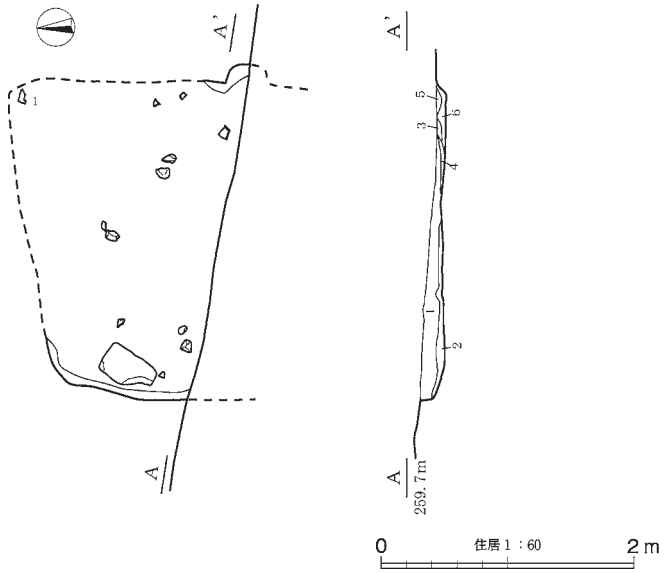
第141図　57号住居跡



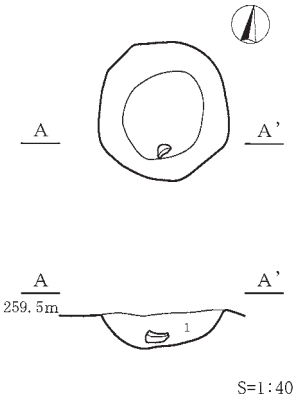
第142図　67号住居跡



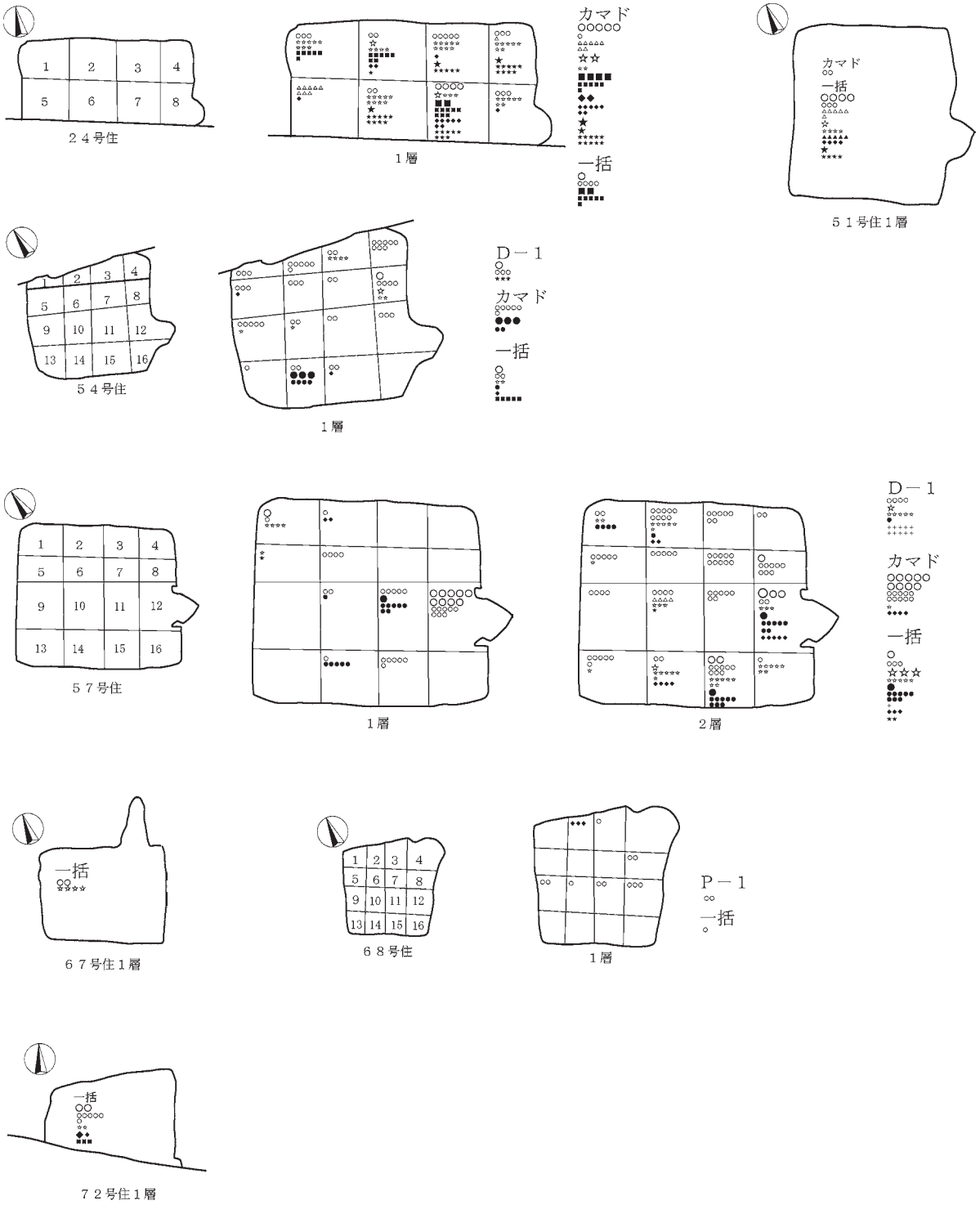
第143図　68号住居跡



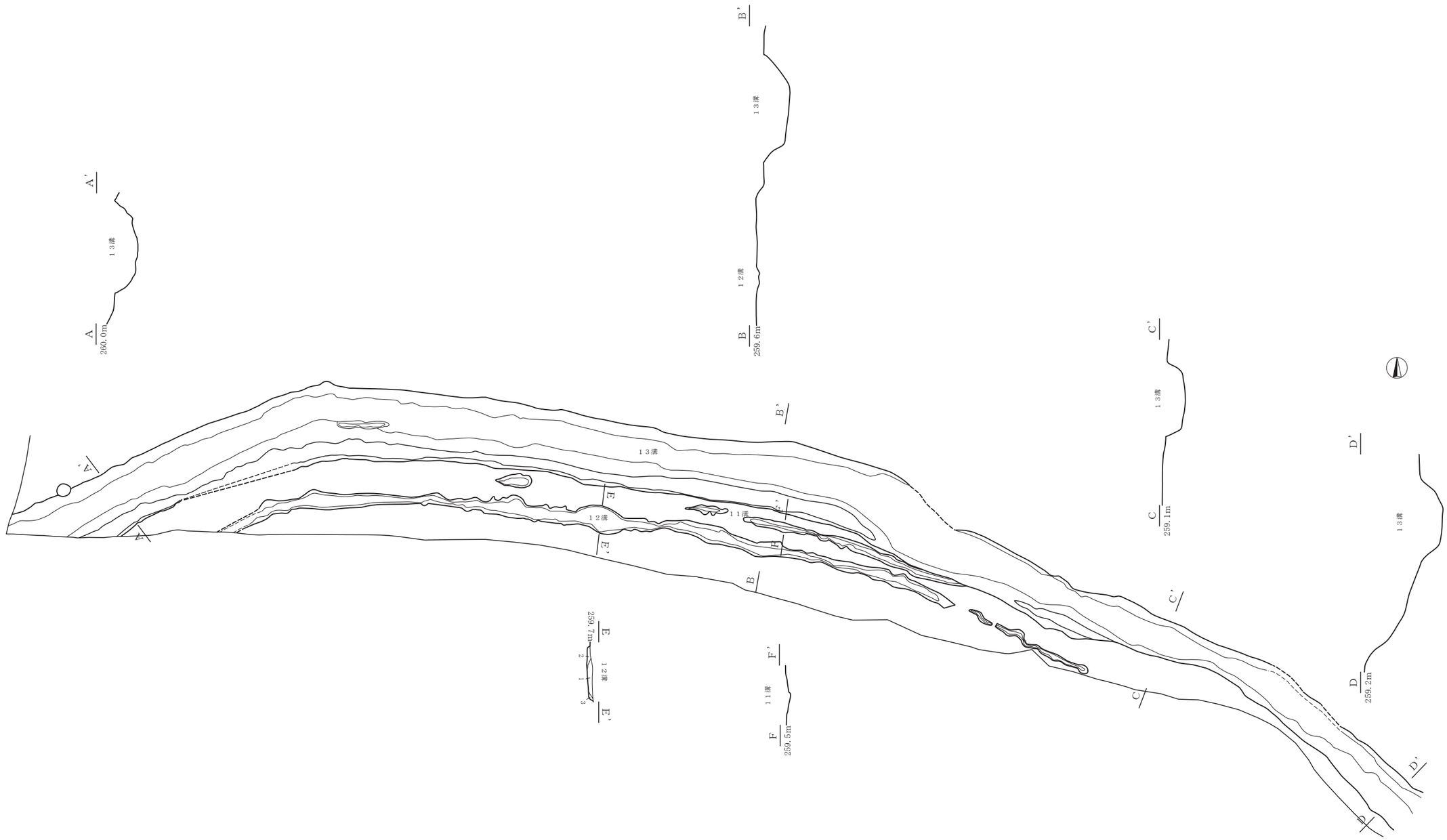
第144図　72号住居跡



第145図　11号土坑



第146図　出土遺物重量分布図(6)



平面図　S=1:200
断面図　S=1:100

第147図　11～13号溝

24号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/2	黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	※	白色パミス混入
2	10YR2/3	黒褐色土層		△	△	△	※	△	△	△	
3	7.5YR4/6	褐色土層		△	○	○	○	△	△	○	
4	7.5YR3/1	黒褐色土層		△	△	△	△	△	△	△	カマド覆土
5	7.5YR4/6	褐色土層		△	△	○	○	△	△	○	カマド覆土
6	5YR2/3	極暗赤褐色土層		△	○	△	△	△	○	○	カマド覆土
7	2.5YR4/6	赤褐色土層		△	○	△	※	※	○	◎	カマド覆土
8	10YR3/3	暗褐色土層		○	△	△	※	△	※	※	カマド覆土
9	7.5YR3/4	暗褐色土層		○	△	○	○	△	△	○	カマド覆土
10	10YR4/2	灰黄褐色土層		△	△	○	○	△	※	※	カマド覆土

51号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		○	△	※	※	※	○	△	白色パミス混入
2	10YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	○	○	○	△	
3	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	△	※	※	○	○	
4	2.5YR3/6	暗赤褐色土層		△	△	※	※	※	△	◎	焼土粒を多量に含む
5	10YR4/6	褐色土層		○	○	◎	○	△	※	※	ローム粒を多量に含む
6	10YR3/3	暗褐色土層		△	○	○	△	△	※	※	

54号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層	1 ＜ 5	○	△	※	※	△	△	△	白色パミス混入
2	10YR2/2	黒褐色土層	2 ＜ 3	○	○	△	※	※	※	※	
3	10YR2/2	黒褐色土層	3 ＞ 2	○	○	○	※	※	※	※	
4	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	△	△	△	△	○	
5	10YR2/1	黒色土層	5 ＞ 1	○	△	※	※	△	△	△	１層に近似　白色パミスは混入しない
6	10YR4/4	褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
7	10YR3/1	黒褐色土層		△	△	※	※	△	△	△	カマド覆土　白色粒混入
8	10YR3/2	黒褐色土層		△	△	△	※	△	△	△	カマド覆土
9	5YR4/3	にぶい赤褐色土層		△	△	△	○	△	○	○	カマド覆土
10	2.5YR4/6	赤褐色土層		△	※	※	※	※	○	◎	カマド覆土
11	10YR2/1	黒色土層		△	△	※	※	※	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
12	5YR3/3	暗赤褐色土層		△	△	△	△	※	△	○	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
13	10YR3/2	黒褐色土層		△	○	△	△	※	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土

57号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		○	△	△	※	△	△	※	白色パミス混入
2	10YR3/2	黒褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
3	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	◎	△	△	※	
4	10YR2/2	黒褐色土層		△	△	△	△	※	※	※	
5	7.5YR3/2	黒褐色土層		△	○	○	○	※	○	※	
6	10YR3/4	暗褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
7	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		○	○	○	○	△	※	※	
8	10YR4/4	褐色土層		○	○	○	◎	△	※	※	
9	10YR3/3	暗褐色土層		○	○	○	◎	△	△	※	カマド覆土
10	10YR2/2	黒褐色土層	10＞20	△	△	△	△	※	※	※	カマド覆土
11	7.5YR3/2	黒褐色土層	11＜12	○	○	○	○	※	○	※	カマド袖
12	7.5YR3/2	黒褐色土層	12＞11	○	△	○	○	※	△	※	カマド袖
13	5YR3/1	黒褐色土層	13＞22	○	○	△	△	△	○	○	カマド覆土　白色パミス混入
14	7.5YR4/2	灰褐色土層		△	△	△	△	△	○	○	カマド覆土　白色パミス混入
15	7.5YR4/1	褐灰色土層		△	△	△	△	※	△	△	カマド覆土
16	10YR4/4	褐色土層		○	○	○	◎	△	△	△	カマド覆土
17	10YR3/2	黒褐色土層		△	△	※	※	△	△	△	カマド覆土
18	2.5YR3/6	暗赤褐色土層		※	△	※	※	※	○	◎	カマド覆土
19	2.5YR4/8	赤褐色土層		△	△	※	※	※	○	◎	カマド覆土
20	10YR2/2	黒褐色土層	20＜10	○	○	△	※	△	△	△	カマド覆土
21	10YR2/3	黒褐色土層		△	△	○	△	○	※	※	カマド覆土
22	5YR3/1	黒褐色土層	22＜13	○	○	△	△	△	○	○	カマド覆土
23	10YR5/4	にぶい黄褐色土層		△	○	◎	△	※	※	△	カマド覆土
24	10YR3/1	黒褐色土層		△	△	△	△	※	※	※	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
25	10YR3/2	灰黄褐色土層		△	○	※	※	※	※	△	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土
26	10YR5/6	黄褐色土層		△	○	○	○	△	△	△	Ｄ１（貯蔵穴？）覆土

67号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	2.5YR5/8	明赤褐色土層		△	△	※	※	※	△	◎	カマド覆土
2	2.5YR4/6	赤褐色土層		○	△	※	※	※	△	○	カマド覆土
3	5YR3/2	暗赤褐色土層		○	△	△	△	△	○	○	床面より下の層
4	10YR3/1	黒褐色土層		○	△	※	※	△	※	※	

68号住居跡

層番	色相　明度/彩度　層名		色調	しまり	粘性	混入物					備　考
						RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1	黒色土層		△	△	△	※	△	○	△	炭化物･炭化材が多く混入する
2	10YR3/3	暗褐色土層	2 ＞ 3	△	○	○	△	△	※	※	
3	10YR3/3	暗褐色土層	3 ＜ 2	△	○	○	△	△	△	※	
4	10YR4/4	褐色土層		○	○	○	△	△	※	※	
5	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	△	△	△	※	※	
6	5YR5/4	にぶい赤褐色土層		△	△	△	※	※	△	○	カマド覆土
7	5YR3/4	暗褐色土層		△	○	△	※	※	○	○	カマド覆土
8	5YR3/2	暗褐色土層		△	○	△	※	△	△	△	カマド覆土
9	2.5YR5/8	明赤褐色土層		△	○	△	※	※	△	◎	カマド覆土
10	5YR2/4	極暗赤褐色土層		○	○	△	△	△	△	○	カマド覆土
11	7.5YR2/3	極暗褐色土層		○	○	△	△	△	△	△	カマド覆土
12	7.5YR3/1	黒褐色土層		△	△	△	※	△	△	△	カマド覆土
13	7.5YR4/3	褐色土層		△	○	○	△	△	※	※	カマド覆土
14	10YR2/2	黒色土層	14＜16	△	△	※	※	△	△	※	Ｐ１覆土　白色パミス混入
15	10YR4/3	にぶい黄褐色土層		△	○	○	○	△	※	※	Ｐ１覆土
16	10YR2/2	黒色土層	16＞14	△	△	※	※	△	※	※	Ｐ２覆土　白色パミス混入
17	10YR3/4	暗褐色土層		△	○	○	△	△	※	※	Ｐ２覆土

第90表　24号・51号・54号・57号・67号・68号住居跡土層注記

72号住居跡

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR2/1		黒色土層		○	△	※	※	※	※	※	白色パミス混入
2	10YR3/1		黒褐色土層		○	○	△	※	△	※	※	
3	10YR4/4		褐色土層		△	○	△	※	※	※	△	
4	7.5YR3/3		暗褐色土層		△	○	△	※	※	※	△	
5	5YR3/2		暗赤褐色土層		△	○	△	△	※	○	○	
6	5YR2/2		黒褐色土層		△	○	△	※	※	◎	○	

11号土坑

層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	7.5YR2/2		黒褐色土層		△	△	△	※	△	※	※	

12号溝

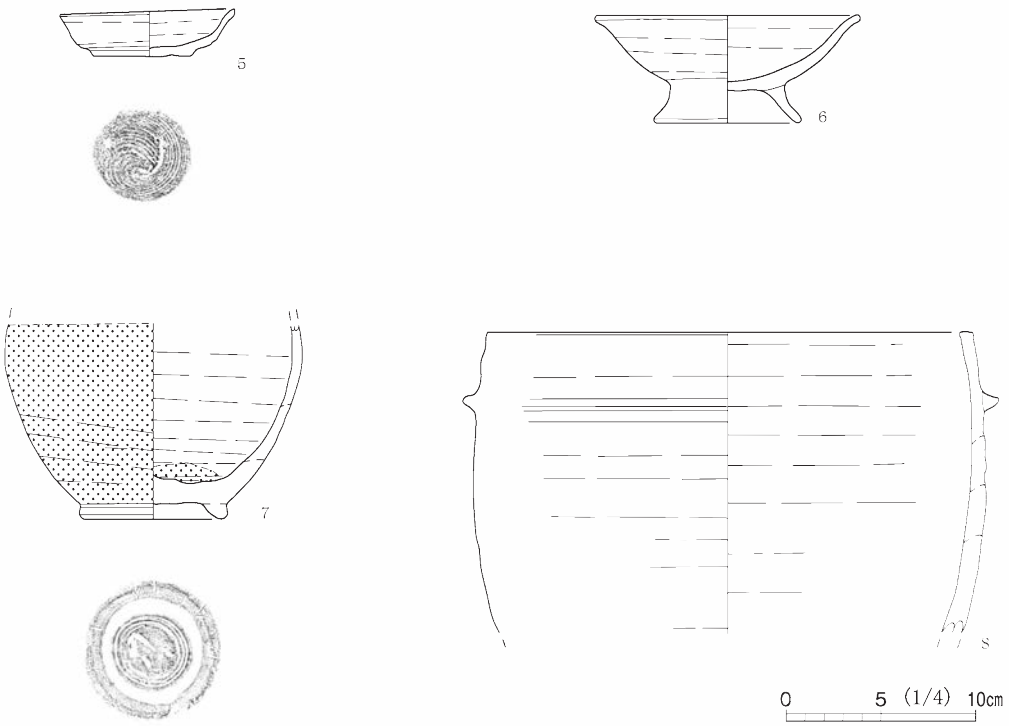
層番	色相	明度/彩度	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
							RP	RB	YP	炭化物	焼土	
1	10YR5/4		にぶい黄褐色土層		×	×	※	※	※	※	※	砂質である
2	10YR3/3		暗褐色土層		△	△	※	※	※	※	※	1層のブロックを含む
3	10YR3/2		黒褐色土層		△	△	※	※	※	※	※	

第91表　72号住居跡・11号土坑・12号溝土層注記

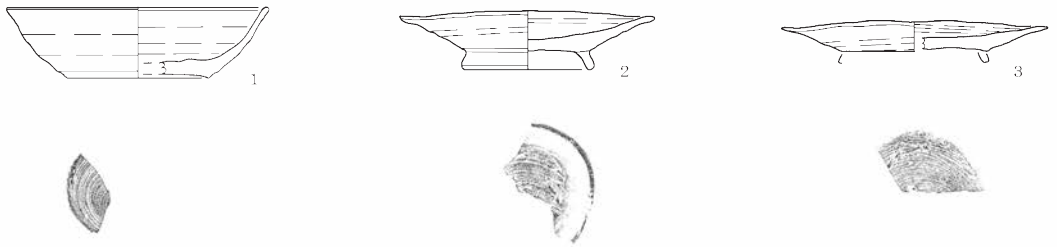
（単位はcm）

遺構名	規模（上）		規模（下）		深さ	平面形態	断面	備考
	長軸	短軸	長軸	短軸				
11号土坑	73	68	50	41	17	円形	椀状	

第92表　土坑観察表

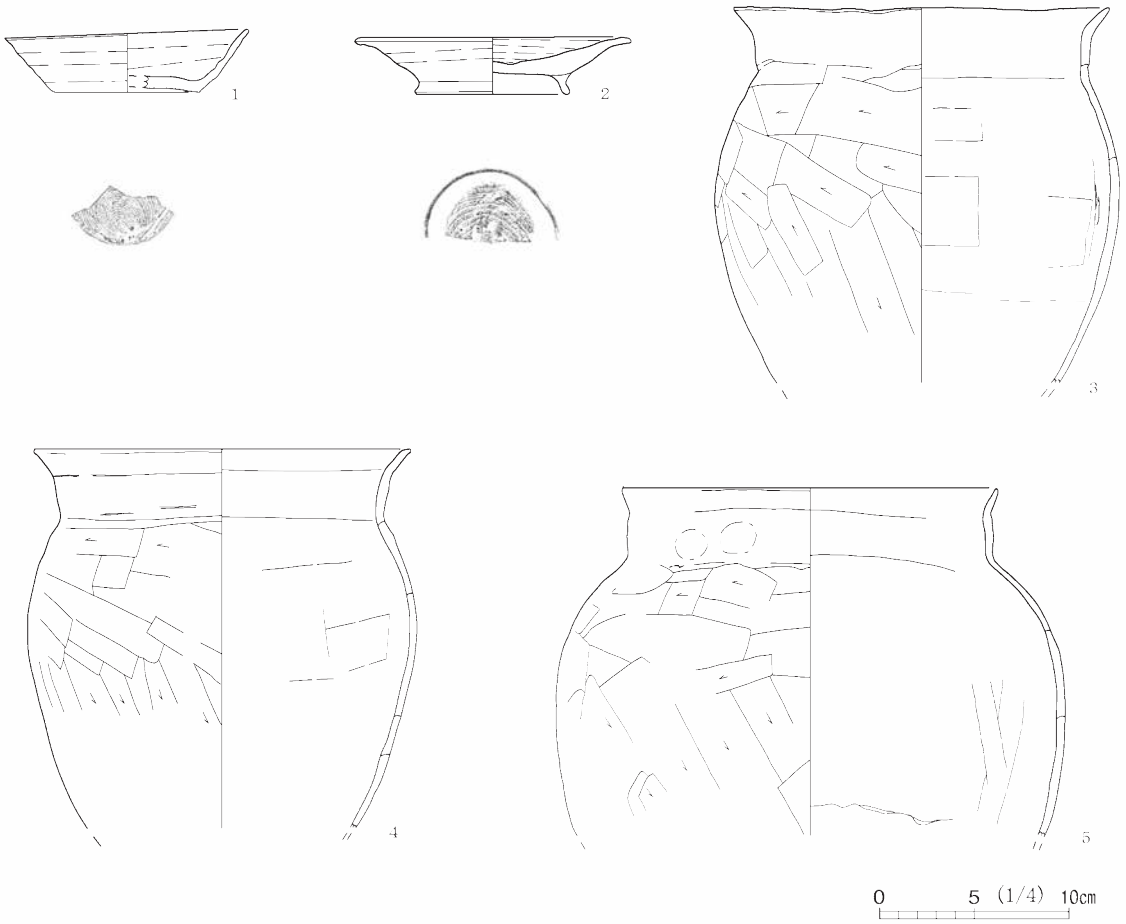


第148図　24号住居跡出土遺物

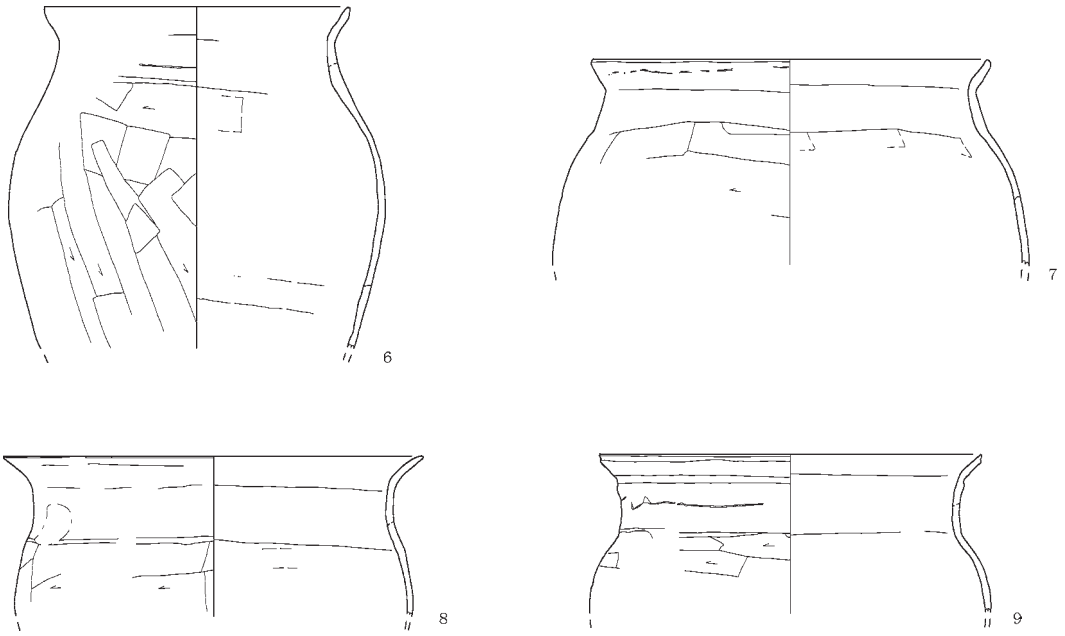


第149図　51号住居跡出土遺物

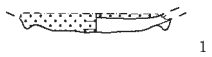
第150図　54号住居跡出土遺物



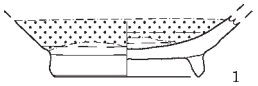
第151図　57号住居跡出土遺物(1)



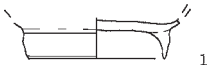
第152図　57号住居跡出土遺物(2)



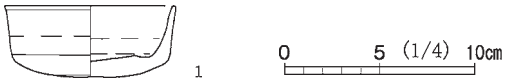
第153図　68号住居跡出土遺物



第154図　72号住居跡出土遺物



第155図　12号溝出土遺物



第156図　13号溝出土遺物

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
5 PL.99	須恵器 碗	完形 １区	口：　9.1 底：　5.1 高：　2.4	①白色粒少量、細砂粒混入 ②良/酸化 ③明橙色/明橙色	底部回転糸切り。
6 PL.99	須恵器 碗	口縁～底部1/3	口：〈14.0〉 底：〈 7.8〉 高：　5.7	①雲母微量、砂粒混入 ②良/酸化 ③暗橙色/暗橙色	高台貼り付け。
7 PL.99	灰釉陶器 長頸壺？	胴部～底部	口：　— 底：　7.8 高：　—	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③白灰色/白灰色	高台貼り付け。 外面及び内面の一部に釉付着。
8 PL.99	須恵器 羽釜	口縁～胴部破片 カマド	口：〈25.2〉 底：　— 高：　—	①白色粒少量、砂粒混入 ②良/酸化 ③にぶい橙色/にぶい橙色	土師質。鍔貼り付け。

第93表　24号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	須恵器 坏	口縁～底部1/3	口：〈13.8〉 底：〈 7.4〉 高：　3.7	①石英混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	底部回転糸切り。
2 PL.100	須恵器 皿	口縁～底部1/2	口：〈13.4〉 底：〈 7.0〉 高：　3.1	①雲母・石英混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	底部回転糸切り。高台貼り付け。
3 PL.100	須恵器 皿	口縁～底部1/3	口：〈14.0〉 底：〈 7.6〉 高：　—	①黒色粒少量、砂粒混入 ②良/中性 ③灰黄色/橙色	底部回転糸切り。高台貼り付け。高台剝離。

第94表　51号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	須恵器 蓋	口縁部破片	天：　— 口：〈18.6〉 高：　—	①黒色粒・砂粒混入 ②やや不良/還元 ③明灰色/灰色	外面：横撫で。 内面：横撫で。 全体にゆがみあり。
2 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部1/20 ４区２層	口：〈17.4〉 底：　— 高：　—	①雲母・砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。胴部箆削り。 内面：口縁部横撫で。胴部箆撫で。

第95表　54号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	須恵器 碗	口縁～底部1/3 ８区２層、11区２層	口：〈12.7〉 底：〈 7.7〉 高：　3.0	①黒色粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	底部回転糸切り。
2 PL.100	須恵器 皿	口縁～底部1/2 Ｄ１	口：〈13.8〉 底：　8.1 高：　3.0	①砂粒混入 ②良/弱還元 ③灰色/明灰色	底部回転糸切り。高台貼り付け。
3 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部3/4 12区２層	口：19.8 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/暗褐色	外面：口縁部横撫で。肩部以下箆削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下箆撫で。
4 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部1/4 12区１層	口：〈19.8〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③橙色/にぶい橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下箆削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下箆撫で。

第96表　57号住居跡出土遺物観察表(1)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
5 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部1/5 8区2層、11区2層 12区1層・2層	口：〈19.7〉 底：　— 高：　—	①雲母、細砂粒混入 ②良好 ③にぶい橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
6 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部1/8 12区2層	口：〈16.0〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、細砂粒混入 ②良好 ③明橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
7 PL.100	土師器 甕	口縁～胴部破片 12区2層	口：〈20.8〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③暗橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部以下篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部以下篦撫で。
8 PL.100	土師器 甕	口縁～肩部破片 11区1層、12区2層	口：〈22.0〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③橙色/暗橙色	外面：口縁部横撫で。肩部横方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部横方向篦撫で。
9 PL.100	土師器 甕	口縁～肩部破片 11区1層、12区2層	口：〈20.0〉 底：　— 高：　—	①雲母少量、白色粒混入 ②良好 ③橙色/橙色	外面：口縁部横撫で。肩部横方向篦削り。 内面：口縁部横撫で。肩部横方向篦撫で？

第97表　57号住居跡出土遺物観察表(2)

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	灰釉陶器 皿	底部破片 2区1層	口：　— 底：　— 高：　—	①白色粒微量、細砂粒混入 ②良好 ③白灰色/白灰色	底部回転糸切り。高台貼り付け。

第98表　68号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	灰釉陶器 壺？	底部破片	口：　— 底：〈 8.1〉 高：　—	①細砂粒混入 ②良好 ③灰色/灰色	底部回転糸切り。高台貼り付け。 内外面とも釉付着。

第99表　72号住居跡出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	須恵器 碗	底部破片	口：　— 底：〈 7.0〉 高：　—	①白色粒・細砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	底部回転糸切り。高台貼り付け。

第100表　12号溝出土遺物観察表

No. PL.	種別 器種	残存状況 出土位置	計測値(cm)	①胎土②焼成 ③色調(外面/内面)	成・整形の特徴等
1 PL.100	須恵器 坏	口縁～底部2/5	口：〈 8.9〉 底：　7.8 高：　3.7	①細砂粒混入 ②良好/還元 ③灰色/灰色	底部回転篦削り。

第101表　13号溝出土遺物観察表

Ⅶ　成果と問題点

今回の発掘調査結果より、高梨子柳下・森下地区には縄文時代から平安時代にかけて断続的に集落が形成されていた可能性が高まった。当該期の遺構こそ検出されなかったが、多量に出土した縄文時代後晩期土器、高梨子地区で初めて確認されたAs―B下水田など、高梨子地区の歴史の解明に向け、貴重な発見が多数あった。ここでは、今回調査が行われた各遺跡について、時代ごとに若干の考察を加えまとめとしたい。

高梨子柳下遺跡

浅間山東方に位置する安中市は、市全域においてAs―Bの残存状況が概ね良好である。本遺跡においても、調査区全体に約10～20㎝の厚さでAs―B一次堆積層が確認されている。調査区は九十九川右岸の下位段丘上に位置し、九十九川に向かい緩やかに下る北斜面となっている。上位段丘上には現在の高梨子地区集落が展開している。そして、上位段丘･下位段丘の境界付近には今現在でも湧水が認められる。検出された水田跡は、条里制を示しておらず、地形の制約を受けた不整形な小～中区画水田である。南北方向のエレベーションから看取できるように、水田の区画は湧水地点に近い斜面上位ほど小規模になる傾向がある。また、上位において畦畔間が水平でない部分が認められる。畦畔間が水平でなければ、当然水田としての機能は無いと言わざるを得ない。一つの仮説として、本水田跡は湧水を利用した谷地水田であり、上位の小区画部分は水温を上げるための施設である可能性を指摘しておく。

次に、高梨子森下遺跡13号溝と本遺跡との関連について若干の推論を述べる。

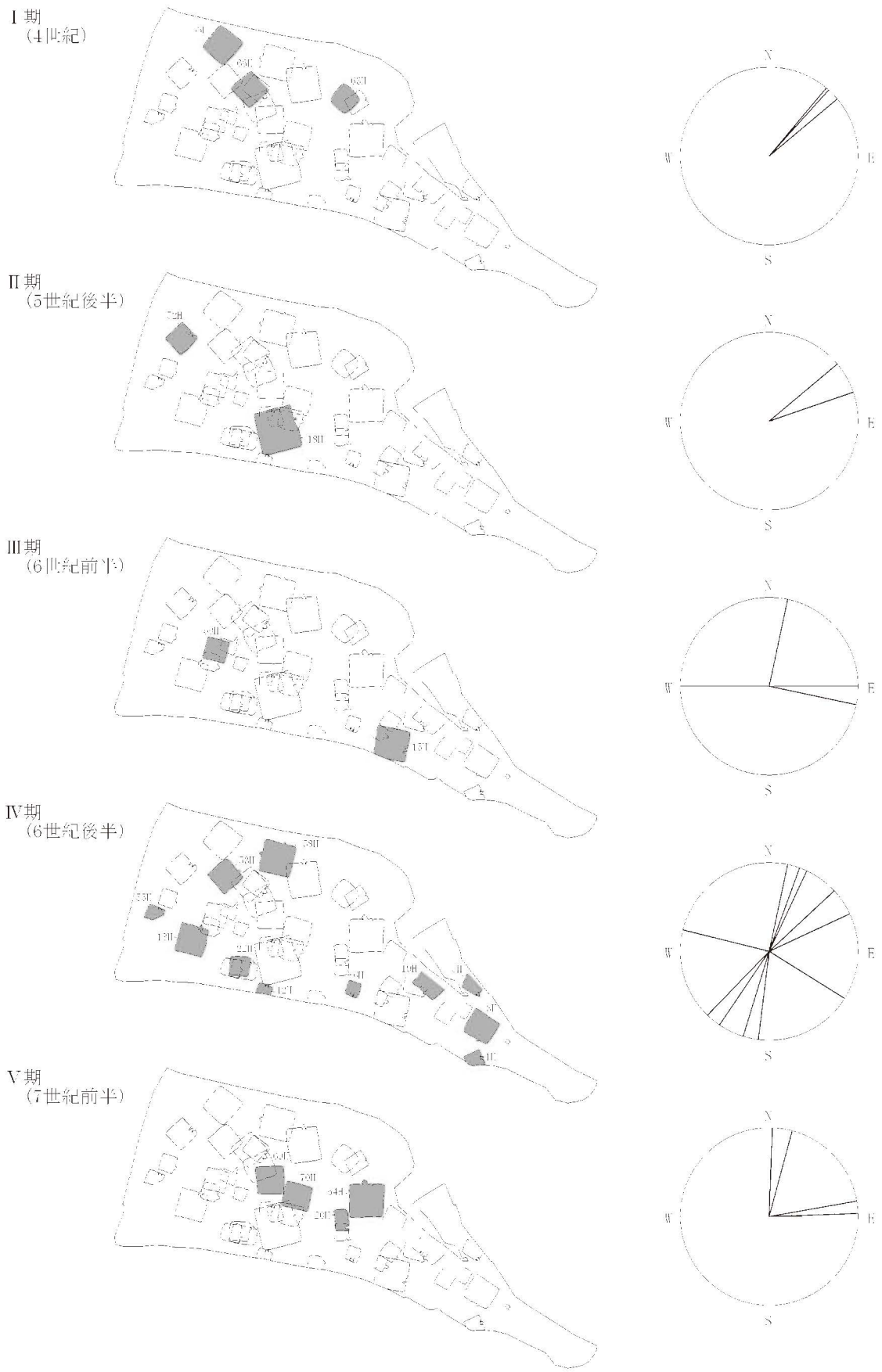
本文中に記載した通り、13号溝は比較的大規模な溝（幅約２～３ｍ、深さ最大１ｍ強）である。試掘調査より、本溝は九十九川上流から上位段丘縁辺部に沿って構築されていることが分かっている。そして、森下遺跡１区・２区・４区で検出された古墳～平安時代集落が展開する微高地を横断し、本遺跡方面へ向かっている。覆土は粘性の低い砂質土が主体であり、覆土中からは縄文時代前期～平安時代の土器が出土している。構築時期は、高梨子森下遺跡１区・２区・４区の調査より、10世紀の住居跡を壊して構築されていること、覆土中にAs―Bが混入することから、10～11世紀の可能性が高い。13号溝が、高梨子柳下遺跡で検出されたB下水田への用水路であると断定する証拠はないが、可能性は高いと考えている。

高梨子森下遺跡

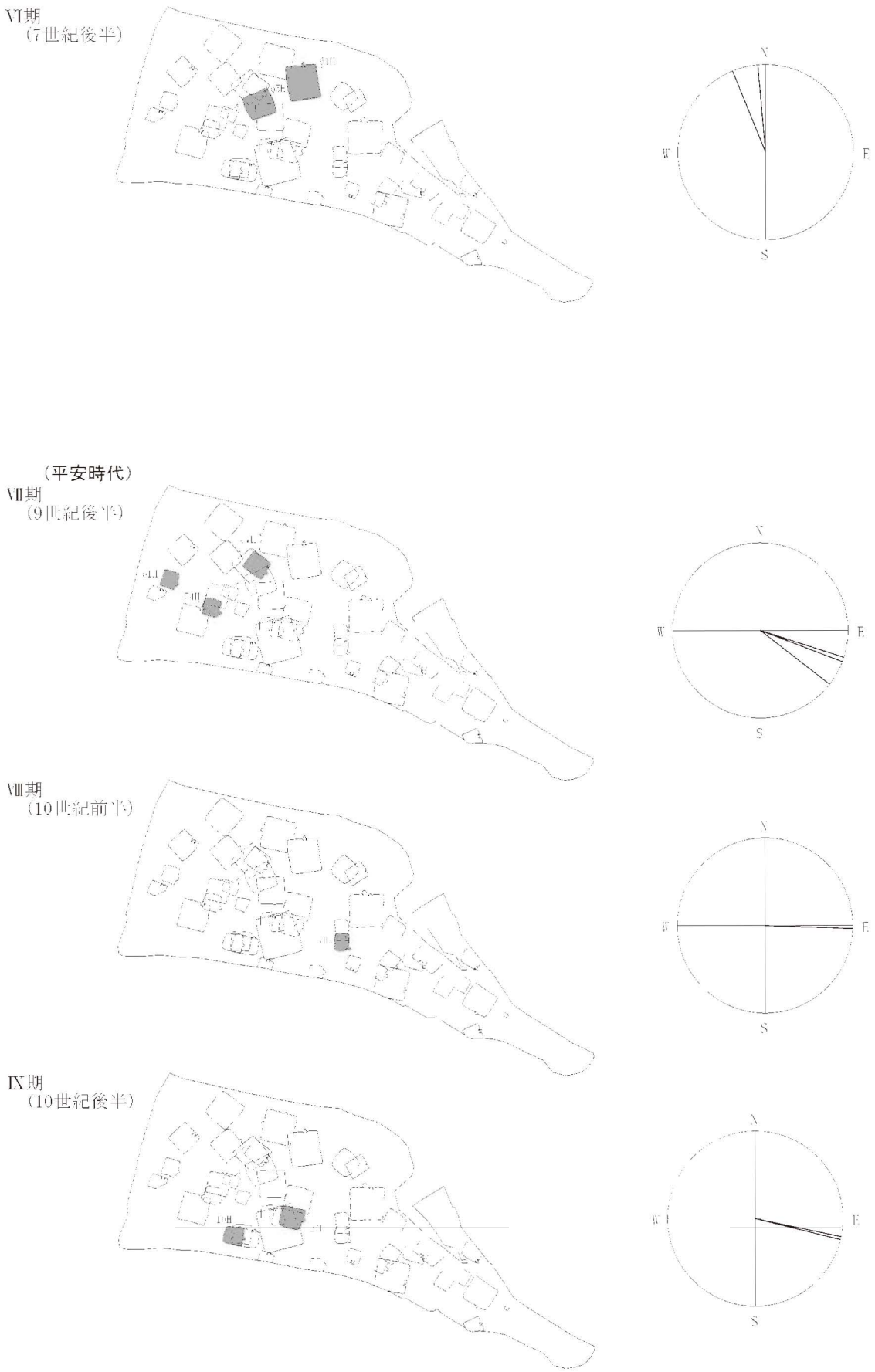
縄文時代

本遺跡からは、縄文時代前期～晩期までの土器が出土している。ただし前期～中期までの土器片は、溝覆土中等に散見されるのみであり、大部分は後期～晩期の遺物である。また、それらの殆どは１区の浅い谷地より出土している。この谷地は上位段丘と下位段丘との境界斜面付近に位置し、調査中絶えることなく湧水が認められた。遺物収納箱約48箱の遺物がこの部分より出土しているが、当該期の遺構検出には至っていない。断定はできないが、出土状況より土器は斜面に廃棄されたものである可能性が考えられる。また、高梨子地区においては、平成６年度の「高梨子三次郎遺跡」の発掘調査で、晩期末葉の土器片が少量ながら出土している。以上の点から、現在の高梨子集落が営まれている上位段丘上に、後晩期の遺構が存在すると推定される。

（古墳時代）



第157図　森下遺跡１区・２区・４区住居跡変遷と主軸(1)



第158図　森下遺跡１区・２区・４区住居跡変遷と主軸(2)

古墳時代

今回の調査により、古墳時代の住居跡は39軒検出されている。これらの住居跡のうち、森下遺跡の１区・２区・４区について、集落の変遷・住居跡の主軸を示したのが第157図及び第158図である（主軸については推定も含めている）。以下、各時期の概要について述べる。

Ⅰ期（４世紀）の所産と考えられるのは、斜面下位に位置する３軒である。平面形状は方形または隅丸方形であり、主軸はほぼ一致している。

Ⅱ期（５世紀後半）の所産と考えられるのは２軒のみである。平面形状・主軸についてはⅠ期と同様である。

Ⅲ期（６世紀前半）の所産と考えられるのも２軒のみである。平面形状はⅠ・Ⅱ期と同様であるが、主軸は今まで北東を指向していたのが、北と東を指向するようになる。

Ⅳ期（６世紀後半）において、本集落は住居数のピークを迎える。Ⅲ期までは比較的大型の住居跡が多かったが、本時期においては小型のものも混在する。主軸については北東と南西に集中する傾向が認められる。通常ほとんど例を見ない「南カマド」の住居が４軒存在することが注目される。

Ⅴ期（７世紀前半）の所産と考えられるのは４軒であり、20号住居跡を除いて方形の大型住居である。主軸は北と東を指向する。

Ⅵ期（７世紀後半）の所産と考えられるのは２軒である。いずれも方形基調の比較的大型の住居であり、主軸は北を指向する。

奈良・平安時代

奈良・平安時代の住居跡は29軒検出された。これらの住居跡は出土遺物より８～11世紀の所産と考えられる。森下遺跡の１区・２区・４区について、集落の変遷・住居跡の主軸を示したのが第158図である。Ⅶ～Ⅸ期の全時期において長方形基調で東西方向に長軸を持つ住居跡が多い。主軸は全て東～南東である。また、今回の調査区においては、古墳時代と奈良・平安時代の住居跡が混在するが、奈良・平安時代の住居跡は調査区南寄り（斜面上位）に集中する傾向が認められる。

高梨子柳下遺跡の項で述べたように、これらの住居跡を壊して構築されているのが13号溝であり、その構築時期は10～11世紀の可能性が高い。本溝はそれまでの居住域であった下位段丘上微高地を横断する形で構築されており、As－Ｂ下水田が確認された高梨子柳下遺跡方面を指向することから、先述のように水田耕作のための用水路である可能性を考えたい。また、本溝の構築以降、下位段丘上には住居跡は認められない。中世において、松井田城の城下町としての高梨子集落が上位段丘上に営まれていたことは確実である。つまり、平安時代半ば以降の下位段丘上における一定規模の水田開発に伴い、居住域としての上位段丘、生産域としての下位段丘という土地利用方法の区別化が進行したものと推定される。

（壁　伸明）

参考文献

関　光保他　1985年　『松井田町誌』　松井田町誌編さん委員会

長井正欣他　1998年　『高梨子三次郎遺跡』　松井田町埋蔵文化財調査会

千田茂雄他　2004年　『古屋地区遺跡群』　安中市教育委員会

大川　清他　1997年　『日本土器事典』　雄山閣

写　真　図　版

高梨子地区遺跡群 空撮（東から）

高梨子柳下遺跡 空撮（北から）

高梨子森下遺跡３区 空撮（北から）

高梨子森下遺跡３区 空撮（上が北）

高梨子柳下遺跡 As-B下水田跡空撮（上が北）

As-B下水田跡 畦畔検出状態（区画８付近、西から）

As-B下水田跡 畦畔検出状態（区画21～23、北から）

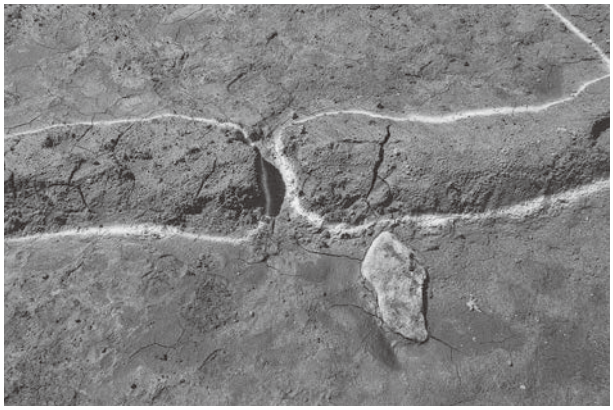
As-B下水田跡 畦畔検出状態（区画79、北から）

As-B下水田跡 畦畔検出状態（区画73～78、北から）

As-B下水田跡 水口検出状態（区画13東側、北から）

As-B下水田跡 水口検出状態（区画28北東隅、北から）

As-B下水田跡 水口検出状態（区画20東側、北東から）

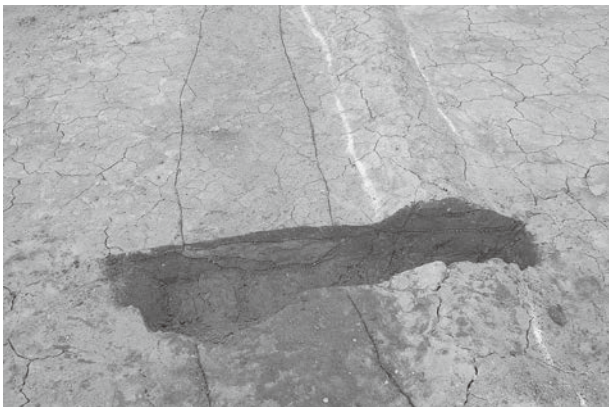


As-B下水田跡 水口検出状態（区画27北側、北から）

As-B下水田跡 畦畔断面（P－P’、西から）

As-B下水田跡 畦畔断面（Q－Q’、西から）

As-B下水田面にみえる前代の溝状遺構（東から）

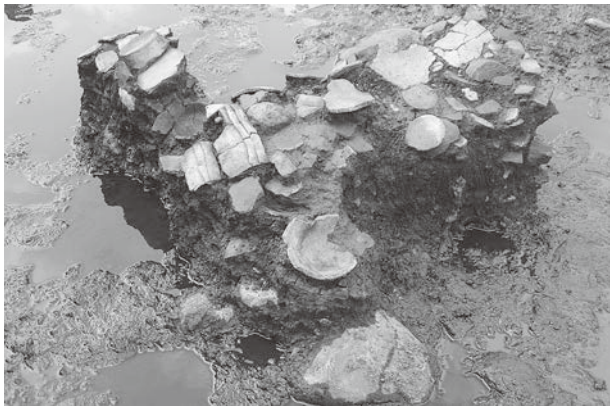


As-B下水田跡下 溝状遺構断面（東から）

As-B下水田跡下 畦畔断面（南から）

縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（東から）

縄文時代遺物包含層 土層断面（東から）



縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（北から）

縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（東から）

縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（北から）

縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（北から）

縄文時代遺物包含層 遺物出土状態（北から）

1 号炉跡 土器出土状態（南から）

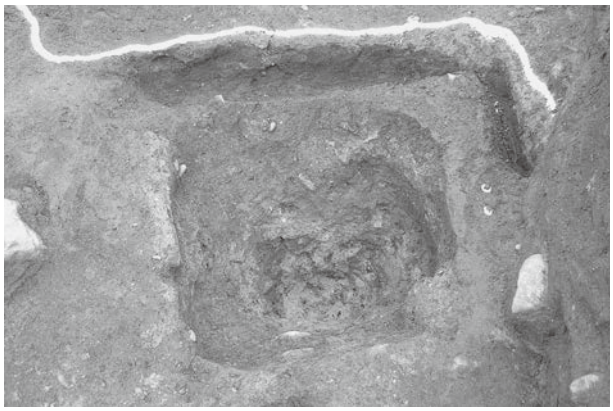
1 号炉跡内ピット及び焼土検出状態（南から）

1 号炉跡断面（東から）

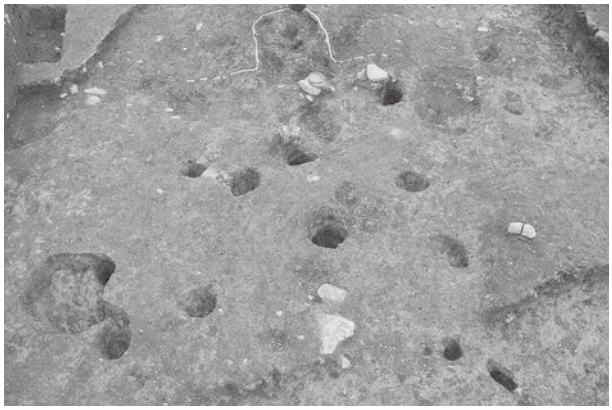
1 号炉跡 炉壁検出状態（東から）

１号住居跡 全景（南西から）

１号住居跡 カマド全景（南西から）



１号住居跡 貯蔵穴全景（南西から）



２号住居跡 全景（北西から）

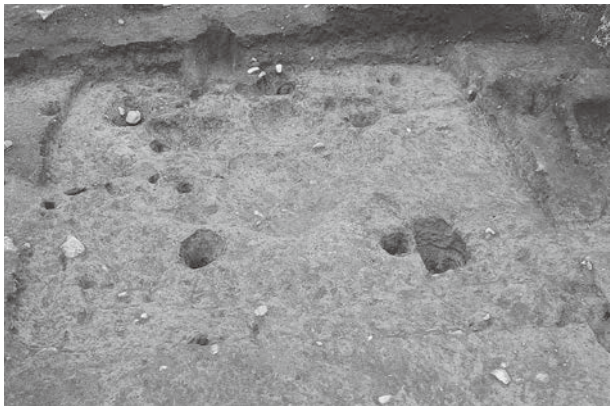
２号住居跡 カマド全景（北西から）

３号住居跡 全景（北東から）

３号住居跡 礫出土状態（北から）

３号住居跡 カマド全景（北東から）

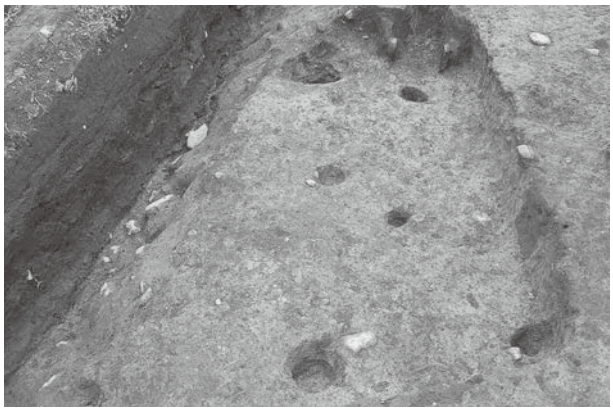
３号住居跡 貯蔵穴全景（北東から）



３号住居跡 掘り方（北東から）

５号住居跡 カマド遺物出土状態（北西から）

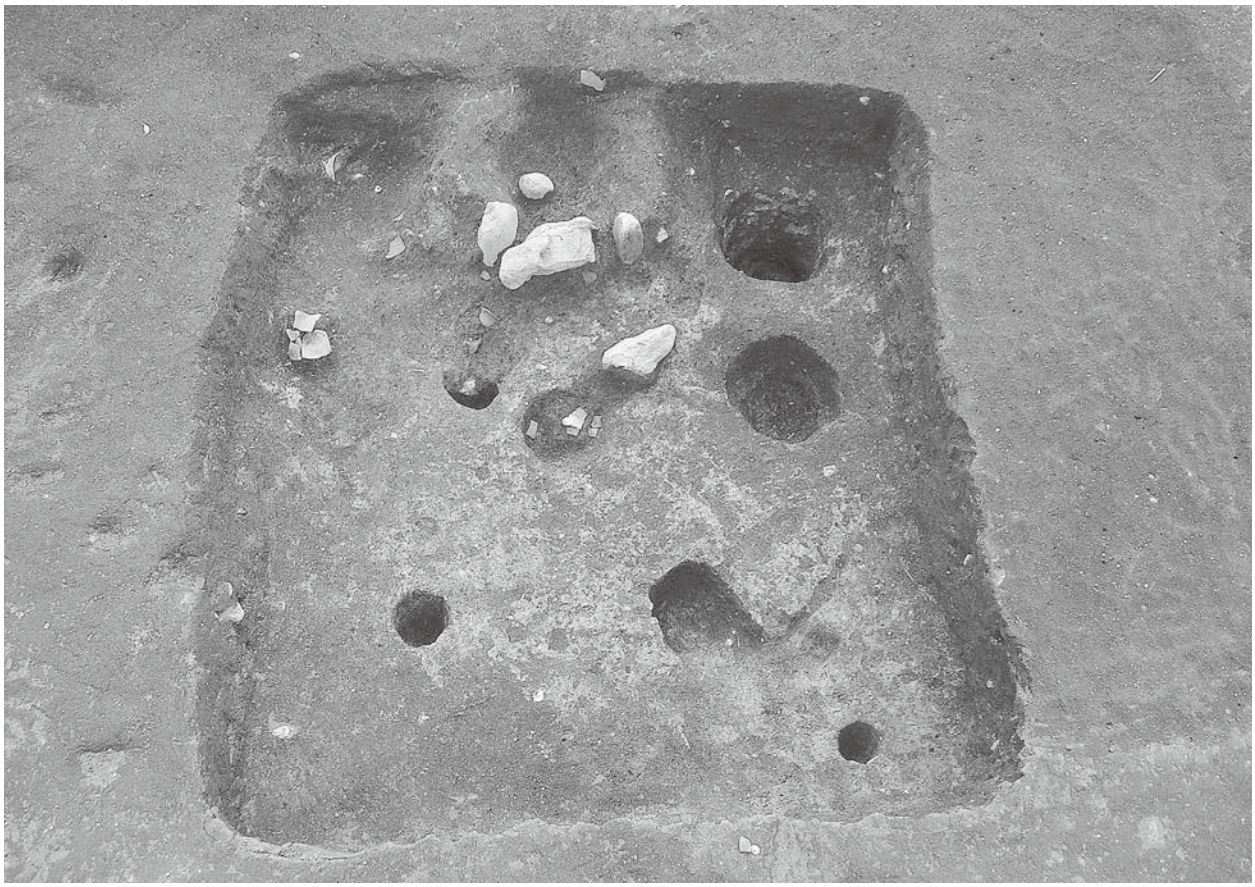
５号住居跡 遺物出土状態（北西から）



５号住居跡 全景（北西から）

５号住居跡 カマド全景（北西から）

４号住居跡 全景（東から）



６号住居跡 床面遺物出土状態（北から）

６号住居跡 全景（北から）

６号住居跡 覆土中遺物出土状態（北から）

６号住居跡 カマド周辺遺物出土状態（北から）

６号住居跡 カマド遺物出土状態（北から）

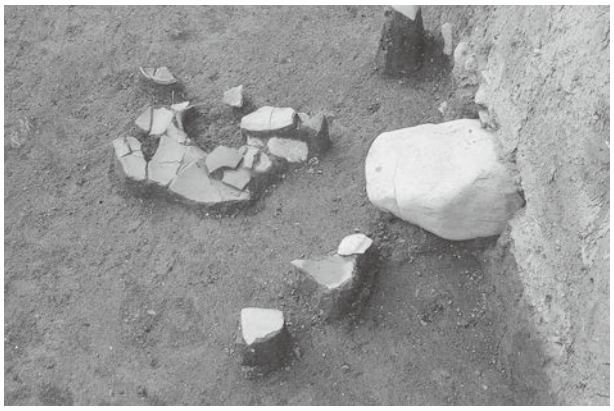
６号住居跡 カマド全景（北から）

６号住居跡 カマド袖断面（北から）

11号住居跡 全景（南から）

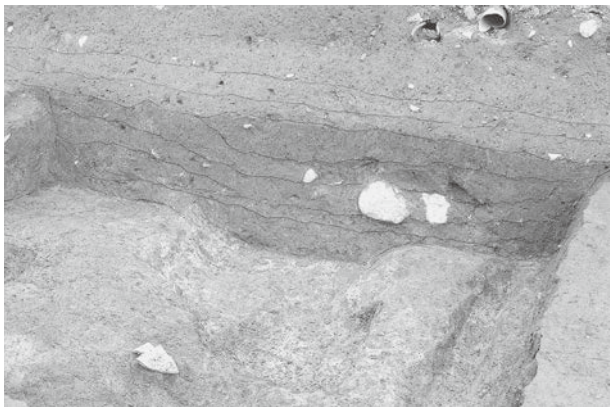
11号住居跡 覆土中遺物出土状態（南から）

11号住居跡 床面遺物出土状態（南から）

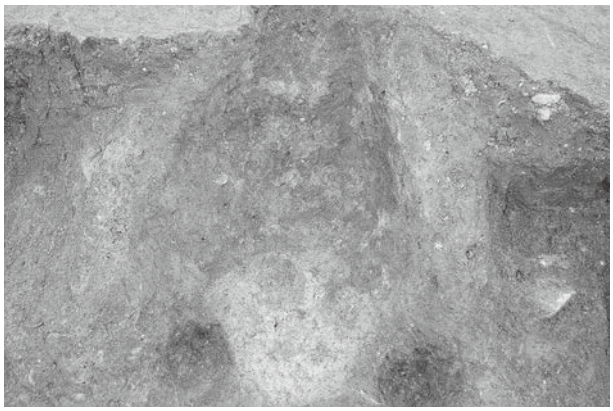


11号住居跡 遺物出土状態（東から）

11号住居跡 遺物出土状態（西から）



12号住居跡 断面（北から）



12号住居跡 カマド全景（南から）

12号住居跡 全景（南から）

12号住居跡カマド左袖下 臼玉出土状態（南から）

13号住居跡 全景（東から）

13号住居跡 遺物出土状態（東から）

13号住居跡 遺物出土状態（西から）

13号住居跡 遺物出土状態（南から）

13号住居跡 遺物出土状態（東から）

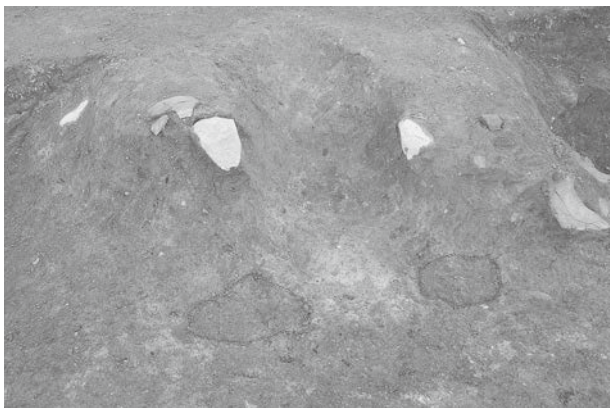
15号住居跡 全景（北から）

15号住居跡 礫出土状態（西から）

15号住居跡 土器出土状態（北から）

15号住居跡 遺物出土状態（北から）

15号住居跡 遺物出土状態（北から）



15号住居跡 カマド全景（西から）

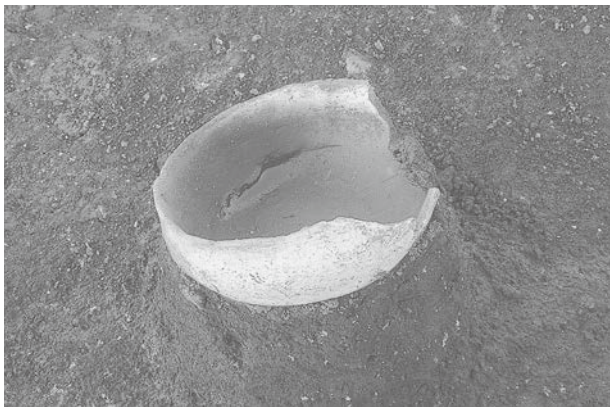
15号住居跡 カマド袖断面（西から）

15号住居跡 カマド右袖中遺物出土状態（西から）

18号住居跡 遺物出土状態（西から）

18号住居跡 遺物出土状態（東から）

18号住居跡 遺物出土状態（南から）


18号住居跡 遺物出土状態（西から）

18号住居跡 貯蔵穴脇石敷検出状態（北東から）

18号住居跡 貯蔵穴断面（西から）

18号住居跡 全景（南から）

18号住居跡 貯蔵穴脇石敷検出状態（南から）

19号住居跡 全景（東から）

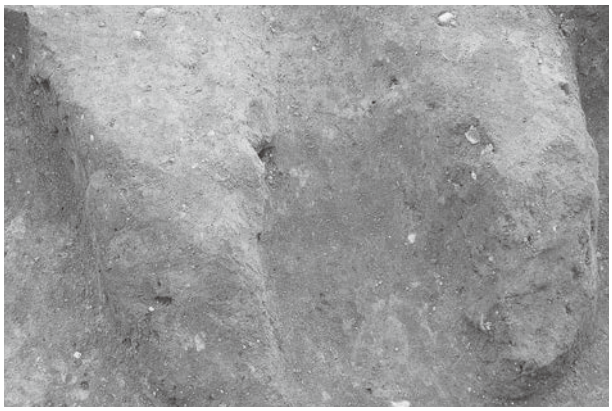
19号住居跡 遺物出土状態（東から）

19号住居跡 遺物出土状態（北東から）

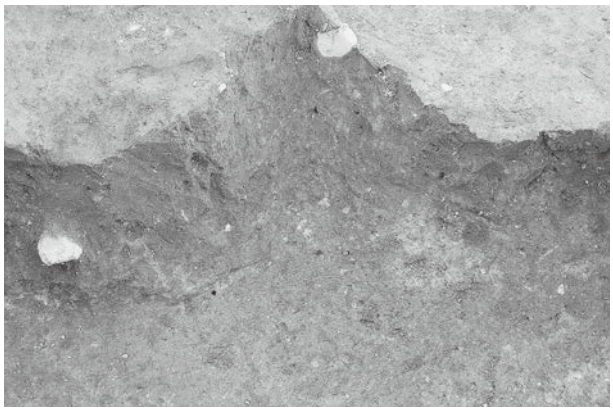
19号住居跡 カマド遺物出土状態（北から）

19号住居跡 遺物出土状態（東から）

19号住居跡カマド左脇 遺物出土状態（北から）



19号住居跡 カマド全景（南から）



19号住居跡 旧カマド全景（南から）

22号住居跡 遺物出土状態（北から）

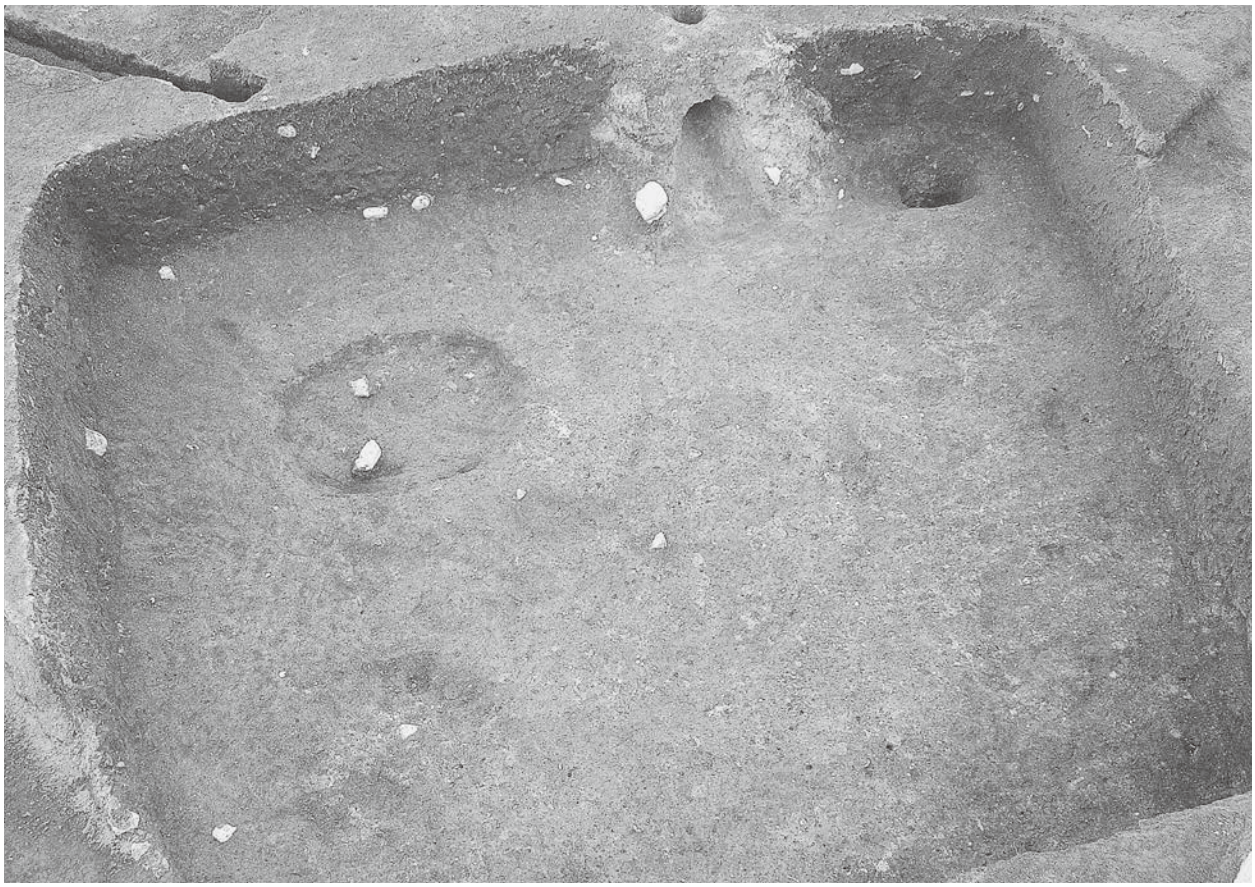
22号住居跡 遺物出土状態（西から）

22号住居跡 遺物出土状態（北から）

22号住居跡 全景（北から）

22号住居跡 カマド全景（北から）

22号住居跡 カマド断面（北から）



26号住居跡 全景（西から）

26号住居跡 土坑（D－2）検出状態（西から）

26号住居跡 土坑（D－2）断面（西から）

26号住居跡 カマド遺物出土状態（西から）

26号住居跡 遺物出土状態（西から）

26号住居跡 遺物出土状態（西から）

26号住居跡 遺物出土状態（北から）

26号住居跡 遺物出土状態（北から）

26号住居跡 遺物出土状態（西から）

26号住居跡 遺物出土状態（北から）

26号住居跡 カマド全景（西から）

26号住居跡 カマド袖断面（西から）

26号住居跡 カマド煙道断面（南から）

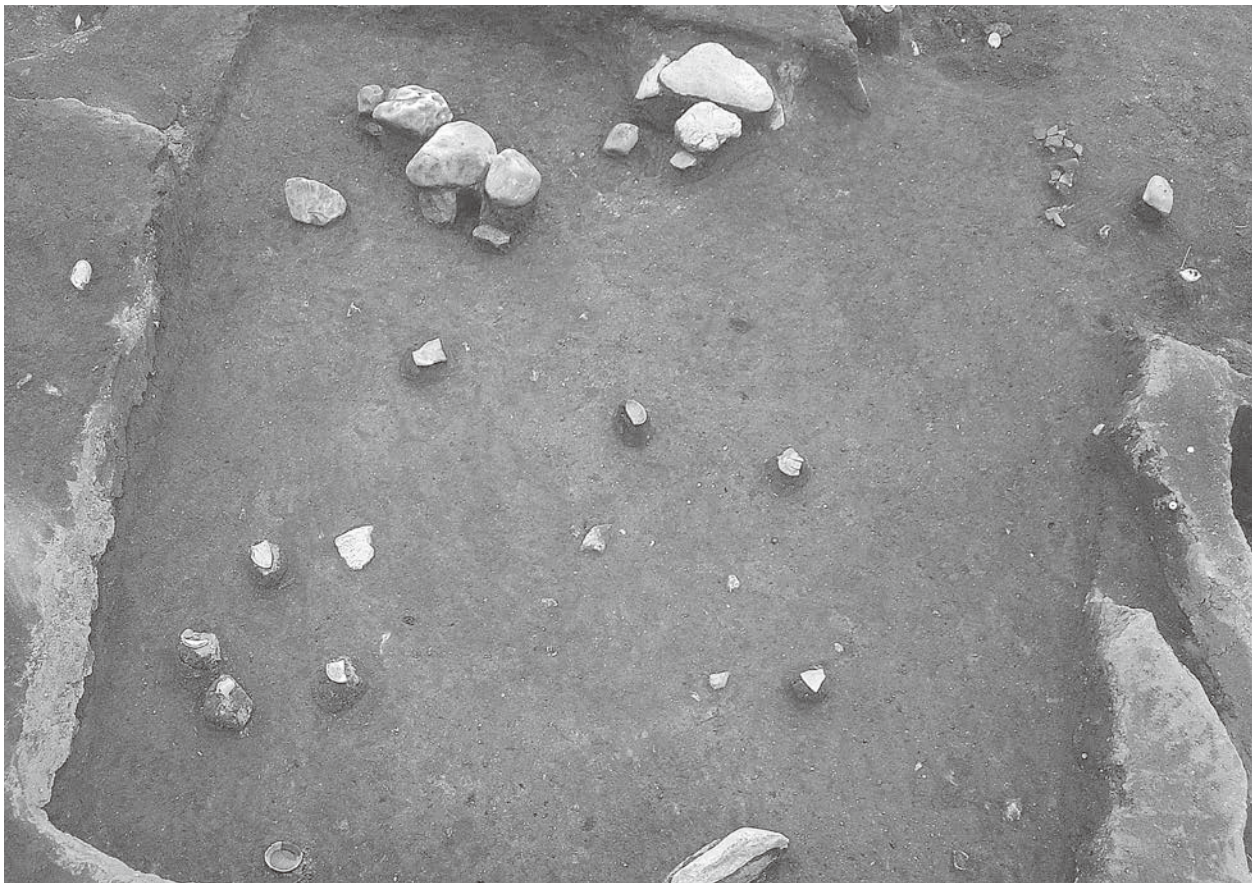
28号住居跡 遺物出土状態（南東から）

28号住居跡 全景（南東から）

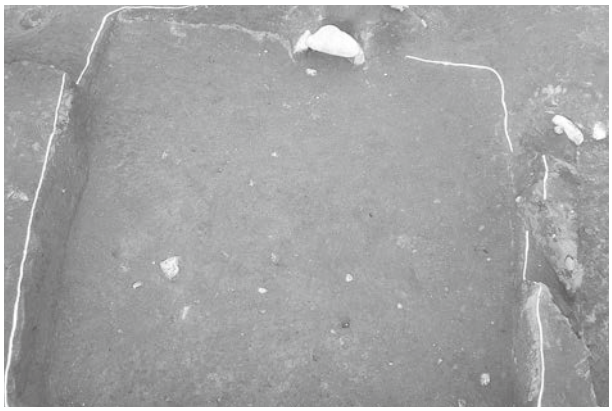
28号住居跡 カマド全景（南東から）

28号住居跡 遺物出土状態（北西から）

28号住居跡 遺物出土状態（北西から）



32号住居跡 遺物出土状態（南東から）



32号住居跡 全景（南東から）

32号住居跡 遺物出土状態（南東から）

32号住居跡 遺物出土状態（西から）

32号住居跡 カマド全景（南東から）

33号住居跡 カマド礫出土状態（南から）

33号住居跡 全景（南東から）

33号住居跡 遺物出土状態（東から）

33号住居跡 カマド礫出土状態（南東から）

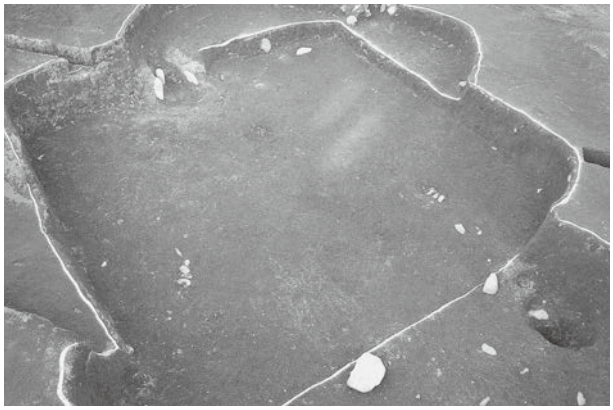
33号住居跡 カマド全景（東から）

41号住居跡 全景（南西から）

41号住居跡 遺物出土状態（南から）

41号住居跡 カマド右脇遺物出土状態（南東から）

42号住居跡 遺物出土状態（南東から）



42号住居跡 全景（南西から）

42号住居跡 カマド遺物出土状態（南西から）

42号住居跡 カマド全景（南から）

47号住居跡 遺物出土状態（西から）

47号住居跡 遺物出土状態（南から）

48号住居跡 遺物出土状態（北から）

６・７・８号溝 全景（南東から）

６・７・８号溝 断面（南東から）

７号住居跡 全景（西から）

７号住居跡 カマド全景（西から）

７号住居跡 炭化材出土状態（西から）

７号住居跡 カマド全景（西から）

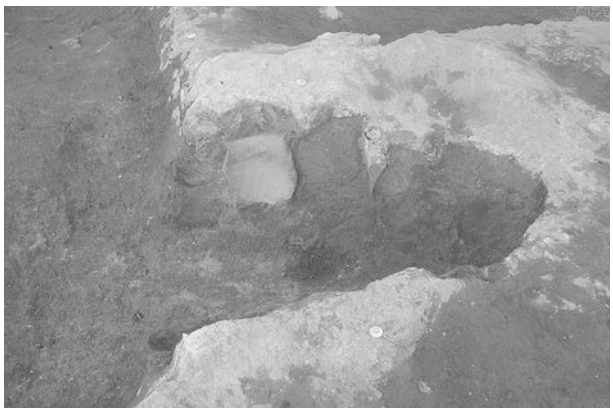
７号住居跡カマド 天井構築材崩落状態（西から）

７号住居跡カマド 燃焼部内壁検出状態（北から）

７号住居跡カマド 支脚検出状態（西から）

７号住居跡カマド 右内壁礫検出状態（北から）

７号住居跡カマド 左内壁礫検出状態（南から）



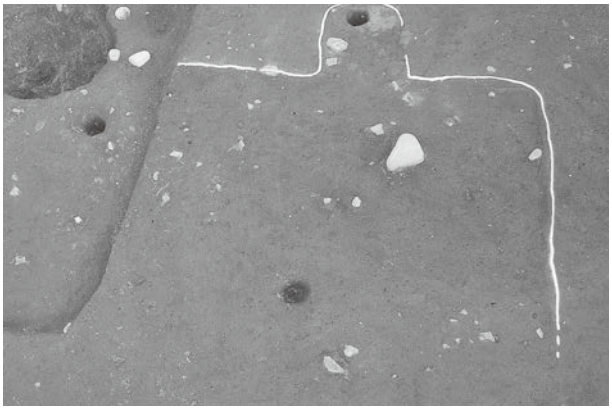
７号住居跡カマド 左内壁土器検出状態（南から）

８号住居跡 全景（西から）

８号住居跡 カマド遺物出土状態（西から）

８号住居跡 遺物出土状態（南から）

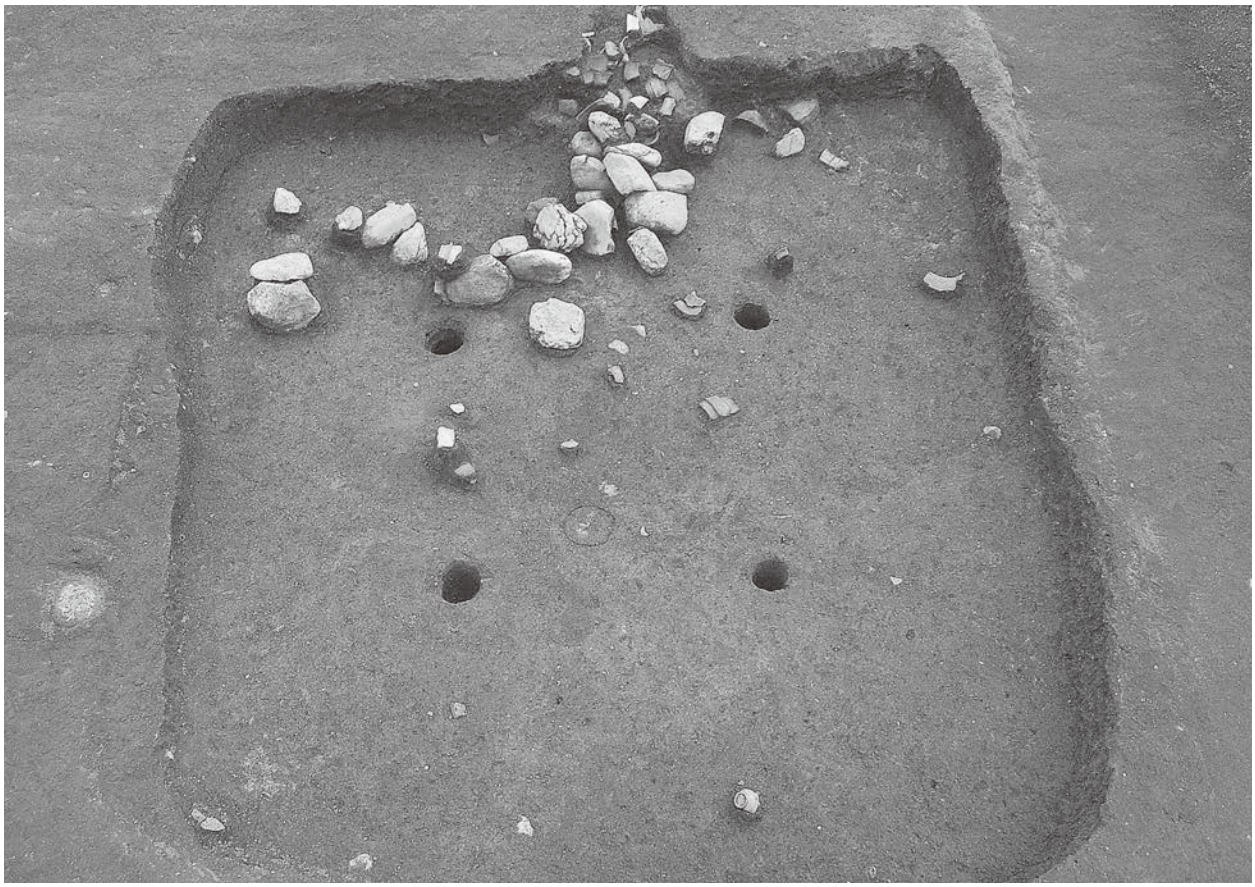
８号住居跡 遺物出土状態（西から）



９号住居跡 全景（西から）

８号住居跡内 １号集石検出状態（北から）

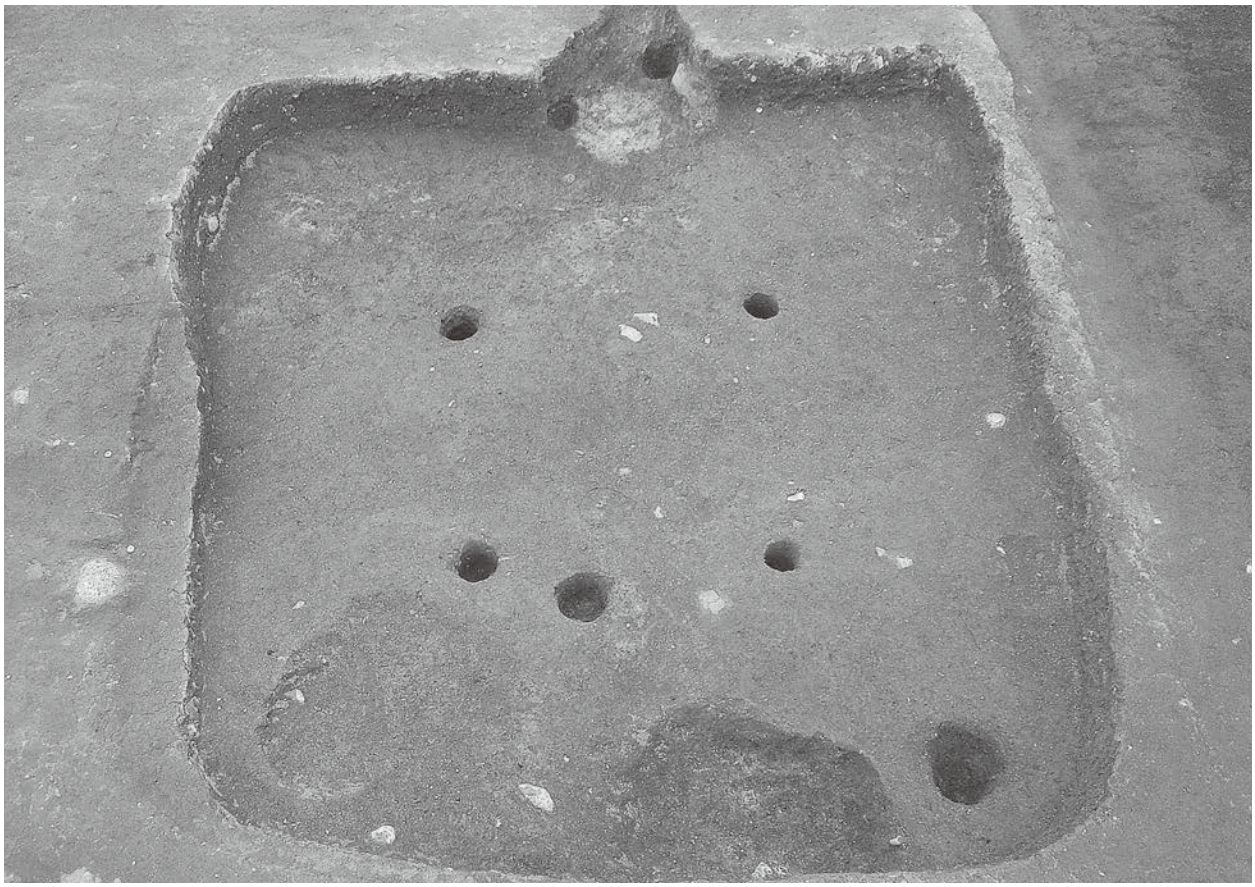
８号住居跡内 １号集石下土坑検出状態（東から）



10号住居跡 遺物出土状態（西から）

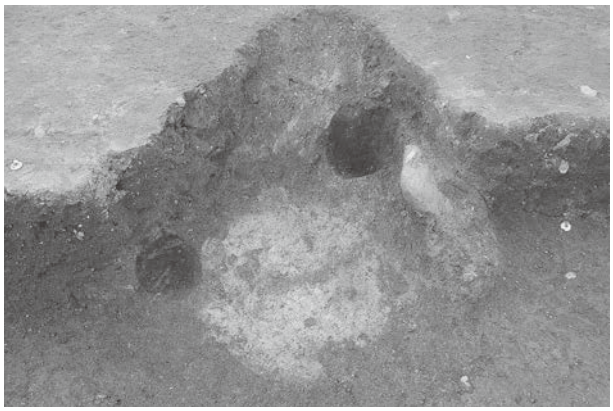
10号住居跡 遺物出土状態（北西から）

10号住居跡 遺物出土状態（北から）

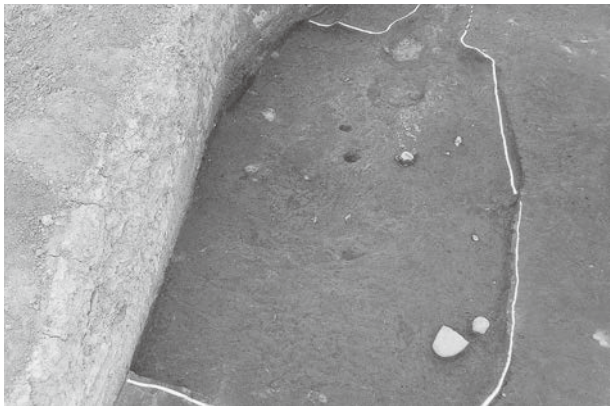


10号住居跡 全景（西から）

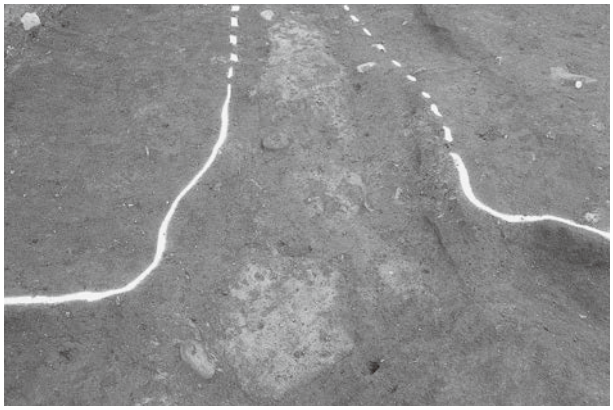
10号住居跡 カマド遺物出土状態（西から）



10号住居跡 カマド全景（西から）

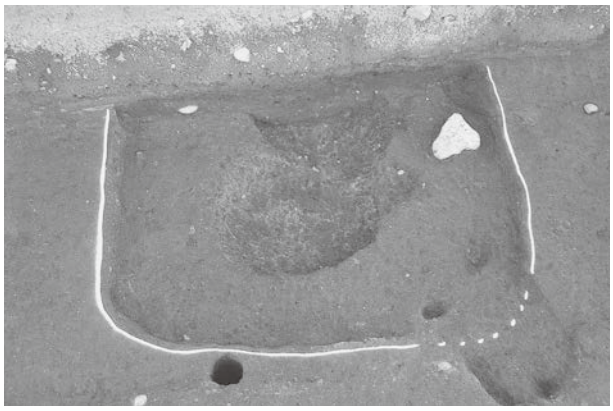


14号住居跡 全景（西から）



14号住居跡 カマド全景（西から）

17号住居跡 遺物出土状態（北から）

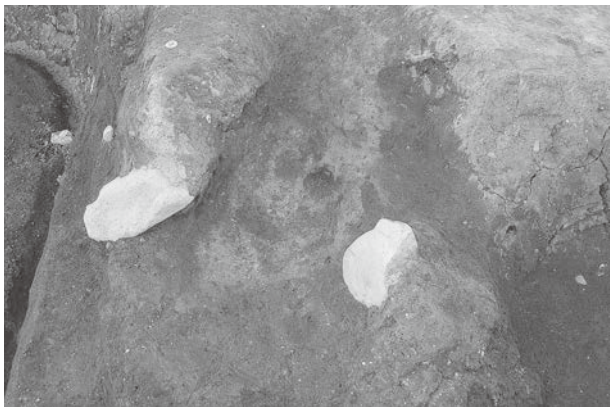


17号住居跡 全景（北から）

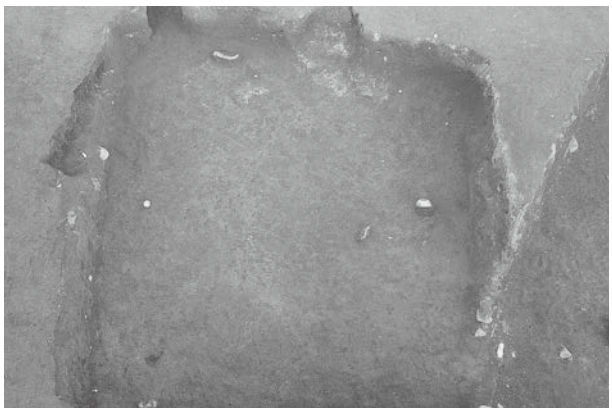
21号住居跡 全景（西から）

21号住居跡南東部 礫出土状態（西から）

21号住居跡 カマド遺物出土状態（南から）



21号住居跡 カマド全景（南から）



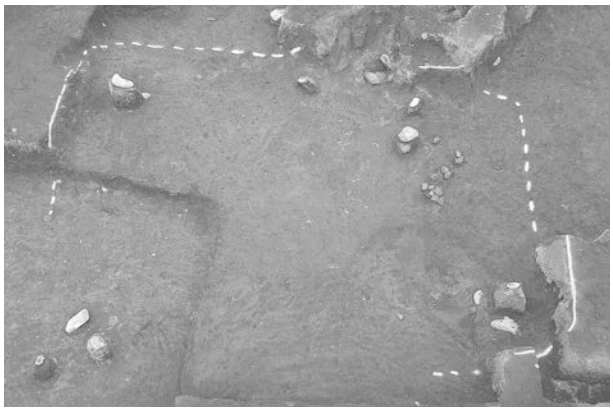
27号住居跡 全景（南西から）

29号住居跡 全景（南西から）

29号住居跡 遺物出土状態（南西から）

29号住居跡 カマド全景（南西から）

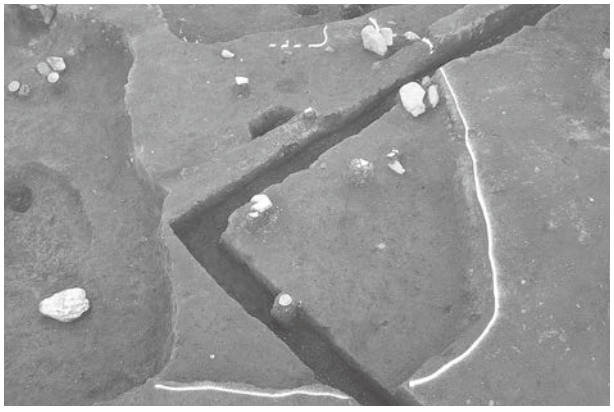
30号住居跡 全景（南西から）



31号住居跡 遺物出土状態（西から）

31号住居跡 カマド全景（西から）

36号住居跡 全景（南から）



37号住居跡 遺物出土状態（南西から）

43号住居跡 カマド遺物出土状態（南から）

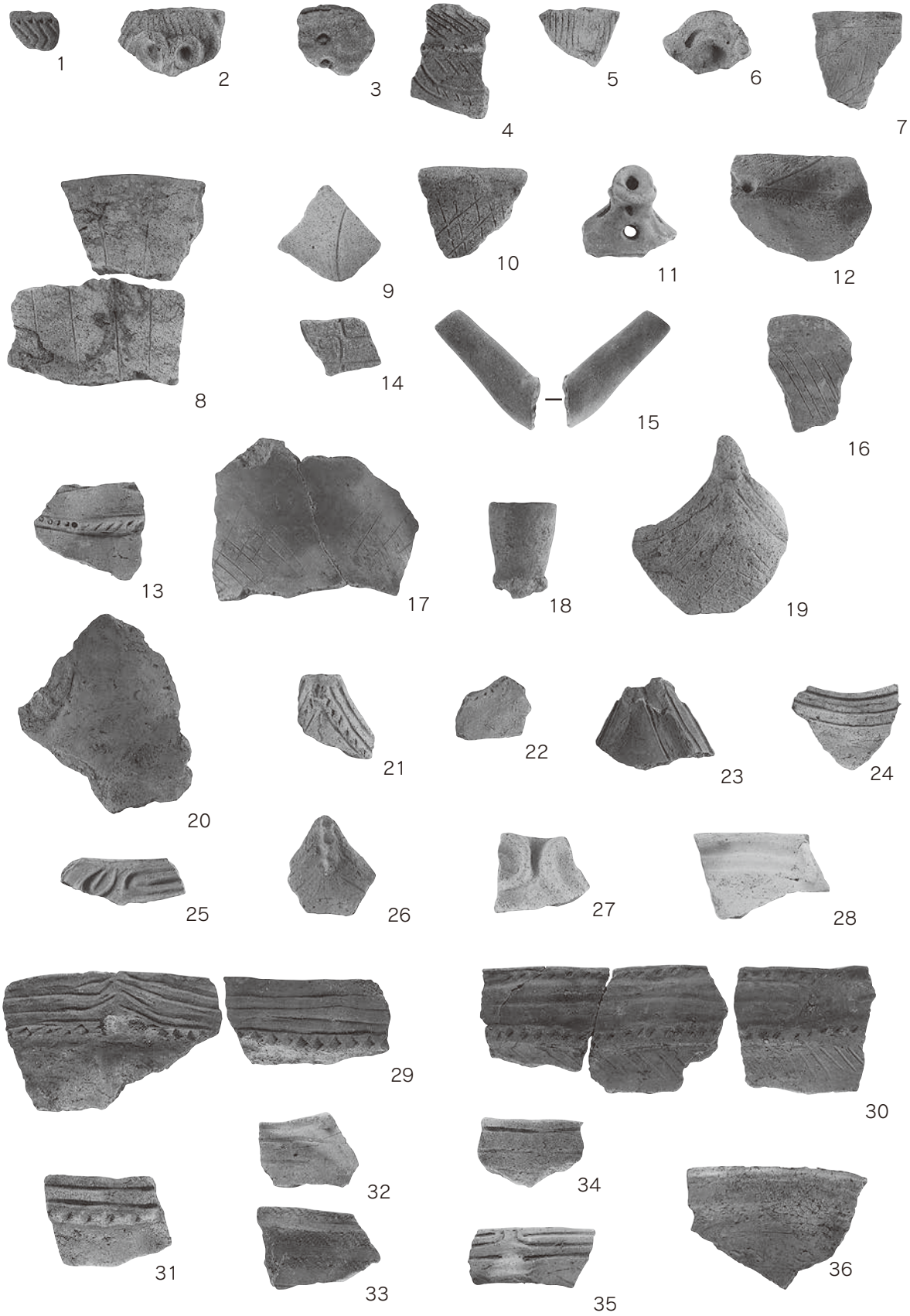
45号住居跡 カマド検出状態（西から）

45号住居跡 全景（西から）

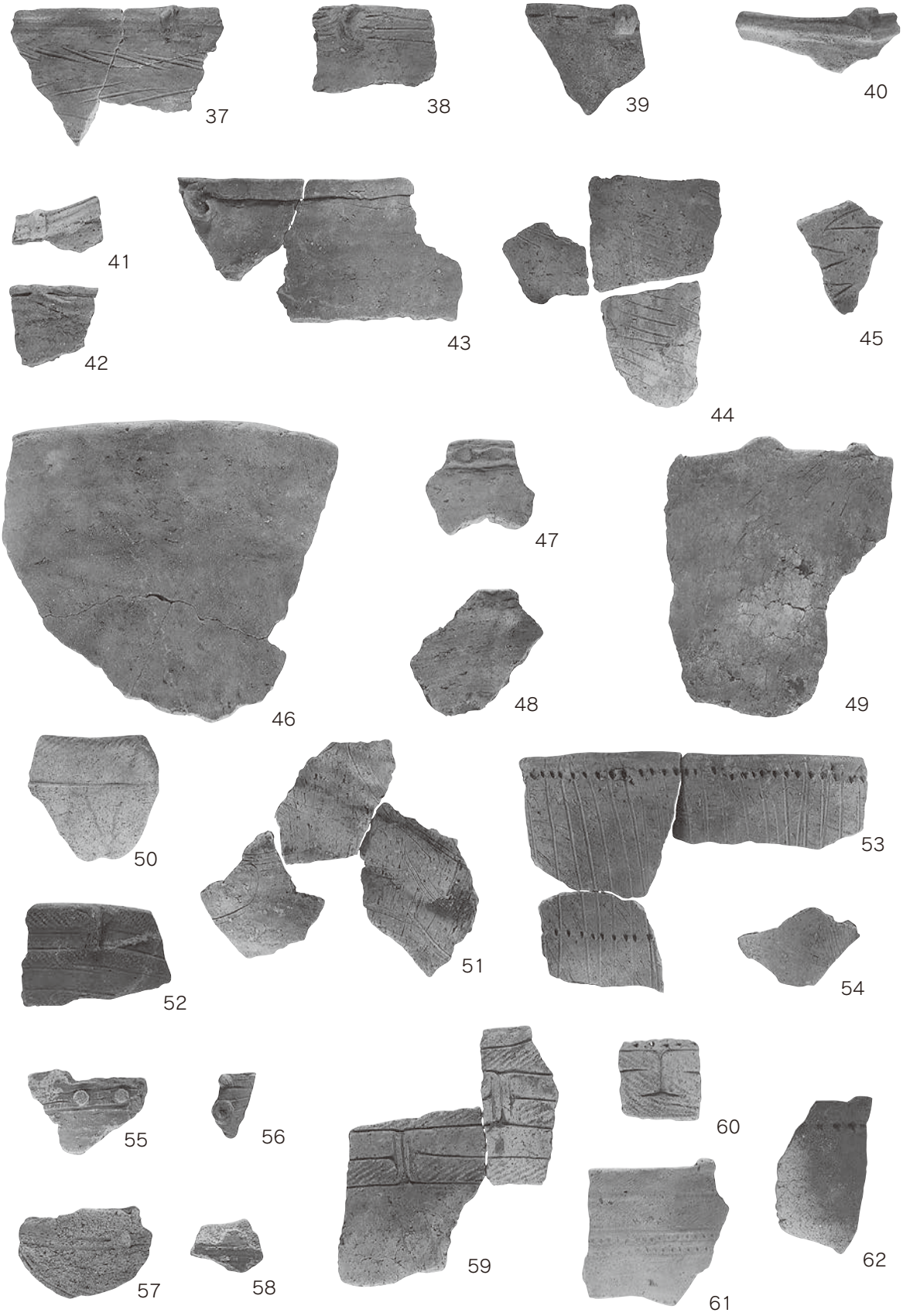
45号住居跡 カマド支脚検出状態（西から）

46号住居跡 遺物出土状態（西から）

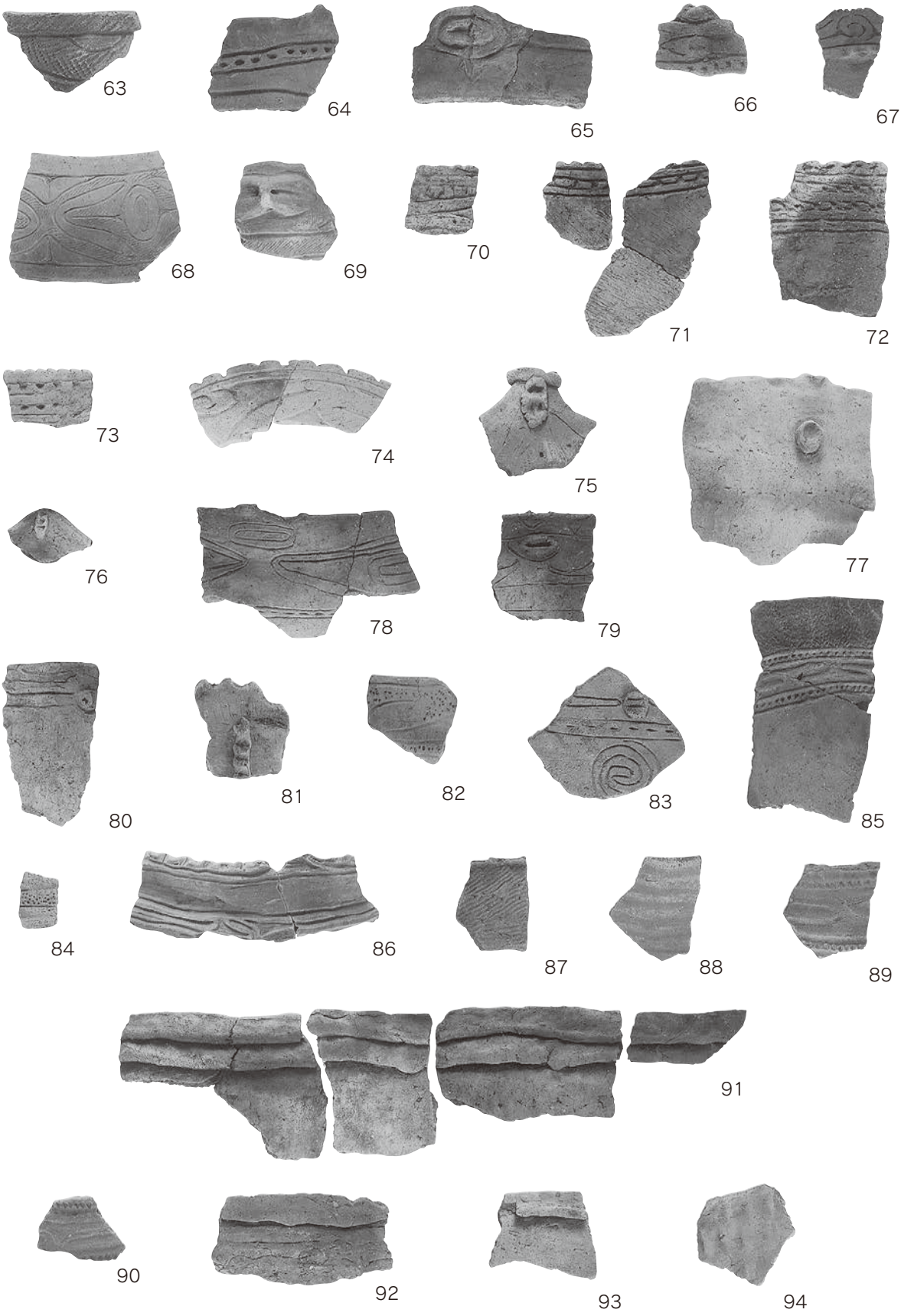
２号溝 全景（北西から）



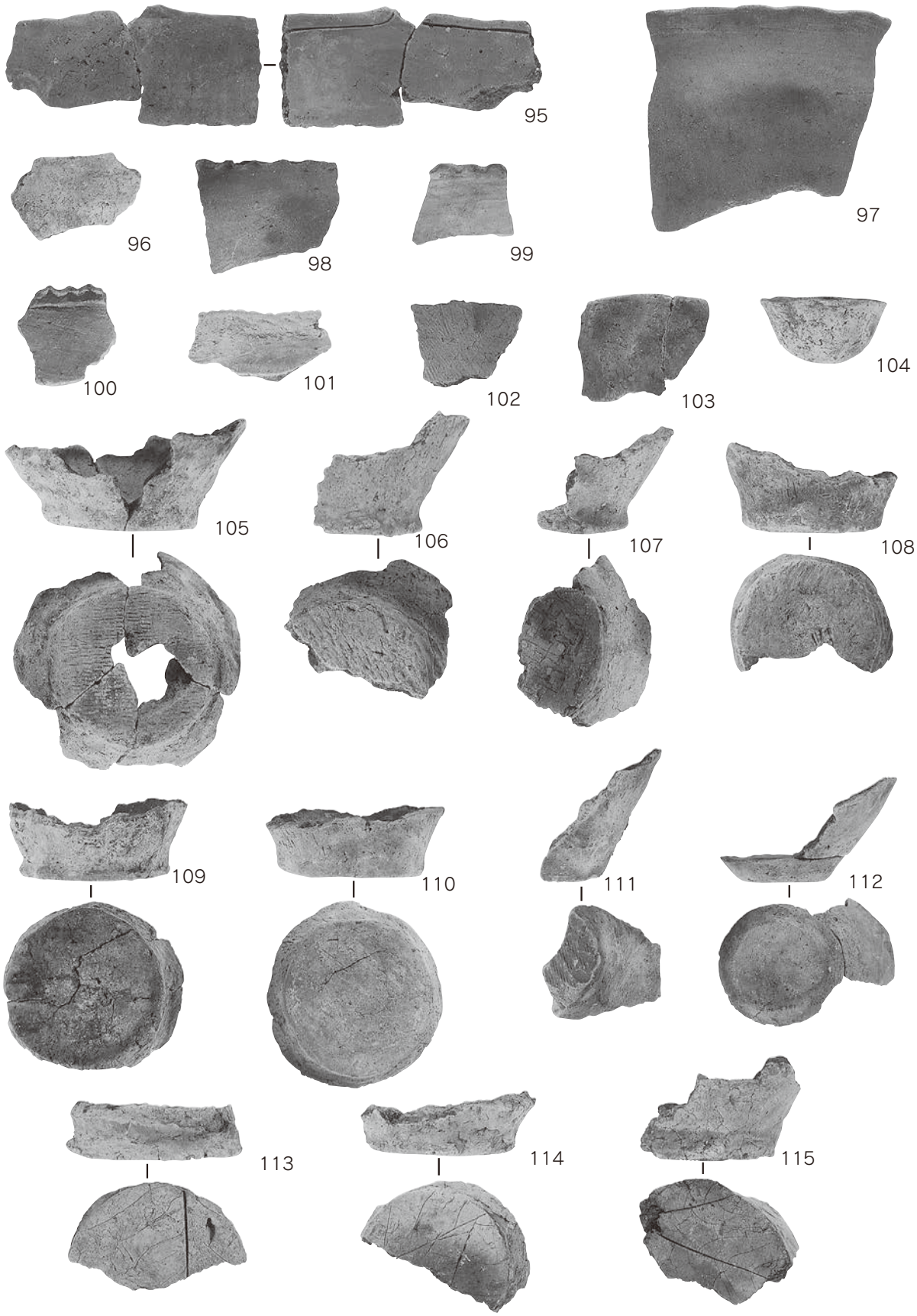
高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物①



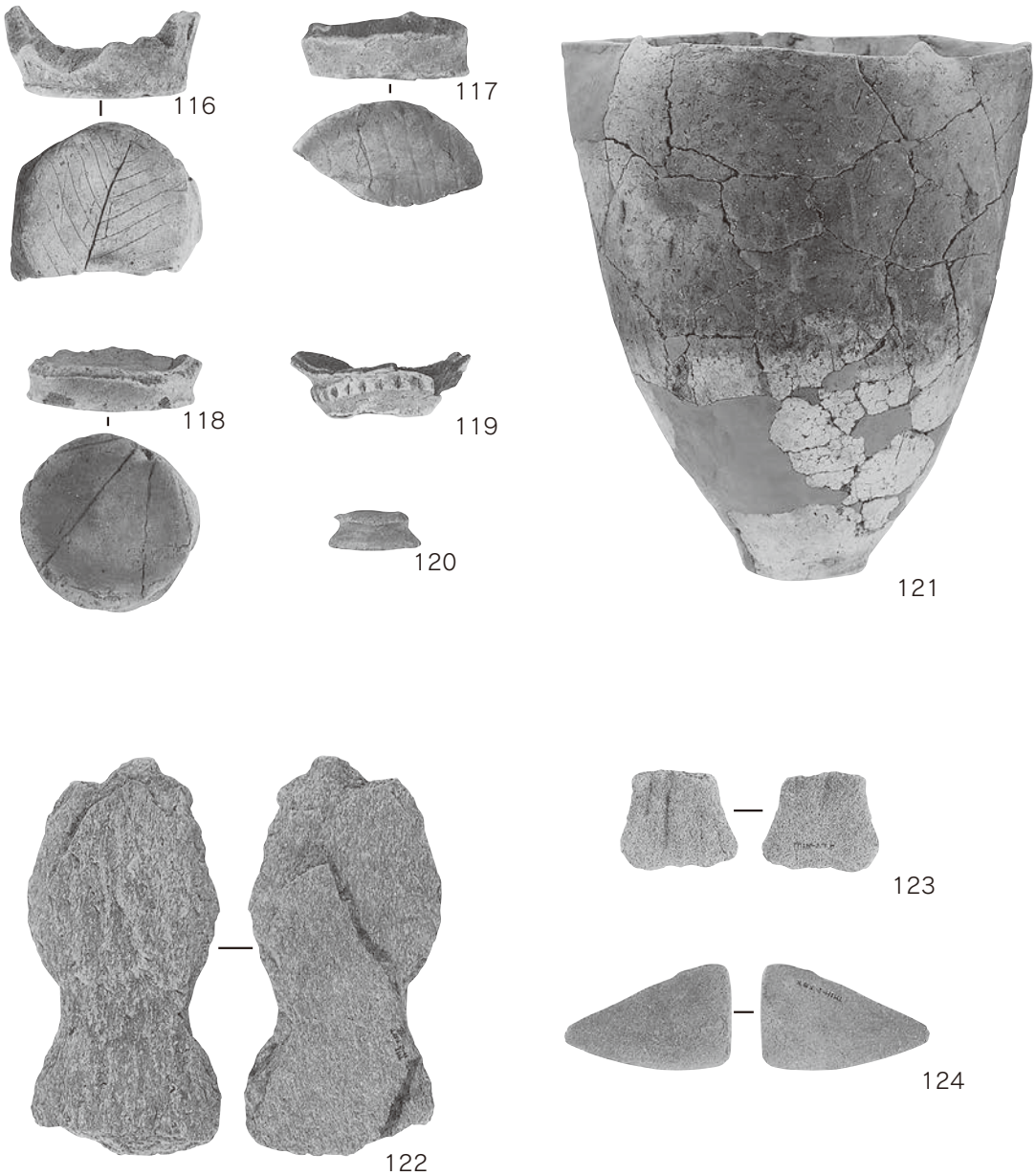
高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物②

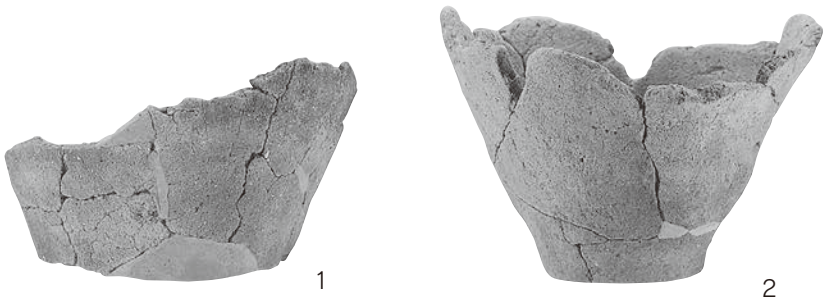


高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物③



高梨子森下遺跡１区　縄文時代包含層出土遺物④

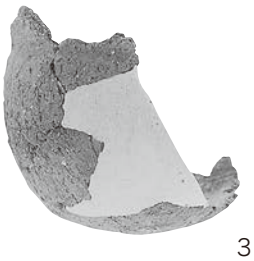




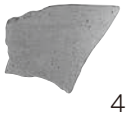
1号炉跡出土遺物

高梨子森下遺跡1区　縄文時代包含層出土遺物⑤及び1号炉跡出土遺物

１号住居跡出土遺物



２号住居跡出土遺物



３号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物①

1

４号住居跡出土遺物

1

2

3

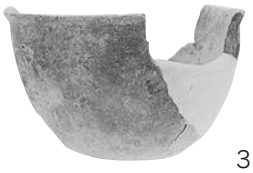
4

5

6

５号住居跡出土遺物

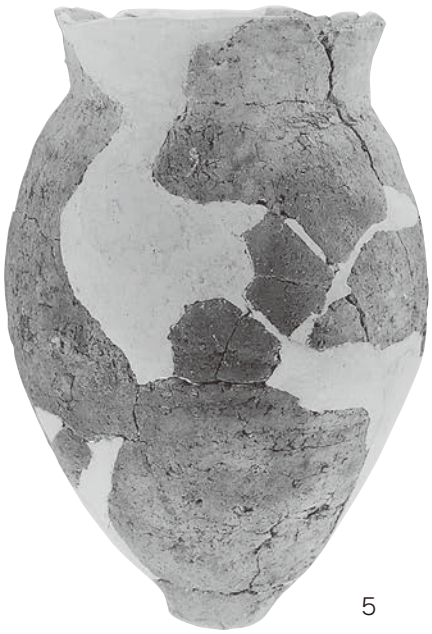
1



3

2

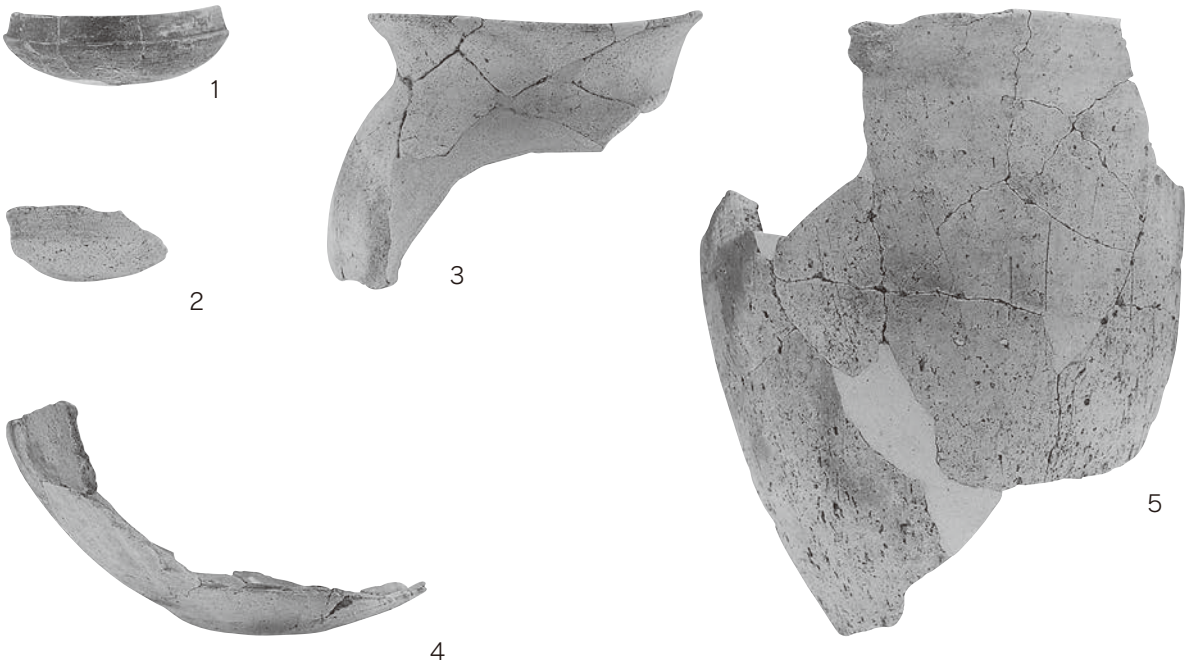
4



5

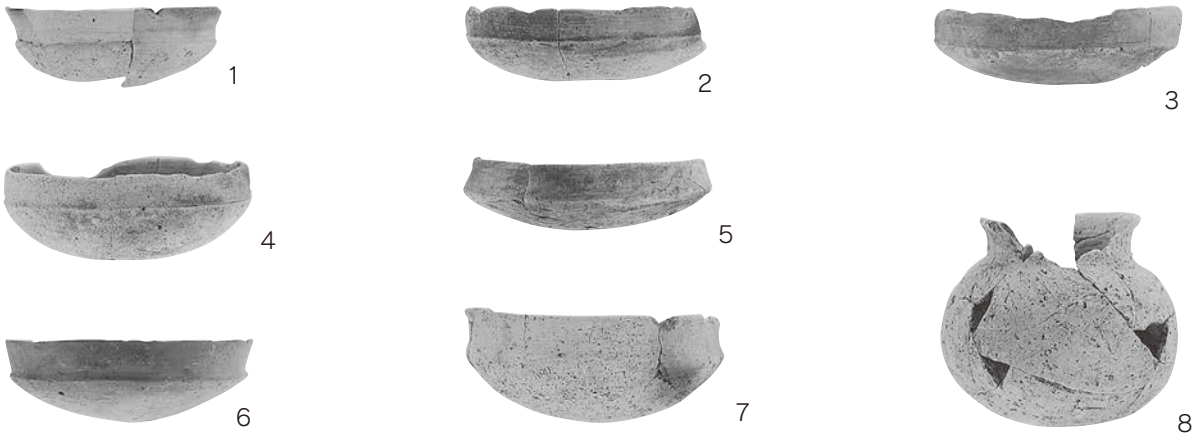
６号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物②



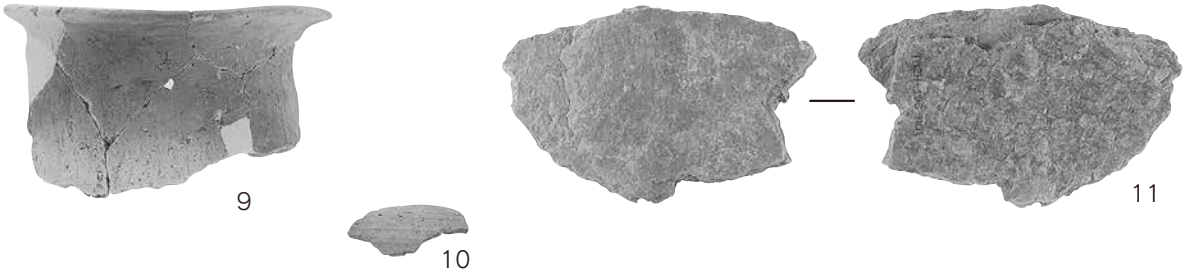
11号住居跡出土遺物

12号住居跡出土遺物

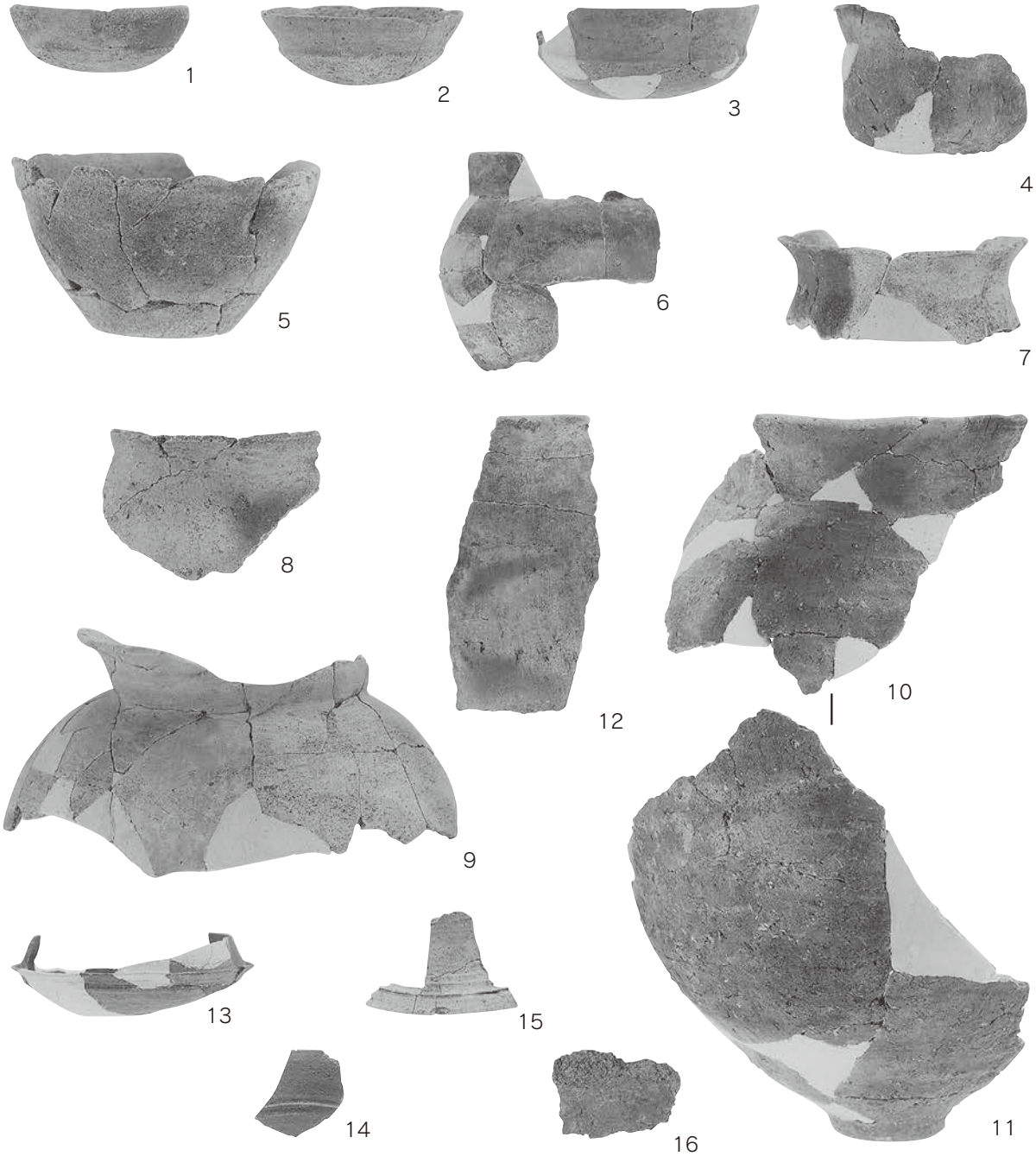


13号住居跡出土遺物①

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物③

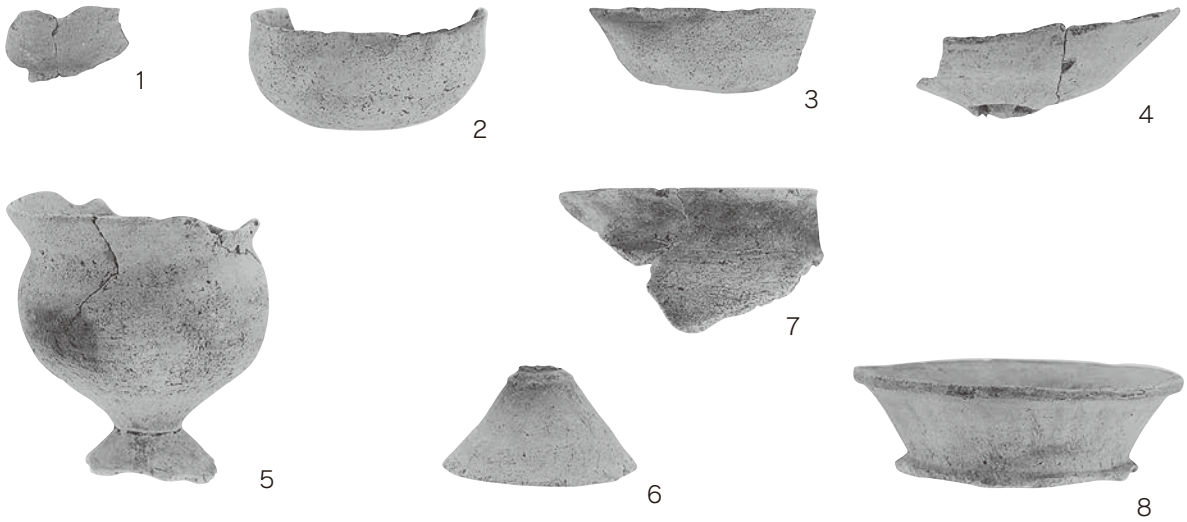


13号住居跡出土遺物②



15号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物④

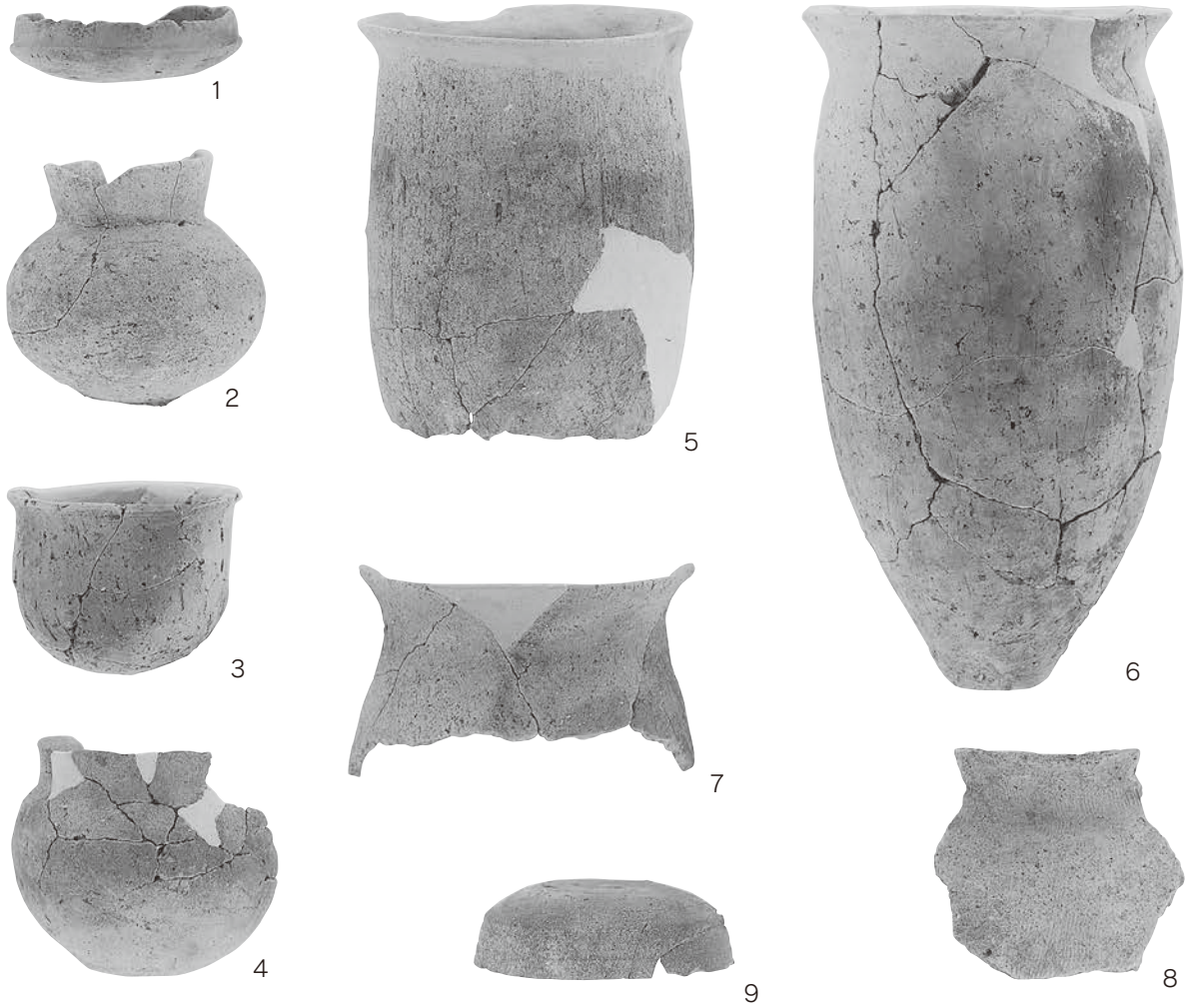


18号住居跡出土遺物

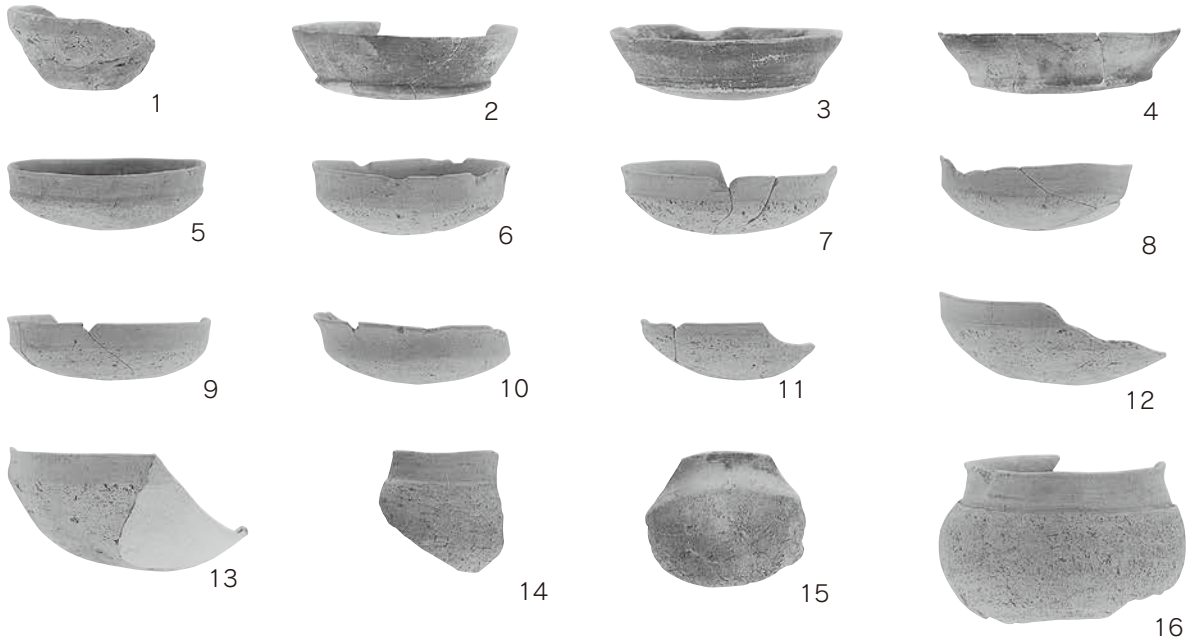
19号住居跡出土遺物

20号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑤

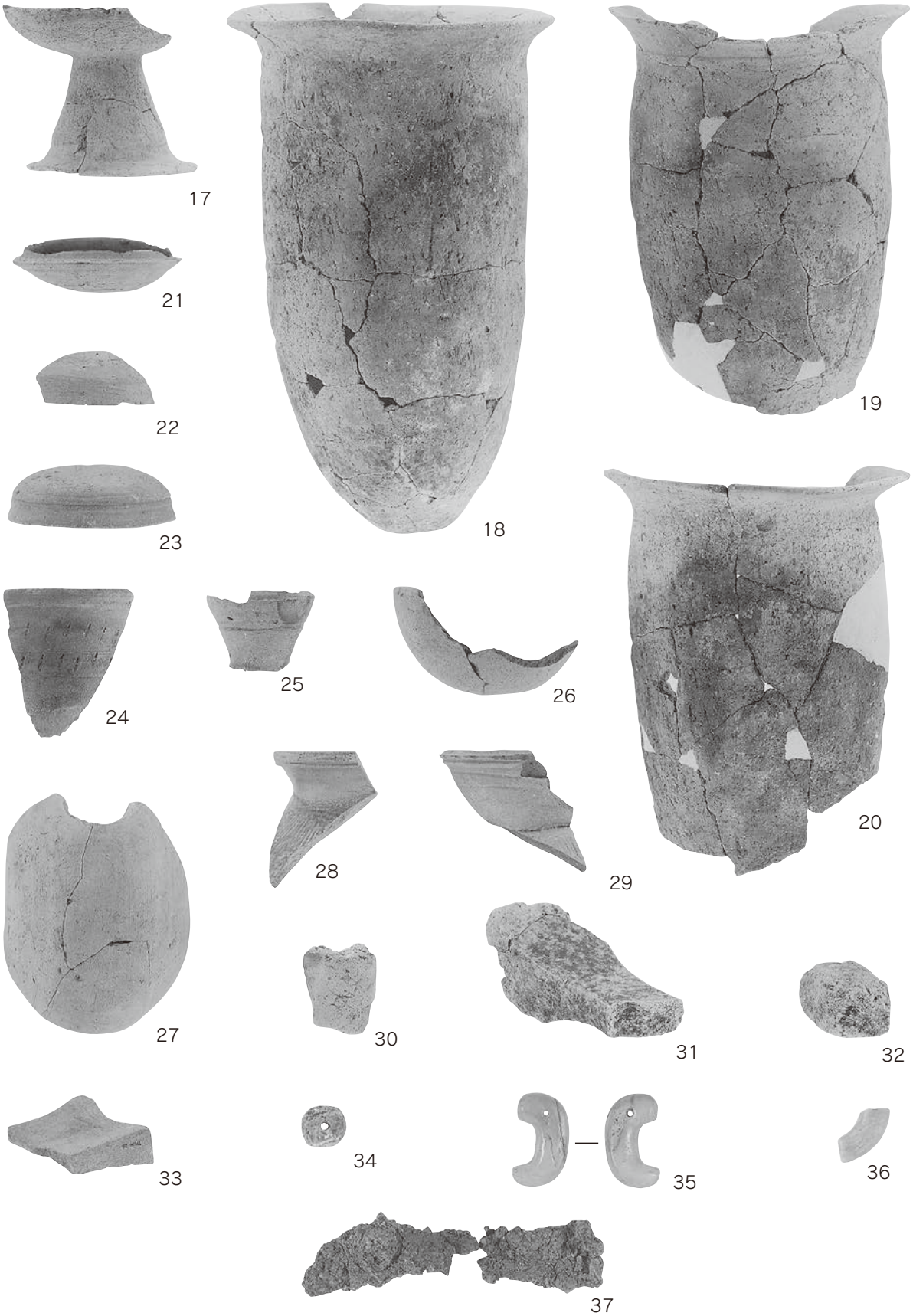


22号住居跡出土遺物



26号住居跡出土遺物①

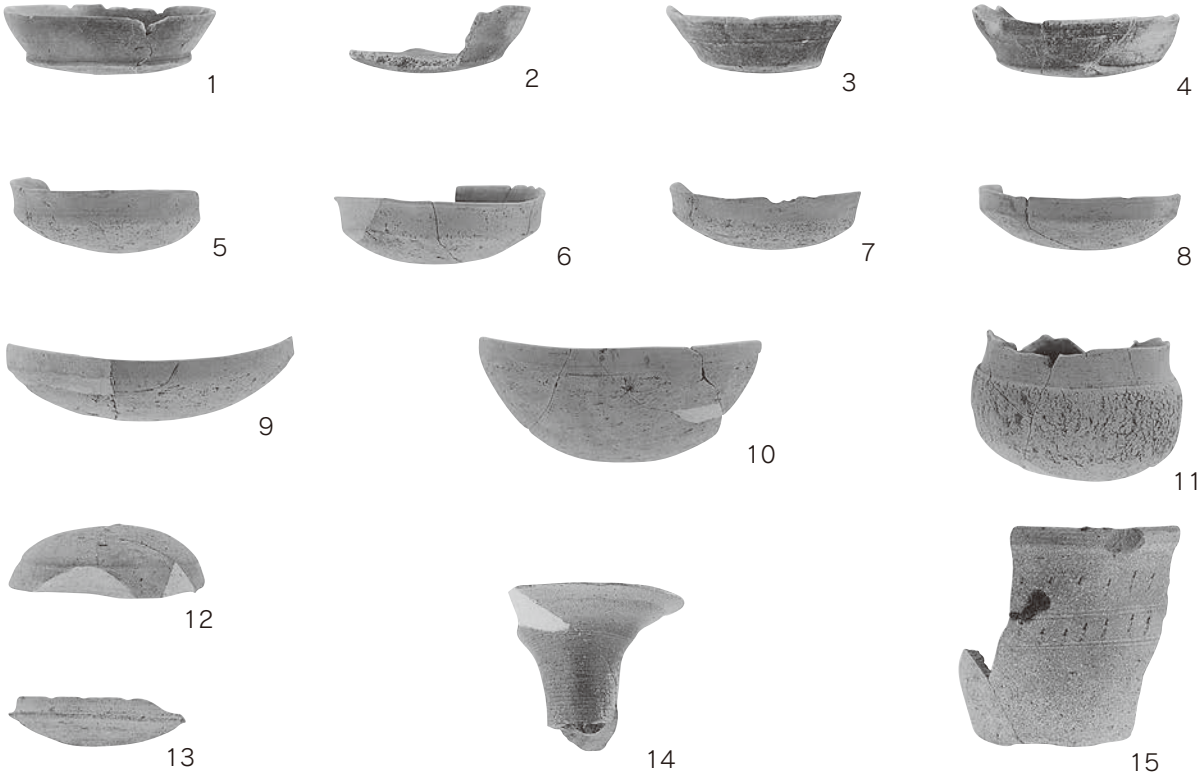
高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑥



26号住居跡出土遺物②
高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑦

28号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑧

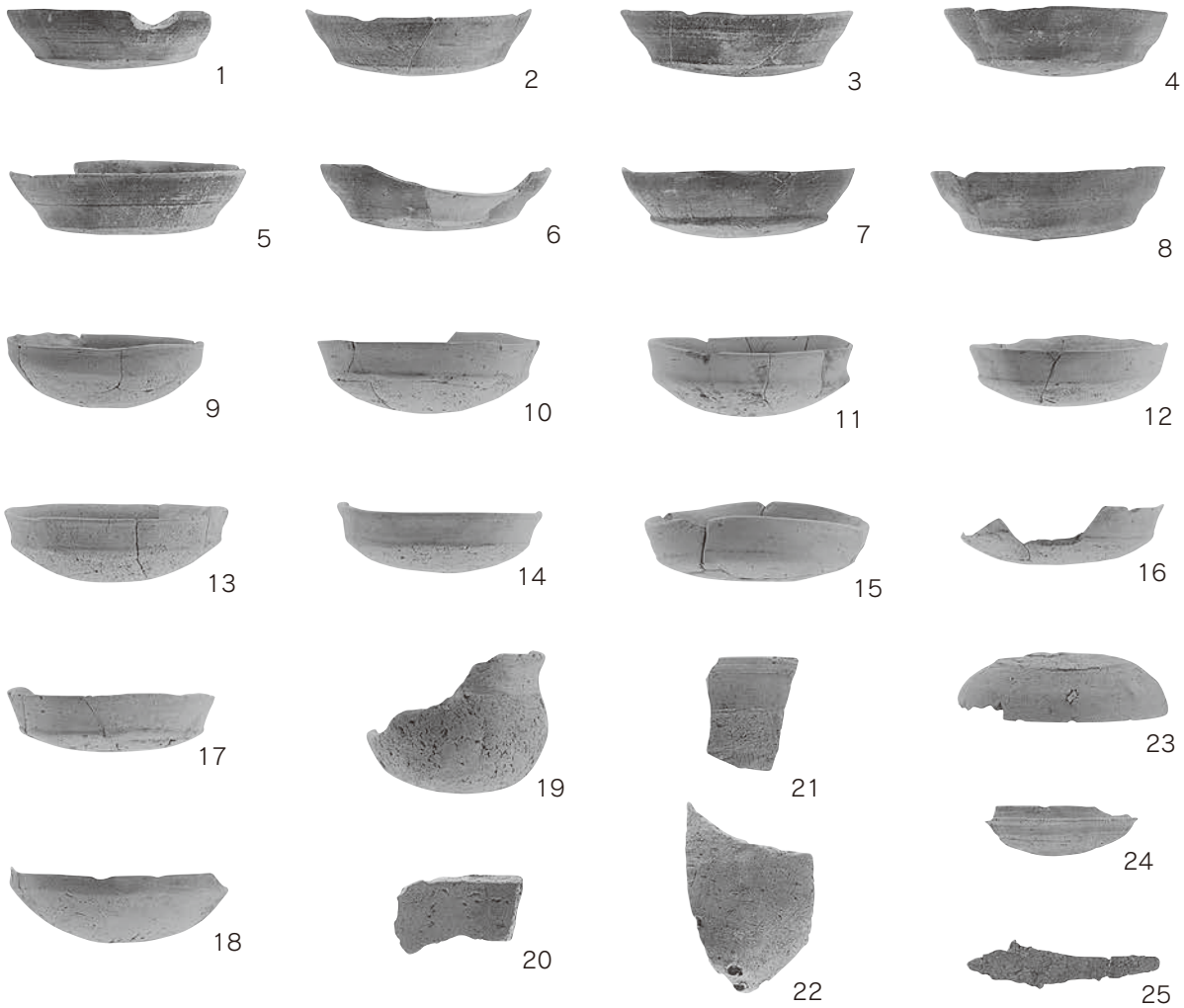


32号住居跡出土遺物

41号住居跡出土遺物

42号住居跡出土遺物

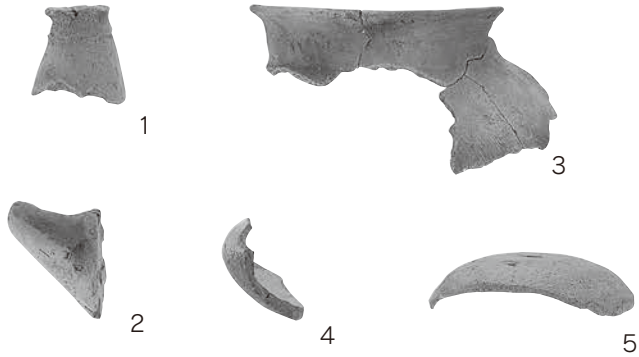
高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑨



47号住居跡出土遺物

48号住居跡出土遺物

49号住居跡出土遺物



6号溝出土遺物

高梨子森下遺跡　古墳時代竪穴住居跡出土遺物⑩及び6号溝出土遺物

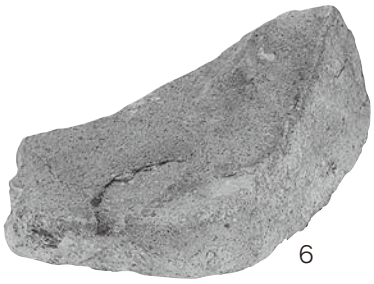
1

2

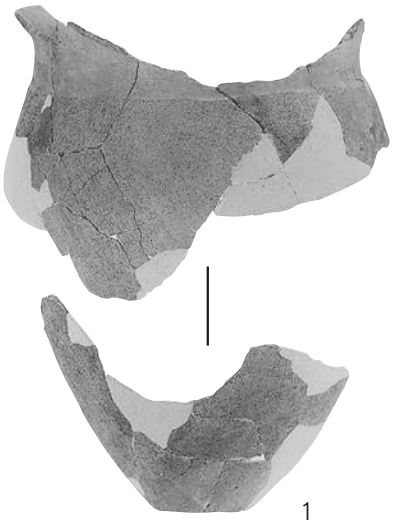
3

4

5


6

７号住居跡出土遺物

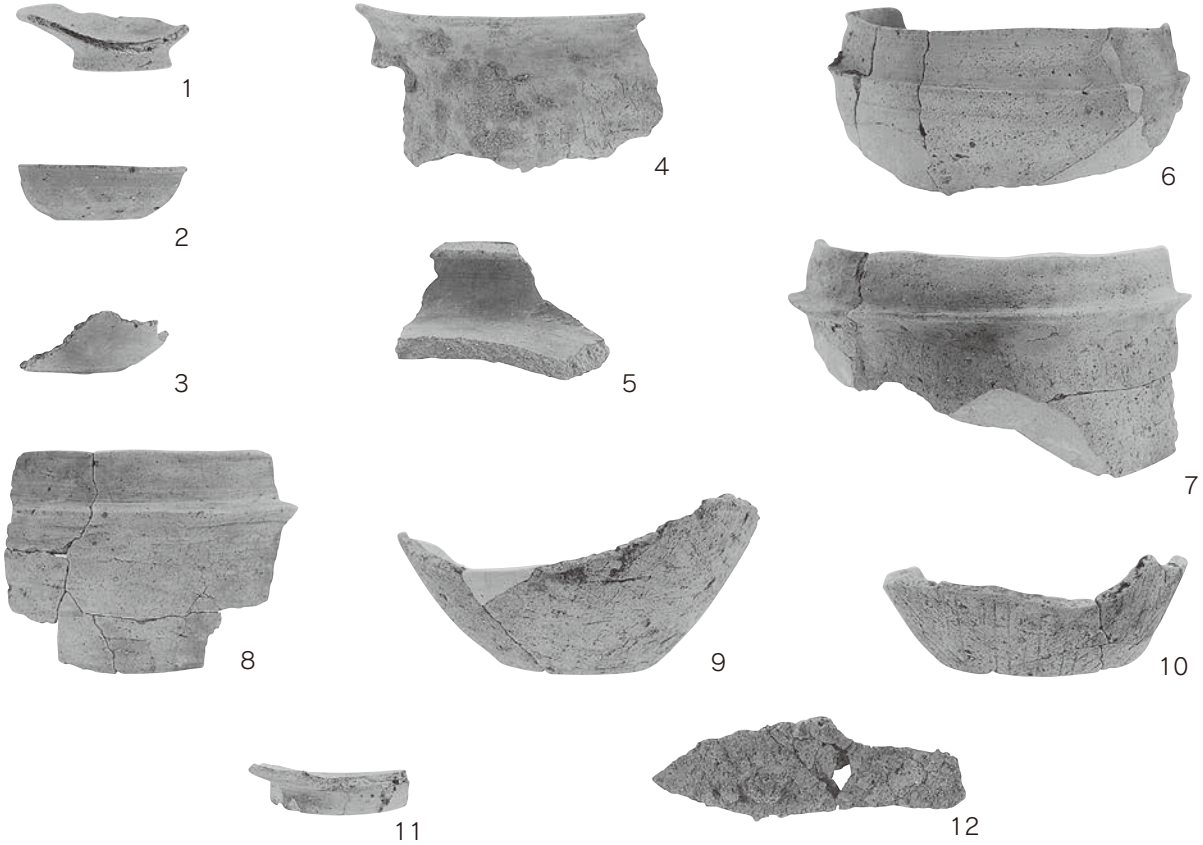

1

2

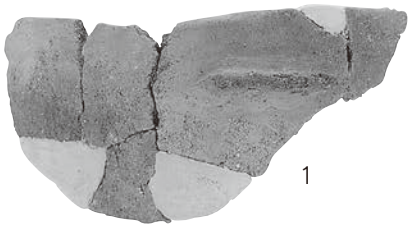
3

８号住居跡出土遺物

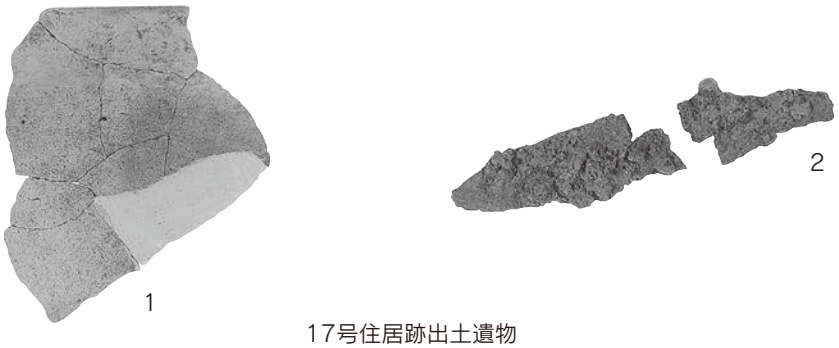
高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物①



10号住居跡出土遺物

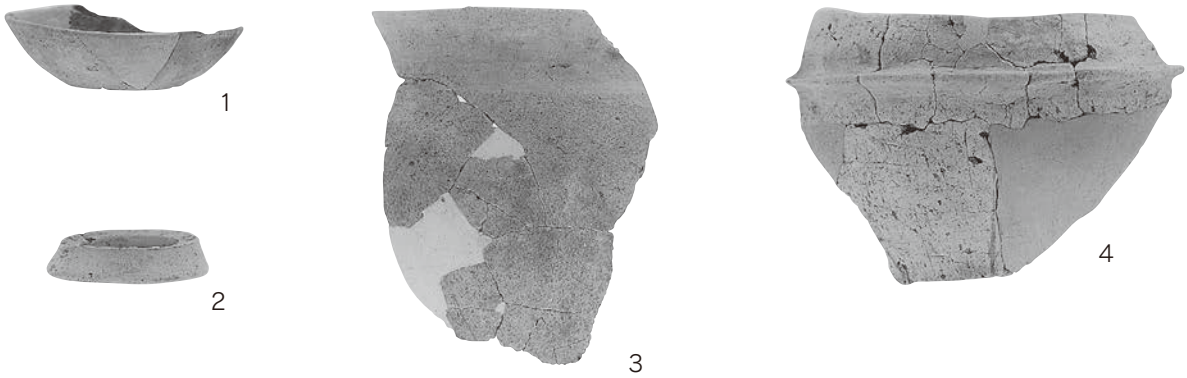


14号住居跡出土遺物



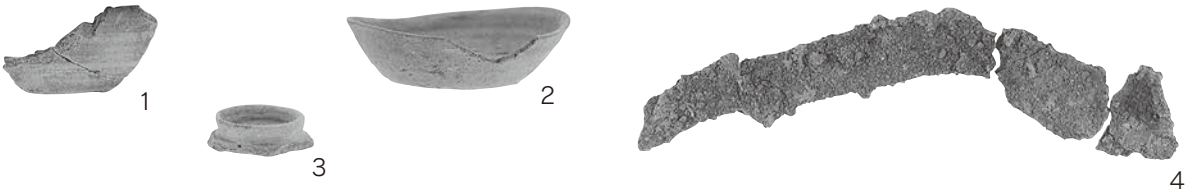
17号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物②

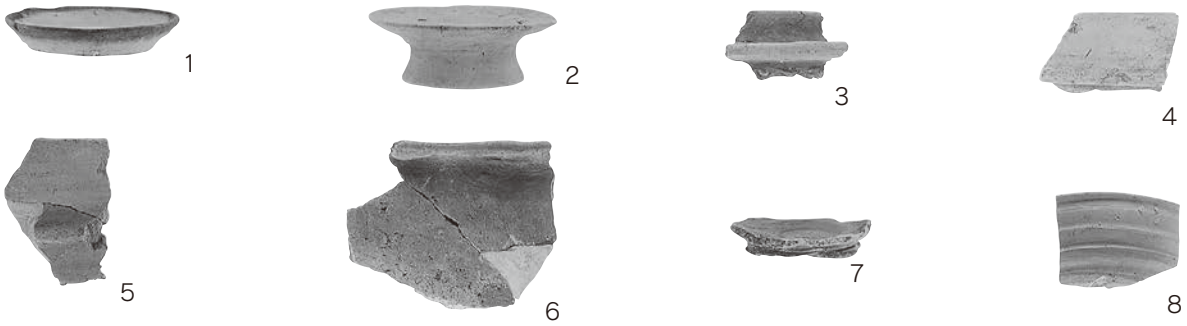


21号住居跡出土遺物

24号住居跡出土遺物



27号住居跡出土遺物

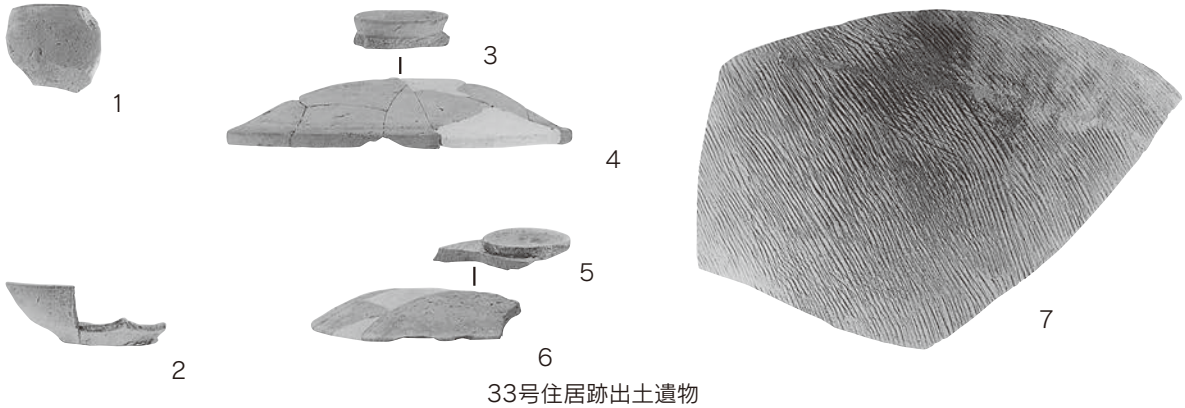


29号住居跡出土遺物

30号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物③

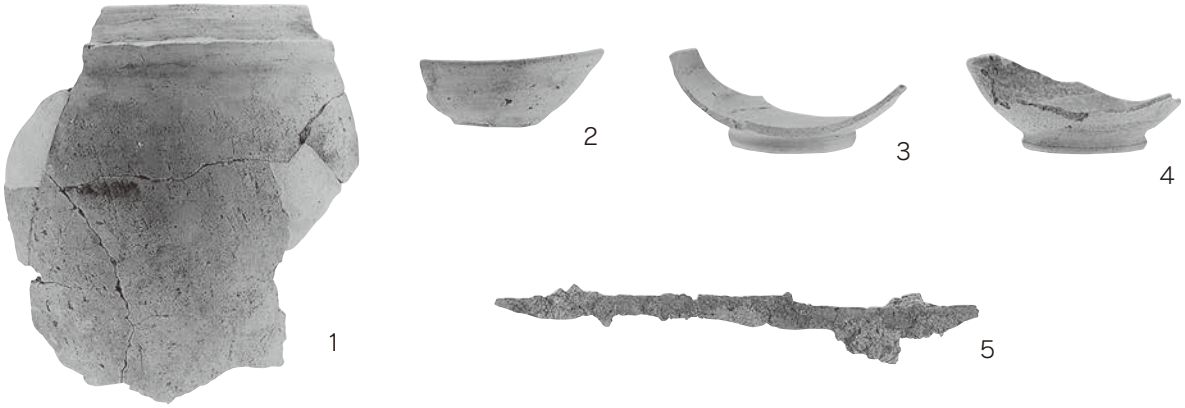
31号住居跡出土遺物



33号住居跡出土遺物

34号住居跡出土遺物

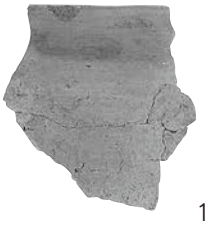
35号住居跡出土遺物



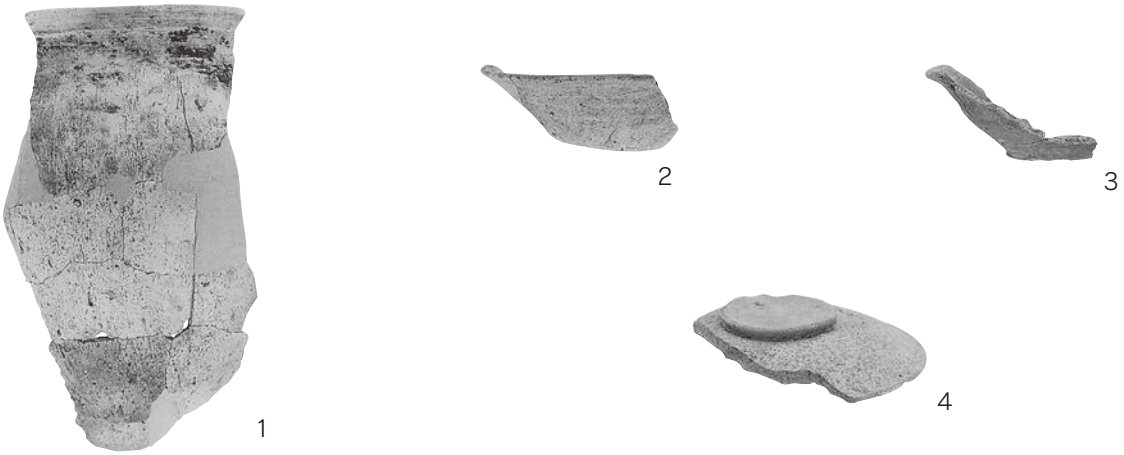
36号住居跡出土遺物

高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物④

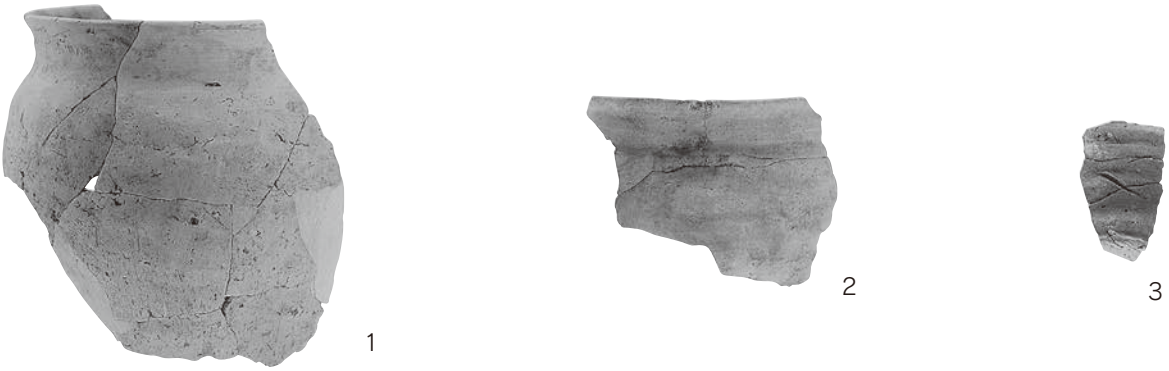
37号住居跡出土遺物



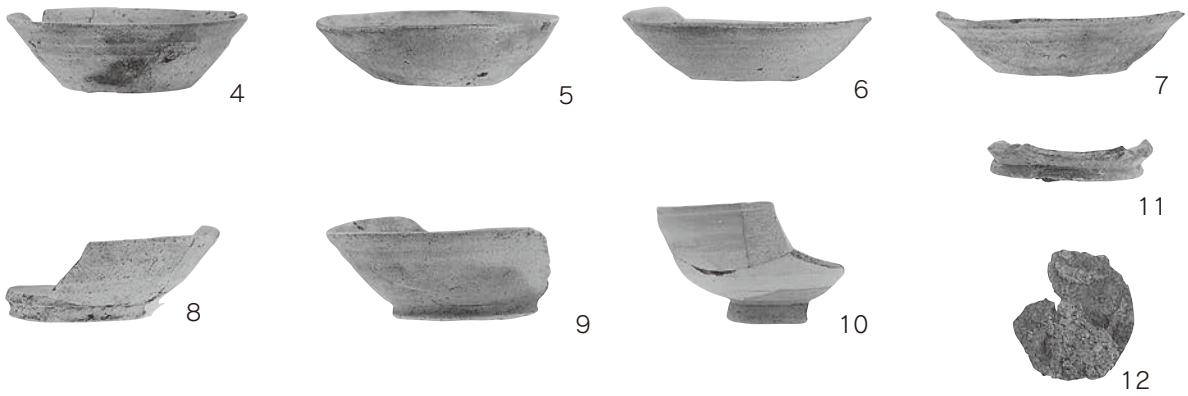
38号住居跡出土遺物



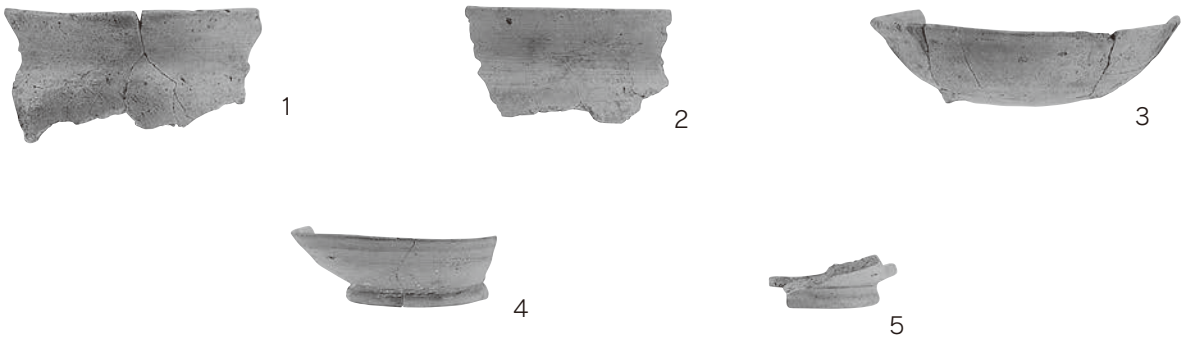
40号住居跡出土遺物



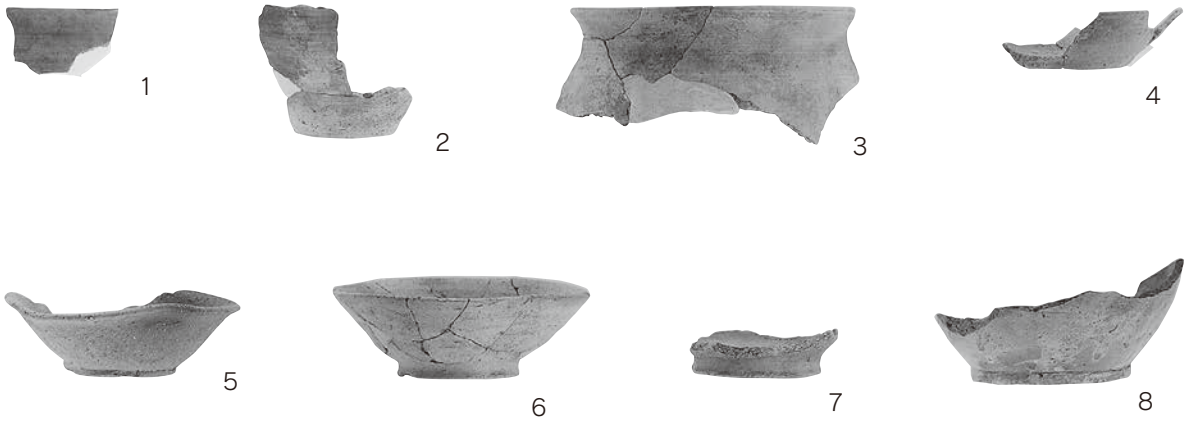
43号住居跡出土遺物①
高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物⑤



43号住居跡出土遺物②



45号住居跡出土遺物

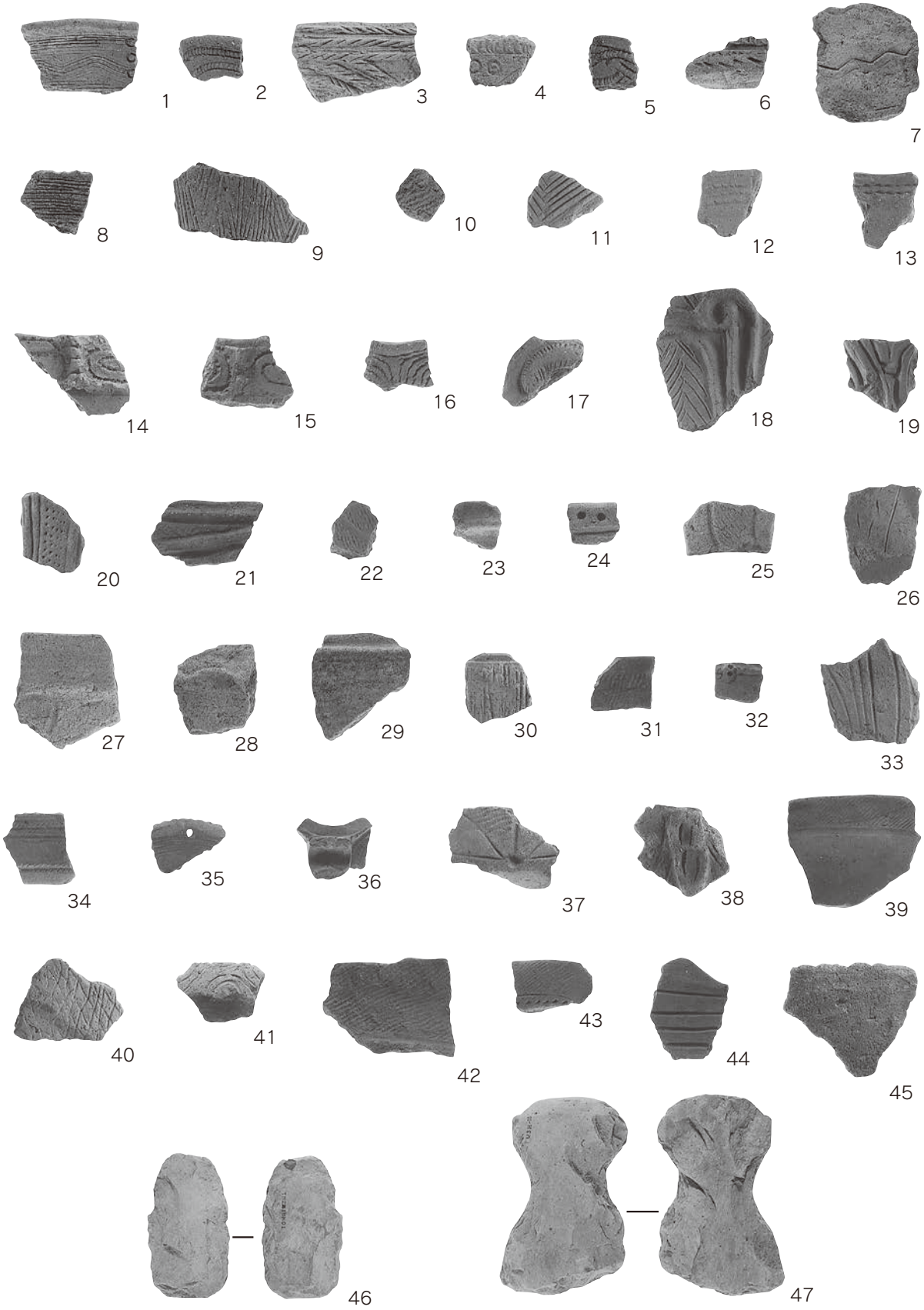


46号住居跡出土遺物

12号溝出土遺物

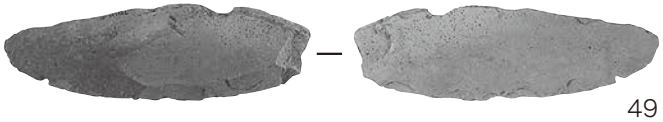
As-B下出土遺物

高梨子森下遺跡　奈良平安時代竪穴住居跡出土遺物⑥及び12号溝、As-B下出土遺物

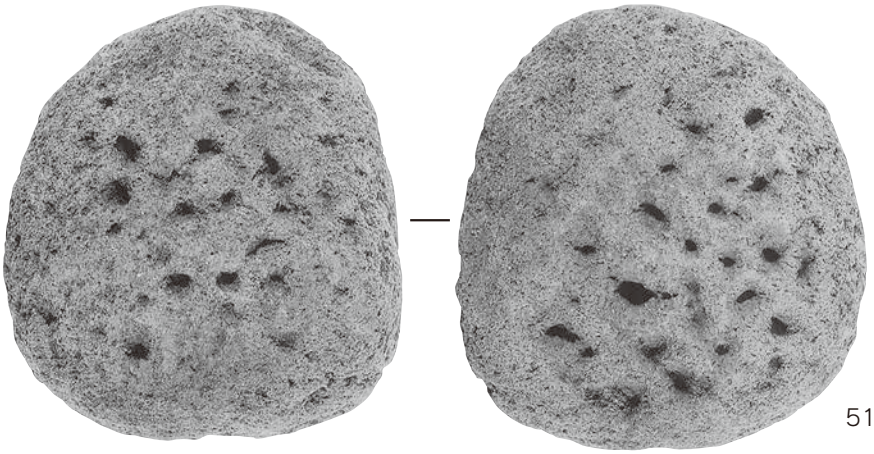


高梨子森下遺跡　遺構外出土遺物①

48


49

50


51

52

53

54

56

58

59

60

55

57

64

66

61

63

67

62

65

高梨子森下遺跡　遺構外出土遺物②

高梨子森下遺跡４区全景（東より）

高梨子森下遺跡４区作業風景

13号住居跡セクション（西より）

13号住居跡セクション（北より）

13号住居跡カマドセクション（東より）

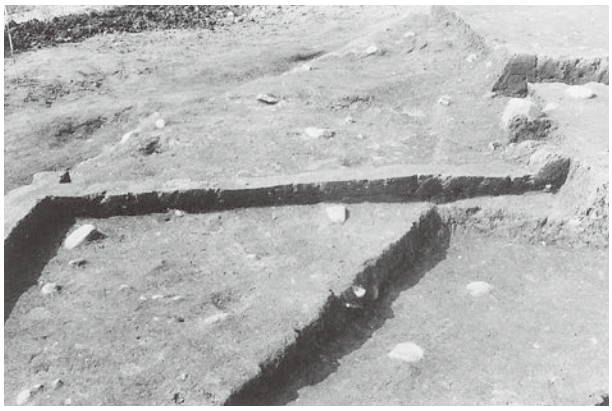
13号住居跡カマドセクション（南より）

13号住居跡遺物出土状況（南より）

13号住居跡遺物出土状況

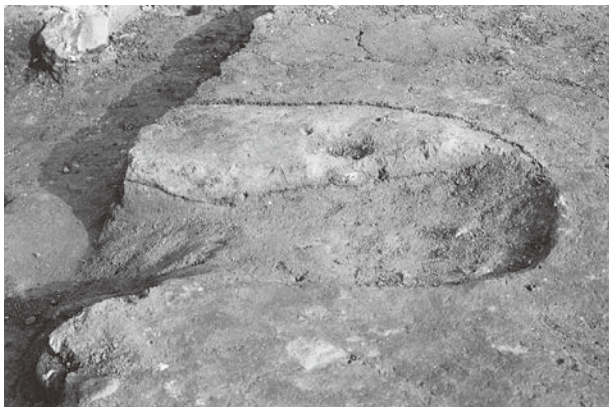
13号住居跡完堀状況（南より）

13号住居跡カマド穴掘状況（南より）



18号住居跡セクション（東より）

18号住居跡セクション（南より）



18号住居跡カマドセクション（南より）

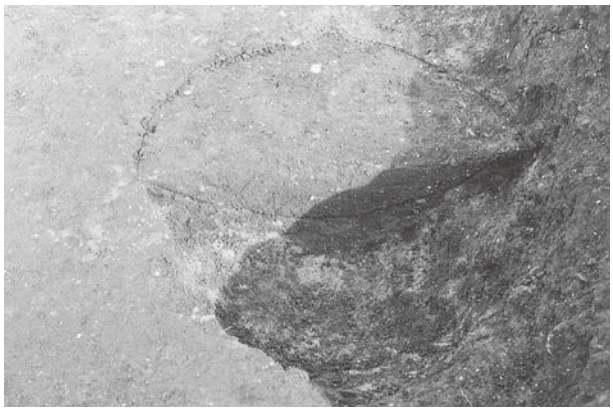
18号住居跡カマド完掘状況（西より）

18号住居跡完堀状況（西より）

20号住居跡セクション（南より）

20号住居跡カマドセクション（西より）

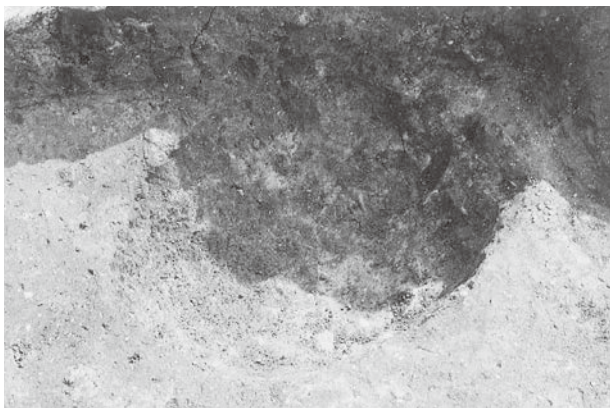
20号住居跡カマドセクション（南より）



20号住居跡Ｄ１セクション（南より）

20号住居跡遺物出土状況（西より）

20号住居跡完掘状況（南より）



20号住居跡Ｄ１完掘状況（西より）

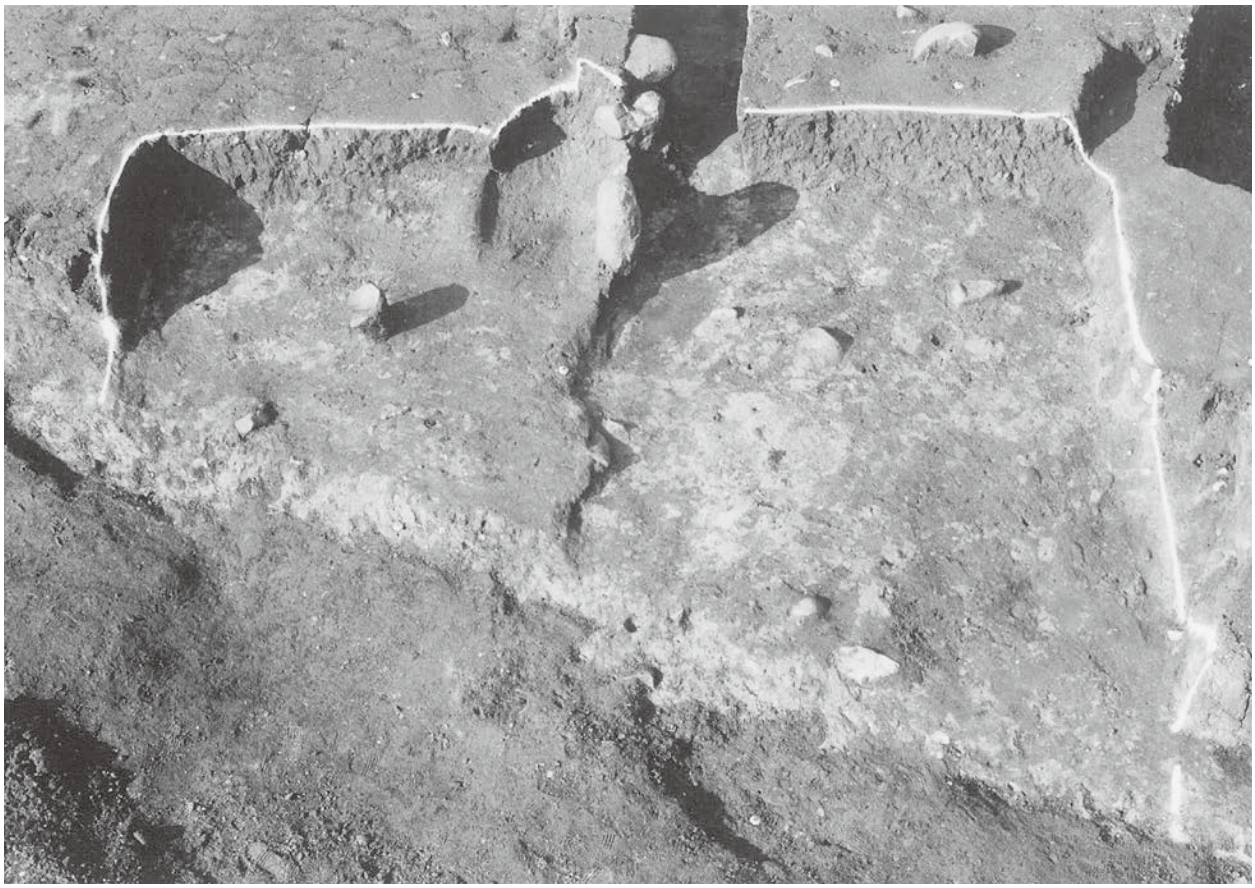
20号住居跡カマド完掘状況（西より）

23号住居跡セクション（南より）

23号住居跡セクション（東より）

23号住居跡カマドセクション（西より）

23号住居跡完掘状況（南より）



23号住居跡遺物出土状況（南より）

52号住居跡セクション（南より）

52号住居跡セクション（西より）

52号住居跡カマドセクション（東より）

52号住居跡カマドセクション（南より）

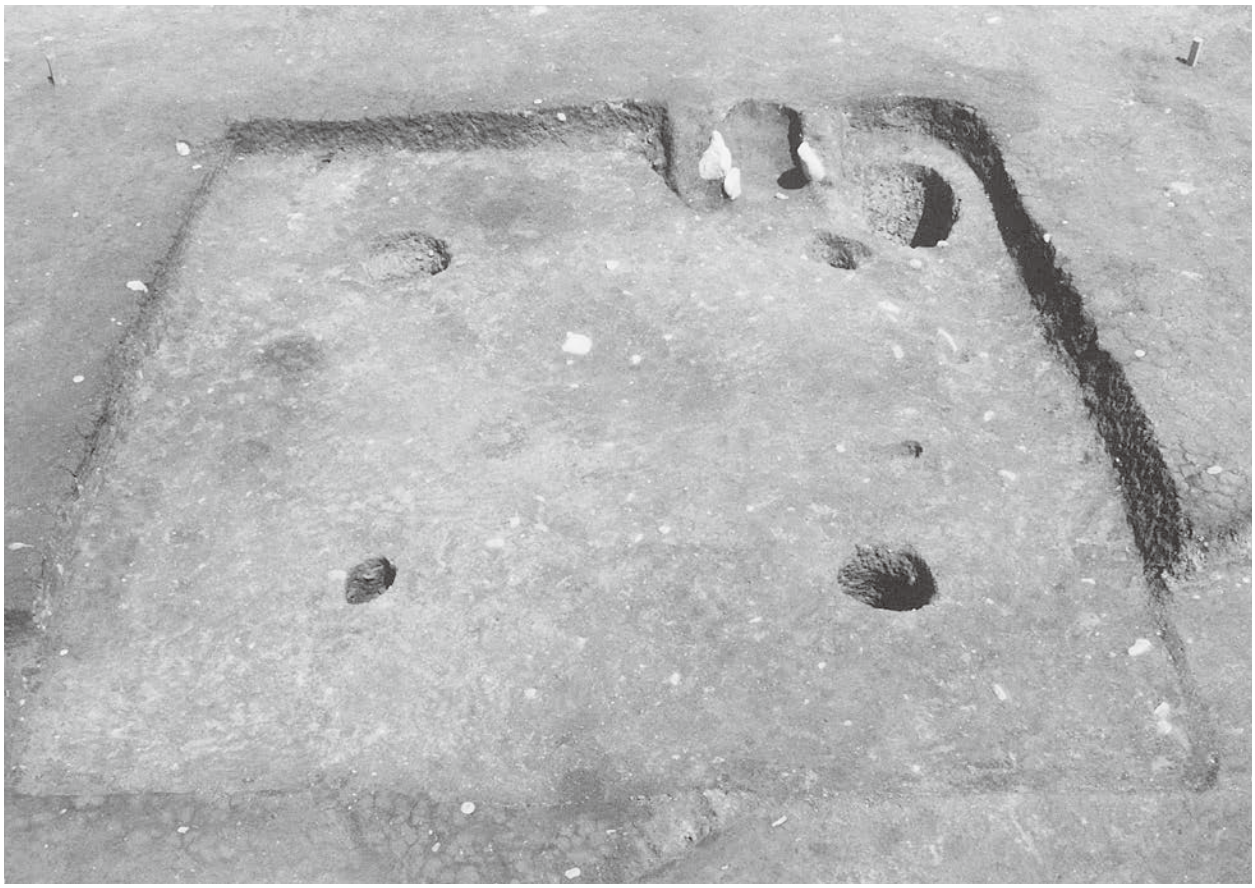
52号住居跡遺物出土状況（南より）

52号住居跡Ｄ１セクション（南より）

52号住居跡カマド遺物出土状況（南より）

52号住居跡カマド・Ｄ１完掘状況（南より）

52号住居跡・２号掘立柱建物跡（東より）



52号住居跡完掘状況（南より）

53号住居跡セクション（西より）

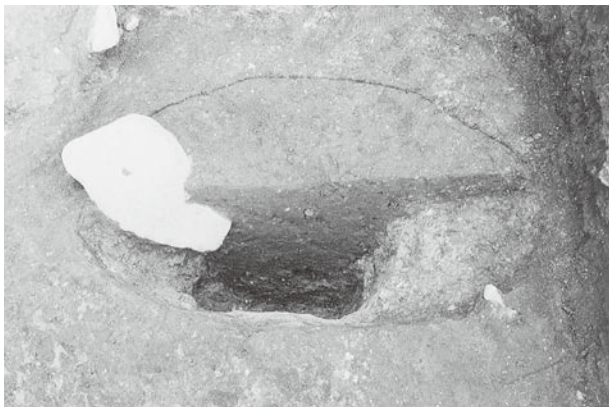
53号住居跡セクション（南より）

53号住居跡カマドセクション（東より）

53号住居跡カマドセクション（南より）

53号住居跡遺物出土状況（南より）

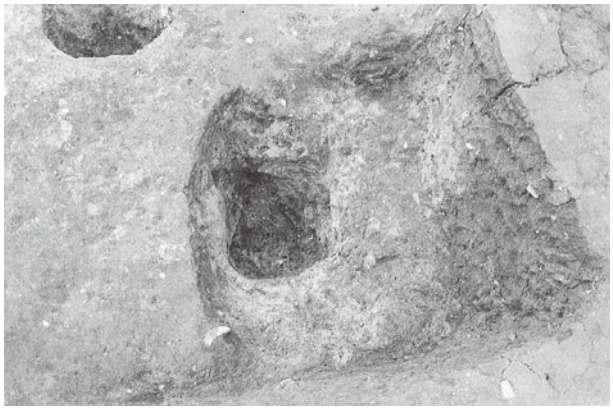
53号住居跡遺物出土状況



53号住居跡Ｄ１セクション（南より）

53号住居跡完掘状況（南より）

53号住居跡カマド完掘状況（南より）



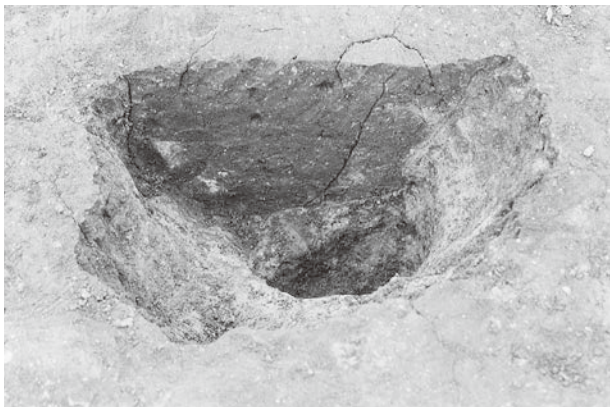
53号住居跡Ｄ１完掘状況（東より）

55号住居跡セクション（南より）

55号住居跡セクション（西より）

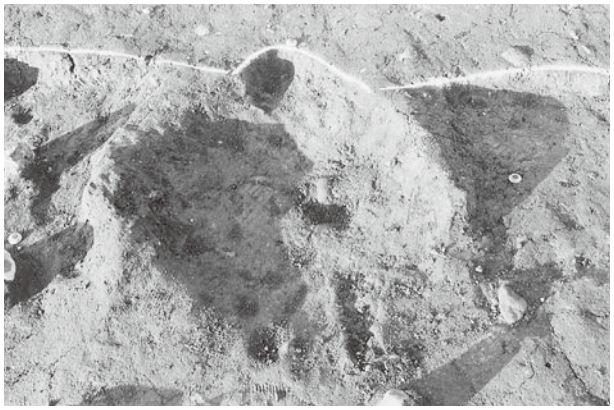
55号住居跡カマドセクション（南より）

55号住居跡カマドセクション（西より）

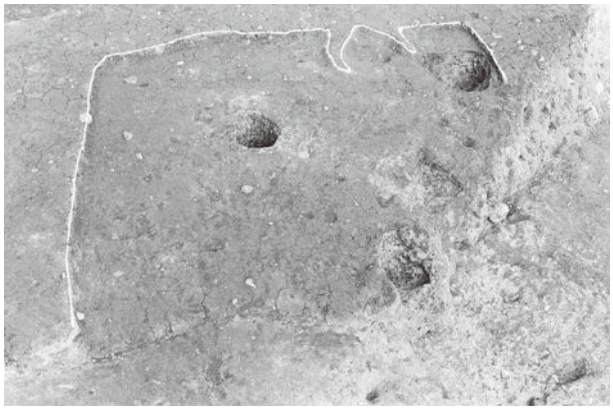


55号住居跡Ｄ１セクション（西より）

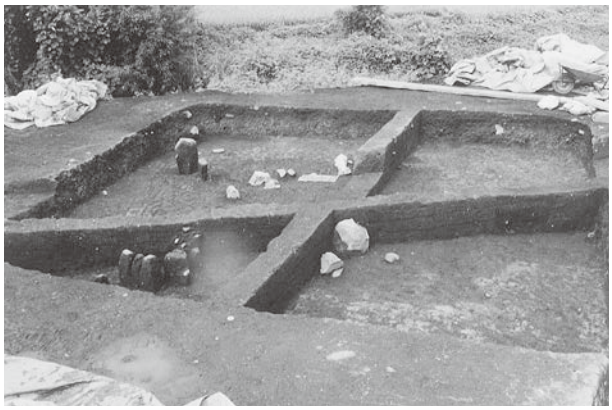
55号住居跡遺物出土状況（南より）



55号住居跡カマド完掘状況（南より）



55号住居跡完掘状況（南より）



56号住居跡セクション（南より）

56号住居跡セクション（東より）

56号住居跡遺物出土状況（南より）

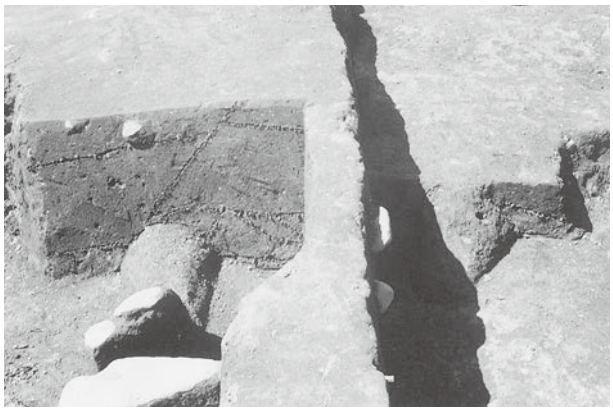
56号住居跡炭化材出土状況

56号住居跡完掘状況（東より）

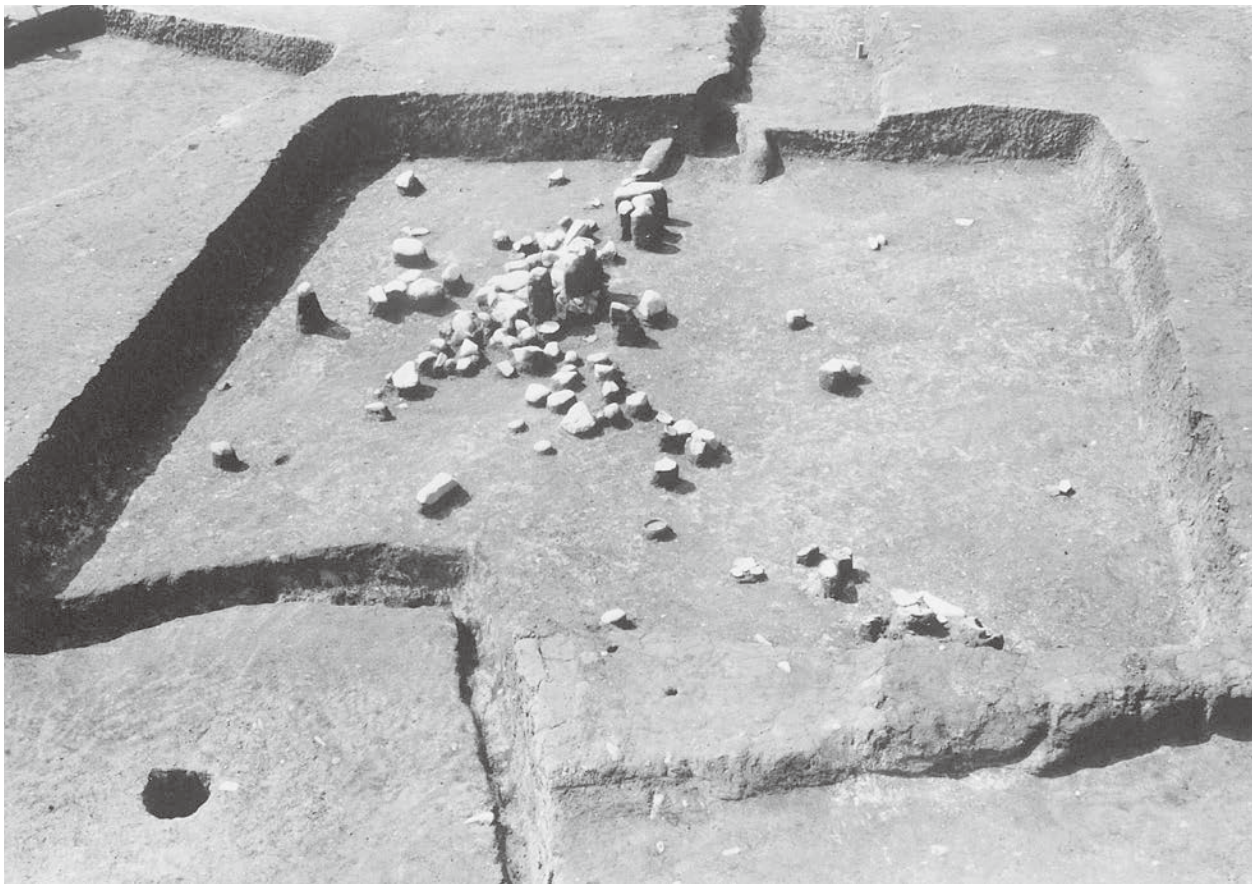
58号住居跡セクション（東より）

58号住居跡セクション（北より）

58号住居跡２号カマドセクション（北より）



58号住居跡２号カマドセクション（東より）



58号住居跡遺物出土状況（東より）

58号住居跡１号カマドセクション（西より）

58号住居跡遺物出土状況

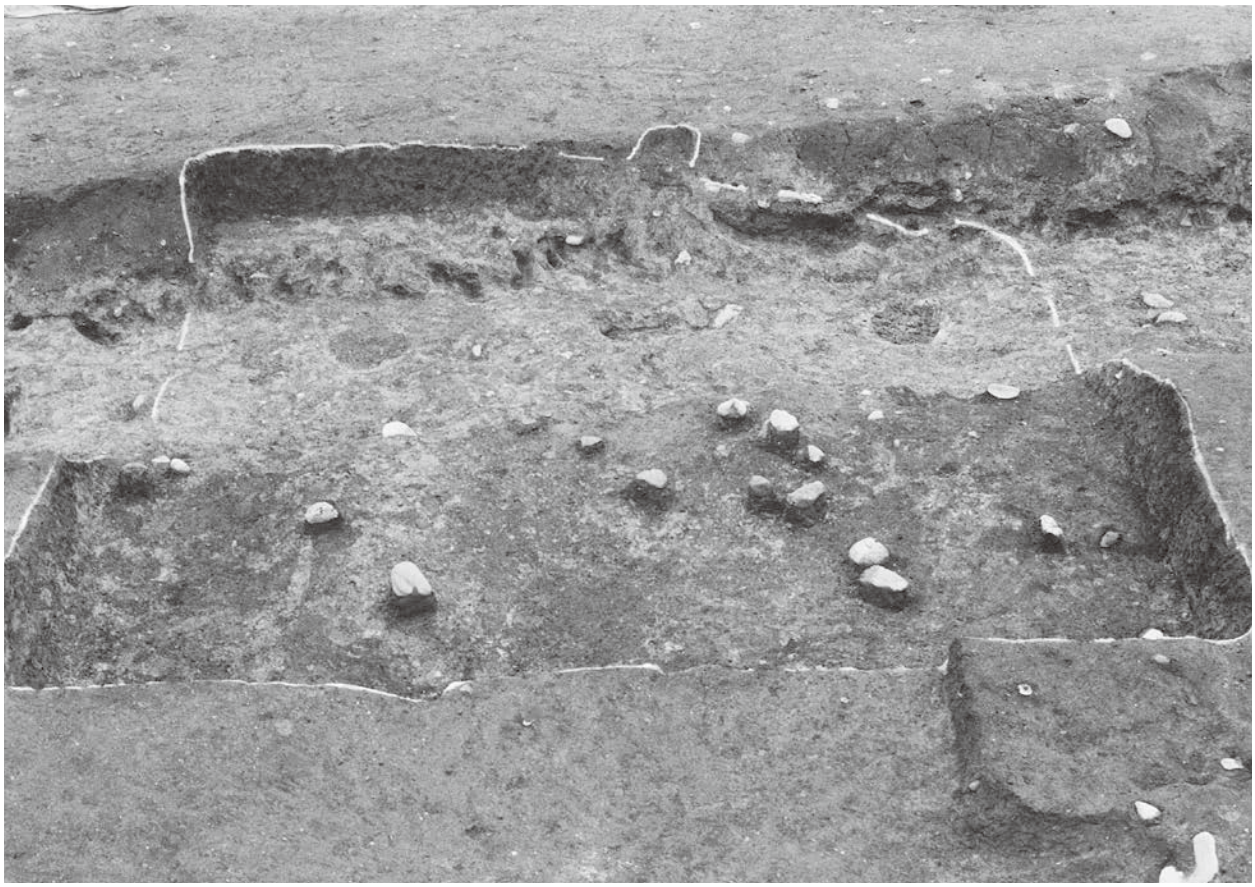
58号住居跡２号カマド・Ｄ１完掘状況（東より）

58号住居跡１号カマド・Ｐ３完掘状況（南より）

58号住居跡完掘状況（東より）

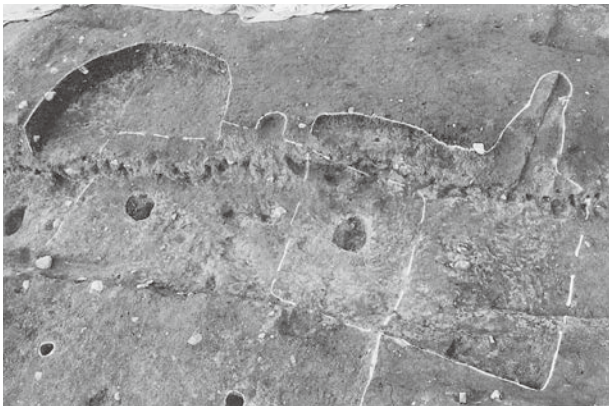
59号住居跡セクション（東より）

59号住居跡セクション（南より）



59号住居跡遺物出土状況（南より）

59号住居跡カマドセクション（東より）



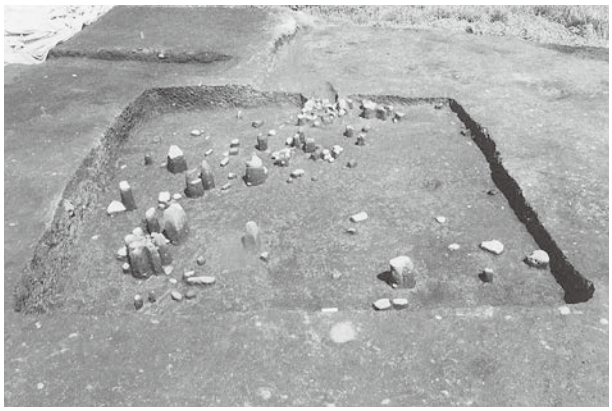
59号・67号住居跡、６号土坑完掘状況（南より）

61号住居跡セクション（南より）

61号住居跡セクション（西より）

61号住居跡カマドセクション（南より）

61号住居跡カマドセクション（東より）



61号住居跡遺物出土状況（南より）

61号住居跡カマド遺物出土状況

61号住居跡カマド完掘状況（南より）

61号住居跡完掘状況（南より）

62号住居跡セクション（西より）

62号住居跡セクション（南より）

62号住居跡カマドセクション（西より）

62号住居跡カマドセクション（南より）

62号住居跡遺物出土状況（北より）

62号住居跡カマド完掘状況（西より）

62号住居跡Ｄ１完掘状況（西より）

62号住居跡完掘状況（北より）

63号住居跡セクション（西より）

63号住居跡セクション（北より）

63号住居跡遺物出土状況（北より）

63号住居跡完掘状況（北より）

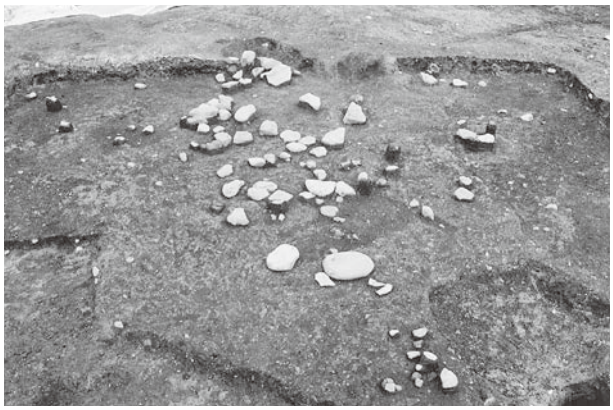
64号住居跡セクション（南より）

64号住居跡セクション（東より）

64号住居跡１号カマドセクション（東より）

64号住居跡２号カマドセクション（東より）

64号住居跡２号カマドセクション（南より）



64号住居跡遺物出土状況（南より）

64号住居跡遺物出土状況（西より）

64号住居跡１号・２号カマド（南より）

64号住居跡完掘状況（西より）

65号住居跡セクション（東より）

65号住居跡セクション（北より）

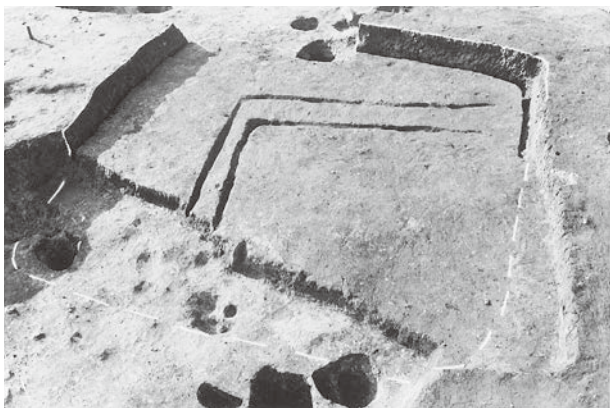
65号住居跡遺物出土状況（南より）

65号住居跡完掘状況（南より）

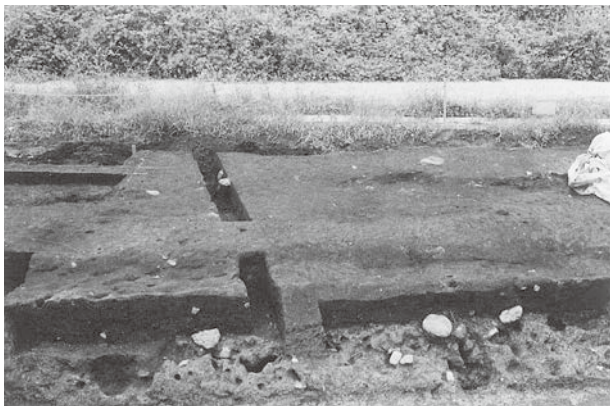
66号住居跡セクション（東より）

66号住居跡セクション（南より）

66号住居跡遺物出土状況（東より）



66号住居跡完掘状況（東より）



69号住居跡セクション（北より）

69号住居跡セクション（西より）

69号住居跡遺物出土状況（東より）

69号住居跡Ｄ１セクション（東より）

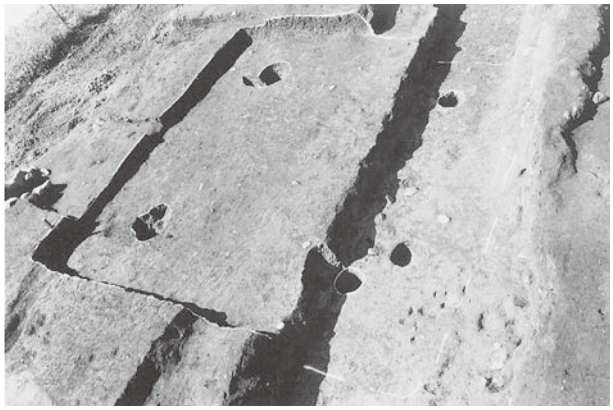
69号住居跡完掘状況（東より）

70号住居跡セクション（北より）

24号・70号住居跡セクション（東より）

70号住居跡遺物出土状況（南より）

70号住居跡遺物出土状況



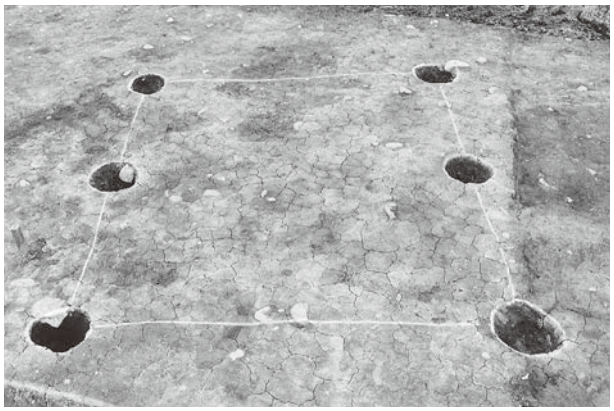
70号住居跡完掘状況（東より）

71号住居跡セクション（南より）

71号住居跡セクション（東より）

71号住居跡遺物出土状況（東より）

71号住居跡完掘状況（東より）



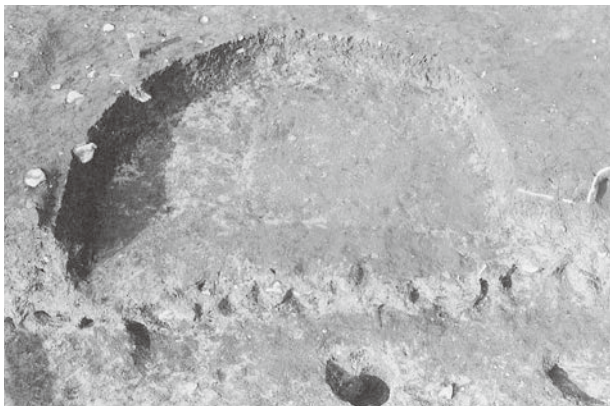
１号掘立柱建物跡（東より）

２号掘立柱建物跡（東より）

１号柵列（南より）

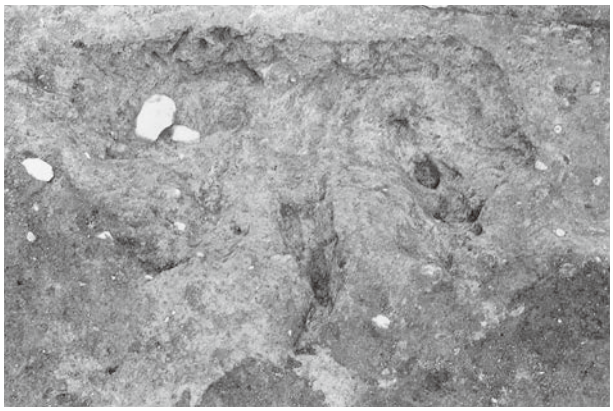
２号柵列（南より）

６号土坑セクション（東より）



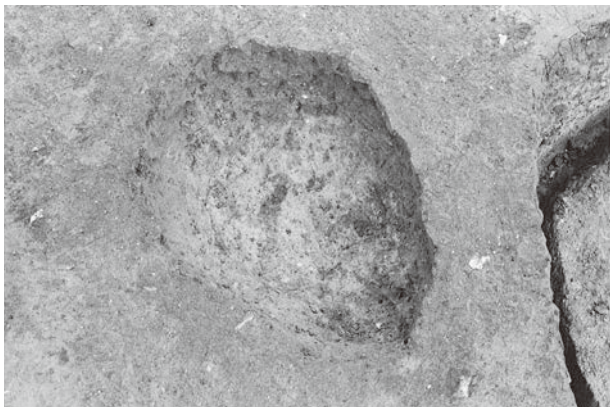
６号土坑完掘状況（南より）

７号土坑セクション（南より）

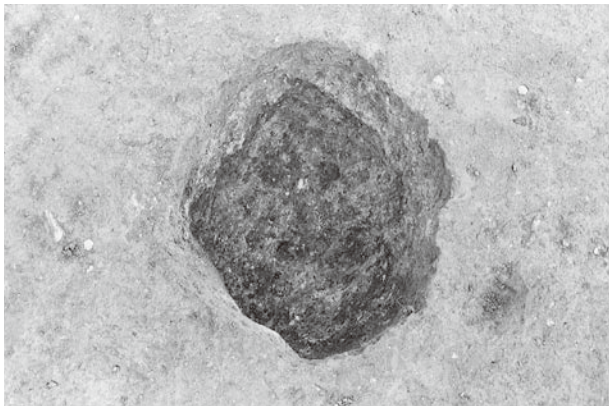


７号土坑完掘状況（南より）

８号土坑セクション（南より）



８号土坑完掘状況（東より）

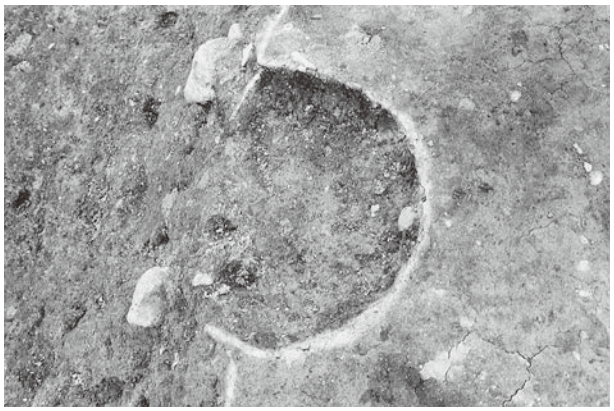


９号土坑完掘状況

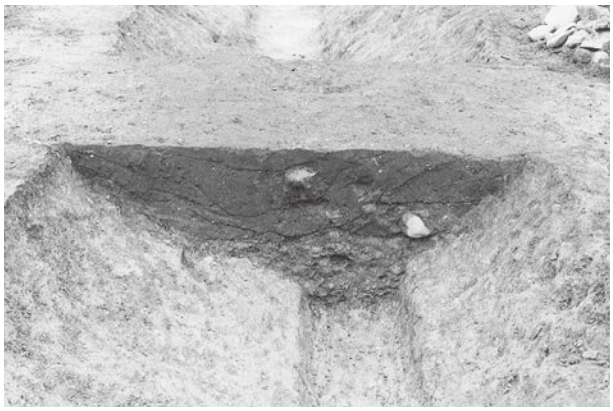
10号土坑セクション（南より）

10号土坑完掘状況

13号土坑セクション（東より）

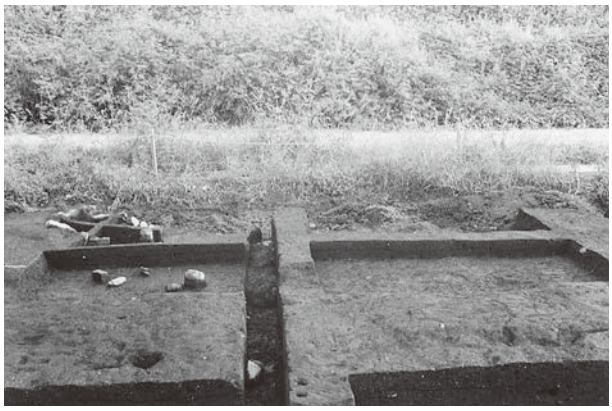


13号土坑完掘状況



７号溝セクション（東より）

７号溝完掘状況（東より）



24号住居跡セクション（北より）

24号住居跡カマドセクション（南より）

24号住居跡カマドセクション（西より）

24号住居跡カマド遺物出土状況（北より）

24号住居跡遺物出土状況（西より）

24号住居跡カマド完掘状況（西より）

24号住居跡完掘状況（西より）

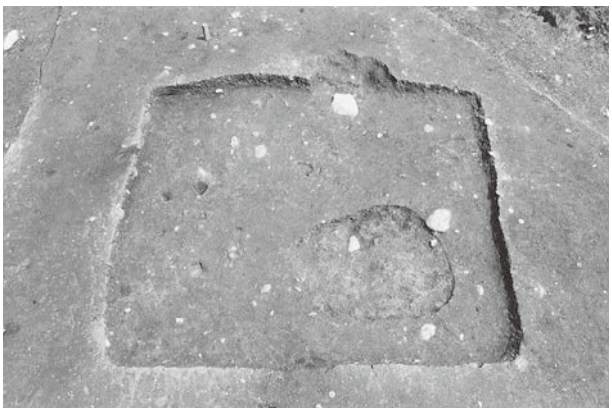
51号住居跡セクション（南より）

51号住居跡セクション（西より）

51号住居跡カマドセクション（西より）

51号住居跡カマドセクション（南より）

51号住居跡遺物出土状況（西より）



51号住居跡完掘状況（西より）

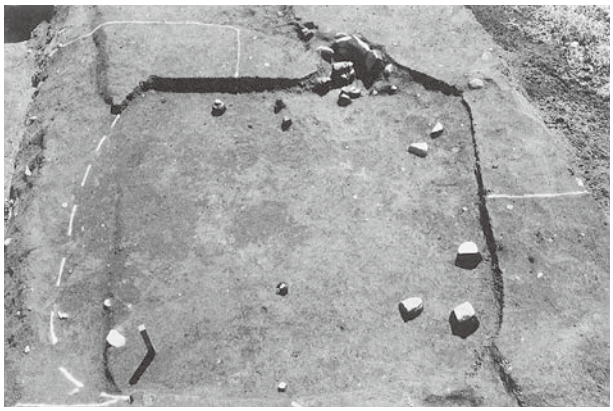
54号住居跡セクション（北より）

54号住居跡セクション（西より）

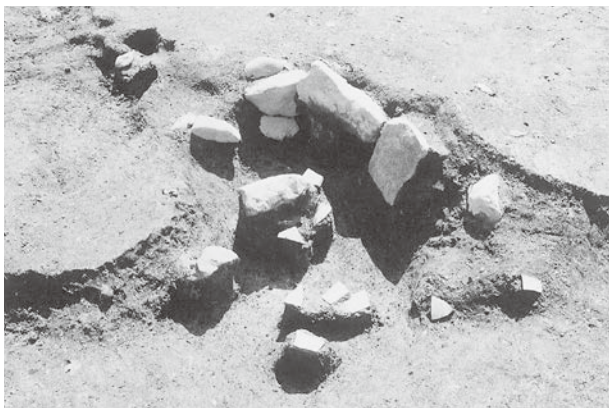
54号住居跡カマドセクション（西より）

54号住居跡カマドセクション（南より）

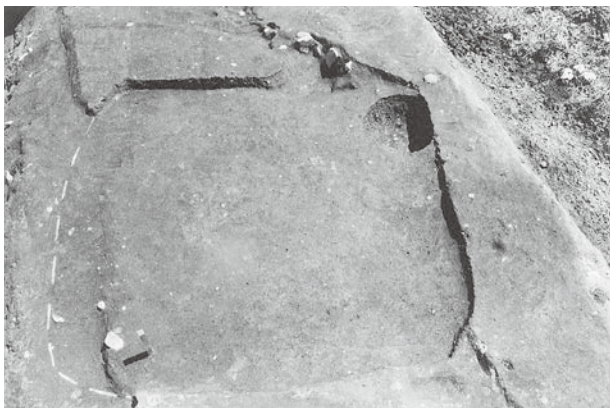
54号住居跡Ｄ１セクション（西より）



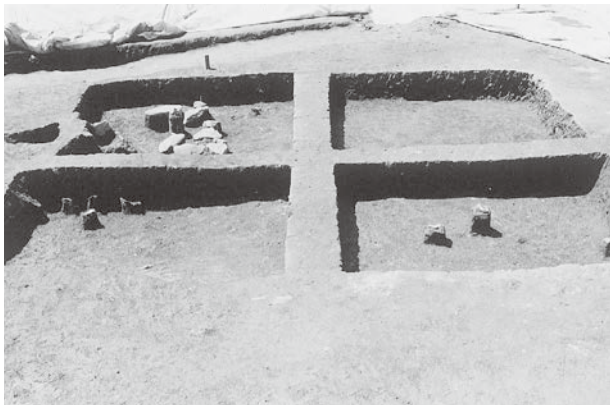
54号住居跡遺物出土状況（西より）



54号住居跡カマド遺物出土状況（西より）



54号住居跡完掘状況（西より）

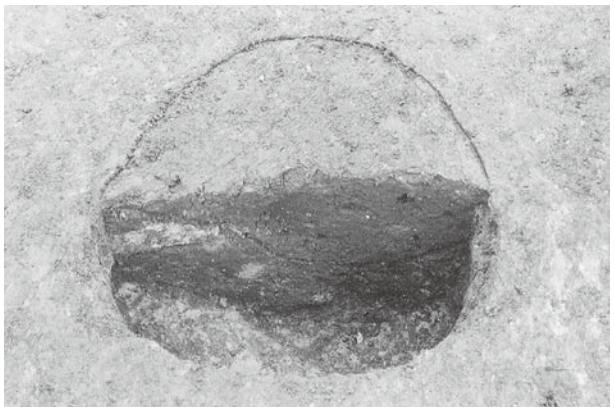


57号住居跡セクション（北より）

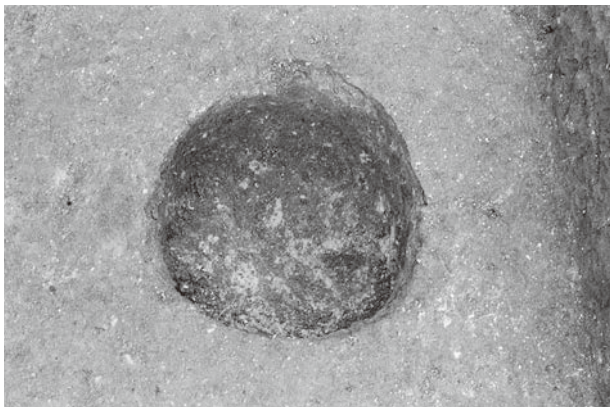
57号住居跡セクション（東より）

57号住居跡カマドセクション（南より）

57号住居跡カマドセクション（西より）



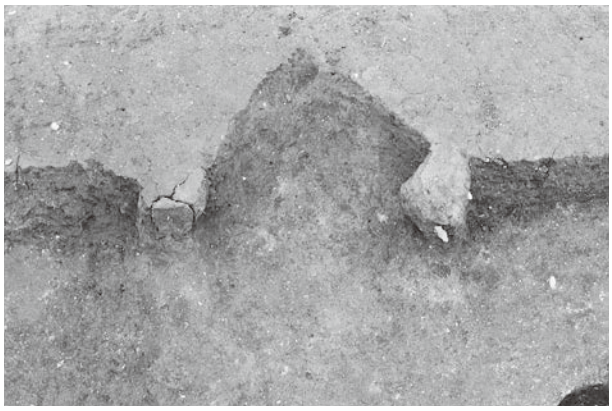
57号住居跡Ｄ１セクション（西より）



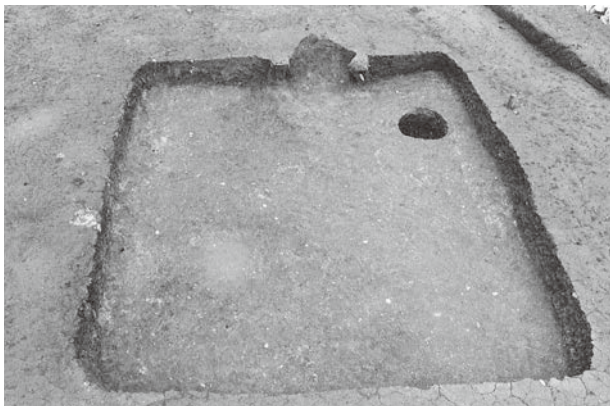
57号住居跡Ｄ１完掘状況

57号住居跡遺物出土状況（西より）

57号住居跡カマド遺物出土状況（西より）



57号住居跡カマド完掘状況（西より）



57号住居跡完掘状況（西より）

67号住居跡カマドセクション（東より）

67号住居跡カマド完掘状況（南より）

67号住居跡完掘状況（南より）

68号住居跡セクション（北より）

68号住居跡セクション（西より）

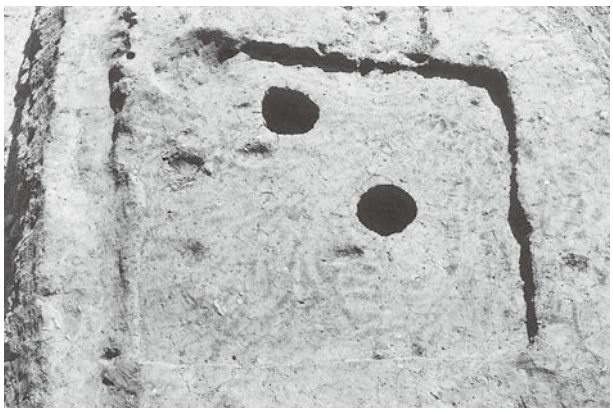
68号住居跡カマドセクション（南より）

68号住居跡カマドセクション（西より）

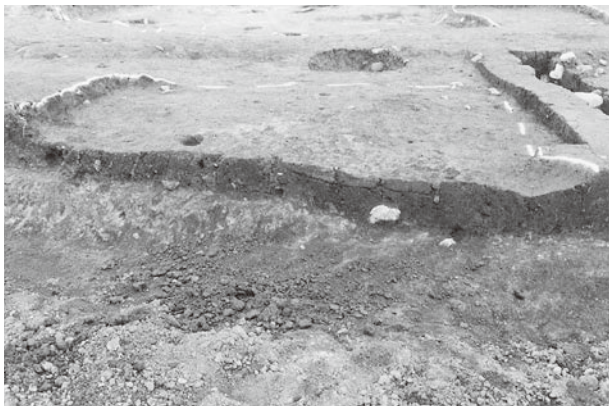
68号住居跡遺物出土状況（西より）

68号住居跡カマド完掘状況（西より）

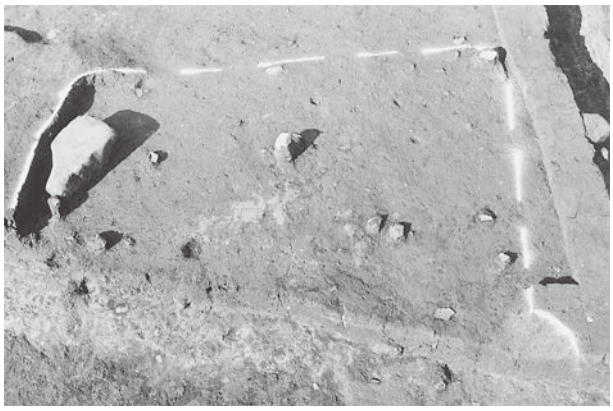
68号住居跡炭化材出土状況



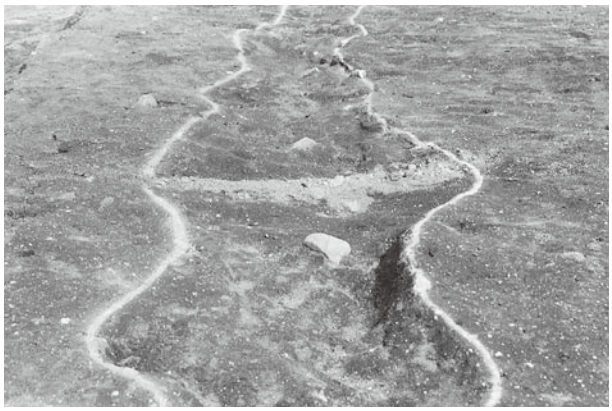
68号住居跡完掘状況（西より）



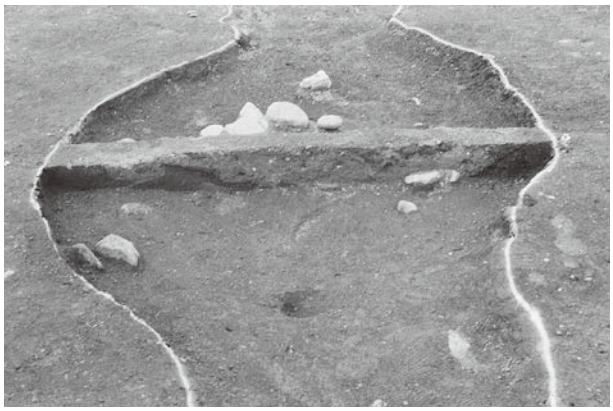
72号住居跡貼り床セクション（南より）



72号住居跡遺物出土状況（南より）



11号溝セクション（東より）



12号溝セクション（西より）

11号・12号溝完掘状況（東より）

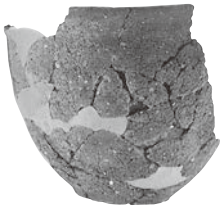
13号溝セクション（東より）

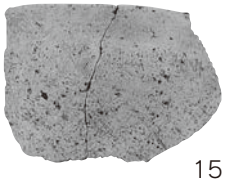
13号溝完掘状況（東より）

13号溝完掘状況（東より）

12

13


14


15

16

13号住居跡出土遺物

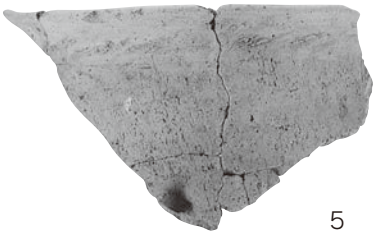
9

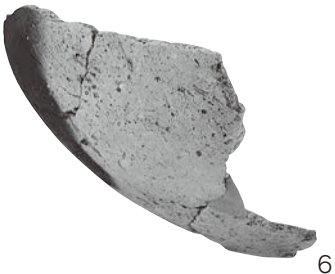
18号住居跡出土遺物

2

3

4


5


6

7

20号住居跡出土遺物

1

2

3

52号住居跡出土遺物（1）

4

5

6

52号住居跡出土遺物（2）

1

2

3

4

5

7

6

8

9

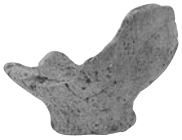
10

11

15

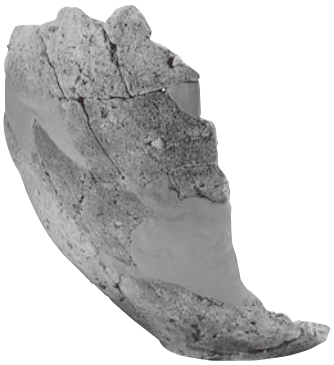
12

13


14

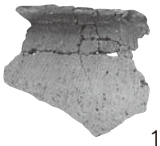
53号住居跡出土遺物

1


2

3

55号住居跡出土遺物


1

2

3

4

5

56号住居跡出土遺物

1

2

3

4

5

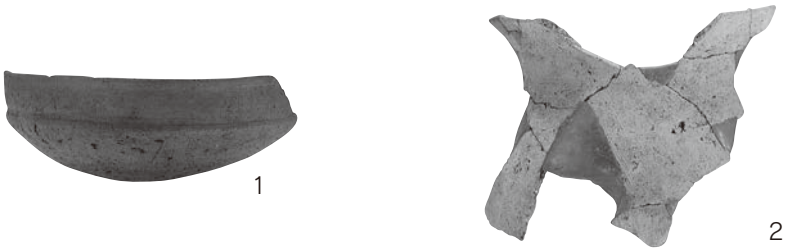
6

7

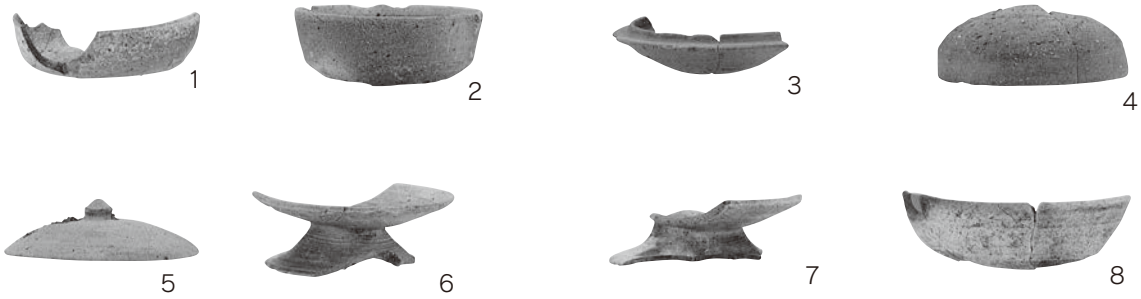
8

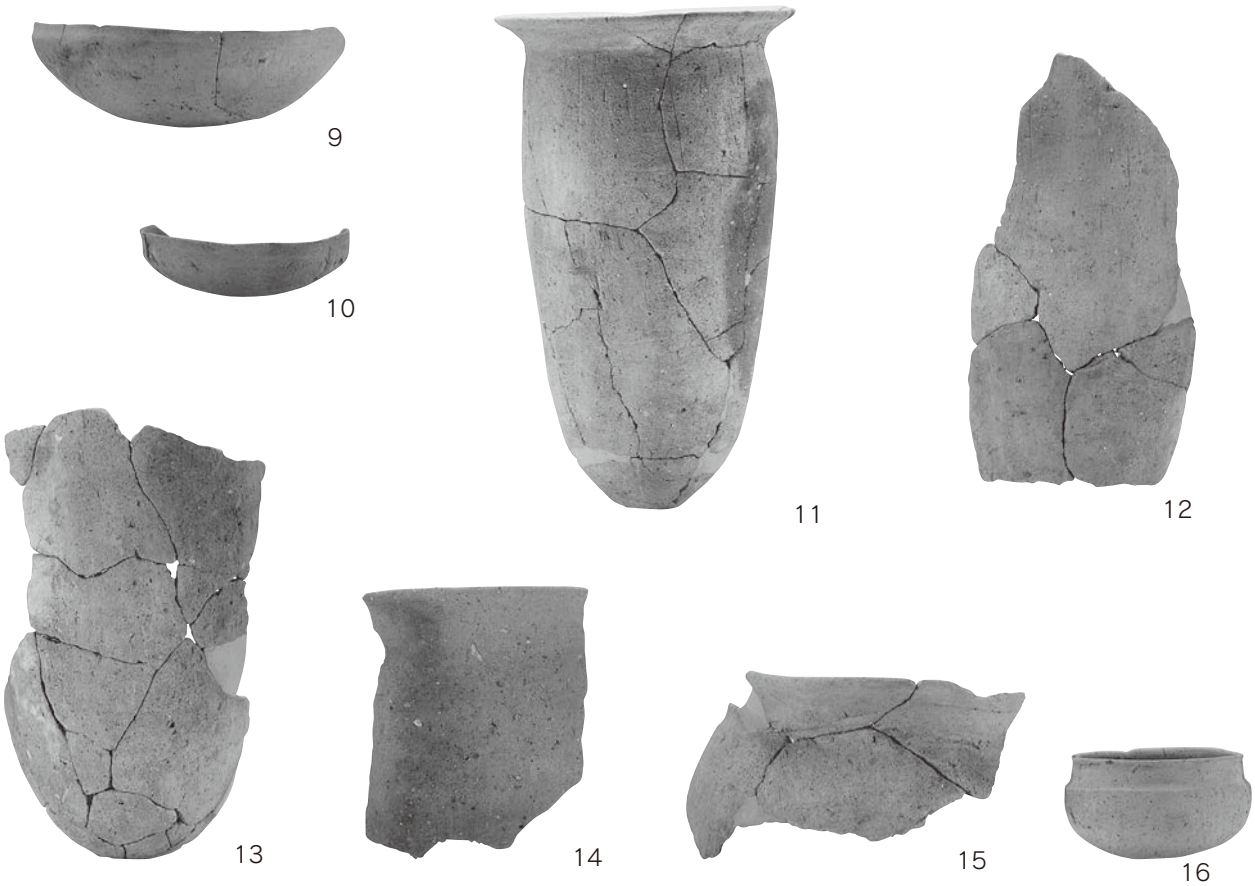
9

58号住居跡出土遺物



59号住居跡出土遺物





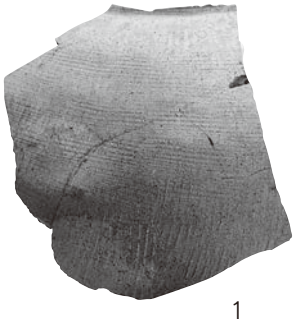
61号住居跡出土遺物

62号住居跡出土遺物

1

2

63号住居跡出土遺物


1

2

3

4

5

8

6

7

64号住居跡出土遺物

1

2

3

4

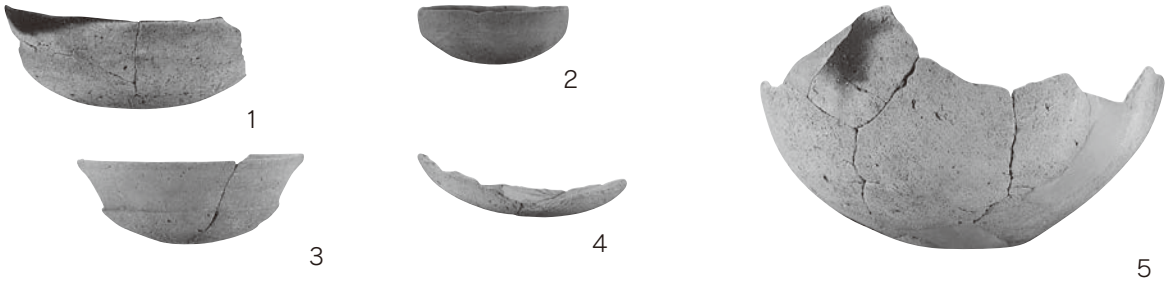
5

6

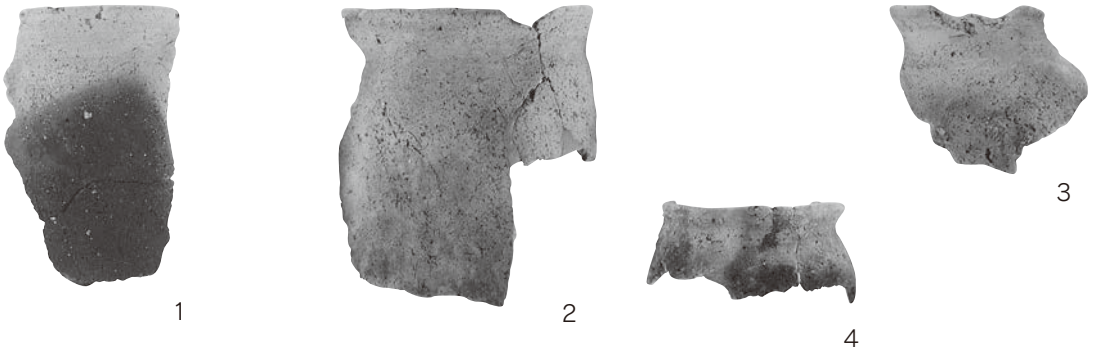
65号住居跡出土遺物

1

66号住居跡出土遺物



69号住居跡出土遺物



70号住居跡出土遺物

71号住居跡出土遺物

7号溝出土遺物

24号住居跡出土遺物

1

2

3

51号住居跡出土遺物

1

2

54号住居跡出土遺物

1

2

3

4

5

6

7

8

9

57号住居跡出土遺物

1

68号住居跡出土遺物

1

72号住居跡出土遺物

1

12号溝出土遺物

1

13号溝出土遺物

発掘調査報告書　抄録

ふりがな	たかなしちくいせきぐん
書名	高梨子地区遺跡群発掘調査報告書
副書名	団体営基盤整備促進事業高梨子地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	1
シリーズ番号	
編著者名	壁　伸明・常深　尚
編集機関	安中市教育委員会
編集機関所在地	〒379-0292　群馬県安中市松井田町新堀245
発行年月日	西暦2008年３月25日

所収遺跡（ふりがな）	所在地（ふりがな）	遺跡コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
高梨子柳下遺跡（たかなしやぎしたいせき）	群馬県安中市松井田町高梨子字柳下447-1他（ぐんまけんあんなかしまついだまちたかなしあざやぎした）	102113 U-212	36°19′34″	139°48′21″	2005．9．1～ 2006．1．20	1,930㎡	団体営基盤整備促進事業
高梨子森下遺跡（たかなしもりしたいせき）	群馬県安中市松井田町高梨子字森下409他（ぐんまけんあんなかしまついだまちたかなしあざもりした）	102113 U-213	36°19′45″	139°48′04″	2005．9．1～ 2006．1．20 2006．7．6～ 2006．10．27	3,060㎡	団体営基盤整備促進事業

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
高梨子柳下遺跡	水田跡	平安時代	As－B下水田		緩斜面に展開する小区画のAs－B下水田。
高梨子森下遺跡	集落跡	縄文時代 古墳時代 平安時代	古墳時代～平安時代集落跡	縄文土器 土師器 須恵器	台地に立地する古墳時代～平安時代の集落跡。

高梨子地区遺跡群

―団体営基盤整備促進事業高梨子地区に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書―

平成20年３月19日　印刷
平成20年３月25日　発行

編集・発行／安中市教育委員会
〒379-0292　群馬県安中市松井田町新堀245
TEL 027-382-1111（代表）

印　　刷／朝日印刷工業株式会社